

**2025年度
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目
200番台
講義概要（シラバス）**



法政大学

科目一覧

〔発行日：2025/5/1〕 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目	〈グ〉：グローバル・オープン科目
〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目	〈実〉：実務経験のある教員による授業科目
〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs	〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン
〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ	〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室
〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル	

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(英語分野)【E1806】Intercultural Communication B [石原 紀子] 秋学期授業/Fall.....	1
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(英語分野)【E1807】Intercultural Communication A [佐々木 一恵] 秋学期授業/Fall.....	2
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(英語分野)【E1808】Intercultural Communication C [石原 紀子] 秋学期授業/Fall.....	4
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E3253】フランス語補講3 I [カレン ス フィリップ] 春学期授業/Spring.....	5
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E3254】フランス語補講3 II [カレン ス フィリップ] 秋学期授業/Fall.....	7
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【E3602】Intercultural Communication E [STEVE CORBEIL] 秋学期授業/Fall.....	9
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【E3603】Intercultural Communication F [ルルー 清野 プレンダン] 春学期授業/Spring.....	10
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5337】中国語補講3 I [渋谷 君也] 春学期授業/Spring.....	12
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5338】中国語補講3 II [渋谷 君也] 秋学期授業/Fall.....	13
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5339】中国語補講3 I [渋谷 君也] 春学期授業/Spring.....	14
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5340】中国語補講3 II [渋谷 君也] 秋学期授業/Fall.....	15
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5341】中国語補講3 I [後藤 淳一] 春学期授業/Spring.....	16
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5342】中国語補講3 II [後藤 淳一] 秋学期授業/Fall.....	17
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E6135】スペイン語補講3 I [若林 大我] 春学期授業/Spring.....	18
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E6136】スペイン語補講3 II [若林 大我] 秋学期授業/Fall.....	19
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3303】フランス語3-I (インテン シブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring.....	20
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3304】フランス語3-II (インテン シブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall.....	21
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3313】フランス語(3) I (インテン シブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring.....	22
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3314】フランス語(3) II (インテン シブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall.....	23
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F4005】ロシア語(3) I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring.....	24
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F4006】ロシア語(3) II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall.....	25
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【F7222】朝鮮語4 B-I (視聴覚) [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring.....	26

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7223】朝鮮語4 B-II（視聴覚）〔新谷 あゆり〕秋学期授業/Fall	27
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7224】朝鮮語5 A-I（講読）〔荻野 優子〕春学期授業/Spring	28
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7225】朝鮮語5 A-II（講読）〔荻野 優子〕秋学期授業/Fall	29
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7226】朝鮮語5 B-I（表現法）〔神谷 丹路〕春学期授業/Spring	30
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7227】朝鮮語5 B-II（表現法）〔神谷 丹路〕秋学期授業/Fall	31
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7228】朝鮮語4 C-I（コミュニケーション）〔乾 浩〕春学期授業/Spring	32
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7229】朝鮮語4 C-II（コミュニケーション）〔乾 浩〕秋学期授業/Fall	33
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群（自然分野）【F9102】Natural Science A〔宇野 真介〕秋学期授業/Fall	34
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【P0163】Information Technology〔斎藤 明〕春学期授業/Spring	36
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【P0633】Career Development Skills〔AMINE A ABBADIE〕春学期授業/Spring	38
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【P1303】Humanities A〔URBANOVA JANA〕春学期授業/Spring	39
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【P1305】Humanities B〔Richard J Burrows〕春学期授業/Spring	41
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群（社会分野）【P2304】Social Science A〔GAEL BESSON〕秋学期授業/Fall	42
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群（社会分野）【P2305】Social Science B〔GAEL BESSON〕春学期授業/Spring	44
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群（自然分野）【P3605】Natural Science B〔西村 直美〕春学期授業/Spring	46
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群（保健体育分野）【P5801】Health and Physical Education〔武井 敦彦〕春学期授業/Spring	47
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0102】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	49
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0104】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	50
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0106】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	51
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0108】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	52
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0110】情報処理演習Ⅱ〔中村 文隆〕秋学期授業/Fall	53
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0112】情報処理演習Ⅱ〔中村 文隆〕秋学期授業/Fall	54
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0114】情報処理演習Ⅱ〔河内谷 幸子〕秋学期授業/Fall	55
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0116】情報処理演習Ⅱ〔岡嶋 裕史〕秋学期授業/Fall	57
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0118】情報処理演習Ⅱ〔岡嶋 裕史〕秋学期授業/Fall	58
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0120】情報処理演習Ⅱ〔重定 如彦〕秋学期授業/Fall	59
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0122】情報処理演習Ⅱ〔重定 如彦〕秋学期授業/Fall	61
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0128】情報処理演習Ⅱ〔河内谷 幸子〕秋学期授業/Fall	63

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0130】 情報処理演習Ⅱ [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall	65
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0136】 情報処理演習Ⅱ [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall.....	67
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0138】 情報処理演習Ⅱ [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall.....	68
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0140】 情報処理演習Ⅱ [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall.....	69
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0142】 情報処理演習Ⅱ [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall.....	70
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0144】 情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall	71
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0146】 情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall	72
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0503】 法政学の探究Ⅱ B [北口 由望] 春学期授業/Spring.....	73
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0504】 法政学の探究Ⅱ A [高柳 俊男、北口 由望] 秋学期授業/Fall	75
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1301】 日本文学と文化Ⅱ A [阿部 真弓] 春学期授業/Spring	77
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1302】 日本文学と文化Ⅱ B [阿部 真弓] 秋学期授業/Fall.....	78
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1303】 日本文学と文化Ⅱ C [中司 由起子] 春学期授業/Spring	79
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1304】 日本文学と文化Ⅱ D [中司 由起子] 秋学期授業/Fall	80
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1305】 日本文学と文化Ⅱ E [深澤 希望] 春学期授業/Spring	81
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1306】 日本文学と文化Ⅱ F [深澤 希望] 秋学期授業/Fall.....	82
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1307】 日本文学と文化Ⅱ G [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	83
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1308】 日本文学と文化Ⅱ H [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall.....	85
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1309】 外国文学と文化Ⅱ A [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	87
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1310】 外国文学と文化Ⅱ B [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall.....	89
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1311】 外国文学と文化Ⅱ C [日原 傳] 春学期授業/Spring	91
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1312】 外国文学と文化Ⅱ D [日原 傳] 秋学期授業/Fall	92
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1313】 外国文学と文化Ⅱ E [大崎 さやの] 春学期授業/Spring	93
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1314】 外国文学と文化Ⅱ F [大崎 さやの] 秋学期授業/Fall	94
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1315】 文学と社会Ⅱ A [梶 裕史] 春学期授業/Spring.....	95
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1316】 文学と社会Ⅱ B [梶 裕史] 秋学期授業/Fall	97
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1319】 文学と社会Ⅱ C [白戸 満喜子] 春学期授業/Spring.....	99
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1320】 文学と社会Ⅱ D [白戸 満喜子] 秋学期授業/Fall	100
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1321】 文学と社会Ⅱ E [中澤 忠之] 春学期授業/Spring	102

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1322】 文学と社会L F [中澤 忠之] 秋学期授業/Fall	103
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1323】 日本文学と文化LG [榎 本 正樹] 春学期授業/Spring	104
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1324】 日本文学と文化LH [榎 本 正樹] 秋学期授業/Fall	106
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1325】 外国文学と文化L G [小 澤 央] 春学期授業/Spring	108
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1326】 外国文学と文化L H [小 澤 央] 秋学期授業/Fall	109
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1362】 音声学L [副島 健作] 秋学期授業/Fall	110
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1385】 哲学L A [大西 正人] 春学期授業/Spring	111
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1386】 哲学L B [大西 正人] 秋学期授業/Fall	112
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1387】 哲学L A [白根 裕里枝] 春学期授業/Spring	113
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1388】 哲学L B [白根 裕里枝] 秋学期授業/Fall	114
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1389】 哲学L C [政井 啓子] 春学期授業/Spring	116
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1390】 哲学L D [鈴木 由加里] 秋学期授業/Fall	117
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1391】 倫理学L I [上田 瑞季] 春学期授業/Spring	119
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1392】 倫理学L II [上田 瑞季] 秋学期授業/Fall	120
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1393】 倫理学L I [佐藤 英明] 春学期授業/Spring	121
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1394】 倫理学L II [佐藤 英明] 秋学期授業/Fall	122
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1395】 倫理学L I [杉本 隆久] 春学期授業/Spring	123
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1396】 倫理学L II [杉本 隆久] 秋学期授業/Fall	125
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1397】 倫理学L I [伊藤 直樹] 春学期授業/Spring	127
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1398】 倫理学L II [伊藤 直樹] 秋学期授業/Fall	128
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1399】 倫理学L I [田島 樹里奈] 春学期授業/Spring	129
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1400】 倫理学L II [田島 樹里奈] 秋学期授業/Fall	131
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1401】 倫理学L I [森村 修] 春学期授業/Spring	133
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1402】 倫理学L II [森村 修] 秋学期授業/Fall	135
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1411】 論理学L I [佐々木 護] 春学期授業/Spring	137
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1412】 論理学L II [佐々木 護] 秋学期授業/Fall	138
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1425】 東洋史L A [水上 香織] 春学期授業/Spring	139
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1426】 東洋史L B [水上 香織] 秋学期授業/Fall	140

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1427】 東洋史L C [長谷部 圭彦] 春学期授業/Spring	141
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1428】 東洋史L D [長谷部 圭彦] 秋学期授業/Fall	142
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1437】 西洋史L A [内田 康太] 春学期授業/Spring	143
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1438】 西洋史L B [皆川 卓] 秋学期授業/Fall	144
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1439】 西洋史L C [渡辺 知] 春学期授業/Spring	146
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1440】 西洋史L D [内川 勇海] 秋学期授業/Fall	148
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1441】 日本史L I [森 朋久] 春学期授業/Spring	149
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1442】 日本史L II [森 朋久] 秋学期授業/Fall	150
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1443】 日本史L I [仁平 義孝] 春学期授業/Spring	151
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1444】 日本史L II [仁平 義孝] 秋学期授業/Fall	152
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1445】 日本史L I [貫井 裕恵] 春学期授業/Spring	153
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1446】 日本史L II [貫井 裕恵] 秋学期授業/Fall	154
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1447】 日本史L I [鈴木 多聞] 春学期授業/Spring	155
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1448】 日本史L II [鈴木 多聞] 秋学期授業/Fall	156
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1451】 宗教論L I [古澤 有峰] 春学期授業/Spring	157
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1452】 宗教論L II [古澤 有峰] 秋学期授業/Fall	158
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1471】 西洋史L E [竹下 和亮] 春学期授業/Spring	159
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1472】 西洋史L F [内川 勇太] 秋学期授業/Fall	160
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2321】 経済学L A [中平 千彦] 春学期授業/Spring	161
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2322】 経済学L B [中平 千彦] 秋学期授業/Fall	163
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2323】 経済学L A [鈴木 誠] 春学期授業/Spring	165
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2324】 経済学L B [鈴木 誠] 秋学期授業/Fall	167
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2325】 経済学L A [陳 文挙] 春学期授業/Spring	169
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2326】 経済学L B [陳 文挙] 秋学期授業/Fall	171
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2327】 経済学L A [小峯 敦] 春学期授業/Spring	173
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2328】 経済学L B [小峯 敦] 秋学期授業/Fall	175
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2341】 心理学L A [金子 楓] 春学期授業/Spring	176
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2342】 心理学L B [金子 楓] 秋学期授業/Fall	177

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2343】 心理学L A [金子 楓] 春学期授業/Spring	178
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2344】 心理学L B [金子 楓] 秋学期授業/Fall	179
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2351】 地理学L A [関戸 明子] 春学期授業/Spring	180
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2352】 地理学L B [朝倉 慎人] 秋学期授業/Fall	181
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2353】 地理学L C [片岡 義晴] 春学期授業/Spring	182
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2354】 地理学L D [片岡 義晴] 秋学期授業/Fall	183
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2357】 地理学L A [関戸 明子] 春学期授業/Spring	184
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2358】 地理学L B [朝倉 慎人] 秋学期授業/Fall	185
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2359】 地理学L C [前川 明彦] 春学期授業/Spring	186
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2360】 地理学L D [前川 明彦] 秋学期授業/Fall	188
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2361】 社会学L A [松下 優一] 春学期授業/Spring	190
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2362】 社会学L B [松下 優一] 秋学期授業/Fall	191
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2363】 社会学L C [徐 玄九] 春学期授業/Spring	192
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2364】 社会学L D [徐 玄九] 秋学期授業/Fall	194
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2372】 政治学L B [木村 正俊] 秋学期授業/Fall	195
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2382】 文化人類学L [ベル 裕紀] 秋学期授業/Fall	196
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2384】 文化人類学L [渡辺 浩平] 秋学期授業/Fall	198
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2386】 文化人類学L [北原 卓也] 秋学期授業/Fall	199
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2390】 文化人類学L [ベル 裕紀] 秋学期授業/Fall	200
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2392】 文化人類学L [菊池 真理] 秋学期授業/Fall	202
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2394】 文化人類学L [渡辺 浩平] 秋学期授業/Fall	203
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2396】 文化人類学L [相田 豊] 秋学期授業/Fall	204
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2398】 文化人類学L [菊池 真理] 秋学期授業/Fall	206
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2400】 文化人類学L [石森 大知] 秋学期授業/Fall	207
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2401】 社会思想L A [洪 貴義] 春学期授業/Spring	209
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2402】 社会思想L B [洪 貴義] 秋学期授業/Fall	210
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2403】 社会思想L A [林 嵩文] 春学期授業/Spring	211
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2404】 社会思想L B [林 嵩文] 秋学期授業/Fall	212

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2411】 地理学L E [呉羽 正昭]	
春学期授業/Spring	213
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2412】 地理学L F [加賀美 雅弘]	
春学期授業/Spring	214
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3201】 数学特講L A [安東 祐希]	
春学期授業/Spring	215
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3202】 数学特講L B [安東 祐希]	
秋学期授業/Fall	216
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3211】 発展数学L I [倉田 俊彦]	
春学期授業/Spring	217
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3212】 発展数学L II [倉田 俊彦]	
秋学期授業/Fall	218
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3213】 発展数学L I [倉田 俊彦]	
春学期授業/Spring	219
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3214】 発展数学L II [倉田 俊彦]	
秋学期授業/Fall	220
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3215】 発展数学L I [池田 宏一郎]	
春学期授業/Spring	221
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3216】 発展数学L II [池田 宏一郎]	
秋学期授業/Fall	222
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3221】 教養物理学L A [石川 壮一]	
春学期授業/Spring	223
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3222】 教養物理学L A [石川 壮一]	
秋学期授業/Fall	224
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3223】 教養物理学L B [吉田 智]	
春学期授業/Spring	225
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3224】 教養物理学L B [吉田 智]	
秋学期授業/Fall	226
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3225】 教養物理学L A [石川 壮一]	
秋学期授業/Fall	227
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3226】 教養物理学L C [井坂 政裕]	
春学期授業/Spring	228
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3231】 教養生物学L A [野崎 久義]	
春学期授業/Spring	230
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3232】 教養生物学L B [野崎 久義]	
秋学期授業/Fall	232
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3233】 教養生物学L A [野崎 久義]	
春学期授業/Spring	234
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3234】 教養生物学L B [野崎 久義]	
秋学期授業/Fall	236
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3241】 教養生物学L C [町田 郁子]	
春学期授業/Spring	238
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3242】 教養生物学L D [町田 郁子]	
秋学期授業/Fall	240
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3243】 教養生物学L C [町田 郁子]	
春学期授業/Spring	242
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3244】 教養生物学L D [町田 郁子]	
秋学期授業/Fall	244
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3261】 教養化学L A [向井 知大]	
春学期授業/Spring	246
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3262】 教養化学L A [中田 和秀]	
秋学期授業/Fall	247
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3263】 教養化学L B [向井 知大]	
春学期授業/Spring	248
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3264】 教養化学L B [西村 直美]	
秋学期授業/Fall	249

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3266】 教養化学L A [中田 和秀] 春学期授業/Spring	250
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3267】 教養化学L C [中田 和秀] 春学期授業/Spring	251
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3268】 教養化学L D [中田 和秀] 秋学期授業/Fall	252
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3269】 教養化学L E [向井 知大] 秋学期授業/Fall	253
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3271】 科学論L A [中釜 浩一] 春学期授業/Spring	254
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3272】 科学論L B [中釜 浩一] 秋学期授業/Fall	255
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5451】 健康の科学L A [鈴木 康弘] 春学期授業/Spring	256
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5452】 健康の科学L B [鈴木 康弘] 秋学期授業/Fall	258
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5453】 健康の科学L A [谷本 都栄] 春学期授業/Spring	259
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5454】 健康の科学L B [谷本 都栄] 秋学期授業/Fall	260
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0801】 入門英語 (SSI) I [大厩 諒] 春学期授業/Spring	261
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0802】 入門英語 (SSI) II [大厩 諒] 秋学期授業/Fall	262
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0803】 入門英語 (SSI) I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	263
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0804】 入門英語 (SSI) II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	264
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0805】 入門英語 (SSI) I [鈴木 真奈美] 春学期授業/Spring	265
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0806】 入門英語 (SSI) II [深谷 公宣] 秋学期授業/Fall	267
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0831】 入門英語 (SSI) I [鈴木 理枝] 春学期授業/Spring	268
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0832】 入門英語 (SSI) II [鈴木 理枝] 秋学期授業/Fall	269
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2001】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	270
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2002】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	272
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2003】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	274
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2004】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	277
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2005】 English 3 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring	280
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2006】 English 3 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall	282
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2007】 English 3 I [宇野 毅] 春学期授業/Spring	284
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2008】 English 3 II [宇野 毅] 秋学期授業/Fall	285
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2009】 English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	286
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2010】 English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	288

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2011】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	290
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2012】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	291
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2013】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	293
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2014】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	296
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2015】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	299
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2016】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	301
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2017】 English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	303
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2018】 English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	305
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2019】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	307
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2020】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	308
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2021】 English 3 I [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	310
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2022】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall	312
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2023】 English 3 I [コートランド デイビッド スミス] 春学期授業/Spring	314
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2024】 English 3 II [コートランド デイビッド スミス] 秋学期授業/Fall	316
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2025】 English 3 I [ジョナサン エイブル] 春学期授業/Spring	318
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2026】 English 3 II [ジョナサン エイブル] 秋学期授業/Fall	319
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2027】 English 3 I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	320
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2028】 English 3 II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	322
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2029】 English 3 I [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	324
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2030】 English 3 II [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	326
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2031】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring	328
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2032】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall	330
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2033】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	332
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2034】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	333
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2035】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	334
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2036】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	336
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2037】 English 3 I [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	338
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2038】 English 3 II [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall	340

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2039】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	342
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2040】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	343
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2041】 English 3 I [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	344
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2042】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall	346
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2043】 English 3 I [コートランド デイビッド スミス] 春学期授業/Spring	348
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2044】 English 3 II [コートランド デイビッド スミス] 秋学期授業/Fall	350
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2045】 English 3 I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	352
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2046】 English 3 II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	354
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2047】 English 3 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	356
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2048】 English 3 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	357
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2049】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring	358
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2050】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall	360
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2051】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	362
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2052】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	363
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2053】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	364
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2054】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	366
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2055】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	368
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2056】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	369
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2057】 English 3 I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	370
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2058】 English 3 II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	371
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2059】 English 3 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	373
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2060】 English 3 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	374
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2061】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	375
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2062】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	377
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2063】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	379
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2064】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	380
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2065】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	382
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2066】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	384

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2067】 English 3 I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	386
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2068】 English 3 II [石原 紀子] 秋学期授業/Fall	387
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2069】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring	389
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2070】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall	391
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2071】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	393
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2072】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	394
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2073】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	395
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2074】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	399
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2075】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	402
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2076】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	404
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2077】 English 3 I [小坂 恵理子] 春学期授業/Spring	406
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2078】 English 3 II [小坂 恵理子] 秋学期授業/Fall	408
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2079】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	410
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2080】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	412
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2081】 English 3 I [ROBERT J SPIVAK] 春学期授業/Spring	414
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2082】 English 3 II [ROBERT J SPIVAK] 秋学期授業/Fall	416
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2083】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	418
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2084】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	420
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2085】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	422
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2086】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	424
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2087】 English 3 I [森 永 豊] 春学期授業/Spring	426
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2088】 English 3 II [森 永 豊] 秋学期授業/Fall	428
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2089】 English 3 I [大野 ロベルト] 春学期授業/Spring	430
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2090】 English 3 II [大野 ロベルト] 秋学期授業/Fall	431
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2091】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	432
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2092】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	434
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2093】 English 3 I [大厩 諒] 春学期授業/Spring	436
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2094】 English 3 II [大厩 諒] 秋学期授業/Fall	437

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2095】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	438
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2096】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	440
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2097】 English 3 I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring	442
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2098】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall	443
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2099】 English 3 I [佐喜真 彩] 春学期授業/Spring	444
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2100】 English 3 II [佐喜真 彩] 秋学期授業/Fall	445
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2101】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	446
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2102】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	447
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2103】 English 3 I [ROBERT J SPIVAK] 春学期授業/Spring	449
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2104】 English 3 II [ROBERT J SPIVAK] 秋学期授業/Fall	451
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2105】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	453
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2106】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	455
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2107】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	457
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2108】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	459
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2109】 English 3 I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring	461
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2110】 English 3 II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	462
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2111】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	463
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2112】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	465
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2113】 English 3 I [磯部 芳恵] 春学期授業/Spring	467
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2114】 English 3 II [磯部 芳恵] 秋学期授業/Fall	468
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2115】 English 3 I [森永 豊] 春学期授業/Spring	469
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2116】 English 3 II [森永 豊] 秋学期授業/Fall	471
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2117】 English 3 I [佐喜真 彩] 春学期授業/Spring	473
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2118】 English 3 II [佐喜真 彩] 秋学期授業/Fall	474
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2119】 English 3 I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring	475
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2120】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall	476
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2121】 English 3 I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	477
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2122】 English 3 II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	479

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2123】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	481
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2124】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	482
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2125】 English 3 I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring	483
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2126】 English 3 II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall	485
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2127】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	487
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2128】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	489
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2129】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	491
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2130】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	493
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2131】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	495
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2132】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	496
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2133】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	497
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2134】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	499
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2135】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	501
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2136】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	503
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2137】 English 3 I [岩下 弘史] 春学期授業/Spring	505
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2138】 English 3 II [岩下 弘史] 秋学期授業/Fall	507
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2139】 English 3 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring	509
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2140】 English 3 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	512
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2141】 English 3 I [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	515
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2142】 English 3 II [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall	517
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2143】 English 3 I [CHIA-WEI KANG] 春学期授業/Spring	519
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2144】 English 3 II [CHIA-WEI KANG] 秋学期授業/Fall	520
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2145】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	521
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2146】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	523
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2147】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	525
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2148】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	529
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2149】 English 3 I [ジョナサン エイブル] 春学期授業/Spring	532
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2150】 English 3 II [ジョナサン エイブル] 秋学期授業/Fall	533

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2151】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	534
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2152】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	535
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2153】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	536
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2154】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	538
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2155】 English 3 I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	540
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2156】 English 3 II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	542
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2157】 English 3 I [大冢 諒] 春学期授業/Spring	544
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2158】 English 3 II [大冢 諒] 秋学期授業/Fall	545
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2159】 English 3 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring	546
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2160】 English 3 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	548
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2161】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	551
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2162】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	553
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2163】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	555
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2164】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	557
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2165】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	559
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2166】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	563
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2167】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	566
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2168】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	569
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2169】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	572
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2170】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	573
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2171】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	574
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2172】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	576
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2173】 English 3 I [田口 清一] 春学期授業/Spring	578
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2174】 English 3 II [田口 清一] 秋学期授業/Fall	579
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2175】 English 3 I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	580
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2176】 English 3 II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	582
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2177】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	584
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2178】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	586

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2179】 English 3 I [三原 里美] 春学期授業/Spring	588
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2180】 English 3 II [三原 里美] 秋学期授業/Fall	589
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2181】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	590
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2182】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	592
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2183】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	594
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2184】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	596
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2185】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	598
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2186】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	600
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2187】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	602
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2188】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	604
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2201】 英語 7 [深谷 公宣] 春学期授業/Spring	606
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2202】 英語 7 [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	607
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2203】 英語 7 [中和 彩子] 春学期授業/Spring	608
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2204】 英語 7 [鹿子嶋 由佳] 春学期授業/Spring	609
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2205】 英語 7 [衣笠 正晃] 春学期授業/Spring	611
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2206】 英語 7 [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	612
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2207】 英語 7 [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	614
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2208】 英語 8 [JAMES O ESSEX] 春学期授業/Spring	615
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2209】 英語 8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	617
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2210】 英語 8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	619
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2211】 英語 8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	620
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2212】 英語 8 [DANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring	622
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2213】 英語 8 [DANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring	624
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2214】 英語 8 [ウォルター カズマー] 春学期授業/Spring	626
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2301】 英語オーラル・コミュニケーション I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	627
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2302】 英語オーラル・コミュニケーション II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	629
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2303】 英語オーラル・コミュニケーション I [CHRISTOPHER MASCHIO] 春学期授業/Spring	631
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2304】 英語オーラル・コミュニケーション II [CHRISTOPHER MASCHIO] 秋学期授業/Fall	632

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2351】 ビジネス・イングリッシュⅠ [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	633
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2352】 ビジネス・イングリッシュⅡ [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	634
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2353】 ビジネス・イングリッシュⅠ [LASSEGARD JAMES] 春学期授業/Spring	635
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2354】 ビジネス・イングリッシュⅡ [LASSEGARD JAMES] 秋学期授業/Fall	636
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2381】 English Reading and VocabularyⅠ [ウォルター カズマー] 春学期授業/Spring	637
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2382】 English Reading and VocabularyⅡ [ウォルター カズマー] 秋学期授業/Fall	638
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2383】 English Reading and VocabularyⅠ [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	639
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2384】 English Reading and VocabularyⅡ [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	640
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2391】 English Academic WritingⅠ [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring	641
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2392】 English Academic WritingⅡ [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall	643
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2395】 English Academic WritingⅠ [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	645
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2396】 English Academic WritingⅡ [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	647
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2401】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	649
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2402】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [田中 邦佳] 秋学期授業/Fall	651
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2403】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	653
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2404】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall	654
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2405】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [舟橋 美香] 春学期授業/Spring	655
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2406】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [舟橋 美香] 秋学期授業/Fall	657
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2407】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [鈴木 博雄] 春学期授業/Spring	659
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2408】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [鈴木 博雄] 秋学期授業/Fall	660
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2409】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [金谷 優子] 春学期授業/Spring	661
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2410】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	663
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2411】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	665
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2412】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	667
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2441】 English PresentationⅠ [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	669
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2442】 English PresentationⅡ [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	671
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2443】 English PresentationⅠ [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	673
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2444】 English PresentationⅡ [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	674

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2445】 English Presentation I [コートランド デイビッド スミス] 春学期授業/Spring	675
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2446】 English Presentation II [コートランド デイビッド スミス] 秋学期授業/Fall	677
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2451】 英語アカデミック・リーディングⅠ [岩崎 博] 春学期授業/Spring	679
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2452】 英語アカデミック・リーディングⅡ [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	681
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2481】 英語検定試験対策Ⅰ [妻鹿 裕子] 春学期授業/Spring	683
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2482】 英語検定試験対策Ⅱ [妻鹿 裕子] 秋学期授業/Fall	684
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2483】 英語検定試験対策Ⅰ [青山 恵子] 春学期授業/Spring	685
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2484】 英語検定試験対策Ⅱ [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	686
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2485】 英語検定試験対策Ⅰ [小堀 洋] 春学期授業/Spring	687
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2486】 英語検定試験対策Ⅱ [小堀 洋] 秋学期授業/Fall	688
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2487】 英語検定試験対策Ⅰ [高橋 佳江] 春学期授業/Spring	689
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2488】 英語検定試験対策Ⅱ [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall	691
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2601】 Oral Communication I [板橋 美也] 春学期授業/Spring	693
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2602】 Oral Communication II [板橋 美也] 秋学期授業/Fall	694
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2611】 English through Movies and Drama I [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring	695
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2612】 English through Movies and Drama II [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	696
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2613】 English through Movies and Drama I [舟橋 美香] 春学期授業/Spring	697
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2614】 English through Movies and Drama II [舟橋 美香] 秋学期授業/Fall	698
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2621】 TOEIC(R) I [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring	699
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2622】 TOEIC(R) II [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	700
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2623】 TOEIC(R) I [板橋 美也] 春学期授業/Spring	701
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2624】 TOEIC(R) II [板橋 美也] 秋学期授業/Fall	702
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2631】 英語検定試験対策Ⅰ [青山 恵子] 春学期授業/Spring	703
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2632】 英語検定試験対策Ⅱ [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	704
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2641】 Business Communication I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	705
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2642】 Business Communication II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	707
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2651】 ニュース英語Ⅰ [塩谷 幸子] 春学期授業/Spring	709
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2652】 ニュース英語Ⅱ [塩谷 幸子] 秋学期授業/Fall	710

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2801】 Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-I [TIMOTHY B BETJEMAN] 春学期授業/Spring	711
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2802】 Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-II [TIMOTHY B BETJEMAN] 秋学期授業/Fall	712
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2811】 Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-I [TIMOTHY B BETJEMAN] 春学期授業/Spring	713
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2812】 Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-II [TIMOTHY B BETJEMAN] 秋学期授業/Fall	714
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2821】 Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring	715
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2823】 Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	716
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2831】 Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring	717
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2832】 Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall	719
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2833】 Practical English（英語検定試験対策）A-I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	721
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2834】 Practical English（英語検定試験対策）A-II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	722
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2851】 Practical English（英語検定試験対策）B-I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	723
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2852】 Practical English（英語検定試験対策）B-II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	725
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2861】 English for Study Abroad I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	726
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R2862】 English for Study Abroad II [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	728
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4201】ドイツ語3 I [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring	729
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4202】ドイツ語3 II [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall	730
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4205】ドイツ語3 I [外山 知子] 春学期授業/Spring	731
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4206】ドイツ語3 II [外山 知子] 秋学期授業/Fall	732
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4211】ドイツ語3 I [伊東 直美] 春学期授業/Spring	733
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4212】ドイツ語3 II [伊東 直美] 秋学期授業/Fall	734
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4215】ドイツ語3 I [保科 泰] 春学期授業/Spring	735
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4216】ドイツ語3 II [保科 泰] 秋学期授業/Fall	736
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4217】ドイツ語3 I [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring	737
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4218】ドイツ語3 II [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall	739
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4221】ドイツ語3 I [遠藤 浩介] 春学期授業/Spring	741
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4222】ドイツ語3 II [遠藤 浩介] 秋学期授業/Fall	742
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4223】ドイツ語3 I [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring	743
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4224】ドイツ語3 II [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall	744

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4225】 ドイツ語3 I [外山 知子] 春学期授業/Spring	745
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4226】 ドイツ語3 II [外山 知子] 秋学期授業/Fall	746
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4241】 ドイツ語4 I [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring	747
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4242】 ドイツ語4 II [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall	749
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4243】 ドイツ語4 I [三ツ石 祐子] 春学期授業/Spring	751
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4244】 ドイツ語4 II [三ツ石 祐子] 秋学期授業/Fall	752
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4245】 ドイツ語4 I [保科 泰] 春学期授業/Spring	753
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4246】 ドイツ語4 II [保科 泰] 秋学期授業/Fall	754
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4251】 ドイツ語(3) I [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	755
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4252】 ドイツ語(3) II [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	756
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4261】 ドイツ語7 [林 志津江] 春 学期授業/Spring	757
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4262】 ドイツ語8 [小川 敦] 春学 期授業/Spring	759
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4271】 ドイツ語3-I [平松 英人] 春学期授業/Spring	760
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4272】 ドイツ語3-II [平松 英人] 秋学期授業/Fall	761
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4281】 ドイツ語コ ミュニケーション I [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	762
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4282】 ドイツ語コ ミュニケーション II [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	763
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4283】 ドイツ語表現 法 I [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	764
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4284】 ドイツ語表現 法 II [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall	765
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4293】 入門ドイツ 語 (SSI) I [梶谷 雄二] 春学期授業/Spring	766
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4294】 入門ドイツ 語 (SSI) II [梶谷 雄二] 秋学期授業/Fall	767
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R4295】 ドイツ語の世界 L A [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	768
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R4296】 ドイツ語の世界 L B [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall	769
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R4297】 ドイツの文化と社会 L A [小川 敦] 春学期授業/Spring	771
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R4298】 ドイツの文化と社会 L B [小川 敦] 秋学期授業/Fall	772
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5201】 フランス語3 I [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring	773
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5202】 フランス語3 II [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	774
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5203】 フランス語3 I [中村 美 緒] 春学期授業/Spring	775
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5204】 フランス語3 II [中村 美 緒] 秋学期授業/Fall	776

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5205】 フランス語3Ⅰ [稲垣 正久] 春学期授業/Spring.....	777
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5206】 フランス語3Ⅱ [稲垣 正久] 秋学期授業/Fall.....	778
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5207】 フランス語3Ⅰ [柴田 恵美] 春学期授業/Spring.....	779
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5208】 フランス語3Ⅱ [柴田 恵美] 秋学期授業/Fall.....	780
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5209】 フランス語3Ⅰ [稲垣 正久] 春学期授業/Spring.....	781
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5210】 フランス語3Ⅱ [稲垣 正久] 秋学期授業/Fall.....	782
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5211】 フランス語3Ⅰ [山口 雅敏] 春学期授業/Spring.....	783
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5212】 フランス語3Ⅱ [山口 雅敏] 秋学期授業/Fall.....	784
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5213】 フランス語3Ⅰ [柴崎 秀穂] 春学期授業/Spring.....	785
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5214】 フランス語3Ⅱ [柴崎 秀穂] 秋学期授業/Fall.....	786
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5215】 フランス語3Ⅰ [西川 純子] 春学期授業/Spring.....	787
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5216】 フランス語3Ⅱ [西川 純子] 秋学期授業/Fall.....	788
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5219】 フランス語3Ⅰ [西川 純子] 春学期授業/Spring.....	789
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5220】 フランス語3Ⅱ [西川 純子] 秋学期授業/Fall.....	790
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5221】 フランス語3Ⅰ [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring.....	791
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5222】 フランス語3Ⅱ [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall.....	792
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5223】 フランス語3Ⅰ (インテンシブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring.....	793
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5224】 フランス語3Ⅱ (インテンシブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall.....	794
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5243】 フランス語4Ⅰ [廣松 勲] 春学期授業/Spring.....	795
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5244】 フランス語4Ⅱ [廣松 勲] 秋学期授業/Fall.....	797
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5247】 フランス語4Ⅰ [中村 美緒] 春学期授業/Spring.....	798
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5248】 フランス語4Ⅱ [中村 美緒] 秋学期授業/Fall.....	799
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5249】 フランス語4Ⅰ [鈴木 正道] 春学期授業/Spring.....	800
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5250】 フランス語4Ⅱ [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall.....	801
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5251】 フランス語(3)Ⅰ [コリンズ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring.....	802
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5252】 フランス語(3)Ⅱ [コリンズ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall.....	803
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5257】 フランス語7 [岡村 民夫] 春学期授業/Spring.....	804
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5258】 フランス語8 [ルルー 清野 プレندان] 春学期授業/Spring.....	805

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5261】 フランス語3-I [石川 典子] 春学期授業/Spring.....	806
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5262】 フランス語3-II [石川 典子] 秋学期授業/Fall.....	807
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5263】 フランス語3-I [柴崎 秀穂] 春学期授業/Spring.....	808
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5264】 フランス語3-II [柴崎 秀穂] 秋学期授業/Fall.....	809
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5271】 フランス語の世界L A [廣松 勲] 春学期授業/Spring.....	810
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5272】 フランス語の世界L B [廣松 勲] 秋学期授業/Fall.....	812
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5273】 フランス語コミュニケーション(初級) I [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring.....	814
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5274】 フランス語コミュニケーション(初級) II [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall.....	815
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5279】 時事フランス語 I [大中 一彌] 春学期授業/Spring.....	816
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5280】 時事フランス語 II [大中 一彌] 秋学期授業/Fall.....	819
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5291】 フランスの文化と社会L A [鈴木 正道] 春学期授業/Spring.....	822
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5292】 フランスの文化と社会L B [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall.....	824
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5295】 フランス生活文化論L A [梶谷 彩子] 春学期授業/Spring.....	826
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5296】 フランス生活文化論L B [梶谷 彩子] 秋学期授業/Fall.....	828
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6201】 ロシア語3 I [木部 敬] 春学期授業/Spring.....	829
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6202】 ロシア語3 II [木部 敬] 秋学期授業/Fall.....	830
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6203】 ロシア語3 I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring.....	831
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6204】 ロシア語3 II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall.....	832
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6205】 ロシア語3 I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring.....	833
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6206】 ロシア語3 II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall.....	834
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6211】 ロシア語4 I [木部 敬] 春学期授業/Spring.....	835
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6212】 ロシア語4 II [木部 敬] 秋学期授業/Fall.....	836
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6213】 ロシア語4 I [上野 理恵] 春学期授業/Spring.....	837
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6214】 ロシア語4 II [上野 理恵] 秋学期授業/Fall.....	838
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6215】 ロシア語5 I [エレーナ 三神] 春学期授業/Spring.....	839
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6216】 ロシア語5 II [エレーナ 三神] 秋学期授業/Fall.....	840
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6221】 ロシア語7 [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring.....	841
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6222】 ロシア語8 [上野 理恵] 春学期授業/Spring.....	842

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6231】 ロシア語3-I [上野 理恵] 春学期授業/Spring	843
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6232】 ロシア語3-II [上野 理恵] 秋学期授業/Fall	844
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6241】 ロシア語の世界L A [木部 敬] 春学期授業/Spring	845
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6242】 ロシア語の世界L B [木部 敬] 秋学期授業/Fall	846
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6243】 ロシアの文化と社会 L A [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	848
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6244】 ロシアの文化と社会 L B [佐藤 千登勢] 秋学期授業/Fall	850
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6245】 検定のロシア 語A [佐藤 裕子] 春学期授業/Spring	852
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6246】 検定のロシア 語B [佐藤 裕子] 秋学期授業/Fall	853
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7301】 中国語3 I [陳 瀟瀟] 春学 期授業/Spring	854
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7302】 中国語3 II [陳 瀟瀟] 秋学 期授業/Fall	856
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7303】 中国語3 I [耿 函] 春学期 授業/Spring	858
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7304】 中国語3 II [耿 函] 秋学期 授業/Fall	859
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7305】 中国語3 I [劉 渴水] 春学 期授業/Spring	860
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7306】 中国語3 II [劉 渴水] 秋学 期授業/Fall	861
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7307】 中国語3 I [柴崎 公美子] 春学期授業/Spring	862
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7308】 中国語3 II [柴崎 公美子] 秋学期授業/Fall	864
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7309】 中国語3 I [李 維涛] 春学 期授業/Spring	866
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7310】 中国語3 II [李 維涛] 秋学 期授業/Fall	868
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7311】 中国語3 I [耿 函] 春学期 授業/Spring	870
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7312】 中国語3 II [耿 函] 秋学期 授業/Fall	871
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7315】 中国語3 I [桑島 道夫] 春 学期授業/Spring	872
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7316】 中国語3 II [桑島 道夫] 秋 学期授業/Fall	873
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7317】 中国語3 I [張 玉萍] 春学 期授業/Spring	874
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7318】 中国語3 II [張 玉萍] 秋学 期授業/Fall	875
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7319】 中国語3 I [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	876
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7320】 中国語3 II [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	877
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7321】 中国語3 I [陳 瀟瀟] 春学 期授業/Spring	878
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7322】 中国語3 II [陳 瀟瀟] 秋学 期授業/Fall	880

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7323】 中国語3Ⅰ [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	882
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7324】 中国語3Ⅱ [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	883
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7325】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学 期授業/Spring	884
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7326】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学 期授業/Fall	886
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7327】 中国語3Ⅰ [柴崎 公美子] 春学期授業/Spring	888
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7328】 中国語3Ⅱ [柴崎 公美子] 秋学期授業/Fall	890
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7329】 中国語3Ⅰ [周 重雷] 春学 期授業/Spring	892
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7330】 中国語3Ⅱ [周 重雷] 秋学 期授業/Fall	893
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7331】 中国語3Ⅰ [張 玉萍] 春学 期授業/Spring	894
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7332】 中国語3Ⅱ [張 玉萍] 秋学 期授業/Fall	895
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7333】 中国語3Ⅰ [洪井 君也] 春 学期授業/Spring	896
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7334】 中国語3Ⅱ [洪井 君也] 秋 学期授業/Fall	897
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7335】 中国語3Ⅰ [ショウ イクテ イ] 春学期授業/Spring	898
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7336】 中国語3Ⅱ [ショウ イクテ イ] 秋学期授業/Fall	899
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7337】 中国語3Ⅰ [葉 会] 春学期 授業/Spring	900
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7338】 中国語3Ⅱ [葉 会] 秋学期 授業/Fall	901
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7339】 中国語3Ⅰ [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	902
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7340】 中国語3Ⅱ [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	904
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7341】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学 期授業/Spring	906
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7342】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学 期授業/Fall	908
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7343】 中国語3Ⅰ [葉 会] 春学期 授業/Spring	910
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7344】 中国語3Ⅱ [葉 会] 秋学期 授業/Fall	911
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7345】 中国語3Ⅰ [李 維涛] 春学 期授業/Spring	912
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7346】 中国語3Ⅱ [李 維涛] 秋学 期授業/Fall	914
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7347】 中国語3Ⅰ [後藤 淳一] 春 学期授業/Spring	916
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7348】 中国語3Ⅱ [後藤 淳一] 秋 学期授業/Fall	917
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7349】 中国語3Ⅰ [祝 振媛] 春学 期授業/Spring	918
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7350】 中国語3Ⅱ [祝 振媛] 秋学 期授業/Fall	920

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7351】 中国語3Ⅰ [渡部 れい子] 春学期授業/Spring	922
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7352】 中国語3Ⅱ [渡部 れい子] 秋学期授業/Fall	923
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7353】 中国語3Ⅰ [李 維濤] 春学期授業/Spring	924
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7354】 中国語3Ⅱ [李 維濤] 秋学期授業/Fall	926
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7355】 中国語3Ⅰ [李 維濤] 春学期授業/Spring	928
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7356】 中国語3Ⅱ [李 維濤] 秋学期授業/Fall	930
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7371】 中国語4Ⅰ [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	932
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7372】 中国語4Ⅱ [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	933
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7373】 中国語4Ⅰ [葉会] 春学期授業/Spring	934
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7374】 中国語4Ⅱ [葉会] 秋学期授業/Fall	935
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7375】 中国語4Ⅰ [洪井 君也] 春学期授業/Spring	936
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7376】 中国語4Ⅱ [洪井 君也] 秋学期授業/Fall	937
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7377】 中国語4Ⅰ [余瀾] 春学期授業/Spring	938
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7378】 中国語4Ⅱ [余瀾] 秋学期授業/Fall	939
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7379】 中国語4Ⅰ [ショウ イクテイ] 春学期授業/Spring	940
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7380】 中国語4Ⅱ [ショウ イクテイ] 秋学期授業/Fall	941
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7381】 中国語4Ⅰ [祝振媛] 春学期授業/Spring	942
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7382】 中国語4Ⅱ [祝振媛] 秋学期授業/Fall	944
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7383】 中国語4Ⅰ [洪井 君也] 春学期授業/Spring	946
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7384】 中国語4Ⅱ [洪井 君也] 秋学期授業/Fall	947
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7385】 中国語(3)Ⅰ [耿 函] 春学期授業/Spring	948
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7386】 中国語(3)Ⅱ [耿 函] 秋学期授業/Fall	949
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7387】 中国語(3)Ⅰ [耿 函] 春学期授業/Spring	950
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7388】 中国語(3)Ⅱ [耿 函] 秋学期授業/Fall	951
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7391】 中国語7 [張 勝蘭] 春学期授業/Spring	952
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7392】 中国語8 [鈴木 靖] 春学期授業/Spring	953
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7401】 中国語3-Ⅰ [日原 傳] 春学期授業/Spring	954
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7402】 中国語3-Ⅱ [日原 傳] 秋学期授業/Fall	955

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7403】 中国語3-I [大江 千晶] 春学期授業/Spring	956
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7404】 中国語3-II [大江 千晶] 秋学期授業/Fall	958
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7405】 中国語3-I [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	959
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7406】 中国語3-II [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	961
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7407】 中国語3-I [葉 進] 春学 期授業/Spring	963
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7408】 中国語3-II [葉 進] 秋学 期授業/Fall	964
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R7413】 中国語コミュ ニケーション初級I [周 重雷] 春学期授業/Spring	965
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R7414】 中国語コミュ ニケーション初級II [周 重雷] 秋学期授業/Fall	966
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7433】 中国語視聴覚 初級I [劉 渴水] 春学期授業/Spring	967
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R7434】 中国語視聴覚 初級II [劉 渴水] 秋学期授業/Fall	968
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R7437】 資格中国語 初級I [青木 正子] 春学期授業/Spring	969
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R7438】 資格中国語 初級II [青木 正子] 秋学期授業/Fall	970
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R7445】 中国語の世界L A [高 柳 浩平] 春学期授業/Spring	971
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R7446】 中国語の世界L B [高 柳 浩平] 秋学期授業/Fall	972
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R7447】 中国の文化と社会L A [山本 律] 春学期授業/Spring	973
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R7448】 中国の文化と社会L B [山本 律] 秋学期授業/Fall	974
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R7449】 中国の文化と社会L C [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring	975
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R7450】 中国の文化と社会L D [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall	977
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8201】 スペイン語3 I [若林 大 我] 春学期授業/Spring	979
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8202】 スペイン語3 II [若林 大 我] 秋学期授業/Fall	980
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8203】 スペイン語3 I [大貫 良 史] 春学期授業/Spring	981
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8204】 スペイン語3 II [大貫 良 史] 秋学期授業/Fall	982
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8207】 スペイン語3 I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring	983
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8208】 スペイン語3 II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	984
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8209】 スペイン語3 I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring	985
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8210】 スペイン語3 II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	986
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8211】 スペイン語3 I [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	987
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8212】 スペイン語3 II [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	988

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8213】 スペイン語3Ⅰ [杉下 由紀子] 春学期授業/Spring	989
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8214】 スペイン語3Ⅱ [杉下 由紀子] 秋学期授業/Fall	990
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8215】 スペイン語3Ⅰ [若林 大我] 春学期授業/Spring	991
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8216】 スペイン語3Ⅱ [若林 大我] 秋学期授業/Fall	992
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8217】 スペイン語3Ⅰ [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	993
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8218】 スペイン語3Ⅱ [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	994
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8219】 スペイン語3Ⅰ [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	995
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8220】 スペイン語3Ⅱ [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	996
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8221】 スペイン語3Ⅰ [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring	997
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8222】 スペイン語3Ⅱ [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall	998
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8223】 スペイン語3Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	999
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8224】 スペイン語3Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	1000
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8225】 スペイン語3Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring	1001
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8226】 スペイン語3Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall	1002
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8227】 スペイン語3Ⅰ [敦賀 公子] 春学期授業/Spring	1003
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8228】 スペイン語3Ⅱ [敦賀 公子] 秋学期授業/Fall	1004
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8261】 スペイン語4Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	1005
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8262】 スペイン語4Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	1006
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8263】 スペイン語4Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring	1007
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8264】 スペイン語4Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall	1008
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8265】 スペイン語4Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	1009
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8266】 スペイン語4Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	1010
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8271】 スペイン語(3)Ⅰ [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	1011
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8272】 スペイン語(3)Ⅱ [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	1012
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8273】 スペイン語(3)Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	1013
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8274】 スペイン語(3)Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	1014
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8281】 スペイン語7 [久木 正雄] 春学期授業/Spring	1015
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8282】 スペイン語8 [佐々木 直美] 春学期授業/Spring	1016

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8291】 スペイン語3-I [大貫 良史] 春学期授業/Spring.....	1017
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8292】 スペイン語3-II [大貫 良史] 秋学期授業/Fall.....	1018
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8293】 スペイン語3-I [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring.....	1019
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8294】 スペイン語3-II [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall.....	1020
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R8301】 スペイン語コミュニケーションⅠ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring.....	1021
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R8302】 スペイン語コミュニケーションⅡ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall.....	1022
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R8303】 現代のスペイン語Ⅰ [久木 正雄] 春学期授業/Spring.....	1023
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R8304】 現代のスペイン語Ⅱ [久木 正雄] 秋学期授業/Fall.....	1024
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R8305】 スペイン語の世界L A [佐々木 直美] 春学期授業/Spring.....	1025
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R8306】 スペイン語の世界L B [佐々木 直美] 秋学期授業/Fall.....	1026
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9201】 朝鮮語3AⅠ [梁 禮先] 春学期授業/Spring.....	1027
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9202】 朝鮮語3AⅡ [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1029
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9203】 朝鮮語3AⅠ [梁 禮先] 春学期授業/Spring.....	1031
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9204】 朝鮮語3AⅡ [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1033
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9205】 朝鮮語3AⅠ [梁 禮先] 春学期授業/Spring.....	1035
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9206】 朝鮮語3AⅡ [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1037
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9221】 朝鮮語3BⅠ [荻野 優子] 春学期授業/Spring.....	1039
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9222】 朝鮮語3BⅡ [荻野 優子] 秋学期授業/Fall.....	1040
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9223】 朝鮮語3BⅠ [梁 禮先] 春学期授業/Spring.....	1041
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9224】 朝鮮語3BⅡ [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1042
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9225】 朝鮮語3BⅠ [富所 明秀] 春学期授業/Spring.....	1043
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9226】 朝鮮語3BⅡ [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	1044
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9227】 朝鮮語3BⅠ [富所 明秀] 春学期授業/Spring.....	1045
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9228】 朝鮮語3BⅡ [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	1046
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9229】 朝鮮語3BⅠ [吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring.....	1047
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9230】 朝鮮語3BⅡ [吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall.....	1048
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9231】 朝鮮語3BⅠ [富所 明秀] 春学期授業/Spring.....	1049
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9232】 朝鮮語3BⅡ [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	1050

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9233】 朝鮮語3 B I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1051
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9234】 朝鮮語3 B II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	1052
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9235】 朝鮮語3 B I [河合 紀子] 春学期授業/Spring	1053
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9236】 朝鮮語3 B II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall	1054
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9237】 朝鮮語3 B I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1055
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9238】 朝鮮語3 B II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1056
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9239】 朝鮮語3 B I [吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring	1057
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9240】 朝鮮語3 B II [吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall	1058
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9241】 朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	1059
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9242】 朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	1061
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9243】 朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	1063
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9244】 朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	1065
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9245】 朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	1067
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9246】 朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	1069
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9251】 朝鮮語(3) I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1071
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9252】 朝鮮語(3) II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1072
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9261】 朝鮮語7 [内山 政春] 春学期授業/Spring	1073
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9262】 朝鮮語8 [高柳 俊男] 春学期授業/Spring	1075
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9271】 朝鮮語3 - I [吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring	1077
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9272】 朝鮮語3 - II [吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall	1078
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9273】 朝鮮語3 - I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1079
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9274】 朝鮮語3 - II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1080
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9283】 朝鮮語4 B I (視聴覚) [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1081
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9284】 朝鮮語4 B II (視聴覚) [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1082
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9285】 朝鮮語5 A I (講読) [荻野 優子] 春学期授業/Spring	1083
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9286】 朝鮮語5 A II (講読) [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	1084
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9287】 朝鮮語5 B I (表現法) [神谷 丹路] 春学期授業/Spring	1085
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9288】 朝鮮語5 B II (表現法) [神谷 丹路] 秋学期授業/Fall	1086

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9291】 朝鮮語 4 C I (コミュニケーション) [乾 浩] 春学期授業/Spring	1087
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9292】 朝鮮語 4 C II (コミュニケーション) [乾 浩] 秋学期授業/Fall	1088
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9311】 朝鮮語 3 B I [河合 紀子] 春学期授業/Spring	1089
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9312】 朝鮮語 3 B II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall	1090
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9313】 朝鮮語 3 B I [新谷 あゆ り] 春学期授業/Spring	1091
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9314】 朝鮮語 3 B II [新谷 あゆ り] 秋学期授業/Fall	1092
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9315】 朝鮮語 3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1093
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9316】 朝鮮語 3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1094

LIN200LA (言語学 / Linguistics 200)

Intercultural Communication B 2017年度以降入学者

サブタイトル: Intercultural Understanding & Multicultural Identities

石原 紀子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木1/Thu.1

単位数: 2単位

TOEFL iBT® 81以上 TOEFL iBT® 81 or equivalent is required.

定員制

その他属性: 〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

【到達目標】

In this course, you will 1) cultivate your understanding of the relationships between culture and identity, 2) be able to analyze examples of and reasons for intercultural clashes and relate to others respectfully to come up with constructive solutions to intercultural issues and confusions, 3) be able to use concepts such as stereotypes, generalizations, othering, and marginalization in your analysis, 4) reflect on your intercultural experiences and multicultural mediation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on reading and complete reading quizzes. In class we study relevant material, complete tasks in small groups, and share our discussions with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written assignments and class presentations within a week.

This class involves a number of highly interactive activities. Only the first course meeting is scheduled online; any changes will be notified in Google Classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course info, ice-breaking
2	What is culture?	Visible/invisible culture, 3Ps
3	3Ps of culture, Characteristics of culture	Perspectives of culture
4	Stereotypes and generalizations	Definitions and examples
5	Essentialization	Generalization and marginalization

6	Othering and marginalization	Case study discussion
7	Cultural diversity in academia and the workplace	Understanding diversity as an asset
8	Similarities and differences in cultural orientations-1	Analysis of cultural orientations (#1-3)
9	Similarities and differences in cultural orientations-2	Analysis of cultural orientations (#4-6)
10	Cultural case studies - 1	Analysis of use of time and group dynamics
11	Cultural case studies - 2	Application of Hofstede's and others' frameworks
12	Student-led discussions - 1	Intercultural case studies
13	Student-led discussions - 2	Intercultural case studies
14	Student-led discussions - 3, reflection	Intercultural case studies, Wrap-up discussion

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures.

According to the university guidelines, the preparation and review time of approximately four hours a week is recommended for this course.

【テキスト (教科書)】

Weekly readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to do your readings and post your assignments. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】

Resources related to the course content will be made available in Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Participation (20%)
- 2) Reading assignments and quizzes (50%)
- 3) Intercultural case study discussion (10%)
- 4) Final group paper (20%) (tentative breakdown)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL® iBT 81 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in diverse world cultures. Students should view each other's cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend an online class on campus.

HIS200LA (史学/History 200)

Intercultural Communication A 2017年度以降入学者

サブタイトル：History of Japan-U.S Relations from a Global Perspective

佐々木 一恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

レベル3～4、TOEFL iBT® 44以上（各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。<https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course explores topics in the history of Japan-U.S. relations from a global perspective. In recent years, global history has revealed complex interactions between goods, ideas, services, finance, and people across nation-states and regions. By incorporating the framework of global history, the course aims to reexamine the relationship between Japan and the U.S., paying particular attention to the interactions of individuals with different objectives and backgrounds in the Asia-Pacific region.

【到達目標】

At the end of this course, students will be able to:
Understand the historical development of Japan-U.S. relations from a global perspective.

Critically read and analyze both secondary scholarship and primary historical documents on Japan-U.S. relations, incorporating the framework of global history.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The first part of class focuses on providing students with a broad understanding of the background of the topic covered in the assigned readings. The class then engages in a discussion that allows students to share their insights and interpretations of the reading assignment. In the second half of the class, the focus shifts to a broader examination of the issues raised in the reading assignment. The class expands its scope to explore the implications, connections, and applications of the issues in a broader context. Class assignments (homework and presentation) will be peer-reviewed. The instructor will provide online feedback on exams.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	An overview of the course.
2	Whaling and the Meiji Restoration	Reading assignment: "Western Whalers in 1860s' Hakodate: How the Nantucket of the North Pacific Connected Restoration Era Japan to Global Flows"

3	The Pacific at the Crossroads 1	Reading assignment: "The Emergence of Japan on the Global Stage, 1895–1908"
4	The Pacific at the Crossroads 2	Reading assignment: "Race, Language, and War in Two Cultures: World War II in Asia"
5	W.W.II and the Atomic Bomb	Reading assignment: "The Decision to Use the Atomic Bomb"
6	Competing Capitalism between the U.S. and Japan	Reading assignment: "Competing Capitalisms"
7	Consuming Japan in the 1980s U.S. 1	Reading assignment: "A Medium but Not a Message: The VCR and Cultural Globalization"
8	Consuming Japan in the 1980s U.S. 2	Reading assignment: "Authenticity in a Hybrid World: Sushi at the Crossroads of Cultural Globalization"
9	The Practice of Analyzing Primary Sources and a Quiz	The Assigned primary documents
10	Presentation 1	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 1 – Immigration
11	Presentation 2	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 2 – Diplomacy and Politics
12	Presentation 3	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 3 – Culture
13	Presentation 4	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 4 – Economics
14	Wrap up	Summary of the course

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to read assignments and be prepared for class discussions and presentations. University guidelines suggest that preparation and review should be four hours per week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this course. All course materials are available online through the course website.

【参考書】

◎Sebastian Conrad, What is Global History? (Princeton, NJ: Princeton University Press, 2017).

◎Pedro Iacobelli, Danton Leary, Shinnosuke Takahashi, eds, Transnational Japan as History: Empire, Migration, and Social Movements (New York: Palgrave Macmillan, 2016).

◎Robert Hellyer and Harald Fuess, The Meiji Restoration: Japan as a Global Nation (Cambridge: Cambridge University Press, 2020).

Brian McAllister Linn, Guardians of Empire: The U.S. Army and the Pacific, 1902–1940 (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 1997).

◎Lon Kurashige ed., Pacific America: Histories of Transoceanic Crossings (University of Hawaii Press, 2017).

◎Andrew C. McKevitt, Consuming Japan: Popular Culture and the Globalizing of 1980s America (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2017).

【成績評価の方法と基準】

1. Class participation 30%
2. In-class primary document analysis quiz 10%
3. Presentation 30%
4. Primary document analysis essay 30%

Based on the grading criteria set by the instructor, students who successfully achieve 60% or more of the course goals will earn a passing grade.

As a general rule, if you are absent more than three times per semester, it will be difficult to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

ICT devices such as laptops and tablets.

POL200LA (政治学 / Politics 200)

Intercultural Communication C 2017年度以降入学者

サブタイトル: Language and culture in sync: Rapport-building strategies across Languages

石原 紀子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木3/Thu.3

単位数: 2単位

TOEFL iBT® 81以上 TOEFL iBT® 81 or equivalent is required.

定員制

その他属性: 〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a socially and culturally suitable manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in several languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior in various cultures. This enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

【到達目標】

In this course, you will become able to 1) cultivate your understanding of the relationship between language form, meaning, and context, 2) become familiar with the notions of face, politeness, and microaggressions, 3) collect and analyze authentic language samples, 3) understand cultural values and orientations behind language use in world languages. The course will also provide an opportunity for you to reflect on intercultural misunderstandings and respectful communication strategies with which to relate to others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete tasks in small groups, and share your discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written assignments and class presentation within a week.

This class involves a number of highly interactive activities. Only the first course meeting is scheduled online; any changes will be notified in Google Classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course info, ice-breaking
2	Greetings	Analysis of authentic language data
3	Face and politeness	Positive and negative politeness

4	Giving and responding to compliments - 1	Linguistic aspects of compliments/responses
5	Giving and responding to compliments - 2	Cultural aspects of compliments/responses
6	Review discussion	Group quiz and discussion
7	Refusals - 1	Language of refusals, data collection
8	Refusals - 2	Cultural similarities/differences in refusals
9	Language analysis discussion, peace linguistics	Review quiz and discussion
10	Microaggressions - basics	Microaggressions and Rapport Management Theory
11	Responding to microaggressions	From a bystander to an ally
12	Apologies, thanks	Student presentations
13	Requests, invitations	Student presentations
14	Complaints, wrap-up	Student presentations and final reflection

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures. According to the university guidelines, the preparation and review time of approximately four hours a week is recommended for this course.

【テキスト (教科書)】

Readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to read and complete your assignments before class. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】

Resources related to the course content will be made available in Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Participation (20%)
- 2) Language analysis quizzes (34%)
- 3) Language analysis assignments (16%)
- 4) Final presentation and materials (30%) (tentative percentages)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., nativelike or proficient with TOEFL® iBT 61 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in world languages. Students should view each other's languages and cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend an online class on campus.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語補講 3 I

2017年度以降入学者

カレンス フィリップ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 6/Fri.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法の学習を一通り終えた学生が、文法と語彙の復習をしながら、フランス語を聞き取り、読み、理解する力を身につけるための授業です。文法の知識や語彙を、実際に運用することにどうつなげていくか。いろいろな日常の生活の場面に応じて、フランス語に慣れ親しんでいきましょう。

【到達目標】

第一の目標はコミュニケーションの力を上げることです。それを実現するために次のポイントに重点を置きます。

1. フランス語の日常会話をもっと聞き取れるようにする。
2. フランス語の文法の知識を高め、色々な練習に通じて強化する。
3. フランス語の語彙や言い方を増やして、使えるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本授業は基本的には対面で進めることを想定していますが、状況に応じてオンライン授業へと移行することがあったら、お知らせします。初回授業時に、今後の進め方等についてガイダンスを行います。学生からの質問には授業時間内、または授業支援システムを通じてフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Introduction L1 p8,9 A la boulangerie (le nom :masculin, féminin, pluriel)	自己紹介 パン屋で 名詞： 男性形、女性形、複数
2回	L2 p12,13,14 Au marché, l'épicerie quantité indéfinie, La quantité	市場・食料品店で 部分冠詞 量の表現
3回目	L3 p16,17 Dans une papeterie Demander le prix Verbe + infinitif	文房具屋で 値段を聞く 動詞+原形)
4回目	L4 p20,21 Au café Passer une commande boissons, plats avoir prendre aller	カフェで 注文する、 飲み物、食べ物 持つ 取る 行く
5回目	L5 p22,23 A l'hôtel Faire une réservation les adjectifs	ホテルで 部屋の予約 形容詞

6回目	L5 p24,25 A la gare Faire une réservation de billet quel(s)/quelle(s)	駅で 切符の予約 疑問形容詞
7回目	Révisions Test de mi-trimestre	復習、 中間テスト
8回目	L6 p26,27 Dans une boutique Faire des achats Les vêtements (trop/assez)	洋服の店で 買い物をする 分、すぎる、 足りない
9回目	L8 p34,35 Au cabinet médical Prendre rendez-vous Imparfait	病院で 待ち合わせ 半過去
10回目	L9 p36 A la station de métro Demander des renseignements devoir, pouvoir	地下鉄の駅で 問い合わせ しなければならない できる
11回目	L9 p40,41 A l'office du tourisme Demander des renseignements Question complexe	観光案内で お問い合せ 疑問形 疑問詞
12回目	L10 p42,43 Au bureau des visas Obligation Emploi de "à"	領事館で 義務を表す言い方 “à”の使い方
13回目	L11 p44,45 A la station de ski Autoriser interdire un règlement	スキー場で 許可・禁止 規則定
14回目	Révisions Test final	復習 期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の予習・復習でやることは同じです。予習の段階では、知らない単語を確認し、完全にわからなくてもよいのでその課の文章を読み、意味を考えてくること。復習では、その日に学んだ点に関して、文法や構文のポイントを整理してください。

【テキスト（教科書）】

Communication Progressive du Français – A1 Niveau débutant 2eme Edition Livre de l'élève + Cd-audio, Editions Clé International, Claire MIQUEL ISBN-13 978-3125300163

【参考書】

辞書に関しては、電子辞書、紙の辞書どちらでも良いですが、手元に用意しておくくと便利です。授業の予習・復習にぜひ活用してください。

【成績評価の方法と基準】

1. 中間テスト・期末試験:60 %
2. 課題:30%
3. 積極性・平常点:10 %

【学生の意見等からの気づき】

文法をもっと詳しく説明し、補完的な練習問題を問い入れます。

【Outline (in English)】

This course is for students who have learned French for a year. In this class, students will use their knowledge of basic grammar and vocabulary to understand mainly spoken French in situations. At the end of the course, students will improve daily French speaking ability and communication capacity.

After each class meeting, students will be expected to spend one hour on this review. Reviewing learned expressions about dialogues of the textbook will be a good method.

Grading will be decided based on in-class and out-class contribution (30%), participation and presence (10%) and term-end examination (60%).

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語補講 Ⅲ

2017年度以降入学者

カレンス フィリップ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金6/Fri.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

先学期に引き続き、フランス語を聞き取り、理解し、話す力などの伸長に取り組みます。語彙と文法の知識を確認しながら、テキストに沿って授業を進めていきます。日常生活の場面に応じて生きたフランス語にふれることで、文法や語彙の知識を運用に結びつける方法を学んでいきましょう。

【到達目標】

第一の目標はコミュニケーションの力を上げることです。それを実現するために次のポイントに重点を置きます。

1. フランス語の日常会話をもっと聞き取れるようにする。
2. フランス語の文法の知識を高め、色々な練習に通じて強化する。
3. フランス語の語彙や言い方を増やして、使えるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

対話を聞き、理解を確かめた後、話題の内容に関係がある文法、語彙、言い方などのいろいろな練習問題に取り組む授業です。最後に場面に応じてロールプレイを行います。
学生からの質問には授業時間内に、または授業支援システムを通じてフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Révisions L13 p48,49 Au camping Protester Le futur proche	復習 キャンプ場で 批判 近接未来
第2回	L14 p52,53 A la banque Exprimer des projets futur simple	銀行で 計画を立てる 単純未来
第3回	L15 p54,55 Aux Galleries Lafayette Localiser Prépositions et adverbes de lieu	デパートで 居場所 場所の前置詞
第4回	L15 p58,59 Un objet perdu Localiser Passé composé et pronoms directs	落とし物 居場所 複合過去 直接目的語代名詞
第5回	L16 p60,61 Une maison à louer S'informer par téléphone Le pronom "en"	家を借りる 電話で問い合わせる "en" 代名詞

第6回	L17 p62,63 Les vacances Comparer Sites naturels Le comparatif	バカンスについて 比較する 自然の観光地 比較法
第7回	Révisions Test	復習、 中間テスト
第8回	L19 p66,67 Le temps (météo) La condition "Si" Hypothèse/ condition	天気予報 条件を表す言い方 仮定 条件
第9回	L20 p68,69 Nouveau bureau Les besoins Matériel du bureau Subjonctif: (verbes en "er")	新しいオフィス 事務用の機器 必要なもの 接続法："er"動詞
第10回	L21 p70,71 Dans la rue Saluer présenter: famille, connaissances Verbes pronominaux au présent	通りで 挨拶する 紹介する 家族/知り 合い 代名動詞
第11回	L22 p72,73 Excuser et s'excuser Actions quotidiennes Plus-que-parfait	謝る 日常行為 代過去
第12回	L23 p74,75 Un ami téléphone Téléphoner Pronoms personnels indirects	友だちからの電話 電話する 間接目的語代名詞
第13回	L24 p78,79 Au club de gym Donner des instructions (sport) Impératif	スポーツセンターで 指示する スポーツ 命令形
第14回	Révisions Test final	復習 期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
毎回の予習・復習でやることは同じです。予習では、とにかく辞書を引いて、
わからない単語を調べてきてください。復習では、授業で学んだこと
に関して、文法のポイントを整理してみてください。

【テキスト（教科書）】

Communication Progressive du Français - A1 Niveau débutant 2eme Edition : Livre de l'élève + Cd-audio, Editions Clé International, Claire MIQUEL ISBN-13 978-3125300163

【参考書】

電子辞書、紙の辞書どちらでも良いですが、手元に用意しておく
と便利です。
授業の予習・復習にぜひ活用してください。

【成績評価の方法と基準】

1. 中間テスト・期末試験: 60 %
2. 課題: 30%
3. 積極性・平常点: 10 %

【学生の意見等からの気づき】

文法をもっと詳しく説明し、補完的な練習問題を問い入れます。

【Outline (in English)】

Following the 1st year program, this course is for students who have learned French for a year and half. In this class, students will strengthen their knowledge of basic grammar and vocabulary to understand mainly spoken French in situations. At the end of the course, students will be able to understand more daily French conversation and develop communication ability. After each class meeting, students will be expected to spend one hour on this review. Reviewing learned expressions about dialogues of the textbook will be a good method. Grading will be decided based on in-class and out-class contribution (40%) and term-end examination (60%).

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

Intercultural Communication E 2017年度以降入学者

サブタイトル：Representation of French Culture and Society in Media

STEVE CORBEIL

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will examine films, television, social media, advertising, and other media platforms to understand how they shape and reflect cultural interactions and societal trends. We'll emphasize real-world analysis and practical applications to understand better the role media plays in intercultural communication.

【到達目標】

This course investigates how media reflects and shapes cultural values, societal norms, and political realities. Students will explore the representation of different cultures, particularly the portrayal of French culture in global media, while examining the influence of racism and political factors on intercultural communication. Through media analyses and case studies, students will develop the critical thinking and media literacy skills necessary to interpret and navigate today's complex intercultural media environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Interactive lectures, media analysis, group discussions

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Intercultural Communication and Media	Course objectives, key concepts
2	Media as a Cultural Mirror and Shaper	Media and cultural values, French cinema's portrayal of French society
3	Language, Racism, and Communication Styles in Media	Comparing French and American media
4	Politics, Power, and Media Representation	The portrayal of political issues in French media
5	Stereotypes and Media Representation	French stereotypes in international media
6	Media Consumption Habits Across Cultures	Comparing how different cultures consume and engage with media (France, USA, Japan)

7	Advertising and Cultural Nuances	Analyzing French advertising campaigns and their cultural implications
8	French TV on Netflix - Part 1	Emily in Paris
9	French TV on Netflix - Part 2	Lupin
10	French TV on Netflix - Part 3	Future trends
11	Theoretical Perspectives - Achille Mbembe	Reading Achille Mbembe
12	Representation of French Culture in Japanese Media	Drops of God and other manga about French culture
13	French caricatures	Analyzing French caricatures
14	Recap and exam	Students questions and exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around four hours per week for two-credits course.

【テキスト (教科書)】

This class does not require a textbook.

【参考書】

Jane Jackson, *Introducing Language and Intercultural Communication*, Routledge, 2023.

Ingrid Piller, *Intercultural Communication: A Critical Introduction*, Edinburgh University Press, 2017.

Achille Mbembe, *Necropolitics*, Duke University Press Books, 2019.

【成績評価の方法と基準】

Participation: 30%

Readings and media analysis: 30%

Final exam: 40%

【学生の意見等からの気づき】

This is the first time I am teaching this course. There are currently no student comments.

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

Intercultural Communication F 2017年度以降入学者

サブタイトル：A Global History of France

ル ルー 清野 ブレンダン

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉〈ダ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course explores topics in the history of France from a global perspective, mainly focusing on early and ancient history. In recent years, global history, alongside connected history or transnational history, has revealed complex interactions between goods, ideas, people across nation-states and regions.

The aim of this course, thus, is to provide students with an overview of the History of France, not as a nation-state per se but as a part of a connected, global world. The course will principally follow the (mainly) acclaimed *France in the World - A New Global History*, edited by Patrick Boucheron and Stéphane Gerson.

【到達目標】

By the end of this course, students should be able to:

- understand and explain key concepts and ideas about the history of France in a global perspective;
- critically read and analyse academic readings on the history of France by incorporating the framework of global history;
- discuss their ideas on the history of France with others;
- deploy appropriate analytical tools to critically examine various historical materials.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course consists of lectures, class discussions, group activities, and student presentations (depending on the number of enrolled students).

All work is carried out in English in class and that includes interaction between students and from students to teacher. Students will deal with reading various historical and academic texts, looking at visual documents such as pictures and diagrams, watching videos, then they will discuss these, try to answer questions, and apply strategies to solve problems. The format of the course will be as interactive and participatory as possible, with the help of screened slides in order to explain important facts and/or concepts.

The key to success in this course is weekly preparation and review of the class content, and active participation during class discussion and group works, in order to build a common knowledge about the history of France in a global perspective.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	- Self-introductions - Overview of the syllabus - Presentation of the reference book: <i>France in the World - A New Global History</i>
2	Early stirrings in one corner of the World ①	- 34,000 BCE: Creating the World Deep inside the Earth - 23,000 BCE: Man Gives Himself the Face of a Woman
3	Early stirrings in one corner of the World ②	5,800 BCE: From the Plenitude of Eastern Wheat Fields
4	Early stirrings in one corner of the World ③	- 600 BCE: Marseille: A Greek Outpost in Gaul?
5	Early stirrings in one corner of the World ④	- 52 BCE: Alésia: The Meaning of Defeat
6	From one Empire to another ①	Group presentations ①
7	From one Empire to another ②	Group presentations ②
8	From one Empire to another ③	Group presentations ③
9	The feudal order triumphs ①	- 842-843: When Languages Did Not Make Kingdoms ①
10	The feudal order triumphs ②	- 842-843: When Languages Did Not Make Kingdoms ②
11	The feudal order triumphs ③	- 1066: Normans in the Four Corners of the World ①
12	The feudal order triumphs ④	- 1066: Normans in the Four Corners of the World ②
13	France expands ①	- The Two Europes, and the France of Bouvines
14	France expands ②	- Universitas: the "French model"

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to read all the assignments (given in advance) and be ready for class discussions, group activities and presentations in class.

University guidelines suggest preparation and review should be around four hours a week for a two-credit course like this one.

【テキスト (教科書)】

There is no textbook to be bought for this class.

However, reading and viewing assignments will be made available in the reserve section of the library and/or uploaded to the course website on Hoppii (student information management system).

【参考書】

France in the World - A New Global History, edited by Patrick Boucheron and Stéphane Gerson, Other Press, 2019.

【成績評価の方法と基準】

50%- Attendance, class participation, short tests (in class)

30%- Homework, "preparation sheets", etc. (at home)

20%- Final group presentation or report or final exam (depending on the number of enrolled students)

Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. Therefore, you will not be able to pass this course if you miss more than three classes. Moreover, full score for regular attendance is only given to those students attending all classes. Each absence will result in a 10% lowering of your final grade. If you are absent for any reason, you must contact the lecturer through e-mail and explain.

【学生の意見等からの気づき】

n/a (No particular comments made last year.)

【その他の重要事項】

- The course will be given in English, therefore students are expected to have a basic knowledge of English at university level. But perfect English is NOT required to take this class (the lecturer does not use himself a perfect English). The will to develop your English skills and an interest in history and historical texts is also expected. When necessary, additional explanations (e.g. difficult terms) may be given in Japanese or other languages.
- Students being late more than 15 minutes for no valid reason will see their attendance grade lowered by 5%(i.e. 2 times late = 1 absence).
- Depending on the number of enrolled students and on the rhythm of the class, the above schedule is subject to change.
- Please refrain from private conversations during class and from using your phone or computer to use SNS or play games (!?!), but feel free to ask any questions you may have.
- Using automatic translation or AI for this class is not in your interest as you will not be able to use them for tests and presentations... Please rather try to read and understand the documents directly in English.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講 3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通じて、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「目的語が主述句のとき」など3項目）の説明
2	第1課	「中国に行こう」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「逆接を表す“可是”」など3項目）の説明
4	第2課	「ウーロン茶を飲もう」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「疑問詞“怎么”」など3項目）の説明
6	第3課	「友だちをつくろう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「副詞“就”」など2項目）の説明
9	第4課	「長城に登ろう」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「仮定を表す“要是”」など3項目）の説明
11	第5課	「漢字を覚えよう」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「又～又～」など3項目）の説明
13	第6課	「街を歩こう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一歩』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通して、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「部分否定」など3項目）の説明
2	第7課	「中国映画を見よう」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など3項目）の説明
4	第8課	「シルクを買おう」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「強調表現」など2項目）の説明
6	第9課	「中華を食べよう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「推測を表す“会”」など3項目）の説明
9	第10課	「太極拳を習おう」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「結果補語」など2項目）の説明
11	第11課	「水滸伝を楽しもう」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「介詞“把”」など2項目）の説明
13	第12課	「春節を過ごそう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一歩』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講 3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通じて、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「目的語が主述句のとき」など3項目）の説明
2	第1課	「中国に行こう」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「逆接を表す“可是”」など3項目）の説明
4	第2課	「ウーロン茶を飲もう」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「疑問詞“怎么”」など3項目）の説明
6	第3課	「友だちをつくろう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「副詞“就”」など2項目）の説明
9	第4課	「長城に登ろう」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「仮定を表す“要是”」など3項目）の説明
11	第5課	「漢字を覚えよう」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「又～又～」など3項目）の説明
13	第6課	「街を歩こう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一歩』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通して、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「部分否定」など3項目）の説明
2	第7課	「中国映画を見よう」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など3項目）の説明
4	第8課	「シルクを買おう」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「強調表現」など2項目）の説明
6	第9課	「中華を食べよう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「推測を表す“会”」など3項目）の説明
9	第10課	「太極拳を習おう」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「結果補語」など2項目）の説明
11	第11課	「水滸伝を楽しもう」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「介詞“把”」など2項目）の説明
13	第12課	「春節を過ごそう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一歩』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講 3 I

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む・書く・聞く・話すという4技能のレベルを高める。
- ・中国の文化や現在の社会状況について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明、併せて初級事項の定着度テストを行う。
2	第1課 中国的早餐	方向補語・連動文・会話文の読解と解釈など
3	第1課 中国的早餐	短文の読解と解釈・練習問題など
4	第2課 坐出租	結果補語・仮定の表現・会話文の読解と解釈など
5	第2課 坐出租	短文の読解と解釈・練習問題など
6	第3課 "昂"的咖啡	兼語文・"越来越～"・会話文の読解と解釈など
7	第3課 "昂"的咖啡	短文の読解と解釈・練習問題など
8	第4課 AA制和AB制	受身の表現・"吧"・会話文の読解と解釈など
9	第4課 AA制和AB制	短文の読解と解釈・練習問題など
10	第5課 拉肚子	"是～的"構文・可能性を表す"会"・会話文の読解と解釈など
11	第5課 拉肚子	短文の読解と解釈・練習問題など
12	第6課 网	不定の表現・"不是～，而是～"・会話文の読解と解釈など
13	第6課 网	短文の読解と解釈・練習問題など
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は音声ファイルを聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道【準中級編】—浅きより深きへ—改訂新版』（内田慶市など、金星堂、2022、2300円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total. The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3Ⅱ

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む・書く・聞く・話すという4技能のレベルを高める。
- ・中国の文化や現在の社会状況について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 "剩男"、"剩女"	"オ"のニュアンス・"怎么"・会話文の読解と解釈など
2	第7課 "剩男"、"剩女"	短文の読解と解釈・練習問題など
3	第8課 大学生☒☒少打工, 多学☒	"一〜就…"・離合詞・会話文の読解と解釈など
4	第8課 大学生☒☒少打工, 多学☒	短文の読解と解釈・練習問題など
5	第9課 表示感☒☒的☒☒	「また」を表す"再"と"又"・二重目的語をとることのできる動詞・会話文の読解と解釈など
6	第9課 表示感☒☒的☒☒	短文の読解と解釈・練習問題など
7	第10課 年☒人☒的就☒☒	"考"・存現文・会話文の読解と解釈など
8	第10課 年☒人☒的就☒☒	短文の読解と解釈・練習問題など
9	第11課 月光族	可能補語・「得意」を表す"会"・会話文の読解と解釈など
10	第11課 月光族	短文の読解と解釈・練習問題など
11	第12課 海外的☒☒奇遇	後置される介詞・いろいろな介詞・会話文の読解と解釈など
12	第12課 海外的☒☒奇遇	短文の読解と解釈・練習問題など
13	☒展☒☒	巻末練習問題の解説など
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は音声ファイルを聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道【準中級編】—浅きより深きへ—改訂新版』（内田慶市など、金星堂、2022、2300円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。尚、秋学期から受講する者は、3月・4月の時点で指定テキストを購入し、前もって第6課までの内容を読んでノートにまとめておくこと。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total.

The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語補講 3 I

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在形規則動詞	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在形規則活用の復習 (テキスト：第1課)
2	直説法現在形不規則動詞	直説法現在形不規則活用の復習 (テキスト：第1課、第2課)
3	目的格代名詞	目的格代名詞の復習 (テキスト：第3課)
4	gustar型動詞 関係代名詞que	gustar型動詞の復習 関係代名詞queの用法 (テキスト：第3課)
5	直説法点過去形規則動詞 直説法点過去形不規則動詞 (1)	直説法点過去形の活用の復習 (テキスト：第4課)
6	再帰動詞 seの受け身	再帰動詞の基本用法 再帰動詞を用いた受け身表現 (テキスト：第4課)
7	直説法点過去形不規則動詞(2)	直説法点過去形不規則活用の復習 (テキスト：第5課)
8	中間試験 過去分詞 直説法現在完了形	中間試験 過去分詞の作り方と用法 直説法現在完了形の復習 (テキスト：第5課)

9	直説法線過去形	直説法線過去形の復習 点過去形と線過去形の使い分け (テキスト：第6課)
10	無人称文 感嘆文	再帰動詞および3人称複数形を用いた無人称文の作り方 感嘆文の作り方 (テキスト：第6課)
11	直説法過去完了形	直説法過去完了形の意味と用法 (テキスト：第7課)
12	ser受動態	動詞serを用いた受け身表現 (テキスト：第7課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

西川喬『基礎から学ぼう！ スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』(朝日出版)、2,300円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense

- Preterite past tense

- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)

- Mid-term exam (30%)

- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語補講3Ⅱ

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来形 直説法過去未来形	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来形の意味と用法 直説法過去未来形の意味と用法 (テキスト：第2課、第8課)
2	不定詞 + 目的格代名詞	不定詞と目的格代名詞および再帰代名詞の接続 (テキスト：第8課)
3	進行形	現在進行形、過去進行形、未来進行形の文の作り方 (テキスト：第9課)
4	命令法	命令文の作り方 (テキスト：第9課)
5	接続法現在形規則 動詞 接続法現在形語幹母音変化動詞	接続法の概念 接続法現在形の規則活用と語幹母音変化動詞 (テキスト：第10課)
6	接続法現在形の命令用法	命令文で用いられる接続法現在形 (テキスト：第10課)
7	接続法現在形不規則動詞	接続法現在形のその他の不規則活用 (テキスト：第11課)
8	中間試験 接続法現在形の用法①	中間試験 接続法現在形の名詞節での用法 (テキスト：第12課)

9	接続法現在形の用法②	接続法現在形の形容詞節での用法 (テキスト：第13課)
10	現在分詞構文	現在分詞構文の意味と用法 (テキスト：第13課)
11	接続法現在形の用法③	接続法現在形の副詞節での用法 (テキスト：第14課)
12	接続法過去形	接続法過去形の活用と用法 (テキスト：第14課)
13	秋学期の復習	期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

西川喬『基礎から学ぼう！ スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』(朝日出版)、2,300円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。
なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-I (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELTA A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 ー初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年（1900円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文化を紹介する時間がもう少し取れるよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『ブチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-II (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験(仏検)3級～準2級レベル、DELFA2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進捗は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし /No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞＋関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroït	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroït	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculeur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculeur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロンディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習(宿題として指示します)を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語ー初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年(1900円＋税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文化を紹介する時間がもう少し取れるよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書(紙の辞書、電子辞書のどちらでも可)。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『ディコ仏和辞典』(白水社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社)などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が(「フランス語3 インテンシブ」の方が)進捗が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 (3) I (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級レベル、DELTA A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 ―初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年 (1900円+税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文化を紹介する時間がもう少し取れるよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書 (紙の辞書、電子辞書のどちらでも可)。『ブチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『ディコ仏和辞典』(白水社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社) などがおすすです。

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が (「フランス語3 インテンシブ」の方が) 進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 (3) II (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級～準2級レベル、DELFA2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進捗は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞 + 関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroite	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroite	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculeur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculeur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロンディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 ―初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年 (1900円 + 税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文化を紹介する時間がもう少し取れるよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書 (紙の辞書、電子辞書のどちらでも可)。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『ディコ仏和辞典』(白水社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社) などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が (「フランス語3 インテンシブ」の方が) 進捗が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語(3) I 2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語1と2で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の不完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40％、期末試験60％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60％、in class contribution: 40％ the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	被動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40%、期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 B - I (視聴覚) 2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 語彙、文型を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
 あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
 なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 サランバンのお客さんとおモニ ①②	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとおモニ ③④ シークレットガーデン 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとおモニ ⑤⑥ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとおモニ ⑦⑧ シークレットガーデン 2	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとおモニ ⑨⑩ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	サランバンのお客さんとおモニ ⑪⑫ シークレットガーデン 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとおモニ ⑬⑭ シークレットガーデン 4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	サランバンのお客さんとおモニ ⑮⑯	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

9	中間試験 シークレットガーデン 5	単語 暗誦 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとおモニ ⑰⑱ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さんとおモニ ⑲⑳ シークレットガーデン 6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとおモニ 最終回 シークレットガーデン 7	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、聞き取り・翻訳・暗記等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は各2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語 1』学研
 シークレットガーデン DVD

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40 %、テスト 60 %
 単語テストが50点以下の場合単位が出ない。
 4回以上の欠席で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られればネイティブとの会話の時間を設けます。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法 (法律学科・政治学科) 文営」でパターンB (朝鮮語週2コマ) を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 B - II (視聴覚) 2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通じ、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産 2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	スピーチなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	華麗なる遺産 4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	アナウンスなど	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産 5	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	中間試験	単語 暗唱小テスト

10	華麗なる遺産 6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	華麗なる遺産 7	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産 8	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

スクリプト翻訳・単語暗記・音読・暗唱等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は合計4時間を要する。

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、積極性、課題）40％、テスト60％
 単語テストが50点以下の場合は、単位が出ない。
 4回欠席の場合、単位が出ない。

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 A- I (講読) 2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・自己紹介など
2	「日韓の狭間での対馬の苦悩」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	「江戸時代の朝鮮通詞」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	「韓医学」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	「書芸」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	「ソウルという名称」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
9	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

10	小説・ベストセラー作品を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説・ベストセラー作品を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説・ベストセラー作品を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説・ベストセラー作品を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】**【授業の概要（Course outline）】**

By reading newspaper articles, essays, novels, etc. ,this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 A- II (講読) 2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・自己紹介など
2	新聞記事を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	新聞記事を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	新聞記事を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	詩を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	詩を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
9	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

10	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】**【授業の概要（Course outline）】**

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 B- I (表現法) 2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話スムーズにできるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせ、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPTを作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 BTS、KPOP 再燃するか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』 韓国映画 1000 万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』 正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』 南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 「小1保護者 10 時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

12	『時事韓国語』 「高齢者 10 人に 1 人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80 %.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 B- II (表現法)

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』 11「政府、原発新設 白紙化問題」	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』 12「はじめて呼ぶお 父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、 協力と統合」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
3	『時事韓国語』 14「南北65年ぶり終 戦宣言」 15「気候変動とウミ ガメ」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
4	『時事韓国語』 16「日本の公衆ト イレ」 17「米朝70年の対立 に終止符」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
5	18「監視カメラ」 19「5G先取り競争」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解

8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験 現場」 25「不動産事情、ソ ウル、地方」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就 業者の増加」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ 韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュース ロッテ5連勝中」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、 巨大な壁を打ち破 った英雄」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソ ウル桂洞」 35「蚊を追ひ払う方 法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、干 しだらのカルダクス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーショ ン

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80%.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)	
朝鮮語 4 C- I (コミュニケーション)	2017年度以降入学者
乾 浩	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2	
単位数：1単位	
定員制 (30)	
2022年度までに「朝鮮語 3 C-I」の単位を修得済みの場合、履修不可	
その他属性：	

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は、朝鮮語1・2で修得した文法知識を基に、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指すことです。会話力と聴解力の向上を図り、自分の考えや経験を朝鮮語で効果的に表現できる力を養います。また朝鮮漢字音から日本漢字音への変換規則を学びます。

【到達目標】

1. 教材の会話文の文法構造を理解し、説明できる。
2. 学習した会話表現を正確な発音で話すことができる。
3. 学習した表現を応用して、自分の考えや経験を朝鮮語で表現できる。
4. 日常的な場面での基本的な会話を聞いて理解することができる。
5. 朝鮮漢字音から日本漢字音への変換規則を習得することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 前回の授業内容についての小テストを行う。
2. 課題の答え合わせと解説を行う。
3. 各課の重要事項を理解した後、練習問題を行う。
4. 学生同士で会話練習をする。
5. 今回学習した内容の確認テストを行う。

授業の始めに、前回の小テストのフィードバックを行う。

授業計画は、授業の展開によって、若干の変更があり得る。

連絡事項や課題等は「Google Classroom」を通して行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 学番の言い方 (1課-前半)	授業の進め方・評価方法の説明 해요体の作り方
2	相手の学番を聞く練習 (1課-後半)	합니더体の使い方 終声「로」の対応
3	漢字音変換規則-終声1 意志や推測の言い方 (2課-前半)	-ㄱ 거예요 (意志・推量)、-고 (並列) 終声「ㄱㅏㅓ」の対応
4	漢字音変換規則-終声2 目標を言う練習 (2課-後半)	-지요／ㄹ까요? (確認) 終声「ㅇ ㅁ」の対応
5	漢字音変換規則-終声3 逆接の言い方 (3課-前半)	-지만 (逆接)、-ㄴ (形容詞の現在連体形) 初声「로ㅎㅓㅕ」
6	漢字音変換規則-初声1 依頼表現の練習 (3課-後半)	-아/어 주다 (依頼) 初声「ㅏㅓㅕㅗㅛㅜㅝ」
7	漢字音変換規則-初声2 中間試験	試験・まとめと解説
8	条件・仮定の言い方 (4課-前半)	-면 (条件・仮定)、-는 (動詞の現在連体形) 初声「ㄴㄷㅌㅍ」の対応
9	漢字音変換規則-初声3 条件を言う練習 (4課-後半)	-지 않다 (否定) 初声「ㅎㅈㅊ」の対応
10	漢字音変換規則-初声4 感嘆の言い方 (5課-前半)	-ㄴ (動詞の過去連体形)、-네요 (感嘆) 中声「ㅏㅓㅕ」の対応
11	漢字音変換規則-中声1 最近の出来事を話す練習 (5課-後半)	ㄷ 変則活用 中声「ㅏㅓㅕ」の対応
12	漢字音変換規則-中声2 謝罪の言い方 (6課-前半)	-ㅎ (尊敬)、-아서/어서 (理由) 中声「ㅏㅓㅕ」の対応
13	漢字音変換規則-中声3 理由を言う練習 (6課-後半)	-ㄴ (動詞の未来連体形)、-지 못하다 (不可能) 中声「ㅏㅓㅕ」の対応
14	漢字音変換規則-中声4 期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

須賀井義教他(2025)『三訂版・韓国語の世界へ 初中級編』朝日出版社
※初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

内山政春(2022)『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社
須賀井義教(2023)『確認しながらおぼえる韓国語基本単語帳』朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

1. 欠席回数が学期の三分の一を超えたときは、単位を認めない。
2. 3回の遅刻で1回欠席としてカウントする。
3. 平常点(20%)、課題・小テスト(20%)、定期試験(60%)をもとにして、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業の連絡や課題の提出は「Google Classroom」を利用する。

【その他の重要事項】

履修上の注意：

この科目は「法(法律学科・政治学科) 文営」でパターンB(朝鮮語週2コマ)を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定する。初回の授業にかならず出席のこと。該当者が初回4Bに出席し、そこで抽選で外れた場合は、2回目からでも受け入れることにする。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to develop practical communication skills in Korean, building on the grammatical foundation acquired in Korean 1 and 2. This course deals with conversational and listening comprehension abilities. It also enhances students' skill in expressing their thoughts and experiences effectively in Korean.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the following:

- Engage in daily conversations using appropriate expressions in Korean
- Comprehend spoken Korean in various everyday situations
- Express their own thoughts and experiences effectively in Korean

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to spend two hours on preparation and review before and after each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation: 20%, Assignments and quizzes: 20%, Final examination: 60%

- Students must achieve at least 60%of the course objectives to pass this course.

- Students who miss more than one-third of the total classes will not receive credit for the course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4C-II (コミュニケーション) 2017年度以降入学者

乾 浩

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2022年度までに「朝鮮語3C-II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、朝鮮語1・2で修得した文法知識を基に、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指すことがこの授業の目的です。会話力と聴解力の向上を図り、自分の考えや経験を朝鮮語で効果的に表現できる力を養います。さらに、ニュース等のメディアコンテンツを聞き取り、内容を理解する力を養っていきます。

【到達目標】

1. 教材の会話文の文法構造を理解し、説明できる。
2. 学習した会話表現を正確な発音で話すことができる。
3. 学習した表現を応用して、自分の考えや経験を朝鮮語で表現できる。
4. 日常的な場面での基本的な会話を聞いて理解することができる。
5. ニュース等のメディアコンテンツを聞き取り、内容を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 前回の授業内容について的小テストを行う。
2. 課題の答え合わせと解説を行う。
3. 各課の重要事項を理解した後、練習問題を行う。
4. 学生同士で会話練習をする。
5. 今回学習した内容の確認テストを行う。

授業の始めに、前回の小テストのフィードバックを行う。
授業計画は、授業の展開によって、若干の変更があり得る。
連絡事項や課題等は「Google Classroom」を通して行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 経験の言い方 (7課-前半)	授業の進め方・評価方法の説明 -ㄴ 적이 있다/없다(経験)、-고 있다(進行)
2	経験を言う練習 (7課-後半) 視聴覚教材-1-1	ㄹ 변則活用(用言) ニュース原稿の読解
3	理由を説明する言い方 (8課-前半) 視聴覚教材-1-2	-아/어 있다 (状態の継続)、-니까 (理由) ニュースの聴解と要約
4	決定や約束を言う練習 (8課-後半) 視聴覚教材-2-1	-르게요 (聞き手への約束) ニュース原稿の読解
5	許可と禁止の言い方 (9課-前半) 視聴覚教材-2-2	-ㄴ데 (婉曲)、-아도/어도 되다 (許可) ニュースの聴解と要約
6	許可を求める練習 (9課-後半) 中間試験	ㄹ 변則活用(用言) 試験・まとめと解説
7	意見を述べる言い方 (10課-前半) 視聴覚教材-3-1	-겠- (意志・推量)、-거든요 (根拠) ニュース原稿の読解
8	義務や必要性を伝える練習 (10課-後半) 視聴覚教材-3-2	-아야/어야 되다 (義務) ニュースの聴解と要約
9	相手の意向を聞く言い方 (11課-前半) 視聴覚教材-4-1	-을까요? (問い合わせ)、-아/어 보다 (試み) ニュース原稿の読解
10	試みを言う練習 (11課-後半) 視聴覚教材-4-2	-ㄴ 수 있다/없다(可能・不可能) ニュースの聴解と要約
11	推測や意図を述べる言い方 (12課-前半) 視聴覚教材-5-1	-것 같다 (推測)、-려고 하다 (意図) ニュース原稿の読解
12	将来の計画を言う練習 (12課-後半) 視聴覚教材-5-2	-지 않다 (禁止) ニュースの聴解と要約

14 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

須賀井義教他(2025)『三訂版・韓国語の世界へ 初中級編』朝日出版社
※初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

内山政春(2022)『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社
須賀井義教(2023)『確認しながらおぼえる韓国語基本単語帳』朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

1. 欠席回数が学期の三分の一を超えたときは、単位を認めない。
2. 3回の遅刻で1回欠席としてカウントする。
3. 平常点(20%)、課題・小テスト(20%)、定期試験(60%)をもとにして、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業の連絡や課題の提出は「Google Classroom」を利用する。

【その他の重要事項】

履修上の注意：

この科目は「法(法律学科・政治学科) 文営」でパターンB(朝鮮語週2コマ)を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定する。初回の授業にかならず出席のこと。該当者が初回4Bに出席し、そこで抽選で外れた場合は、2回目からでも受け入れることにする。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The aim of this course is to develop practical communication skills in Korean, building on the grammatical foundation acquired in Korean 1 and 2. This course deals with conversational and listening comprehension abilities. It also enhances students' skill in expressing their thoughts and experiences effectively in Korean.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the following:

- Engage in daily conversations using appropriate expressions in Korean
- Comprehend spoken Korean in various everyday situations
- Express their own thoughts and experiences effectively in Korean

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to spend two hours on preparation and review before and after each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Class participation: 20%, Assignments and quizzes: 20%, Final examination: 60%
- Students must achieve at least 60% of the course objectives to pass this course.
- Students who miss more than one-third of the total classes will not receive credit for the course.

BIO200LA (その他の総合生物・生物学 / Biology 200)

Natural Science A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 真介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈グ〉〈S〉〈カ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The UN 2030 Agenda for Sustainable Development (Sustainable Development Goals: SDGs) has come to be recognized as a common challenge for the human society, which is a manifestation of the severity of various problems we as a species are faced with. In light of this current situation, this course focuses on the concept of "sustainability" so as to provide students with an opportunity to learn about basic scientific aspects of environmental problems and also to learn about relevant social issues in an attempt to provide a holistic view of human impact on the global environment.

【到達目標】

This course is designed to teach about ecological and social issues. Therefore, the course objectives are: 1) to understand basic scientific concepts required to comprehend various environmental problems; 2) to understand social problems related to the environmental problems addressed in this course; and 3) to form personal perspective and opinion about the current state of human society by understanding the interrelated nature of the environmental and socioeconomic problems.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

The course will be taught mainly in a face-to-face lecture format, however, there will also be opportunities for students to actively participate in class through, for example, group activities and discussions. In addition to in-class interactions, students will submit their opinions about/reactions to the materials presented in each class, and the instructor will give feedback/answer questions, as needed.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Understanding sustainability and basic features of ecosystem	As an introduction to the course, the concept of sustainability and the basic features of ecosystem will be discussed.
Week 2	Atmospheric changes and their consequences	In light of the ongoing "climate crisis", the composition of the Earth's atmosphere and consequences of atmospheric changes will be discussed.

Week 3	Water cycle and the use of water resource	As an essential matter for sustaining life and ecosystem, the water cycle and use of water resource will be discussed.
Week 4	Energy supply	Energy supply in ecosystem and energy issue in the human society will be discussed.
Week 5	What is "soil"?	The importance of soil in an ecosystem will be discussed in relation to ongoing environmental problems.
Week 6	What is biodiversity and why is it important?	Basic features and current state of biodiversity will be discussed in relation to its importance for the human society.
Week 7	Applied ecology for sustainable resource management	Group activity is used to integrate the concepts learned in the previous lectures and apply them to ecological problem solving.
Week 8	Ecological issues of modern agriculture	Positive and negative impacts of agricultural modernization will be discussed.
Week 9	Food production and environmental conservation	Approaches to achieving food security without degrading environment will be discussed with concrete examples.
Week 10	Is development sustainable?	Focusing on mineral resources, issues related to demand and supply of natural resources will be discussed.
Week 11	Consequences of "unwanted" development	Environmental and social problems caused by "development" in the developing world will be discussed.
Week 12	Understanding multi-stakeholder problem solving	Group work will be used to integrate the concepts learned in the previous lectures and apply them to socio-ecological problem solving.
Week 13	Toward a sustainable society	Alternative models that may help build a sustainable society will be discussed.
Week 14	What is happening in the global environment and where do we go from here?	The course contents will be reviewed to grasp the current state of the global environment, and future prospects will be discussed.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to review contents of individual lectures, thoroughly read distributed materials, and utilize the online learning support system, as needed. Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

【テキスト (教科書)】

None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】

To be announced as needed.

【成績評価の方法と基準】

Student performance will be graded based on quizzes (40 %), a final assignment (40 %), and participation/in-class contribution (20%). Quizzes will be used to evaluate understanding of course materials (Course objectives 1 and 2). The final assignment will be an opportunity for students to demonstrate their understanding of the course material by presenting their personal analysis/opinion about the current state of human society (Course objective 3). Participation will be used to evaluate student performance in each class and in-class activities.

【学生の意見等からの気づき】

Providing opportunities for students to interact with other students and exchange their opinions proved to be effective in enhancing their learning.

【学生が準備すべき機器他】

Students will need to have access to Hosei's e-learning system (WebClass). Online format may be used, as needed, and students are expected to prepare necessary devices in such a case.

【その他の重要事項】

There is an enrollment limit of 30 students. There will be selection, if the limit is exceeded, and, to be included in the selection, you will be required to pre-register for the course a few days before the semester begins. Additional information will be provided through the e-learning system, as needed.

【Outline (in English)】

[Course outline] The UN 2030 Agenda for Sustainable Development (Sustainable Development Goals: SDGs) has come to be recognized as a common challenge for the human society, which is a manifestation of the severity of various problems we as a species are faced with. In light of this current situation, this course focuses on the concept of "sustainability" so as to provide students with an opportunity to learn about basic scientific aspects of environmental problems and also to learn about relevant social issues in an attempt to provide a holistic view of human impact on the global environment.

[Learning objectives] The course objectives are: 1) to understand basic scientific concepts required to comprehend various environmental problems; 2) to understand social problems related to the environmental problems addressed in this course; and 3) to form personal perspective and opinion about the current state of human society by understanding the interrelated nature of the environmental and socioeconomic problems.

[Learning activities outside of classroom] In addition to attending classes, students are expected to review contents of individual lectures, thoroughly read distributed reading materials, and utilize the online learning support system, as needed. Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

[Grading criteria/policy] Final grade will be determined based on quizzes (40 %), final assignment (40 %), and participation/in-class contribution (20%).

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)		5	Array 3	You will learn how to declare an array without explicitly initializing it.
Information Technology		6	Array 4	You will learn an advanced technique on how to use an array.
サブタイトル：		7	Function 1	You will learn the basics of a function. You will see the similarities and the differences between functions in mathematics and those in programming.
斎藤 明		8	Function 2	You will learn how to write and use functions which return a value. They are similar to the functions in a mathematical sense.
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水5/Wed.5		9	Function 3	You will learn how to write and use functions which do not return a value. You will understand that in a programming language, the word "function" is used in a sense broader than the counterpart in mathematics.
単位数：2単位		10	How to Use Functions	You will learn how to divide a whole program into meaningful small parts and convert them into functions.
定員制		11	Scope Rule	When you write a program, you declare a number of variables inside and outside of functions. You will learn which of them you can refer in a specific part of the program.
グローバル・オープン科目として、IGESS 生は履修しない。No enrollment for students of IGESS as the Global Open Course.		12	Recursion 1	You can call a function from inside of a function. Recursion is a special type of calling in which you call a function which is the same as the one you are currently in.
その他属性：〈グ〉		13	Recursion 2	You will learn how to use recursion. Many tasks in the information processing are described in a recursive manner. You will learn how to naturally convert the recursive description into a recursive function.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		14	Exercises	You are required to solve various types problems on what you have learned in this course. The solutions to these problems are explained in the latter half of the class.
Processing is a computer language which provides you with a beginner-friendly graphical environment. Aiming at those who have learned basic elements of Processing in the course "Elementary Information Technology", this course teaches you mid-level elements of Processing, which enable you to develop a sufficiently large software.		【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		Homework is assigned in each class. You are required to finish it by the next class. Also the slides for the next class are available a couple of days in advance. You are required to browse them and grasp the image of the upcoming class. An estimated time for this work is 4 hours.
【到達目標】		【テキスト（教科書）】		None.
In the course "Elementary Information Technology", you have learned how to use various types of variables as well as basic statements such as if, while and for statements. In this course, you will learn arrays, which can store more than one values, and functions, which integrate similar codes into one component. Both are essential elements when you develop a large-scale software.		【参考書】		None
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		【成績評価の方法と基準】		Your are assessed from the following points.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP4、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1				
【授業の進め方と方法】				
The class consists of a lecture and exercises. The lecture is delivered through slides. You are required to write short programs as exercises during the class. A homework is assigned at the end of the class, which you are required to finish by the next class.				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】				
なし /No				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】				
なし /No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	Review of the basic grammar of Processing 1	You will review what you have learned in "Elementary Information Technology". We will focus on variables and conditional statements.		
2	Review of the basic grammar of Processing 2	You will review what you have learned in "Elementary Information Technology". We will focus on statements performing loops.		
3	Array 1	You will learn a type called an array. It will enable you to store multiple values under a common name.		
4	Array 2	You will learn how to declare an array with an explicit initialization.		

The quality of the exercises you submit from 1st to 13th classes
: 30%

The quality of the submitted homework : 50%

The quality of the exercises you submit in the last (14th.) class
: 20%

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

None

CAR200LA (キャリア教育 / Career education 200)

Career Development Skills 2017年度以降入学者

サブタイトル：

AMINE A ABBADIE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Career Development Skills offers students in English degree program the opportunity to acquire the mindset and knowledge they need to develop their careers. This course is recommended for students who have taken Elementary Career Development in the fall semester and wish to further deepen their self-understanding and gather information about their own careers. In addition to reviewing various career theories, methods of self-understanding and job aptitude learned in Elementary Career Development, students will also learn about the latest trends in Japanese companies and overseas companies doing business in Japan. Moreover, the latest information on job hunting in Japan will be provided. By learning these wide-ranging topics, students will aim at raising their awareness of the profession and design their careers.

【到達目標】

Students will aim at:

- (1) understanding the significance of work and career and knowledge to design their own career.
- (2) deepening their understanding of personal profiles, values, aspirations, skills and lifestyles.
- (3) knowing skills and competencies required for careers that students want to explore.
- (4) exploring internships and job opportunities spontaneously.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course consists of lectures by the instructor, students' presentations and discussions. Students will occasionally work to create a worksheet during the class. All of the class activities will be conducted in English.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Outline of the course. Introduction of instructor. Free discussion on "career" and career development Skills.
Week 2	Self-Assessment and Goal Setting	To help students understand their strengths, weaknesses, interests, and values.
Week 3	Skill Development	To assist students in identifying and developing key professional skills.

Week 4	Networking and Relationship Building	To teach effective networking strategies and relationship management.
Week 5	Resume Writing and Personal Branding	To guide students in creating impactful resumes and developing a strong personal brand.
Week 6	Job Search Strategies	To equip students with effective job search techniques.
Week 7	Interview Skills	To prepare students for job interviews.
Week 8	Negotiation and Decision Making	To improve negotiation skills and decision-making abilities.
Week 9	Career Advancement and Leadership	To assist in developing leadership skills and strategies for career advancement.
Week 10	Work-Life Balance and Wellness	To emphasize the importance of maintaining a healthy work-life balance.
Week 11	Future Trends and Adaptability	To prepare for future trends and the evolving job market.
Week 12	Career Advocacy	Learning how to effectively advocate for oneself in terms of career advancement, including asking for promotions, raises, or additional responsibilities
Week 13	Guest Speaker	People who are active in various fields are invited to talk about their careers
Week 14	Recap	Recap of the key points. Encouragement to take charge of one's career development journey."

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around four hours per week for two-credit course.

【テキスト（教科書）】

Handouts will be disseminated by the lecturer for each class.

【参考書】

References will be introduced in class.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be decided based on the following criteria:

- (1) Active class participation: 60%
- (2) Final writing assignments: 40%

Details will be explained during the first class.

Please note that students who miss 4 classes or more without justification cannot receive credit.

【学生の意見等からの気づき】

N/A. This course will be newly launched in 2023.

【学生が準備すべき機器他】

N/A

【その他の重要事項】

N/A

ART200LA (芸術学 / Art studies 200)

Humanities A

2017年度以降入学者

サブタイトル: Japanese Literature II

URBANOVA JANA

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水1/Wed.1

単位数: 2単位

定員制

その他属性: 〈ゲ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

【到達目標】

Goals:

1. To learn about the major literary figures of pre-modern, modern and contemporary Japanese literature
2. To gain an appreciation of the depth and atmosphere of their literary works as well as the beauty of the English translations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to actively participate in class discussions, deliver a class presentation on a given topic, submit a short written summary of the presentation topic and an essay and complete a short written exam at the end of the semester. The topics for the presentation will be distributed at the beginning of the course.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

This course is in principle a face-to-face course. However, some classes might be taught online on Zoom if necessary. In that case please see the Learning Management System for further instructions about how to join our Zoom session.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; brief self-introduction; scheduling of presentations

2.	Transience in Japanese poetry	The concept of transience as portrayed in <i>Essays in Idleness (Tsurezuregusa)</i> , written by Buddhist priest <i>Kenkō</i> ; the <i>waka</i> anthology <i>A Hundred Poems by a Hundred Poets (Hyakunin Isshu)</i> , compiled by <i>Fujiwara no Teika</i>)
3.	Haikai poetry	Transition from comic <i>haikai</i> poetry to the mastering of <i>haiku</i> ; <i>Matsuo Bashō</i> ; Hints for appreciating and writing <i>haiku</i>
4.	Poetry of Okinawa	Two women poets of Okinawa: <i>Yoshiya Tsuru</i> and <i>Onna Nabe</i> and their <i>ryūka</i> poems
5.	Literature of the floating world	The rising merchant society during the <i>Edo</i> period; stories of the floating world (<i>ukiyo zōshi</i>); <i>Ihara Saikaku: The Life of an Amorous Man (Kōshoku Ichidai Otoko)</i> and <i>Five Women who Loved Love (Kōshoku Gonin Onna)</i>
6.	Tales of the supernatural in pre-modern literature	<i>Ueda Akinari</i> and his <i>Tales of Moonlight and Rain (Ugetsu Monogatari)</i>
7.	Tales of the supernatural in modern literature	<i>Akutagawa Ryūnosuke</i> and the influence of <i>Japanese Tales from Times Past (Konjaku Monogatari Shū)</i> ; short stories <i>In a Grove (Yabu no Naka)</i> and <i>Rashōmon</i>
8.	The world of fantasy and reality of Miyazawa Kenji	<i>Miyazawa Kenji</i> : fantasy novel <i>Milky Way Railroad (Ginga Tetsudō no Yoru)</i> , poem <i>Be not Defeated by the Rain (Ame ni mo makezu)</i>
9.	Modern novelists, Part 1	<i>Natsume Sōseki</i> : his life and literary works, particularly the novel <i>I Am a Cat (Wagahai wa Neko de aru)</i>
10.	Modern novelists, Part 2	<i>Mishima Yukio (Confessions of a Mask; Kamen no Kokuhaku)</i>
11.	Modern novelists, Part 3	<i>Tanizaki Junichirō</i> and his works <i>The Key (Kagi)</i> and <i>In Praise of Shadows (Inei Raisan)</i>
12.	Modern novelists, Part 4	Nobel Prize winner <i>Kawabata Yasunari</i> and his masterpiece <i>Snow Country (Yukiguni)</i>
13.	Contemporary literature	<i>Yoshimoto Banana</i> and <i>Haruki Murakami</i> and their representative works
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation and essay; final written exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please prepare a short self-introduction for the first class. In addition, each student will be asked to deliver an oral presentation on a designated topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. Students are also expected to actively engage in class discussions and to revise all of the readings done in class, as they will form the basis for the discussions and questions on the final exam. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. (University regulations suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.)

【テキスト（教科書）】

No textbooks will be used. Handouts and reading materials on each lesson's topic together with the specified sources will be distributed by the lecturer through the Learning Management System.

【参考書】

Selected references:

Keene, Donald. *Appreciations of Japanese Culture*. Tokyo, New York & London: Kodansha International, Ltd., 1971. First paperback edition, 1981.

Keene, Donald. *World Within Walls – Japanese Literature of the Pre-Modern Era, 1600-1867*. New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976.

Petersen, Gwen Boardman. *The Moon in the Water – Understanding Tanizaki, Kawabata and Mishima*. Honolulu: The University Press of Hawaii, 1979.

Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

【成績評価の方法と基準】

Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (50%); active participation in discussions, final examination and essay (50%).

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

【学生が準備すべき機器他】

Please check the Learning Management System for further instructions about the course.

ARSc200LA (地域研究 (北アメリカ) / Area studies(North America) 200)

Humanities B

2017年度以降入学者

サブタイトル：America in the 20th Century

Richard J Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Despite the rise of powers in Asia such as China & India, the US remains the pre-eminent global power and a key to understanding its prominence lies in an understanding of its rise as a superpower during the 20th century. Therefore, this course will focus on key political, economic & cultural developments during the latter half of that period, how they contributed to the rise of American power and continue to influence nations around the world, especially in Asia. Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century.

【到達目標】

Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the US from the end of World War I to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how those events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.

Weekly reading assignments will add to their vocabulary knowledge & comprehension skills while a presentation & a report will give students further practice in presenting concepts & ideas both in speech & on the page.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter the 21st century. Furthermore, an audio-visual element will allow students to sharpen their listening skills and engage in comprehension activities.

Students will present on topics of their own choice, under the guidance of the instructor, and after each presentation, the student will receive private feedback, in addition to a grade & constructive evaluation. A semester report will also be required on a related theme.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Explanation	Course Introduction
Week 2	Course Assignments	Presentation Skills
Week 3	Innovation	1916 - The Wright Brothers
Week 4	The Pacific Conflict	1941-1945 - US in World War II

Week 5	Post-War Settlement	1945 - Bombing of Hiroshima
Week 6	New Technology for a Post-War World	1947 - Chuck Yeager & Breaking the Sound Barrier
Week 7	The Fight Against Communism	1965 - 1973 - The Vietnam War
Week 8	The Civil Rights Movement	1968 - The Assassination of Martin Luther King
Week 9	A Divided Nation	1960s - The Anti-War Movement
Week 10	Civil Unrest & Violence	1963 - The Assassination of JFK
Week 11	Watergate	1974 - The End of Nixon
Week 12	The Space Race	1969 - The Apollo Landings
Week 13	Domestic Terrorism	1995 - The Oklahoma Bombing
Week 14	Course Review	The 20th Century Influence on the Present Day

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to make a presentation and submit a report on a relevant theme during the semester. In addition, regular reading assignments will be set with comprehension & vocabulary questions, which will require 4 hours each week. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト (教科書)】

None, but students are required to download & prepare the required material before class.

【参考書】

An electronic or smart phone English dictionary, or dictionary app is required at every class

【成績評価の方法と基準】

Evaluation will be based on the following criteria:

Classwork & Participation - 20%

Homework - 20%

Presentation - 30%

Report - 30%

In principle, no more than 3 absences are permitted

【学生の意見等からの気づき】

Online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Since all materials will be available online, students need to either download & print the necessary file, or download and have it ready on their laptop or tablet device, before the start of each class. In addition, students need to have access to a laptop in order to prepare their presentation & access to a printer for their semester report.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Please join this class if you have an interest in this topic, a desire to improve your English skills, and are willing to attend classes on a regular basis and submit all homework & other assignments on time.

POL200LA (政治学 / Politics 200)

Social Science A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Legal Theory

GAEL BESSON

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Legal theory is a discipline that uses tools, concepts and methods from philosophy, sociology, political science, economics and critical studies, in order to study the concepts that are centrals or deemed the most importants to talk about Law in a general way : authority, rule, norm, obligation, and the concept of law itself.

But as a specific discipline, Legal theory's vocabulary is distinct from the Legal vocabulary, so it is therefore important to be able to understand the texts of the founders of the discipline among whom we will find Hart, Kelsen, Dworkin, Finnis, Fuller... and be able to keep the discussion ongoing.

This class will accompany the student into one of the most fundamental branches of this discussion : how does analytical philosophy of law, and especially the tools provided by Herbert L. A. Hart's theory (1), one of the most influential positivist approaches of legal phenomenon, deal with contemporary problems such as :

(2) the persistence of law in a era of seemingly never ending crises

(3) the new forms of law usages by NGO and governments

(4) the reluctance of justices to strike down arguably unconstitutional rules

(5) the concurrence between the three branches of government

(6) the complexities of interconnected legal systems, and the challenges posed to States, by private corporations

(7) the way to scientifically account for injustices, especially ones rising from global warming

(8) the role of law as a mean to avoid violence, and the stimulating challenges posed to legal positivism by jusnaturalism

【到達目標】

By the end of the course, students are expected to have acquired:

1. The skill of being able to find in library and online databases research articles
2. A firm grasp of some of the core notions of legal positivism and jusnaturalism
3. Comprehension of some of the greats doctrinal debates of the discipline
4. A way to use theses analytical tools to face contemporary problems

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture. Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an subject of their choice that will result in a little essay that will be submitted at the end of the semester.

Use of AI tools is forbidden, but feedback by the professor will be given at the beginning and the end of the class (are sources reliable, is the problematic sound, how to organize your study schedule...) in order to accompany the students in their research and homework. Mail can be written to the professor anytime if the student doesn't want to ask in front of the other students.

Course contents will vary depending on number of students presentations to be performed in class.

A final test will check if the notions are understood.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	MODULE 1 - WHAT IS LEGAL THEORY	A) General definitions B) Main themes and questions of legal theory
2	MODULE 2 - METHOD OF LEGAL THEORY	A) Intuition and the choice between a lawyer's or a societal point of view B) The importance of working on the great texts of legal philosophy.
3	MODULE 3 - HERBERT L. A. HART and research project choice	A) Biography B) Bibliography
4	MODULE 4 - SOCIAL RULES	A) The notion of "Habits" doesn't account for the persistence of law B) The internal aspect of a social rule
5	MODULE 5 - FROM SOCIAL TO LEGAL	A) The necessity of secondary rules in a "complex" legal system B) A specific social rule at the base of all legal rules : the rule of recognition
6	MODULE 6 - LEGAL RULES	A) The choice of the strict internal point of view B) Who needs to recognize the rule as a legal rule ?
7	MODULE 7 - SECONDARY RULES AND PRIMARY RULES	A) The relationship between the rule of recognition and other secondary rules. B) The difference between rules that create obligation and rules that confer power
8	MODULE 8 - THE EXISTENCE OF LAW	A) The union of primary and secondary rules B) Hart vs Kelsen conception of validity
9	MODULE 9 - THE OPEN TEXTURE OF LEGAL LANGUAGE	A) A few words on realism and their scepticism about rules B) Open texture, it's not bad to have some leeway
10	MODULE 10 - THE INTERPRETATION OF LAW	A) Wittgenstein's paradox and the distinction between to follow and to interpret B) The realist' confusion
11	Research project advice. Help with homework.	Open discussion.
12	Presentation of the final report	Group A

13	Presentation of the final report	Group B
14	Test	Final test in class to check student's knowledge and skills.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Around 4 hours a week.

Except in exceptional circumstances and notification to the Professor, attendance to each lesson is mandatory.

【テキスト（教科書）】

None.

【参考書】

- Nicola Lacey, A Life of H. L. A. Hart, The Nightmare and the noble dream, Oxford UP, 2004
- Neil MacCormick, H.L.A. Hart, Stanford University Press, 2nd ed., 2008
- Frederick Schauer, "(Re)Taking Hart," 119 Harv. L. Rev. 852 (2006) (reviewing Lacey, "A Life of H. L. A. Hart")
- P.M.S. Hacker, « Hart's Philosophy of Law », in P.M.S. Hacker and J. Raz, Law, Morality and Society. Essays in Honor of H.L.A. Hart, Clarendon Press, Oxford, 1977, p. 1 s.
- Joseph Raz, « H.L.A. Hart (1907-1992) », Utilitas, vol. 5, 1993, p. 145-156
- Herbert L.A. Hart, Leslie Green, The Concept of Law 3rd ed, 2012, Oxford University Press.
- Hans Kelsen, Pure Theory of Law. Translation from the Second German Edition by Max Knight, reprint by The Lawbook Exchange, 2009.
- Martti Koskeniemi, From Apology to Utopia: The Structure of International Legal Argument. 2nd ed, 2006, Cambridge: Cambridge University Press.
- Jean-Yves Chérot, "Hart et le concept de droit", manuscript, 2019.

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including attendance, homework and discussion): 50%

Final test and essay: 50%

【学生の意見等からの気づき】

Course content has been reviewed and updated.

【学生が準備すべき機器他】

Pen, notebook, color pencils, eraser.

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: gael.besson.77@hosei.ac.jp

In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face.

POL200LA (政治学 / Politics 200)

Social Science B

2017年度以降入学者

サブタイトル：JAPANESE CONSTITUTIONAL CASE LAW :
FUNDAMENTAL RIGHTS AND JUDICIAL REVIEW

GAEL BESSON

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of this class is to allow student to read and understand a court decision in the field of fundamentals rights. Constitutional law is now a trans-disciplinary field that connect to every branches of law, whether it is family law, commercial law, penal law... At the core of it is the protection of fundamental rights.

But, even if one of the wonders of the Japanese legal system is to provide the texts of the great legal decisions in English, the vocabulary that the judge uses to make or justify his decision can look frightening for the non-specialist. The class will accompany the student in acquiring the tools to read and understand in English, some of the most important constitutional cases in Japan.

We will see the influence of French, German and US doctrines, and the very specific Japanese ones on Japanese constitutional law, compare with solutions in other countries, and see that, contrary to the idea that Japan is always a country of consensus, that there have been strong debates between Justice especially because some defend a very national concept of Law when the other want to promote human rights protection with the same standards as others countries do.

【到達目標】

By the end of the course, it is expected that students have acquired :

1. Specific vocabulary to be able to read legal decisions.
2. Overview of some of the most important cases in Japan.
3. A robust knowledge of the structural doctrines that ensure or limit fundamental rights protection.
4. How to write a synthesis and argumentative essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国
際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部
：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture. Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an subject of their choice that will result in a little essay that will be submitted at the end of the semester.

Use of AI tools is forbidden, but feedback by the professor will be given at the beginning and the end of the class (are sources reliable, is the problematic sound, how to organize your study schedule...) in order to accompany the students in their research and homework. Mail can be written to the professor anytime if the student doesn't want to ask in front of the other students.

Course contents will vary depending on number of students presentations to be performed in class.

A final test will check if the notions are understood.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	INTRODUCTION: PROBLEMS OF JUDICIAL GATEKEEPING	Explanation of the class, elements of the Japanese legal system, , presentation and choice of the research project.
2.	MODULE 1 - CONSTITUTIONAL PRINCIPLES INTRODUCED IN 1947	The principles of democracy, individualism, pacifism, liberalism and the welfare state, laicity (Sunagawa case; Tomabechi case : avoiding political issues.)
3.	MODULE 2 - FUNDAMENTAL CLAUSES AND INDIVIDUAL RIGHTS	Public welfare and equality clause (Lady Chatterley case, Parricide case)
4.	MODULE 3 - CLASSIFICATION OF RIGHTS	Vasak's generation of rights, Berlin's Negatives liberties and positives liberties
5.	MODULE 4 - A HIERARCHY OF RIGHTS ?	Personal, Economic, Social rights... (Asahi case, Ienaga case)
6.	MODULE 5 - THE COURT'S JURISDICTION	Concrete or abstract case (National Police Reserve Case)
7.	MODULE 6 - THE GUARANTEES OF THE JUDICIAL POWER	Independence and characteristics of the japanese judge. (Otsu, Date, Teranaishi)
8.	Research projects tutorial	Review in class of the research projects advancement and training for final exam.
9.	MODULE 7- THE LIMITS OF JURISDICTION	The political question, the divided society, objective litigation (Sunagawa case, Tomabechi case)
10.	MODULE 8 - ACCESS TO COURT	Disposability, Legal interest, Ripeness, Mootness (Naganuma nike case)
11.	MODULE 9 - THE SCOPE OF JUDICIAL REVIEW	Purpose, effect, application of fundamental rights (Reapportionment case, Mitsubishi resin case)
12.	MODULE 10 - THE LIMITS OF JUDICIAL REVIEW	Presumption of constitutionality and legislative /administrative discretion (Tamagushiryo case)
13.	MODULE 11 - THE RATIONALITY TESTS	The three kind of tests. (Sumiyoshi K.K case)
14.	Final test	Example of subjects : Woman and LGBT rights protection, Nature rights, workers rights ...

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Around 4 hours a week.

Except in exceptional circumstances and notification to the Professor, attendance to each lesson is mandatory.

【テキスト（教科書）】

None. Historical and contemporary cases translations in English will be given to students.

【参考書】

- Shigenori MATSUI, The Constitution of Japan : A Contextual Analysis (Constitutional Systems of the World). 2011, Hart. ISBN 13 978-1841137926.

- Hiroshi ITOH, The Supreme Court and Benign Elite Democracy in Japan, 2020, Routledge, ISBN 13 : 978-0367602680.

- Kyoko INOUE, Macarthur's Japanese Constitution · A Linguistic and Cultural Study of Its Making, 1991, University of Chicago, ISBN-13 : 978-0226383910

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including homework, attendance and discussions): 25%

Research project: 25%

Final examination : 50%.

【学生の意見等からの気づき】

Course content has been reviewed and updated.

【学生が準備すべき機器他】

Pen, notebook, color pencils and an eraser..

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: gael.besson.77@hosei.ac.jp

In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face.

BSC200LA (基礎化学 / Basic chemistry 200)

Natural Science B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Environmental issues and solutions

西村 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

【到達目標】

The goal of this course is for students to learn environmental problems through chemistry. The objective 1) entirely environmental problems in the world; 2) to learn them you understand basic chemistry; 3) they think about solving the imminent problems by themselves.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be tested on their knowledge of chemistry at the beginning of the course, and the contents for the first three weeks of the course will be decided, based on the test results. After that, many different environmental problems are explained each week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of the course and explanation of some terminology.
2	Basic chemistry 1	Learning the chemical skills to study this course.
3	Basic chemistry 2	Learning the chemical skills to study this course.
4	Mini test-1	Review learning.
5	Environmental problems overview	Small topics of environmental problems.
6	Ozone depletion	Stratospheric air chemistry. Especially ozone holes.
7	Air pollution	Tropospheric air chemistry and effect of air pollution on our health.
8	Greenhouse effect	Climates change
9	Greenhouse effect-DVD	Watching DVD about climates change.
10	Mini test-2	Review learning.

11	Solid, toxic, and hazardous wastes	What do we do with the wastes?
12	Water pollution and water shortage	The basic chemistry of natural water.
13	Energy and fuels	Current energy system and alternative energy sources.
14	Final test	Overall review.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

After each class, students are expected to spend time understanding each topic.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Class participation (20%), Weekly assignment (40%), mini-tests (20%), final examination (20%)

【学生の意見等からの気づき】

Students often say that chemistry is hard! I try to teach chemistry as clearly as possible.

【学生が準備すべき機器他】

none

【その他の重要事項】

none

【none】

none

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

Health and Physical Education 2017年度以降入学者

サブタイトル：

武井 敦彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to do the following:

1. Deepen understanding of the significance and role of physical activity from various perspectives.
2. Acquire the ability to use sports activities to establish a prosperous and healthy student and social life.
3. Acquire basic knowledge and develop attitudes that contribute to self-management.
4. To acquire the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others, which is considered to be extremely important for playing an active role in the real world after graduation.
5. Aim to acquire various skills that lead to the development of employment ability (ability to build relationships of trust, ability to act jointly, etc.).

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

If the Method(s) is changed, we will announce the details of any changes.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class has comprised both lectures and practical lessons, and students are expected to learn and understand elementary health and physical education. Also, the class schedule may be changed due to special circumstances (COVID-19, etc) and the university guidelines.

If too many students are registered for this class, we may have to randomly select students to establish high-quality learning environments. Further details of this will be announced through Hoppii or announced in the first session of the class.

At the beginning of class, feedback is given for the previous class using comments from submitted assignments (reaction papers, reports, quizzes, etc.).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Introduction of the course, 1st Presentation (Lecture)
2	Physical Fitness Test	Implementing of the physical fitness test (Practical Lesson)
3	Learning the Sports Injury Management	Learning the basic principle of sports injury management (Lecture)
4	Learning the Warm-Ups	Learning the basic principle and implementing the proper warm-ups (Lecture & Practical Lesson)
5	Learning the Individual Sports 1	Building the relationship with classmates through badminton (Practical Lesson)
6	Learning the Individual Sports 2	Facilitating mutual understanding with classmates through badminton (Practical Lessons)
7	Strength & Conditioning 1	Learning the theory of strength and conditioning (Lecture & Practical Lesson)
8	Strength & Conditioning 2	Implementing and collecting the data of the strength and conditioning (Practical Lesson)
9	Learning the Team Sports 1	Building the relationship with classmates through the futsal (Practical Lesson)
10	Learning the Team Sports 2	Facilitating the mutual understanding with classmates through the volleyball (Practical Lesson)
11	Health & Fitness	Learning and implementing the proper physical functional training to improve the QOL (quality of life) (Lecture & Practical Lesson)
12	Learning the Individual Sports 3	Building the relationship with classmates through table tennis (Practical Lesson)
13	Learning the Individual Sports 4	Facilitating mutual understanding with classmates through table tennis, 2nd Presentation (Practical Lesson)
14	Summarizing the Course	Overview of the course and compile a report (Lecture)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. This class aims to understand that sports activities contribute to promoting physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

【テキスト（教科書）】

No textbook will be used.

【参考書】

Reference books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

1. Participation status for activities during class (including quizzes) /Presentation/Reaction paper 60%.
2. Assignments /Reports 40%.

This grade evaluation method is used in principle, and students who have difficulty in normal activities will be treated and evaluated individually.

【学生の意見等からの気づき】

1. Students are expected to communicate and interact with other students from all over the world, so this class tried to create the opportunity to enhance communication skills through sports and physical activities, including individual and team sports.
2. Students are expected to learn and implement the proper physical training (strength and conditioning). This class provided the appropriate information regarding physical training and aimed to improve the knowledge and skills of physical training based on the evidence.

【学生が準備すべき機器他】

1. Students must bring their proper sportswear and shoes for practical lessons.
2. Students must bring their own personal computer or mobile device to create and submit assignments.

【その他の重要事項】

1. The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants, available facilities, special circumstances (COVID-19, etc.), and university guidelines.
2. This class will be held offline (face to face); therefore, please follow the university guidelines carefully when participating (e.g., sanitizing your hands before participating).
3. Students must inform the teacher of any issues, including health, before, during, and after class.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主に Excel2019（表計算ソフト）と PowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使ったスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅱ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)		
情報処理演習Ⅱ		2017年度以降入学者
吉岡 卓		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：2単位		
定員制 (50)		
この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。		
その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。		
【到達目標】		
本科目では、主に Excel2019（表計算ソフト）と PowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3		
【授業の進め方と方法】		
本科目は対面授業を基本とします。毎回 1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
なし /No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第1回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】
適時指示。なお、講義で使ったスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】
「情報処理演習Ⅱ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】
This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019. In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions. That is, you will able to acquire logical thinking. And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow. Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主に Excel2019（表計算ソフト）と PowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使ったスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅱ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主に Excel2019（表計算ソフト）と PowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第07回 Power Point 導入

Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する

第08回 図表の挿入・アニメーション設定

Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする

第09回 動画の挿入・拡張子

Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する

第10回 マイテンプレート

Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする

第11回 スライドの作成

Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする

第12回 スライドの発表

第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する

第13回 スライド発表時の諸注意と応用

第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する

第14回 ネットワークの基礎

サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に、ワードプロセッサと表計算ソフトの応用的な使い方、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。

授業資料や課題の提出、質問などはGoogle Classroomを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第5章 コンピューターとデータ(1)	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第2回	第5章 コンピューターとデータ(2)	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第3回	第6章 インターネットと電子メール	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組み、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第4回	第10章(4) エクセル4(練16-21)	数表からグラフを作成し、レイアウトを調整する方法について学ぶ
第5回	第10章(5) エクセル5(章1-4)	Excelについて学んだ内容を応用したスプレッドシートの作成実習を行う
第6回	第10章(6) エクセル6(章5)	特に難易度の高い章末問題5について集中的に解説する(進度により別内容もありうる)
第7回	第9章(4) ワード4(章2,4)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。

第8回	第9章(4) ワード4(章3,5)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。
第9回	第11章(1) パワーポイント(1)	パワーポイントの基本的な操作とプレゼンテーションの基本について学ぶ
第10回	第11章(2) パワーポイント(2)	応用的なパワーポイントスライドの作成実習を行う
第11回	第7章 World Wide Web	WWWの仕組みと利用方法、得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ
第12回	第8章 インターネットとメディアリテラシ	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽、フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピューターウィルス、コンピューター犯罪について学ぶ
第13回	RSA 暗号	現代の暗号技術の基礎となっているRSA暗号について学ぶ
第14回	まとめと振り返り	情報処理演習ⅠとⅡを通してのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版までの「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11やMicrosoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に、ワードプロセッサと表計算ソフトの応用的な使い方、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。

授業資料や課題の提出、質問などはGoogle Classroomを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第5章 コンピューターとデータ (1)	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第2回	第5章 コンピューターとデータ (2)	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第3回	第6章 インターネットと電子メール	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組み、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第4回	第10章 (4) エクセル 4(練16-21)	数表からグラフを作成し、レイアウトを調整する方法について学ぶ
第5回	第10章 (5) エクセル 5(章1-4)	Excelについて学んだ内容を応用したスプレッドシートの作成実習を行う
第6回	第10章 (6) エクセル 6(章5)	特に難易度の高い章末問題5について集中的に解説する(進度により別内容もありうる)
第7回	第9章 (4) ワード4(章2,4)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。

第8回	第9章 (4) ワード4(章3,5)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。
第9回	第11章 (1) パワーポイント (1)	パワーポイントの基本的な操作とプレゼンテーションの基本について学ぶ
第10回	第11章 (2) パワーポイント (2)	応用的なパワーポイントスライドの作成実習を行う
第11回	第7章 World Wide Web	WWWの仕組みと利用方法、得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ
第12回	第8章 インターネットとメディアリテラシ	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽、フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピューターウィルス、コンピューター犯罪について学ぶ
第13回	RSA 暗号	現代の暗号技術の基礎となっているRSA暗号について学ぶ
第14回	まとめと振り返り	情報処理演習ⅠとⅡを通してのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版までの「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11やMicrosoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii (lms2025、WebClass) の記載を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。特に1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。対面授業では、ボアボードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	python プログラミング	プログラミング言語 python の使い方を学ぶ。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoomが使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムを読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は2025年4月2日(水)17時～4日(金)正午12時、結果発表は4月5日(土)22時予定です。履修ガイド(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>)を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excelの応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。PowerPointについても、グラフィカルな機能を中心に学習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用2	高度な関数
3	表計算ソフト応用3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト5	スライドショーと特殊効果の追加

- 13 プログラミング初歩、足し算ゲームなどの簡単なプログラムもしくはデータ グラミング、もしくはデータベース ベースソフトの操作
(受講者のスキルによって決定します)
- 14 期末試験 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシ (サイエンス社)

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト (日経BP社) など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、II期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主にExcelの関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003440_ja.html
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にしてお話しします。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は2025年4月2日(水)17時～4日(金)正午12時、結果発表は4月5日(土)22時予定です。履修ガイド(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>)を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシーを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excelの応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。PowerPointについても、グラフィカルな機能を中心に学習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用2	高度な関数
3	表計算ソフト応用3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト5	スライドショーと特殊効果の追加

- 13 プログラミング初歩、足し算ゲームなどの簡単なプログラムもしくはデータ グラミング、もしくはデータベース ベースソフトの操作
(受講者のスキルによって決定します)
- 14 期末試験 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシー (サイエンス社)

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト (日経BP社) など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心とした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、II期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主にExcelの関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003440_ja.html
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にしてお話しします。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10%of ordinary points, 70%of reports, 20%of touch typing test

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10%of ordinary points, 70%of reports, 20%of touch typing test

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。

初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。

プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii (lms2025、WebClass) の記載を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。特に1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

対面授業では、ボアボードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	python プログラミング	プログラミング言語 python の使い方を学ぶ。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoomが使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムを読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。

初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。

プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システムHoppii (lms2025、WebClass) の記載を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。特に1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

対面授業では、ボアボードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	python プログラミング	プログラミング言語 python の使い方を学ぶ。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoomが使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムを読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされる ICT 関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC 操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、さらなる資料の充実や授業内容の改善を目指していきます。そして進捗や全体の状況把握のため、意見を聞く機会を広げるなどして調整、改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされる ICT 関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC 操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、さらなる資料の充実や授業内容の改善を目指していきます。そして進捗や全体の状況把握のため、意見を聞く機会を広げるなどして調整、改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされる ICT 関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC 操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、さらなる資料の充実や授業内容の改善を目指していきます。そして進捗や全体の状況把握のため、意見を聞く機会を広げるなどして調整、改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされる ICT 関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC 操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、さらなる資料の充実や授業内容の改善を目指していきます。そして進捗や全体の状況把握のため、意見を聞く機会を広げるなどして調整、改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (26)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Microsoft Excelの基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excelの基礎を学ぶ。Excelで利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第2回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excelのページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第3回	グラフ	Microsoft Excelのグラフ作成機能を学ぶ。
第4回	外部データの処理	Microsoft Excelを用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第5回	CEATEC見学	日本を代表するテクノロジー展示会であるCEATECを見学してICT技術の最先端を学ぶ。
第6回	VBA	Microsoft Excel用Visual Basic for Application(VBA)の機能を学ぶ。
第7回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第8回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つRの機能を体験する。
第9回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。

第10回	コンピュータの未来	コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。
第11回	HTMLの基礎	HTMLを用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第12回	JavaScriptとスタイルシート	JavaScriptとスタイルシートの基礎を学ぶ。
第13回	PHPの基礎	HTML自動生成に役立つPHP言語についての基礎を学ぶ。
第14回	まとめ	講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【参考書】

「実習情報リテラシ[第3版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、小テスト（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制 (26)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Microsoft Excelの基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excelの基礎を学ぶ。Excelで利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第2回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excelのページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第3回	グラフ	Microsoft Excelのグラフ作成機能を学ぶ。
第4回	外部データの処理	Microsoft Excelを用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第5回	CEATEC見学	日本を代表するテクノロジー展示会であるCEATECを見学してICT技術の最先端を学ぶ。
第6回	VBA	Microsoft Excel用Visual Basic for Application(VBA)の機能を学ぶ。
第7回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第8回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つRの機能を体験する。
第9回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。

第10回	コンピュータの未来	コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。
第11回	HTMLの基礎	HTMLを用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第12回	JavaScriptとスタイルシート	JavaScriptとスタイルシートの基礎を学ぶ。
第13回	PHPの基礎	HTML自動生成に役立つPHP言語についての基礎を学ぶ。
第14回	まとめ	講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【参考書】

「実習情報リテラシ[第3版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、小テスト（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

IDN200LA (アイデンティティー教育 / Identity studies 200)

法政学の探究 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

北口 由望

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では「大学と地域」をテーマに、法政大学の歴史と文化に焦点をあてます。法政大学はなぜ市ヶ谷にあるのか、なぜ多摩や小金井にもキャンパスがあるのか。法政大学に通う学生として抱く疑問や関心について、日本近現代史や大学史などの学問的な観点から検証します。具体的なテーマとして、大学創立の地・東京神田、市ヶ谷キャンパスとその周辺（外濠・神楽坂）の歴史と文化、鉄道と郊外型キャンパスの形成、グラウンドと法政スポーツの隆盛、付属校の成り立ち、北軽井沢法政大学村と岩波文化などを挙げることができます。法政大学の歴史を通して、日本の近現代や大学の在り方を捉え直す機会となるでしょう。

また、HOSEIミュージアムの展示コンテンツやデジタルアーカイブをはじめ、様々な資料から「法政学」を探究し、実践的な試みとして、ミュージアムでの小規模な発表会開催も検討します。

【到達目標】

1. 法政大学の歴史はもちろんのこと、日本近現代史や大学の歴史に関する基礎的な知識を得ることができます。
2. 身近なテーマを学問的な「問い」へと発展させる視野を養います。
3. 調査研究の前提となるテーマ設定の具体化や各種資料の調査方法・読解方法について学ぶことができます。
4. 演習形式が中心となるため、各学部の専門ゼミ履修への準備になります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に則り、講義形式と演習形式を組み合わせで進めます。第4回ではHOSEIミュージアムで見学調査を行い、第7回では市ヶ谷キャンパスとその周辺地域を歩き、現在の大学と地域について議論します。なお、受講生は授業内で報告（1回）を行う必要があります。報告（発表）や質問、リアクションペーパー等に対するフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	本授業の目標、スケジュール等を説明します。
第2回	法政大学の歴史－東京法政社創立から戦前期まで－	法律学校時代から戦争の時代に至るまで、法政大学の歴史を主に「地域」の観点から振り返ります。
第3回	法政大学の歴史－戦後復興から現在まで－	戦後復興から現在に至るまで、法政大学の歴史を主に「地域」の観点から振り返ります。
第4回	HOSEIミュージアムでの学び	HOSEIミュージアムを訪問し、展示内容から法政大学に関わる様々なテーマについて知見を得ます。

第5回	デジタルアーカイブの使い方を学ぶ	HOSEIミュージアム・デジタルアーカイブをはじめ、各種デジタルアーカイブの使用法を学びます。
第6回	テーマ設定方法と報告の基礎を学ぶ	「問い」の立て方、テーマ設定の方法をはじめ、レジュメの作成やプレゼンテーション方法など、報告の基礎を学びます。
第7回	市ヶ谷キャンパスとその周辺を歩く	市ヶ谷キャンパスと、その周辺を歩き、現在の大学と地域について議論します。
第8回	法政大学草創期に関するテーマ設定と資料紹介	法政大学創立の地である東京神田や創立者の出身地について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第9回	市ヶ谷キャンパスとその周辺に関するテーマ設定と資料紹介	市ヶ谷キャンパスと、外濠や神楽坂といった周辺地域について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第10回	その他、大学ゆかりの地域に関するテーマ設定と資料紹介	多摩／小金井キャンパスや付属校、中野／川崎グラウンド、北軽井沢法政大学村など、大学ゆかりの地域について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第11回	法政大学草創期をテーマとした報告	法政大学創立の地である東京神田や創立者の出身地について、受講者の報告を行います。
第12回	市ヶ谷キャンパスとその周辺をテーマとした報告	市ヶ谷キャンパス、そして外濠や神楽坂といった周辺地域について、受講者の報告を行います。
第13回	その他、大学ゆかりの地域をテーマとした報告	多摩／小金井キャンパスや付属校、中野／川崎グラウンド、北軽井沢法政大学村など、大学ゆかりの地域について、受講者の報告を行います。
第14回	映像上映と総括	HOSEIミュージアムの映像シリーズ「法政大学の歴史・文化・個性」を鑑賞し、科目担当者による総括を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前学習では、HOSEIミュージアムに展示されているコンテンツ、同デジタルアーカイブの調査や授業内で紹介された文献の読解を行います。復習では、毎回科目担当者が配布した資料とHoppiiにアップロードされた資料を読み直します。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、毎回、科目担当者が資料を配布します。

【参考書】

『法政大学八十年史』（1961年）、『法政大学百年史』（1980年）、『法政大学と戦後五〇年』（2004年）、『法律学の夜明けと法政大学』（1992年）、『都市と大学—法政大学から東京を視る〈増補改訂版〉』（2023年）、『HOSEIミュージアム紀要』（2021年～2025年）

【成績評価の方法と基準】

平常点と授業内の報告（各50％）にて判断します。

【学生の意見等からの気づき】

学部を超えた交流の機会となるよう、受講者が自由に発言できる「場」を形成したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

報告用のPCなどの機器は科目担当者が用意します。

【その他の重要事項】

関連科目「大学を知ろう <法政学>への招待」で学んだ内容を前提としますので、同科目の既修者か、それと同等の前提知識を得てから受講してください。後者の場合、大学公式HPに掲載されている「HOSEI MUSEUM」が参考になります。

【Outline (in English)】

This course explores the history and culture of Hosei University with the theme of "Universities and the Region.". We examine questions and interests in student life from an academic perspective. Students will learn the modern and contemporary history of Japan, the history of Universities through the history of Hosei University.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review. As a practical experiment, we will also consider holding a small exhibition.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Usual performance score: 50%、Classroom presentations: 50%

IDN200LA (アイデンティティー教育 / Identity studies 200)		2	世界を知りつくした 本学の祖 箕作麟祥	本学の前身である和仏法律学校 初代校長の箕作麟祥は、明治期 の有数の啓蒙家であった。彼は、 洋学を学んで、西洋の法律や歴 史を日本に紹介し、日本の「民 権」のために活躍した。彼の仕 事を振り返り、そこから学ぶも のを探りたい。(南塚信吾)
法政学の探究 L A				
サブタイトル：人物で知る法政大学史				
高柳 俊男、北口 由望				
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5		3	本学初代総理（総長） 梅謙次郎	「日本民法の父」といわれる梅謙 次郎は、帝国大学法科大学教授 のほか、和仏法律学校の校 長・初代の総理（総長）として、 講義のかたわら本学の経営に尽 力した。梅の50年の人生を追い ながら、「清国留学生速成科」の 設置など本学との関係を語ろう。 (岡孝)
単位数：2単位				
その他属性：〈優〉				
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		4	野上豊一郎と能楽研 究	夏目漱石門下の英文学者で、能 楽研究者でもある野上豊一郎。 その名を冠する本学能楽研究所 は、現在、国内外の能楽研究の 拠点となっている。作品・能 面・翻訳など多岐に亘る能楽研 究の事績を辿りつつ、彼を魅了 した能楽についても知る。(深澤 希望)
この授業は、「大学を知ろう <法政学>への招待」(旧科目名「法 政学への招待」)をすでに受講し、法政大学が経てきた140余年の歴 史と現状について一通りの理解をもつ学生を主対象にして、法政大 学についてより深く考える発展科目として設置されました。		5	内田百閒は「教え子」 が嫌い	大正末期と昭和に二度法政大学 の教壇に立った作家内田百閒。 北村猛徳、大井征、中野勝義な ど、激動期を生きぬいた愛弟子 達との師弟関係は、まさに一篇 の「名作」であった。彼の作品 を読み解く。(山本一生)
「大学を知ろう <法政学>への招待」における学習を前提に、本 授業では、法政大学で教えた教員や、学んだ学生を具体的に取り上 げます。教員の場合なら、その人物が法政大学でどういう教育研究 に携わったのか、そのことで本学や社会の発展にいかに関与できた か、などを追います。卒業生の場合なら、本学で何を学んだのか、あ るいは学んだことをその後の本人の人生や、社会に向けてどう役立 てたか、などについて探究することになるでしょう。		6	「不安の時代」を代表 する思想家 三木清	西田幾多郎を中心とする「京都 学派」随一の俊才とされ、昭和 前期のアカデミズムとジャーナ リズムの双方で幅広く活躍しな がら、第2次大戦直後に悲劇的 な獄死をとげた哲学者・三木清 の生涯と思想を紹介・検討する。 (衣笠正晃)
法政大学ゆかりの特定の人物を詳しく追うことで、「自由と進歩」 の理念や、時代のフロントランナー養成を掲げる本学の歴史と現在 を、より具体的に理解できるようになるはずです。		7	夏目漱石門下生たち に学んで作家になっ た椋鳩十	伊那谷出身の椋鳩十（本名：久 保田彦穂）は、とくに動物物語 の作者として広く知られる。初 の詩集を出し、学生結婚もした 法政大学時代をはじめ、戦前戦 後にわたる椋の歩みを時代の中 で振り返る。(高柳俊男)
【到達目標】		8	戦争の中を生きた学 友たち～久納好孚を 例に	終戦直前のわずか10ヶ月足らず の間に5,845名もの戦死者を出 した「特攻」。その第一号となっ たのが、本学に学んだ学友の一 人・久納好孚であった。彼はな ぜ「特攻」を志願したのか。そ の短い生涯を辿りながら、戦前 戦中の本学の歴史と学友たちの 生きざまを追体験してみたい。 (鈴木靖)
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】		9	城戸幡太郎、波多野 完治、宮原誠一、乾 孝～生涯学習の時代 を切り拓いた人々	戦前の法政大学高等師範部教授 の城戸幡太郎、波多野完治、宮 原誠一らは、本学を舞台に教育 科学研究会や保育問題研究会を 組織したが、そのねらいは現場 の教員と研究者とが共同して教 育実践を研究することにあった。 キャリアデザイン学部へと引き 継がれるこの伝統を明らかにし たい。(笹川孝一)
【授業の進め方と方法】				
科目責任者の教員2名が毎回同席し、授業をコーディネートしま す。講義は、毎回のテーマに最適な本学内外の講師陣（科目責任者 を含む）が、分担して担当します。				
授業の最後に毎回、リアクションペーパーに感想や質問を書いて もらいます。それに対する講義担当者のコメントを入れた授業通信 を作成し、次週の冒頭で解説するなど、参加型・双方向型授業にな るよう努めます。				
対面を基本としますが、講師の都合等により他の形式で行う回が 生じた場合は、事前にお知らせします。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし /No				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし /No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	導入	この授業の狙いや、全体の構成 について説明する。 あわせて、本学の経てきた歴史 の概略を、映像も使いながら復 習する。(科目責任者=高柳俊 男、北口由望)		

10	「女性である前にまず人間であれ」 野上弥生子と法政大学	日本を代表する作家野上弥生子。法政大学女子高等学校名誉校長もつとめた弥生子は、同校の生徒たちに「女性である前にまず人間であれ」という言葉をのこした。弥生子の思想と人物像を探るとともに、その日記に記された法政大学の逸話を紹介する。(古俣達郎)
11	校舎と建築学科の礎を築いた建築家 大江宏	法政大学の幾つもの校舎を設計し、また教育者として建築学科の礎を築いた建築家・大江宏(1913～89年)。残された建築と資料を参照しながら、その思想と足跡に迫る。(藤本貴子)
12	高度経済成長と戦後思想の変容－藤田省三の射程	「焼け跡・闇市」の原風景から出発した日本の「戦後」は、政治的安定化と経済的繁栄とともに劇的に変わって行く。そのなかで行われた戦後思想の変容について、思想家藤田省三(1927-2003)の議論を中心に考察する。(趙星銀)
13	法政スポーツの伝統を探る	法政スポーツは100年以上の歴史をもつ。HOSEIミュージアムで開催された展示「HOSEIスポーツの原点」をもとに、その歴史と伝統を振り返る。(北口由望)
14	学生の目と教員の目から見る法政大学	学生として本学で学び、のちに本学で教えるに至った方を授業にお招きし、2つの立場から見た法政大学について体験的に語っていただき、授業全体のまとめとする。(根崎光男、明田川融)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の講師が授業内で言及した文献は、積極的に参照してください。また、2020年に開館したHOSEIミュージアムの展示、および同ミュージアムデジタルアーカイブ (<https://museum.hosei.ac.jp/archives/Users/Top>)には、授業で取り上げた人物や事象に関するコンテンツが豊富に含まれていますので、準備学習・復習に活用してください。

その他、授業に関連する特別展示などが学内外で開催される場合には、随時お知らせしますので、極力足を運んでみましょう。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストはありません。毎回の講義担当者が適宜、プリント配付やパワーポイント提示を行います。それらを基本的に、学習支援システム上にアップします。

【参考書】

各講義担当者が、その都度お知らせします。

本学の歴史を通史的にまとめた書籍には、『法政大学1880-2000：そのあゆみと展望』のほか、『法政大学参拾年史』『法政大学八十年史』『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。図書館などで適宜参照してください。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーに反映された授業に取り組む姿勢 40%、学期末のレポート 60%を基準にして、総合的に評価します。受講者数によっては若干の変更があるかもしれませんが、その場合は授業の場（もしくは学習支援システム上）でお知らせします。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とします。

なお、レポートの作成に際しては、典拠となる文献に必ず当たり、実証的な内容になるよう心がけてください。

【学生の意見等からの気づき】

法政大学の経てきた歴史や、その中での人物について、ただ賛美するような授業ではありません。あくまでも学術的でありながら、同時に本学で学ぶ自分自身の生き方の参考になるような、意義ある授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

とくにありません。学習支援システムを積極的に活用します。

【その他の重要事項】

上述のように、本科目は「大学を知ろう <法政学>への招待」の上位科目として設置されました。したがって、本来は同科目を履修した人を受講者に想定していますが、受講していない人を拒むものではありません。未修の方は、上記した参考書などを参照に、自分なりに基礎知識を得て、授業についていけるよう努めてください。

この「法政学の探究LA」を履修し、さらに学びを深めたい方には、より演習に近い少人数の科目として、「法政学の探究LB」（春学期）も用意されています。

【Outline (in English)】

This intermediate class aims to explore the history and the spirit of Hosei University, by following the achievements and personality of several specific individuals.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review.

Final grade will be calculated according to the following process. Reaction papers for each class 40%, and term-end report 60%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：絵画化された『源氏物語』

阿部 真弓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

絵巻の鑑賞方法等について解説した後、院政期に作られたとされる国宝『源氏物語絵巻』について講義します。

種々の源氏絵、また現代のマンガ等とも比較しながら、『源氏物語』がどのように解釈され、絵画化されてきたかを考察します。『源氏物語絵巻』を学ぶことを通し、日本の古典文学や美術に関する理解を深めます。

【到達目標】

- ①絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ②『国宝 源氏物語絵巻』の特質を理解する。
- ③平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。
- ④現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絵画化されてきたか、源氏絵の様相を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。

授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。

現代語訳を記載したプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要
第2回	絵巻とは(1)	絵巻の歴史について
第3回	絵巻とは(2)	絵巻に見られる技法、絵巻の鑑賞方法について
第4回	『源氏物語絵巻』(1)	『源氏物語絵巻』概説
第5回	『源氏物語』第一部概説	『源氏物語』第一部の解説
第6回	『源氏物語絵巻』(2)	『源氏物語絵巻』蓬生巻について
第7回	『源氏物語』第二部概説	『源氏物語』第二部の解説およびあらすじ
第8回	『源氏物語絵巻』(3)	『源氏物語絵巻』柏木巻（一）について
第9回	『源氏物語絵巻』(4)	『源氏物語絵巻』柏木巻（三）について
第10回	『源氏物語絵巻』(5)	『源氏物語絵巻』横笛巻について
第11回	『源氏物語絵巻』(6)	『源氏物語絵巻』鈴虫巻（二）について
第12回	『源氏物語絵巻』(7)	『源氏物語絵巻』御法巻について
第13回	『源氏物語絵巻』(8)	『源氏物語絵巻』の制作・伝来について
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート（70%）、平常点（30%）によって評価します。レポートは【到達目標】①～④に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出してもらった課題によって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライドのプリントアウトにノートを取ってもらう形を継続します。学習支援システムにアップロードされた質問やコメントは、次週の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【Outline (in English)】

This course deals with *The Tale of Genji illustrated Scrolls* (源氏物語絵巻, designated a National Treasure) and the other works (including Manga) painted *The Tale of Genji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：説話のメディア展開

阿部 真弓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現在、小説がテレビドラマ化・映画化されたり、漫画がアニメ化・ゲーム化・ミュージカル化されたり等、1つのコンテンツが複数のメディアに展開されるメディアミックスの事例が多く見られますが、実は古典文学の世界においても、類似の現象を見て取ることができます。

そうした例として、当授業では安珍・清姫伝説として知られる、道成寺にまつわる説話をとりあげ、講義します。

この説話が、絵巻や、能・歌舞伎といった伝統芸能など、複数のメディアにどのように展開されていったのか、そして人々にどのように享受されたのかについて学び、日本の古典文学や古典芸能に関する理解を深めていきます。

【到達目標】

- ①説話文学の特質について理解する。
- ②絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ③能、歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳を記載したプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要
第2回	説話について	説話文学に関する解説
第3回	道成寺にまつわる説話	説話集に収められた道成寺説話
第4回	絵巻について	絵巻の鑑賞方法に関する解説
第5回	道成寺縁起絵巻(1)	『道成寺縁起絵巻』鑑賞
第6回	道成寺縁起絵巻(2)	『道成寺縁起絵巻』解説
第7回	道成寺縁起絵巻(3)	熊野信仰について
第8回	道成寺縁起絵巻(4)	『道成寺縁起絵巻』の異本について
第9回	能について	能の歴史・鑑賞の仕方に関する解説
第10回	能『道成寺』(1)	能『道成寺』を読む
第11回	能『道成寺』(2)	能『道成寺』解説
第12回	能『道成寺』(3)	能『道成寺』鑑賞
第13回	道成寺物について	日本伝統芸能における「道成寺」の解説
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨んでください。

【テキスト（教科書）】

適宜、プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末締切のレポート（70%）、平常点（30%）によって評価します。レポートは【到達目標】①～③に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出された課題によって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

授業に関する質問やコメントは、次以降の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

また、できるだけ動画等視聴覚資料を用い、伝統芸能のおもしろさを学んでもらうようにします。

【Outline (in English)】

This course deals with the picture scrolls *Dojoji Engi* and the Noh program *Dojoji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art and performing arts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中司 由起子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

かつて日本では「変体仮名・くずし字」という文字が使われていました。本講義では変体仮名・くずし字を正確に読み取る力を習得することを目的とします。変体仮名・くずし字は日本文学や文化を深く理解するうえで欠かせないものです。変体仮名・くずし字がわかると、古典文学のみならず近代の作家たちの手書き原稿や手紙を読んだり、史料・古文書を解読でき、作品が成立した時代や楽しまれた時代へ直接アクセスできます。初めて学ぶ学生が多いと思われるのですが、基礎から丁寧に解説していきます。

【到達目標】

- ① 変体仮名・くずし字を正確に読むことができる。
- ② 変体仮名・くずし字で書かれた内容を解釈できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の講義では、講師による解説の後に問題を解き、答え合わせをします。これを繰り返すことで、変体仮名・くずし字を覚えていきます。毎回、宿題に取り組み、次の講義時に答え合わせをしてフィードバックをおこないます。

教材にする作品は、できるだけ皆さんが知っているようなものを取りあげます。

小テスト・中間テスト・期末テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	変体仮名・くずし字を学ぶ意義や、変体仮名と字母の関係など、基本的な解説を学びます。
2	百人一首①	有名な和歌を教材に変体仮名を読みます。
3	百人一首②	有名な和歌を教材に変体仮名を読みます。
4	小学校唱歌	明治時代の教科書を教材に変体仮名を読みます。
5	小テスト・江戸時代の作品	小テストをします。江戸時代に出版された作品を教材に変体仮名を読みます。
6	御伽草子①	『浦島太郎』を読みます。
7	御伽草子②	『一寸法師』を読みます。
8	仮名草子	『伊曾保物語』を読みます。
9	『平家物語』	『平家物語』の有名な場面を読みます。
10	中間テスト・江戸時代の作品	中間テストをします。江戸時代に出版された作品を教材に変体仮名を読みます。
11	『枕草子』	『枕草子』の有名な章段を読みます。

12	『徒然草』	『徒然草』の有名な章段を読みます。
13	『源氏物語』	『源氏物語』の有名な場面を読みます。
14	まとめ・期末テスト	これまでの内容をまとめ、習得度をはかる期末テストをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【準備】 次回講義で扱う問題を解きます。

【復習】 毎回の講義内で示される宿題を解きます。

展覧会などに足を運び、くずし字で書かれた展示品や史料などを鑑賞し、読み解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

伊地知鐵男編『増補改訂 仮名変体集』新典社、385円。このテキストは変体仮名を解読するための手引きとなります。必ず用意してください。

教材は講義時に資料を配布します。

【参考書】

児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』近藤出版社、1981年（図書館の参考図書にあります）

そのほか、講義時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

課題への取り組み 10%

小テスト 10%

中間テスト 30%

期末テスト 50%

【学生の意見等からの気づき】

本年度はできるだけシラバスに沿う予定ですが、受講者の習得度に合わせて教材にとりあげる作品を変更する場合があります。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with Hentaigana(anomalous cursive syllabary), Kuzushi-ji(character written in a cursive style). It enhances the development of students' skill in reading of Hentaigana and Kuzushi-ji.

【Learning Objectives】

The goals of this course is to reading Hentaigana, Kuzushi-ji accurately.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Preparation: Solve the problems to be covered in the next lecture.

Review: Students will solve the problems given in each lecture.

【Grading Criteria /Policy】

Work on assignments 10%.

Short test 10%.

Midterm test 30%.

Final test 50%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中司 由起子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

かつて日本では「変体仮名・くずし字」という文字が使われていました。本講義では変体仮名・くずし字を正確に読み取る力を習得することを目的とします。変体仮名・くずし字は日本文学や文化を深く理解するうえで欠かせないものです。変体仮名・くずし字がわかると、古典文学のみならず近代の作家たちの手書き原稿や手紙を読んだり、史料・古文書を解読でき、作品が成立した時代や楽しめた時代へ直接アクセスできます。初めて学ぶ学生が多いと思われるが、基礎からていねいに解説していきます。

【到達目標】

- ① 変体仮名・くずし字を正確に読むことができる。
- ② 変体仮名・くずし字で書かれた内容を解釈できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の講義では、講師による解説の後に問題を解き、答え合わせをします。これを繰り返すことで、変体仮名・くずし字を覚えていきます。毎回、宿題に取り組み、次の講義時に答え合わせをしてフィードバックをおこないます。教材にする作品は、できるだけ皆さんが知っているようなものを取りあげます。

小テスト・中間テスト・期末テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	変体仮名・くずし字を学ぶ意義や、変体仮名と字母の関係など基本的な事項を学びます。
2	百人一首①	有名な和歌を教材にして変体仮名を読みます。
3	百人一首②	和歌とその解説を教材にして変体仮名を読みます。
4	小学校唱歌	明治時代の教科書を教材に変体仮名を読みます。
5	小テスト・江戸時代の作品	小テストをします。江戸時代に出版された作品を教材に変体仮名を読みます。
6	御伽草子①	『浦島太郎』を読みます。
7	御伽草子②	『一寸法師』を読みます。
8	仮名草子	『伊曾保物語』を読みます。
9	『平家物語』	『平家物語』の有名な場面を読みます。
10	中間テスト・江戸時代の作品	中間テストをします。江戸時代に出版された作品を教材に変体仮名を読みます。
11	『枕草子』	『枕草子』の有名な章段を読みます。

12	『徒然草』	『徒然草』の有名な章段を読みます。
13	『源氏物語』	『源氏物語』の有名な場面を読みます。
14	まとめ・期末テスト	これまでの内容を振り返り、習得度をはかる期末テストをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【準備】 次回講義で扱う問題を解きます。

【復習】 毎回の講義内で示される宿題を解きます。

展覧会などに足を運び、くずし字で書かれた展示品や史料などを鑑賞し、読み解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

伊地知鐵男編『増補改訂 仮名変体集』新典社、385円。本テキストは、変体仮名を解読するための手引きとなります。必ず用意してください。

問題は、講義時に紙の資料を配布します。

【参考書】

児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』近藤出版社、1981年（図書館の参考図書にあります）
そのほか、講義時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

課題への取り組み 10パーセント

小テスト 10パーセント

中間テスト 30パーセント

期末テスト 50パーセント

【学生の意見等からの気づき】

本年度はできるだけシラバスに沿う予定ですが、受講者の習得度に合わせて取り上げる作品を変更する場合があります。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with Hentaigana(anomalous cursive syllabary), Kuzushi-ji(character written in a cursive style). It enhances the development of students' skill in reading of Hentaigana and Kuzushi-ji.

【Learning Objectives】

The goals of this course is to reading Hentaigana, Kuzushi-ji accurately.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Preparation: Solve the problems to be covered in the next lecture.

Review: Students will solve the problems given in each lecture.

【Grading Criteria /Policy】

Work on assignments 10%.

Short test 10%.

Midterm test 30%.

Final test 50%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

深澤 希望

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

台本を読解した上で、映像で舞台を鑑賞する。狂言という演劇の特徴を理解し、作品を深く味わう。

【到達目標】

- ・鑑賞する上で必要な基本的な知識を習得し、狂言という芸能について自分の言葉で説明できるようになる。
- ・狂言の台詞の特徴を理解し、作品の内容を解釈できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業。基本的には講義形式で進めるが、台本の音読は受講生にも参加してもらう。舞台芸術を取り上げる授業のため、視聴覚資料を用いる。古典芸能である狂言は、独自の約束事が多い。毎回配布するコメントカードに疑問に思った事柄等を積極的に記入してほしい。回答は次の授業冒頭で行い、フィードバックしながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	狂言とは何か
第2回	狂言「附子」を読む	狂言の台本について知る
第3回	狂言「附子」を鑑賞する	狂言の主従関係①太郎冠者・次郎冠者VS主
第4回	狂言「呼声」を読む	狂言の主従関係②太郎冠者VS主・次郎冠者
第5回	狂言「呼声」を鑑賞する	囃子物の効果
第6回	狂言「鞍猿」を読む	狂言の主従関係③大名・太郎冠者・猿引
第7回	狂言「鞍猿」を鑑賞する	動物を演じること
第8回	狂言「鎌腹」を読む	狂言に描かれる夫婦関係
第9回	狂言「鎌腹」を鑑賞する	わわしい女と頼りない男
第10回	狂言「節分」を読む	狂言に描かれる鬼
第11回	狂言「節分」を鑑賞する	鬼の演技
第12回	狂言「無布施経」を読む	狂言に描かれる宗教者
第13回	狂言「無布施経」を鑑賞する	「間」の演技
第14回	まとめ	狂言の広がり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習の時間は各2時間を標準とする。準備学習は台本を精読し正確に音読できるようすること、復習は鑑賞後の感想をまとめ疑問点を明らかにすること等を中心に取り組んでほしい。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用せず、プリントを随時配布する。

【参考書】

小山弘志編『狂言鑑賞案内』岩波講座能・狂言7（岩波書店、1990）

【成績評価の方法と基準】

コメントカード（毎回）70%、学期末レポート30%

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire basic knowledge about Kyōgen.

The goal of this course is to enable students to interpret Kyōgen works. Lecture/two credits

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Comment cards: 70%, Term-end report: 30%

LIT200LA（文学 / Literature 200）

日本文学と文化 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

深澤 希望

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed. 1

単位数：2 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

謡曲を読解した上で、映像で舞台を鑑賞する。能という芸能の特徴を理解し、作品を深く味わう。

【到達目標】

謡曲を読解した上で、映像で舞台を鑑賞する。能という芸能の特徴を理解し、作品を深く味わう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業。基本的には講義形式で進めるが、台本の音読は受講生にも参加してもらう。舞台芸術を取り上げる授業のため、視聴覚資料を用いる。古典芸能である能は、独自の約束事が多い。毎回配布するコメントカードに疑問に思った事柄等を積極的に記入してほしい。回答は次の授業冒頭で行い、フィードバックしながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	能とは何か
第2回	能「実盛」を読み・鑑賞する①	世阿弥伝書、本説『平家物語』
第3回	能「実盛」を読み・鑑賞する②	アイの独語、ワキの独語、シテの登場
第4回	能「実盛」を読み・鑑賞する③	シテ・ワキの応対
第5回	能「実盛」を読み・鑑賞する④	アイの物語、ワキの待受、後ジテの登場
第6回	能「実盛」を読み・鑑賞する⑤	ワキ・シテの応対、シテの物語①
第7回	能「実盛」を読み・鑑賞する⑥	シテの物語②
第8回	能「井筒」を読み・鑑賞する①	世阿弥伝書、本説『伊勢物語』
第9回	能「井筒」を読み・鑑賞する②	ワキの登場、前シテの登場
第10回	能「井筒」を読み・鑑賞する③	ワキ・シテの応対
第11回	能「井筒」を読み・鑑賞する④	前シテの物語
第12回	能「井筒」を読み・鑑賞する⑤	アイの語り、ワキの待受、後ジテの登場
第13回	能「井筒」を読み・鑑賞する⑥	後ジテの舞事、結末
第14回	まとめ	世阿弥の作能法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習の時間は各2時間を標準とする。準備学習は台本を精読し正確に音読できるようすること、復習は鑑賞後の感想をまとめ疑問点を明らかにすること等を中心に取り組んでほしい。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用せず、プリントを随時配布する。

【参考書】

小山弘志ほか編『能鑑賞案内』岩波講座能・狂言 6（岩波書店、1989）
別冊太陽 日本のこころ 173『能』（平凡社、2010年）

【成績評価の方法と基準】

コメントカード（毎回）70％、学期末レポート30％

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire basic knowledge about Nō.

The goal of this course is to enable students to interpret Nō works.

Lecture/two credits

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Comment cards: 70%, Term-end report: 30%

LIT200LA（文学 / Literature 200）

日本文学と文化LG

2017年度以降入学者

サブタイトル：宮崎駿の文学世界

榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は2025年4月2日（水）17時～4日（金）正午12時、結果発表は4月5日（土）22時予定です。履修ガイド(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>)を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アニメーションは、日本が誇るコンテンツであり文化遺産です。アニメーション制作の現場からは数多くのクリエイターが生みだされましたが、その中でも宮崎駿の存在は突出しています。アニメーションを普段観ない人でも、宮崎作品を人生のどこかで必ず観ているはずで、日本だけでなく、世界中に多くのファンを持ち、国内外の重要な賞を数多く受賞しています。宮崎作品の広がり、たとえば『千と千尋の神隠し』の舞台化（2022年に世界初演、2024年にはロンドン公演、2025年には上海公演予定）や、ビリー・アイリッシュが『千と千尋の神隠し』にインスパイアされて制作した楽曲"CHIHIO"（2024年）などに見てとることができます。

宮崎監督がアニメーションの世界に入ったのは、1960年代です。アニメーターとして研鑽を積みながら、原画や脚本や画面構成を担当する中で、NHKのテレビアニメ『未来少年コナン』（1978年）で初めて監督として仕事をします。本授業では、『未来少年コナン』に始まる宮崎駿の全監督作品について、作品分析を試みながら、宮崎監督がそれぞれの作品で何をテーマにどのような世界を描こうとしたのか検証するとともに、宮崎監督の思想の深まりに注目していきたいです。

誰もが日常的に親しんできた宮崎監督のアニメーション作品を、いま一度新たな視点で読み直してみることで、これまで気づけなかった問題系や、登場人物の相関関係、ストーリーの奥深さ、物語上のたくらみ、そして宮崎作品の根底にある文学性に気づくことになるはずです。宮崎監督の全作品を辿る旅を通して、皆さんと一緒に宮崎監督とその作品の新たなイメージに到達したいと考えています。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンやカットごとに解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法やギミックや物語構造などについて、自分の力で読み解き、考察し、論述できる力の獲得を目指します。関連資料を参照し、他者の意見や論考に目を通し、作品の背景にある文化的、社会的、民俗的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーション（資料提示）と講義を併せた形で行います。宮崎監督作品を初期から最新作まで重要なシーンを観賞しながら、解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつの短いカットです。カットは継的な物語を構成する最小の「部品」ですが、同時にクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

その意味で、作品の基礎であり設計図ともいえる絵コンテの存在が大きくなるでしょう。絵コンテを出発点に最終的な作品に仕上がるまでには、多くの制作プロセスがあります。アニメーションの制作現場でどのようなことが行われているのか、そうしたことにも言及していきたいです。さらに宮崎監督自身の言葉、関連資料の紹介、他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	宮崎駿、その人と作品について
2	『未来少年コナン』	理想郷を求めてさまよう人々
3	『ルパン三世 カリオ ストロの城』	「城」のイメージに潜む権力性
4	『風の谷のナウシカ』	終末世界に重ねられる神話世界
5	『天空の城ラピュタ』	少年少女のイメージの継承と発展
6	『となりのトトロ』	「他者」との出会いの意味
7	『魔女の宅急便』	少女と猫のいる風景
8	『紅の豚』	「世情」に抗う決意と行動
9	『もののけ姫』	神と人が交錯する群像劇
10	『千と千尋の神隠し』	行きて帰らし物語」に宿る力
11	『ハウルの動く城』	魔法世界の造形
12	『崖の上のポニョ』	異種交流譚としての読み解き
13	『風立ちぬ』	戦争を描くということ
14	『君たちはどう生きるか』	宮崎作品の集大成をどう読むか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宮崎監督作品のほとんどは鑑賞済みと思いますが、もし未鑑賞のものがある場合は、時間がある時に観ておくようにしてください。その際、ただ受動的に消費するのではなく、作品について自分の頭で積極的に考え、客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品を鑑賞する中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

参考書は膨大に存在するので、授業時その都度紹介します。大学の図書館などを利用して、各自参考資料を手に入れるようにしてください。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた宮崎駿監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

これまで宮崎作品に触れる機会が少なかった学生にも、理解しやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

アニメーションや現代日本文学、同時代の表現に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。X（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Animation is Japan's proud source of content and cultural heritage. Numerous creators have emerged from the field of animation production, but Hayao Miyazaki stands out among them. Even those who do not usually watch animation must have seen Miyazaki's works at some point in their lives. He has many fans not only in Japan but also around the world, and has received many important national and international awards.

In this class, we will attempt to analyze all of Hayao Miyazaki's works, while examining what themes and what kind of world he tried to depict in each of his films, as well as focusing on the depth of his philosophy.

【Learning Objectives】

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Hayao Miyazaki's animations as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

【Learning activities outside of classroom】

When watching animations, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the animation films. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Miyazaki's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化LH

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞しつつ、原作小説を講読していきます。2024年に劇場公開された以下の12作品の中から6～7作品を選んで取りあげます。小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を深く読む力の獲得を目指します。

＊

瀬尾まいこ『夜明けのすべて』（三宅唱監督）

町田そのこ『52ヘルツのクジラたち』（成島出監督）

川村元気『四月になれば彼女は』（山田智和監督）

高山一実『トラベジウム』（篠原正寛監督）

嶽本野ばら『ハピネス』（篠原哲雄監督）

村上春樹『めくらやなぎと眠る女』（ピエール・フォルデス監督）

安部公房『箱男』（石井岳龍監督）

吉田修一『愛に乱暴』（森ガキ侑大監督）

辻村深月『傲慢と善良』（萩原健太郎監督）

山田風太郎『八犬伝』（曾利文彦監督）

平野啓一郎『本心』（石井裕也監督）

染井為人『正体』（藤井道人監督）

＊作品の配列は劇場公開順です。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンル（純文学、エンターテインメント、社会小説、ミステリ、時代小説、児童文学）の小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的なアウトプットができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を講読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。同一の物語内容を含む言語メディアである小説と映像メディアである映画を比較検証することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、それぞれの作品について深く思考し、自分の考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。

小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業は進めていきます。

授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読(1)	原作小説の講読・分析・考察
3	映画観賞と解説(1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読(2)	原作小説の講読・分析・考察
5	映画観賞と解説(2)	原作の映画鑑賞と解説・考察
6	原作小説の講読(3)	原作小説の講読・分析・考察
7	映画観賞と解説(3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読(4)	原作小説の講読・分析・考察
9	映画観賞と解説(4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読(5)	原作小説の講読・分析・考察
11	映画観賞と解説(5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読(6)	原作小説の講読・分析・考察
13	映画観賞と解説(6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめと、レポート提出について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握したい人は、小説を読んだ上で授業に臨んでください。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外に読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。レポート提出のための事前準備として、自分がレポートの対象として選んだ作品を精読した上で、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の以下の文庫本。すべての本を入手する必要はありません。

- ・瀬尾まいこ『夜明けのすべて』（文春文庫）
- ・町田そのこ『52ヘルツのクジラたち』（中公文庫）
- ・川村元気『四月になれば彼女は』（文春文庫）
- ・高山一実『トラベジウム』（角川文庫）
- ・嶽本野ばら『ハピネス』（小学館文庫）
- ・村上春樹『蜩・納屋を焼く・その他の短編』（新潮文庫）
- ・安部公房『箱男』（新潮文庫）
- ・吉田修一『愛に乱暴』（新潮文庫）
- ・辻村深月『傲慢と善良』（朝日文庫）
- ・山田風太郎『八犬伝』（角川文庫）
- ・平野啓一郎『本心』（文春文庫）
- ・染井為人『正体』（光文社文庫）

【参考書】

必要な資料はプリントで配付します。

参考書・参考文献は、教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

現代日本文学になじみのない学生にもわかりやすい言葉で、解説と考察を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。X（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that filmed as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 or 7 works in 2024.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 or 7 titles after carefully selecting from the works released in 2024.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters.

Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：西洋文学と音楽

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。音声や文字という記号の表現である文学と、直接感性に訴える音の連なりである音楽は、元来切っても切れない関係にあります。「詩」は「うたふ」ものであり、かつて物語は韻律をとめない楽器にのせて語られました。

春学期では、ミュージカルの名作として愛され続けている『レ・ミゼラブル』を、原作を参照しつつ分析します。さらに最も人気の高いオペラの一つである『カルメン』を扱います。次にシェークスピアの名高い『ロミオとジュリエット』を取り上げます。この作品は様々な作曲家により音楽化されています。さらにこの現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を扱います。

【到達目標】

芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。

「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。

この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力や探求力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教材や資料は学習支援システムに載せます。

まずは19世紀中ごろにユゴーによって書かれた『レ・ミゼラブル』を概観したうえで、ミュージカルやテレビドラマ版を鑑賞し、分析します。次にほぼ同時期にメリメによって書かれた小説をもとに創られたオペラ『カルメン』を扱います。さらに16世紀末にシェイクスピアによって書かれた『ロミオとジュリエット』を概観し、鍵となる場面を詳しく検討します。そのうえで音楽家によるさまざまな作品を鑑賞し、分析します。さらに『ロミオとジュリエット』の現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』の映画版（1961年）を、『ロミオとジュリエット』とのかかわりを含めて鑑賞し、分析します。2021年にスビルバーグ監督による映画が公開されました。この授業では主に1961年の映画版に沿いながら、2021年版もところどころ参照します。時代も背景も異なる状況で書かれた物語にも、シェイクスピアの名高い作品の扱う普遍的なテーマが生きていることを見ます。

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出していただきます。やはり学習支援システムによりお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『レ・ミゼラブル』1 そもそもこれはどの ような作品か	ヴィクトル・ユーゴー：ロマン 主義運動の総帥 小説『レ・ミゼラブル』
2	『レ・ミゼラブル』2 ぶつかる二人の主要 人物	ミュージカル： ジャン・ヴァルジャン とジャヴェール
3	『レ・ミゼラブル』3 ハッピーエンドの カップルと二人の 「もう一人」	コゼットとマリウス エポニヌという存在 ジャン・ヴァルジャンという存 在
4	『レ・ミゼラブル』4 フランス語版のドラ マ	フランスのテレビ局製作：ジェ ラルド・ドパルデュー主演
5	『カルメン』1 小説とオペラ	原作は中編小説。書いたのはフ ランスの役人。 オペラを作曲したのはフランス 人ビゼー。 序曲と冒頭 「ハバネラ」 「ミカエラの歌」 Femme fatale (運命 の／致命的な女) VS 清纯派
6	『カルメン』2 フランスにとっての、 スペインという「お 隣の」異郷	「アルカラの竜騎兵」：ロマの踊 りが狂巻 歌手も踊る（というよりも踊れ ない歌手はお呼びでない）： 「鈴を打ち鳴らす」
7	『カルメン』3 闘牛場の外で	「闘牛士の歌」 「行進曲」
8	『ロミオとジュリ エット』1 誰もが聞いたことは あるあの作家、あの 作品、 誰もが見たことのあるあの場面	最終場面：中の祝祭と外の破局 ウィリアム・シェイクスピアの 戯曲：元ネタと著作権という考 え方 映画版：ゼフィレリ監督 1968年 冒頭とバルコニーの場面
9	『ロミオとジュリ エット』2 どう描くか、演出に よる違い	決闘の場面 最終場面 ゼフィレリ版とルールマン版 (1966年)
10	『ロミオとジュリ エット』3 バレエ：セリフがな いシェイクスピア演 劇	セルゲイ・プロコフィエフのバ レエ音楽 冒頭 「騎士たちの踊り」 (シンセサイザーなどによる ELP版)
11	『ロミオとジュリ エット』4 原作と最後が大きく 違うオペラ	決闘の場面 最終場面 現代への翻案
12	『ウエストサイド 物語』1 誰もが見たことのあるあの振り付け	『ロミオとジュリエット』との 比較： 登場人物と設定の共通点と違い ジャズの表現：裏拍； 冒頭場面 "Tonight" "America" (The Niceによる編 曲)
13	『ウエストサイド 物語』2 移民グループの対立	悪魔の？ 魅惑の？ 減5度（増4 度） 決闘場面 "Cool"

- 14 『ウエストサイド 最終場面
物語』3 永遠のテーマ
どこが、そしてなぜ
「原作」と異なるのか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらにAVライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。またインターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-4:原作の小説『レ・ミゼラブル』を読む。主要登場人物についてまとめる。映画版やドラマ版を選んで視聴する。

5-7：原作の小説『カルメン』を読む。オペラ版を選んで視聴する。

8-11：原作の演劇『ロミオとジュリエット』を読む。映画版やバレエ版を選んで視聴する。

12-14：映画版を視聴する。舞台版を選んで視聴する。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まった教科書はありません。資料、教材を学習支援システムでお配りします。

【参考書】

【参考書/References】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164

『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180

『著作権とは何か』福井建策、集英社新書0924A

他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示すようにします。

【その他の重要事項】

教室の定員を超える受講希望者があった場合には抽選を行いますので「お知らせ」等をよく確認してください。

【Outline (in English)】

This course deals with occidental literature, especially works adapted for music. Literature, which expresses its objects by signs, and music, which appeals to sentiments by way of sequences of sounds, are closely related to each other. Stories were, in effect, once sung accompanied by musical instruments. The works dealt with in this class during the spring term will be:

"Les Misérables" (musical), "Carmen"(opera), "Romeo and Juliet" (movie, ballet and opera), "West Side Story" (musical).

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and musical works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work. They must spend in total four hours for these tasks.

Final grade will be calculated according to the total score of their assignments (100%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：西洋文学と音楽

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続いて、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。モーツァルトとサリエリのライヴァル関係を描いた演劇および映画『アマデウス』を軸に、モーツァルトの『フィガロの結婚』、『ドン・ジョヴァンニ』、サリエリの『タラール』といったオペラ、モリエールの『ドン・ジュアン』、ボーマルシェの『フィガロの結婚』などの戯曲を分析します。その次に、ミュージカルとして人気を博しているルルー原作の『オペラ座の怪人』を扱います。

【到達目標】

芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。
「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら採り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。
この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力や探求力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教材や資料は学習支援システムに載せます。
秋学期には、イギリスの劇作家ピーター・シェファールの『アマデウス』（1979年）を軸に、その中に登場するヨーロッパの17世紀から18世紀の音楽作品、またそれにちなむ文学作品を扱います。『アマデウス』は1984年に作者自身が脚色して映画化されて多くの人々に評価されたので、知っている方も多いことでしょう。まず、この作品の概要を見渡し、それからこの作品の中に登場する音楽、その原作となった文学作品を概観し、分析します。分析の方法論も学びます。次に扱う『オペラ座の怪人』は20世紀の初めにフランスのミステリー作家ガストン・ルルーによって発表された小説作品ですが、英語によるミュージカルで今では人気を博しています。美と醜、歴史的な建物に潜む謎など、ある意味では定番の数々のテーマを分析します。
各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出させていただきます。やはり学習支援システムによりお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『アマデウス』とは	演劇と映画；「神に愛されたる者」の物語
2	『アマデウス』 衝撃の出会い	モーツァルトとサリエリのライヴァル関係

3	『フィガロの結婚』1 原作者はどんな人か オペラへの翻案	ボーマルシェの戯曲：政治的な意味合い ダ・ボンテの台本とモーツァルトのオペラ： 序曲と冒頭
4	『フィガロの結婚』2 ケルビーノというトリックスター	「自分で自分がわからない」「もう飛ぶまいぞこの蝶々」 映画『アマデウス』におけるサリエリの行進曲の変奏
5	『フィガロの結婚』3 モーツァルトによる譜面と『アマデウス』版	第2幕の最終場面の7重唱 結婚式の場面 第3幕の山場と急転換 第4幕のどんでん返し 最終場面
6	『タラール』とはどんな作品か	ボーマルシェ自身が台本を書いたサリエリのオペラは当時のお手本オペラ 女たらしの伝説 無神論を支持する誘惑者？ モリエールの演劇：フランス古典主義の時代 冒頭の場面 貧者との対話の場面
7	ドン・ファン伝説 モリエールの『ドン・ジュアン』1 唯物論者にして快楽主義者？	騎士隊長の像 亡霊 晩餐 最終場面
9	オペラ『ドン・ジョヴァンニ』1 グロテスク：おぞましくも滑稽	ダ・ボンテの台本とモーツァルトのオペラ：序曲、 「女のリスト」
10	『ドン・ジョヴァンニ』2 超自然現象をどう演出するか	村の娘の誘惑 騎士隊長の像
11	『ドン・ジョヴァンニ』3 再び『アマデウス』 歴史上の謎をどう演出するか	晩餐 最終場面のさまざまな演出： 映画『アマデウス』版とロゼー版 精神分析：科学か20世紀の骨相学か 『アマデウス』の最終場面
12	『オペラ座の怪人』1 これはオペラではない、オペラ劇場を舞台とした作品。	原作者のガストン・ルルーとは？ 小説『オペラ座の怪人』 2004年の映画版ミュージカル
13	『オペラ座の怪人』2 読み手／観客を惹きつける設定	ミュージカル： 人気スターと新進の歌手、 謎と恐怖
14	『オペラ座の怪人』3 捕り物という定番クライマックスと余韻を残す最終場面	ミュージカル： 表の二枚目と裏のヒーロー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらにAVライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。またインターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-2：原作の演劇を読む。

3-5：原作の演劇を読む。オペラ版を選んで視聴する。

6：サリエリについて調べる。

7-10：ドン・ファンの伝説について調べる。モリエールの『ドン・ジュアン』を読む。オペラ『ドン・ジョヴァンニ』を選んで視聴する。

11：モーツァルトの晩年について調べる。

12-14：原作の小説を読む。映画版、ミュージカル版を選んで視聴する。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムを通して資料などを配ります。

【参考書】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603.

『論文レポートの文章作法』古郡延治、有斐閣新書C164

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書0924A

『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180

他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示すようにします。

【その他の重要事項】

教室の定員を超える受講希望者があった場合には抽選を行いますので「お知らせ」等をよく確認してください。

【Outline (in English)】

As in the spring semester, this course deals with occidental literature, especially works adapted for music.

The works dealt with during the fall term will be : "The Marriage of Figaro", "Tarare", "Don Giovanni" (opera works presented in Peter Shaffer's "Amadeus", which will be also treated in this course); "Le Fantôme de l'opéra", one of the most popular musicals, based on a mystery written by a French writer, Gaston Leroux.

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and musical works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work.

They must spend in total four hours for these tasks.

Final grade will be calculated according to the total score of their assignments (100%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：漢詩を作る

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者に漢詩の実作を指導する授業です。最初に漢詩の中でも最も厳格な規則に基づく「近体詩」の作り方について解説します。その上で漢詩（七言絶句）の実作に挑み、「近体詩」の規則についての理解を深めます。実作の参考になるように、実作と並行して四季の風物を詠じた漢詩（歳時詩）を季節に沿って鑑賞します。

【到達目標】

- ・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・近体詩の規則を理解し、それに従って漢詩の実作をする。
- ・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

開講時から五回ほどを使って、漢詩の歴史、さまざまな詩形、漢文のルール、近体詩の規則について説明する。その後は漢詩の実作指導を中心に据える。実作の参考になるように、一回ごとに異なるテーマを設け、毎回数首の漢詩を鑑賞する。日本人の作った漢詩もできるだけ紹介したい。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩と取り組み、各自の思いを表現していったことを知ってほしい。※第1回目から対面授業をする予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	漢詩の詩形、古体詩と近体詩、歳時詩について、／梅の詩鑑賞	漢詩の歴史、さまざまな詩形、古体詩と近体詩の説明。「歳時詩」「二十四節気」の説明。／林逋「山園小梅」などを鑑賞。
第2回	近体詩の格律①／桜の詩鑑賞	正岡子規「閑子規」を例に作詩法を解説。平仄図式・押韻の説明。二四不同二六対の説明。／藤井竹外「芳野」などを鑑賞。
第3回	近体詩の格律②／春遊の詩鑑賞	反法・粘法の説明。いくつかの禁忌（下三連、孤平、冒韻、同字の重複）について。／杜牧「江南春」などを鑑賞。
第4回	漢文のルール①／晩春の詩鑑賞	和習を避ける。動詞・形容詞・副詞の用法／白居易「三月三十日題慈恩寺」、呉錫麒「送春」などを鑑賞。
第5回	漢文のルール②／ほととぎすの詩鑑賞	前置詞・助動詞の用法。「有」「無」の用法／杜甫「子規」、嵯峨波響「聞鵲」などを鑑賞。

第6回	牡丹・薔薇・石榴の詩鑑賞／実作指導	皮日休「牡丹」、石川丈山「白牡丹」、高駢「山亭夏日」、柏木如亭「石榴」などを鑑賞。／実作（七言一句を作る）
第7回	山行の詩鑑賞／実作指導	王安石「鍾山」、広瀬淡窓「彦山」などを鑑賞。／実作（七言二句を作る）
第8回	梅雨の詩鑑賞／実作指導	趙師秀「約客」、篠崎小竹「梅雨」などを鑑賞。／実作（七言絶句を作る）
第9回	蓮の花の詩鑑賞／実作指導	白居易「池上」、菅茶山「夏日雜詩」などを鑑賞。／実作
第10回	螢・蟬・蠅・蚊の詩鑑賞／実作指導	杜甫「螢火」、北條霞亭「観螢」、蘇軾「溪陰堂」、韓愈「雜詩」などを鑑賞。／実作
第11回	苦熱・避暑・昼寝の詩鑑賞／実作指導	柳宗元「夏昼偶作」、袁枚「銷夏」、野田笛浦「昌平橋納涼」などを鑑賞。／実作
第12回	夏の江村・舟行・滝の詩鑑賞／実作指導	杜甫「江村」、李白「望廬山瀑布」などを鑑賞。／実作
第13回	夕立の詩鑑賞／実作指導	蘇軾「六月二十七日、望湖樓醉書」、大窪詩仏「急雨」などを鑑賞。／実作
第14回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。
本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当者作成の資料を配布する。

【参考書】

石川忠久『漢詩を作る』（大修館書店）
石川忠久『漢詩の稽古』（大修館書店）
石川忠久監修『漢詩創作のための詩語集』（大修館書店）
鷺野正明『初めての漢詩創作』（白帝社）
鈴木健一編『漢文のルール』（笠間書院）
小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）
前野直彬『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』（角川書店）
石川忠久『漢詩鑑賞事典』（講談社学術文庫）
石川忠久『日本人の漢詩 風雅の過去へ』（大修館書店）
石川忠久『漢詩をよむ 春の詩100選』
同 『漢詩をよむ 夏の詩100選』
同 『漢詩をよむ 秋の詩100選』
同 『漢詩をよむ 冬の詩100選』（以上、NHK出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業中に作って提出する漢詩の実作）50%
期末試験またはそれに代わる最終レポート 50%

【学生の意見等からの気づき】

実作指導の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to write Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Term-end examination (or Term-end report) : 50%、Short reports : 50%

LIT200LA（文学 / Literature 200）

外国文学と文化 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：『唐詩選画本』を読む

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

江戸時代に日本で刊行された『唐詩選画本』をテキストとして唐詩を読む。『唐詩選画本』は絵と詩の本文、その書き下し文、日本語による解説文によって構成されている。はじめに『唐詩選画本』を含む唐詩のテキストについて概説する。以後は五言絶句から始めて徐々に長い詩に進むかたちで具体的な作品を鑑賞してゆく。「歳時詩」「辺塞詩」「閨怨詩」「唱酬詩」「詠物詩」「詠史詩」といった漢詩のテーマについても折をみて解説を加えるつもりである。なお、『唐詩選画本』の書き下し文、解説文は「変体仮名」で記されているので、変体仮名を読む訓練にもなるであろう。

【到達目標】

- ・中国古典文学の基盤をなす考え方を知るとともに漢詩の読解に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・変体仮名に慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。第一回目の授業で、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近代詩の規則について概説する。第二回目の授業では「変体仮名」について説明した上で、『唐詩選画本』の具体的な作品を鑑賞する。第三回目以降の授業は作品鑑賞が中心になる。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩をどのように読み解いていたかを具体的に知ってほしい。

※第1回目から対面授業をする予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。

※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	漢詩の形式について	漢詩の形式の解説。『全唐詩』『唐詩のテキストについて』『唐詩選』『唐詩三百首』『唐詩選画本』等の説明。
第2回	鑑賞（五言絶句）	賀知章「題袁氏別業」
第3回	鑑賞（五言絶句）	駱賓王「易水送別」
第4回	鑑賞（五言絶句）	李白「静夜思」、王維「班婕妤」
第5回	鑑賞（七言絶句）	王勃「蜀中九日」
第6回	鑑賞（七言絶句）	王翰「涼州詞」
第7回	鑑賞（七言絶句）	李白「峨眉山月歌」、王昌齡「閨怨」
第8回	鑑賞（五言律詩）	杜甫「旅夜書懷」
第9回	鑑賞（五言律詩）	張謂「同王徵君洞庭有懷」
第10回	鑑賞（七言律詩）	崔顥「黃鶴樓」
第11回	鑑賞（五言古詩）	李白「子夜吳歌」
第12回	鑑賞（七言古詩）	杜甫「貧交行」
第13回	鑑賞（七言古詩）	劉廷芝「代悲白頭翁」

第14回 授業の総まとめと期 筆記試験、まとめと解説
末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当者がプリントを用意する。

【参考書】

前野直彬注解『唐詩選』全三冊（岩波文庫）

村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）

目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）

山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）

猪口篤志『日本名詩鑑賞辞典』（角川書店）

石川忠久『漢詩鑑賞事典』（講談社学術文庫）

小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）

石川忠久『漢詩をよむ 春の詩100選』

同 『漢詩をよむ 夏の詩100選』

同 『漢詩をよむ 秋の詩100選』

同 『漢詩をよむ 冬の詩100選』（以上、NHK出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・リアクションペーパー）50%

期末試験またはそれに代わる最終レポート 50%

【学生の意見等からの気づき】

変体仮名を読む訓練の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to appreciate Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report) : 50%, Short reports : 50%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：イタリア・オペラに親しむ (1)

大崎 さやの

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/
intensive・other courses

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オペラは16世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。日本では比較的馴染みが薄いオペラですが、特にイタリア・オペラはありふれた内容のものが多く、肩肘張って見るような難しいものでは決してありません。楽しみながらヨーロッパ文化の神髄であるオペラに親しんでいきましょう。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

オペラの誕生したルネサンスから18世紀までのオペラを講義形式で扱います。配布PDF・音声ファイルの他、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。

授業はオンデマンド方式で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
①	イントロダクション ルネサンスの舞台芸術 (1)	授業紹介 ルネサンスと宮廷音楽劇
②	ルネサンスの舞台芸術 (2)	コンメディア・デッラルテとマドリガル・コメディ
③	オペラの誕生 (1)	カメラータ・フィオレンティーナとオペラの誕生、モンテヴェルディの生涯
④	オペラの誕生 (2)	モンテヴェルディ作曲、ストリッジョ台本のオペラ
⑤	バロック・オペラ (1)	ヴェネツィア・オペラとカストラートの隆盛
⑥	バロック・オペラ (2)	モンテヴェルディ作曲、プゼネッロ台本のオペラ
⑦	バロック・オペラ (3)	ヘンデルの生涯と作品
⑧	バロック・オペラ (4)	ヘンデル作曲、ハイム台本のオペラ
⑨	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (1)	アルカーディア・アカデミーとオペラ

⑩	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (2)	メタスタージオ台本、ヴィンチ作曲のオペラ
⑪	オペラ・セーリアの改革 (1)	グルックとカルツァビージについて
⑫	オペラ・セーリアの改革 (2)	グルック作曲、カルツァビージ台本のオペラ
⑬	オペラ・ブッフアとインテルメッツ	ベルゴレージ作曲のインテルメッツ
⑭	授業のまとめ	オペラの誕生から18世紀前半までのオペラ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

GoogleClassroomで指示します。GoogleClassroomのコードは、学習支援システムで指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

GoogleClassroomで資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

GoogleClassroomで紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (期限内に提出された課題含む) (約70%)と期末試験 (定期試験中に対面で実施、約30%)により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能 (大学のOffice 365に入っています) を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【その他の重要事項】

本授業は受講者数を「40名」までに制限しております。選抜は抽選で行います。選抜方法については、学習支援システムを通じて通知しますので、希望者はチェックしてください。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via GoogleClassroom; GoogleClassroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (70%) and the final test (30%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：イタリア・オペラに親しむ (2)

大崎 さやの

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オペラは16世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。外国文学と文化 F では、春学期の外国文学と文化 E に引き続き、19世紀から20世紀にかけての爛熟期のイタリア・オペラを扱います。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では18世紀から20世紀にかけてのイタリア・オペラを扱います。配布PDF・音声ファイルの他、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。授業はすべてオンデマンド方式で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
①	オペラ・ブッフア	18世紀までのオペラの簡単な歴史とオペラ・ブッフアについて
②	古典派オペラ (1)	モーツァルト作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
③	古典派オペラ (2)	モーツァルト作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
④	古典派オペラ (3)	モーツァルト作曲のオペラ (3) 作品解説
⑤	古典派オペラ (4)	モーツァルト作曲のオペラ (4) 作品鑑賞
⑥	ロマン派オペラ (3)	ロッシーニ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑦	ロマン派オペラ (4)	ロッシーニ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑧	ロマン派オペラ (5)	ドニゼッティ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑨	ロマン派オペラ (6)	ドニゼッティ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑩	ロマン派オペラ (7)	ヴェルディ作曲のオペラ (1) 生涯と作品
⑪	ロマン派オペラ (8)	ヴェルディ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑫	ロマン派オペラ (9)	ヴェルディ作曲のオペラ (3) 作品解説

⑬ 世紀末から20世紀 プッチーニ作曲のオペラ 作品にかけてのオペラ 鑑賞 (2)

⑭ 授業のまとめ 18世紀後半から20世紀のオペラ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Google Classroom で指示します。Google Classroom のコードは、学習支援システムで指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Google Classroom で資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

Google Classroom で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (期限内に提出された課題含む) (70%) と期末試験 (定期試験中に対面で実施、30%) により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

分かり易い授業を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能 (大学のOffice 365に入っています) を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【その他の重要事項】

本授業は受講者数を「40名」までに制限しております。選抜は抽選で行います。選抜方法については、学習支援システムを通じて通知しますので、希望者はチェックしてください。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via Google Classroom; Google Classroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (about 70%) and the final test (about 30%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本文学と民俗学

梶 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「民俗」（民間伝承）とは、ある地域社会、特定のコミュニティのごくふつうの人々の暮らしの中で集団的に形づくられ、時代を超えて伝えられてきた暮らしぶりや心の持ち方を指します。「地域（ローカル）」の範囲は、小さくは一つの集落、大きくは世界（グローバル）の中の日本という「地域」といったように、さまざま設定できます。この授業では世界の中の日本、という視野のもと、こうした「民間伝承」を研究対象とする「民俗学」を探り入れた日本文学研究の世界を、『万葉集』『古事記』『日本書紀』『風土記』『古今和歌集』『源氏物語』等、主として上代・中古の文学の中から事例を選んで紹介します。民俗学的な日本文学研究とは、個々の作者・作品の個性や創意、時代性を超えて、現代の私たちの心の底にまで伝わっていると考えられるような集団の心性を、残された言語表現を通じて探ろうとするものである、といえるでしょう。このような性格のため、「個」（一作者や作品）の芸術性の追究といったことを期待する人には、不向きと思われるかもしれません。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室対面を基本とする、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。

毎回、リアクションペーパーないしは小レポートの形で感想等を書いてもらう予定です。毎回の初めに、前週のリアクションペーパーの中から具体例を選んで紹介するなどして、感想の共有を図ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	民俗学的な日本文学研究について、概説
第2回	桜の文学と民俗（1）	季節感と古典文学との関わり、またその源流と考えられる民俗について
第3回	桜の文学と民俗（2）	前回の続きとまとめ
第4回	「女歌」の特色と源流（1）	男女の恋の贈答歌における女性の歌の特色と、その源と考えられる「歌垣」の習俗について
第5回	「女歌」の特色と源流（2）	前回の続きとまとめ
第6回	恋歌の虚構性	万葉集・額田王の蒲生野の恋歌を例に
第7回	古代女性の巫女的性格と文学（1）	古代女性の「神」に仕える役割と古典文学、歴史との関係

第8回	古代女性の巫女的性格と文学（2）	前回の続き
第9回	古代女性の巫女的性格と文学（3）	前回の続きとまとめ
第10回	「恋（こひ）」の生活と靈魂信仰（1）	「魂乞い」・名前の民俗ほか、和歌や物語から恋愛に関わる靈魂信仰（生命観）を探る
第11回	「恋（こひ）」の生活と靈魂信仰（2）	前回の続きとまとめ
第12回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（1）	昔の日本人にとっての「誕生」「成人」の意義と文学への反映
第13回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（2）	前回の続きとまとめ
第14回	総括として	例題を総復習し、授業の到達目標を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学に高校までの授業のイメージを持たずに、現代語訳でもいいので、日頃からその世界に親しんでほしいと思います。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載する資料教材をもって代えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

およそ、期末試験60%、毎回のリアクションペーパー（ないしは小レポート）40%の予定。詳細は初回授業までに学習支援システムにてお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

授業教材が、欠席した時もあとで読めば凡そ分かるような、解説付きのオンデマンド対応パワーポイントであるため、復習の際に要点が掴みやすく、画像も豊富に入っているのが親しみやすい、という感想が多かったです。ただし、オンデマンド型教材だと「出席しなくてもあとで読めば内容がわかる」と、教室授業に欠席がちになるデメリットもあるため、今年度から出席替わりのリアクションペーパー（ないしは小レポート）を毎回課すことを試みます。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

"Folk" (folklore) refers to the way of life and mindset that has been collectively formed in the lives of ordinary people in a certain community or a specific community and has been passed down through the ages, increase. The range of "region (local)" can be set in various ways, such as one village for small and Japan in the world (global) for large. In this class, from the perspective of Japan in the world, the world of Japanese literature research that incorporates "folklore" that targets such "folklore" will be discussed in "Manyoshu," "Kojiki," and "Nihonshoki." We will introduce examples mainly from the literature of the upper generation and used, such as "Fudoki", "Kokin Wakashu", and "Genji Monogatari". Folklore Japanese literature research transcends the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works, and is the bottom of our hearts today.

Folklore Japanese literature research leaves behind a collective spirit that is thought to be transmitted to the bottom of our hearts today, transcending the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works. It can be said that it is an attempt to explore through the linguistic expressions that have been made. Because of this personality, it seems unsuitable for those who expect to pursue the artistry of "individuals" (one author or work).

Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.
- ・ As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. I would like you to become familiar with the world on a daily basis, as you can use a modern translation without having the image of a class up to high school in classical literature.

Grading criteria

60% will be the final exam, and 40% will be the reaction paper (or small report) each time. Details will be provided on the learning support system before the first class.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本文学と民俗学

梶 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ（副題）：日本文学と民俗

梶「文学と社会LA」と同じです。ただし具体的な内容は「授業計画」に記す通り、異なります。Aよりも「民俗」(＝民間伝承)の部分に重点を置いた内容になります。「文学」発生の母胎としての性格を未だによく保持しており、日本文学の「古代性」を考える上で重要なヒントになるとされる沖縄離島の祭事・信仰をクローズアップして紹介する回が多くなり、時間があればそれを材料に、伝統文化を活かした持続可能な地域形成に祭事や言語伝承が果たす役割なども考察したいと思っています。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室での対面授業を基本とする、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。毎回、リアクションペーパーないしは小レポートの形で感想を書いてもらう予定です。毎回、前週のリアクションペーパーの中から具体例を選んで紹介するなどして、感想の共有を図ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	日本文学の民俗学的な見方について、概説
第2回	季節行事と文学（1）	具体例として、古典文学における七夕と、七夕関連行事・民俗について
第3回	季節行事と文学（2）	日本固有のタナバタ説話について／2回のまとめ
第4回	古代文学に表現された異郷「訛（は）の国」（1）	古事記の用例をめぐって、語の意味・由来、背景に考えられる民族移動・渡来の歴史など
第5回	古代文学に表現された異郷「訛（は）の国」（2）	別視点：「異族結婚」が多かった時代の記憶の反映／2回のまとめ
第6回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（1）	万葉集・記紀・風土記などに見える用例（浦島伝説等）／明・暗両面性
第7回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（2）	比較事例として、沖縄・奄美等の来訪神の祭事を紹介：「ニライカナイ」の心象

第8回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（3）	明暗両面性の由来の考察（日本の「神」とは何か）—自然観・祖霊観念との関わりなど
第9回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（4）	トコヨからの来訪者／まとめ
第10回	「貴種流離譚」（1）	神（またはそれに近い高貴な存在）がさすらう物語の類型をめぐって
第11回	「貴種流離譚」（2）	古代的な生命観・霊魂信仰や異郷意識（他界観念）との関わり／2回のまとめ
第12回	「神話」が生きる島（1）	祭事・信仰などに古代的要素が残っている日本の離島の例を紹介
第13回	「神話」が生きる島（2）	前回の続き
第14回	総括の授業と授業内試験	話してきた例題のポイントを振り返ったあと、まとめのテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学と「民俗」との関連を知ることをきっかけに、地域の伝統行事を見学することなども奨励します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載するスライド教材をもって替えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%。毎回のリアクションペーパー（ないしは小レポート）40%。詳細は初回授業までに学習支援システムにてお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

春学期の「LA」の授業と同様、文章の説明入りのオンデマンド対応のスライド教材であるため、体調不良で教室授業に出られない場合でも自宅で自習できることへの評価のほか、伝統祭事についての豊富な動画で実感を持てたという声もありました。ただし春学期の授業同様、オンデマンド型教材だと、教室授業への出席意欲についてはデメリットにはたらく場合もあるため、今年度から毎回、リアクションペーパーないしは小レポートを課すこととする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

This class is same as "Literature and Society LA" by Kaji. However, the specific content is different as described in the "Class Plan". The content focuses on the "folk" (= folklore) part rather than A. A close-up introduction to the festivals and beliefs of the remote islands of Okinawa, which still retains the character of the mother of "literature" and is considered to be an important hint when considering the "ancientity" of Japanese literature. If I have more time, I would like to consider the role of festivals and linguistic tradition in the sustainable regional formation that make use of traditional culture.

Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.

- ・ As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. We also encourage you to visit traditional events in the area by learning about the relationship between classical literature and "folklore".

Grading criteria

60% will be the final exam, and 40% will be the reaction paper (or small report) each time. Details will be provided on the learning support system before the first class.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：江戸の印刷・出版物

白戸 満喜子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では江戸時代の文学作品『御存商売物』を通読します。作品を通して江戸の出版文化の多様性に触れていきます。江戸という地域・時代に暮らした人々が手にしていた、読んでいた、眼にしていた、時には聴いていたさまざまなメディアを、実際に読んだり聴いたりすることで江戸を体感します。

【到達目標】

江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。
くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は『御存商売物』という江戸時代の印刷・出版物を人物になぞらえた作品を通読しながら講義を行います。あわせて作品の中に登場人物として描かれている印刷・出版物を読解する演習形式を取り入れます。意匠絵本（デザイン集）・暦など、簡単な読み物の翻字（くずし字を現代仮名遣いにすること）のノウハウを解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・江戸時代の文学について ・テキスト『御存商売物』について ・外国人から見た江戸
2	テキスト『御存商売物』の解説	・日本の書物 ・江戸後期の文学作品 ・江戸の出版
3	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の紋様 ・大坂と江戸
4	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の人気小説 ・江戸の食べ物
5	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の絵画 ・江戸時代までの紙 ・江戸の流行歌
6	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・「見立（みたて）」という表現 ・小道具と物語の関係 ・絵と文の関係を読み取る
7	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の慣習 ・江戸の街並み
8	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の繁華街「吉原」 ・浮世絵と鑑賞の基礎知識

9	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・現在と異なる暦 ・江戸の教養を支えた書物
10	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の土産物 ・江戸時代の夫婦喧嘩
11	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の占い ・江戸のおまじない
12	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の学問書 ・江戸時代の情報伝達
13	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸時代の流行り廃り ・江戸の刑罰
14	授業のまとめ	・江戸時代の豊かな出版文化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中に随時、レポートに関する情報を話しますので、その情報を参考にしながら江戸に関する知識を広げて下さい。
くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。くずし字読解の準備として2時間、復習に2時間、計4時間を必要とします。

【テキスト（教科書）】

授業中にプリントを配布します。

【参考書】

くずし字読解のための参考文献は以下の2冊ですが、読解に必要なプリントは別途授業中に配布します。
・笠間影印叢刊行会『字かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

レポート40% 筆記試験（最後の授業時に一回）40% 平常点（授業への取り組み・発言）20% として評価します。
詳細は開講時にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

「高校までは学んでこなかった、非常に興味深い内容だった」という感想が寄せられています。古典文学でもなく、現在の小説とも異なる、江戸の大人の娯楽と教養を『御存商売物』という作品を通じて楽しんで下さい。

【学生が準備すべき機器他】

授業における「AIくずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器（スマートフォンなど）と空き容量を準備してください。

【Outline (in English)】

In this class, we read through the literary work "Gozonji-no-shobaimono" in the Edo Period. Through the work we can touch on the diversity of Edo's publishing culture. You will experience Edo by actually reading and listening to various media that people were living in in the region & the era of Edo. Sometimes you can listen the audible media.

The main goal of this course is to understand the characteristic culture, customs, and sensations of the Edo period through the textbook "Gozonji-no-shobaimono".

Another goal is to be able to read simple publications and printed matter written in cursive script (Hentaigana).

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time, and read them before class. It takes 2 hours to prepare for reading comprehension and 2 hours to review, for a total of 4 hours.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Short reports 40 %, Term-end examination 40 %, in class contribution 20 %

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：江戸の絵入り本で読む百人一首

白戸 満喜子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

浮世絵が添えられた絵本『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> を受講生全員で分担し、読解・解釈をします。最近では競技としての知名度が上がってきた百人一首が、いつ、どのようにして成立し、また現在まで人々に愛されてきたのか。江戸時代の人々が楽しんだ百人一首を読み解き、和歌の解釈と描かれた歌人について学んでいきます。

【到達目標】

くずし字で書かれた和歌（ひらかなの部分とその字母）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。

各自の担当する和歌について、1：字母を確認しながら翻字をする、2：解釈（意味や技法）する、という2点から考察・発表をし、『錦百人一首あづま織』という絵本の成立を理解し、和歌の知識を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業前半は百人一首と『錦百人一首あづま織』に関連する講義を行います。後半は受講生がそれぞれ分担する和歌についての翻字・解釈を各週で順番に発表します。受講生はそれぞれの和歌に対する読解・解釈を準備し意見交換をします。授業時間内に翻字の正解を示し、和歌の解釈に対するまとめをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 百人一首とは何か くずし字読解の方法と解釈	テキスト『錦百人一首あづま織』の発表順番決定
2	テキスト『錦百人一首あづま織』の構成について解説	テキストに関する講義
3	テキスト『錦百人一首あづま織』の読解方法	テキストの翻字・解釈の具体的な方法・内容
4	勅撰和歌集に関する講義1および受講者による発表1回目	・勅撰和歌集とは何か：八代集 ・担当者による発表
5	勅撰和歌集に関する講義2および受講者による発表2回目	・勅撰和歌集にまつわる逸話 ・担当者による発表
6	歌合に関する講義1および受講者による発表3回目	・歌合とは何か ・担当者による発表
7	歌合に関する講義2および受講者による発表4回目	・歌合に賭けた歌人たち ・担当者による発表

8	歌道に関する講義および受講者による発表5回目	・歌道とは何か一和歌の変化 ・担当者による発表
9	百人一首の中世写本に関する講義および受講者による発表6回目	・中世における百人一首 ・担当者による発表
10	百人一首の近世写本に関する講義および受講者による発表7回目	・手で書き写された百人一首：近世の写本 ・担当者による発表
11	百人一首版本に関する講義1および受講者による発表8回目	・印刷された百人一首 ・担当者による発表
12	百人一首版本に関する講義2および受講者による発表9回目	・浮世絵と百人一首 ・担当者による発表
13	百人一首版本に関する講義3および受講者による発表10	・百人一首とかるた ・担当者による発表
14	テキスト『錦百人一首あづま織』のまとめ	教員による全体の解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

履修者にはこちらから発表分担となる和歌を指定します。受講生は各自が分担する和歌の翻字と読解・解釈を指定日までに提出してください。分担以外の和歌については、それぞれ読解しておいてください。各自の読解に基づいて発表内容に対する意見交換をします。くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。テキストのくずし字読解として2時間、授業で扱った和歌の字母確認・復習に2時間を毎回必要とします。

【テキスト（教科書）】

『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227>

【参考書】

くずし字を読むための参考文献は以下の2冊ですが、読解用のプリントは教材にアップロードします。文学と社会LC既習者は同じプリントになります。

・笠間影印叢刊行会『字典かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

分担発表の内容30％ 平常点（授業内での意見内容）40％ 期末レポート30％ として評価します。分担する和歌の翻字と読解・解釈の未提出、発表内容に関する意見交換がない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

「江戸時代の文字を翻字すること、内容を読み解くこと、どちらも読解きのようで楽しかった」という感想が寄せられています。くずし字の読解は、昔の日本人たちと時空を越えたコミュニケーションをするようなもの。語学習得に似ているものの、ひと味異なる独特の達成感を味わって下さい。

【学生が準備すべき機器他】

授業における「AIくずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器（スマートフォンなど）と空き容量を準備してください。

【その他の重要事項】

関連部分があるので文学と社会LCを履修していることが望ましいものの、前向きな性格・柔軟な思考・気合などのどれかがあれば秋学期のみの履修も可能。

【Outline (in English)】

In this class, we read the original book of "Nishiki Hyakunin Isshu Azuma Ori" <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> with ukiyo-e. Hyakunin Isshu has been loved by people, and recently it has gained recognition as a sport. We will read Hyakunin Isshu which was made in the Edo period, and learn about the interpretation of waka and the singer drawn. The main goal of this lesson is to read and interpret waka (the hirakana part and its character) written in cursive script.

About the waka poems that each person is in charge of

1: Transliterate while checking the character

2: Interpret (meaning and technique),

We will consider and present from these two points, understand the formation of the text, and deepen our knowledge of waka.

Students will be assigned a waka poem to be shared by the instructor. Students are requested to submit the transliteration, reading comprehension, and interpretation of the waka poems that they share by the designated date. Please read each of the waka poems other than the division. We will exchange opinions on the content of the presentation based on each person's reading comprehension.

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time and read them before class. It takes 2 hours to read the text and 2 hours to check and review the waka characters used in the class.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (30 %), in-class contribution (40 %), and term-end examination (30 %)

However, if there is no transliteration of the shared waka poem, unsubmitted reading comprehension /interpretation, and no exchange of opinions regarding the content of the presentation, it will not be evaluated.

LIT200LA（文学 / Literature 200）

文学と社会 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を読むとき、私たちはどんなところを重視するでしょう。たとえば、泣けるかどうかとか、感情移入できるかどうか、とかいったところでしょうか。実際、これまで中学校や高校の現国の授業では、主人公の心情を素直に読み取るトレーニングを受けてきたはずですが、しかし、小説の書き方・読み方は一様ではありません。この講義は、小説の書き方・読み方には多様性があることを知り（夏目漱石とライトノベルを優劣関係ではなく多様性の一つとして捉えること）、それを身に付ける土台作りとなるでしょう。そのためにはまず、小説の成り立ちをおさらいすることからはじめます。そして文学史にしたがって、小説の書き方・読み方が変化し、新たな書き方・読み方の発見が文学史を豊かに形成してきたことを確認します。戦前の文学史がメインですが、最近の文学史にも積極的にふれます。マンガや映画、美術など、文学に隣接するジャンルにもしばしば言及したい。

【到達目標】

創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます（3回程度）。授業中・授業後の質問やリアクションペーパーにおける有意義なコメントは授業内で紹介し、今後の授業に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第2回	現在の文学が置かれた状況	最近の文学事情を、他のジャンルとの関係から明らかにする。
第3回	文学作品の読み方	文学の仕組みを解説して、高校時代までの読み方を相対化する。
第4回	近代文学の誕生①	言文一致（いわゆる近代日本語）を中心に、近代文学が形になったプロセスを解説。 言文一致形成の全体像を確認する。
第5回	近代文学の誕生②	言文一致形成の初期（明治10から20年代）の状況 작품을参照しながら確認する。
第6回	近代文学の誕生③	言文一致形成の後期（明治30から40年代）の状況 작품을参照しながら確認する。

第7回	文学史第1期（明治20～40年の文学）	リアリズム（写実主義）は近代に確立した表現法だが、そのリアリズムが確立した時代の表現パターンを解説。
第8回	文学史第2期（大正時代の文学）	私小説がはやった時代の表現パターンを解説。文学における自己表現を問題にしたい。
第9回	文学史第3期（1920年代）①	社会が大衆化したモダニズムの時代の表現パターンを解説。
第10回	文学史第3期（1920年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第11回	文学史第4期（1930年代）①	文学表現が成熟した時代の表現パターンを解説。現代の表現とも関係させる。
第12回	文学史第4期（1930年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第13回	現在の文学との接点	過去の文学を参照することで現代文学の読み書きにいかに応用できるのかを考察する。
第14回	まとめと試験	これまでの講義の総括。今後の現代文学の読み方についても触れる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少しでも文学作品に触れてください。しかし闇雲に読むのではなく、ジャンルを意識しながら読むことをおすすめします。ジャンルが分からなければ、大きめの本屋に行って書棚がどういう配置になっているのか、どういう本が収まっているのかを確認してみるのもよいです。たとえば、映画をよく観る人はTSUTAYAの棚陳列がどういうジャンル区分に従っているのかよくわかってはいるはず。アイドルグループのファンは、素人目には同じように見える顔が、それぞれ個性を持ち、ジャンル分けできることを知っているはず。文学も同じです。

小説を全く読まない人は、まず『ノルウェイの森』（村上春樹）と『時をかける少女』（筒井康隆）と『涼宮ハルヒの憂鬱』（谷川流）の3冊を読み比べてみてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3回予定のリアクションペーパー（400字程度）も評価したい。評価の割合は最後の試験が70%、リアクションペーパーを30%とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

【Outline (in English)】

【Course outline and Learning objectives】

This lecture aims to give techniques and cultures to read novels, using the work of modern Japanese literature.

How to write and read novels is not single. In this lecture, you can learn that diversity exists in how to write and read novels. Let's begin by reviewing the origins of the novel. And according to the history of literature, We confirm that the way of writing and reading the novel has changed.

【Learning activities outside of classroom】

Please try reading literary works for about 4 hours per week. I recommend reading while being aware of the genre. If you don't know the genre, check the shelves in the bookstore.

【Grading Criteria /Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

普段何気なく読んでいる小説が、きわめて政治的で社会的なものであるということ考えたことがあるでしょうか。文学作品は、人畜無害な単なるフィクションではありません。ときに世の中の差別や偏見を生み出し助長するものであり、特定の個人や集団を傷つけるものでもあります。あるいはまた、社会秩序を乱すとして批判される過激な暴力や性表現も無視できないでしょう。もちろんその一方で、社会の差別や偏見と戦ってきた歴史も、文学にはあります。文学作品における、こういった政治的かつ社会的な側面を、本講義では取り上げます。素材は性表現と差別表現がメインです。メディア環境が激変している昨今の事情に対応させて、取り上げる表現は文学のみならず、映画やマンガなど多岐にわたる予定です。現在進行形の話題も積極的に扱います。

【到達目標】

これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます（3回程度）。授業中・授業後の質問やリアクションペーパーにおける有意義なコメントは授業内で紹介し、今後の授業に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第2回	文学が置かれた社会状況	表現規制の最近の動向を解説。
第3回	性表現・暴力表現と規制①	性・暴力表現とその規制の歴史を振り返る。
第4回	性表現・暴力表現と規制②	「わいせつ罪」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第5回	性表現・暴力表現と規制③	「青少年保護」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第6回	性表現・暴力表現と規制④	「児童ポルノ」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第7回	性表現・暴力表現と規制⑤	ネット社会における性・暴力表現について解説する。
第8回	差別表現と規制①	差別表現とその規制の概要を解説する。
第9回	差別表現と規制②	差別の仕組みを知るために、具体的な作品を参照する。

第10回	差別表現と規制③	戦後の日本における差別の歴史を振り返る。
第11回	差別表現と規制④	差別には複数のパターンがあるので、それらを分節化して解説する。
第12回	差別表現と規制⑤	差別表現とその規制の現在。特にネット社会における差別表現（Metoo運動など）を考える。
第13回	差別表現と規制⑥	最近話題になる嫌韓・嫌中の「ヘイトスピーチ」について考察する。
第14回	まとめと試験	これまでの講義の総括。表現の自由とその規制の社会的バランスを考える。 また、補足として、著作権やプライバシーの問題から表現の社会性をも言及したい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

まず何より活字や映像作品に触れてください。そして、表現規制の話題は常時ニュースになるので、そのつど気にかけて、新聞やウェブでの議論に触れてほしい。たとえば、昨今話題になっている性表現なり差別表現に対する規制強化の動き、あるいはネット上で盛んに行われている著作物の無断コピーや二次創作等について考えてみるのもよいでしょう。ここ数年は、美術家の性的な表現物がわいせつ罪に問われたり、また差別的なヘイトスピーチがメディアで盛んに取り扱われています。文学作品にとらわれず、こういった表現にかかわる社会的問題に注目してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3回予定のリアクションペーパー（400字程度）も評価したい。評価の割合は最後の試験が70%、リアクションペーパーを30%とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。映像を積極的に導入し、時事的な話題も取り入れました。

【Outline (in English)】

【Course outline】 【Learning objectives】

The novel has a very political and social part. Literary works are not mere fiction. They sometimes produce discrimination and prejudice of the world, and they also hurt certain individuals and groups. Or you can not ignore radical violence or sexual expression that is criticized as disturbing the social order.

On the other hand, literature also has a history of fighting social discrimination and prejudice. This lecture will cover these political and social aspects of literary works. Sexual expression and discrimination are the main material.

Our goal is to acquire a culture that allows us to understand topics such as freedom of expression and violence of expression through legal regulations and the history of expression.

【Learning activities outside of classroom】

Please spend about 4 hours per week reading literary works and watching video works. And since the topic of freedom of expression and expression regulation is always news, please contact the discussion in newspapers and the web.

【Grading Criteria /Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA（文学 / Literature 200）

日本文学と文化LG

2017年度以降入学者

サブタイトル：宮崎駿の文学世界

榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アニメーションは、日本が誇るコンテンツであり文化遺産です。アニメーション制作の現場からは数多くのクリエイターが生みだされましたが、その中でも宮崎駿の存在は突出しています。アニメーションを普段観ない人でも、宮崎作品を人生のどこかで必ず観ているはずで、日本だけでなく、世界中に多くのファンを持ち、国内外の重要な賞を数多く受賞しています。宮崎作品の広がり、たとえば『千と千尋の神隠し』の舞台化（2022年に世界初演、2024年にはロンドン公演、2025年には上海公演予定）や、ビリー・アイリッシュが『千と千尋の神隠し』にインスパイアされて制作した楽曲"CHIHIO"（2024年）などに見てとることができます。

宮崎監督がアニメーションの世界に入ったのは、1960年代です。アニメーターとして研鑽を積みながら、原画や脚本や画面構成を担当する中で、NHKのテレビアニメ『未来少年コナン』（1978年）で初めて監督として仕事をします。本授業では、『未来少年コナン』に始まる宮崎駿の全監督作品について、作品分析を試みながら、宮崎監督がそれぞれの作品で何をテーマにどのような世界を描こうとしたのか検証するとともに、宮崎監督の思想の深まりに注目していききたいと思います。

誰もが日常的に親しんできた宮崎監督のアニメーション作品を、いま一度新たな視点で読み直してみることで、これまで気づけなかった問題系や、登場人物の相関関係、ストーリーの奥深さ、物語上のたくらみ、そして宮崎作品の根底にある文学性に気づくことになるはずです。宮崎監督の全作品を辿る旅を通して、皆さんと一緒に宮崎監督とその作品の新たなイメージに到達したいと考えています。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンやカットごとに解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法やギミックや物語構造などについて、自分の力で読み解き、考察し、論述できる力の獲得を目指します。関連資料を参照し、他者の意見や論考に目を通し、作品の背景にある文化的、社会的、民俗的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーション（資料提示）と講義を併せた形で行います。宮崎監督作品を初期から最新作まで重要なシーンを観賞しながら、解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつの短いカットです。カットは継的な物語を構成する最小の「部品」ですが、同時にクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

その意味で、作品の基礎であり設計図ともいえる絵コンテの存在が大きくなるでしょう。絵コンテを出発点に最終的な作品に仕上がるまでには、多くの制作プロセスがあります。アニメーションの制作現場でどのようなことが行われているのか、そうしたことに言及していきたいと思います。さらに宮崎監督自身の言葉、関連資料の紹介、他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	宮崎駿、その人と作品について
2	『未来少年コナン』	理想郷を求めてさまよう人々
3	『ルパン三世 カリオ ストロの城』	「城」のイメージに潜む権力性
4	『風の谷のナウシカ』	終末世界に重ねられる神話世界
5	『天空の城ラピュタ』	少年少女のイメージの継承と発展
6	『となりのトトロ』	「他者」との出会いの意味
7	『魔女の宅急便』	少女と猫のいる風景
8	『紅の豚』	「世情」に抗う決意と行動
9	『もののけ姫』	神と人が交錯する群像劇
10	『千と千尋の神隠し』	行きて帰らし物語」に宿る力
11	『ハウルの動く城』	魔法世界の造形
12	『崖の上のポニョ』	異種交流譚としての読み解き
13	『風立ちぬ』	戦争を描くということ
14	『君たちはどう生きるか』	宮崎作品の集大成をどう読むか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宮崎監督作品のほとんどは鑑賞済みと思いますが、もし未鑑賞のものがあれば、時間がある時に観ておくようにしてください。その際、ただ受動的に消費するのではなく、作品について自分の頭で積極的に考え、客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品を鑑賞する中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

参考書は膨大に存在するので、授業時その都度紹介します。大学の図書館などを利用して、各自参考資料を手に入れるようにしてください。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた宮崎駿監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

これまで宮崎作品に触れる機会が少なかった学生にも、理解しやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

アニメーションや現代日本文学、同時代の表現に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。X（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Animation is Japan's proud source of content and cultural heritage. Numerous creators have emerged from the field of animation production, but Hayao Miyazaki stands out among them. Even those who do not usually watch animation must have seen Miyazaki's works at some point in their lives. He has many fans not only in Japan but also around the world, and has received many important national and international awards.

In this class, we will attempt to analyze all of Hayao Miyazaki's works, while examining what themes and what kind of world he tried to depict in each of his films, as well as focusing on the depth of his philosophy.

【Learning Objectives】

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Hayao Miyazaki's animations as a visual work, scene by scene, and to be able to discuss in their own

words the unique expression methods and narrative structure of animation.

【Learning activities outside of classroom】

When watching animations, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the animation films. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Miyazaki's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化LH

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞しつつ、原作小説を講読していきます。2024年に劇場公開された以下の12作品の中から6～7作品を選んで取りあげます。小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を深く読む力の獲得を目指します。

＊

瀬尾まいこ『夜明けのすべて』（三宅唱監督）

町田そのこ『52ヘルツのクジラたち』（成島出監督）

川村元気『四月になれば彼女は』（山田智和監督）

高山一実『トラベジウム』（篠原正寛監督）

嶽本野ばら『ハピネス』（篠原哲雄監督）

村上春樹『めくらやなぎと眠る女』（ピエール・フォルデス監督）

安部公房『箱男』（石井岳龍監督）

吉田修一『愛に乱暴』（森ガキ侑大監督）

辻村深月『傲慢と善良』（萩原健太郎監督）

山田風太郎『八犬伝』（曾利文彦監督）

平野啓一郎『本心』（石井裕也監督）

染井為人『正体』（藤井道人監督）

＊作品の配列は劇場公開順です。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンル（純文学、エンターテインメント、社会小説、ミステリ、時代小説、児童文学）の小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的なアウトプットができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を講読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。同一の物語内容を含む言語メディアである小説と映像メディアである映画を比較検証することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、それぞれの作品について深く思考し、自分の考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。

小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業は進めていきます。

授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読(1)	原作小説の講読・分析・考察
3	映画観賞と解説(1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読(2)	原作小説の講読・分析・考察
5	映画観賞と解説(2)	原作の映画鑑賞と解説・考察
6	原作小説の講読(3)	原作小説の講読・分析・考察
7	映画観賞と解説(3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読(4)	原作小説の講読・分析・考察
9	映画観賞と解説(4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読(5)	原作小説の講読・分析・考察
11	映画観賞と解説(5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読(6)	原作小説の講読・分析・考察
13	映画観賞と解説(6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめと、レポート提出について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握したい人は、小説を読んだ上で授業に臨んでください。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外に読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。レポート提出のための事前準備として、自分がレポートの対象として選んだ作品を精読した上で、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の以下の文庫本。すべての本を入手する必要はありません。

- ・瀬尾まいこ『夜明けのすべて』（文春文庫）
- ・町田そのこ『52ヘルツのクジラたち』（中公文庫）
- ・川村元気『四月になれば彼女は』（文春文庫）
- ・高山一実『トラベジウム』（角川文庫）
- ・嶽本野ばら『ハピネス』（小学館文庫）
- ・村上春樹『蜩・納屋を焼く・その他の短編』（新潮文庫）
- ・安部公房『箱男』（新潮文庫）
- ・吉田修一『愛に乱暴』（新潮文庫）
- ・辻村深月『傲慢と善良』（朝日文庫）
- ・山田風太郎『八犬伝』（角川文庫）
- ・平野啓一郎『本心』（文春文庫）
- ・染井為人『正体』（光文社文庫）

【参考書】

必要な資料はプリントで配付します。

参考書・参考文献は、教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

現代日本文学になじみのない学生にもわかりやすい言葉で、解説と考察を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。X（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that filmed as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 or 7 works in 2024.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 or 7 titles after carefully selecting from the works released in 2024.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters.

Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L G

2017年度以降入学者

サブタイトル：

小澤 央

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英文学をはじめとする世界文学の重要なテーマのひとつ、ユートピア（ディストピアを含む）と関連の深い有名な20世紀前半までの文学作品を、政治的・文化的文脈に位置づけながら解釈する。人文主義、植民地主義、官僚主義、全体主義といった、今日でも重要な意義を持つ諸問題との関係で分析する。ユートピアというテーマの持つ可能性や限界についても議論する。

ユートピア文学の知識や文学解釈の基本を身につけ、英文読解力を伸ばすことが目的である。

【到達目標】

- ・ユートピアというテーマとの関係で文学史を概観できる
- ・作品と関連する政治的・文化的問題について基本的知識を習得する
- ・辞書や和訳を参照しながらも、ユートピア文学の抜粋を原文で読める英語力をつける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則的に講義形式で進める。映像資料も適宜取り入れる。リアクション・ペーパーなどを提出してもらい、授業の冒頭で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ユートピアとは何か、20世紀前半までのユートピア文学史の概観
第2回	人文主義とユートピア	More, <i>Utopia</i> 前半
第3回	人文主義とユートピア (1)	More, <i>Utopia</i> 後半
第4回	植民地主義と新世界 (1)	Shakespeare, <i>The Tempest</i> 前半
第5回	植民地主義と新世界 (2)	Shakespeare, <i>The Tempest</i> 後半
第6回	前半の講義のまとめ	総括と補足
第7回	産業革命と機械文明 (1)	Dickens, <i>Hard Times</i> 前半
第8回	産業革命と機械文明 (2)	Dickens, <i>Hard Times</i> 後半
第9回	官僚主義と不条理 (1)	Kafka, <i>Der Process</i> 前半
第10回	官僚主義と不条理 (2)	Kafka, <i>Der Process</i> 後半
第11回	全体主義と人間性 (1)	Orwell, <i>Nineteen Eighty-Four</i> 前半
第12回	全体主義と人間性 (2)	Orwell, <i>Nineteen Eighty-Four</i> 後半
第13回	後半の講義のまとめ	総括と補足
第14回	期末試験と今学期のまとめ	今後の研究についての示唆

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回予め指示された資料（レジュメなど）を読むこと、リアクション・ペーパーなどを提出することが求められる。さらに、和訳でも構わないので、授業で扱う作品をできるだけ多く自身で読み通すことが望ましい。

予習・復習は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

授業のレジュメ

【参考書】

- ・授業で扱う文学作品
- ・グレゴリー・クレイズ著、『ユートピアの歴史』、巽孝之監訳、小畑拓也訳、東洋書林、2013年
- ・川端香男里著、『ユートピアの幻想』、講談社学術文庫、1993年
- ・John Carey, ed., *The Faber Book of Utopias*, Faber and Faber, 1999.
- ・Gregory Claeys, ed., *The Cambridge Companion to Utopian Literature*, Cambridge UP, 2010.

【成績評価の方法と基準】

- ・リアクション・ペーパーなどの課題、授業に取り組む姿勢、議論への貢献度：30%
- ・期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

映像資料を活かした授業運営をより充実させていく。

【Outline (in English)】

In this course, students are expected to interpret utopian literature in relation to political and cultural contexts, such as humanism, colonialism, bureaucratism and totalitarianism. The goals of this course are to survey the history of utopian literature, learn the basics of interpretation of literature and improve English reading comprehension. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. The final grade will be calculated according to the following process: performance in class activities (30%) and term-end examination (70%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L H

2017年度以降入学者

サブタイトル：

小澤 央

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英文学をはじめとする世界文学の重要なテーマのひとつ、ユートピア（ディストピアを含む）と関連の深い有名な20世紀後半以降の文学作品を、政治的・文化的文脈に位置づけながら解釈する。帝国主義、実存主義、フェミニズム、ポストヒューマニズムといった、今日でも重要な意義を持つ諸問題との関係で分析する。ユートピアというテーマの持つ可能性や限界についても議論する。

ユートピア文学の知識や文学解釈の基本を身につけ、英文読解力を伸ばすことが目的である。

【到達目標】

- ・ユートピアというテーマとの関係で文学史を概観できる
- ・作品と関連する政治的・文化的問題について基本的知識を習得する
- ・辞書や和訳を参照しながらも、ユートピア文学の抜粋を原文で読める英語力をつける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則的に講義形式で進める。映像資料も適宜取り入れる。リアクション・ペーパーなどを提出してもらい、授業の冒頭で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ユートピアとは何か、20世紀後半以降のユートピア文学史の概観
第2回	監視社会と大衆文化(1)	Bradbury, <i>Fahrenheit 451</i> 前半
第3回	監視社会と大衆文化(2)	Bradbury, <i>Fahrenheit 451</i> 後半
第4回	帝国主義と無人島(1)	Golding, <i>Lord of the Flies</i> 前半
第5回	帝国主義と無人島(2)	Golding, <i>Lord of the Flies</i> 後半
第6回	前半の講義のまとめ	総括と補足
第7回	実存主義と自由(1)	安部公房『砂の女』前半
第8回	実存主義と自由(2)	安部公房『砂の女』後半
第9回	フェミニズムと生殖(1)	Atwood, <i>The Handmaid's Tale</i> 前半
第10回	フェミニズムと生殖(2)	Atwood, <i>The Handmaid's Tale</i> 後半
第11回	ポストヒューマニズムとAI(1)	Ishiguro, <i>Klara and the Sun</i> 前半
第12回	ポストヒューマニズムとAI(2)	Ishiguro, <i>Klara and the Sun</i> 後半
第13回	後半の講義のまとめ	総括と補足
第14回	期末試験と今学期のまとめ	今後の研究についての示唆

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回予め指示された資料（レジュメなど）を読むこと、リアクション・ペーパーなどを提出することが求められる。さらに、和訳でも構わないので、授業で扱う作品をできるだけ多く自身で読み通すことが望ましい。

予習・復習は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

授業のレジュメ

【参考書】

- ・授業で扱う文学作品
- ・グレゴリー・クレイズ著、『ユートピアの歴史』、巽孝之監訳、小畑拓也訳、東洋書林、2013年
- ・川端香男里著、『ユートピアの幻想』、講談社学術文庫、1993年
- ・John Carey, ed., *The Faber Book of Utopias*, Faber and Faber, 1999.
- ・Gregory Claeys, ed., *The Cambridge Companion to Utopian Literature*, Cambridge UP, 2010.

【成績評価の方法と基準】

- ・リアクション・ペーパーなどの課題、授業に取り組む姿勢、議論への貢献度：30%
- ・期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

映像資料を活かした授業運営をより充実させていく。

【Outline (in English)】

In this course, students are expected to interpret utopian literature in relation to political and cultural contexts, such as imperialism, existentialism, feminism and posthumanism. The goals of this course are to survey the history of utopian literature, learn the basics of interpretation of literature and improve English reading comprehension. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. The final grade will be calculated according to the following process: performance in class activities (30%) and term-end examination (70%).

LIN200LA (言語学 / Linguistics 200)

音声学Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

副島 健作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「言語」は、音声の形式という表現面と意味の形式という内容面が結びついた言語記号が単位であるようなシステムであり、このシステムの解明を対象とする学問分野は「言語学」と呼ばれています。この「言語」の表現面である「音声を使ったコミュニケーション」のあらゆる側面を研究するのが音の科学、すなわち「音声学」です。

音そのものがある特定のイメージを喚起する現象を「音象徴」といいます。この授業では、音象徴という現象を題材に、「音声学」をできるだけ分かりやすく解説することを目指します。

【到達目標】

1. ヒトが音声を使って話すときに何が起きているか、個々の音（子音・母音）とその連続を発音するしくみを理解する。
2. 音がどのような音響振動として現れるか、阻害音、共鳴音、圧力変化などの概念から理解する。
3. 音象徴の例を通して、母音や濁音の調音と音響を理解する。
4. 身近な音象徴の例を自ら発見し、分析する方法を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず「言語学」は言語をどういうものとして見ているかを概説し、表現面の形式である「音韻」が実質である「音声」によって実現されているという発想に慣れ、「音象徴」と呼ばれる現象の分析に入ります。具体的には、音声がある振る舞いをする時に「なぜそのような振る舞いをするのか」を、音声学で必要になる概念や道具立てを使って分析・研究・理解していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入 1	言語とは
2	導入 2	音声とは
3	優しい音、ツンツンした音	どこでどのように発音するか
4	阻害音、共鳴音、圧力変化	阻害音、共鳴音の物理学的な定義
5	大きな音、小さい音	母音と「大きさのイメージ」
6	母音の調音と音響	母音の発音の仕方
7	濁音と向かい合う	聞き取ってみる 調音してみる
8	濁音の調音と音響	有声音と無声音の発音の仕方の違いとイメージ
9	その他の音象徴	音象徴の具体例の「音声学」の概念による理解
10	音象徴研究の実際	音象徴研究の例
11	音象徴・音声学とその関連分野	より広い視点から音象徴・音声学を考える

12	気になる音象徴についての発表 1	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 1
13	気になる音象徴についての発表 2	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 2
14	最終試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

音声学はスポーツと同じです。できない発音があっても、訓練すればだれでもできるようになります。発音するしくみを理解し、再現できるよう努めてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まったテキストを使う予定はありません。

【参考書】

川原繁人 (2017) 『「あ」は「い」より大きい!?』 ひつじ書房

川原繁人 (2018) 『ビジュアル音声』 三省堂

J.C. キャットフォード、竹林滋 ほか (訳) (2006) 『実践音声学入門』 大修館書店

国際音声学会 (編)、竹林滋・神山孝夫 (訳) (2003) 『国際音声記号ガイドブック-国際音声学会案内-』 大修館書店

【成績評価の方法と基準】

課題：20%

平常点：20%

発表：20%

期末試験：40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Language is a system of linguistic symbols that combines the expressive aspect of the form of speech with the content aspect of the form of meaning. The academic field that focuses on the clarification of this system is called "linguistics". The science of sound, or phonetics, studies all aspects of communication using speech, the expressive aspect of language.

The phenomenon in which sound itself evokes a certain image is called "sound symbolism". In this class, we aim to explain phonetics as clearly as possible using the phenomenon of sound symbolism as a subject.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. To understand what happens when humans speak using speech sounds, and how individual sounds (consonants and vowels) and their sequences are pronounced.
2. To understand how sounds appear as acoustic vibrations, based on concepts such as inhibitory sounds, resonant sounds, and pressure changes.
3. To understand the articulation and acoustics of vowels and murmurs through examples of sound symbols.
4. To learn how to discover and analyze examples of familiar sound symbols.

【Learning activities outside of classroom】

Phonetics is just like sports. Even if you can't pronounce something, you can learn to do it with practice. Please try to understand the mechanism of pronunciation and try to reproduce it.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 40%, Presentation: 20%, Assignments : 20%, in class contribution: 20%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決すること目的とします。

特にこのLAの講義は、人間とは何か、その本質に迫ろうとする哲学的人間論です。新技術の開発などによってこれまで考えられもしなかった人間の新しいあり方について選択と決断を迫られる現代においてこそ、人間らしさとは何かが切実に問われます。なお、日本の哲学や20世紀以降の思想にも焦点を当てます。

【到達目標】

基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン(1)	「アイデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン(2)	『饗宴』 アリストファネスの話
4	プラトン(3)	『饗宴』 ソクラテスの話
5	西田幾多郎(1)	『善の研究』 - 「知即愛」の命題
6	西田幾多郎(2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎(1)	『倫理学』 - 「間柄」としての人間存在
8	和辻哲郎(2)	「矛盾の統一」としての人間存在
9	和辻哲郎(3)	『風土』 - 「風土」のうちに己を見出す人間存在
10	和辻哲郎(4)	主体としての風土
11	ブーバー(1)	『我と汝』
12	ブーバー(2)	「汝」としての世界
13	ブーバー(3)	ブーバー:我と汝の芸術論
14	哲学LAのまとめ	哲学のふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。

プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』（一）、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』
復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた個所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。
本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎行行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

This lecture is a philosophical human theory trying to think about human nature. In modern times where we are forced to make choices and decisions about the new way of human beings that we have never considered before, such as through the development of new technologies, something is being deeply questioned about humanness. We will also focus on Japanese philosophy and ideas after the 20th century.

The purpose of this course is for students to have the experience of actually coming into the contact with the world of thoughts in famous works and to be able to express that experience.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests given every class (100%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

西洋哲学は、万物の根源を人間の理性の力で探り、そうして捉えられた全体としての世界の中に自分を位置づけたいという人間的欲求とともに始まりました。講義では、こうした「形而上学的」な欲求が、世界を全体として非常に生き生きとした自己形成的なものとする自己形成的世界観として、現代にいたるまでの様々な知的探求の背景になっている様子をみます。

【到達目標】

受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学への導入
2	今西錦司(1)	生命的自然観－自己形成的世界観の前哨として
3	今西錦司(2)	生命的自然観－自己形成的世界観の前哨として その2
4	アリストテレス(1)	自己形成的世界観としての形而上学
5	アリストテレス(2)	自己形成的世界観としての形而上学 その2
6	デカルト(1)	自己形成的世界観の展開としての近代哲学 近代化の原理としての主観客観二元論
7	デカルト(2)	デカルトの近代的世界観
8	デカルト(3)	近代的主客二元論
9	デカルト(4)	「近代的分裂」の予告としての近代的主客二元論
10	合理論と経験論	「近代化」と「近代的分裂」の原理としての主客二元論 近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	カントとヘーゲル(1)	カントによる近代哲学の分裂克服の試み
12	カントとヘーゲル(2)	カントのアンチノミー論
13	カントとヘーゲル(3)	ヘーゲルの弁証法的世界観
14	カントとヘーゲル(4)	ヘーゲルの弁証法的世界観その2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた箇所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

Western philosophy began with human desire to explore the root of all things with the power of human reason and to position himself in the whole world captured as such. In the lecture, we see how these metaphysical needs are behind various intellectual explorations up to the present age, becoming a self-organizing-world-view that the world as a whole is very vivid and self-organizing.

The purpose of this course is for students to have the experience of actually coming into the contact with the world of thoughts in famous works and to be able to express that experience.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests given every class(100%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

白根 裕里枝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学というと難しいという印象があるかもしれないが、何も特別のことではない。私たちは生きてゆく上で、常に様々な行為を選んで、様々な幸せを目指しているが、善く生きて幸福になるためには、よりよく、正しく考えること、つまり哲学が必要なのである。人間の尊厳は考えるということにある。誰もが、正しく考えるために、哲学を学ぶことが必要なのである。哲学はあらゆる学問の基礎である。学生は、何を学ぶにしても、哲学がその根本に関わることを知るだろう。さらには他の学問、とりわけ、今日、絶大なる信頼を持ってその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再確認できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが幸せによく生きるためにはどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものなのだから。

【到達目標】

この授業では西洋の哲学の基礎を学ぶ。哲学は古代ギリシアに誕生した。どのような考えのもとで、哲学が生まれたのか、その後、どのような変遷を辿ったのか、そもそも哲学が問題としたことは何であるのか、古代ギリシアの源流から探りたい。

哲学LAでは、哲学の源である古代ギリシア哲学に遡って、哲学とは何か、その根本的な特徴を捉えた上で、哲学はその他の学問や科学とはどう異なるのか、また、なぜ哲学が必要とされるのかなどを探ってみたい。学生は、まずはオーソドックスな哲学の基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の現場を知ることができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での基本的な見取り図を手に入れることができるだろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

今年度、この講義は、対面授業とオンライン授業を隔週で交互に行う予定です。どちらの場合も授業は基本的にプリントを用いた講義形式である。哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義してゆく。補助資料によって著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、理解を深めてゆきたい。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。オンラインの回は課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。課題やコメントへのフィードバックは、対面授業の初めに行う予定。なお、教室収容定員を超過した場合は抽選を行うので、人数確認のために、履修を予定している人は第一回目までに（仮）登録をするように。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序論	No.1, 授業の概略、足の裏に影はあるか？
2	哲学とは何か	No.2, 「哲学」という語の由来、用例～ペリクレスの演説
3	哲学の誕生	No.3, 「哲学」という語の用例2～知ることを欲する

4	哲学の出発点1	No.4, 無知の自覚と愛知, ソクラテスの死と哲学（歴史的背景）
5	哲学の出発点2	No.5, 無知の自覚と愛知
6	哲学の出発点3	No.6, 『ソクラテスの弁明』を読む
7	その他の出発点	No.7, その他の出発点、驚き、懷疑、絶望…
8	哲学とは何か・まとめ1	No.8, 愛の3つの対象と知への愛
9	哲学とは何か・まとめ2	No.9, 知への愛、学期末レポート1提出
10	哲学と科学1	No.10, 知についての考察
11	哲学と科学2	No.11, 部分と全体、現象と本質・法則と原理、仮説性の自覚と原理の探究
12	哲学と科学3	No.12, 分析と反省、知るものと知られるもの、薔薇の木に…
13	哲学と科学4	No.13, 事実と価値、手段と目的、対象の知と主体知、哲学と科学の相補性
14	哲学と科学、まとめ	学期末レポート2提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げた著作を、実際に手に取って読んでみる。本授業の準備・復習時間、並びに毎回の課題の提出準備は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講者は、下記を必ず読むこと。

『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966年、¥ 814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』内山 勝利、中川 純男、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』1～5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点（40％）と、学期末試験（レポート）（60％）によって評価する。学期末のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

★ AIについては、AIを用いた記述はもちろん、AIを自分の文章の修正に用いることも、疑わしい場合を含めて一切認めないので、AIを利用しないように注意すること。毎回、自分の言葉で書くこと。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさをじっくり伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインの場合は、「学習支援」を通じて、資料の配布や課題の提出などを行うので、できるだけパソコンで「学習支援」を見たり、課題を提出したりすることが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to sciences.

At the end of the course, students are expected to understand much better what philosophy is through the knowledge about the origins of Western philosophy.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report: 60%, Short reports: 40% and in-class contribution.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

白根 裕里枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学LBでは、「Ⅲ.哲学と宗教」、「Ⅳ.哲学と幸福」について考察する。宗教というと嫌いだとか怖いと思う人もいるかも知れないが、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教はどれも同じ神を信じながら、今日、様々な問題を引き起こしているのも事実である。まずは、その思想と歴史的事実をよりよく知ることが重要である。宗教の成立過程を見ることで、宗教の思索の持つ素晴らしい面や意義を知ることができ、また逆に、その問題点や危険性を知ることでもできるだろう。哲学の観点から、今日における宗教の問題を考え、哲学の意義を再考してみたい。

他方で、哲学は人間の真の幸福を探求する。幸福、つまり、善き生とは何か。われわれは誰もが幸福になりたいと願っているが、たとえば、科学だけで、あるいは、宗教によって、幸福になれるのだろうか？ 幸福になるには何よりも哲学が必要である。幸福になるための条件とは何であり、そもそも幸福とは何なのだろうか。哲学の観点から幸福について考えてみたい。

【到達目標】

西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学との対比を通して、キリスト教やその他の宗教について、付かず離れずに見る視点を確保することができるだろう。偉大な宗教は、人間の弱さ、惨めさをとことん見つめようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」とことと「知る」とこととの緊張関係において、哲学と宗教の接点を考えてみたい。

また、幸福とは何か？ どうしたらわれわれは幸福な生を送ることができるのか？ 古代ギリシア・ローマの幸福論をみることで、私たちの幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知ることがいかに大事か、真の幸福の鍵が哲学にあることが理解されるだろう。愚かさこそが、私たちの不幸の原因なのだから。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

今年度、この講義は、対面授業とオンライン授業を隔週で交互に行う予定です。どちらの場合も授業は基本的にプリントを用いた講義形式で進める。まずは、哲学と宗教の根本的相違点である知と信の問題に触れる。その上で、ユダヤ教、キリスト教、ギリシア哲学者たちの神観などについて、補助プリントなども用いて概要を把握した上で、哲学と宗教との関わりについて考えたい。また、哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、幸福をめぐる哲学を考えてゆく。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。

オンラインの回は課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。課題やコメントへのフィードバックは、対面授業の初めに行う予定です。なるべく哲学LAから取るようにして下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序・哲学とは何か？、 復習	No.1, 哲学と科学と宗教の関係
2	哲学と宗教の相違点	No.2, 知の立場と信の立場
3	ユダヤ人とユダヤ教	No.3, ユダヤ人とは
4	ユダヤ人とユダヤ教	No.4, 旧約聖書とメソポタミア
5	キリスト教とは	No.5, キリスト教——愛の宗教
6	ギリシア哲学とキリスト教	No.6, 知と信の葛藤
7	現代における宗教の存在理由	No.7, 人間知性の偉大さとその限界
8	宗教心の源泉	No.8, パスカールとアウグスティヌス・自由意志と悪の問題
9	哲学と宗教、まとめ	No.9, 自力と他力——人間の強さと弱さについて, 学期末レポート1 提出
10	哲学と幸福（善き生）	No.10, 幸福論——哲学とよき生, 幸福は知による
11	哲学と幸福（善き生）	No.11, 意志の弱さと選択の問題、無知と不幸
12	哲学と幸福（善き生）	No.12, 正義と幸福、善と快——ソクラテスの場合
13	哲学と幸福（善き生）	No.13, カリクレス説、ソクラテスの後継者たち
14	まとめと解説	学期末レポート2 提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で触れて、興味を持った哲学者の著作を、自分で手に取って読んでみて下さい。本授業の準備・復習時間、並びに毎回の課題の提出準備は、各々2時間程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講者は、下記を必ず読むこと。

『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966年、¥ 814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』

内山 勝利、中川 純男著、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』1～5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点（40％）と、学期末試験（レポート）（60％）によって評価する。毎回の課題を提出済みであること。学期末試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

★AIについては、AIを用いた記述はもちろん、AIを自分の文章の修正に用いることも、疑わしい場合を含めて一切認めないので、AIを利用しないように注意すること。毎回、自分の言葉で書くこと。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、じっくり楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさを伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインの場合は、「学習支援」を通じて、資料の配布や課題の提出などを行うので、できるだけパソコンで「学習支援」を見たり、課題を提出したりできることが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to religion. And also this course introduces the philosophical theory of eudaemonics (happiness) to students taking this course.

At the end of the course students will be able to understand the difference between philosophy and religion and find in what point the clear distinction should be made between them. Students, what is more important, will be able to find the key to understanding of happiness.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:Term-end report: 60%, Short reports: 40%and in-class contribution.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会思想史

政井 啓子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期では、ヨーロッパ社会思想史における、古代ギリシャから近世までの基本的な諸思想を学びます。

「社会思想史」は、「人間と社会共同体との関係はどうあるべきか」という問題についての人類の探求の歴史です。

古代ギリシャから近世まで、哲学者たちは「自然本来の恒常不変な秩序」を探求していました。この「恒常不変な秩序」とは、人間にとって変更不可能なものであり、人間社会での、真偽・正不正・美醜善悪などを区別するための基盤となるものでもあります。探究の仕方は、知性主義あるいは感覚経験重視など、哲学者によって異なり、また「人間に認識可能な恒常不変な秩序というものはない」という相対主義や懐疑主義思想もあります。このような探究に基づいて、哲学者たちは多様な世界観と人間観を提示し、そして様々な望ましい社会のあり方を考えました。

本授業では古典にふれながら、順序正しく考えることの大切さ、常識や教科書的な通説とされる事柄を疑うということの重要性など、学生が人間の思考活動の豊かさを実感して、さらに自分の考えを具体的な表現で論理的に説明できるようになることを目指します。

【到達目標】

(1) 学生が、古典思想を学ぶことを通して、論理的な思考法と、「恒常不変な秩序」についての諸研究を理解する。

(2) 学生が、現代社会の諸問題についての冷静な分析力や判断力を養い、自分の考えをできるだけ明確にし、文章として表現できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は講義形式です。毎回、授業のレジュメと資料を配布し、それを元に解説します。

受講生には、授業後にリアクションペーパー（質問・感想・意見）を提出してもらい、次の授業でそのいくつかを匿名で紹介し、コメントします。学期中に小レポートを提出してもらいます（4～5回の予定）。期末試験は論述形式です。

オンライン授業は、Zoom使用（リアルタイム）でおこないます。

☆学習支援システムの「お知らせ」を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の概説	古代から近世までの思想の流れ。授業の進め方の説明
第2回	アテネ民主政時代の思想	「自然本来の秩序」と「人間社会の法」
第3回	プロタゴラスの思想（人間は万物の尺度である）	民主政と道徳的相対主義
第4回	ソクラテスの思想	愛知の精神。無知の自覚

第5回 プラトンのイデア論 「恒常不変であるもの」

第6回 プラトンの国家観 「理想国」と民主政への疑問

第7回 アリストテレスの思想 人間の幸福と社会共同体

第8回 ヘレニズム時代の思想 政治的自由の喪失と個人主義思想

第9回 ルネサンスの思想と科学革命 古代哲学の復興と「自然」の探究

第10回 デカルトの思想 1 「私は考える、ゆえに私は在る」

第11回 デカルトの思想 2 自然学（自然科学）の基礎付け

第12回 自然科学の発展 「科学」と「技術」と「社会制度」

第13回 自然法思想 「社会契約説」

第14回 春学期のまとめと期末試験 授業内筆記試験・まとめ末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業で配布する資料および授業内で紹介する文献を読んで、準備と復習をしてください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

『社会思想史』（法政大学通信教育部 発行）。プラトンやアリストテレスやデカルトなどの哲学者の著作、その他の参考文献は授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内容の理解度と上記「到達目標」の達成度によって評価します。大体の目安として、平常点（リアクションペーパー）25%、小レポート 25%、期末試験（論述式）50% です。

【学生の意見等からの気づき】

配布資料を工夫し、授業内容をより理解しやすく伝えるよう努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces some fundamental thoughts in the history of European social thought from ancient Greece to the early modern period, to students taking this course. From ancient Greece to the early modern period, philosophers sought "the constant and unchanging order of nature." This unchangeable order of nature is also the basis for discriminating between right and wrong, good and evil, etc. in human society. Through such quests, philosophers expressed diverse opinions about the world and human beings, and devised various ideal social systems.

(Learning Objectives)

(1) The goals of this course are for students to understand logical thinking, and recognize researches on "constant and unchanging order", by learning classical philosophy.

(2) At the end of this course, students are expected to be able to calmly analyze various problems in modern society, clarify their thoughts and express them in logical sentences.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short reports: 25%, Reaction papers: 25%

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

哲学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 由加里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義の目的は、社会思想としての「フェミニズム」について考察することである。現代の日本社会において、ジェンダー格差が問題にされることは多い。メディアの報道で世界経済フォーラムによるジェンダーギャップ指数のランキングなどを目にすることもある。「フェミニズム」は女性解放とジェンダー平等の実現を課題にしてきた社会運動であり、社会思想の一つである。本講義では、「フェミニズム」の歴史的意義と現代的価値について学び、現代社会に存在する具体的な問題、性暴力、セクシュアル・ハラスメントなどに対する考察と分析、対象方法などを考えることを目的としている。また、ジェンダー概念によって開かれた問題、性的マイノリティの権利問題などについても考察研究する予定である。

【到達目標】

社会思想に関する基本的な歴史を踏まえつつ、社会思想としての「フェミニズム」について論じられるようになることが本授業の目的である。歴史的な事象や現在世界および日本社会で起こっていることについての確かな情報の把握、学問的分析を行い、感情論ではない自分なりの見解を正しい知識の基づいて文章化できるようになることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、PowerPointを使った講義と映像資料などを活用し、ディスカッションとレポート（リアクションペーパー）作成によって構成される。レポートは、大学の「課題」提出システムを使ったデジタルでの提出を予定している。リアクションペーパーについては、講義内で講評し特に優れたものについては、授業中に匿名で紹介する予定である。資料などはプリントアウトしたものを教室で配布予定。

また、コロナ禍が収束せず、対面授業が不可能な場合は、以下のような形での講義形式になる。

【遠隔授業の場合】

PowerPoint ファイルに動画を載せた動画やインターネット上の動画視聴と課題によって、構成される。質問などについては、授業時間中に文字チャットで対応。Google のシステム、ハンアウトを利用。課題は、Hoppii のシステムを利用し個別に採点して返却。こちらへの参加は、大学から与えられているメールアドレスでの参加をすること。

「学習支援システムガイド」の「お知らせ」から、授業動画、参照動画へのリンク先を指示する。教材のところから、各自レジュメ、資料などをダウンロードして学習に役立てること。

動画の視聴可能期間は、1週間。課題提出も1週間後に設定予定。オンデマンドなので、動画は何度でも視聴可能。質問や文字チャットによる意見交換（自由参加）は、水曜日4限の授業時間中に行う。課題提出をもって、出席とする。

なお、授業計画内容は学生の理解度などによって前後したり別のものに差し替えられる可能性がある。「学習支援システム」のお知らせを毎回確認して欲しい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業説明及び社会思想とフェミニズムの関係について。	課題提出の方法、成績評価の認定、レポートのレベルや採点基準の説明。 簡単に講義全体のテーマについての説明を行う。課題の出題あり。
第2回	社会思想とはどのような学問か？（概論）	社会思想史という学問の歴史と対象領域についての基礎的なことについての講義を行う。
第3回	フェミニズムの歴史①	フェミニズム前史から第一波フェミニズムの成立まで。フランス革命から婦人参政権運動。
第4回	フェミニズムの歴史②	社会運動としての「フェミニズム」から第二波フェミニズム成立について歴史的経緯を学ぶ。
第5回	第二波フェミニズムの問題射程と現代社会	婦人参政権獲得後の「フェミニズム」の課題について学ぶ。アメリカとフランスの事例について。
第6回	日本におけるフェミニズム	「ウーマンリブ」とは何であったのか？ 第二波フェミニズムの日本への影響について。
第7回	フェミニズムとジェンダー概念	ジェンダー概念の意味と歴史的経緯を学ぶ
第8回	ジェンダーに対する社会的理解と誤解	日本の社会において「ジェンダー」という言葉がどのように使われてきたかを学ぶ。
第9回	「ジェンダー」概念によって開かれた問題①	ジェンダー・アイデンティティについて学ぶ
第10回	「ジェンダー」概念によって開かれた問題②	性的指向について学ぶ。いわゆる「LGBT」問題について考察する。
第11回	ジェンダー差別という問題設定	社会的不平等論と現代の日本社会について学ぶ
第12回	性暴力について	性暴力被害とはどのような「被害」であるのかを分析する。可能ならば動画の紹介をする。
第13回	社会問題としてのセクシュアル・ハラスメント	セクハラ問題の現状と分析
第14回	ジェンダー論とフェミニズムについて	フェミニズムは過去の社会思想なのかを問い直す。参考資料としての動画視聴と最終課題の提示。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考文献、資料などを読み、どの知識が不足しているのかを確認し、各自補足すること。参考文献、参考資料などを読み込んでおいてほしい。

授業後については、授業時間内では十分な形で各種の資料を紹介出来ない。できる範囲で映像資料を視聴したり、配布された文章資料などの読解をすすめる努力をしてもらいたい。授業内で配布された参考文献リストなどに目を通し、学習を深めておこう。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

担当教員が作成した授業レジュメ、デジタルデータは学習支援システム「教材」フォルダにPDFファイルもしくはjpgファイルの形でアップロードする。

【参考書】

『フェミニズム ワードマップ』江原 由美子（編集）、金井 淑子（編集）新曜社（1997/09）

『フェミニズムの歴史』 ジャン・ラボー著 加藤康子訳新評論（1987/10）

『現代日本女性史—フェミニズムを軸として』 鹿野政直 有斐閣（2004/07）

『女性解放思想史 ちくま学芸文庫』 水田珠枝 筑摩書房 (1994/05)
『フェミニズム (思考のフロンティア)』 竹村和子 岩波書店 (2000/10/20)

その他授業時、レジュメなどで参考文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

「学習支援システム」で出題されるレポート課題をすべてを提出することが必須である。提出されたレポート課題の内容から到達目標の達成度合いを判断して成績を評価をする。

レポートの評価は、課題提出の回数×取得点数/10＝総合点数→100点換算

として点数化

レポートもしくはテストは各回 10 点満点

＊課題の回数は学生の理解度と授業進度によって変わる。課題については授業時に詳細を発表するので、欠席した場合は各自情報を集めること。

レポート 80% 平常点 20%

【学生の意見等からの気づき】

定員未満の人数での教場利用だったが、多少息苦しさを感じた。人数が多いため細部に目が行き届かず、いねむりやサボりに対する配慮が難しかった。まじめに授業に取り組めるように環境面やコミュニケーションにあり方に配慮したいと思う。

【学生が準備すべき機器他】

課題の提出に「学習支援システム」を利用するのでレポート提出、文字チャットに耐えうる情報機器及び通信環境が必要。

【その他の重要事項】

この講義では、セクシュアリティについて語ることが多い。特に、第十二講、第十三講では、「性暴力」がテーマになる。PTSD、フラッシュバックなどを引き起こす可能性がある。心身の健康を考えて、受講を検討して欲しい。

【Outline (in English)】

The purpose of this lecture is to consider "feminism" as social thought. "Feminism" is a social movement, a social movement that has been a subject of the realization of liberation of women and gender equality. This lecture aims to learn about the historical importance and contemporary value of "feminism", to consider and analyze concrete problems existing in contemporary society.

[Learning Objectives]

At the end of the course, students are expected to be able to gain knowledge about feminism as a social thought and write essays on modern gender issues.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to read references and materials to see what knowledge they lack and supplement themselves.

[Grading Criteria /Policies]

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports : 80%、in class contribution: 20%

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：ビジネスと倫理

上田 瑞季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、応用倫理学の一分野であるビジネス倫理学（business ethics）を学ぶ。その結果として、各学生が人生において重大なモラル・ジレンマ、倫理的ジレンマに対峙した際に、いかに対応すべきかを検討できるようになることを目指す。

【到達目標】

- (1) ビジネスと倫理（学）の関係を自分なりに説明できる
- (2) 同一の物事・事柄に対して、多角的に把握かつ思考することができる
- (3) 功利主義・義務論・徳倫理学のそれぞれの理論的立場から事例を説明できる
- (4) ビジネスパーソンとしての良識・思考力・判断力を養う

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業形態：対面・講義形式（ただし、発言を求めることがある）
- 授業の進め方：講義＋小課題＋ディスカッション
- フィードバック：授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題：原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらう。思考を促し、自らの考えを言語化するスキルの向上を目的とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本授業の概要・狙い・進め方・倫理学の重要性などを確認する
第2回	ビジネス倫理学とは何か	ビジネス倫理学とは何かを学ぶ
第3回	理論①：功利主義	ベンサム功利主義を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第4回	理論②：義務論	カント倫理学を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第5回	理論③：徳倫理学	アリストテレスおよび現代の徳倫理学を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第6回	理論④：正義論	ロールズの正義論を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第7回	理論⑤：ケアの倫理	ギリガンのケアの倫理を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第8回	理論の振り返り・ピアレビュー	これまで学んだ理論を振り返りつつ、中間レポートを提出前に学生間で相互批評する
第9回	理論⑥：企業の社会的責任論	ストックホルダー理論・ステークホルダー理論について学ぶ

第10回	働くこと①：ブルシット・ジョブ	ブルシット・ジョブとは何かを学ぶ
第11回	働くこと②：ブラックバイト・グレーバイト・闇バイト	ブラックバイト・グレーバイト・闇バイトのもつ倫理的問題について考える
第12回	応用①：内部告発・公益通報	三大理論を用いて、内部告発の問題について考える
第13回	応用②：マーケティング・広告	三大理論を用いて、広告炎上の問題について考える
第14回	まとめ・試験	これまでの授業を振り返り、理解を深める（授業内試験を予定）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ジョセフ・R. デジタルダン『ビジネス倫理学入門』（文京学院大学グローバル・カリキュラム研究会訳）、文京学院大学総合研究所、2014年。
梅津光弘『ビジネスの倫理学』、丸善出版、2002年。
高浦康有・藤野真也（編）『理論とケースで学ぶ 企業倫理入門』、白桃書房、2022年。
中谷常二（編）『ビジネス倫理学読本』、晃洋書房、2012年。
トム・L. ビーチャム&ノーマン・E. ボウイ（編）『企業倫理学』、晃洋書房、第1巻（2004年）～第4巻（2017年）。
佐藤方宣（編）『ビジネス倫理の論じ方』、ナカニシヤ出版、2009年。
田中朋弘・柘植尚則（編）『ビジネス倫理学 哲学的アプローチ』ナカニシヤ出版、2004年 など

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点（20％）＋中間レポート（40％）＋期末試験またはレポート（40％）。
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60％以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

・最初は文章が書けなくて小課題に取り組むのが大変だったが、続けていくうちに論理的に文章を書けるようになったという声が多かった。毎回小課題が課される授業だと思って履修していただきたい。
・グループワークやディスカッションのおかげで、同じ問題に対して他の学生がどのように考えているかを学べたというフィードバックが多かったため、引き続きその時間を設けていきたい。
・私語する学生が少なく、集中しやすい授業だったという声が多数あった。今年度もそのような授業運営・雰囲気作りを心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

学生の要望や状況により、シラバスの内容が一部前後したり変更したりする場合があります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on business ethics, a branch of applied ethics, and learn the basic concepts of ethics. The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics, and to be able to consider how to respond when you face with a serious moral dilemma (ethical paradox or moral dilemma) in life. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Short reports:20, Midterm report:40, Term-end examination:40.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：未来倫理

上田 瑞季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、応用倫理学の一分野である未来倫理（Zukunftsethik）を学ぶ。その結果として、私たち現代世代が来たる未来世代に対して、どのような「道徳的責任」を担っているのかを検討できるようになることを目指す。

【到達目標】

- (1) 未来と倫理（学）の関係を自分なりに説明することができる
- (2) 同一の物事・事柄に対して、多角的に把握かつ思考することができる
- (3) 倫理学の理論的立場から事例を説明できる
- (4) 私たちが担っている未来世代への「道徳的責任」について考えることができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業形態：対面・講義形式（ただし、発言を求めることがある）
- 授業の進め方：講義＋小課題＋ディスカッション
- フィードバック：授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題：原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらう。思考を促し、自らの考えを言語化するスキルの向上を目的とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本授業の概要・狙い・進め方・倫理学の重要性などを確認する
第2回	未来倫理とは何か	未来倫理・世代間倫理について考える
第3回	理論①：功利主義	パーフィットの功利主義を理解する
第4回	理論②：正義論	ロールズの正義論を理解する
第5回	理論③：ケアの倫理	ギリガンのケアの倫理を理解する
第6回	理論④：責任原理	ヨナスの責任原理を理解する
第7回	理論⑤：討議倫理	アーペルの討議倫理を理解する
第8回	理論⑥：共同体主義	デ・シャリートの共同体主義を理解する
第9回	理論⑦：反出生主義	ベネターの反出生主義を理解する
第10回	理論の振り返り・ピアレビュー	これまで学んだ理論を振り返りつつ、中間レポートを提出前に学生間で相互批評する
第11回	事例①：気候変動	これまで学んだ理論を用いて、気候変動の問題について考える
第12回	事例②：放射性廃棄物処理	これまで学んだ理論を用いて、放射性廃棄物処理の問題について考える

第13回 事例③：ゲノム編集 これまで学んだ理論を用いて、ゲノム編集の問題について考える

第14回 まとめ・試験 これまでの授業を振り返り、理解を深める（授業内試験を予定）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ハンス・ヨナス『責任という原理—科学技術文明のための倫理学の試み』、東信堂、2010年。
戸谷洋志『未来倫理』、集英社新書、2023年。
戸谷洋志『ハンス・ヨナス 未来への責任』、慶応義塾大学出版会、2021年。
戸谷洋志『ハンス・ヨナスの哲学』、角川ソフィア文庫、2022年 など

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点（20％）＋中間レポート（40％）＋期末試験またはレポート（40％）。
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60％以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

・最初は文章が書けなくて小課題に取り組むのが大変だったが、続けていくうちに論理的に文章を書けるようになったという声が多かった。毎回小課題が課される授業だと思って履修していただきたい。
・グループワークやディスカッションのおかげで、同じ問題に対して他の学生がどのように考えているかを学べたというフィードバックが多かったため、引き続きその時間を設けていきたい。
・私語する学生が少なく、集中しやすい授業だったという声が多数あった。今年度もそのような授業運営・雰囲気作りを心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

学生の要望や状況により、シラバスの内容が一部前後したり変更したりする場合があります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on ethics of/for the future, a branch of applied ethics, and learn the basic concepts of ethics. The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics, and to be able to consider moral responsibility we take for future generations.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:20, Midterm report:40, Term-end examination:40.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の生命誕生に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自ら思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

大学の行動方針レベルが1の場合は、オンライン授業と対面授業を併用する。レベルが2となった場合は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	倫理学の基本概念	倫理学とはどのようなことを研究対象とする学問なのか、倫理学全般に関して説明する。
第2回	規範倫理学・記述倫理学・メタ倫理学	倫理学の3つのレベルについて、その概要を説明する。
第3回	バイオエシックスの誕生	1970年代に米国においてバイオエシックスが誕生した背景を解説する。
第4回	バイオエシックスの諸問題	バイオエシックスにおいて取り扱われるテーマを解説する。
第5回	倫理的価値としての生命	生命や健康は価値あるものとされているが、それはいかなる理由からかを考える。
第6回	生命の誕生と人工妊娠中絶の問題	生殖に関する生命倫理問題を考察する。
第7回	人口抑制と環境問題	生殖に関する生命倫理問題と人口問題や環境問題との関係を考察する。
第8回	「自然」とは何か	倫理問題を考えるうえで「自然」という概念がいかなる意味を持つのかを解説する。
第9回	優生思想	優秀な子孫を残し劣った子孫の出生を防止するという「優生思想」に関する問題を解説する。

第10回	社会ダーウィニズムと人種主義	優生思想と社会ダーウィニズムとの関係を解説し、ナチズムにおける位置づけを考察する。
第11回	人工授精と体外受精	具体的な生殖医療における生命倫理問題を概観する。
第12回	ウォーノック報告と自由主義	英国のウォーノック報告の基本的考え方を解説し、生命倫理学における自由主義について考察する。
第13回	凍結保存の倫理的意味	配偶子や受精卵の凍結保存の持つ意味とそれによってもたらされる倫理的問題を考察する。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートを用いて授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第5版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70％） 期末レポート（30％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning the birth of people and learn the basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の死に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自らの思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	倫理的観点から見た「人の死」	人の死とはどのようなことかをあらためて生命倫理学の視点から考察する。
第2回	脳死に関する倫理的諸問題	脳死とはどのような状態を確認し、生命倫理学においてどのような問題を孕んでいるのかを概観する。
第3回	臓器移植と功利主義	臓器移植という医療が、功利主義的な考え方によってどのように正当化されるかを具体的に考察する。
第4回	功利主義の問題	功利主義とはどのような考え方を確認し、その問題点を明らかにする。
第5回	義務論と目的論	功利主義を義務論と対比し、義務論的な考え方について概観する。
第6回	幸福加算の可能性	「最大多数の最大幸福」を原則とする功利主義が前提とする幸福計算の可能性について考察する。
第7回	社会的コンセンサスの倫理的意味	合意形成の可能性について倫理的視点から考察する。
第8回	安楽死・尊厳死・自然死	安楽死とはどのようなことかを解説し、安楽死に関する生命倫理問題を概観する。
第9回	生命の質	安楽死容認の根拠とされる考え方を考察する。

第10回	パターナリズム	自律原理に基づく医療とは対置されるパターナリズムの内容とその問題点を明らかにする。
第11回	自己決定の問題	安楽死の根拠とされる自律原理に関わる問題を明らかにする。
第12回	「判断能力」の有無	自己決定権行使の前提となる「判断能力」について、その内容を考察するとともに、問題とされる具体的事例を考察する。
第13回	「人格」概念	人間とはいかなる存在かをパーソン論の観点から考察する。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。また授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門【第5版】』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70％） 期末レポート（30％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning human death and learn basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：情報通信社会における倫理

杉本 隆久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学 L I では、情報社会における倫理的問題の中でも、特に「ネットにおけるコミュニケーション」、「メディア・リテラシー」、「情報技術とセキュリティ」、「インターネットと犯罪」「個人情報と知的財産」、「SNSと情報モラル」などインターネット社会を生きるための情報倫理に関連する諸問題を取り上げます。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目指します。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。原則対面授業を行います。ただし、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合もあります。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報と情報社会と情報倫理	授業ガイダンスを行う。また、情報と情報社会と情報倫理についての概説も行います。
第2回	情報通信社会とインターネット	情報通信社会とインターネットの進化と変遷を概観し、その中で生じてきた倫理的問題について検討します。
第3回	ネット時代のコミュニケーション	ネットにおけるコミュニケーションとマナーについて倫理的に検討します。

第4回	メディアの変遷とメディア・リテラシー	メディアの変遷とメディア・リテラシーについて倫理的に検討します。
第5回	情報技術とセキュリティ	情報セキュリティとネット被害の問題を倫理的に検討します。
第6回	インターネットと犯罪	ネット社会におけるトラブルと犯罪について倫理的に検討します。
第7回	個人情報とプライバシー	個人情報の流出と保護の問題について倫理的に検討します。
第8回	知的所有権とコンテンツ	知的財産の問題と知的財産権について倫理的に検討します。
第9回	企業と情報倫理	企業の社会的責任や企業倫理について倫理的に検討します。
第10回	科学技術と倫理	科学技術と倫理の問題や技術者倫理について検討します。
第11回	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン	デジタルデバイドの問題とユニバーサルデザインについて倫理的に検討します。
第12回	SNSと情報モラル	ソーシャルネットワークサービス（SNS）と情報モラルについて倫理的に検討します。
第13回	情報社会とリテラシー	情報社会を生き抜くリテラシーについて倫理的に検討します。
第14回	まとめ	まとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに係る資料を共有します。

【参考書】

- ・高橋慈子他著『情報倫理—ネット時代のソーシャル・リテラシー』（技術評論社）
- ・情報教育学研究会『インターネット社会を生きるための情報倫理（改訂版）』（実務出版）
- ・勢力尚雅編著『科学技術時代の倫理学』（梓出版社）
- ・大黒岳彦『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、学習支援システム上から毎回の授業課題を提出してもらう。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の2点を総合して評価します。

評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。

倫理学 L II も併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：来るべき情報通信社会における倫理

杉本 隆久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学Ⅱでは、〈身体〉というパースペクティブから、特に「人工知能（AI）」、「ロボット、アンドロイド、サイボーグ」という問題を中心に、他にも「技術的特異点（テクノロジカル・シンギュラリティ）」、「2045年問題」、「Google」、「ビッグデータ」、「SNS」、「ウェアラブル」など現代を生きるための情報社会に関連する様々な倫理的問題を取り上げます。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目指します。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。原則対面授業を行います。ただし、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合もあります。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報社会と2045年問題	授業ガイダンスを行う。また、情報社会と技術的特異点の問題についての概説も行います。
第2回	技術的特異点という倫理学的問題（1）— 切迫の状況と指数関数的な爆発	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。

第3回	技術的特異点という倫理学的問題（2）— 来るべき未来と終末論	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第4回	マスメディアの終焉とメディア史観	マスメディアの終焉とメディア史観について倫理的に検討します。
第5回	メディアリテラシーとメディアオロジー	メディアオロジーについて解説し、メディアオロジーの観点からメディアリテラシーを批判的に検討します。
第6回	グーグルによる「汎知」の企図と哲学の終焉	「汎知」の思想史を概観しながら、「グーグル」という問題について倫理的に検討します。
第7回	人間をつくり変える？	クローン、サイボーグ、アンドロイドをめぐる倫理的問題について検討します。
第8回	ロボットから倫理を考える（1）	ロボットをめぐる倫理的問題について検討します。
第9回	ロボットから倫理を考える（2）	ロボットにおける倫理は可能かという観点から、倫理の根拠について検討します。
第10回	身体から考える情報通信社会における倫理（1）	スピノザと身体の哲学について倫理的に検討します。
第11回	身体から考える情報通信社会における倫理（2）	ニーチェと身体の哲学について倫理的に検討します。
第12回	身体から考える情報通信社会における倫理（3）	メルロ＝ポンティと身体の哲学について倫理的に検討します。
第13回	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学についてフォーコーのパースペクティブから検討します。
第14回	まとめ	まとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係する資料を共有します。

【参考書】

- ・ニック・ボストロム著『スーパーインテリジェンス 超絶AIと人類の命運』（日本経済新聞出版社）
- ・レイ・カーツワイル著『ポスト・ヒューマン誕生 コンピュータが人類の知性を超えるとき』（NHK出版）
- ・大黒岳彦著『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）
- ・ジャン＝ガブリエル・ガナシア著『そろそろ、人工知能の真実を話そう』（早川書房）
- ・三宅陽一郎著『人工知能のための哲学塾』（BNN新社）
- ・久木田水生他著『ロボットからの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
- ・岡本裕一郎著『12歳からの現代思想』（ちくま新書）
- ・松田卓也著『2045年問題 コンピュータが人類を超える日』（廣済堂新書）
- ・松尾豊著『人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの』（角川EPUB選書）
- ・弥永真生他編『ロボット・AIと法』（有斐閣）
- ・岡本裕一郎著『人工知能に哲学を教えたら』（SB新書）

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、学習支援システム上から毎回の授業課題を提出してもらう。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の2点を総合して評価します。

評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。
倫理学L I も併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業で行う。資料を配付し、それに沿って講義をする。講義終了後、コメントカードを書いてもらう。次の授業では、最初はそのコメントカードに対してリアクションしながら復習をして、当日の内容に入ってゆく。このパターンで授業を進める。

学期中に2度ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに：問題設定	単位取得方法、および講義の概要についての説明；他者という問題。なぜ「他者」が問題なのか。
第2回	デカルトの他者論（その1）	デカルト哲学の紹介
第3回	デカルトの他者論（その2）	デカルトの他者論（コギト、神の存在証明）
第4回	デカルトの他者論（その3）	それまでの議論を振り返りつつ、あらためてデカルトにおける他者の不在について考察する。
第5回	フッサールの他者論（その1）	フッサール哲学の紹介
第6回	フッサールの他者論（その2）	フッサールの他者論へ 問主観性・共現前という問題
第7回	フッサールの他者論（その3）	フッサールの他者論の問題点と可能性（自己移入論、超越論的問主観性という立論）
第8回	デイルタイの他者論（その1）	デイルタイの思想の紹介
第9回	デイルタイの他者論（その2）	デイルタイの解釈学
第10回	デイルタイの他者論（その3）	デイルタイの他者論
第11回	サルトルの他者論（その1）	サルトル哲学の紹介

第12回	サルトルの他者論（その2）	サルトルの他者論（対他存在について）
第13回	サルトルの他者論（その3）	サルトルの他者論から見た人間存在の諸相
第14回	レポートについての説明	レポートの書き方、内容について説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず2/3以上参加してください。

学期末のレポート（65%）と授業への積極的な貢献度〔コメントカードの記述など〕（35%）によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、4月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点は注意してください。

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%)

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず、他者論の問題設定の発生を明らかにして、そのうえで、サルトル、和辻哲郎、M・ブーバー、E・レヴィナスなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。

基本的に講義形式を取るが、内容に応じて映像資料なども用いる。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

2回ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第2回	問題設定	他者という問題（デカルト、カント、フッサールの問題設定）
第3回	和辻哲郎の倫理学（その1）	和辻哲郎という人物、「面とペルソナ」について
第4回	和辻哲郎の倫理学（その2）	和辻倫理学の主要論点（個と全体、二人共同体）
第5回	和辻哲郎の倫理学（その3）	和辻倫理学の問題点
第6回	M・ブーバーの思想（その1）	ブーバーという人物、「わたし-きみ」「わたし-それ」
第7回	M・ブーバーの思想（その2）	ブーバーの人間観
第8回	M・ブーバーの思想（その3）	ブーバーの思想の問題点、E・レヴィナスによる批判
第9回	ハイデガーの他者論（その1）	ハイデガー哲学の紹介
第10回	ハイデガーの他者論（その2）	顧慮の気遣い、本来的な他者
第11回	E・レヴィナスの他者論（その1）	レヴィナス哲学の紹介
第12回	E・レヴィナスの他者論（その2）	レヴィナスの他者論（顔、他者）

第13回 アーレントの他者論 アーレントの他者論

第14回 レポートについての説明 レポートのテーマ、書き方についての説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず2/3以上参加してください。

学期末のレポート（70%）と授業への積極的な貢献度[コメントカードの記述など]（30%）によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、9月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点に注意してください。

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (70%), and in-class contribution (30%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：〈いのち〉への問い

田島 樹里奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）（life）とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業では、「幸福とは何か」を出発点としながら、人間の生／死、人格、医療（技術）に焦点を当てながら、私たち人間とはどのような存在であるかをじっくり倫理的な視点から考え直していきたい。現代では、自然界に生まれた生命に科学技術が介入することは当たり前であるが、人工授精・体外受精、デザイナーベビー、人工妊娠中絶、臓器移植、延命治療など、現代社会でよく耳にするこれらの人工的な生命操作は、自然の摂理という観点から見れば反自然的な行為と言える。だからと言って、私たちは簡単に善悪の判断を下すことはできない。日々の日常生活のうちには、こうした論理や合理性だけでは解決し難い問題がたくさんある。

「いのち」の問題は、私たちが生きていく中で、いずれどこかで関わる身近な問題であり、避けては通ることのできない重要な問題である。本授業では、具体的な事例や現代的な問題を取り上げながら、命（生と死）・医療・科学技術などについて、今一度考え直すきっかけを提供し、共に考えていきたい。

【到達目標】

① 生命、死、存在、医療、QOLなどの言葉を相互に関連づけながら思考する力を身につける。
 ② 生命倫理学の多様な価値観を学ぶことで、様々な立場の考え方を多角的に把握する力を身につける。
 ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
 本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

(1) Acquire the ability to think about life, death, existence, medical care, QOL, and other terms while relating them to each other.

(2) By learning the various values of bioethics, students will acquire the ability to grasp the ideas of various positions from multiple perspectives.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of issues. The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking skills as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたり、リアクションペーパーなどを用いながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

* 講義

* 毎回、授業後にコメントシートを提出。

* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生命倫理学とは？ 生命に科学技術が介入することの意味
第2回	バイオエシックスの成立(1)	善く生きるとは 近代的自由の成立と人権概念
第3回	バイオエシックスの成立(2)	アメリカにおける社会的・政治的背景 社会変動と幸福感の変化
第4回	幸福とは何か	「幸福」はどのように決まるか？
第5回	功利主義(1)：幸福は計算可能か	「最大多数の最大幸福」 平等の原理は存在するか？
第6回	功利主義(2)：個人の自由と社会道徳	個人の幸福追求と社会の幸福追求 「生命の質」か「生命の尊厳」か
第7回	人間の生命と人格	エンゲルハートの人格概念 胎児に人格はあるか？
第8回	優生思想と人工妊娠中絶	優生保護法と母体保護法 人工妊娠中絶は殺人か？
第9回	中絶問題と女性の権利	中絶問題の歴史 米国で揺れ動く中絶権利
第10回	命は誰のものか	医療とバタナリズム 患者の権利と医師の義務
第11回	医療と倫理	医学者たちの人体実験
第12回	伝える義務と知る権利	医療とインフォームド・コンセント 情報開示と自己決定権
第13回	尊厳死/安楽死とは	安楽死を考える 私たちに死ぬ権利はあるのか
第14回	医療の倫理と法	医療技術の進歩と医療現場 医療事故と医療過誤

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

今井道夫『生命倫理学入門（5版）』産業図書、2024年。
 中村元『構造倫理講座Ⅲ〈生命〉の倫理』春秋社、2021年。
 伏木信治『生命倫理と医療倫理：改訂4版』金芳堂、2020年。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（60%）、期末試験またはレポート（40%）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。また、受講者のコメントシートを紹介することで、同世代の人たちの色々な考え方を知ることができ、良い刺激になると思います。

Even if you are new to the subject of ethics, don't worry because you can gradually deepen your understanding and get used to it in each class. (Basically, this class is for first-time students)

【その他の重要事項】

受講生の希望や状況に応じて、シラバスの内容が前後したり、多少変更する場合があります。

* 人数が極端に多い場合には、受講者数を制限することがあります。
* 真面目に受講したい人にとって迷惑になる行為（私語・遅刻の常習など）は、注意や減点の対象になります。基本的には楽しく授業をしたいので、メリハリを付けられない人は、本授業の受講はご遠慮願います。

【Outline (in English)】

This course is an introduction and survey course in Bioethics. The purpose of this course is introduce students to bioethics through critical thinking contemporary issues. Through this course, students will be given not only the knowledge and comprehension of relationship between biotechnology and ethics, but also the opportunity to focus on their life and death. Students will first be introduced the history of ethics, foundational theories in bioethics, and the basic concepts and theoretical framework of bioethics.

Topics will include: what is happiness, health-care, responsibility, system of value, informed consent, death and dying, and the issue of beginning of life(on abortion, designer baby, prenatal testing etc.).

Through this course, students will be able to think carefully and to express their own views more clearly through their own positions on bioethical/medical issues.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：〈いのち〉と科学を考える

田島 樹里奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）(life)とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業の後半では、宗教の視点から生命倫理を考察することにより、様々な宗教的思想を背景にした死生観と生命倫理観を学んでいく。そもそも宗教は生死と密接に関わり、それぞれの仕方で「あの世／この世」「現世／来世」を語ってきた。本授業ではこれら全てを網羅することはできないが、私たちが今・ここで生きることの意義や、死や死後を考察するための手掛かりとして、それぞれの宗教的思想の意義を検討していきたい。

倫理学という学問領域は、私たちの日常生活や生きること・死ぬことに直接関わる部分を含んでいる。それゆえ本授業を通じて、受講生各自が関心を持ったテーマに対して、積極的にアプローチをすることで、それぞれの興味・関心を深めていながら、死生観や生命観を構築し、さらに倫理的な問題意識を持って学問的に掘り下げてもらいたい。

以上の観点をもって、受講生各自が本授業を通して、私たち人間とはどのような存在であるか、生きるとは、死ぬとはどういうことなのかをじっくり倫理的な視点から考え直していくきっかけを提供し、共に考えていきたい。

【到達目標】

- ① 生命、死、人格、医学、宗教などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。
- ② 多様な生命の在り方や、宗教的思想を背景とした多様な価値観を学ぶことで、様々な立場から生命倫理を考える力を身につける。
- ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。

本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

1) Acquire the ability to think about life, death, personality, medicine, religion, and other terms while relating them to each other in one's mind.

2) To acquire the ability to think about bioethics from various perspectives by learning about various ways of life and various values based on religious thought.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of the issues.

The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking ability as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたりしながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

* 講義

* 毎回、授業後にコメントシートを提出。

* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生命倫理学とは バイオエシックスの成立
第2回	生命の誕生と倫理(1)	日本人の生命倫理観の変化 生殖医療とは
第3回	生命の誕生と倫理(2)	生殖技術の発展と拡大 人工授精の歴史と現状
第4回	生命の誕生と生殖医療	不妊治療の実態 性教育不足による社会問題化
第5回	生殖技術の倫理(1)	代理母の在り方 出自を知る権利
第6回	生殖技術の倫理(2)	精子バンク問題とインターネット取引
第7回	遺伝子と生命倫理(1)	再生医療とクローン技術 「全能性」とは
第8回	遺伝子と生命倫理(2)	遺伝子とDNA デザイナーベビーとは
第9回	遺伝子と生命倫理(3)	遺伝子組み換えとゲノム編集
第10回	ジェンダーと生命倫理(1)	ジェンダー概念と社会変容 「家族」のあり方を再考する
第11回	ジェンダーと生命倫理(2)	性転換手術と医療倫理 自然界の性転換と人工的性転換の問題
第12回	宗教と生命倫理(1)	「宗教」とは 宗教的価値観と倫理的判断
第13回	宗教と生命倫理(2)	神道における死後観と人間観 臓器移植問題の捉え方
第14回	宗教と生命倫理(3)	ヒンドゥー教の死生観

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

今井道夫『生命倫理学入門（5版）』産業図書、2024年。
中村元『構造倫理講座Ⅲ〈生命〉の倫理』春秋社、2021年。
伏木信治『生命倫理と医療倫理：改訂4版』金芳堂、2020年。
小松美彦、土井健司編『宗教と生命倫理』ナカニシヤ出版、2005年。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（60%）、期末試験またはレポート（40%）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

倫理学L1から継続して受講すると理解しやすく、知識も深まります。
(倫理学L2を受講した後に、次年度の倫理学L1を受講することも可能です。)

It is recommended that students take Ethics LI before taking this course for better understanding.

We do not recommend this course to those who just want to get credits. This class should be taken by anyone who is willing to learn properly as a university student.

【その他の重要事項】

受講生の希望や状況に応じて、シラバスの内容が前後したり、多少変更する場合があります。

* 人数が極端に多い場合には、受講者数を制限することがあります。

* 真面目に受講したい人にとって迷惑になる行為（私語・遅刻の常習など）は、注意や減点の対象になります。基本的には楽しく授業をしたいので、メリハリを付けられない人は、本授業の受講はご遠慮願います。

【Outline (in English)】

This course is intended to develop student's understanding of ethical issues of bioethics and medical care. Especially, this course will focus upon major bioethical issues which related to artificial insemination, genetic testing and human right. In addition, the second half of this course, we will explore various ethical problems within several religious traditions. Through comparison of bioethical perspectives on selected themes, students will be able to recognize the interconnections between bioethical issues and religious system. This course will help students to develop the ability to analyze diverse perspective and to recognize the importance of ethical considerations.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森村 修

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

《授業の概要》

2020年から2023年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行（パンデミック **pandemic**）に、全世界が巻き込まれた。確かに、一時期の爆発的流行は収まり、2025年現在では、確かに新型コロナウイルスに対して、「普通の感染症」のレベルまで終息した。その一方で、やはりコロナ感染の後遺症で苦しむ人は存在する。感染症といえば、若者を中心に「性感染症」、特に「梅毒」が飛躍的に感染を拡大させている。社会がますます多様化し、グローバルな交流が拡大し、個人レベルも社会レベルも倫理観やモラル（道徳性）に対する意識が希薄になった可能性も否定できない。ある意味で、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しくない〉雰囲気を出しているといえよう。

こうした観点を含めて、本授業では、「ケアの倫理学」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

《授業の目的》

本科目は、1980年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理学」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】

- (1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
- (2)「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4)「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・履修上の注意 ・「ケアの倫理」についての概要説明
2	第1章 生きることの倫理①	・生きることの質（QOL）
3	第1章 生きることの倫理②	・健康であることの意味
4	第1章 生きることの倫理③	・死ぬことの意味
5	第1章 生きることの倫理④	・死に立ち会うこと
6	第1章 生きることの倫理⑤	・ベットのロス
7	第1章 生きることの倫理⑥	・死への準備教育（Death Education）
8	第2章 「ケア」の倫理①	・「ケア」の思想①——メイヤロフ『ケアの本質』
9	第2章 「ケア」の倫理②	・「ケア」の思想②——ギリガン『もう一つの声で』
10	第2章 「ケア」の倫理③	・〈心〉が傷ついた人のケア
11	第2章 「ケア」の倫理④	・スピリチュアルケア（spiritual care）——〈いたみ〉を分かち合うこと
12	第3章 支え合うこと	・ケア意識の発達
13	第3章 支え合うこと	・ケアする人を支えるために
14	まとめ	・「自己へのケア」から「他者へのケア」へ、そして「支え合いとしてのケア」へ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で触れたことについて、様々な書籍、雑誌、新聞やインターネットで確認し、自分の知識を増やすように心がけること。倫理学は、生き方に関わる学問である。座学では何も身につかない。積極的に、倫理的な問題を考え、自ら主体的に学ぶように日頃から気をつける必要がある。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・森村修『ケアの倫理』（大修館書店、2000年）
- ・森村修『ケアの形而上学』（大修館書店、2020年）
- ・キャロル・ギリガン『もうひとつの声で——心理学の理論とケアの倫理』（風行社、2022）
- ・Virginia Held, *The Ethics of Care: Personal, Political, and Global*, Oxford University Press, 2006.

【参考書】

竹田純郎・伊坂青司・森秀樹編『生と死の現在——家庭・学校・地域のなかのデス・エデュケーション』（ナカニシヤ出版、2002年）

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーなど（30％）と期末試験（70％）によって、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

ビデオ、DVDなどAV機器を用いる場合がある。

【その他の重要事項】

「ケアの倫理」は、単に授業ですわっていれば自然と身につくものではない。自らの主体的な実践を伴わない「ケア」や「癒しと救い」は、単なる「絵に描いた餅」でしかなく、生きるためには何の役にも立たない。受講生各自が、自らの日々の生活のなかで、「ケアとは何か」「何をケアするのか」「ケアするためには何が必要なのか」「ケアとは何をしなければならないことなのか」などという問いを自らに問いかけ、それに答える努力を欠かさないようにしてもらいたい。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, the aim of this course is to help students examine the question of what is care ethics in global ethics in the 21st century from various angles.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to describe the differences between ethics of justice and ethics of care in detail and to understand the concept of care comprehensively.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the term-end examination (70%), and in-class contribution(30 %).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森村 修

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

《授業の概要》

2020年から2023年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行（パンデミック **pandemic**）に、全世界が巻き込まれた。確かに、一時期の爆発的流行は収まり、2025年現在では、確かに新型コロナウイルスに対して、「普通の感染症」のレベルまで終息した。その一方で、やはりコロナ感染の後遺症で苦しむ人は存在する。感染症といえば、若者を中心に「性感染症」、特に「梅毒」が飛躍的に感染を拡大させている。社会がますます多様化し、グローバルな交流が拡大し、個人レベルも社会レベルも倫理観やモラル（道徳性）に対する意識が希薄になった可能性も否定できない。ある意味で、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しくない〉雰囲気を出しているといえよう。

こうした観点を含めて、本授業では、「ケアの倫理学」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

《授業の目的》

本科目は、1980年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理学」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】

- (1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
- (2)「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4)「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・受講上の注意 ・「ケアの倫理」入門
2	第1章 暴力被害者のケア①	・〈生き残ること〉と〈生き延びること〉 ・「こども虐待」という〈社会・政治的暴力〉
3	第1章 暴力被害者のケア②	・「新たな傷つきし者」の出現——「社会・政治的トラウマ」の問題 ・〈情動を抱える生〉の〈ケアの倫理〉
4	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実①	・哲学的課題としての「認知症」 ・「認知症」が問いかけるもの
5	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実②	・「社会的疾患」としての「認知症」 ・「認知症」における〈こころ〉と脳
6	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実③	・認知症ケアの倫理
7	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理①	・「孤独死」の現在 ・「ひとりて死ぬこと」の意味
8	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理②	・「何も共有していない者たちの共同体」の倫理 ・〈他者としての死者〉を抱えて〈生き延びる〉こと
9	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理③	・アボリアの経験 ・喪の倫理
10	第4章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理①	・〈からだ〉という問題圏 ・東洋の心身論の試み
11	第4章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理②	・富士谷御杖の思想 ・〈身〉と〈言〉 ・〈身〉と〈こころ〉 ・「言霊」の〈力〉
12	第5章 「生存の美学」としてのケア①	・アウトサイダーとアーと・セラピー ・ヘンリー・ダーガーの世界
13	第5章 「生存の美学」としてのケア②	・他者への配慮 ・レベッカ・ブラウンの「贈与」
14	第5章 「生存の美学」としてのケア③	・デヴィッド・グレーバーの価値論について ・贈与としてのケア

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

森村修『ケアの形而上学』、大修館書店、2020年

【参考書】

森村修『ケアの倫理』、大修館書店、2000年

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパー（30％）と期末試験あるいはレポート（70％）によって、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の場合には、インターネットなどの必要な設備が必要である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, the aim of this course is to help students examine the question of what is care ethics in global ethics in the 21st century from various angles.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to describe the differences between ethics of justice and ethics of care in detail and to understand the concept of care comprehensively.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the term-end examination (70%), and in-class contribution(30 %).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

論理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：論理的思考のトレーニング

佐々木 護

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論点が明確で、筋の通った議論や文章は「論理的」と言われます。この授業では、分野を問わず多様な文章を論理的に把握し、それを吟味検討したうえで、自分の見解を論理的に表現する訓練を行います。論理的読解力や論述力を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずです。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、内容をよく理解した上で、的確な要約を行うことができる。
- (2) 上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出された答案は添削・評価のうえ、翌日に返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／論理学とは	論理学には分析論と弁証術の2つの流れがあることを理解する。
第2回	論理的説明と論証	トゥールミン・モデルなどを参照しつつ、論理的な説明には、根拠の提示が不可欠であることを理解する。
第3回	論理的読解と論証	論理的読解には、文章全体を論証と捉え、結論とそれを支える根拠を見きわめることが有効であることを理解する。
第4回	論証の構造	論証図の作成を通じて、論証構造を的確に把握する仕方を身につける。
第5回	要約の技法	文章から論証構造を取り出し、それを軸に要約する技法を身につける。
第6回	隠れた前提	論証を論理的に理解するには、隠れた前提を自覚的に取り出すことが必要な場合があることを理解する。
第7回	論証の評価（1）	論証の適切さや妥当性を評価するにあたって着目すべきポイントを理解する。
第8回	論証の評価（2）	論証を検討する仕方を実践的に身につける。

第9回	誤った論法（誤謬）	論証の誤りの代表的なパターンを理解する。
第10回	論証への反論（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する反論を作成する。
第11回	論証への反論（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第12回	文章読解と見解論述（1）	現代の社会問題に関連した文章を読み、それに対する見解論述を作成する。
第13回	文章読解と見解論述（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第14回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
毎回、講義内容に関連した課題が課されます。
毎回返信する資料にはよく目を通しておいください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）
渡邊雅子『論理的思考とは何か』（岩波新書、2024年）

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50％）および最終回の試験の成績（50％）で評価します。

試験の評価基準については、授業中に何度か実施する課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「他の学生の答案を見て、意見や表現方法を学ぶことができたのが良かった」「文章を読むときにどういうところに気をつければよいかが分かってきた」「授業を通して、少しずつ自分の文章力がついてきたと実感した」などの感想がありました。

今まで文章を書く機会の少なかった受講者の場合、最初は小論文作成に時間がかかり、難しく感じることもあるようです。しかし、書き続けるうちに徐々に慣れていきますので、その点についてあまり心配する必要はありません。

【Outline (in English)】

We call a reasonable argument as "logical". In this course, we will practice to logically read various texts regardless of the field, examine them, and express your own view logically. If you acquire the ability of logical reading and argumentation, it will be useful for your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grading will be evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)	
論理学Ⅱ	2017年度以降入学者
サブタイトル：批判的思考のトレーニング	
佐々木 護	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5 単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

批判的思考（クリティカル・シンキング）教育の一環として、複数の視点から仮説を立てたり、対立する意見も視野に入れつつ望ましい問題解決策を見出す訓練を行います。自分が自明とする考えからいったん距離を置き、異なる他者の考えにも目を向ける態度を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上でも大いに役立つはずです。

【到達目標】

- 本授業の到達目標は以下の2点です。
- （1）統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。
 - （2）与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出された答案は添削・評価のうえ、翌日に返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／推論の分類	演繹、帰納、仮説推量という推論の3つのタイプを概観する。
第2回	演繹と仮説推量	演繹と仮説推量の関連性と相違点を理解したうえで、新たな発想やアイデアを導く上で仮説推量が果たす意義を押さえる。
第3回	統計資料の分析と仮説推量	統計資料の分析の基本を理解し、資料からどのような仮説を立てることができるかを考える。
第4回	相関関係と因果関係	2つの現象の間に何らかの関係が認められる場合に、どんな仮説が立てられるのかを理解する。
第5回	原因分析と対策提言	ある仮説に基づくならば、どのような対策が必要かを考える。仮説が異なれば、必要な対策も大きく異なることを理解する。
第6回	価値前提	それぞれの論証がどのような価値判断や価値基準を前提としているかに注目することで、議論の争点を整理する仕方を身につける。
第7回	対策提言の評価（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する検討を行う。
第8回	対策提言の評価（2）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。

第9回	立論・批判・異論（1）	対立する意見を視野に入れつつ、それに対する批判や異論を展開する仕方を身につける。
第10回	立論・批判・異論（2）	批判と異論の違いを見きわめる。
第11回	立論・批判・異論（3）	あるテーマに対し、立論・批判・異論から構成される小論文を作成する。
第12回	立論・批判・異論（4）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第13回	誤った二分法・両論併記	二分法が陥りがちな罠を理解する。
第14回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
配信された資料にはよく目を通しておいください。
また、日頃から政治や経済、社会等のニュースに関心を持ち、批判的にチェックする習慣を身につけていきましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）
渡邊雅子『論理的思考とは何か』（岩波新書、2024年）

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50％）および最終回の試験の成績（50％）で評価します。
試験の評価基準については、授業中に何度か実施する課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「文章の書き方などを学べたことはもちろん、毎回の授業や課題においてテーマとなる社会問題について考え文章にすることが、自分の意見を持つ大変いい機会となった」「ただ論理の立て方を学ぶだけではなく時事を用いて学ぶことができて大変勉強になった」などの感想がありました。
テーマに関連したアウトプットを繰り返す授業形式を通して、考えて書く力がアップしたと感じる受講者が多かったようです。

【Outline (in English)】

As part of the critical thinking education, we will make hypotheses from multiple perspectives, and practice to find solutions while taking into account the opposite opinion. If you learn how to think critically, you will be of great help in your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grading will be evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

HIS200LA（史学/History 200）

東洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：南アジア史（1）

水上 香織

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、南アジア近代史について、前近代からの社会変化という側面に重点を置きながら学びます。したがって、授業では18世紀から20世紀半ばまでを特に詳しく扱いますが、歴史的な背景を理解するために先史時代～17世紀の南アジア社会についても議論します。長期的な視野において南アジア地域の社会変動について理解できるようにすることを目的とします。

【到達目標】

- ・20世紀半ばまでの南アジア史に関する基礎知識を獲得する。
- ・歴史を学ぶことを通じて、社会の変化を多角的に考察することの重要性を知る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式の対面授業を行います。授業ごとに提出していただいた感想や質問に対して、授業内で随時フィードバックを行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	インド亜大陸の地理的特徴/インダス文明～仏教の興隆	先史時代～3世紀
第2回	ヒンドゥー教の興隆とカースト社会の形成	4～13世紀
第3回	南アジアとイスラーム、そしてムガル帝国の時代	11～17世紀
第4回	ムガル帝国の衰退と地方諸勢力の台頭	18世紀
第5回	イギリス東インド会社のインド進出と植民地支配のはじまり	18～19世紀
第6回	植民地経済とインド人中間層の出現	19世紀前半
第7回	宗教・社会改革運動～人々の不満の噴出	19世紀前半～後半
第8回	植民地支配体制の再編～インド経済の変容	19世紀後半
第9回	19世紀末の社会不安とインド人中間層の変容	19世紀末～20世紀初頭
第10回	インド独立運動の展開	20世紀初頭～1930年代
第11回	インド・パキスタン分離独立への道	1930年代～1947年

第12回	ヒマラヤ周縁社会の歴史	ネパール、ブータン、シッキム、カシュミール、アフガニスタンの歴史
第13回	インド洋島嶼社会の歴史	モルディブ、セイロン（スリランカ）の歴史
第14回	まとめ+試験	授業内容の振り返りと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。特に授業後には、授業資料やノートを読み直して復習しましょう。また、疑問点や興味を持った点について、授業中に紹介する参考文献などを活用して調べるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

辛島昇（編）『南アジア史』山川出版社、2011年。
辛島昇ほか（監修）『南アジアを知る事典』平凡社、2012年。
佐藤正哲・中里成章・水島司『ムガル帝国から英領インドへ』中央公論社、1998年。
内藤雅雄・中村平治（編）『南アジアの歴史——複合的社会の歴史と文化』有斐閣、2006年。
長崎暢子（編）『南アジア史4 近代・現代』山川出版社、2019年。
その他、授業中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業における質問や感想の提出：30%

期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、画像や映像を多く見せたり、授業中に適宜休憩時間をとったりしたことが好評だったので、それらについては今年度も継続したいと思います。他方で、授業への感想・質問の受付締め切りをもう少し長くしてほしいという要望があったため、見直しを検討します。

【学生が準備すべき機器他】

感想・質問の提出は学習支援システムを通じて行う予定です。インターネットに接続できる機器（スマートフォン、タブレット、パソコンなど）を各自準備してください。

【Outline (in English)】

- ・ This course examines modern South Asian history, focusing on social change from pre-modern times. While the primary emphasis will be on the period from the 18th to the mid-20th century, discussions will also extend to societies from prehistoric times to the 17th century, offering a broader historical context.
- ・ By the end of the course, students are expected to understand social change in the South Asian region from a long-term perspective.
- ・ Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. In particular, students are encouraged to re-read and review their notes and distributed handouts after each class. Students are also encouraged to use the references provided in class to research any questions or points of interest.
- ・ The overall class grade is determined on the basis of the following items: Term-end examination 70%, in-class contribution 30%.

HIS200LA（史学/History 200）

東洋史 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：南アジア史（2）

水上 香織

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、南アジア現代史について、今日の南アジア社会に至る歴史的背景という側面に重点を置きながら学びます。したがって、授業では20世紀半ばから現在までを特に詳しく扱いますが、それ以前の社会の動向についても議論します。現在の南アジア社会が直面している様々な問題について、歴史的な背景を踏まえたうえで理解できるようになることを目的とします。

【到達目標】

- ・20世紀半ばから現在に至るまでの南アジア史について、基礎知識を獲得する。
- ・現代南アジアの諸問題について、歴史的な背景を踏まえたうえで理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式の対面授業を行います。授業ごとに提出していただいた感想や質問に対して、授業内で随時フィードバックを行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イギリスによる植民地化とインド人中間層	18世紀～20世紀初頭
第2回	ムスリムの自治をめぐる議論～インド・パキスタン分離独立	20世紀初頭～1947年
第3回	ネルー時代の成果と残された課題	1947年～1960年代のインド
第4回	インディラ・ガンディー政権の光と影	1970年代～1980年代のインド
第5回	コミュニナリズムの高まり	1990年代～現在のインド
第6回	映画から見えてくる南アジア社会	インド映画を題材に、現代南アジア社会について考える
第7回	東西パキスタンの決裂	1947年～1970年代のパキスタン
第8回	国内治安の悪化	1980年代～現在のパキスタン
第9回	機能不全の議会	1971年～現在のバングラデシュ
第10回	ヒマラヤ周縁社会の現代史	現代ネパール、ブータン、アフガニスタンの動向
第11回	インド洋島嶼社会の現代史	現代モルディヴ、スリランカの動向
第12回	カーストとトライブをめぐる歴史的状況と現在	カースト差別への異議申し立ての歴史
第13回	女性の地位向上をめぐる歴史的状況と現在	女性の地位をめぐる議論と南アジアのフェミニズム運動の歴史

第14回 まとめ+試験

授業内容の振り返りと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。特に授業後には、授業資料やノートを読み直して復習しましょう。また、疑問点や興味を持った点について、授業中に紹介する参考文献などを活用して調べるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

辛島昇（編）『南アジア史』山川出版社、2011年。
 辛島昇ほか（監修）『南アジアを知る事典』平凡社、2012年。
 大橋正明、村山真弓（編著）『バングラデシュを知るための60章』、明石書店、2009年。
 黒崎卓、子島進、山根聡『現代パキスタン分析——民族・国民・国家』岩波書店、2004年。
 内藤雅雄・中村平治（編）『南アジアの歴史——複合的社会の歴史と文化』有斐閣、2006年。
 長崎暢子（編）『南アジア史4 近代・現代』山川出版社、2019年。
 その他、授業中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業における感想や質問の提出：30%

期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では授業内容に関連する映画を鑑賞したことが好評だったので、今年度も何か映画を選んで鑑賞したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

感想・質問の提出は学習支援システムを通じて行う予定です。インターネットに接続できる機器（スマートフォン、タブレット、パソコンなど）を各自準備してください。

【Outline (in English)】

・ This course examines contemporary South Asian history, focusing on the historical factors that have shaped present-day societies. While the focus will be on the period from the mid-20th century to the present, discussions will also consider earlier developments to provide deeper context.

・ By the end of the course, students are expected to understand present-day South Asian issues within the broader framework of historical context.

・ Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. In particular, students are encouraged to re-read and review their notes and distributed handouts after each class. Students are also encouraged to use the references provided in class to research any questions or points of interest.

・ The overall class grade is determined on the basis of the following items: Term-end examination 70%, in-class contribution 30%.

HIS200LA（史学/History 200）

東洋史LC

2017年度以降入学者

サブタイトル：イスラーム史1

長谷部 圭彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本科目では、イスラームが誕生した7世紀から、オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼす15世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。また、イスラームの教義や戒律などについても解説する。受講者が、当該地域への理解を深めつつ、他の地域との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、15世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史と、イスラームの教義に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎週質問用紙を配布するので、質問や意見を記入してほしい。それには翌週、可能な限り回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第2回	預言者ムハンマド	ムハンマドの生涯を概観する。
第3回	六信五行	イスラームの信仰箇条と行為義務を概観する。
第4回	聖典『クルアーン』	イスラームの聖典を概観する。
第5回	スンナ派とシーア派	イスラームの宗派を概観する。
第6回	ウマイヤ朝とアッバース朝	7世紀から8世紀までのイスラーム地域を概観する。
第7回	シャリーアとフィクフ	イスラームの法と法学を概観する。
第8回	ウラマーとマドラサ	イスラームの法の担い手とその養成方法を概観する。
第9回	マムルークとイクター制	9世紀から11世紀までのイスラーム地域を概観する。
第10回	スーフィーと聖者	イスラームの神秘主義と聖者を概観する。
第11回	スンナ派の時代	12世紀のイスラーム地域を概観する。
第12回	モンゴルの時代	13世紀のイスラーム地域を概観する。
第13回	オスマン朝とティムール朝	14世紀から15世紀までのイスラーム地域を概観する。
第14回	総括	本講義を総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。

復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配付する。

【参考書】

大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002年。

東長靖『イスラームのとりえ方』山川出版社、1996年。

屋形禎亮・佐藤次高『西アジア』上巻、朝日新聞社、1993年。

【成績評価の方法と基準】

70%: 期末試験

30%: 平常点

【学生の意見等からの気づき】

2024年度の受講生アンケートの結果は以下のとおり（抜粋）。

・高校世界史で深く理解できず、単語をとにかく暗記しただけの範囲だったのですが、とてもよく分かりました。ストーリーや宗教のリアル、家系図などを理解しやすいように噛み砕いて説明してくださったので、イスラームの範囲の苦手意識が少なくなりました。履修して良かったです。

・イスラームという身近に体験することができない内容だったが、時折現代の言葉を交えて解説されており、非常に分かりやすく、かつ楽しみながら聞くことができた。レジュメの内容に加えて、家系図や概念図など自ら手を動かして考えることができたのも良かったと思う。

以上を踏まえ、これまでの授業方法を維持することとする。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「東洋史LD（イスラーム史2）」も受講することが望ましい。

【Outline (in English)】

We survey a history of Islamic area from 7th to 15th century and review the Islamic technical terms. We aim to understand the area and to compare and connect it with another. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 70%; reaction paper: 30%.

HIS200LA（史学 / History 200）	
東洋史 L D	2017年度以降入学者
サブタイトル：イスラーム史2	
長谷部 圭彦	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木2/Thu.2	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本科目では、オスマン・サファヴィー・ムガルの三王朝が並び立った16世紀から現代までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。とくに、この地域の大部分を支配したオスマン帝国（1300頃～1922）に焦点をあてる。受講者が、オスマン帝国への理解を深めつつ、他の政治体との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、オスマン帝国の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎週質問用紙を配布するので、質問や意見を記入してほしい。それには翌週、可能な限り回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第2回	オスマン史の全体像	オスマン史の時代区分（形成、拡張、変容、刷新、崩壊）を紹介する。
第3回	形成の時代1―戦士集団から君侯国へ	13世紀から15世紀中葉までのオスマン史を概観する。
第4回	形成の時代2―コンスタンティノープルの征服	コンスタンティノープルの征服を概観する。
第5回	拡張の時代1―世界帝国への道	15世紀中葉から16世紀前半までのオスマン史を概観する。
第6回	拡張の時代2―スレイマンの時代	16世紀中葉のオスマン史を概観する。
第7回	拡張の時代3―支配組織の確立	16世紀の支配組織を概観する。
第8回	変容の時代1―兵制と税制の変容	16世紀後半から17世紀前半までのオスマン史を概観する。
第9回	変容の時代2―対外関係の変容	17世紀後半から18世紀までのオスマン史を概観する。
第10回	刷新の時代1―改革の序章	19世紀前半のオスマン史を概観する。
第11回	刷新の時代2―二つのナショナリズム	オスマン帝国のナショナリズムを概観する。
第12回	刷新の時代3―社会秩序の変容	19世紀中葉のオスマン史を概観する。
第13回	崩壊の時代1―専制と革命	19世紀後半から20世紀初頭までのオスマン史を概観する。
第14回	崩壊の時代2―帝国の終焉	20世紀前半のオスマン史を概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配布する。

【参考書】

新井政美『トルコ近現代史』みすず書房、2001年。
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002年。
小笠原弘幸『オスマン帝国』中央公論新社、2018年。
鈴木董『オスマン帝国』講談社、1992年。
鈴木董『オスマン帝国の解体』筑摩書房、2000年。
永田雄三編『トルコ史』山川出版社、2023年。
永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』中央公論社、1998年。
林佳世子『オスマン帝国の時代』山川出版社、1997年。
林佳世子『オスマン帝国500年の平和』講談社、2008年。

【成績評価の方法と基準】

70%: 期末試験

30%: 平常点

【学生の意見等からの気づき】

2024年度の受講生アンケートの結果は以下のとおり（抜粋）。
・高校時代に世界史を選択していた人でも、日本史を選択していた人でも内容をわかるようにしていた点がとても良いと思いました。私は世界史選択でしたが、高校時代には踏み込まなかった知識や内容まで知ることが出来て大変興味深かったです。
・講義のスピードが早く情報に押し流されそうになる時もありましたが、先生の話し方が整然としており全体的に分かりやすかったです。レジュメも講義の理解に大変役立ちました。毎回しっかりと質問に答えてくださる時間があつたことも有り難かったです。手を動かして国際関係や支配組織の図を書くことで頭が整理されるため、今後このような授業形態を続けていただきたいと思います。
以上を踏まえ、これまでの授業方法を維持することとする。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「東洋史LC（イスラーム史1）」も受講することが望ましい。

【Outline (in English)】

We survey a history of the Ottoman Empire. We aim to understand it and to compare and connect it with another political body. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 70%; reaction paper: 30%.

HIS200LA（史学/History 200）

西洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

内田 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代地中海世界に成立した諸国家のうち、アテナイ民主政とローマ共和政の国制について概説する。個々に独立した分析だけではなく、両者の比較という方法でそれぞれの特徴を把握することにより、歴史研究における比較史の有用性も学ぶ。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下のとおり。
 ・アテナイ民主政とローマ共和政の国制について基礎的知識を習得する。
 ・両者の国制について、類似点と相違点を説明できる。
 ・両者の国制を比較することの意義を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行うが、授業時間内に質疑応答の機会を設ける。さらに、授業終了後に毎回リアクションペーパーを提出してもらうことで、受講生の理解度、関心事項、疑問点等を確認しながら授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	国制について考える
第2回	アテナイ民主政の歴史	アテナイ民主政の誕生から終焉まで
第3回	アテナイ民主政の国制（1）	参政権
第4回	アテナイ民主政の国制（2）	投票
第5回	アテナイ民主政の国制（3）	民会
第6回	アテナイ民主政の国制（4）	役人・公職者
第7回	アテナイ民主政の国制（5）	裁判
第8回	ローマ共和政の歴史	ローマ共和政の誕生から終焉まで
第9回	ローマ共和政の国制（1）	参政権
第10回	ローマ共和政の国制（2）	投票
第11回	ローマ共和政の国制（3）	民会
第12回	ローマ共和政の国制（4）	役人・公職者
第13回	ローマ共和政の国制（5）	裁判
第14回	試験・まとめと解説	到達度の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。参考書として挙げた書籍などを用いて、自主的に学習することが求められる。

【テキスト（教科書）】

特になし。担当教員が作成したレジュメ・資料を配布する。

【参考書】

橋場弦『古代ギリシアの民主政』、岩波新書、2022年。
 島田誠『世界史リブレット3 古代ローマの市民社会』、山川出版社、1997年。

【成績評価の方法と基準】

期末の筆記試験（80％）
 リアクションペーパーや質問等、授業への積極的参加度（20％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生の理解を助けるために、図表や図像資料などをより一層積極的に活用する。また、リアクションペーパー等を利用して質疑応答を行うことにより、できる限り受講生の関心に沿ったかたちで授業を進める。

【Outline (in English)】

Course outline: This course outlines the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic. Not only analyzing them individually but also comparing each other to identify their characteristics, it also helps students learn the usefulness of comparative history.

Learning Objectives: The followings are the goals of this course.

- Students are able to acquire fundamental knowledge concerning the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic.
- Students are able to explain similarities and differences between them.
- Students are able to understand the significance of comparing them each other.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. They are required to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves.

Grading Criteria: Grading will be decided based on term-end examination (80%) and in-class contribution (20%).

HIS200LA（史学 / History 200）		
西洋史 L B		
サブタイトル： 神聖ローマ帝国の歴史		
2017年度以降入学者		
皆川 卓		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木1/Thu.1		
単位数：2単位		
その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 800年以上ものあいだ西中欧を統合していた「神聖ローマ帝国」の仕組みとその発展を学びます。神聖ローマ帝国は帝国を構成する群小国が皇帝の権威に依存しつつ、人々の生活に必要な実際の政治を行っていくという、奇妙な政治構造をしていました。そのため皇帝は人々を精神的に満たす文化をカトリック教会やルネサンス都市から得、群小国がそれを使って人々の納得を得つつ、実際の政治を行っていました。本講義では最初に神聖ローマ帝国の概要を紹介したあと、こうした社会からどのような技術や価値観、美意識や生まれ、独創的なアイデアが考え出され、遺産として後代の世界に伝えられたかを学びます。 【到達目標】 本授業の目的は、近代国民国家という形にならなかった神聖ローマ帝国という政治的共同体を、当時の歴史的文脈の中において考察し、時代の制約の中で生み出された効果と限界を分析的に理解することです。そこから先に何を学べるかは、受講者の積極的な取り組み次第です。中学歴史分野や高校世界史で学んだことの意味をより批判的に理解できるよう、授業の中に多くのヒントを示しておきます。 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1 【授業の進め方と方法】 スライドとプリントによる系統的なスタイルでの講義形式を中心に行います。単元の終了毎（原則として対面ですが、オンライン回にせざるを得ない場合はその都度）に、オンライン掲示による小テストを実施し、到達度を測ります。対面による質問は随時受け付けます。 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし /No 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし /No 【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
第4回	神聖ローマ帝国の成り立ち（3）－滅んだものと受け継がれたもの	帝国を構成する地方政権が国家としての成熟を果たし、それを支える近代思想を受け入れたことを見届けた神聖ローマ帝国が、役割を終えて消えていく過程と、その遺産を論じます。
第5回	ルネサンス文化と帝国の文明化	親分子分関係から地方政権の連合として再出発した15～16世紀の神聖ローマ帝国が、その絆となる価値としてルネサンス文化を受け入れ、活用する過程を紹介します。
第6回	宗派対立と三十年戦争	ルネサンスの根底にある「神」の解釈を巡って神聖ローマの構成国が二つに分断され、激しい宗教戦争を引き起こす過程を論じ、それがいかなる結果をもたらしたのかを考えます。
第7回	皇帝と領邦君主のパロック戦略	回復した平和を維持するため、宗派を超越した価値観が求められる中、帝国の統治者たちが「パロック文化」を取り入れ、人々を「紀律化」していく経緯を説明します。
第8回	領邦君主の神聖ローマ帝国	神聖ローマ帝国を支えた地方政権の中で、もっとも重要な役割を果たした「領邦君主」の領国統治の仕組みを、代表的な領国について紹介します。
第9回	ドイツ文化のまほろば－帝国自由都市の世界	政治勢力としては小さいものの、神聖ローマの統治のアイデアや経済力、文化を供給した自治都市「帝国自由都市」の発展と、帝国におけるその役割を論じます。
第10回	帝国を支えるイタリア人	皇帝の領国オーストリアとイタリアは、近代の経緯で今でもわだかまりが残るほど緊張を伴う関係ですが、実は帝国を支える上で非常に深い協力関係にあった事実焦点を当てます。
第11回	裁かれる国－神聖ローマ帝国の裁判所	神聖ローマの領邦君主や帝国自由都市は、それぞれ国としての性格を持つ一方、皇帝を担いだ平和共同体としての性格も持っていました。その平和と権利を支えた帝国裁判所の活動を紹介しします。
第12回	帝国と科学－グレゴリウス暦の導入を巡って	他の西欧諸国と同様、近世の神聖ローマ帝国も宗教教義と経験合理主義の綱引きの場でした。西欧各国を悩ました暦の導入を巡る論争の行方に、帝国における「科学」の誕生を読み取ります。
第13回	教育の帝国	中世神聖ローマのアルプス以北の地域は、イタリアやフランスに遠く及ばない教育後進国でした。それが近世に急速に挽回し、教育先進国と呼ばれるまでに成長した経緯とその背景を分析します。
第14回	まとめ－神聖ローマ帝国と国家連合のヨーロッパが生み出せるもの	近世の神聖ローマ帝国が、集権化する同時期の周辺諸国とは正反對の方法で、同水準の生活と秩序を人々に保証したこと、それは歴史の中でどう評価されるかを、第1回の問題提起を振り返りながらまとめます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・事前に配布されるプリントは必ず授業前に読み、大まかな内容は頭に入れておきます（毎回1時間）。
- ・授業前に参考書やネットを通じて、始めて知る言葉、名前しか知らない言葉について一通り調べ、プリントにメモをします（毎回1時間）。
- ・授業終了後、授業中に分からなかった点について、自分で調べたり教員に質問します（適宜必要時に）。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。（配布プリントがその機能を担います）

【参考書】

- ・草光俊雄・甚野尚志編著『ヨーロッパの歴史Ⅰ－ヨーロッパ史の視点と方法』放送大学教育振興会 2015
- ・成瀬治・山田欣吾・木村靖二編『ドイツ史〈1〉先史～1648年（山川世界歴史大系）』山川出版社 1997
- ・成瀬治・山田欣吾・木村靖二編『ドイツ史〈2〉1648～1890年（山川世界歴史大系）』山川出版社 1996
- ・斎藤寛海編『イタリア史〈2〉中世・近世（山川世界歴史大系）』山川出版社 2021
- ・三佐川亮宏『オットー大帝－辺境の戦士から「神聖ローマ帝国」樹立者』中央公論新社 2023
- ・池谷文夫『神聖ローマ帝国－ドイツ王が支配した帝国』刀水書房 2019
- ・ピーター・H・ウィルソン『神聖ローマ帝国 1495-1806』岩波書店 2005
- ・江村洋『中世最後の騎士－皇帝マクシミリアン1世伝』中央公論社 1989
- ・アルブレヒト・デューラー（前川誠郎訳）『自伝と書簡』岩波書店 2009
- ・ペーター・ブリックレ（服部良久訳）『ドイツの臣民』ミネルヴァ書房 1990
- ・河野淳『ハプスブルクとオスマン帝国－歴史を変えた〈政治〉の発明』講談社 2010
- ・永田諒一『宗教改革の真実－カトリックとプロテスタントの社会史』講談社 2004
- ・山本文彦『神聖ローマ帝国－「弱体なる帝国」の実像』中央公論新社 2024
- ・ヴェロニカ・C・ウェッジウッド（瀬原義生訳）『ドイツ300年戦争』刀水書房 2003
- ・エンゲルハルト・ヴァイグ（三島憲一他訳）『啓蒙の都市周遊』岩波書店 1997
- ・マックス・フォン・バーン（飯塚信雄他訳）『ドイツ十八世紀の文化と社会』三修社 1997
- ・W・H・ブリュフォード（上西川原章訳）『十八世紀のドイツ－ゲテ時代の社会的背景』三修社 1981
- ・今野元『フランス革命と神聖ローマ帝国の試煉－大宰相ダールベルクの帝国愛国主義』岩波書店 2019

【成績評価の方法と基準】

- ・評価は平常点（20%）、単元毎の小テスト（30%）、期末レポート（50%）を総合して評価します。
- ・神聖ローマ帝国の発展を系統的に説明することができ【第1評価プロセス：単元毎の小テスト30%に照応】、授業で学んだ知識を用いて、自分なりに神聖ローマ帝国の歴史をヨーロッパ史の中に批判的に位置づけ、その影響について論じることができること【第2評価プロセス：期末レポート50%に対応】、が基準となります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・シラバスの予定に対し若干遅れた部分があり、時間配分に心がける。
- ・受講者の予備知識の差が大きいため、反転学習的な試みを導入したい。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 : We learn about the structure and development of the "Holy Roman Empire," which unified Central and Western Europe for over 800 years. The Holy Roman Empire had a peculiar political structure where the small states that made up the empire depended on the authority of the emperor while conducting the actual politics necessary for people's lives. Therefore, the emperor derived cultural elements that spiritually fulfilled the people from the Catholic Church and Renaissance cities, and the small states used these to gain the people's consent while carrying out actual politics. In this lecture, we will first introduce an overview of the Holy Roman Empire, and then learn how technologies, values, aesthetics, and original ideas emerged from such a society and were passed down as a legacy to later generations.

【到達目標 (Learning Objectives)】 : We aim to examine the political community of the Holy Roman Empire, which did not take the form of a modern nation-state, in the historical context of the time, and to analytically understand the effects and limitations produced within the constraints of the times. What you can learn from there depends on your willingness. There are many hints in the classroom to help you understand more critically the meaning of what you have learned in the middle school history field or high school world history.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

- ・ Be sure to read the handouts distributed in advance before class and keep the general contents in mind (1 hour each time).
- ・ Before class, you will look up all the words you know for the first time or words you only know by name through reference books and the Internet, and make notes on printouts (1 hour each time).

・ After the class, you will do your own research or ask questions to the instructor about points that you did not understand during the class (if necessary).

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】 : The evaluation will be based on a combination of normal scores (20%), quizzes for each unit (30%), and final reports (50%).

- The ability to systematically explain the development of the Holy Roman Empire [1st Evaluation Process: Corresponding to 30% of the quiz per unit], and the ability to critically position the history of the Holy Roman Empire in the context of European history and discuss its impact in your own way using the knowledge learned in class [2nd Evaluation Process: 50% of the final report].

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 知

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

18世紀後半から20世紀にかけてのイギリスの歴史を講じます。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに関係しているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業内容の紹介	18世紀から20世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第2回	二重革命の時代 1	産業革命の特徴とそれがイギリスの政治、経済、社会に与えた影響を検討します。
第3回	二重革命の時代 2	フランス革命がイギリスにどのような影響を与えたか検討します。
第4回	帝国の再編 1	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程を奴隷貿易の廃止問題を中心に説明します。
第5回	帝国の再編 2	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程をインドの植民地化を中心に説明します。
第6回	ミドル・クラス	二重革命の影響で、イギリスではミドル・クラスが台頭してきます。このミドル・クラスの特徴を「リスペクタビリティ」という言葉をキーワードに検討します。

第7回	ミドル・クラスのジェントルマン化	台頭してきたミドル・クラス層が従来の支配者層であるジェントルマンと融合していく過程を検討します。
第8回	労働者階級	ジェントルマンとミドル・クラスが19世紀のイギリスの繁栄の恩恵を受けたのに対し、労働者階級の大多数はその恩恵から排除されていました。労働者階級を取り巻く状況を説明します。
第9回	アイルランド移民	労働者階級の中でも最下層を形成したのがアイルランドからの移民でした。アイルランド移民を切り口にアイルランド、スコットランド、イングランドの地域の問題を検討します。
第10回	「怠惰な女性」と「善良な女性」 1	19世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに検討します。
第11回	「怠惰な女性」と「善良な女性」 2	19世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに、引き続き、検討します。
第12回	帝国主義の時代	1870年代以降のイギリスの経済、社会について概観します。
第13回	社会帝国主義	イギリスの国内問題の解決の場として帝国の果たす役割がこの時期大きくなったことを検討します。
第14回	試験・まとめと解説	18世紀から20世紀にかけてのイギリスの歴史がどのような特徴を持ち、イギリス帝国の諸地域に対してどのような影響を与えたのか、また、帝国の諸地域からどのような影響を受けたのか総括します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点20%、学期末の試験80%）。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 18th century to the 20th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history
- 2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.
- 3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination:
80%

HIS200LA（史学/History 200）

西洋史 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：古代アテナイ民主政の成立と発展

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代アテナイ（紀元前5～4世紀）で実践された民主政治について、主に制度面に注目しながら、その成立と発展を概観する。歴史的なものの見方、考え方に留意しながらアテナイ民主政の具体的な仕組みを学ぶ。

【到達目標】

アテナイ民主政の具体的な仕組みを理解できる。
歴史的な知識を深めるだけでなく、常に現代の民主主義国家との比較の視点を持って過去を理解する姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、リアクションペーパーを積極的に活用するなど、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本講義の内容と目標について説明する。
第2回	古代ギリシアの歴史概観	古代アテナイに焦点を合わせる前に、古代ギリシアの通史について、高校世界史の復習も兼ねて概観する。
第3回	史料について	歴史学で用いる史料について概説する。
第4回	アテナイ民主政概観	アテナイの民主政が、どのような組織や機関からなるのか、その概要を説明する。
第5回	500人評議会（1）	アテナイ民主政の主要機関であり、主に行政的機能を担った500人評議会について説明する。
第6回	500人評議会（2）	前回に引き続き500人評議会について説明する。
第7回	民会（1）	主要機関の一つであり、アテナイ市民団の意思決定機関である民会について説明する。
第8回	民会（2）	前回に引き続き民会について説明する。
第9回	公職者（役人）	公職者（役人）の組織や役割について説明する。
第10回	民衆法廷（1）	アテナイの主要法廷であり、司法だけでなく政治的機能も担った民衆法廷について説明する。
第11回	民衆法廷（2）	引き続き民衆法廷について説明する。

第12回	その他の機関（アレオパゴス評議会・立法委員会など）	アテナイ民主政を支えたそれ以外の機関について説明する。
第13回	殺人法廷	アテナイにおいて特殊な位置を占めた殺人法および殺人訴訟について説明する。
第14回	全体のまとめ	半年間の講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料について宿題が課される場合もある。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。必要に応じて講義資料を学習支援システムで共有する。
印刷するかパソコンなど資料を表示できる機器を持参すること。

【参考書】

伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』（講談社学術文庫、2004年）
橋場弦『民主主義の源流』（講談社学術文庫、2016年）
橋場弦『古代ギリシアの民主政』（岩波新書、2022年）
橋場弦、國方栄二訳『アテナイ人の国制；著作断片集』（岩波書店、2014年）
長谷川岳夫[編著]『はじめて学ぶ西洋古代史』（ミネルヴァ書房、2022年）
その他講義中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50％
・出席管理は厳格に行う。
・期末レポート：50％

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、講義中のパソコンやタブレットなどの使用は可能。

【Outline (in English)】

< Course outline > This course explores ancient Athenian history, particularly focusing on the development of democracy in the 5th and 4th century BC.

< Learning objectives > 1) Students are able to acquire basic knowledge about ancient Athenian history . 2) Students are able to acquire a wider perspective on democratic nations.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50% , essay: 50%

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：日本の耕地と集落（村）の史的展開

日本の歴史のうち、日本の原風景、伝統的な景観であり、主に耕地と集落で成り立つ、村（ムラ）の歴史について、各時代の政治と経済を背景としながら、通史的に学習することができる。特に、現在の市町村の基盤となる村が成立する、近世・近代が重点となる。耕地と集落は、棚田に代表されるように、人間と自然との共同作品で、文化的景観として近年注目されている。世界的に優良なその景観は、世界遺産の選定項目となり、日本でも優良な景観は、文化財保護法、農林水産業の重要文化的景観に選定されており、文化財としての意義がある。授業では前提として、日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）を読み、その重要性を理解するとともに、耕地や集落が文化財としてどのような意義があるのかを学ぶことができる。（学問分野：日本史、日本地域史、日本村落史、環境歴史学、文化財学）

【到達目標】

日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）や耕地と集落の文化財的な意義を踏まえ、日本の農林水産業の地域基礎単位である村（ムラ）に関する通史的な学習を通し、教科書的な理解を越え日本史に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行う。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場合および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は主として適宜配信または配布した資料により、シラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	日本史における耕地と集落の意義 日本史研究の基礎
第2回	日本史学入門	歴史資料の提示、解説、歴史資料の内容解説、背景
第3回	文化財保護法と耕地と集落	文化財・重要文化的景観からみた村（耕地と集落）
第4回	弥生・古墳時代の村	縄文・弥生移行期、弥生・古墳時代の耕地と集落
第5回	古代の政治と経済	古代の村と領主支配との関係
第6回	古代の村	古代の開発、条里と村、荘園と村、初期武士団の村
第7回	中世の政治と経済	中世の村と領主支配との関係
第8回	中世の村	村の景観、惣村と在家、開発と経営、近世の村との関係
第9回	近世の村の景観	村の基本構成要素、様々な村のかたち

第10回	近世の村の機能	村で作成される様々な文書、ムラの運営
第11回	幕藩領主の農政と近世の村（1）	近世中期までの領主財政と年貢収奪
第12回	幕藩領主の農政と近世の村（2）	吉宗政権の年貢増徴策と新田開発、土地政策
第13回	近代の村	地租改正、戸長制、大区小区制、地方三新法、地方改良運動と村
第14回	現代の村	農地改革、昭和の市町村合併と村、高度成長下の耕地と集落

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

〈1〉準備学習：あらかじめ配信または配布した資料を一読、一覧しておくこと。各授業の時代背景を、日本史年表で調べておくことが望ましい。

〈2〉復習：日本各地の地名が出てくるので、馴染みがない地名は地名辞典などで調べておくこと。授業内レポートに備えて、授業の内容を各回まとめておくこと。

〈3〉本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。適宜配信・配布した資料に沿って授業を行う。

【参考書】

〈1〉『村の語る日本の歴史 古代・中世編』、『村の語る日本の歴史 近世編①』、『村の語る日本の歴史 近世編②』木村礎著（1983年 そしえて）

〈2〉『日本の農業150年 1850～2000年』暉峻衆三編著（2003年 有斐閣）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート・リアクションペーパー 30％）と期末レポート（70％）で、評価を決める。

授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

リアクションペーパーは、履修者の手書きとする。

【学生の意見等からの気づき】

オンデマンド授業資料（音声付属）を利用する場合は、形式的になる説明部分に関しては、口頭で追加の情報資源を伝える予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the features of the Japanese village society from the perspective of people's life and an abundant historical and geographic image.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the historical features of the Japanese village society.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%、Short class reports : 30%.

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：江戸時代転換期における政治・経済・社会
日本の江戸時代の歴史のうち、おもに転換期となる享保改革期から田沼政治期の政治・経済・社会（農村・都市）について、地域環境の変化に留意しながら学ぶことができる。具体的には、最近の成果を取り入れながら、一般的に知られているこの時期の諸事象と諸政策が歴史上どのような意義をもつのかを理解することを学習・教育目標とする。また、江戸時代における地域の諸相や地域基礎単位であり、町人や武家の生業生活の場である「都市」および農民の生産生活の場である「村」に注目しながら、日本近世史を学ぶことができる。（学問分野：日本近世史、日本地域史、日本都市史、日本都市近郊農村史）

【到達目標】

江戸時代研究の重要な情報資源である近世文書や江戸時代の政治（幕政・藩政）・経済・社会（都市江戸および江戸近郊・周辺農村）に関する学習などを通し、教科書的な理解を越え当該期に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行うことを基本とする。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は、主として資料の配信または配付によりシラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。近年、大河ドラマの主演となった、徳川家康、その妻子（築山殿・松平信康など）も話題とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の内容と進め方についての説明
第2回	吉宗政権の成立	家康～吉宗の時代推移と地域 吉宗政権の性格
第3回	行政機構の改革と法令の整備	老中制度及び勘定所機構の整備 法令集の編さん
第4回	享保改革期の農政	農政の特徴
第5回	都市政策の前提	都市江戸の成立と河川 武家屋敷の展開
第6回	都市政策の展開	江戸の防火政策 経済政策 風俗・出版統制
第7回	田沼政権の成立	家重政権時代の意次 意次権力の拡大
第8回	通貨制度の改革	江戸時代の通貨の特徴 田沼政権発行の貨幣
第9回	間接税の導入	百姓一揆と財政窮乏策 株仲間の役割

第10回	幕政と藩政（1）	幕府の銅貿易と秋田藩の産銅政策
第11回	幕政と藩政（2）	幕府の通貨政策と秋田藩の銭鑄造
第12回	江戸近郊の地域史	江戸の青物市場 江戸近郊農村における蔬菜生産と下肥流通
第13回	江戸周辺の地域史	利根川の歴史と流域住民の共生
第14回	日本通史、地域史における享保改革・田沼政治期の意義	享保改革・田沼政権期はなぜ転換期と呼ばれるのか、江戸と近郊・周辺地域との関係は如何なるものなのかを、総体的に考えていきます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

常にノートを整理し、配信または配布した資料などを改めて読みなおすなど、次回に備えるようにしてもらいたい。なお、本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは指定しない。適宜資料を配信・配布する。

【参考書】

〈1〉『幕藩体制の展開と動揺 上（日本歴史大系10）』井上光貞ほか著（山川出版社）
〈2〉『大江戸歴史の風景』加藤貴編著（山川出版社）
その他、参考となる文献は、講義の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート・リアクションペーパー 30%）と期末レポート（70%）で、評価を決める。授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。
リアクションペーパーは、履修者の手書きとする。

【学生の意見等からの気づき】

授業で利用する資料を、対面授業教室のみではなく、オンラインでの配布を求める意見があり、これを実行する予定である。
関東に関わる歴史事象の紹介が昨年度好評だったので、今年度も引き続きこれを行う予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the administration, the economy and the society of Japan in the early modern period including the social system of Edo and its surrounding areas.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the economy and the society of Japan in the early modern period.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%、Short class reports : 30%、

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉時代の幕府政治史を概観する。幕府内部で繰り返された内紛と、幕府の政治意志決定のあり方を中心に、関連する史料を読みながら検討していく。

【到達目標】

鎌倉幕府政治史の流れを理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。第2回以降の対面授業では出席をとる。

学期内と学期末にレポートを提出してもらう。レポートは2回とも期限内に提出することを必須とする。学期内に課すりポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明。
2	源頼朝執政期の幕府政治(1)	寿永2年10月宣旨、文治勅許など。
3	源頼朝執政期の幕府政治(2)	頼朝上洛、建久7年の政変、頼朝執政期の評定など。
4	將軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治(1)	比企氏事件、頼家・実朝期の評定など。
5	將軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治(2)	和田合戦、承久の乱、政子期の評定など。
6	執権北条泰時・経時期の幕府政治(1)	伊賀氏事件、宇津宮辻子幕府移転など。
7	執権北条泰時・経時期の幕府政治(2)	評定、御成敗式目など。
8	執権北条泰時・経時期の幕府政治(3)	経時の訴訟制度改革など。
9	執権北条時頼・長時期の幕府政治(1)	寛元の政変、宝治合戦など。
10	執権北条時頼・長時期の幕府政治(2)	引付設置、得宗時頼など。
11	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(1)	引付廃止・再設置、寄合、二月騒動など。
12	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(2)	霜月騒動、平禅門の乱など。
13	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(3)	貞時の訴訟制度改革、貞時・高時期の評定・寄合など。

14 まとめ

授業内容のまとめと学期内リポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

【参考書】

本郷恵子『京・鎌倉 ふたつの王権』（小学館、2008年）

川合 康『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館、2009年）

小林一岳『元寇と南北朝の動乱』（吉川弘文館、2009年）

近藤成一『鎌倉幕府と朝廷』（岩波新書、2016年）

その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内リポート（45%）、学期末リポート（45%）、平常点（10%）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies political history of the Kamakura Shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

mid-term report:45%, term-end report:45%, in class contribution:10%

HIS200LA（史学 / History 200）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉幕府の基本法である御成敗式目を読む。その内容は多岐にわたるが、ここでは犯罪や訴訟手続きに関する条文を読み、鎌倉幕府法の特徴を考えていく。

【到達目標】

鎌倉幕府法の特徴を理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。第2回以降の対面授業では出席をとる。

学期内と学期末にレポートを提出してもらう。レポートは2回とも期限内に提出することを必須とする。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	御成敗式目について (1)	御成敗式目制定の目的などの解説。
2	御成敗式目について (2)	御成敗式目の条文構成などの解説。
3	御成敗式目第9条	謀叛の罪について。
4	御成敗式目第10条	殺害・刃傷の罪について。
5	御成敗式目第11条	夫の罪科の妻への縁坐について。
6	御成敗式目第21・24条	離婚・再婚と女性所領について。
7	御成敗式目第12条	悪口の罪について。
8	御成敗式目第13・14条	殴人の罪および地頭代の罪について。
9	御成敗式目第15条	謀書の罪について。
10	御成敗式目第33条	強盗・窃盗・放火の罪について。
11	御成敗式目第34条	密懐の罪について。
12	御成敗式目第51条	問状狼藉について。
13	御成敗式目第35条	召文違背の罪について。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

【参考書】

『中世政治社会思想 上』（日本思想大系21、岩波書店、1972年）

笠松宏至編『中世を考える 法と訴訟』（吉川弘文館、1992年）

水林彪・大津透・新田一郎・大藤修編『法社会史』（新体系日本史2、山川出版社、2001年）

佐藤雄基『御成敗式目』（中公新書、2023年）

その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内レポート（45%）、学期末レポート（45%）、平常点（10%）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies law of the Kamakura shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

mid-term report:45%, term-end report:45%, in class contribution:10%

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

貫井 裕恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ「世界の記憶」に採択されている国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を学びます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいかに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史Ⅱもあわせて受講することを強く推奨します。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて、日本中世社会への理解を深める。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・文化財のもつ多様な価値とさまざまな見方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。
- ・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。授業期間内に、文化財関連の研究所・美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の目的と課題、評価方法などの説明
2	歴史学の流れと日本中世史	歴史学の発展と、そのなかでの日本中世史研究の大きな流れを学ぶ
3	中世社会と東寺	日本中世社会の構造と、そのなかでの東寺の位置づけなど、本授業のおおまかな流れや前提となる知識を学ぶ
4	東寺百合文書について	東寺百合文書の特徴と採択されているユネスコ「世界の記憶」について学ぶ
5	寺院組織	東寺をはじめとする中世寺院の組織と構造を学ぶ
6	史料管理（アーカイブズ）	中世寺院における史料管理のありかたを学ぶ

7	芸能	能・狂言の淵源となった、中世寺院周辺で行われた様々な芸能を学ぶ
8	喫茶文化	中世寺院における僧侶や民間における喫茶文化を学ぶ
9	寺誌・縁起	寺院における歴史叙述のありかたを学ぶ
10	絵巻	『弘法大師行状絵巻』など寺院における絵巻作成の背景や利用方法などを学ぶ
11	荘園の構造・荘園絵図の世界	中世荘園制社会について学び、荘園絵図も紹介しつつ、中世社会の諸問題を学ぶ
12	文化財を守り伝える	文化財が現代まで守り伝えられてきた意義を学ぶ
13	現代社会と歴史学研究	現代社会において歴史学を学ぶ意義を学び、受講者と討論する
14	まとめ	受講者の質疑応答とレポート内容の報告会および講評、本講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003年
- ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998年

【成績評価の方法と基準】

レポート60%、平常点40%で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

- ・日本史Ⅱもあわせて受講することを強く推奨します。
- ・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。
- ・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。
- ・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。

【Outline (in English)】

【Course outline】The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】You spend 2hours preparing and reviewing each class. 【Grading Criteria/Policy】You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA (史学/History 200)	
日本史Ⅱ	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
貫井 裕恵	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史ⅡⅠもあわせて受講することを強く推奨します。同授業の発展的内容になります。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深める。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。
- ・文化財のもつ多様な価値と読み解き方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。
- ・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。授業期間内に、美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の概要や評価方法を知る
2	歴史学と日本中世史	日本における歴史学の流れと、中世史の歩みを学ぶ
3	寺院史料論	中世寺院における史料（聖教・古文書等）とその社会について学ぶ
4	寺院史料と東寺百合文書	中世寺院における史料群の形成と伝来を概観し、東寺百合文書の特質を探る
5	中世寺院・東寺の誕生	古代から鎌倉初期に至る東寺の歴史を学ぶ
6	鎌倉幕府と東寺	建久年間の文覚上人による東寺復興事業や蒙古襲来をとりあげながら、寺院と武家の関わりを学ぶ

7	本末相論	鎌倉中～末期における東大寺・醍醐寺の本末相論との関わりに関心をあてながら、同時期の東寺の宗教環境を学ぶ
8	アーカイブズの形成と伝来	中世寺院における文書・聖教群の形成と管理のありかたを学ぶ
9	東寺領荘園の展開	鎌倉末期から南北朝期にかけて拡充した東寺領荘園とその展開を学ぶ
10	東寺の伽藍修造事業	東寺大勧進職が推進した室町期における修造事業について学ぶ
11	弘法大師信仰の展開	東寺御影堂を中心に展開した弘法大師信仰とその社会的意義を学ぶ
12	寺院の芸能	古典芸能に通じる、室町期に発達した寺院における芸能について学ぶ
13	応仁・文明の乱	応仁・文明の乱という大乱に際して、人びとがどのように対応したのかを学ぶ
14	まとめ	現代社会において歴史学研究の果たす役割を学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・使用テキストは事前に予習しておく。（各回2時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
- ・プリントやノートを用いた復習を行う。（各回2時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
- ・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003年
 - ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998年
- このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

【成績評価の方法と基準】

レポート60%、平常点40%で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

- ・日本史Ⅱもあわせて受講することを強く推奨します。
- ・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとおくお待ちしております。
- ・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。
- ・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。

【Outline (in English)】

【Course outline】The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】You spend 2hours preparing and reviewing each class. 【Grading Criteria /Policy】You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多聞

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本近代史（政治史、社会史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本近代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本近代史を考える	日本近代史の見方や解釈について、先行研究の論点を整理し、考察を深める。
2	空襲と国民	空襲の残した爪痕について「戦後」も含めて考察する。
3	日本近代史の中の病	「流感」やその他の病気が、日本近代史に与えた社会的影響について考える。
4	明治憲法と戦前の日本	いわゆる明治憲法体制の形成と崩壊について考える。
5	皇族と戦前の日本	皇族たちの近代史について考える。
6	第一次世界大戦と日本	近年の研究動向をふまえ、100年以上前の戦争の記憶について考える。
7	皇族と三種の神器	三種の神器や賢所、宮中の制度などについて考える。
8	満洲事変と日本外交	「満洲事変」が日本の国内政治をどのように変容させたのかについて考える。
9	戦争と捕虜	「捕虜」「俘虜」などの定義などについて考える。
10	二・二六事件と陸軍	二・二六事件とその思想的背景について考える。

11	日独伊三国同盟と重臣	いわゆる「三国同盟」について、当時の史料を読みながら、この問題について考察を深める。また、同盟理論についても考察を深める。
12	「アジア・太平洋戦争」の時代	戦前の朝鮮・台湾・アジアとの関係について考える。
13	シベリア抑留と日ソ関係	近衛文隆や宇野宗佑、三波春夫など、多くの人が抑留されました。抑留中に歌われた音楽やナヴォイ劇場にまつわる言説についても取り上げます。
14	原爆投下について考える	原爆投下についての論争などについて整理し「戦後」の問題も考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント）30%
簡単な小レポート（複数回）50%
テスト 20%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria / Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多聞

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本現代史（政治史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本現代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本現代史について考える	「戦前」と「戦後」について考えます。
2	老病死の「終戦史」	「病氣」「身体」といった要因が政治に与えた影響を考える。
3	日露戦争と鈴木貫太郎	近年の研究動向をふまえ、日露戦争のインパクトについて考える。
4	真珠湾攻撃と日米戦争	2021年の80周年にあたってのメディアや記憶について考える。
5	新憲法の制定過程	日本国憲法の制定過程について概観します。
6	東条英機と「東京裁判」	国際政治の文脈から「東京裁判」を考えます。
7	昭和天皇と平沼騏一郎	平沼騏一郎とその政治グループの位置づけについて考えます。
8	55年体制の成立と岸信介	岸信介とその政治グループの位置づけについて考えます。
9	占領政策の転換と吉田茂	吉田茂とその政治グループの位置づけについて考えます。
10	風化する戦争体験と「五感」	五感を歴史学の文脈で語ることは難しいです。空襲警報の音や、戦争における「匂い」などについて考えます。

11	政治とシンボル	「国家」「陸軍」「海軍」は見えなくても、シンボルは目に見えます。国旗、軍旗、軍艦、日本刀、石碑、いろいろなものについて考えてみたいと思います。
12	日中国交正常化と高度成長	戦後の日中・日台関係について概観します。
13	冷戦の終結と日米関係	日米関係を長期的視点から考察します。
14	21世紀の日本外交 相互理解に向けて	日本の内政と外交がどのような関連性を持っているのかを理解します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント） 30%

小レポート（複数回） 50%

テスト 20%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

宗教論Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

古澤 有峰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

グローバルな視点から、宗教の社会貢献や中立性、利他等について再考する。

【到達目標】

国際社会の中の宗教をめぐる課題や問題点（宗教の社会貢献や公共における宗教的中立性など）について、具体例の検証などを通じて学習・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	「宗教」を取り巻く諸問題について、国際社会の中の宗教という観点から再考する
2	理論編	宗教・中立・公共性—講義理解のための“理論入門”
3	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（1）	赤十字の思想と実践を例に
4	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（2）	阪神大震災を例に
5	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（3）	東日本大震災を例に
6	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（1）	中絶論争を例に
7	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（2）	臓器移植を例に
8	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（3）	終末期医療を例に
9	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（1）	心のケア、その課題と問題点
10	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（2）	スピリチュアルケアの功罪：理念と実際
11	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（3）	スピリチュアルケアの功罪：歴史的背景

12	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（4）	スピリチュアルケアの功罪：中立性をめぐって
13	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（5）	音楽と癒しを例に
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course deals with religions' contributions, neutrality, and altruism towards society from a global standpoint. (Learning Objectives) The goals of this course are deepen learning and understanding of issues and problems surrounding religion in the international community (such as the contribution of religion to society and religious neutrality in the public sphere) through examination of specific examples. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to make an effort to understand the contents of the class using the handouts, notes, and reference books provided, and to ask questions if there are any points that are not clear. (Grading Criteria /Policies) Grading will be decided based on the initial and mid-term reports(40%) and term-end report (60%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

宗教論Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

古澤 有峰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす。

【到達目標】

理論と実際の両方を検証する事を通じて、ジェンダーとキリスト教および宗教をめぐる問題や課題について学習・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす
2	基礎知識編	ジェンダーの視点からキリスト教における「聖書」「神」を再考する
3	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ（1）	世界における宗教の歴史的動向と、キリスト教における性的マイノリティ
4	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ（2）	ジェンダーの定義と歴史的背景
5	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ（3）	ライフヒストリーから考える
6	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理（1）	キリスト教の体系化の歴史と中絶論争
7	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理（2）	脳死・臓器移植・生殖医療・再生医療
8	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理（3）	看取り・終末期医療
9	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（1）	心と魂のケア、その課題と問題点
10	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（2）	スピリチュアルケアの功罪：理念と実際

11	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（3）	スピリチュアルケアの功罪：歴史的背景
12	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（4）	スピリチュアルケアの功罪：中立性をめぐって
13	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（5）	音楽と癒しを例に
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course deals with Christianity and religion from the perspective of gender. (Learning Objectives) The goals of this course are deepen learning and understanding of issues and problems surrounding Christianity and religion from the perspective of gender through examination of specific examples. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to make an effort to understand the contents of the class using the handouts, notes, and reference books provided, and to ask questions if there are any points that are not clear. (Grading Criteria /Policies) Grading will be decided based on the initial and mid-term reports(40%) and term-end report (60%).

HIS200LA（史学/History 200）

西洋史ⅡE

2017年度以降入学者

サブタイトル：

竹下 和亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ローマ帝国の崩壊からマクロン政権までのフランス史の基本的な流れを解説する。

【到達目標】

フランス史の基礎的な知識を習得することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

年表と王家の系図を詳細にみながら、フランスの歴史を講義します。質問は、授業終了後及びコメントシートで受け付けます。課題等のフィードバックは授業内で行います。また適宜、ディスカッションを行います。授業の日程は、受講生の関心等により多少変更されることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	フランスの諸地域Ⅰ	イール・ド・フランスからブルゴーニュまで
第2回	フランスの諸地域Ⅱ	プロヴァンスからノルマンディーまで
第3回	時代区分	西洋史の時代区分の特質と問題点
第4回	「フランス」史のはじまり	ローマ帝国の崩壊とフランク王国
第5回	中世社会とカペー王国	カペー朝フランス王国の形成
第6回	中世後期の危機と王権	フランス王朝国家の拡大と百年戦争
第7回	近代国家の成立	「国家」概念の成立と国王行政の凝集化
第8回	フランス絶対王政の統治構造	封建制から社団的編成へ
第9回	フランス革命と第一帝政Ⅰ	テュルゴの改革からジャコバン独裁まで
第10回	フランス革命と第一帝政Ⅱ	テルミドールの反動からナポレオン体制の崩壊まで
第11回	革命と名望家の時代	七月革命と二月革命
第12回	共和主義による国民統合	国民国家と植民地帝国の形成
第13回	危機の時代と変貌する現代のフランス	世界大戦後の世界
第14回	試験及びまとめ	試験及びまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。文献が配布されたときは、事前に読んでおいてください。

【テキスト（教科書）】

レジュメと資料を配布します。

【参考書】

柴田三千雄、樺山紘一、福井憲彦編『世界歴史大系 フランス史1・2・3』山川出版社、1995年
井上幸治編『世界各国史2』山川出版社、1968年
福井憲彦編『新版 世界各国史12』山川出版社、2001年
J・H・エリオット（立石博高、竹下和亮訳）『歴史ができるまで』岩波書店、2017年
クリシャン・クマー（立石博高、竹下和亮訳）『帝国』岩波書店、2024年
『二宮宏之著作集』（全5巻）岩波書店、2011年

【成績評価の方法と基準】

平常点（30％）、試験（70％）
毎回の授業への出席は単位修得の前提条件です。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

< Course Outline >

This course provides an overview of the fundamental flow of French history, from the fall of the Roman Empire to the Macron administration.

< Learning Objectives >

Students will acquire fundamental knowledge of French history.

< Learning Activities outside of Classroom >

Students are expected to spend approximately two hours on both preparation and review for each class. If reading materials are distributed, students must read them in advance.

< Grading Policy >

Class participation and assignments: 30%

Final examination: 70%

Regular attendance is a prerequisite for earning course credit.

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

内川 勇太

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中世ヨーロッパにまつわる主要なフィクションをとりあげ、それらが流布した原因および実際に起きたことについて、1次史料に基づいて考察する。

【到達目標】

中世ヨーロッパ史に関するフィクションが訂正される過程を体験すること、史料批判に基づく歴史学の研究手法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎回終了後にリアクションペーパーを提出してもらい、全体に共有すべき質問等は次の授業冒頭において取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	まえがき・イントロダクション・訳者あとがき
第2回	第1章 中世は暗黒時代だった	中世ヨーロッパに対する全般的なイメージ
第3回	第2章 中世の人々は地球は平らだと思っていた	中世ヨーロッパにおける世界認識
第4回	第3章 農民は風呂に入ったことがなく、腐った肉を食べていた	中世ヨーロッパの衛生
第5回	第4章 人々は紀元千年を恐れていた	中世ヨーロッパにおけるキリスト教の終末思想
第6回	第5章 中世の戦争は馬に乗った騎士が戦っていた	中世ヨーロッパの戦争・戦闘技術
第7回	第6章 中世の教会は科学を抑圧していた	中世ヨーロッパにおける信仰と科学の関係
第8回	第7章 一二二二年、何千人もの子どもたちが十字軍遠征に出立し、そして死んだ	中世ヨーロッパの教皇権と子ども十字軍
第9回	第8章 ヨハンナという名の女教皇がいた	中世ヨーロッパの女性と教皇権
第10回	第9章 中世の医学は迷信にすぎなかった	中世ヨーロッパの医学と迷信
第11回	第10章 中世の人々は魔女を信じ、火あぶりにした	中世ヨーロッパの魔女

第12回 第11章 ペスト医師 中世ヨーロッパにおける疫病のマスクと「バラのまわりを輪になって」は黒死病から生まれた

第13回 番外編 アングロ＝サクソン期イングランドでは七王国の王がブリテンの覇者になろうと互いに争っていた

第14回 まとめ 授業の復習とレポートの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の予習、授業内容の復習を合わせて各回4時間以上の予習・復習を行う。

【テキスト（教科書）】

ウィンストン・ブラック 著/大貫 俊夫 監訳『中世ヨーロッパ：ファクトとフィクション』平凡社 2021

【参考書】

適宜授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート(70%)、毎回のリアクションペーパー(30%)で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline (in English)】

Course outline:Featuring popular fictions or myths on Medieval Europe, this course aims to outline the reason and the way of their development, and present the historical facts based on primary sources.

Learning Objectives:By experiencing the process of fictions on Medieval Europe being corrected, students will learn the method of History based on source criticism.

Learning activities outside of classroom:reading of the textbook before and after each class

Grading Criteria/Policy:Report(70%), Reaction Papers(30%)

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を学ぶ

中平 千彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義は、春学期開講『経済学 LA』(担当:中平)です。この講義で学んだ内容は、秋学期開講『経済学 LB』(担当:中平)に接続されます。

春学期開講『経済学 LA』では、大学基礎レベルの「ミクロ(マイクロ)経済学」と「マクロ経済学」を担当教員がコンパクトに解説し、受講生にそれらを速習してもらうことを目指します。

受講生の皆さんは、「経済学」に対してどのような印象を持っているでしょうか？ 経済学は、我々の形成する社会で観察される、経済主体の活動や相互依存関係によって導かれた多様な経済問題を分析し、その中に存在する経済法則を究明することによって、望ましい社会的経済厚生を研究する学問です。あるいは、希少性を有する財・サービスの最適な選択と配分を、相互に競合する目的を考慮しながら決定し、また、その決定を行うための方法を研究する学問です。

【到達目標】

- ・ミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学の理論的基礎を説明できるようになる。
- ・ミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学に関する基本的問題を、社会科学的に思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

経済理論を大別すると、「ミクロ(マイクロ)経済学」と「マクロ経済学」の2つになります。「ミクロ(マイクロ)経済学」は、個々の経済主体における最適化された行動を前提に、市場における経済主体間の相互関係、資源配分と所得分配の決定における市場機構の役割などを分析する、あるいは、いくつかの代表的な公理に依拠した最適化行動に基づき、個から市場、そして経済全体へとアプローチする研究分野です。一方、「マクロ経済学」は、消費者部門における消費、企業部門における投資と生産物供給、政府部門における財政支出と貨幣供給、貿易バランス、そして、それらの相互連関によって決定される国民所得、インフレーションと失業、景気変動などに着目し、経済全体についての集計変数における均衡水準と決定経路を分析する研究分野です。これらの2分野は相互補完的な関係にあります。例えば、「ミクロ(マイクロ)経済学」において、個々の経済主体の最適な行動がマクロ経済にいかなる影響を与えるかを分析するには、「マクロ経済学」の理論が必要となります。また、「現代マクロ経済学」にとって「マクロ経済学のミクロ(マイクロ)的基礎」は不可欠な要素となっています。

この講義では「ミクロ(マイクロ)経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論を学びますが、講義時間に余裕があれば、「ミクロ(マイクロ)経済学」の理論と現実との関係、また、マクロ経済学や公共政策学のミクロ(マイクロ)的基礎などのトピックも採り入れたと思っています。

我々には、講義回数14回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よくミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力します。また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	経済学の基本問題と経済システム	経済学の基本問題と市場の仕組み、経済システム
第02回	消費者と生産者の行動(I)	選好と効用関数、需要関数
第03回	消費者と生産者の行動(II)	生産技術と費用関数(1)
第04回	消費者と生産者の行動(III)	生産技術と費用関数(2)、供給関数
第05回	市場均衡(I)	完全競争市場と調整過程、余剰と比較静学
第06回	市場均衡(II)	部分均衡と一般均衡、独占市場と独占的競争市場
第07回	経済厚生	市場の失敗、パレート効率性、厚生
第08回	国民所得分析の基礎	経済学の基本定理 SNA、マクロ経済指標

第09回	消費関数	消費と消費関数
第10回	投資関数	投資と投資関数
第11回	有効需要と乗数理論	有効需要の原理、乗数効果
第12回	IS・LM曲線と総需要曲線・総供給曲線	IS曲線・LM曲線および総需要曲線・総供給曲線による経済分析
第13回	インフレ需要曲線	インフレ需要曲線による経済分析
第14回	インフレ供給曲線	インフレ供給曲線による経済分析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
- ・受講後に講義ノートとテキストによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト（教科書）】

- ・塩澤修平(著)(2011)『基礎コース 経済学(第2版)』新世社。

【参考書】

- ・浅田統一郎(著)(2022)『マクロ経済学基礎講義(第4版)』中央経済社。
- ・浅田統一郎(著)(2017)『ミクロ経済学の基礎(第2版)』中央経済社。
- ・アセモグル、ダロン／レイブソン、デヴィッド／リスト、ジョン(著)、岩本康志(監訳)、岩本千晴(訳)(2020)『入門経済学』東洋経済新報社。
- ・井堀利宏(著)(2021)『入門経済学(第4版)』新世社。
- ・ステイグリッツ、ジョセフ・E. /ウォルシュ、カール・E. (著)、蔵下史郎/秋山太郎/饒川靖浩/大久阿博/木立力/宮田亮/清野一治(訳)(2012)『ステイグリッツ入門経済学(第4版)』東洋経済新報社。
- ・福岡正夫(著)(2008)『ゼミナール経済学入門(第4版)』日本経済新聞出版社。
- ・マンキュー、N. グレゴリー(著)、足立英之/石川城太/小川英治/地主敏樹/中馬宏之/柳川隆(訳)(2019)『マンキュー入門経済学(第3版)』東洋経済新報社。
- ・Bade, Robin and Michael Parkin (2022) *Foundation of Economics* (9th ed.)(global edition, pap.), Pearson.
- ・Hirshleifer, Jack, Amihai Glazer and David Hirshleifer (2005) *Price Theory and Applications: Decisions, Markets, and Information* (7th ed.)(pap.), Cambridge Univ. Press.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien (2018) *Essentials of Economics* (6th ed.), Pearson.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien (2022) *Economics* (8th ed., Global Edition), Pearson.
- ・Krugman, Paul and Robin Wells (2023) *Essentials of Economics* (6th ed., International Edition), Macmillan Learning.
- ・Landsburg, Steven E (2024) *Price Theory and Applications* (10th ed.)(pap.), World Scientific Publishing.
- ・Sloman, John and Dean Garratt (2023) *Essentials of Economics* (9th ed.)(pap), Pearson Education Limited.

【成績評価の方法と基準】

- ・[定期試験点(90%) + 平常点(10%) = 総合点(100%)] の評点配分で成績が決定されます。
- ・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
- ・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

- ・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

- ・出席確認を行いますので注意してください。
- ・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。
- ・本講義の趣旨は、アカデミックな経済学の基礎理論を平易に解説することですが、公務員、国税専門官、公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナーなどの、各種資格・就職試験で経済学を受験科目として選択する受講生にも配慮した解説を行います。

【オフィス・アワー】

- ・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

- ・秋学期のリベラルアーツ科目『経済学 LB』(担当：中平)、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】

【Course outline】

* This course is designed to provide the student with an opportunity to understand the basic theory of microeconomics and macroeconomics. Generally, economic theory broadly divided into two parts - microeconomics and macroeconomics. Microeconomics focuses on decision making at the individual level, while macroeconomics studies the economy as a whole.

* This course is a comprehensive guide on how to get started with microeconomics and macroeconomics.

【Learning Objectives】

- * Through this course, the students will be able to:
 - explain the basic theories of microeconomics and macroeconomics;
 - think and express basic issues of economics from the aspect of social science.

【Learning activities outside of classroom】

* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100 %).

*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：観光経済学の基礎を学ぶ

中平 千彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、応用経済学の一分野としての「観光経済学」を学びます。観光経済学のトピックの中で、特に基本的フレームワークを形成する主要な項目を、ミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学の理論に立脚して理解することを目指します。

【到達目標】

・観光経済学の基礎的事項を説明できるようになる。
・観光経済学に関する基本的問題をミクロ(マイクロ)・マクロ経済学理論に基づいて思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

観光経済学は、経済学理論に基づき、また、経済学の関連領域に属する学問を包含し、広義の観光活動を分析する、応用経済学の一種と位置付けられるものです。さらに、現代における広義の観光経済学は、観光客の支出決定、観光市場の構造、観光行動における意思決定、観光企業間の連携、観光による外貨発生効果と範囲、観光資源の貢献可能性、観光政策などを包括的に研究する分野となっています。

本講義では、観光の現状と課題、観光統計、投資理論、消費理論、消費者行動と観光、観光需要、観光サービス供給、観光市場の機能、観光市場の失敗、経済成長と観光、世界遺産と観光、我が国の観光と課題などの項目を学びます。なお、必要に応じて、公共経済学などの知識を補充し、学習内容の拡充を試みます。

我々には、講義回数14回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よく観光経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力します。また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	観光の現状と課題、SNAと観光統計(1)	観光のもたらす課題、SNAの概念と観光統計
第02回	SNAと観光統計(2)	SNAの基本構造、サテライト勘定の意義と分類
第03回	観光市場の機能	市場需要曲線と市場供給曲線、市場均衡と市場調整、観光財・サービスの価格決定メカニズム
第04回	消費理論と観光(1)	消費と消費関数、消費関数における短期と長期
第05回	消費理論と観光(2)	消費決定の仮説、観光消費の性質
第06回	投資理論と観光(1)	投資と投資の決定要因、限界効率と投資判断
第07回	投資理論と観光(2)	投資の限界効率表と投資量の決定
第08回	消費者行動と観光(1)	消費者行動と需要曲線、観光サービスの対象と選択
第09回	消費者行動と観光(2)、観光需要	観光需要と弾力性、観光需要の実際
第10回	観光サービス供給	観光サービス供給、観光市場の構造
第11回	観光市場の失敗	市場の失敗と観光分析

第12回	公共財とコモンプール財	公共財、コモンプール財と資源の過剰利用
第13回	観光成長と観光	インバウンド市場とアウトバウンド市場、観光発展の将来
第14回	世界遺産とエコツーリズム、観光の課題と将来	世界遺産の基礎知識、エコツーリズムの事例と課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・受講後に講義ノートとテキストによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト（教科書）】

・中平千彦／藪田雅弘(編著)『観光経済学の基礎講義』九州大学出版会、2017年。

【参考書】

・M.T. シンクレア／M. スタブラー(著)、小沢健市(監訳)(2001)『観光の経済学』学文社。
・ジェームズ・マック(著)、瀧口／藤井(監訳)(2005)『観光経済学入門』日本評論社。
・ステイーブン・J. ページ(著)、木谷／松下／図師(訳)(2001)『交通と観光の経済学』日本経済評論社。
・A. ブル(著)、諸江／吉岡／菊池／小沢／原田／池田／和久井(訳)(1998)『旅行・観光の経済学』文化書房博文社。
・山内／山本／山崎／川口(編)(2022)『観光経済学：理論とデータで学ぶ』有斐閣。
・Bull, Adrian (1995) *The Economics of Travel and Tourism* (2nd revised ed.), Longman.
・Dwyer, Larry, Forsyth, Peter, and Wayne Dwyer (2020) *Tourism Economics and Policy* (2nd ed.), Channel View Books.
・Hall, C. Michael and Allan M. Williams (2019) *Tourism and Innovation* (2nd ed.), Routledge.
・Stabler, Mike J., Papatheodorou, Andreas., and M. Thea Sinclair (2009), *The Economics of Tourism* (2nd ed.), Routledge.
・Sullivan, Charlotte (ed.)(2016) *Leisure and Tourism Economics*, Willford Press.
・Tribe, John (2020) *The Economics of Recreation, Leisure and Tourism* (6th ed.), Routledge.
・Vanhove, Norbert (2022) *The Economics of Tourism Destinations* (4th ed.), Routledge.
・Chen, Yong (2021) *Economics of Tourism and Hospitality: A Micro Approach*, Routledge.

【成績評価の方法と基準】

・[定期試験点(90%)＋平常点(10%)＝総合点(100%)]の評点配分で成績が決定されます。
・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

・出席確認を行いますので注意してください。
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。

【オフィス・アワー】

・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

・春学期のリベラルアーツ科目『経済学LA』(担当：中平)、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

*The aim of the course is to provide students with an opportunity to gain and enhance the knowledge of tourism economics. Namely, this course is designed to provide a basic understanding of the scientific approaches to economics of tourism, particularly in the field of economic theory.

*In this course, you will learn how the microeconomics and macroeconomics are applied to the analysis of tourism.

【Learning Objectives】

- * Through this course, the students will be able to:
 - explain the fundamental problems of tourism economics;
 - think and express basic issues of tourism economics from the aspect of microeconomics and macroeconomics.

【Learning activities outside of classroom】

* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100 %).

*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 誠

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は金融をこれまで学んだことのない学生向けに、経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。春学期の授業では、経済学における金融の意味と金融で利用される言葉やその意味、さらに計算方法などを身に付け、生活の上で、金融のリテラシーを身に付けることを目指す。

【到達目標】

この授業では、金融リテラシーを身に付けるために、1. 歴史的な金融の発展、2. 身近な金融活動の発見、3. 金融の意義と意味、4. 自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいるだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにでも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。春学期の目標は、一般の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事を読んで、理解できる水準への到達である。いわばリテラシーを高めることを目標とする。金融についてさらに、一歩踏み出した議論は、秋学期に行いたいと考えているので、履修する学生には春と秋の履修を勧めたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面による授業として実施します。ただし、履修生の皆さんには資料を配信し、各自で理解を深めてもらうように配慮する。なお、配布する資料は教科書と合致しない部分も一部あります。理解する目的は同じであっても、履修する皆さんにとって理解のしやすい方法で、あるいは、理解できる段階から説明することを心掛けて作成しているためです。

大学で初めて学習する内容となるはずなので、継続した授業への出席が求められます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業内容の紹介、歴史的な経済活動の発展	本授業の進め方、評価についての解説、人類の経済活動の発展と経済行動における工夫や発明を映像資料を見て動機付けを行う
2	身近にみる金融商品や金融活動	日ごろの生活で利用される金融商品や金融活動について詳しく学ぶ
3	金融取引と必要な知識	銀行における取引について考える、また、その際に必要とされる知識について学ぶ
4	評価する、価値を測る（第1章、第2章）	金融活動において、将来の価値や現在の価値を測ることが重要となる。その方法を学ぶ

5	企業における金融取引、債券と株式の発行と投資	企業が発行する債券と株式について学ぶ。特にその違いについて理解を深める。
6	債券の評価（第3章）	債券の価格をどのように求めるか、その方法を学ぶ
7	債券投資の理論（第10章）	債券を運用する際の基礎となるデュレーションについて意味と計算方法を学ぶ。
8	債券投資の理論（第10章） 続き	債券ポートフォリオのデュレーションとイミューゼーションについて学ぶ
9	中間テスト	第1講から第8講までの内容の理解を確認する。
10	確率変数の基礎知識（第11章）とポートフォリオ理論（第12章）	期待値や標準偏差など統計値の計算方法を確認する。ポートフォリオ理論の導入を図る。
11	投資理論（第12章と第13章）	2資産からなる危険資産によるポートフォリオを構築する。ポートフォリオ理論を発展させCAPMについて学習する
12	コーポレートファイナンス①（第7章）	企業の資金調達について検討する。
13	コーポレートファイナンス②（第7章）	企業の資金調達におけるモジリアニ＝ミラーの定理（MM理論）を学習する。
14	期末試験	これまで学習した全範囲の試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。特に力を入れてほしいのは、復習と日ごろの生活での習慣である。復習はしっかりと自分の頭で考えたり、計算をしてほしい。目で見ただけでは利用することはできない。日々の生活では、ニュースを見る、新聞を読む、30分でも日々の生活で経済事象を知ることが、授業を受ける上で大きなきっかけとなる。

【テキスト（教科書）】

手嶋宜之著「基本から本格的に学ぶ人のためのファイナンス入門」ダイヤモンド社
ISBN:978-4-478-01630-5

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の3つの項目に基づいて行う。1. 各回の授業に付随するクイズ（20%）、2. 第8回に実施する中間テスト（40%）、3. 第15回に実施する期末テスト（40%）である。

中間試験と期末試験は授業期間内で行う。また、各回のクイズはHoppi上で提示される。なお、クイズは毎回実施するとは限らない。成績評価は以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね90%以上、A:優れた成績であるもの、概ね80%以上、B:秀でた成績である者、概ね70%以上、C:平均的な水準である者、概ね60%以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】

質問のあった箇所については、授業でも取り上げて参加者全員の理解を図るようにする。

【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。ただし、中間と期末試験の際にはスマホの計算機能は利用できないので注意。

【その他の重要事項】

新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることが望ましい。

なお、本授業の講師はファイナンスの実務経験を通算20余年有している。うち、10年は米国ニューヨークで勤務し、ノーベル経済学受賞者との共同研究、米国著名大学大学院修了（MBA）している。また、経済金融教育アドバイザーでもある。実務経験を授業に反映させる予定である。

【Outline (in English)】

This class focuses on finance in economics for students who have never studied finance before. As a university student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time without touching finance. In the spring semester class, students will learn the meaning of finance in economics, the words used in finance, their meanings, and calculation methods, and aim to acquire financial literacy in their daily lives.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 誠

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は既に金融の「入門レベル（経済学LA）」を学んだ学生向けに、広く、深く金融を学習することを目的としている。したがって、金融システム、金融制度など幅広く経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。しっかりと金融知識を身に付けてほしい。

【到達目標】

この授業では、経済学LAに始まる金融リテラシーを身に着けるために、1. 歴史的な金融の発展、2. 身近な金融活動の発見、3. 金融の意義と意味、4. 自ら金融取引を確認する、ことを継続して学ぶ。

秋学期の経済学LBの目標は、経済専門の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事を読んで内容が概ね理解できることを目標としたい。通常、経済専門紙の記事を完璧に理解できる水準は金融業界に身を置かない限り、困難である。本講座は、入門レベル（経済学LA）を経て、金融基礎知識を固める初級から中級レベルの水準に達することを目標に掲げたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面で授業を実施する。経済学LAと同じである。

授業はテキストと配布資料に基づいて行われる。適宜、履修者の理解の定着を図る目的でクイズやテキスト章末問題を課題とすることがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	利子率、将来価値、現在価値（第1章）	単利と複利、現在価値・将来価値を計算する、複利利回りの種類を知る。今学期から参加した学生にも理解しやすいように経済学LAの内容を一部復習する。
2	債券入門（第2章）、債券分析の基礎（第3章）①	最終利回り、債券投資のリスクについて学ぶ。（経済学LAの復習、一部あり）
3	債券分析の基礎（第3章）②	デュレーション分析、イールドカーブ分析、債券の投資方法について学習する。
4	ポートフォリオ理論入門①（第8章）	経済学LAにおいてファイナンスで利用する基礎統計学は学習しているので、その前提で2つの危険資産によるポートフォリオを作成する。
5	ポートフォリオ理論入門②（第8章）	安全資産を組み入れた場合のドミナントな組み合わせを考える。CAPMの導出を行う。（一部経済学LAの復習あり）

6	株式入門（第4章）①	株式とは、株式発行市場、流通市場、配当割引モデルの紹介
7	株式入門（第4章）②	配当割引モデル応用、株価評価の指標、
8	中間試験	これまでに学習した内容をテストする。60分間。
9	デリバティブズ	先渡し取引、先物取引の市場、取引の仕組み、価格の計算方法と利用について学習する
10	リーマンショックを考える	リーマンショックの原因はなんであったか、動画を視聴して考えたい。
11	オプション入門①（第6章）	オプションの基本的な仕組みと性質の紹介、オプション市場、オプション取引の仕組みを学習する。
12	オプション入門②（第6章）	オプションを用いた投資戦略、バイノミアル（二項価格評価）モデルによるオプション価値の推定する。
13	効率的市場仮説（第11章）	市場モデルとCAPMの類似点と相違点を整理する。市場の効率性について学習する。
14	期末試験	学習した範囲（第1回から第13回まで）の試験を行う。授業内で実施する。60分間

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

春学期より少しだけレベルが上がった内容となるので、授業の資料を読む前に関連する該当箇所を読んでおくと、理解の助けとなる。さらに、授業後に、もう一度同じ箇所を読み直すと理解が深まる。また、必要な計算は必ず手を動かしてやってほしい。資料やテキストを読んでいても、自分の力にはならない。また、日常的に新聞やニュースに触れて、金融に関する言葉を利用する場面を知ってほしい。

【テキスト（教科書）】

岸本直樹、池田正幸「入門・証券投資論」有斐閣ブックス、ISBN:978-4-641-18447-3

【参考書】

手嶋宣之「ファイナンス入門」ダイヤモンド社、ISBN:978-4-478-01630-5

大村敬一・俊野雅司「証券論」有斐閣、ISBN:978-4-461-16427-7

【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の3つの項目に基づいて行う。

1. 授業における貢献などの平常点と授業に関連したクイズ（試験ではない）（20 %）、
2. 第8回に実施する中間テスト（40 %）、
3. 第15回に実施する期末テスト（40 %）である。

中間試験と期末試験は原則教室で実施する予定であるが、感染状況によりHoppi上で行う場合もある。実施予告の指示に従って受験してほしい。

成績評価は法政大学の基準に従って行う。概ね、以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね90 %以上、A:優れた成績であるもの、概ね80 %以上、B:秀でた成績である者、概ね70 %以上、C:平均的な水準である者、概ね60 %以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】

経済学LB(秋学期)は経済学LA同様、対面授業の予定となっている。対面授業ではあるが、スライドで利用する資料等はHoppii上に掲示（授業開始から1週間のみダウンロード可）する予定である。

【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。ただし、中間・期末試験においてスマホの計算機能を利用することはできないので、留意してほしい。

【その他の重要事項】

配布する資料は指定した教科書を理解しやすくするために作成したものである。資料だけでは、教科書の内容を理解することは不可能であるので、必ず、指定した教科書を用意してほしい。ただし、参考図書はその限りではない。また、新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることがファイナンスの理解の早道でもある。なお、本授業の講師はファイナンスの実務経験を通算20余年有している。うち、10年は米国ニューヨークで勤務し、ノーベル経済学受賞者との共同研究、米国著名大学大学院修了（MBA）している。金融経済教育アドバイザーでもある。実務経験を授業に反映させる予定である。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to provide a broad and deep study of finance for students who have studied finance at an introductory level (Economics LA). Therefore, the class will focus on finance in economics, including financial systems and financial institutions. As a undergraduate student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time to finance. I would recomend you to acquire a financial literacy for your life.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：東アジア経済論

陳 文挙

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

21世紀はアジアの時代であり、中国やアジア新興国の台頭によって東アジア地域の存在感は増している。東アジア経済の動向は世界政治経済、安全保障、資源エネルギー等に大きな影響を与えている。本講義は東アジア経済の発展に焦点を合わせ、経済発展の歴史、過程、経験と教訓等について経済学の基礎原理やリベラルアーツの視点から研究する。また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって東アジア地域経済、そして世界経済が一変しており、東アジア経済を分析することを通じて学生諸君の地域的突発問題や危機管理に対する分析力を向上させる。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について立体的な視点から考察する力が必要になる。当該授業を聴講して、学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。特に、トランプ米大統領の再登場による世界の地政学は新しい局面を迎え、混沌化が増す世界、そして東アジア地域に関するリスクのヘッジ方、危機対応型思考力を鍛える学習ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 大学の授業計画に従って対面式で開講するが、事情によってまたデジタル社会適合のためオンライン（Zoom方式）の開講もある。但し、オンライン授業の場合は事前に学習支援システムを通じて知らせる。
2. 一回の講義で基本的に1つの話題を中心に議論、展開、解明、まとめる。
3. 情報化時代のニーズに応えるために図表や統計資料、事例学習も多用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	東アジア経済入門基礎、講義概要、成績評価等説明
2	現代経済社会の仕組み	家計、企業、政府；資本、労働、技術進歩；市場の原理；経済成長と経済発展の原動力分析
3	東アジア経済近代化の始まり	商業とシルクロード、産業革命、国際貿易と植民地の歴史、アヘン戦争
4	日中近代工業化の歴史比較研究	清王朝近代化の失敗と日本明治維新ならびに日本近代化成功の比較分析
5	国際貿易とグローバル化の形成	アダム・スミスの絶対優位性仮説とリカードの比較優位性仮説の検証
6	農業の発展と人口問題	マルサスの人口論と「マルサスの罠」

7	中間進捗状況確認	前半復習、「機会費用」と人口問題の両面性
8	農業の発展と様々な制約	「豊作貧乏」現象と需要の価格弾力性
9	東アジア地域の工業化と労働移動	都市化とインフォーマル部門、スラム街の形成
10	東アジア地域の工業化と国際化	「輸入代替」政策の失敗から「輸出振興」政策の成功まで
11	東アジア地域の産業移転	ベティ・クラークの法則と「雁行形態」、「産業移転」、「世界の工場」の背景と実態
12	経済成長と所得格差	クズネットの「逆U字仮説」から「エレファントカーブ」まで
13	さまざまな格差と計測	ジニ係数の計算を通じて地域間経済格差を考える
14	まとめ：東アジア地域経済統合の行方は	半期の復習、まとめ、期末レポート作成要領説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

なし。

【参考書】

『アジア経済とは何か—躍進のダイナミズムと日本の活路』、後藤健太（著）、中公新書。
『アジア経済論』、小林尚朗、山本博史、矢野修一、春日尚雄（著、編集）、文真堂。
『東アジアの論理—日中韓の歴史から読み解く』、岡本隆司（著）、中公新書。

【成績評価の方法と基準】

1. 授業参加（出席）状況（30%）
 2. リアクションペーパーや課題の提出状況（30%）
 3. 期末レポートの完成状況（40%）
- などによって総合的に評価する。ただし、各項目の配分など詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

1. 学生皆さんの関心事、質問等についてよく聞く、確認する。
2. 課題や質問に対してできるだけ早く対応する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

ただし、学習支援システムの活用、オンライン（Zoom方式）学習環境の確保などを事前にしておく。

【その他の重要事項】

秋期『経済学LB：中国経済入門』の継続履修を勧める。

【Outline (in English)】

The 21st century is said to be the age of Asia. The rapid growth of China and some other developing countries of Asia has increased the presence of the East-Asia in the world. The economy of East-Asia has been greatly affecting the world's politics and economy, security, and resources energy for these years.

This lecture focuses on the development of East-Asia economy, aims at studying the history, process, experiences and teachings of the economic development in this region from the viewpoints of basic theory of economics and Liberal Arts.

【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing regional economy about its variability and complexity in east-Asia from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (30%)

2, Reaction paper or homework (40%)

3, Term-end report (30%)

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：中国経済論

陳 文挙

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の経済規模は2010年に日本に追い付き、追い越し、アメリカに次ぐ世界第2位に上り詰めた。2022年に中国のGDPは日本の約4倍に拡大し、アメリカの5分の4までに迫っていた。本講義では前期授業で学習した東アジア経済発展の基礎を元に、計画経済期から市場経済移行期まで中国経済の発展を研究し、失敗の教訓と成功の要因を明らかにする。その上、「新常态」（ニューノーマル）にある現在の中国経済について事例研究等を通じて考察し、中国経済発展の未来像について考える。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について、特に世界第2位の経済規模を持つ中国の経済動向について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1、大学の授業計画に従って対面式で開講するが、事情によってまたデジタル社会適合のためオンライン（Zoom方式）の開講もある。但し、オンライン授業の場合は事前に学習支援システムを通じて知らせる。

2、一回の講義で基本的に1つの話題を中心に議論、展開、解明、まとめる。

3、情報化時代のニーズに応えるために図表や統計資料、事例学習も多用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	中国経済の基礎、講義概要、中国最新経済情報、成績評価等
2	中国近代史①	アヘン戦争から太平天国、日清戦争、辛亥革命、日中戦争、国共内戦
3	中国近代史②	中国共産党の誕生、武力闘争から政権の奪取、中国人民共和国の樹立
4	朝鮮戦争と社会主義国家建設	戦後処理と冷戦、朝鮮戦争と日中両国に与える影響：ソ連の対中経済援助と日本の「朝鮮特需」
5	計画経済期の中国経済と政治	社会主義経済大実験：大躍進、人民公社と文化大革命
6	計画経済の行き詰まりと改革開放の始まり	貧しい農民たちの「下剋上」と郷鎮企業の発展：「世界の工場」の形成
7	労働移動と「世界の工場」	中国の経済格差の実態と労働移動の事例研究

8	中間進捗状況確認	前半の復習：「効率」か「平等」か＝日本と中国のどちらが「社会主義」か？
9	企業改革と工業の発展	世界最大白物家電メーカーハイアール（Haier）社の事例研究
10	対外開放：外資の積極的導入と国際貿易の拡大	日本の対中経済支援と日本企業の中国進出
11	中国の技術革新とニュービジネスの拡大	ネット通販、QRコードとキャッシュレス、EVシフトとドローン、AI開発など
12	中国の不動産バブルの崩壊と「新常态」	中国経済も「失われた30年」に突入するのか？
13	中国経済展望	米中「貿易戦争」、世界のデカップリング、トランプ2.0などによって中国経済の先行きを予測する
14	復習とまとめ	期末レポート作成要領、成績評価再確認など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて課題、宿題もあり、期末にはレポートの提出がある。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定なし

【参考書】

『現代中国経済』（新版）、丸川知雄、有斐閣アルマ。
『幸福な監視国家・中国』、梶谷懐・高口康太、NHK出版新書。
『中国S級B級論—発展途上と最先端が混在する国』、高口康太・伊藤聖聖他著、さくら舎。

【成績評価の方法と基準】

1、授業参加（出席）状況（30%）
2、リアクションペーパーや課題の提出状況（30%）
3、期末レポートの完成状況（40%）
などによって総合的に評価する。
ただし、各項目の配分など詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

1、学生皆さんの関心事、意見などをよく聞く、確認する。
2、課題や質問等に対してできるだけ早く対応する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。
ただし、学習支援システムの活用、オンライン（Zoom方式）学習環境の確保などを事前にしておく。

【その他の重要事項】

1、前期の『経済学LA：東アジア経済論』とセットにして履修してもらいたいが、必要条件ではありません。
2、中国経済の話題が中心だが、政治、歴史、文化、社会、企業経営等の話もあり、興味があればぜひ履修していただきたい。

【Outline (in English)】

This lecture aims at clearing up the success factors and lessons of failure by studying the development of China economy of the period transforming from the planned economy to the market economy, based on the basic knowledge about the development of the East-Asia economy, which students learned in the first semester. Furthermore, this lecture will examine the current China economy, so-called new-normal economy through case-study and consider the future image of China economy.

【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing China economy about its variability and complexity from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (30%)
- 2, Reaction paper or homework (40%)
- 3, Term-end report (30%)

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：福祉の経済思想家たち

小峯 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学Lでは「経済学的思考とは何か」という一点に集中し、歴史的・思想的・理論的・政策的という多角的な視点からこの問題に接近します。前期LAでは「福祉という観点から経済思想を振り返る」を取り上げます。過去から現在にかけて、世の中には貧困や格差など、福祉に直結する経済問題が溢れています。意外にも、経済学者は単にカネの亡者や利己的な人間像ではなく、社会全体の幸福（＝福祉）について多くの見解を示してきたのです。この授業では、経済学の立場や経済の観点から、格差や貧困、個人と国家などがどのように考えられてきたか／考えるべきかを学ぶたいと思います。

【到達目標】

「経済学的思考とは何か」という問題に、自分なりの回答を導き出せることを、この授業の究極的な目標とします。その題材として、本授業では、「福祉という観点から経済思想を振り返る」に関して、過去や現在の経済学者・経済思想家がどのような前提・発想・解決策を提示していたのか、ある程度の理解を深めることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の章立てに沿って進みます。適宜、映像教材を用いて理解を深めたいと思います。基本的には過去から現在へと説明が進みますが、学生の注意を喚起するために、現在の話題（LGBTQ、アメリカ大統領選、イギリスのEU離脱など）を含めて説明を補うつもりです。典型的な質問に対しては、次回冒頭で回答する場合があります。学生の希望があれば、グループ討議や発表タイムを混ぜても良いです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ～経済学的思考とは何か	授業のルール説明、教科書や参考書の紹介
2	全体の概観～経済学の歴史から現代の経済問題を扱う	なぜ経済問題の把握に、経済学の歴史が必要か（参考書・第1章、教科書第1章）
3	経済の発見～古代から中世へ	プラトン、アリストテレス、トマス・アクイナス、利子と利潤（参考書・第2章）
4	近代とは何か～民主主義から資本主義へ	社会契約説の三巨人、ホッブズ、ロック、ルソー（参考書・第3章）
5	経済学の生誕～スミスの登場	共感、利己心、そしてアダム・スミス、見えざる手（教科書・第3章）
6	安全で幸福な社会、経済論争～ベンサム	功利主義、安全、食糧安保、関税（教科書・第4章～第5章）

7	社会改良と経済学～ミルの苦悩と挑戦	古典派経済学の完成と現実、ジェンダー、植民地（教科書・第6章）
8	社会主義の勃興～マルクスとエンゲルス	経済学批判、唯物史観、疎外、剰余価値（教科書・第7章）
9	マーシャル～労働者階級の向上	生活基準、安楽基準、経済騎士道（教科書第11章）
10	ビグーとホブソン～正統と異端の福祉思想	厚生経済学、人間の福祉（教科書第12章・第13章）
11	ウェッブ夫妻、ホブハウス～	自由党／自由主義の改革、国民最低限保障（教科書第14章）
12	ケインズとベヴァーリッジ～現代福祉国家へ	福祉国家の合意、完全雇用と社会保障（教科書第17章）
13	2人のノーベル経済学賞～ミュルダールとハイエク	北欧型福祉国家と、アメリカ型国家（教科書第21章～第22章）
14	この授業のまとめ	振り返り；チェックテスト 理解度小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・簡単なリアクションペーパーを授業内に（または授業の課題として、学習支援システムを通じて）提出します。

【テキスト（教科書）】

・小峯敦編（2024）『福祉の経済思想家たち【第三版】』ナカニシヤ出版。

ISBN 978-4-7795-1831-7

（以下は増補改訂版の情報）

<https://www.nakanishiya.co.jp/book/b134734.html>**【参考書】**

・小峯敦（2021）『経済学史』ミネルヴァ書房。

<https://www.minervashobo.co.jp/book/b573123.html>

・小峯敦編（2020）『戦争と平和の経済思想』晃洋書房。

<https://www.koyoshobo.co.jp/book/b506947.html>**【成績評価の方法と基準】**

（1）平常点：40%

（2）理解度小テスト：60%

（1）平常点は、リアクションペーパーの内容および提出回数、提供スライドや教科書を参照して確認できる課題の提出回数、その他授業への参加度合い等によって定めます。

（2）理解度小テスト（第14回を予定）は、マークセンス（択一式）8割、記述式2割を標準として、簡単なチェックテストとなります。自筆メモ（A4オモテ・ウラ1枚）が持ち込み可能です。

（3）レポート、および定期試験は行いません。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーの解析を行い（テキストマイニングによって、匿名処理し、単語の出現頻度や共起関係を図表にする）、学生の理解度把握に努めます。また、優れたコメント、代表的な質問などについて、機会をもうけて授業中に匿名で公表し、他の学生がどのような意見・質問・コメントを持っているのか、披露することもあります。

【学生が準備すべき機器他】

資料をダウンロードできる機器があれば良いでしょう。また、レポート作成にはパソコンの使用が便利です。

【その他の重要事項】

「経済学的思考とは何か」という問題を考えるため、社会科学系だけでなく、人文系・自然科学系を学ぶ多くの学生に受講してほしいと思います。思想・歴史・理論・政策と幅広く網羅するために、公務員試験を目指す学生や教職課程の学生にも有用です。教科書・参考書が重なるため、経済学LA・経済学LBをセットで受講すると便利であり、さらに理解が広がります。

【Outline (in English)】

In Economics L, we will concentrate on a single point, "What is economic thought?". We will also approach this question from multiple perspectives: historical, ideological, theoretical, and policy. In the second semester, we will take up "Economic Thought from the Perspective of Welfare." From the past to the present, the world is full of economic problems directly linked to welfare, such as poverty and inequality. Surprisingly, economists have not just been money-hungry or selfish but have also expressed many views on society's happiness (i.e., welfare). In this class, we will learn how inequality, poverty, individuals, and the state have been thought about/should be thought about from the perspective of economics and the standpoint of economics.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：戦争と平和の経済思想

小峯 敦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学Lでは「経済学的思考とは何か」という一点に集中し、歴史的・思想的・理論的・政策的という多角的な視点からこの問題に接近します。後期LBでは「戦争と平和の経済思想」を取り上げます。過去から現在にかけて、世の中には戦争・紛争が溢れています。同時に、その原因や解決策を模索する学問的営みも多いのです。この授業では、経済学の立場や経済の観点から、この問題をどのように考えられてきたか／考えるべきかを学びます。

【到達目標】

「経済学的思考とは何か」という問題に、自分なりの回答を導き出せることを、この授業の究極的な目標とします。その題材として、本授業では、「戦争と平和」に関して、過去や現在の経済学者・経済思想家がどのような前提・発想・解決策を提示していたのか、ある程度の理解を深めることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の章立てに沿って進みます。適宜、映像教材を用いて理解を深めたいと思います。基本的には過去から現在へと説明が進みますが、学生の注意を喚起するために、現在の話題（露ウ戦争、パレスチナ紛争）を含めて説明を補うつもりです。典型的な質問に対しては、次回冒頭で回答する場合があります。学生の希望があれば、グループ討議や発表タイムを混ぜても良いです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ～経済学的思考とは何か	授業のルール説明、教科書や参考書の紹介
2	全体の概観～経済学の歴史から戦争と平和を扱う	経済学の浸透は国際紛争の軽減に貢献しうるか（教科書・序章）
3	近代国家と戦争	重商主義、主権国家、経済学の生成（教科書・第1章）
4	アダム・スミスにおける国防と経済	『国富論』、商業の発展、自由の確立（教科書・第2章）
5	古典派経済学と戦争～リカード、マルサス、ミル	平和的な分業（比較生産費説）、植民地経営（人口問題）、黒人問題
6	エッジワースの契約モデルと戦争	限界革命による経済学の左心、価格交渉（教科書・第3章）
7	ヴェブレンの平和連盟構想	アメリカ異端派の現状分析、国際連盟の誕生（教科書・第4章）
8	戦後構想における経済助言者の役割（1）	ケインズ～ベヴァリッジ体制とは何か、伝記的アプローチ（教科書・第5章）
9	戦後構想における経済助言者の役割（2）	福祉国家の誕生、連邦主義、国際連合の誕生（教科書・第5章）

10	ミューダールにおける戦争と平和（1）	福祉国家から福祉社会へ、累積的因果関係、南北問題（教科書・第6章）
11	ミューダールにおける戦争と平和（2）	スウェーデンモデルとは何か、国際平和研究所（教科書・第6章）
12	冷戦期以降の戦争と経済思想	シューマッハー、ガルブレイス、ボールディング（教科書・第7章）
13	帝国主義・総力戦と日本の経済学者	石橋湛山、新渡戸稲造（教科書・第8章）
14	全体のまとめ～経済学の歴史から戦争と平和を扱う	経済学の浸透は国際紛争の軽減に貢献しうるか（教科書・終章）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・簡単なリアクションペーパーを授業内に（または授業の課題として、学習支援システムを通じて）提出します。

【テキスト（教科書）】

小峯敦編（2020）『戦争と平和の経済思想』見洋書房。
<https://www.koyoshobo.co.jp/book/b506947.html>

【参考書】

・小峯敦編（2024）『福祉の経済思想家たち【三版】』ナカニシヤ出版。
<https://www.nakanishiya.co.jp/book/b134734.html>
・小峯敦（2021）『経済学史』ミネルヴァ書房。
<https://www.minervashobo.co.jp/book/b573123.html>

【成績評価の方法と基準】

- （1）平常点：40%
 - （2）理解度小テスト：60%
- （1）平常点は、リアクションペーパーの内容および提出回数、提供スライドや教科書を参照して確認できる課題の提出回数、その他授業への参加度合い等によって定めます。
（2）理解度小テスト（第14回を予定）は、マークセンス（択一式）8割、記述式2割を標準として、簡単なチェックテストとなります。自筆メモ（A4オモテ・ウラ1枚）が持ち込み可能です。
（3）レポート、および定期試験は行いません。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーの解析を行い（テキストマイニングによって、匿名処理し、単語の出現頻度や共起関係を図表にする）、学生の理解度把握に努めます。また、優れたコメント、代表的な質問などについて、機会をもうけて授業中に匿名で公表し、他の学生がどのような意見・質問・コメントを持っているのか、披露することもあります。

【学生が準備すべき機器他】

資料をダウンロードできる機器があれば良いでしょう。また、レポート作成にはパソコンの使用が便利です。

【その他の重要事項】

「経済学的思考とは何か」という問題を考えるため、社会科学系だけでなく、人文系・自然科学系を学ぶ多くの学生に受講してほしいと思います。思想・歴史・理論・政策と幅広く網羅するために、公務員試験を受ける学生や教職課程の学生にも有用なはずで、教科書・参考書が重なるため、経済学LA・経済学LBをセットで受講すると便利であり、さらに理解が広がります。

【Outline (in English)】

In Economics L, we will concentrate on a single point, "What is economic thought?". We will also approach this question from multiple perspectives: historical, ideological, theoretical, and policy. In the second semester, we will take up "War and Peace in the History of Economic Thought". From the past to the present, the world is full of wars and conflicts. At the same time, there are many academic endeavors that search for their causes and solutions. In this class, students will learn how this issue has been/should be considered from the standpoint of economics and the economy.

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。

自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人の発達について理解することを目標とする。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、基本的にはパワーポイントを用いた講義で行い、適宜、視聴覚教材を使用する。

授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出、授業内容に応じて演習問題への取り組みを求める。リアクションペーパーや演習問題への取り組みへのフィードバックは、当日の講義内または翌週の講義内で行う。

本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	発達心理学とは何か	発達の規定要因／発達段階理論
第3回	人間関係の発達①	乳児期の人間関係 乳児と人とのかわり／愛着形成
第4回	人間関係の発達②	幼児期の人間関係 仲間関係の発達／他者を理解する能力の発達
第5回	人間関係の発達③	児童期の人間関係 小学校における仲間関係／児童の攻撃行動
第6回	人間関係の発達④	青年期の人間関係 青年期の親子関係／ソーシャルサポート
第7回	社会性の発達①	社会性とは何か／ソーシャルスキル

第8回	社会性の発達②	向社会性の発達
第9回	社会性の発達③	道徳性の発達
第10回	社会性の発達④	コミュニケーションの発達
第11回	定型発達と非定型発達	発達障害とその支援
第12回	成人期の発達	キャリアの発達／職業生活の中での発達
第13回	高齢期の発達	サクセスフル・エイジングと幸福感
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。心理学に関する知識をただ覚えるのではなく、自分自身や周囲の人、環境など実生活と照らし合わせて、授業内容について熟考する。

【テキスト（教科書）】

適宜、配布資料を使用。配布資料はすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

『はじめて学ぶ乳幼児の心理 こころの育ちと発達の支援』（桜井茂男編、有斐閣アルマ、2006年）
『たのしく学べる最新発達心理学 乳幼児から中学生までの心と体の育ち』（桜井茂男編、図書文化社、2010年）
その他、授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）、授業内で実施する演習問題（30％）、リアクションペーパー（20％）

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・演習問題の提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 50%, Short reports: 20%, in class contribution: 30%

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。

自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人間の発達について理解することを目標とする。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の前半は、主にテキストを使用してワークに取り組む。授業の後半は、視聴覚教材を使用して、実践したワークへの理解を深める。授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出を求める。リアクションペーパーへのフィードバックは、翌週の講義内で行う。

本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	認知行動療法とは	認知行動療法の基本的な考え方
第3回	認知の歪みに気づく①	できごとの振り返り 気持ちへの点数づけ 心のつぶやきと気分の関連
第4回	認知の歪みに気づく②	心のつぶやきの検証 心のつぶやきの書き換え 心のイメージの修正
第5回	認知の歪みに気づく③	トリプル・カラム 葉っぱのトレーニング シアター鑑賞トレーニング 呼吸法
第6回	行動を変える①	気分と活動のモニタリング 気分と行動の関連 気分の変化チェック
第7回	行動を変える②	先延ばし行動の克服 自分を変えるチャレンジ

第8回	行動を変える③	アクションプラン アクションプランの検証 やってみようことリスト
第9回	心のルールからの解放①	生き方のルール マイルールの検証 ルールのデメリット・メリット
第10回	心のルールからの解放②	心の新ルール 新ルールの証拠
第11回	心のルールからの解放③	人生で大切なことの言語化 気持ちのコントロール マインドフルネス
第12回	認知行動療法の実際①	認知行動療法に関する映像視聴
第13回	認知行動療法の実際②	認知行動療法の事例の紹介
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『心がスッと軽くなる認知行動療法ノート』
(福井至・貝谷久宣著、ナツメ社、2015年)
必ず、使用する。

【参考書】

『子どもと若者のための認知行動療法ワークブック 上手に考え、気分はスッキリ』
(ポール・スタラード著、下山晴彦監訳、金剛出版、2006年)
その他、適宜授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（30%）、授業内で実施するワークへの取り組み（50%）、リアクションペーパー（20%）

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・ワーク課題の提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 50%

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。

自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人の発達について理解することを目指す。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、基本的にはパワーポイントを用いた講義で行い、適宜、視聴覚教材を使用する。

授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出、授業内容に応じて演習問題への取り組みを求める。リアクションペーパーや演習問題への取り組みへのフィードバックは、当日の講義内または翌週の講義内で行う。

本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	発達心理学とは何か	発達の原理／発達理論
第3回	人間関係の発達①	乳児期の人間関係 乳児と人とのかわり／愛着形成
第4回	人間関係の発達②	幼児期の人間関係 仲間関係の発達／他者を理解する能力の発達
第5回	人間関係の発達③	児童期の人間関係 小学校における仲間関係／児童の攻撃行動
第6回	人間関係の発達④	青年期の人間関係 青年期の親子関係／ソーシャルサポート

第7回	社会性の発達①	社会性とは何か／ソーシャルスキル
第8回	社会性の発達②	向社会性の発達
第9回	社会性の発達③	道徳性の発達
第10回	社会性の発達④	コミュニケーションの発達
第11回	定型発達と非定型発達	発達障害とその支援
第12回	成人期の発達	キャリアの発達／職業生活の中での発達
第13回	高齢期の発達	サクセスフル・エイジングと幸福感
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
心理学に関する知識をただ覚えるのではなく、自分自身や周囲の人、環境など実生活と照らし合わせて、授業内容について熟考する。

【テキスト（教科書）】

適宜、配布資料を使用。配布資料はすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

『はじめて学ぶ乳幼児の心理 こころの育ちと発達の支援』（桜井茂男編、有斐閣アルマ、2006年）
『たのしく学べる最新発達心理学 乳幼児から中学生までの心と体の育ち』（桜井茂男編、図書文化社、2010年）

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）、授業内で実施する演習問題（30％）、リアクションペーパー（20％）

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・演習問題提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 50%, Short reports: 20%, in class contribution: 30%

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。

自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人間の発達について理解することを目標とする。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の前半は、テキストを使用してワークに取り組む。授業の後半は、視聴覚教材を使用して、実践したワークへの理解を深める。授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出を求める。リアクションペーパーへのフィードバックは、翌週の講義内で行う。本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	認知行動療法とは	認知行動療法の基本的な考え方
第3回	認知の歪みに気づく①	できごとの振り返り 気持ちへの点数づけ 心のつぶやきと気分の関連
第4回	認知の歪みに気づく②	心のつぶやきの検証 心のつぶやきの書き換え 心のイメージの修正
第5回	認知の歪みに気づく③	トリプル・カラム 葉っぱのトレーニング シアター鑑賞トレーニング 呼吸法
第6回	行動を変える①	気分と活動のモニタリング 気分と行動の関連 気分の変化チェック
第7回	行動を変える②	先延ばし行動の克服 自分を変えるチャレンジ

第8回	行動を変える③	アクションプラン アクションプランの検証 やってみたいことリスト
第9回	心のルールからの解放①	生き方のルール マイルールの検証 ルールのデメリット・メリット
第10回	心のルールからの解放②	心の新ルール 新ルールの証拠
第11回	心のルールからの解放③	人生で大切なことの言語化 気持ちのコントロール マインドフルネス
第12回	認知行動療法の実際①	認知行動療法に関する映像視聴
第13回	認知行動療法の実際②	認知行動療法の事例の紹介
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『心がスッと軽くなる認知行動療法ノート』
(福井至・貝谷久宣著、ナツメ社、2015年)
必ず、使用する。

【参考書】

『子どもと若者のための認知行動療法ワークブック 上手に考え、気分はスッキリ』
(ポール・スタラード著、下山晴彦監訳、金剛出版、2006年)
その他、適宜授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験 (30%)、授業内で実施するワークへの取り組み (50%)、リアクションペーパー (20%)

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・ワーク課題の提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 50%

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

関戸 明子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、歴史地理学研究の具体的な事例を検討しながら、その研究手法について学ぶ。地域の歴史的な形成過程を考察するとともに、多様なメディアを活用して、地域社会の諸相を捉えていきたい。

【到達目標】

歴史地理学のアプローチの仕方を理解し、地域に関する地理的な知識を深めること。

地域の歴史的な形成過程について、多角的・多面的に捉える視点を養うこと。

地域を比較する地理学的なアプローチによって、課題を考察できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使用した講義と資料の読解などの演習を組み合わせで行う。

授業資料の配布や課題・コメントの提出は、授業支援システムを使用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	歴史地理学とは	歴史地理学序説、古代中世の日本図
2	近世の国絵図・伊能図	近世における日本図の系譜
3	京都の都市プランの変容	古代から近世にかけての京都の景観
4	城下町の類型と特色(1)	さまざまな類型と江戸・大坂
5	城下町の類型と特色(2)	北関東の城下町の特徴
6	近世の旅と名所図会	近世の街道と旅に関する情報
7	近代における旅行文化(1)	交通整備と鉄道旅行案内
8	近代における旅行文化(2)	観光地コンテストと温泉案内
9	温泉地の地域的展開(1)	鳥瞰図・紀行文からみた熱海と伊香保
10	温泉地の地域的展開(2)	鳥瞰図・紀行文・絵はがきからみた草津
11	鳥瞰図に描かれた観光地	吉田初三郎の鳥瞰図の特色と場所イメージ
12	山村の生業と空間認識	山村とは何か、生業と民俗、空間認識
13	山村の生業と秘境イメージ	焼畑の実態、秘境イメージの形成
14	試験・まとめと解説	授業内容のまとめ、試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は4時間を標準とする。
配付資料とノートを授業後に読み返し、図表の内容や重要なポイントが理解できたかを確認すること。毎時間の課題に取り組み提出すること。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

関戸明子（2007）『近代ツーリズムと温泉』ナカニシヤ出版
中西僚太郎・関戸明子編（2008）『近代日本の視覚的経験』ナカニシヤ出版
関戸明子（2018）『草津温泉の社会史』青弓社
このほか、授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを筆記試験と平常点で評価する。
第14回のまとめに実施する試験50%、毎時間の課題・コメント(50%)

【学生の意見等からの気づき】

新規に担当のため、特になし

【学生が準備すべき機器他】

授業時間にデジタル・アーカイブにアクセスしたり、資料のPDFや絵図などの画像データを検討したりします。各自、ノートパソコン・タブレットを持参してください。

【Outline (in English)】

(Course outline) In this course, we will learn about the research method while examining concrete examples of historical geography research.

(Learning Objectives) At the end of the course, students are expected to understand characteristics of historic landscapes in Japan.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy) examination: 50%, and in class contribution: 50%

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

朝倉 慎人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

東京大都市圏をはじめ、身近な地域でみられる地理的事象が、「なぜそこで」、「なぜそのようなかたちで」展開してきたのかを論理的に考察する。

【到達目標】

日常生活で目にする地理的事象を地理学の視点から論理的に説明する力を習得し、現代社会の諸問題を多角的に分析できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で資料を配布し、講義を行う。毎回の授業でミニッツペーパーないしは小課題の提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	日常生活の中で訪れるさまざまな場所を事例に、地理学的な見方・捉え方の特徴を大まかに理解する
第2回	都心地区の機能分化	東京の都心地区を事例に、都心地区の機能分化とその背景を考察する
第3回	鉄道会社と郊外化	私鉄による沿線開発を事例に、東京大都市圏における初期の郊外開発の特徴を考察する
第4回	ニュータウンの建設と変容	ニュータウンや団地を事例に、東京大都市圏における大規模住宅開発の特徴を考察する
第5回	インナーシティ問題の都市間比較	国内外の事例と比較して、東京のインナーシティ問題の特徴を考察する
第6回	都市の再生	地方都市の事例に注目して、中心市街地再生の意義と可能性を考察する
第7回	小売業の業態別立地特性	さまざまな小売業の業態別立地特性を考察する
第8回	工業の立地変化	国内の工場開設・閉鎖を事例に、経済のグローバル化と工業の関係を考察する
第9回	周辺型経済と農村	都市との関係に注目して、国内の農村の地域問題を考察する
第10回	農村における地域づくりの実践	国内の農村でみられる地域づくりの実践を理解する
第11回	地域文化と真正性	真正性をめぐる議論に注目し、地域文化なるものを検討する
第12回	観光空間の生産	観光空間を文化論的視点から理解する

第13回 生活空間の観光化と地域社会 日常空間の観光資源化に注目して、ホストの実践と観光空間の関係を考える

第14回 まとめ 講義内容を振り返り、まとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やノートを整理し、わからない用語を調べるとともに、興味を持った参考文献を入手して目を通すこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。毎回の授業で資料を配布する。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート（50%）と授業内課題（ミニッツペーパーないしは小レポート）（50%）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course logically considers various geographical phenomena observed in Japan. At the end of the course, students are expected to discuss a wide range of regional and global issues from a geographical perspective. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end reports (50%), short reports and minute papers (50%).

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

片岡 義晴

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代世界、とりわけ低開発諸国・地域の地域問題について学んでいきます。

【到達目標】

食糧、人口、貧困などの問題を手がかりにして、現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。低開発諸国、地域のそれら問題は先進諸国との関係性の中で生じており、授業を通して先進諸国と低開発諸国、諸地域の関係を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

「発展」から取り残されている地域・国を事例にして、現代世界の地域・社会問題を考えていきます。主としてアジア諸地域を例に挙げて、「発展」の仕組みを、その「裏側」から考えていくつもりです。取り扱うテーマは世界の食料、人口、貧困にかかわる諸問題です。それらの出来事は個別に存在するわけではなく、相互に関連し、問題を複雑化させています。したがって結論や解決策を単純に、かつ安易に見いだすことなどできるはずがありません。現実の「構造」（＝仕組み）を知ることができるようにしていきたいと思います。

【課題等に対するフィードバック方法】

各授業の初めに、前回までの授業で提出されたリアクションペーパーからいくつかの疑問点などを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	世界の食糧問題(1)	先進国と途上国の食料自給率
第2回	世界の食糧問題(2)	食糧輸出国と輸入国
第3回	世界の食糧問題(3)	農業生産性の向上－「緑の革命」－
第4回	世界の人口(1)－人口の趨勢－	人口爆発とその後－2022年、80億人突破－
第5回	世界の人口(2)－二つの人口論－	マルサスとマルクス
第6回	世界の人口(3)－死亡率・出生率変化の検討－	死亡率の急減と出生率低下の緩慢さ
第7回	世界の人口(4)	人口問題と人権
第8回	貧困と援助・協力(1)	世界の貧困－先進国、途上国それぞれに貧困－
第9回	貧困と援助・協力(2)	衛生問題－乳児死亡率の地域差と女性の権利－
第10回	貧困と援助協力(3)	教育の不平等－教育と識字率－
第11回	貧困と援助協力(4)	グローバル・ディアスポラ－難民・移民問題の検討－

第12回 貧困と援助協力(5) ODAと日本、世界の児童労働

第13回 貧困と飢饉 飢饉発生の構造的要因

第14回 まとめ まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

「食糧」「人口」「貧困」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、さらにそれら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えようとして下さい。時間をとって机に向かうことも重要ですが、それら問題を普段から意識することがより重要です。

なお、本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。PowerPointを使用して授業を進めます。

【参考書】

西川 潤（2008）『データブック 食料』、同『データブック 人口』、同『データブック 貧困』いずれも岩波ブックレット。その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験100％で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

慣れないPowerPointを使って授業したこともあり、誤字脱字が多めに多く、ご批判を頂戴しました。また、教材提示の順番が前後してわかりにくいという意見もありました。

2024年度はPowerPoint教材を作成し直しましたが、誤字脱字が未だ多く、反省しきりです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

【Course Outline】This course is aimed at broadening students' basic knowledge of the current factors of underdeveloped countries and regions. It has three focuses, : 1) food problems, :2) population problems, :3) poverty problems in underdeveloped countries and regions.

【Learning Objectives】The goal of this course is to help students understand the structural relationships (political and economic relationships) between developed countries and underdeveloped countries and regions.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100%).

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

片岡 義晴

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の地域問題に関して、様々な問題群、その構造的要因について学んでいきます。具体的には、日本の地域性、第一次～第五次全国総合開発計画に代表される地域開発政策、同時期に生じた公害問題、地域格差等について検討していきます。

【到達目標】

明治期以降の日本の地域性の形成過程を振り返った上で、日本の高度経済成長期における全国総合開発計画に代表される地域開発政策、公害問題、地域格差等を手がかりにして、日本の地域問題の構造的要因に迫っていきます。多くの場合、それら問題は地域開発政策に代表される政治、経済に関わる要因に規定されています。授業を通して、日本の地域問題は構造的であることが理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

国籍の如何に関わらず、日本居住者は日本のことを「知っている」と思い込んでいます。しかし現代日本の地域・社会問題を「知っている」「理解している」人がどれくらい居るでしょうか。地域居住者の「権利」を侵害するような問題は、いつの時代も、どの地域でも発生しています。発生するように「仕組まれ」ているといわなければなりません。具体例を挙げ、日本の「裏側」から日本の地域・社会問題に迫っていきましょう。

【課題等に対するフィードバック方法】

各授業の初めに、前回までの授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか疑問点等を取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本の地域性(1)	「裏日本」の形成
第2回	日本の地域性(2)	「裏日本」の役割
第3回	地域格差とその指標(1)	戦後日本の高度経済成長の内実
第4回	地域格差とその指標(2)	経済格差と指標
第5回	様々な格差	様々な格差－女性、高齢者、若者、外国人等－
第6回	日本の地域開発(1)	地域開発前史
第7回	日本の地域開発(2)	全国総合開発計画（全総、新全総、三全総、四全総、グランドデザイン）
第8回	日本のディアスポラ	移民送出し国・日本から、外国人労働者（移民）受入国・日本へ
第9回	地域経済の実態	経済の地域間相互依存

第10回	公害と地域(1)	イタイイタイ病と神岡鉱山
第11回	公害と地域(2)	イタイイタイ病訴訟
第12回	公害と地域(3)	水俣病の「発見」とチッソ
第13回	公害と地域(4)	水俣病訴訟
第14回	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

日本の「地域問題」「社会問題」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、それら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えて下さい。それら問題は「身近」に存在しています。それら問題について普段から関心を持って下さい。なお、本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。PowerPointで資料等を提示します。

【参考書】

政野淳子（2013）『四大公害病』中公新書
その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験100%で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

PowerPointに未だ慣れず、誤字脱字が散見されるとの意見を頂戴しました。教材提示の順番が前後してわかりにくいという意見もありました。

2024年度はPowerPoint教材を再構成しましたが、誤字脱字も未だ多く、改善する必要性を痛感しました。気づいたことがあればリアクションペーパーなどでご指摘ください。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire the regional problems in Japan. It has two main focuses: 1) regional development policies in Japan's high economic growth, 2) as a result environmental pollution problems and regional disparities in Japan.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to help students understand the structural factors (political and economic factors) of regional problems during the period of Japan's high economic growth.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100%).

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

関戸 明子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、歴史地理学研究の具体的な事例を検討しながら、その研究手法について学ぶ。地域の歴史的な形成過程を考察するとともに、多様なメディアを活用して、地域社会の諸相を捉えていきたい。

【到達目標】

歴史地理学のアプローチの仕方を理解し、地域に関する地理的な知識を深めること。

地域の歴史的な形成過程について、多角的・多面的に捉える視点を養うこと。

地域を比較する地理学的なアプローチによって、課題を考察できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使用した講義と資料の読解などの演習を組み合わせで行う。

授業資料の配布や課題・コメントの提出は、授業支援システムを使用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	歴史地理学とは	歴史地理学序説、古代中世の日本図
2	近世の国絵図・伊能図	近世における日本図の系譜
3	京都の都市プランの変容	古代から近世にかけての京都の景観
4	城下町の類型と特色(1)	さまざまな類型と江戸・大坂
5	城下町の類型と特色(2)	北関東の城下町の特徴
6	近世の旅と名所図会	近世の街道と旅に関する情報
7	近代における旅行文化(1)	交通整備と鉄道旅行案内
8	近代における旅行文化(2)	観光地コンテストと温泉案内
9	温泉地の地域的展開(1)	鳥瞰図・紀行文からみた熱海と伊香保
10	温泉地の地域的展開(2)	鳥瞰図・紀行文・絵はがきからみた草津
11	鳥瞰図に描かれた観光地	吉田初三郎の鳥瞰図の特色と場所イメージ
12	山村の生業と空間認識	山村とは何か、生業と民俗、空間認識
13	山村の生業と秘境イメージ	焼畑の実態、秘境イメージの形成
14	試験・まとめと解説	授業内容のまとめ、試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は4時間を標準とする。

配付資料とノートを授業後に読み返し、図表の内容や重要なポイントが理解できたかを確認すること。毎時間の課題に取り組み提出すること。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

関戸明子（2007）『近代ツーリズムと温泉』ナカニシヤ出版

中西僚太郎・関戸明子編（2008）『近代日本の視覚的経験』ナカニシヤ出版

関戸明子（2018）『草津温泉の社会史』青弓社

このほか、授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを筆記試験と平常点で評価する。第14回のまとめに実施する試験50%、毎時間の課題・コメント(50%)

【学生の意見等からの気づき】

新規に担当のため、特になし

【学生が準備すべき機器他】

授業時間にデジタル・アーカイブにアクセスしたり、資料のPDFや絵図などの画像データを検討したりします。各自、ノートパソコン・タブレットを持参してください。

【Outline (in English)】

(Course outline) In this course, we will learn about the research method while examining concrete examples of historical geography research.

(Learning Objectives) At the end of the course, students are expected to understand characteristics of historic landscapes in Japan.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy) examination: 50%, and in class contribution: 50%

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

朝倉 慎人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

東京大都市圏をはじめ、身近な地域でみられる地理的事象が、「なぜそこで」、「なぜそのようなかたちで」展開してきたのかを論理的に考察する。

【到達目標】

日常生活で目にする地理的事象を地理学の視点から論理的に説明する力を習得し、現代社会の諸問題を多角的に分析できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で資料を配布し、講義を行う。毎回の授業でミニッツペーパーないしは小課題の提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	日常生活の中で訪れるさまざまな場所を事例に、地理学的な見方・捉え方の特徴を大まかに理解する
第2回	都心地区の機能分化	東京の都心地区を事例に、都心地区の機能分化とその背景を考察する
第3回	鉄道会社と郊外化	私鉄による沿線開発を事例に、東京大都市圏における初期の郊外開発の特徴を考察する
第4回	ニュータウンの建設と変容	ニュータウンや団地を事例に、東京大都市圏における大規模住宅開発の特徴を考察する
第5回	インナーシティ問題の都市間比較	国内外の事例と比較して、東京のインナーシティ問題の特徴を考察する
第6回	都市の再生	地方都市の事例に注目して、中心市街地再生の意義と可能性を考察する
第7回	小売業の業態別立地特性	さまざまな小売業の業態別立地特性を考察する
第8回	工業の立地変化	国内の工場開設・閉鎖を事例に、経済のグローバル化と工業の関係を考察する
第9回	周辺型経済と農村	都市との関係に注目して、国内の農村の地域問題を考察する
第10回	農村における地域づくりの実践	国内の農村でみられる地域づくりの実践を理解する
第11回	地域文化と真正性	真正性をめぐる議論に注目し、地域文化なるものを検討する
第12回	観光空間の生産	観光空間を文化論的視点から理解する

第13回 生活空間の観光化と地域社会 日常空間の観光資源化に注目して、ホストの実践と観光空間の関係を考える

第14回 まとめ 講義内容を振り返り、まとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やノートを整理し、わからない用語を調べるとともに、興味を持った参考文献を入手して目を通すこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。毎回の授業で資料を配布する。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート（50%）と授業内課題（ミニッツペーパーないしは小レポート）（50%）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course logically considers various geographical phenomena observed in Japan. At the end of the course, students are expected to discuss a wide range of regional and global issues from a geographical perspective. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end reports (50%), short reports and minute papers (50%).

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：グローバル社会を考える地理学

前川 明彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学の特徴として、俯瞰的に物事を分析できる可能性を有していると思います。それは、学問体系が文理融合かつミクロ、マクロ的に学際化・専門化しているからです。この講義はグローバルゼーションの現代社会の課題を身近に捉え、地理学で考察することが目的です。例えば格差の課題はその背景となる地域社会の変化を産業や経済、政治などからも再考せねばならないと考えるからです。このため、近年、産業がどのように進展し、大都市が生まれ、21世紀には情報・IT革命（今のAIも含めて）とともに、産業の分業や深化、DXなどから、消費・競争社会の中心たる都市も巨大化、深化している。また居住する人々には新たな格差が生じ地域格差も生じています。この流れを、様々な地理学の分野を中心に、俯瞰的に捉え、分析、考察してみようということです。

【到達目標】

身近な問題や課題を論理的に自らみつけ分析することを目標としたい。さらに、その背景や要因などを多様な考え方や地理学的思考やロジックで考え、解決の方向性に活用できることを目指したい。日本もやっと給与が上がりつつあるとはいえ、食品関係に費やす割合を表すエンゼル係数は約25%と他国を圧倒した家計消費になりつつあります。また、円安傾向は海外から見ると格安日本とさえ思われています。こうした背景には、競争社会でゆとりがなくなってきた世界や日本が見えてきます。また、生成AIの急激な進展など今後のAI時代において皆さんはどうすべきでしょうか。問題の解決には知識だけでなく自分の目でみつけ、考え応用するという必要性が突きつけられている気がします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は対面授業の予定である。近年、世界や日本は様々な課題が顕在化、表面化しました。こうしたマクロ的な課題や問題を学際的、地理学的視点から考えていきます。この授業が自分のプラスになるかは自分次第かもしれません。一方的な授業ではなく、基本的には「動画映像＋講義＋GD・GD」になりますが、毎回のALは無理かもしれません。授業資料等はWebclassにアップしますので、授業前には確認してください。また、中間Rは簡易的な都市フィールドワークの基礎として東京の都心部を予定しています。生成AIは大学の方針に準拠して使用可、うまくできるように。ほか添付ファイルなどを参考してください。授業開始日までに、内容の詳細や要点を動画等でまとめて授業支援システムに上げておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにしておきます）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域とは、グローバルとは何かを身近なことから考える

2	グローバルゼーション・21世紀	コロナで顕在化した世界や日本の課題を概観してみよう。
3	グローバル化と産業	産業や都市はどう発展してきたか 大量生産社会と経済成長をUNIQLOから考えよう。
4	21世紀のボーダレス化と地域社会	21世紀社会の変貌
5	世界から遅れた日本	GAFAM・国際分業・市場先進国か 様々な分野で遅れ始め、安い、動けなくなった日本社会
6	世界の課題を日本から見る1	若者の格差・貧困と地域社会
7	世界の課題を日本から見る2	ブラックバイト・闇バイト
8	世界の課題を日本から見る3	子ども・女性の格差・貧困と連鎖 社会的弱者
9	グローバルゼーションの課題1	雇用とジェンダー、少子高齢化・若い女性はずえ大都市へ少子高齢化日本
10	グローバルゼーションの課題2	AI/第4次産業革命と格差社会・立地や仕事が変わることに気がつく
11	グローバルゼーションの課題3	データやデータの重要性に気がつく。WHAT? AI/MATSUKO
12	グローバルゼーションの課題4	アジア、アフリカのリープフ
13	グローバルゼーションの課題5	ログと日本 多様性の重要性
14	まとめと解説	環境か経済か カーボンニュートラルで産業が生まれるか 分断と共生 欧米の分断やウクライナ問題などから考えてみよう 世界や日本の課題を自ら考え、解決方向性を&最終Rの説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

近年、世界は大きく変わってきていることに気がつくと思いますか。昨年は世界的な選挙イヤーでしたが、アメリカ大統領が変わるだけで世界は大きく変化しています。政治や経済が社会に与えていることを身近に考えてください。普段から何事にも興味・関心を持ち、最初の一步を踏み出してください。内外のことを特定のネットサイトだけでなく新聞、TV、ネットなどで調べ知識化し、自ら問題を考え応用できるようにしてください。一見何気なしに見ていることも、普段歩いている大学の往復や自宅界隈で新たな発見をしてみてください。また、レポートなどで経験してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にはないが、授業資料等はwebclassにアップしますので、授業前にはダウンロードなどしてください。

【参考書】

授業時やWebclassなどに指示

【成績評価の方法と基準】

原則的には、中間・期末レポート（80%）授業での平常点（コメント、GD等）20%を考えています。

【学生の意見等からの気づき】

コロナ以降、孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われています。また、多様性やジェンダーを否定する流れから競争社会、格差が進展する可能性もあります。画一化や均一性はイノベーションを生み出しにくいことはすでに明らかになっています。このため、この講義では楽な一方的に話す講義ではなく、多様な意見や考え方を経験するという視点をもとに、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフルに発揮する方向性でのGDやレポートなどでの簡易的フィールドワークは行ってきました。大半の学生には好評でした。

授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。今期も前向きに考えてやってみましょう。対面授業ですから、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフル活用するためにもGD・GWなどを試みたいと思います。そして、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。

【学生が準備すべき機器他】

テキストはありませんが、基本教材（パワポ形式）や授出席などでWebclassのシステム等や映像を活用するため、授業時にスマホだけでなく、パソコン等はできたらお願いしたい。ほかの科目も予想されるが、WEB授業等に係るものは用意されたほうが・・・
生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用し、習熟してみてください。なお、授業開始日までに、内容の詳細や要点を動画等でまとめてWebclassシステムに上げておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにします）

【その他の重要事項】

コロナ以降、孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われています。また、多様性やジェンダーを否定する流れから競争社会、格差が進展する可能性もあります。画一化や均一性はイノベーションを生み出しにくいことはすでに明らかになっています。毎回は無理ですが簡単なGD/GWを考えています。多様な考え方や視野の広がりなどを期待していますので、出会いも含めてみんなで楽しみましょう。

地理学が苦手な人や大学デビューも含めて1人参加でも例年大丈夫です。一方的な授業は教員は楽ですが避けたいのでみんなでALも楽しみましょう。秋学期の地理学LDと合わせて受講することを勧めたい。通年でなくとも構わないが、先に春学期のLCでの問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期のLDで知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。学生の授業アシスタントも予定していますので相談してみてください。

【Outline (in English)】

Course outline: This course is to discover familiar issues in the world and Japan through geography, and to foster an awareness of these issues.

The purpose of this lecture is to examine the challenges of modern society due to globalization using geography. Specifically, how industry has progressed since the 20th century and large cities were born, and in the 21st century, along with the information and IT revolution (including today's AI), the division of labor and deepening of industry, and digital transformation have caused cities, which are the centers of consumption and competitive society, to grow larger and deeper, creating new disparities among the people who live there, and regional disparities as well. Our goal is to capture, analyze, and consider this trend from a bird's-eye view, focusing on various fields of geography.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 80% Contribution to class: 20%

GEO200LA（地理学 / Geography 200）	
地理学 L D	2017年度以降入学者
サブタイトル：21世紀の都市・地域を考える地理学	
前川 明彦	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期のLCでは、現代社会を学際的かつ俯瞰的な視点もある地理学から一緒に考えていきました。秋学期のこの科目は21世紀以降の世界を都市や地域を中心に地理学ロジックを活かして課題や解決策をとるに考えます。具体的には前半で世界や日本の都市を中心にDXなどの進展から変化する都市、地域社会の変化を政治・経済的側面を地理学的な視点から考えます。後半は日本の都市・地域社会の課題解決を中心にネットワーク、コミュニティなどの視点から方法論などを再検討します。そこから学生自身が多様性のある社会の実現を模索、検討できることを目的としています。地理学を骨子に、アクティブに一緒に考えることを目指します。

【到達目標】

学生が自らの考えをもち行動し、将来的には世界の地域社会の課題を解決する一員になることを到達目標にしている。秋学期のこの講義では、世界的な地域のも視点を広げ、問題意識や相違点や共通点などを見つけ、課題を解決方向へと踏み出したい。このため、新たな世界的な課題を前半で、後半 都市・地域再生を主なテーマとし、学生が、地域社会に関連するコミュニティデザインやソーシャルビジネスなどから、多様性のある様々な問題解決の方向性を示せることを到達目標としたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業の利点を如何にいかすかが問われます。地域再生を軸とした解決方法の事例紹介だけならオンデマンドで十分かもしれませんが。多様な意見や価値観の認識、コミュニケーションスキル等のためにも皆さんと考えていきたいと思います。初めての受講でも心配ありません。教材等は授業支援システムを使う予定です。進め方の基本は「映像＋講義＋GDなど」を考えています。授業アシスタントの人も予定していますので、不安な場合は相談してみてください。なお、生成AIは使用可。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	AIの判断する2050の日本・・・TOKYOか地方 四国や能登はなくなる？
2	世界の都市再考	画一化する世界の都市景観
3	日本の課題 都市と地方	人口減少の深刻な意味 TOKYOでもバス・タクシーが足りない 都心だけが残る社会 住とリモートワーク・ワーケーション
4	日本の課題2 新たな産業には？	インバウンドの都市集中とオーバーツーリズム
5	日本の課題3 将来産業の競争	世界的な半導体、データセンターなどの競争

6	都市再生 1	AKIBAというコミュニティと場の重要性
7	都市再生 2	イタリア、シエナとコミュニティ
8	都市再生 3	失敗から学ぶ コンパクト・スーパースィティの試み
9	都市・地域再生 1	ハロウィンなどイベントとコミュニティ
10	都市・地域再生 2	情報発信と人を呼ぶとは
11	都市・地域再生 3	関係人口と地域へのかかわりかた
12	都市・地域再生 4	コミュニティ再考 新たな試み 仮想空間の地域再生
13	都市・地域再生 5	スタートアップとソーシャルキャピタル論
14	試験 まとめと解説	今後の日本を考える 能登や東日本の災害から何を学んだのか、復興ができたのか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットやニュースなどから多様な考え方を学んでください。問題をどう解決するかは、さまざまな方法があり、必ずしも1つの方法が正解ではありません。日本はどんどん世界から遅れ始めていることに気が付いていますか。将来の自分が想像できますか、自ら考え、行動する意欲を常に持ち、失敗を恐れずむしろ失敗から学び、前向きになる自分を想像してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にはない 教材関係はWebclassでパワポで原則アップします。

【参考書】

授業時に指示

【成績評価の方法と基準】

中間・期末のレポート試験（80%）、授業での平常点（20%）で総合的に評価する予定でいる。状況により変更の場合などもあり得るかもしれません。

【学生の意見等からの気づき】

中間Rの秋葉原の街歩きは好評でした。いろいろレポートを理由に楽しんでください。また、コミュニケーションの重要性や多様性を知るためのGD/GWも楽しんでくれたようです。授業を居場所としてコミュニティの重要性をフル活用するためにもGD・GWなどを試みた結果、秋から参加で心配していた学生もいましたが。周りの協力もあって心配はありませんでした。今年度も、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。

【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコン使用を慣れてください。このため、この授業以外のためにも大学からの貸し出しなどは積極的に申し込んでください。授業支援システム等をかなり利用するので仕様の仕方等に習熟してほしい。また、生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用し、習熟してみてください。

【その他の重要事項】

秋から受講でも心配ありません。授業開始日までに、内容の詳細や要点をまとめて授業支援システムに上げておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにします）大学デビューのつもりで新たな柔軟な思考を持ちたいなどの人、1人でも参加したい人も歓迎します。対面授業形式の利点や今後の将来に活かすためにGD・GWなどもします。多様性を考えたり、視野の相違などが目的ですが知り合いを創るためにも楽しみましょう。授業アシスタントの人を予定していますので、1年生などはさまざまな相談をしてみてください。楽かどうかは皆さん次第です。能登半島の災害や世界的課題を考えると、知識だけではなく自ら考え行動することが必要な気がします。

【Outline (in English)】

We will consider issues and solutions geographically from the perspective of cities and regions in the world after the 21st century. Specifically, in the first half, we will consider political and economic aspects of changes in cities and local communities due to developments such as DX, mainly in cities around the world and in Japan, from a geographical perspective. In the second half, we will reexamine methodologies from the perspective of networks and communities, focusing on solving problems in Japanese cities and local communities. The aim is for students to explore and consider ways to create a diverse society. We aim to actively think together using geography as methodology

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 70%Contribution to class: 30%

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：文化の社会学

松下 優一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文化を社会的な観点から分析・考察するための理論や方法について学ぶ。まずは文化社会学のオーソドックスな概念について具体的に適用しながら理解を深め、そのうえで現代文化を成り立たせている諸条件にかんする主要な研究について学んでいく。これにより、文化を社会学するのに役立つ基本的な視座・着眼点の獲得を目指す。

【到達目標】

・文化を社会的に考察するのに役立つ理論、基本的な着眼点や問題設定などについて理解できる。
・作品（あるいは作家の営み、生産・流通・受容のメカニズムなど）の具体的な特徴を捉え、その社会的文脈性を考察することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料を用いて講義形式で進める。毎回のテーマに関するリアクションペーパーないし課題の提出を課す。提出物へのフィードバックは、次回授業の冒頭やまとめの回でいくつかピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	文化社会学へのイントロダクション
第2回	遊戯	井上俊『遊びの社会学』を中心に
第3回	欲望	作田啓一『個人主義の運命』を中心に
第4回	記号	R・バルト「神話作用」を中心に
第5回	表象とイデオロギー	マルクス主義的アプローチの系譜
第6回	文化テキストの分析（1）	『君の名は。』を取り上げ、分析・考察を試みる
第7回	文化テキストの分析（2）	『シン・ゴジラ』を取り上げ、分析・考察を試みる
第8回	文化テキストの分析（3）	『この世界の片隅に』を取り上げ、分析・考察を試みる
第9回	文化テキストの分析（4）	『コンビニ人間』を取り上げ、分析・考察を試みる
第10回	メディア文化	ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」を中心に
第11回	文化と卓越化	ブルデュー『ディスタンクシオン』および『芸術の規則』について
第12回	受容と流用	カルチュラルスタディーズの展開
第13回	コンヴァージェンス・カルチャー	参加型文化の時代

第14回 まとめ

授業の振り返りと補足、および課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。課題に取り組むとともに、授業で紹介するテキストや作品を熟読・鑑賞し、自分なりに理解を深めてください。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

【参考書】

・井上俊／長谷正人編『文化社会学入門』（ミネルヴァ書房、2010年）
・栗谷佳司／太田健二編『表現文化の社会学入門』（ミネルヴァ書房、2019年）

【成績評価の方法と基準】

各回の提出物（50％）＋期末レポート（50％）
記述の具体性・独自性・妥当性などにより評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の反応を見る限り概ね好評であった。今後も研鑽を重ねたい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course introduces students to the key concepts in sociology of culture and to the ways of thinking about culture in the contemporary world.

[Learning Objectives] By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand key concepts in cultural theory and fundamental approaches of the sociology of culture.
- analyze artworks (artists, cultural production/distribution/reception, and so on) in its social context.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy] Grading will be decided based on Term-end report(50%) and Short reports(50%).

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代社会論

松下 優一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、社会学分野の主要な現代社会論について学ぶとともに、現代日本社会に生起する諸々の社会現象について考える。個別・具体的な現象について、歴史的・構造的な視野をもって複層的に捉えつつ、分析・考察を深めるための社会学的想像力を養いたい。

【到達目標】

- ・基本的な現代社会の理論について理解し、具体的な事象に応用し、考察できる。
- ・現代社会において生起する具体的な事象を取り上げ、社会学的に分析・考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料を用いた講義形式で進める。リアクションペーパー（ないし各回の内容に関する課題）の提出を課す。フィードバックは、次回授業冒頭やまとめの回にて、いくつかの答案をピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明、初回アンケートほか
第2回	リスク社会論	ベックのリスク社会論の要点と応用
第3回	消費社会論	「〇〇消費」から考える現代社会
第4回	格差社会論	「新しい貧困」をめぐる問題を中心に。
第5回	監視社会論	管理／監視の技術から考える現代社会
第6回	情報社会論	情報技術と社会の関係をどう捉えるか
第7回	再帰的近代化論	ギデンズのモダニティ論を中心に
第8回	現代社会とノスタルジア	『ALWAYS三丁目の夕日』から考える
第9回	ポスト・トゥルース	陰謀論の時代へ？
第10回	排除型社会	包摂型社会から排除型社会へ？
第11回	心理主義化	高度化する自己コントロールと人格崇拜について
第12回	コンプライアンス社会	フラット化する社会と文化について
第13回	アフター・コロナ	コロナ禍から考える現代日本社会
第14回	まとめ	授業の振り返りと補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。各回のテーマに沿った具体的事例の収集、考察、まとめに取り組んでください。

【テキスト（教科書）】

特に使用しない。

【参考書】

本田由紀編『現代社会論—社会学で探る私たちの生き方』（有斐閣、2015年）

【成績評価の方法と基準】

各回の提出物（50%）＋期末レポート（50%）
記述の具体性・妥当性・独自性などを基準に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート結果をみる限り、概ね好評であった。今後も研鑽を重ねていきたい。

【Outline (in English)】**[Course outline]**

This course introduces students to the key concepts of contemporary social theories and to the ways of thinking about current social changes.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand basic approaches and theoretical arguments of contemporary social theories.
- think about social issues (cultural phenomena and so on) in contemporary context.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on Term-end report (50%) and Short reports (50%) .

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：政治と社会における「問題の発見」

徐 玄九

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では政治と社会に関わる様々な事例を取り上げながら、政治と社会を動かしている原理を理解するとともに隠れている問題の発見に努める。できるだけ具体的な事例を取り上げながら基本的な概念や理論を学び、これらをもとに社会や政治、広くは時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付けることを目指す。問題解決能力は問題を発見する能力とそれを解決する能力に区分できる。問題解決能力の中心は「問題の発見」にある。診断ができなければ治療することもできない医者のように、多くの領域において「問題解決」の主題は「問題の発見」である。この「問題の発見」こそが創造的な問題解決の出発点である。

【到達目標】

- ・基本的な概念や理論を論理的に発表、論述することができる。
- ・具体的な社会現象を複数の概念や理論を駆使して論理的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能ながざり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的で身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	基礎概念の理解	C.W・ミルズ『社会学的想像力』を手がかりに社会学の基礎概念を学ぶ
3	「問題の発見」	政治と社会における「問題の発見」の練習として「宝くじ」の歴史と機能、昔話「ウサギとカメの競争」を手がかりにルールや制度が不公平な側面を内包していることを確認する。
4	政策決定と利益	「問題の発見」の実践として、薬害事件を扱ったドキュメンタリー映画『薬に病む一クロロキン網膜症』（小池征人監督、1980）の一部視聴と解説
5	社会的暴力と個人の身体	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「社会的失明の時代」の一部講読と討論

6	スティグマと社会的統制	社会的スティグマを学ぶための予備的考察として、芥川龍之介「桃太郎」、H・S・ベッカー『アウトサイダーズ』の一部講読
7	スティグマの政治社会学	E・ゴフマン『スティグマの社会学』とS・フェデリリーチ『キャリバンと魔女』の一部講読と討論
8	差別と偏見について	ドキュメンタリー映画『人間の街—大阪・被差別部落』（小池征人監督、1986年）の一部視聴と解説
9	差別と解放について	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「人間の場所」の一部講読と討論
10	感情と法の関係について	M・ヌスバウム『感情と法』（第2章「嫌悪感と私たちの動物的身体」）の一部講読
11	感情の政治社会学の理解	M・ホルクハイマー、T・アドルノ『啓蒙の弁証法』（「V 反ユダヤ主義の諸要素」）の一部講読と討論
12	個人の選択と社会的選別について	国鉄分割民営化の過程で労働者たちの置かれた状況を描いたドキュメンタリー映画『日本鉄道員物語1987』（小池征人監督、1987）の一部視聴と解説
13	権力と自由の関係について	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「選択と選別の間」の一部講読
14	期末テストおよび総括	期末テスト（60分）、講評・まとめ（40分）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を用いる。

【参考書】

- ・市村弘正・杉田敦（2005）『社会の喪失』中公新書。
- ・杉田敦（2009）『政治への想像力』岩波書店。
- ・マーサ・ヌスバウム（2010）『感情と法—現代アメリカ社会の政治的リベラリズム』（河野哲也監訳）慶應義塾大学出版会。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）、平常点（50％）[リアクションペーパー20％＋プレゼンテーショングループワーク30％]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In the class, students take up various cases related to politics and society and try to understand the principles that drive politics and society and discover hidden problems. Through these efforts, we aim to become more aware of social, political and, more broadly, contemporary issues, understand their meaning, and develop the ability to think about solutions. Problem solving ability can be divided into the ability to discover a problem and the ability to solve it. The center of problem-solving ability lies in "finding a problem.". In many areas, the subject of "problem solving" is "finding a problem," as in a doctor who cannot be treated without being diagnosed. This "discovery of problems" is the starting point for creative problem solving.

(Learning Objectives)

- You can discover the principles and problems that drive politics and society.

- You can logically present and describe problems you find in your own words. (Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

- Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance. · 2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：国家暴力の最小化と市民的自由の最大化

徐 玄九

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国家の本質、機能、市民の役割などについて学ぶ。具体的には、マックス・ウェーバーによって定義された支配と服従、国家などの概念を手掛かりに、歴史上登場した国家論の変遷と共に「市民」や政治制度の「民主主義」に関する理論を取り上げる。これらを通して受講者自らの「国家」と「市民」、「民主主義」に関する見解と比較してみることで、自らの考え方を少しでも明瞭にすることが目的である。

【到達目標】

- ・国家論の変遷を歴史的な文脈で説明できる。
- ・市民の自由と権利の意義と限界を受講生の経験を踏まえて具体的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	基礎概念の理解	マックス・ウェーバー『職業としての政治』を手がかりに基礎概念を学ぶ
3	統治術の変化	「誰が統治すべきか」から「如何に統治すべきか」へ
4	国家主義国家論	トマス・ホブズ『リヴァイアサン』の一部講読
5	自由主義国家論（政治的な側面から）	ジョン・ロック『統治二論』の一部講読と討論
6	自由と平等をめぐるルソーの立場	ルソー『人間不平等起源論』、『社会契約論』の一部講読
7	自由主義国家論（経済的な側面から）	アダム・スミス『道徳感情論』と『国富論』の一部講読と討論
8	階級国家論、国家消滅論	カール・マルクス『共産党宣言』の一部講読
9	メディアとナショナリズム	ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』の一講読
10	全体主義について	ハンナ・アーレント、丸山眞男、藤田省三の分析を学ぶ

11	大衆社会論	オルテガ・イ・ガセット『大衆の反逆』、エリック・フロム『自由からの逃走』の一部講読と討論
12	民主主義について	杉田敦『デモクラシーの論じ方』、同『境界線の政治学』の一部講読
13	市民の役割について	宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』の一部講読と討論
14	期末テストおよび総括	期末テスト（60分）、講評・まとめ（40分）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を用いる。

【参考書】

マックス・ウェーバー（1919 = 2018）野口雅弘訳「仕事としての政治」『仕事としての学問・仕事としての政治』講談社。
加藤秀治郎・岩淵美克（2013）『政治社会学 第5版』一藝社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、平常点（50%）[リアクションペーパー 20% + プレゼンテーショングループワーク 30%]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the nature, function, and role of the nation. Specifically, this paper takes up the theory on "democracy" of "citizen" and political system as well as the transition of state theory which has appeared in history, taking into consideration the concepts of rule, obedience and nation defined by Max Weber. The purpose of this study is to clarify the students' views by comparing them with their own views on "nation," "citizen," and "democracy". (Learning Objectives)

・ The basic concepts of political sociology can be logically presented and discussed in one's own words.

・ The transition of the theory of nation in modern times can be understood in the historical context.

・ To enhance sociological understanding of political conflicts.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson. ・ Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance. ・ 2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature. (Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

POL200LA (政治学 / Politics 200)

政治学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：音楽と政治

木村 正俊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：ボブ・ディランと政治

ボブ・ディランとUS政治の関係について考察する。

ボブ・ディランとUS政治の関係について考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

【到達目標】

WW I 以降のUSの政治と社会についての基本的知識を得ること。

音楽を通して政治について考えるようになること。

ボブ・ディランの信仰を考察することによって、ユダヤ教とキリスト教についての基本的な知識を得ることと、宗教と政治の関係について理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。

交通事情や天候その他の理由でオンライン（Zoom）のみの授業になる時があります。

ただし初回はオンラインのみで授業を行います。

授業の初めに、前回授業時の個別質問に対する回答を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
# 1	Intro.	講義の概要とやり方について
# 2	戦間期のフォークミュージック	フォークミュージックと政治の交錯
# 3	本当のフォークミュージックの追求	ローマックス親子とレッド・ベリー
# 4	プロテスト・フォークミュージックの登場	ウディ・ガスリーを中心に
# 5	マッカーシズムとフォーク・リヴァイバル	ピート・シガーを中心に
# 6	古くて奇妙なアメリカ	ハリー・スミスとコラージュの政治学
# 7	ボブ・ディランの登場	プロテスト・フォークミュージックの政治学
# 8	1965年	USのニュー・レフトとボブ・ディラン
# 9	ピート・ジェネレーション	文学による政治の変容
# 10	カウンターカルチャー	カウンターカルチャーの時代とその後
# 11	The Basement Tapes	Bob Dylan の「古くて奇妙なアメリカ」あるいは「見えない共和国」
# 12	Slow Train Coming	Bob Dylan の改宗とUSの政治と社会

13 Things Have Changed. 終末論とUSの政治と社会

14 Outro. 秋学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回配布するプリントを授業の前に目を通し、授業後に復習する。紹介された参考文献を読む。

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

【参考書】

湯浅学『ボブ・ディラン ロックの精霊』（岩波新書、2013年）

北中正和『ボブ・ディラン』（新潮新書、2023年）

他の文献・音源・映像は、必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業の内容に関するレポートで評価。

小レポート 20%、期末レポート 80%

出席は当然であるが、欠席に由来する不利益に関しては何の対応もしません。

【学生の意見等からの気づき】

ポピュラー・ミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。

洋楽についての知識がなくてもかまいませんが、興味・関心を持っていることは必要です。

授業時間外の質問はメールで対応します。

必要であれば個別にZOOMによるミーティングを行います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器。

映像・音楽を視聴できる機器。

【その他の重要事項】

ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。

大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に2時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019年）を参照してください。

【Outline (in English)】

Theme: Bob Dylan and Politics

【Course outline】

This course deals with the political world of Bob Dylan.

【Learning Objectives】

The fundamental aim of this course is to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering the political world of Bob Dylan.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire basic knowledge of politics and society of the United States since the Second World War

To acquire basic knowledge of Judaism and Christianity and to understand relationships between politics and religion by considering the religious belief of Bob Dylan.

【Learning activities outside of classroom】

Read the prints distributed each time before class and review after class.

Read references.

Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to short reports(20%) and term-end report(80%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)	
文化人類学 L	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
ベル 裕紀	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回アクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。
また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと80年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	贈与と交換の政治経済	D. グレーバーや小田亮の贈与をめぐる議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。

第四回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第五回	技術と産業の人類学	企業は労働力とモノやサービスの流通の結節点であり、様々な技術が折り重なった複合体として捉えることができる。この授業では人類学における産業および技術の研究を概観しながら、ネットワークとしての産業を捉える視点を提示する。
第六回	機械の人類学	人類学における科学技術社会論、特にアクターネットワーク理論で著名なラトゥールの「純化」と「翻訳」「媒介」をめぐる議論を参照しながら、自然と人間と機械をめぐる近代的な認識論について理解を深める。 その上で動く道具としての機械と製品のオーナーシップに関する議論を参照しながら、機械をめぐる人類学的な研究を概観していく。
第七回	都市人類学	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
第八回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーやB. アンダーソンなどの国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
第九回	グローバル化の人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
第十回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十一回	人権と人類学	1945年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在をH. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	まとめ	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%、毎回のリアクションペーパー42%、授業への参加度8%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。

【Outline (in English)】**【Outline and Goal】**

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学 L

2017年度以降入学者

サブタイトル：宗教と身体の人類学

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。

世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	人類学とは	宗教を人類学的に考える方法
第3回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第4回	アニミズム	アニミズムと自然
第5回	シャーマニズム	自と他
第6回	マルチモーダル人類学	民族誌と映像
第7回	コスモポリティクス	開発と宗教的なもの
第8回	身体①	モノと宗教的なもの
第9回	身体②	音と集合的沸騰
第10回	身体③	身体感覚と霊的経験
第11回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践①	経済と宗教的なもの
第12回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践②	国家と宗教的なもの
第13回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践③	医療と宗教的なもの
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

北原 卓也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、文化人類学で扱われる現在の我々の生活に密接な医療、スポーツ、観光といったトピックについて考える。また、オセアニアという地域に焦点をあて、地域から文化的な事象をみていく。普段、何気なく接している事柄を新たな視点から捉えられるようになることを目指す。

【到達目標】

本講義の到達目標は下記の通り。

- (1)文化人類学で扱われるトピックについて理解する。
- (2)他者の文化との比較から自身の「あたりまえ」を認識し言語化する。
- (3)自身の「あたりまえ」ととらわれない新たな視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づき対面とオンライン組み合わせで行います。

配布するレジュメに沿って講義を行い、扱うトピックによってディスカッションを行うことがあります。

また、映像を視聴することで理解を深める場合もあります。

毎回授業後にはコメントシートの提出していただきます。

提出されたコメントシートは次回授業の冒頭でいくつか紹介します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ：講義の目的と概要	授業の進め方や目的について確認した後、担当教員の研究フィールドの紹介や文化人類学という学問分野について説明する
2	医療	医療を文化の視点から捉えられるようになる
3	スポーツ	スポーツを文化の視点から捉えられるようになる
4	観光	文化現象としての観光を理解する
5	贈与	贈与という行為について身近な事例と世界の事例を比較しながら理解する
6	開発	開発と文化をめぐる諸問題について考察する視点を獲得
7	中間のまとめ	これまでの講義の理解度を確認するため課題に取り組む
8	オセアニアの人類学 1: オセアニアとはどこか	オセアニアの地理と歴史について概観し、各地域の文化の背景を理解する

9	オセアニアの人類学 2：タトゥーを入れる人々	身体変工についてポリネシア地域で見られるタトゥー文化の事例から理解する
10	オセアニアの人類学 3：移動する人々	オセアニアからの移民について理解する
11	オセアニアの人類学 4：ニュージーランドと映画	ニュージーランドの映画の事例から、文化の表象について理解する
12	オセアニアの人類学 5：トンガ王国の祝祭	祝祭についてトンガ王国の戴冠式の事例から理解する
13	オセアニアの人類学 6：現地の声を聞く	これまでの授業を踏まえてオセアニア出身のゲストスピーカーから話を聞く
14	まとめと確認（試験）	今期のまとめとして教場試験を行います

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の準備として、指定する文献や配布するプリントまたは映像作品に目を通しておくこと。授業後は配布するレジュメを復習し、内容をきちんと理解しておくこと。1回の授業につき、準備・復習は各3時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメや資料を配布します。

【参考書】

『自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門』、箕曲在弘、大和書房、2024年。

『太平洋諸島の歴史を知るための60章-日本とのかかわり』石森大地・丹羽典生(編)、明石書店、2019年。

『よくわかる文化人類学』、綾部恒雄・桑山敬己(編)、ミネルヴァ書房、2010年。

『オセアニア史』山本真鳥(編)、山川出版会、2000年。

『オセアニアの人類学-海外移住・民主化・伝統の政治』須藤健一、風響社、2008年。

【成績評価の方法と基準】

中間のまとめ：30%、期末試験（またはレポート）：30%、平常点（コメントシート）：40%

2/3以上の出席で評価対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

他の履修生のコメントシートが気になるという声があったので、復習を兼ねて毎回授業の冒頭に前回のコメントシートの内容を振り返る時間を設ける。

【Outline (in English)】

This course introduce the concept of Cultural Anthropology and its research method as tools to understand different cultures.

The goal of this course are:

- (1) to understand the topics of Cultural Anthropology
- (2) to compare cultures and explain differences between your culture and other culture
- (3) to gain the new point of view

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term exam (30%), term-end examination or report (40%), and in-class contribution through comment sheets you should submit after each class(30%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)	
文化人類学 L	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
ベル 裕紀	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水4/Wed.4	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。
また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと80年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	贈与と交換の政治経済	D. グレーバーや小田亮の贈与をめぐる議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。

第四回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第五回	技術と産業の人類学	企業は労働力とモノやサービスの流通の結節点であり、様々な技術が折り重なった複合体として捉えることができる。この授業では人類学における産業および技術の研究を概観しながら、ネットワークとしての産業を捉える視点を提示する。
第六回	機械の人類学	人類学における科学技術社会論、特にアクターネットワーク理論で著名なラトゥールの「純化」と「翻訳」「媒介」をめぐる議論を参照しながら、自然と人間と機械をめぐる近代的な認識論について理解を深める。 その上で動く道具としての機械と製品のオーナーシップに関する議論を参照しながら、機械をめぐる人類学的な研究を概観していく。
第七回	都市人類学	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
第八回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーやB. アンダーソンなどの国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
第九回	グローバル化の人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
第十回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十一回	人権と人類学	1945年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在をH. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	まとめ	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50％、毎回のリアクションペーパー42％、授業への参加度8％で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。

【Outline (in English)】**【Outline and Goal】**

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：死と傷／悼みの人類学

菊池 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人は死をどのようなものと捉え、それにいかに向き合ってきたか。どのように死者を悼み、新たな関係性に置かれた自分を生きようとしてきたか。本授業では、死と悲嘆・喪に関する人類学的研究を概観しながら主要な理論や概念について学ぶとともに、世界の諸地域に見られる、死の観念、葬送儀礼、喪の様式の多様性を把握する。また、現代社会における死や看取りのあり方、追悼・哀悼をめぐる諸問題について、人類学的な視点から考える力を養う。死別の経験が、生き残った者の甦生の萌芽を宿していることを学ぶ。

【到達目標】

- ・死や悲嘆・喪をめぐる人々の多様な実践について、人類学的に理解することができる。
- ・現代社会における死や悲嘆・喪に関する問題について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とする。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭でいくつか紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	死と喪の人類学説史 I（～1980年代）	デュルケム的な構造機能主義を反映した、初期の人類学的研究
第3回	死と喪の人類学説史 II（1990年代～）	個人的な経験としての死別、既存の宗教的・文化的な喪の方法が適用し難い死、生者による死者への応答としての喪
第4回	死の観念	世界各地の様々な死の観念
第5回	葬送儀礼	世界各地の様々な葬送・埋葬の儀礼
第6回	悲嘆と喪	死者を悼むこと
第7回	中間のまとめ	前半の講義の理解度の確認を兼ねて、関連する民族誌を読み解く課題に取り組む
第8回	現代社会における死	自然災害や紛争などによる大量死や、脳死、孤独死など
第9回	看取り・死とケア	看取りと死をめぐるとケアの実践・文化
第10回	（エスノ・）ナショナルな追悼実践	国家や共同体による追悼実践

第11回	人々の哀悼実践	人々の日々の哀悼実践
第12回	異形の死と向き合う	遺体が見つからないような、既存の喪の方法を用いることが困難な死（者）とどう向き合うか
第13回	文化人類学者と死別の経験	死別の経験と研究との関係
第14回	まとめ	授業内容のふり返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて、関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・内堀基光、山下晋司1986『死の人類学』弘文堂。
- ・北村毅2009『死者たちの戦後誌—沖縄戦跡をめぐる人々の記憶』御茶の水書房。
- ・川村邦光2013『弔い論』青弓社。
- ・デヴィッド・サドナウ1992『病院でつくられる死』岩田啓靖・志村哲郎・山田富秋（共訳）せりか書房。
- ・野田正彰1992『喪の途上にて』岩波書店。
- ・P.メトカーフ、R.ハンティントン1996『死の儀礼：葬送習俗の人類学的研究〔第二版〕』池上良正、池上富美子（訳）未來社。
- ・Rosaldo, R. 2014. The Day of Shelly's Death: The Poetry and Ethnography of Grief. Durham & London: Duke University Press.

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（40％）：リアクションペーパー、中間のまとめの課題等。
- ・学期末レポート（60％）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講にあたって、文化人類学の基本的な考え方や方法論についての理解が必要となります。文化人類学の科目を受講したことがない学生さんを含め、事前に指定する課題文献に目を通しておいて下さい。初日の授業内でも短い概説を行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course introduces the Anthropology of Death, Mourning and Burial. The goal of this course is to learn anthropological theories and concepts about death, and the rituals of mourning and the forms of burial. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけ不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。

世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	人類学とは	宗教を人類学的に考える方法
第3回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第4回	アニミズム	アニミズムと自然
第5回	シャーマニズム	自と他
第6回	マルチモーダル人類学	民族誌と映像
第7回	コスモポリティクス	開発と宗教的なもの
第8回	身体①	モノと宗教的なもの
第9回	身体②	音と集合的沸騰
第10回	身体③	身体感覚と霊的経験
第11回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践①	経済と宗教的なもの
第12回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践②	国家と宗教的なもの
第13回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践③	医療と宗教的なもの
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：ラテンアメリカ地域文化入門

相田 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

わたしたちが暮らす日本から、ちょうど地球の反対側に位置するラテンアメリカ。日常生活ではあまりなじみのない世界かもしれませんが、そこにはびっくりするほど多様で、面白い生活を営んでいる人々がいます。

この授業では、彼ら、ラテンアメリカの人びとの暮らしを国別に見ていくことで、彼らがしている生活はどのようなものか、彼らから学ぶことができることは何か、一緒に考えていきます。

【到達目標】

- 1) 世界は広く、驚くほど多様な文化があることを実感を持って理解すること。
- 2) 異文化の人について、生活者の目線から理解できるようになること。
- 3) 日本ではなじみが薄いラテンアメリカ地域の文化や社会について基本となる知識を身につけること。
- 4) グループワークなどを通じて、他者とともに学ぶ経験を積み、その能力を向上させること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1) 授業では、まず冒頭に前回授業の内容確認のために小テストを行います。
- 2) その後、その日のテーマとなっている国の概要を、あらかじめ決めた履修者のグループから発表してもらいます。
- 3) その後、教員からテーマとなっている国の人々の生活を知る手がかりとなるようなトピックを紹介しします。
- 4) 提示されたトピックについて理解を深めるため、ディスカッションや、クイズ、ワークショップなどから2～3個程度のグループワークを行います。
- 5) 最後にまとめを行います。

※履修者のコメントや質問等については授業内で適宜取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス：異文化理解の方法とは何か？	この授業の概要を説明するとともに、異文化理解の方法について講義を行います。
2	ラテンアメリカの概要を知る：世界最初の「グローバル」化	ラテンアメリカの概要について「グローバル化」をキーワードに解説します。
3	ラテンアメリカの人々を知る：多様な人々が住む世界	ラテンアメリカの人々について「多様性」をキーワードに解説します。

4	ペルー：浮島を作って暮らす人々から学ぶ	ペルーのチチカカ湖で生きる人々の生活について、日本の生活との比較を交えながら想像することを試みます。
5	ボリビア：精霊たちと暮らす方法	ボリビアのアンデス地域における精霊信仰について、日本の生活との比較を交えながら想像することを試みます。
6	メキシコ：「落書き」で世界を表現する	メキシコにおけるグラフィティや壁画の実践をトピックに、実際にグラフィティ制作を体験しながら学びます。
7	ベネズエラ：隠れた石油大国の音楽	ベネズエラの音楽文化をトピックに、実際にベネズエラ音楽を体験しながら学びます。
8	キューバ：革命ってどんなもの？	革命後のキューバに生きる人の生活について理解した上で、政治と日常の関係について議論します。
9	ブラジル：熱帯雨林の生活を想像する	ブラジルのアマゾン地域における人と動物の関係について学びつつ、その関係性を想像してみます。
10	アルゼンチン：海を渡った「ニホンジン」と彼らの挑戦	アルゼンチンに渡った日本人について知るとともに、その足跡を次世代につなげるための方法を考えます。また次回授業に向けて準備をします。
11	日本：日本のラテンアメリカ人を訪ねて	ラテンアメリカから日本に来た方をゲストとして招き、講演を行います。
12	レポート課題の執筆計画を立てる	期末レポートの執筆計画を立て、グループで話し合います。
13	レポート課題の草稿をピアレビューする	期末レポートの草稿を持ち寄り、グループでピアレビューします。
14	まとめ：世界は広い、そして多様である	授業の内容を再び「多様性」や「生活」などといったキーワードから振り返ります。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
- 2) コメントペーパーを授業後に毎回提出する必要があります。また、毎回の授業冒頭で、前回の授業内容についての小テストを行うので、復習が求められます。
- 3) 授業では、グループごとに国の基本情報を調べて発表することになるので、相応の負担があることを理解しておいてください。

【テキスト（教科書）】

教科書は必要としません。

【参考書】

授業内に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

コメントペーパー 25%（各回の授業後に200字以上のコメントをLMSを通じて提出）

小テスト 25%（各回の授業冒頭で前回授業の内容について小テストを実施）

授業内グループ発表 20%（グループごとに国の基本情報を調べて発表）

期末レポート 30%（選択した国の生活について3000字程度のレポートを提出）

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

1) 授業中にWordを使うことがあるので、PC・タブレット等を用意し、Wordのアプリをダウンロードしておいてください。

2) 本授業の受講に際して、文化人類学・ラテンアメリカ地域についての事前知識は必要ありませんが、レポート作成に必要な基本技能はあらかじめ身につけている必要があります。

【その他の重要事項】

- 1) 本授業は、グループワークや自主研究を中心にしたアクティブラーニング型の講義となるので、この点を理解した上で履修してください。
- 2) 授業では、グループごとに国の基本情報を調べて発表することになるので、相応の負担があることを理解しておいてください。
- 3) 履修生が多い場合、課題についての個別のフィードバックは行えない場合があります。また、授業成果物については、教育に活かすため、今回／今後の授業で他の履修生と共有される場合があります。

【Outline (in English)】**【Course Outline】**

Latin America lies on the opposite side of the world from Japan, making it a region that may feel unfamiliar. However, it is home to a fascinating and diverse range of cultures and lifestyles.

This course explores everyday life in different Latin American countries. By learning about their customs and experiences, students will gain insights into how people live in this region and what we can learn from them.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will:

- Develop an appreciation for the vast cultural diversity of the world.
- Learn to understand other cultures from the perspective of everyday life.
- Acquire foundational knowledge about Latin American societies and cultures.
- Improve their ability to learn collaboratively through group work.

【Course Format】

Each class follows this structure:

- A short quiz reviewing the previous session.
- A student group presentation on the country of the day.
- A lecture introducing key aspects of daily life in that country.
- Interactive activities such as discussions, quizzes, or workshops.
- A summary and closing discussion.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Expect about two hours of preparation and review per session.

A short reflection paper (comment paper) is required after each class.

Weekly quizzes will test knowledge of previous sessions.

Students will conduct research and present on assigned countries in groups.

【Grading Criteria】

- Comment Papers: 25%(200+ words submitted via LMS after each class)
- Quizzes: 25%(weekly short tests on past lessons)
- Group Presentation: 20%(research and presentation on a country)
- Final Report: 30%(approximately three A4 pages on daily life in a selected country)

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：死と傷／悼みの人類学

菊池 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人は死をどのようなものと捉え、それにいかに向き合ってきたか。どのように死者を悼み、新たな関係性に置かれた自分を生きようとしてきたか。本授業では、死と悲嘆・喪に関する人類学的研究を概観しながら主要な理論や概念について学ぶとともに、世界の諸地域に見られる、死の観念、葬送儀礼、喪の様式の多様性を把握する。また、現代社会における死や看取りのあり方、追悼・哀悼をめぐる諸問題について、人類学的な視点から考える力を養う。死別の経験が、生き残った者の甦生の萌芽を宿していることを学ぶ。

【到達目標】

- ・死や悲嘆・喪をめぐる人々の多様な実践について、人類学的に理解することができる。
- ・現代社会における死や悲嘆・喪に関する問題について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とする。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭でいくつか紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	死と喪の人類学説史 I（～1980年代）	デュルケム的な構造機能主義を反映した、初期の人類学的研究
第3回	死と喪の人類学説史 II（1990年代～）	個人的な経験としての死別、既存の宗教的・文化的な喪の方法が適用し難い死、生者による死者への応答としての喪
第4回	死の観念	世界各地の様々な死の観念
第5回	葬送儀礼	世界各地の様々な葬送・埋葬の儀礼
第6回	悲嘆と喪	死者を悼むこと
第7回	中間のまとめ	前半の講義の理解度の確認を兼ねて、関連する民族誌を読み解く課題に取り組む
第8回	現代社会における死	自然災害や紛争などによる大量死や、脳死、孤独死など
第9回	看取り・死とケア	看取りと死をめぐるとケアの実践・文化
第10回	（エスノ・）ナショナルな追悼実践	国家や共同体による追悼実践

第11回	人々の哀悼実践	人々の日々の哀悼実践
第12回	異形の死と向き合う	遺体が見つからないような、既存の喪の方法を用いることが困難な死（者）とどう向き合うか
第13回	文化人類学者と死別の経験	死別の経験と研究との関係
第14回	まとめ	授業内容のふり返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて、関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・内堀基光、山下晋司1986『死の人類学』弘文堂。
- ・北村毅2009『死者たちの戦後誌—沖縄戦跡をめぐる人々の記憶』御茶の水書房。
- ・川村邦光2013『弔い論』青弓社。
- ・デヴィッド・サドナウ1992『病院でつくられる死』岩田啓靖・志村哲郎・山田富秋（共訳）せりか書房。
- ・野田正彰1992『喪の途上にて』岩波書店。
- ・P.メトカーフ、R.ハンティントン1996『死の儀礼：葬送習俗の人類学的研究〔第二版〕』池上良正、池上富美子（訳）未來社。
- ・Rosaldo, R. 2014. The Day of Shelly's Death: The Poetry and Ethnography of Grief. Durham & London: Duke University Press.

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（40％）：リアクションペーパー、中間のまとめの課題等。
- ・学期末レポート（60％）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講にあたって、文化人類学の基本的な考え方や方法論についての理解が必要となりま
す。文化人類学の科目を受講したことがない学生さんを含め、事前に指定する課題文献に
目を通しておいて下さい。初日の授業内でも短い概説を行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course introduces the Anthropology of Death, Mourning and Burial. The goal of this course is to learn anthropological theories and concepts about death, and the rituals of mourning and the forms of burial. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：開発と文化の人類学

石森 大知

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、開発人類学、すなわち開発援助および国際協力のテーマを文化人類学の視点から取り上げる。現在、世界の各地で、2015 年に国連で定められた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けたさまざまな取り組みが実施され、その成果や有効性に関する調査・研究も進んでいる。21 世紀において人類に課せられた課題は数多くあるが、貧困撲滅、健康向上（国際保健）、環境問題などへの対処は重要である。本授業では、これらの同時代的なグローバル・イシューを通して、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について考察する。

【到達目標】

- ・文化人類学、とくに開発人類学の専門的な概念や理論を習得する。
- ・ものごとを相対的に捉えることによって得られる他者理解の洞察力を身に付ける。
- ・同時代的なグローバル・イシューを理解するとともに、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について自らの視点から考察・検討を行う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・本授業は「フルオンデマンド型／資料・教材コンテンツ配布型授業（全 14 回）」です。履修生のみなさんには主に学習支援システムを通して配信される授業レジュメや動画等の資料を用いた学習を行っています。

・授業の理解度や平常の取り組みを評価するため、基本的に毎回、授業コメントや質問・疑問を求めるリアクションペーパーを課します。

・リアクションペーパー等における興味深いコメントや質問等を授業内で取り上げ、全体に対してフィードバックを行うとともに、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要、成績評価方法の説明
第 2 回	開発概念と関連理論①	開発の誕生
第 3 回	開発概念と関連理論②	社会開発への転換
第 4 回	開発援助と ODA、そして人類学者	開発援助とのかかわり方
第 5 回	貧困撲滅の取り組み①	貧しい／豊かとは何か

第 6 回	貧困撲滅の取り組み②	マイクロファイナンス
第 7 回	健康な生活①	プライマリヘルスケア
第 8 回	健康な生活②	感染症対策と DOTS
第 9 回	森林開発と環境問題①	近代化と環境破壊
第 10 回	森林開発と環境問題②	ソロモン諸島の植林事業
第 11 回	温暖化と環境言説①	ツバルの「海面上昇」
第 12 回	温暖化と環境言説②	ツバルの浸水被害と海岸浸食
第 13 回	観光開発と自然環境	エコツーリズムを考える
第 14 回	総括	授業のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・授業内で紹介する文化人類学や開発人類学の関連文献を読み、授業の理解を深める。

・図書館などで関連文献を調べ、自らの興味関心を広げる。

・本授業の準備学修・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書はとくに指定せず、必要に応じて関連資料を配布する。

【参考書】

授業中に適宜紹介するが、以下のものを挙げておく。

信田敏宏ほか編『グローバル支援の人類学—変貌する NGO・市民活動の現場から』昭和堂、2017 年。

佐藤寛・藤掛洋子編『開発援助と人類学—冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店、2011 年。

佐藤寛『開発援助の社会学』世界思想社、2005 年。

青柳まちこ編『開発の文化人類学』古今書院、2000 年。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート：40%、平常点（リアクションペーパー、出席状況等）：60%として総合的に評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする（ただし、平常点だけでは合格とはなりません。学期末レポートを提出しなかった場合、E 評価になります）。

【学生の意見等からの気づき】

文字や音声などの情報だけではなく、できるだけ多くの写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すようにする。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムや動画閲覧サービス等を利用します。

【その他の重要事項】

・本授業は、大人数授業抽選科目（＝指定された期間に ILAC 事務局にて抽選を行い、受講者が決定される科目）となります。

・本授業では授業コメント（リアクションペーパー）や学期末レポートの提出を課しますが、生成 AI ツールは使用しないでください。

・学期末レポートにおいては、出典の明示を徹底してください（詳細についてはレポート作成要領において説明しますが、出典が明示されていない場合は評価対象外となることがあります）。

・本学では成績評価における S の割合を受講者の 20%以内を目安とすることを定めており（ただし少人数授業等を除く）、本授業でもこれに従って評価を行います。

・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は授業内もしくは学習支援システム等で周知します。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

This course introduces the fundamentals of development anthropology, which seeks to apply anthropological perspectives to the multidisciplinary field of development studies. The aims of the course are to provide a basic knowledge of development anthropology and to understand the impact of development on local culture, environment and society.

[Learning Objectives]

At the end of the course, students will have an understanding of global issues and their own opinions on the sustainable coexistence of development and local societies, cultures and environments.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on term-end report (40%) and in class contribution (60%).

SOS200LA (その他の社会科学 / Social science 200)

社会思想 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる
 テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる
 テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業の講義形態で授業を行います。受講生は各授業とも疑問、コメントなどのリアクションをする必要があり、それに対して授業時に応答していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、学ぶ内容、学ぶ方法、成績評価の方法などについてガイダンスを行います
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	発生	日本の近代と在日朝鮮人の発生
4	定着化	定着化と二世の誕生
5	運動	さまざまな運動
6	コミュニティ	朝鮮人コミュニティの変容
7	強制動員	戦時下の在日朝鮮人
8	戦後	占領政策
9	帰国	帰国運動
10	二世（1）	二世たちの挑戦
11	二世（2）	転換期の思想と文化
12	グローバル化（1）	多民族化する日本社会
13	グローバル化（2）	国民の論理を超えて
14	まとめ	在日朝鮮人と日本の進む道

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回ごとに指定するテキスト数十ページを事前に読んでおくことと授業の理解の助けになります。本授業の準備学習・復習時間は、各1～2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に説明します。

【参考書】

授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】

授業後に提出するリアクションペーパー10回分を平常点として50%の成績評価を行います。

各ペーパーの評価基準としては、各回の授業ごとに、主題を理解し、その内容を自らの言葉によって解釈し、表現していることとします。さらに学期末の期末レポートを残りの50パーセントとし、合計100%として成績評価を行います。期末レポートの評価基準としては、授業内容を正確に理解し、それを自分の言葉で表現できていることとします。

いずれにしても、リアクションペーパーと期末レポート両者を提出する必要があります。

【学生の意見等からの気づき】

授業の中で、他の受講生の疑問、質問、コメントなどが紹介されることで授業の理解が深まるので、このような相乗効果が起こるよう、授業中に実践していきます。

【Outline (in English)】

This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course. They are also called Korean minority in Japan or ZAINICHI in Japanese. The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the modern history of ZAINICHI Koreans and a variety of their identities, poetry, literature, movies, music, and some other cultural works.

SOS200LA（その他の社会科学 / Social science 200）

社会思想 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学ぶことを目的とする。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在である。この授業では3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかたを様々な社会思想と関連させて学ぶことを目的としている。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる。

テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる。

在日朝鮮人の在り方を現代思想の視点から理解することができる。

テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行う。各回の授業を進めるごとに毎回コメントを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていく。（基本的には対面授業だが、特別な事情が生じた場合のみオンライン授業を行うこともある。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについて説明
2	導入（1）	在日朝鮮人という存在
3	導入（2）	歴史的背景
4	在日一世とは何か	植民地朝鮮から日本へ
5	在日二世とは何か	日本での定住化、二世論の誕生
6	金時鐘（キム・シジョン）を読む	朝鮮と日本に生きる（1）
7	金時鐘を読む（2）	朝鮮と日本に生きる（2）
8	ベネディクト・アンダーソン（1）	「想像の共同体」とは何か（1）
9	ベネディクト・アンダーソン（2）	「想像の共同体」とは何か（2）
10	在日三世のカフカ	カフカと在日朝鮮人の共通平面を考える
11	ピエール・クラストル	『国家に抗する社会』とは何か（1）
12	ピエール・クラストルを読む（2）	『国家に抗する社会』とは何か（2）
13	マルクスを読む（1）	生産様式と交換様式について（1）

14 マルクスを読む（2）生産様式と交換様式について（2）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。具体的には準備学習としてテキストの指定した箇所を事前に読んでおくこと、また復習としては講義内容を振り返り、参考文献を読み進めるなどのことができる。

【テキスト（教科書）】

第1回のガイダンス時に説明する。

【参考書】

その他の参考資料については授業中に指定、配布する。

【成績評価の方法と基準】

各授業後に提出してもらう授業レビューシート10回分を（50％）とし、

さらに期末レポート1回分を（50％）とし、合わせて100パーセントとして成績評価を行う。この両者を提出することで成績評価を行う。評価の基準としては授業内容を正確に理解していること、その理解内容を自分の言葉で表現できていることとする。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This class aims to learn about the history and culture of Koreans in Japan. In this class, students will learn about the identity of Koreans in Japan and the world of works such as poetry, literature, movies, music, and performing arts, based on the modern history of Korea and Japan relation.

The standard time for preparation and review for taking classes is two hours each. Specifically, it is possible to read the specified parts of the text in advance as preparation study, and to review the lecture contents and read the reference materials as review.

Grades will be evaluated based on 10 comments (50%) submitted after each class, plus one final report (50%).

SOS200LA（その他の社会科学 / Social science 200）

社会思想ⅠA

2017年度以降入学者

サブタイトル：

林 嵩文

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、18世紀ドイツの哲学者イマヌエル・カントの著作『永遠平和のために』を丹念に読解することを目指します。この著作は国際平和論の古典としてよく知られていますが、その内容は平和論だけに尽きるものではありません。カントはこの著作で、自由とは何か、国家とは何か、法とは何か、政治と道德の関係をどうあるべきかといった原理的な問題に対する独自の解答を提示しています。そのロジックを紐解いていくと同時に批判的に思考していくことがこの授業の目的です。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 抽象的な思想体系を具体的な事例に適用して説明できるようになる。
- (2) 特定の著作の背景をなしている思想史的議論の蓄積を知ること、社会思想・政治思想の全体の流れを説明できるようになる。
- (3) 授業で得た知識を用いて、国際平和にまつわる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していただき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	『永遠平和のために』の背景	時代背景とカント哲学の概要
第3回	『永遠平和のために』第1章①	平和とは何か、他国の併合の禁止
第4回	『永遠平和のために』第1章②	常備軍廃止、戦時国債発行の禁止
第5回	『永遠平和のために』第1章③	内政不干渉、戦争における卑劣な行為の禁止
第6回	『永遠平和のために』第2章①	カントにおける共和主義
第7回	『永遠平和のために』第2章②	国際法の基礎としての「平和連合」
第8回	『永遠平和のために』第2章③	世界市民法と植民地主義
第9回	『永遠平和のために』補説	カントの歴史観
第10回	『永遠平和のために』付録1①	道德とは何か
第11回	『永遠平和のために』付録1②	道德にかなった政治はいかなるものか

第12回 『永遠平和のために』 法の公表性と抵抗権の否定
付録2①

第13回 『永遠平和のために』 法の公表性と戦争の権利
付録2②

第14回 まとめと課題説明 講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1) 教科書の指定した範囲を熟読し、(2) 毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

カント『永遠平和のために』宇都宮芳明訳（改版）、岩波書店（岩波文庫）、2009年。

【参考書】

講義内で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to read critically "Zum ewigen Frieden", written by Immanuel Kant. Students will get clues to think about central issues of society and politics, for example freedom, state, right, and the relation of politics and moral.

SOS200LA（その他の社会科学 / Social science 200）

社会思想 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

林 嵩文

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、18世紀フランスの哲学者ジャン＝ジャック・ルソーの著作『社会契約論』を丹念に読解することを目指します。この著作は人民主権論あるいは民主主義論の古典としてよく知られていますが、その内容は単なる政治制度論ではありません。ルソーはこの著作で、独自の人間観を前提としたうえで、その人間同士が「正しい」秩序を作り上げるためにはどのような仕掛けが必要なのかを徹底的に考察しています。そのロジックを紐解いていくと同時に批判的に思考していくことがこの授業の目的です。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 抽象的な思想体系を具体的な事例に適用して説明できるようになる。
- (2) 特定の著作の背景をなしている思想史的議論の蓄積を知ること、社会思想・政治思想の全体の流れを説明できるようになる。
- (3) 授業で得た知識を用いて、人民主権の制度化にまつわる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していただき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	『社会契約論』の背景	時代背景とルソーの思想の概要
第3回	『社会契約論』1.1～1.6	社会契約の概念
第4回	『社会契約論』1.7～1.9	社会契約のメリット
第5回	『社会契約論』2.1～2.6	一般意志、主権、法の概念
第6回	『社会契約論』2.7	「立法者」とは何か
第7回	『社会契約論』2.8～2.12	法律の種類と人民の性質
第8回	『社会契約論』3.1～3.3	政府の概念
第9回	『社会契約論』3.4～3.10	政府の種類とその良し悪しを決める基準
第10回	『社会契約論』3.11～3.18	主権を維持する手段、および代表制の否定
第11回	『社会契約論』4.1～4.3	投票について
第12回	『社会契約論』4.4～4.7	共和政ローマとルソーの政治思想

第13回 『社会契約論』4.8 社会の基礎としての「市民宗教」

第14回 まとめと課題説明 講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1)教科書の指定した範囲を熟読し、(2)毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

ルソー『社会契約論』 桑原武夫・前川貞次郎訳、岩波書店（岩波文庫）、1954年。

【参考書】

講義内で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to read critically "Du contract social", written by Jean-Jacques Rousseau. Students will get clues to think about central issues of society and politics, for example freedom, citizen, popular sovereignty, representation.

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

呉羽 正昭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

受講生は、観光・ツーリズムに関する地理学の一般的概念を学びます。観光地理学を理解するために必要な諸概念（観光・ツーリズムの概念や構造など）、さまざまな地域スケールでツーリズムに関する特徴について理解します。また、ツーリズムの時間的・地域的展開みられる諸特徴と問題点、将来の課題について、日本における具体的な地域事例とともに理解します。

【到達目標】

この授業は、観光の概念および観光地理学の方法論を習得すること、環境と観光・ツーリズムとの関係について、日本におけるツーリズムの地域的特徴について理解することを目標とします。ツーリズムやさらにそれを取り巻く生活・文化に関する地域的特色の理解を通じて、広い視野で現代社会を主体的に考察する視点を獲得することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式です。理解を深めてもらうために、リアクションペーパーを活用します。準備学習のまとめに使用するとともに、意見・質問の記入も含めて講義内容に関する課題をまとめてもらい、不明点を次回以降の講義で説明することを通じて理解度を確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義テーマの概説
第2回	観光・ツーリズムの概念 —観光やツーリズムとは何か？	観光やツーリズムとは何かを解説します
第3回	観光・ツーリズムの構造 —観光・ツーリズムの要素と構造	観光・ツーリズムの要素や構造を解説します
第4回	観光地理学の概念 —概念および方法論	観光地理学の概念および方法論を解説します
第5回	観光地域の変容プロセス —モデルの解説	モデルに基づいて観光地域の変容プロセスを解説します
第6回	観光・ツーリズムの変遷 —古代～マストゥリズム時代～新しいツーリズムの出現	ツーリズムの変遷について解説します
第7回	エコツーリズムの発展プロセス	エコツーリズムの発展プロセスを解説します
第8回	エコツーリズムの特徴と展望 —西表島や屋久島などにおけるエコツーリズム	西表島や屋久島などの事例をもとにエコツーリズムの特徴や課題を解説します

第9回	日本の避暑ツーリズムの地域的展開	避暑の地域的展開に関して解説します
第10回	日本の湯治・温泉ツーリズムの地域的展開	湯治・温泉ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第11回	日本のルーラル・ツーリズムの地域的展開	ルーラル・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第12回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開 —明治期～高度経済成長期	明治期から高度経済成長期までのスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第13回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開 —バブル期以降	バブル期以降のスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第14回	まとめ	全体のまとめと総括をします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ほぼ毎回、次回講義のトピックに関する課題を出すので、既存文献やインターネットなどで自ら予習して準備します。また、講義中に示された参考文献等で講義内容の理解を深めます。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。授業中の説明で使用する図表が印刷された資料を配布します。参考文献は講義の中でトピックに応じて随時紹介します。

【参考書】

岡本伸之編 2001『観光学入門』有斐閣。
溝尾良隆編 2009『観光学の基礎』原書房。
（財）日本交通公社編 2004『観光読本第2版』東洋経済新報社。
真板昭夫・石森秀三・海津ゆりえ編 2011『エコツーリズムを学ぶ人のために』世界思想社。
ピアス, D. 著, 内藤嘉昭訳 2001『現代観光地理学』明石書店。
江口信清・藤巻正己編 2011『観光研究レファレンスデータベース』ナカニシヤ出版。
呉羽正昭 2017『スキーリゾートの発展プロセス：日本とオーストラリアの比較研究』二宮書店。
矢ヶ崎典隆・山下清海・加賀美雅弘編 2018『グローバリゼーション 縮小する世界』朝倉書店。

【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを期末試験と平常点で評価します。期末試験の評価割合は全体の60%です。毎時間の講義内容の理解度を問う復習課題と次回の講義内容に関する予習課題等の記載内容をそれぞれ評価して平常点（全体の40%）とします。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライド進行の速さについて注意します。

【Outline (in English)】

Students can study basic concept of geography related to tourism. Students can understand various concepts necessary for understanding geography of tourism (concepts and structures of tourism and sightseeing, etc.) and features related to tourism on various regional scales. In addition, Students learn various features, problems and future challenges of tourism that encompasses it, while understanding specific regional examples in Japan.

At the end of the course, students are expected to understand the methodology of tourism geography and the regional characteristics of tourism in Japan.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 60% and Short reports: 40%.

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

加賀美 雅弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義はヨーロッパの地理的特徴を食と景観に着目して考察する。前半は、ヨーロッパの食が自然環境と社会によって規定されてきたことを、いくつかの食材に着目して検討し、社会の格差について考える。後半は、ヨーロッパの街並みに着目して、国民と社会の関係について検討する。

【到達目標】

食と景観に着目し、歴史的、空間的に形成されてきたヨーロッパの社会の格差や階層を理解することによって、ヨーロッパという地域を地理学的な視点から理解することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行われる。基本的にはパワーポイントを使用し、配布資料とあわせて講義内容の理解をはかる。また、毎時間に課すリアクションペーパーで学習内容の理解度を確認し、その総括を次の授業で解説する。また、出された質問に対する回答も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の全体像および進め方を説明する。
第2回	世界の食の地域差	自然・文化・社会と食の関係を考える。
第3回	ヨーロッパの食の地域差	自然と社会と食の関係を考える。
第4回	ヨーロッパにおける貧困層と食	社会的弱者をトウモロコシとジャガイモから考える。
第5回	ヨーロッパにおける富裕層と都市	産業化によって出現した富裕層と都市との関わりについて考える。
第6回	ヨーロッパにおける富裕層と食	都市の社会的強者をカフェを事例にして考える。
第7回	中間まとめ（試験を含む）	授業内容を整理し、ヨーロッパの食と自然・社会についての理解を確認する。
第8回	統合の個性化のヨーロッパ	EUによるヨーロッパ統合と諸地域の個性化について考える。
第9回	ヨーロッパの都市の構造	旧市街を中心にしたヨーロッパの都市構造について考える。
第10回	ヨーロッパにおける街並みの形成	19世紀ヨーロッパの都市における街並み整備の特徴とその理由について考える。
第11回	ヨーロッパにおける街並みの保存	都市において維持・復元される街並みの特徴と、その理由について考える。
第12回	ヨーロッパにおける外国人の街並み	増加する外国人の街並みについて考える。

第13回 ヨーロッパにおける街並みをもたない 로마について考える。

第14回 最終まとめ（試験を含む） 授業内容を整理し、ヨーロッパの街並みと国民、社会との関わりについての理解を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習として、テキストを読んで内容を整理しておく。復習として、授業で学んだ内容をテキストを読み直してまとめる作業を行う。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『食で読み解くヨーロッパー地理研究の現場から』 加賀美雅弘著、朝倉書店、3000円

【参考書】

『国境で読み解くヨーロッパー境界の地理紀行』 加賀美雅弘著、朝倉書店、3000円

【成績評価の方法と基準】

第7回の中間まとめに実施する試験33%、第14回の最終まとめに実施する試験：33%、授業中に課すリアクションペーパーの内容：34%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で行うリアクションペーパーに授業に関する質問や意見を記載することによって、その内容をできるだけ次の授業に反映させる。

【Outline (in English)】

This lecture examines the geographical characteristics of Europe by focusing on food and landscape. In the first half, we will examine the fact that European food has been determined by the natural environment and society, focusing on some ingredients, and consider social disparities. In the second half, we will focus on the streetscape of Europe and examine the relationship between nation and society. The goal of the course is to understand the disparities and hierarchies of European society that have been historically and spatially formed. Your overall grade in the class will be decided based on the following, examinations taken in the 7th class (33%) and in the last class (33%), and reaction paper in every class (34%)

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

数学特講 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

安東 祐希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その1

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて10匹いて足は全部で26本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が40本のはずで…などと考えれば小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜Aがいたとして、鶴と亀と竜Aをあわせて頭は9、足は25、翼は8だったらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜Bは頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜Bをあわせて頭は17、足は48、翼は20の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何が違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この春期授業では、線型代数の基本的な道具である行列と行列式に関し、計算方法を学んでゆく。

【到達目標】

- ・行列の定義を理解し、行列演算に関する計算ができる。
- ・行列式の定義を理解し、行列式に関する計算ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	線型代数の第一歩	鶴亀算
第2回	ベクトルとは	数ベクトルの定義と演算
第3回	ベクトルと図形	一次結合の図形的解釈
第4回	行列とは	行列の定義と演算
第5回	行列演算の性質	線型性
第6回	行列の意味するもの	線型写像と表現行列
第7回	行列演算の再考	線型写像の合成写像

第8回	行列の逆演算	逆行列の定義
第9回	簡単な行列式	低次の行列式
第10回	行列式の性質	多重線型性、交代性、正規性
第11回	行列式の性質再考	行列式の一意性
第12回	一般の行列式	行列式の定義の拡張
第13回	行列式計算の実際	行展開、列展開
第14回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980年、新装版2018年
 ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999年、新装版2010年
 ・H. アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980年、新装版2020年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】

秋期科目「数学特講 L B」の予備知識となる内容を含む。

【Outline (in English)】**[Course outline]**

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially matrices and determinants.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do calculations on matrices and determinants.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)		
数学特講 L B		2017年度以降入学者
サブタイトル：		
安東 祐希		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：2単位		
その他属性：〈優〉		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その2

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて10匹いて足は全部で26本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が40本のはずで…などと考えれば小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜Aがいたとして、鶴と亀と竜Aをあわせて頭は9、足は25、翼は8だったらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜Bは頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜Bをあわせて頭は17、足は48、翼は20の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何が違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この秋期授業では、連立一次方程式の線型代数による一般的解法や、線型空間の理論を学んでゆく。

【到達目標】

- ・階数の定義を理解し、連立一次方程式を一般に解くことができる。
- ・線型写像の定義を理解し、固有値・固有ベクトルを計算できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	鶴亀算再考	クラメールの方法
第2回	正方行列の分析	余因子行列の定義
第3回	逆行列の計算	余因子行列の性質
第4回	余因子行列再考	行列式の展開の応用
第5回	行列の基本変形	階段行列
第6回	基本変形再考	基本変形と連立一次方程式
第7回	基本変形の応用	連立一次方程式の解法

第8回	行列の階数とは	階数と基本変形
第9回	階数再考	階数と一次独立性
第10回	基本変形の行列表現	基本行列
第11回	逆行列再考	基本変形と逆行列
第12回	線型写像の構造	次元定理
第13回	線型写像を見やすく	固有値・固有ベクトル
第14回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

- ・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980年、新装版2018年
- ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999年、新装版2010年
- ・H. アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980年、新装版2020年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】

春期科目「数学特講 L A」で扱う内容を既知として授業を進める。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially linear equations and linear mappings.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to solve linear equations and eigenvalue problems.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	微分の導入1	導関数と曲線の傾き
第03回	微分の導入2	直線によるグラフの近似
第04回	微分の導入3	ニュートン法
第05回	関数の形式と微分1	合成関数の微分
第06回	関数の形式と微分2	陰関数と微分
第07回	関数の形式と微分3	媒介変数表示と微分
第08回	高階導関数1	2階導関数と曲線のしなり
第09回	高階導関数2	放物線によるグラフの近似
第10回	高階導関数3	マクローリン展開
第11回	高階導関数4	社会科学への応用例
第12回	積分1	積分と微分の関係
第13回	積分2	積分と面積の関係
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学I・II」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学ⅠⅡ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の变化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみる事が求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分1	偏微分とその意味
第05回	偏微分2	偏導関数の計算
第06回	偏微分3	全微分と接平面
第07回	偏微分4	社会科学での活用事例
第08回	極値の計算1	2階偏導関数
第09回	極値の計算2	2変数関数の極値計算
第10回	極値の計算3	公務員試験の問題例
第11回	極値の計算4	制約条件付きの極値問題
第12回	データサイエンスへの応用例1	データの傾向を学習して予想する
第13回	データサイエンスへの応用例2	4次元データを見える化する
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学ⅠⅡ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	微分の導入1	導関数と曲線の傾き
第03回	微分の導入2	直線によるグラフの近似
第04回	微分の導入3	ニュートン法
第05回	関数の形式と微分1	合成関数の微分
第06回	関数の形式と微分2	陰関数と微分
第07回	関数の形式と微分3	媒介変数表示と微分
第08回	高階導関数1	2階導関数と曲線のしなり
第09回	高階導関数2	放物線によるグラフの近似
第10回	高階導関数3	マクローリン展開
第11回	高階導関数4	社会科学への応用例
第12回	積分1	積分と微分の関係
第13回	積分2	積分と面積の関係
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学ⅠⅡ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の变化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学 1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学 2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分 1	偏微分とその意味
第05回	偏微分 2	偏導関数の計算
第06回	偏微分 3	全微分と接平面
第07回	偏微分 4	社会科学での活用事例
第08回	極値の計算 1	2階偏導関数
第09回	極値の計算 2	2変数関数の極値計算
第10回	極値の計算 3	公務員試験の問題例
第11回	極値の計算 4	制約条件付きの極値問題
第12回	データサイエンスへの応用例 1	データの傾向を学習して予想する
第13回	データサイエンスへの応用例 2	4次元データを見える化する
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学ⅠⅡ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

池田 宏一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、2変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学Ⅱ」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分1	微分の定義と基本性質
第3回	微分2	積の微分、商の微分、合成関数の微分
第4回	微分3	陰関数の微分
第5回	微分4	曲線の傾きと極値
第6回	微分の応用1	曲線の凹凸と変曲点
第7回	微分の応用2	テイラー展開
第8回	微分の応用3	マクローリン展開
第9回	微分の応用4	近似計算
第10回	積分1	定積分と不定積分
第11回	積分2	リーマン積分
第12回	積分3	微分積分法の基本定理
第13回	積分の応用1	図形の面積
第14回	積分の応用2	立体の体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

この科目を履修するためには、「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学ⅠⅡ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

池田 宏一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の变化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはすである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることを求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	2変数関数1	多変数関数とは
第3回	2変数関数2	平面のグラフ
第4回	2変数関数3	曲面のグラフ
第5回	偏微分1	偏微分とは
第6回	偏微分2	極限值
第7回	偏微分3	偏導関数の計算
第8回	偏微分4	合成関数の微分
第9回	偏微分5	全微分と接平面
第10回	偏微分の応用1	極値問題
第11回	偏微分の応用2	陰関数の微分法
第12回	偏微分の応用3	条件付極値問題
第13回	重積分1	重積分とは
第14回	重積分2	体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。例題などは印刷したものを学習支援システムで配布する。

【参考書】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

この科目を履修するためには、「発展数学ⅠⅡ」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

PHY200LA (物理学/Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようにになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けませんが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe. The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようにになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学/Physics 200)

教養物理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講義全体について紹介する。
第2回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第3回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第4回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第5回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第6回	宇宙：太陽系	第5回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第7回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第8回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第9回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第10回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第11回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。
第12回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。

第13回 ラジウム：ラジウム 狂詩曲 ラジウム発見による当時の騒動、社会に与えた影響について紹介する。

第14回 ラジウム：原子核の 応用について マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題(70%)と期末レポート(30%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講義全体について紹介する。
第2回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第3回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第4回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第5回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第6回	宇宙：太陽系	第5回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第7回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第8回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第9回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第10回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第11回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。
第12回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。
第13回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。

第14回 ラジウム：原子核の マリ・キュリーが目指した応用
応用について 等について紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題(70%)と期末レポート(30%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にはありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA (物理学/Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようなになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe. The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：放射線の性質と利用

井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

放射線は我々の身近に存在している。自然界では、放射線は宇宙から降り注いでいるだけでなく、地殻や大気、さらには食品中にも放射線を出す物質がごく微量ながら含まれている。また、放射線は、社会において広く利用されている。例えば医学では、放射線の性質を利用したがんの治療などが代表例である。他にも様々なところで放射線は利用されており、放射線を理解することは、現代の科学技術を理解する上でも非常に重要である。一方、放射線と聞くと、人体への影響を心配するかも知れない。人体にどのような影響があり、どのようにコントロールすれば良いのか。それを理解するためにも、放射線の性質を科学的に理解することが重要である。

本授業を通して、学生は、現代物理学の知見に基づいて放射線を理解するとともに、放射線や関連する物理学の知見やそれに基づく技術が社会においてどのように利用されているのかを理解する。

【到達目標】

- ・放射線がどのような性質を持つのか、その発生原理とともに理解できる。
- ・がんの粒子線・放射線治療といった医学での具体例をはじめ、放射線の利用例や関連技術について、その原理を放射線の性質と関連付けて理解することができる。
- ・原子力発電や近年研究が進められている核融合発電などの原理を、物理学の知識に基づいて理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行う。

学期中に数回程度、授業内容に関する選択式問題の小テストを、学習支援システム上で実施する。小テストの解説や講評は、第14回授業で実施する。

講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	放射線とは何か説明するとともに、授業内容の概観を示す。
第2回	放射線を見る	動画または実験デモンストレーションによって、霧箱による放射線の観察例を示し、その原理を解説する。また、身近な放射線の例を紹介するとともに、放射線がどのように生体に影響を与えるのかを説明する。
第3回	物理学の基礎知識（1）	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、力学の基礎について解説する。

第4回	物理学の基礎知識（2）	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、光の性質について解説する。
第5回	原子の構造	原子がどのような構造を持つのか解説する。
第6回	X線の発生	これまでの内容を踏まえ、X線の発生原理を解説する。
第7回	原子核	原子核の性質や構造について解説する。
第8回	放射性崩壊	原子核の崩壊と、それによる放射線の発生機構について解説する。
第9回	特殊相対論と質量エネルギー	放射線を学ぶ上で必要な知識として特殊相対論の概略を紹介するとともに、質量エネルギーについて解説する。
第10回	放射線が物質に当たると何が起るのか？（1）	主に電子や陽子などの電荷をもつ粒子が物質に入射すると何が起るのかを解説する。さらに、それを利用したガンの粒子線治療や放射線治療の原理を紹介する。
第11回	放射線が物質に当たると何が起るのか？（2）	主にX線やγ線、中性子線が物質に入射したときに何が起るのかを解説する。
第12回	原子炉	原子炉の原理や原子炉内で起こる核反応について解説するとともに、それを利用した原子力発電の原理を説明する。
第13回	核融合発電に向けて	近年実用化に向けた研究が進められている核融合発電について、その原理や現状について解説する。
第14回	まとめと試験	全体のまとめを行うとともに、期末試験を実施する。また、学期中に実施した小テストの講評や解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学・技術に関連するニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配付資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績(70%)と平常点(30%)で評価する。期末試験では、授業中に配付した資料やノート、メモなどの参照を可とする。平常点については、学期中に数回実施する小テストの提出状況により評価する。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい説明を心がけます。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces basic knowledge of the radiation physics. It also helps students acquire understand how to use the radiation and the related techniques in modern society.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Explain properties of radiation and radiation sources
- ・ Explain the principles of radiation-related technology
- ・ Explain the principle and utilization of nuclear reactor

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on term-end exam (70%) and usual performance score (30%).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：異なる細胞が合体して真核細胞が誕生・進化する

野崎 久義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

バクテリアからヒトまで「生物」とよく言うが、両者の細胞構造は基本的に異なり、バクテリアではミトコンドリアが細胞中にない。更に植物はヒトのような動物とは異なり、細胞の中に光合成を行う葉緑体をもつ。この授業では、このような「真核細胞」内のオルガネラが「細胞内共生」という異なる生物の合体で誕生し、多様化していることの理解を目的とする。このためには現在地球上に存在する生物の多様性と細胞内部の構造と遺伝物質DNAの存在状態を理解する必要がある。また、オルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）が持つ独自のDNAとその遺伝様式を理解する。自分の体を構成する細胞に10-20億年前のバクテリアの「細胞内共生」という歴史がある。さらにそのバクテリアの末裔が現在でも細胞内のオルガネラとして生きていて、顕微鏡で観察することができ、オルガネラのDNAを系統解析することでその生い立ちを辿ることができることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の研究内容も紹介する。

【到達目標】

地球上に存在する多様な生物が細胞内のオルガネラのどのような基本的特徴でどのように分類されるか、オルガネラのミトコンドリアと葉緑体が「細胞内共生」で誕生したことがどのようにして分かるか、ミトコンドリアと葉緑体はどのような様式で遺伝するか、オルガネラのDNAをどのように系統解析してそれらの起源が探れるかを理解する。ミトコンドリアと葉緑体の細胞内共生による誕生は10-20億年前と言われているが、それから現在に至るまでに更なる細胞内共生が起きて細胞が大きく進化・多様化していること、現在でも新しい細胞内共生が起きていて生物の細胞が刻々と進化していることも理解する。生命の最小単位である細胞について、その多様性と進化史的について、理解を深める。また、現在地球上の生物のDNA・ゲノム情報はインターネットを通じて無償で入手することができ、これらの情報にアクセスする手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生物学における基本的な3学説の紹介	細胞説、遺伝学説、進化学説についてそれらの基本と歴史を解説する。
2	細胞の基本的な特徴と多様性および進化	生物の多様性と進化を細胞の基本的な特徴から解説する。

3	生物全体の多様性と分類	生物と呼ばれているものの多様性と大まかな分類の概要と歴史を解説する。
4	細胞内共生説：異なる起源の細胞が合体して新たな細胞が誕生する	異なる起源の細胞が合体して我々ヒトのような生物の細胞（真核細胞）が誕生したという「細胞内共生説」について解説する。
5	細胞内共生による動物や植物の細胞の起源	動物や植物の細胞内に存在するミトコンドリアと葉緑体は太古（10-20億年前）に起きた細胞内共生に起源すると考えられている。これらを解説する。
6	細胞内に残存する太古の細胞内共生の構造的痕跡	細胞内共生を細胞内の構造から理解する。
7	細胞内共生の証拠としてのオルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）DNA	オルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）のDNAについて解説する。
8	ミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝	メンデルの法則とは異なるミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝様式について解説する。
9	オルガネラの起源をDNAから探る	オルガネラの起源のDNAからの推定について説明する。
10	細胞内共生したオルガネラの起源の生物のDNAは宿主細胞（ホスト）に奪われてゆく	細胞内共生の結果誕生したオルガネラのDNAはホストの核に移動してゆく「細胞内共生遺伝子水平伝達」という現象があり、これを説明し、系統解析から理解してもらう。
11	くり返して起きた細胞内共生	植物細胞で見られる葉緑体の2回目の細胞内共生は「二次共生」といい、その結果誕生した「二次植物」について解説する。
12	ミドリムシは昔紅かった	単細胞生物のミドリムシが昔は紅かったという仮説を細胞内共生から解説します。
13	現在でも進行する細胞内共生1：他人の細胞内で生きる細菌	オルガネラではないが、動植物（真核生物）の細胞内に住み着いているバクテリア「細胞内共生細菌」について紹介する。
14	現在でも進行する細胞内共生2：ホスト側からの捕獲	光合成する植物細胞を食べることで自分の体に入れて光合成させる単細胞生物や海産動物を紹介しします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

内容が専門的で高校で生物学を学ばない人でもわかるようにして欲しいという意見があるが、本講義は入門生物学でないものでそのような要望は受け入れられない。自分で高校レベルの生物学を学んでから受講すべきである。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特になが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム・遺伝子情報に直接アクセスしやすいです。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞、遺伝、進化、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

Although we often speak of "organisms" from bacteria to humans, their cellular structures are fundamentally different: bacteria do not have mitochondria in their cells. Furthermore, unlike animals such as humans, plants have chloroplasts in their cells. The purpose of this lecture is to understand that these intracellular organelles originate from "ancient endosymbiosis", which was established by the union of different organisms from 1 to 2 billion years ago. For this purpose, it is necessary to understand the diversity of organisms that currently exist on the earth, as well as the morphology inside the cell and the state and distribution of the genetic material DNA. We will also understand the unique DNA and mode of inheritance of the organelles. The cells that make up our own bodies have a history of "intracellular symbiosis" with bacteria from 1 to 2 billion years ago. Furthermore, the students should understand that the descendants of those bacteria still live as organelles in our cells, which can be observed under a microscope, and that the origin of the organelles can be traced by phylogenetic analysis of their DNA. From time to time, we will also introduce results of Nozaki's original research.

【Learning Objectives】

To understand how the diversity of organisms on earth can be classified by the basic characteristics of their intracellular organelles, how the mitochondria and chloroplasts of organelles came into being in "intracellular symbiosis," what mode of inheritance mitochondria and chloroplasts have, and how the DNA of organelles can be phylogenetically analyzed to find their origin. The students will also understand that further intracellular symbiosis has occurred since then and that cells have evolved and diversified greatly, and that new intracellular symbiosis is still occurring and the cells of living organisms are evolving moment by moment. Students will deepen their understanding of the cell, the smallest unit of life, and its diversity and evolutionary history. In addition, DNA and genome information on living organisms on the earth is currently available free of charge via the Internet, and students will learn about methods for obtaining this information and conducting phylogenetic analysis.

【Learning activities outside of classroom】 The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：メス・オスのはじまりと老死の起源を緑藻ボルボックスの仲間から探る

野崎 久義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々ヒトの一生は両親にあたる「メスとオス」の出会いに始まり、成長の後また両親と同じようなことを繰り返すが、成長した個体はやがて「老死」という運命を迎える。しかし、生物全体を見渡せば単純な体制をした単細胞生物等では分裂で増殖するので「老死」もなければ「メスとオスの差異」も存在しない。従って、生命が誕生した初期では「老死」もなければ「メスとオス」の差異も存在しない単細胞の段階があり、多細胞生物に進化する段階で両者が出現したと考えられる。これらの進化を探索するには真核生物が誕生した10-20億年前の状況を調査する必要があるとも考えられるが、これは不可能である。しかし、緑藻類のボルボックスの仲間（ボルボックス系列）は単細胞性のものから「老死」と「メスとオス」を持つ複雑な体制をしたものまで様々な進化段階の生物が現存しているため、現存の生物の比較でこれらの進化が研究できる。そのために、これらの生物を採集して培養株を確立し、最先端の生物学的手法を用いた研究が進展している。この授業では、このような「老死」と「メスとオス」に関連する多様性と進化を緑藻類のボルボックス系列に着目して理解することを目的とする。このためには自然界に生育するボルボックスの仲間をどのように採集して培養株とするか、ボルボックス系列の生物がどのような様子をどのように理解する必要がある。また、老死とメス・オスの進化は「多細胞化」に関連しており、ボルボックス系列を用いた多細胞化に関連する研究も紹介する。ヒトの様な多細胞の動物が進化した10億年以上も昔の我々の祖先が「老死」も「メスとオス」もないものであったというという歴史があるが、直接的に探れない。しかし、ボルボックスの仲間を用いた研究からこの歴史が推測できることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の緑藻ボルボックスの仲間の研究内容も紹介する。

【到達目標】

ヒトの一生で避けることのできない重大な2つの過程、「メスとオスの出会い」と「老死」が太古の祖先の多細胞生物に進化する段階で獲得されたものであり、これらを持たない単細胞生物が現存することを理解する。さらに、性（sex）進化と多細胞化の研究のモデル生物群である緑藻ボルボックスの仲間（ボルボックス系列）に焦点をあててこれらの2つの進化に関連する研究内容を紹介するが、基本的にボルボックス系列がどのような生物であるか、さらにこれらの生物のフィールドでの採集と実験室における培養株の確立の方法も理解する。また、ボルボックス系列の代表的な種的全ゲノム情報は公開されているので、ゲノム情報はインターネットを通じて無償で調査することができる。従って、着目する生物に目的の遺伝子があるかどうか検索する基本的な手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メスとオスの出会いと老死	メスとオスの出会いと老死、それらの存在意義を解説する。
2	ヒトの一生と生活環境	ヒトの生活環境を理解して、後から学習するクラミドモナスやボルボックスと比較する材料とします。
3	メスとオスの差も老死もない単細胞生物	メスとオスの差も老死もない単細胞生物であるクラミドモナスを解説する。
4	メスとオスの差と老死が認められる多細胞生物ボルボックス	ボルボックスにおけるメスとオスの差と老死を解説する。ここで性（sex）と雌雄は異なるものであることも理解してもらいます。
5	性進化と多細胞化研究のモデル生物群ボルボックス系列、世界最小の多細胞生物“シアワセモ”	ボルボックス系列の生物がどのようなのかについて解説する。また、世界最小の多細胞生物シアワセモも紹介します。
6	多細胞化と老死の不一致、“永遠の命”を得た多細胞生物ボルボックス	ボルボックス系列を用いて多細胞化と老死の進化は一致しないことを解説する。また、老死細胞を決定する遺伝子を失ったボルボックスの突然変異体を紹介します。
7	性（sex）と雌雄性	性（sex）と雌雄性（メスとオスに分化すること）は異なる概念であることをボルボックス系列を用いて説明する。
8	哺乳類の性決定遺伝子と性染色体	哺乳類の性決定遺伝子と性染色体について説明する。
9	メスとオスの未分化な生物からメスとオスの明瞭な生物への進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”	ボルボックスの仲間における雌雄性の進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”の発見と性決定、性染色体について解説する。
10	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性進化	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性と性進化の研究を解説する。
11	古代湖琵琶湖のボルボックス	日本の古代湖から採集されたボルボックスについて解説します。
12	熱帯に未知なるボルボックス系列を求め	熱帯、特にタイとアフリカにおけるボルボックス系列のフィールド調査とその研究成果を解説します。
13	全ゲノム解読による性進化の研究	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化、メス・オスの未分化な同型配偶からメス・オスの明瞭な生物への進化の研究成果について解説する。
14	赤の女王仮説と性が知られていなかった原生物における性の発見	性に関する有名な仮説「赤の女王仮説」とこれまで「性」がないと思われていた原生物のエリ鞭毛虫（2013年）と単細胞紅藻（2022年）で「性」の存在が明らかになった研究とその進化的重要性を解説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書等は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

内容が専門的で高校で生物を学ばない人でもわかるようにして欲しいという意見があるが、本講義は入門生物学でないものでそのような要望は受け入れられない。自分で高校レベルの生物学を学んでから受講すべきである。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム情報の探索が実際に自分で行える。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞分裂、生殖、染色体、遺伝子、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The life of a human being begins with the encounter between the "male" and "female," which are the parents, and after growing up, the human being repeats the same process as the parents, but the grown individual eventually meets the fate of "aging death." However, if we look at all living organisms, we find that single-celled organisms, which have a simple structure, multiply by division, so there is no "aging death" and no "male and female differentiation". Therefore, it is thought that in the early stages of life, there was a unicellular stage in which there was neither aging death or male and female differentiation, and that both appeared during the evolution of multicellular organisms. One could argue that exploring these evolutionary processes would require investigating conditions 1 to 2 billion years ago, when eukaryotes emerged, but this is not possible. However, since there are extant organisms of various evolutionary stages in the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), ranging from unicellular ones to complex multicellular bodies with "aging death" and "male and female genders," these evolutions can be studied by comparing the extant organisms. To this end, research is progressing by collecting these organisms from natural fields, establishing culture strains, and using cutting-edge biological techniques. The aim of this class is to understand such diversity and evolution related to "aging death" and "sex" by focusing on members of the volvocine lineage. For this purpose, it is necessary to understand how to collect naturally growing members of volvocine species and what kind of organisms the volvocine species are. In addition, the evolution of "aging death" and "male and female genders" is related to "multicellularity," and studies related to multicellularity using the volvocine species will also be presented. The history of our ancestors more than a billion years ago, when multicellular organisms evolved, is that they had neither "aging death" nor "male and female differentiation," but this cannot be directly explored. However, we hope you will understand that this history can be inferred from studies using organisms belonging to the volvocine lineage. From time to time, we will also introduce related studies by Nozaki's group.

【Learning Objectives】

We will understand that two critical processes that cannot be avoided in the human life span, "female-male encounter" and "old age and death," were acquired during the evolution of our ancient ancestors into multicellular organisms, and that unicellular organisms without these processes exist today. In addition, we will focus on the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), which is a model organism group for the study of sex evolution and multicellularity, and introduce research related to these two evolutionary events, but we will also explain what the volvocine lineage is basically like, and how to collect these organisms in the field and establish laboratory cultures. The course will also provide an understanding of the field collection of these organisms and how to establish culture strains in the laboratory. In addition, the genome information of representative species of the volvocine lineage is publicly available, and genome information can be researched free of charge via the Internet. Therefore, students will also learn basic methods to search for the presence of target genes in the organisms of interest.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：異なる細胞が合体して真核細胞が誕生・進化する

野崎 久義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

バクテリアからヒトまで「生物」とよく言うが、両者の細胞構造は基本的に異なり、バクテリアではミトコンドリアが細胞中にない。更に植物はヒトのような動物とは異なり、細胞の中に光合成を行う葉緑体をもつ。この授業では、このような「真核細胞」内のオルガネラが「細胞内共生」という異なる生物の合体で誕生し、多様化していることの理解を目的とする。このためには現在地球上に存在する生物の多様性と細胞内部の構造と遺伝物質DNAの存在状態を理解する必要がある。また、オルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）が持つ独自のDNAとその遺伝様式を理解する。自分の体を構成する細胞に10-20億年前のバクテリアの「細胞内共生」という歴史がある。さらにそのバクテリアの末裔が現在でも細胞内のオルガネラとして生きていて、顕微鏡で観察することができ、オルガネラのDNAを系統解析することでその生い立ちを辿ることができることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の研究内容も紹介する。

【到達目標】

地球上に存在する多様な生物が細胞内のオルガネラのどのような基本的特徴でどのように分類されるか、オルガネラのミトコンドリアと葉緑体が「細胞内共生」で誕生したことがどのようにして分かるか、ミトコンドリアと葉緑体はどのような様式で遺伝するか、オルガネラのDNAをどのように系統解析してそれらの起源が探れるかを理解する。ミトコンドリアと葉緑体の細胞内共生による誕生は10-20億年前と言われているが、それから現在に至るまでに更なる細胞内共生が起きて細胞が大きく進化・多様化していること、現在でも新しい細胞内共生が起きていて生物の細胞が刻々と進化していることも理解する。生命の最小単位である細胞について、その多様性と進化史的について、理解を深める。また、現在地球上の生物のDNA・ゲノム情報はインターネットを通じて無償で入手することができ、これらの情報にアクセスする手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生物学における基本的な3学説の紹介	細胞説、遺伝学説、進化学説についてそれらの基本と歴史を解説する。
2	細胞の基本的な特徴と多様性および進化	生物の多様性と進化を細胞の基本的な特徴から解説する。

3	生物全体の多様性と分類	生物と呼ばれているものの多様性と大まかな分類の概要と歴史を解説する。
4	細胞内共生説：異なる起源の細胞が合体して新たな細胞が誕生する	異なる起源の細胞が合体して我々ヒトのような生物の細胞（真核細胞）が誕生したという「細胞内共生説」について解説する。
5	細胞内共生による動物や植物の細胞の起源	動物や植物の細胞内に存在するミトコンドリアと葉緑体は太古（10-20億年前）に起きた細胞内共生に起源すると考えられている。これらを解説する。
6	細胞内に残存する太古の細胞内共生の構造的痕跡	細胞内共生を細胞内の構造から理解する。
7	細胞内共生の証拠としてのオルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）DNA	オルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）のDNAについて解説する。
8	ミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝	メンデルの法則とは異なるミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝様式について解説する。
9	オルガネラの起源をDNAから探る	オルガネラの起源のDNAからの推定について説明する。
10	細胞内共生したオルガネラの起源の生物のDNAは宿主細胞（ホスト）に奪われてゆく	細胞内共生の結果誕生したオルガネラのDNAはホストの核に移動してゆく「細胞内共生遺伝子水平伝達」という現象があり、これを説明し、系統解析から理解してもらう。
11	くり返して起きた細胞内共生	植物細胞で見られる葉緑体の2回目の細胞内共生は「二次共生」といい、その結果誕生した「二次植物」について解説する。
12	ミドリムシは昔紅かった	単細胞生物のミドリムシが昔は紅かったという仮説を細胞内共生から解説します。
13	現在でも進行する細胞内共生1：他人の細胞内で生きる細菌	オルガネラではないが、動植物（真核生物）の細胞内に住み着いているバクテリア「細胞内共生細菌」について紹介する。
14	現在でも進行する細胞内共生2：ホスト側からの捕獲	光合成する植物細胞を食べることで自分の体に入れて光合成させる単細胞生物や海産動物を紹介しします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

内容が専門的で高校で生物学を学ばない人でもわかるようにして欲しいという意見があるが、本講義は入門生物学でないものでそのような要望は受け入れられない。自分で高校レベルの生物学を学んでから受講すべきである。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特になが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム・遺伝子情報に直接アクセスしやすいです。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞、遺伝、進化、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

Although we often speak of "organisms" from bacteria to humans, their cellular structures are fundamentally different: bacteria do not have mitochondria in their cells. Furthermore, unlike animals such as humans, plants have chloroplasts in their cells. The purpose of this lecture is to understand that these intracellular organelles originate from "ancient endosymbiosis", which was established by the union of different organisms from 1 to 2 billion years ago. For this purpose, it is necessary to understand the diversity of organisms that currently exist on the earth, as well as the morphology inside the cell and the state and distribution of the genetic material DNA. We will also understand the unique DNA and mode of inheritance of the organelles. The cells that make up our own bodies have a history of "intracellular symbiosis" with bacteria from 1 to 2 billion years ago. Furthermore, the students should understand that the descendants of those bacteria still live as organelles in our cells, which can be observed under a microscope, and that the origin of the organelles can be traced by phylogenetic analysis of their DNA. From time to time, we will also introduce results of Nozaki's original research.

【Learning Objectives】

To understand how the diversity of organisms on earth can be classified by the basic characteristics of their intracellular organelles, how the mitochondria and chloroplasts of organelles came into being in "intracellular symbiosis," what mode of inheritance mitochondria and chloroplasts have, and how the DNA of organelles can be phylogenetically analyzed to find their origin. The students will also understand that further intracellular symbiosis has occurred since then and that cells have evolved and diversified greatly, and that new intracellular symbiosis is still occurring and the cells of living organisms are evolving moment by moment. Students will deepen their understanding of the cell, the smallest unit of life, and its diversity and evolutionary history. In addition, DNA and genome information on living organisms on the earth is currently available free of charge via the Internet, and students will learn about methods for obtaining this information and conducting phylogenetic analysis.

【Learning activities outside of classroom】 The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：メス・オスのはじまりと老死の起源を緑藻ボルボックスの仲間から探る

野崎 久義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々ヒトの一生は両親にあたる「メスとオス」の出会いに始まり、成長の後また両親と同じようなことを繰り返すが、成長した個体はやがて「老死」という運命を迎える。しかし、生物全体を見渡せば単純な体制をした単細胞生物等では分裂で増殖するので「老死」もなければ「メスとオスの差異」も存在しない。従って、生命が誕生した初期では「老死」もなければ「メスとオス」の差異も存在しない単細胞の段階があり、多細胞生物に進化する段階で両者が出現したと考えられる。これらの進化を探索するには真核生物が誕生した10-20億年前の状況を調査する必要があるとも考えられるが、これは不可能である。しかし、緑藻類のボルボックスの仲間（ボルボックス系列）は単細胞性のものから「老死」と「メスとオス」を持つ複雑な体制をしたものまで様々な進化段階の生物が現存しているため、現存の生物の比較でこれらの進化が研究できる。そのために、これらの生物を採集して培養株を確立し、最先端の生物学的手法を用いた研究が進展している。この授業では、このような「老死」と「メスとオス」に関連する多様性と進化を緑藻類のボルボックス系列に着目して理解することを目的とする。このためには自然界に生育するボルボックスの仲間をどのように採集して培養株とするか、ボルボックス系列の生物がどのような様子をどのように理解する必要がある。また、老死とメス・オスの進化は「多細胞化」に関連しており、ボルボックス系列を用いた多細胞化に関連する研究も紹介する。ヒトの様な多細胞の動物が進化した10億年以上も昔の我々の祖先が「老死」も「メスとオス」もないものであったというという歴史があるが、直接的に探れない。しかし、ボルボックスの仲間を用いた研究からこの歴史が推測できることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の緑藻ボルボックスの仲間の研究内容も紹介する。

【到達目標】

ヒトの一生で避けることのできない重大な2つの過程、「メスとオスの出会い」と「老死」が太古の祖先の多細胞生物に進化する段階で獲得されたものであり、これらを持たない単細胞生物が現存することを理解する。さらに、性（sex）進化と多細胞化の研究のモデル生物群である緑藻ボルボックスの仲間（ボルボックス系列）に焦点をあててこれらの2つの進化に関連する研究内容を紹介するが、基本的にボルボックス系列がどのような生物であるか、さらにこれらの生物のフィールドでの採集と実験室における培養株の確立の方法も理解する。また、ボルボックス系列の代表的な種的全ゲノム情報は公開されているので、ゲノム情報はインターネットを通じて無償で調査することができる。従って、着目する生物に目的の遺伝子があるかどうか検索する基本的な手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メスとオスの出会いと老死	メスとオスの出会いと老死、それらの存在意義を解説する。
2	ヒトの一生と生活環境	ヒトの生活環境を理解して、後から学習するクラミドモナスやボルボックスと比較する材料とします。
3	メスとオスの差も老死もない単細胞生物	メスとオスの差も老死もない単細胞生物であるクラミドモナスを解説する。
4	メスとオスの差と老死が認められる多細胞生物ボルボックス	ボルボックスにおけるメスとオスの差と老死を解説する。ここで性（sex）と雌雄は異なるものであることも理解してもらいます。
5	性進化と多細胞化研究のモデル生物群ボルボックス系列、世界最小の多細胞生物“シアワセモ”	ボルボックス系列の生物がどのようなものかについて解説する。また、世界最小の多細胞生物シアワセモを紹介します。
6	多細胞化と老死の不一致、“永遠の命”を得た多細胞生物ボルボックス	ボルボックス系列を用いて多細胞化と老死の進化は一致しないことを解説する。また、老死細胞を決定する遺伝子を失ったボルボックスの突然変異体を紹介します。
7	性（sex）と雌雄性	性（sex）と雌雄性（メスとオスに分化すること）は異なる概念であることをボルボックス系列を用いて説明する。
8	哺乳類の性決定遺伝子と性染色体	哺乳類の性決定遺伝子と性染色体について説明する。
9	メスとオスの未分化な生物からメスとオスの明瞭な生物への進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”	ボルボックスの仲間における雌雄性の進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”の発見と性決定、性染色体について解説する。
10	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性進化	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性と性進化の研究を解説する。
11	古代湖琵琶湖のボルボックス	日本の古代湖から採集されたボルボックスについて解説します。
12	熱帯に未知なるボルボックス系列を求め	熱帯、特にタイとアフリカにおけるボルボックス系列のフィールド調査とその研究成果を解説します。
13	全ゲノム解読による性進化の研究	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化、メス・オスの未分化な同型配偶からメス・オスの明瞭な生物への進化の研究成果について解説する。
14	赤の女王仮説と性が知られていなかった原生生物における性の発見	性に関する有名な仮説「赤の女王仮説」とこれまで「性」がないと思われていた原生生物のエリ鞭毛虫（2013年）と単細胞紅藻（2022年）で「性」の存在が明らかになった研究とその進化的重要性を解説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書等は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

内容が専門的で高校で生物を学ばない人でもわかるようにして欲しいという意見があるが、本講義は入門生物学でないものでそのような要望は受け入れられない。自分で高校レベルの生物学を学んでから受講すべきである。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム情報の探索が実際に自分で行える。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞分裂、生殖、染色体、遺伝子、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The life of a human being begins with the encounter between the "male" and "female," which are the parents, and after growing up, the human being repeats the same process as the parents, but the grown individual eventually meets the fate of "aging death." However, if we look at all living organisms, we find that single-celled organisms, which have a simple structure, multiply by division, so there is no "aging death" and no "male and female differentiation". Therefore, it is thought that in the early stages of life, there was a unicellular stage in which there was neither aging death or male and female differentiation, and that both appeared during the evolution of multicellular organisms. One could argue that exploring these evolutionary processes would require investigating conditions 1 to 2 billion years ago, when eukaryotes emerged, but this is not possible. However, since there are extant organisms of various evolutionary stages in the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), ranging from unicellular ones to complex multicellular bodies with "aging death" and "male and female genders," these evolutions can be studied by comparing the extant organisms. To this end, research is progressing by collecting these organisms from natural fields, establishing culture strains, and using cutting-edge biological techniques. The aim of this class is to understand such diversity and evolution related to "aging death" and "sex" by focusing on members of the volvocine lineage. For this purpose, it is necessary to understand how to collect naturally growing members of volvocine species and what kind of organisms the volvocine species are. In addition, the evolution of "aging death" and "male and female genders" is related to "multicellularity," and studies related to multicellularity using the volvocine species will also be presented. The history of our ancestors more than a billion years ago, when multicellular organisms evolved, is that they had neither "aging death" nor "male and female differentiation," but this cannot be directly explored. However, we hope you will understand that this history can be inferred from studies using organisms belonging to the volvocine lineage. From time to time, we will also introduce related studies by Nozaki's group.

【Learning Objectives】

We will understand that two critical processes that cannot be avoided in the human life span, "female-male encounter" and "old age and death," were acquired during the evolution of our ancient ancestors into multicellular organisms, and that unicellular organisms without these processes exist today. In addition, we will focus on the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), which is a model organism group for the study of sex evolution and multicellularity, and introduce research related to these two evolutionary events, but we will also explain what the volvocine lineage is basically like, and how to collect these organisms in the field and establish laboratory cultures. The course will also provide an understanding of the field collection of these organisms and how to establish culture strains in the laboratory. In addition, the genome information of representative species of the volvocine lineage is publicly available, and genome information can be researched free of charge via the Internet. Therefore, students will also learn basic methods to search for the presence of target genes in the organisms of interest.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）	
教養生物学 L C	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
町田 郁子	

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4
単位数：2単位
この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド（<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。
その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『命とはなにか？』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにからできているのか？」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか？」、「なぜ病気になるのか？」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。
課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。
授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」を通じてお知らせしますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。

第3回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。
第4回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつDNAとはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第5回	命をつくる細胞の一生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第6回	命の誕生とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第7回	命の要、タンパク質とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第8回	命を支える細胞膜の機能とは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第9回	命を守るしくみとは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第10回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第11回	命に手を加えるとは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第12回	命を操作する技術とは？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第13回	命とはなにか？	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。
第14回	授業のまとめ・試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に実施する小テスト2回（50％）および期末試験（50％）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）	
教養生物学 L D	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
町田 郁子	

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4
単位数：2単位
この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。
その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『人間とはなにものか?』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか?」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか?」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】
ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】
授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。
課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。
授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」を通じてお知らせしますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	多種多様な生物とは？	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。

第3回	生態系の中のヒトとは？	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりについて概説します。
第4回	生物と地球環境のつながりとは？	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第5回	生物、そしてヒトの起源とは？	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第6回	進化学とは？	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第7回	行動の進化とは？	生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたのかについて概説します。
第8回	生物の行動にみられる特徴とは？	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第9回	種の存続とは？	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第10回	ヒトによる動物の家畜化とは？	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第11回	ヒトの動物観とは？	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第12回	ヒトの食とは？	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第13回	人間とはなにものか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第14回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
授業時に実施する小テスト2回（50％）および期末試験（50％）。

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】
(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）		
教養生物学 L C		2017年度以降入学者
サブタイトル：		
町田 郁子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水5/Wed.5 単位数：2単位		
この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド（ https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/ ）を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。		
その他属性：〈優〉		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『命とはなにか？』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにからできているのか？」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか？」、「なぜ病気になるのか？」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」を通じてお知らせしますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。

第3回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。
第4回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつDNAとはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第5回	命をつくる細胞の一生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第6回	命の誕生とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第7回	命の要、タンパク質とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第8回	命を支える細胞膜の機能とは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第9回	命を守るしくみとは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第10回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第11回	命に手を加えるとは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第12回	命を操作する技術とは？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第13回	命とはなにか？	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。
第14回	授業のまとめ・試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に実施する小テスト2回（50％）および期末試験（50％）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『人間とはなにものか?』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか?」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか?」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】

ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」を通じてお知らせしますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	多種多様な生物とは？	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。

第3回	生態系の中のヒトとは？	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりについて概説します。
第4回	生物と地球環境のつながりとは？	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第5回	生物、そしてヒトの起源とは？	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第6回	進化学とは？	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第7回	行動の進化とは？	生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたのかについて概説します。
第8回	生物の行動にみられる特徴とは？	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第9回	種の存続とは？	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第10回	ヒトによる動物の家畜化とは？	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第11回	ヒトの動物観とは？	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第12回	ヒトの食とは？	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第13回	人間とはなにものか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第14回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に実施する小テスト2回（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

向井 知大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

物質の変化には、エネルギーの出入りが伴います。社会や生命はこれらを上手に利用することで活動しています。エネルギーを題材にして身の回りの現象や物質について理解を深め、現在の我々の生活を支えている技術に対する興味を持って下さい。

【到達目標】

エネルギーについて原子核や電子の振る舞いをもとに理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。エネルギー問題に関する近年の話題について、自分なりの考察ができるようになることを目標にして下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文のpdfファイルを授業支援システムにアップロードする予定です。

高校などにおける理系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義計画と概要についての説明。
第2回	エネルギーの基礎	エネルギーの定義やエネルギー変換についての概説。
第3回	電子の発見	ふたつの原子を結びつける電子の働きについて。
第4回	電子と電気	電磁誘導と発電機の仕組みについて。
第5回	同位体と原子の壊変	原子核の壊変と放射線について。
第6回	原子力発電	核分裂連鎖反応について。
第7回	原子爆弾と核融合	ウラン濃縮や臨界について。
第8回	光と電子のエネルギー	電磁波の性質と光子仮説について。
第9回	化学結合のエネルギー	化学結合が形成されるしくみと、物質の持つエネルギーについて。
第10回	有機化合物	炭素原子を含む化学物質の構造。
第11回	エネルギー物質	燃焼によって発生するエネルギーと、爆薬の化学構造、爆発事故について。
第12回	燃料電池	水素分子と酸素分子から得られるエネルギーについて。
第13回	元素の循環	物質変化に伴うエネルギーの吸収と放出について。
第14回	まとめ	これまでの内容の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やWeb検索などで調査してみて下さい。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。授業毎に資料を配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題を出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

化学の学習に不安を持つ学生のために、高校の学習範囲を予備知識として必要としない内容を心掛けています。また、高校で理系科目を多く履修した人も気づきが得られるように、なるべく身の回りの現象を題材にしています。今年度は、学生自身の手を動かす機会を増やすように考えています。

【Outline (in English)】

This course introduces fundamental principles of familiar natural phenomena. The goals of this course are to understand about energy and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中田 和秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第3回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第4回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第5回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第6回	石油（1）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第7回	石油（2）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第8回	天然ガス	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。

第9回	その他の化石燃料	オイルサンドやオイルシェール等、その他の化石燃料について性質や用途を学習する。
第10回	水素経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第11回	水素経済社会（2）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第12回	メタノール経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第13回	メタノール経済社会（2）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協Webサイトにて購入することができます。

・
書名：新版 エネルギーの科学（第2版）
著者名：安井伸郎
出版社：三共出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

・
書名：メタノールエコノミー：CO2をエネルギーに変える逆転の発想
著者名：G.A. オラー, A. ゲッペールト, G.K.S. ブラカーシュ
訳者名：小林四郎, 齋藤彰久, 西村晃尚
出版者名：化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンデマンド授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

基盤科目（100番台）の「入門化学A・B」、および、リベラルアーツ科目（200番台）の「教養化学LC・LD」も担当しております。合わせての履修をご検討いただければ幸いです。

【Outline (in English)】

In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. Students should read the textbook as early as possible before a class and are encouraged advanced reading on the basis of their own interest after a class. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：環境の科学

向井 知大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

環境問題の解決には、その原因となる材料や燃料の使用規制が提案されます。しかし、現在の我々の豊かな生活は、これらに支えられている側面もあります。この授業では、現在の生活を支える科学技術に対する理解を深め、環境問題の原因とその解決のために必要な科学技術について学んでいきます。

【到達目標】

自然現象や環境問題について原子や分子のレベルで理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。また、自然科学そのものに対する興味関心を高めることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料は授業支援システムで配布する予定です。高校などにおける自然科学系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要、授業の進め方など	この講義の概要と、これからの授業の進め方、注意点等について説明します。
第2回	日本の過去の公害事例	明治から現代までの環境問題について。
第3回	化学の基礎	原子の結合と、有機化合物の構造、性質について。
第4回	触媒	化学反応を促進する触媒の原理について。
第5回	排ガスの清浄化	汚染物質を分解する仕組みについて。
第6回	触媒の活用	優れた機能を持つ材料や燃料、肥料などを作るための触媒について。
第7回	温室効果ガス	二酸化炭素やその他気体の温室効果のメカニズムについて。
第8回	二酸化炭素の利用	二酸化炭素の回収とその利用について。
第9回	高分子	天然の高分子と人工高分子について。
第10回	海洋プラスチック問題	プラスチックごみやマイクロプラスチックの問題点について。
第11回	バイオプラスチック	自然界で分解されやすいプラスチックの構造と機能について。
第12回	原子力発電	核分裂反応で生じる放射性物質について。

第13回 放射線と生体 放射線の種類や生体に及ぼす影響について。

第14回 まとめ 全般的な振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やweb検索などで調査してみてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使いません、毎週資料を学習支援システム上で配布します。

【参考書】

気になるキーワードを図書館やWebで検索してみてください。必要に応じて授業内で紹介することも可能です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題とまとめを出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

現象の原理を理解するには化学は必須ですが、その範囲は限定し、身近なものを例に挙げるよう気をつけています。

【Outline (in English)】

This course introduces the principles of the science and technology that support our current life. By the end of the course, students should be able to understand the causes of environmental issues and the scientific technologies necessary to resolve them.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：身近な問題を考えるための化学

西村 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現在、地球は様々な問題に直面しています。例えば気候変動、エネルギー問題、環境汚染などです。これらの問題を解決するには、その問題点をメカニズムから理解することが大切です。そのためには基本的な化学の理解が必須となります。本講座は身近な問題を考え、自分で判断できることを最終目的としますが、まずはこれに必須な化学の知識を身につけてもらうことを目的とします。

【到達目標】

身近な問題を考え、自分で判断できることを最終目的とします。授業では主に問題提議を行い、化学的なメカニズムを示します。最終的に、その解決策を自分の頭で考えてもらうことを目的としています。テストはそのような意図で作成します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

はじめにどのくらいの化学的な知識があるのかのテストを行い、その結果をもとに最初の3週間の授業内容を決めます。その後は様々なトピックを取り上げて化学的な見地から説明する予定です。授業の合間にQRコードを読み取ってもらう形式のクイズを出します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
No.1	イントロダクション	授業の進め方の説明。簡単なテスト
No.2	化学基礎 1	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.3	化学基礎 2	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.4	化学基礎 3	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.5	小テスト	これまでの学習を振り返る
No.6	環境問題-概要	これまでの質問回答。環境問題概要とプラネタリーバウンダリーについて
No.7	環境問題-オゾン層破壊と大気汚染	気体に関係する環境問題について
No.8	環境問題-温室効果	温室効果ガスとは何か、またその環境に対する影響
No.9	環境問題-水質汚染とごみ	水の汚染とごみ問題
No.10	小テスト	これまでの学習を振り返る
No.11	身近な化学-エネルギー	現在と未来のエネルギー生産法に関して
No.12	身近な化学-洗剤と添加物	洗剤の成分と使い方の注意。食品に含まれている各種添加物の化学
No.13	身近な化学-化粧品成分	化粧品の成分、有効成分の化学

No.14 テスト

最終テスト

試験範囲は化学基礎を含む全授業範囲です。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習する必要はありません。授業後に興味を持った内容を自分で調べて学習した内容の理解を深めてもらいたいと思っています。この復習に2時間程度充てることが望ましいです。それを授業後のレポートとして提出してください。

【テキスト（教科書）】

ありません。必要に応じて資料となるPDFファイルをHoppiiにUPします。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業中に出す課題(20%)、授業後のレポート(30%)、2回の小テスト(20%)、最終テスト(30%)を総合的に評価します。授業中に出す課題は出欠確認の意味を含めています。

【学生の意見等からの気づき】

「私たち文系なので、わかりやすく教えてください」とコメントいただくので、わかりやすく、急がずに授業を進めていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業中にQRコードを読み取ってもらいますので、スマホなどのQRコードが読み取れるデバイスを持参してください。

【その他の重要事項】

希望者が多かった場合、抽選を行う予定です。

【Outline (in English)】

Today, the world faces a wide range of problems. For example, climate change, energy problems and environmental pollution. To solve these problems, it is important to understand them from their mechanisms. For this, an understanding of basic chemistry is essential. The ultimate aim of this course is to enable students to think about familiar problems and make their own decisions, but the first aim is to give them the chemical knowledge that is essential for this.

At the beginning, you will be tested on how much chemical knowledge you have, and the results will determine the content of the first three weeks of the class. Thereafter, a variety of topics will be covered and explained from a chemical perspective. In between classes, there will be a quiz in the form of a QR code to be scanned.

Grading will be based on a combination of in-class assignments (20%), after-class reports (30%), two quizzes (20%) and a final test (30%). Assignments given in class include the meaning of attendance confirmation.

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)	
教養化学 L A	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
中田 和秀	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火3/Tue.3	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第3回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第4回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第5回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第6回	石油（１）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第7回	石油（２）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第8回	天然ガス	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。

第9回	その他の化石燃料	オイルサンドやオイルシュール等、その他の化石燃料について性質や用途を学習する。
第10回	水素経済社会（１）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第11回	水素経済社会（２）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第12回	メタノール経済社会（１）	将来のエネルギー資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第13回	メタノール経済社会（２）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協 Web サイトにて購入することができます。

・
書名：新版 エネルギーの科学（第2版）
著者名：安井伸郎
出版社：三共出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

・
書名：メタノールエコノミー：CO2をエネルギーに変える逆転の発想
著者名：G.A. オラー, A. ゲッペールト, G.K.S. ブラカーシュ
訳者名：小林四郎, 齋藤彰久, 西村晃尚
出版者名：化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンデマンド授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

基盤科目（100番台）の「入門化学A・B」、および、リベラルアーツ科目（200番台）の「教養化学LC・LD」も担当しております。合わせての履修をご検討いただければ幸いです。

【Outline (in English)】

In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. Students should read the textbook as early as possible before a class and are encouraged advanced reading on the basis of their own interest after a class. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中田 和秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、2020年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため有効な治療法は確立されていません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会はCOVID-19から大きな影響を受けています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する種々の有機化合物についてご紹介します。それらが集合して構成される生体の最小単位である細胞について学習し、細菌や細菌によって引き起こされる疾病について学びます。ウイルスが増殖する舞台である細胞について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第2回	原子	原子を構成する素粒子や原子が結合して生成する分子について解説し、原子に関する理解を深める。
第3回	化学結合論	原子がどのようなルールによって結合し分子を形成するかを学習する。
第4回	多重結合	化学結合論に基づいて形成される様々な化学結合の種類について学習する。
第5回	生体を構成する有機化合物	生体を構成するタンパク質、脂質、糖質、および、核酸について学習する。
第6回	分子の立体構造	種々の化学結合がなす角度と結合距離について学習し、分子の立体構造について理解を深める。

第7回	分子の立体構造と物質の性質（1）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第8回	分子の立体構造と物質の性質（2）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第9回	生体分子の立体構造（1）	タンパク質の立体構造について学習する。
第10回	生体分子の立体構造（2）	脂質や糖質の立体構造について学習する。
第11回	生体分子の立体構造（3）	核酸の立体構造について学習する。
第12回	細胞	生物とウイルスの違いや生体の基本単位である細胞について学習する。
第13回	細菌	細菌の種類や細菌によって引き起こされる疾病について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：ヴォート生化学

著者名：Donald Voet, Judith G.Voet

訳者名：田宮信雄 ほか

出版者名：東京化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「教養化学LD」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective treatment has not yet been established. This situation brings severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, various organic compounds that comprise living organisms will be presented. Then, students will learn about the cell that is the minimum unit of the living organisms, and bacteria and its related diseases. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of cell that is the place of multiplication of virus from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中田 和秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、2020年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため有効な治療法は確立されていません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会はCOVID-19から大きな影響を受けています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する最小単位である細胞がどのような活動をおこなっているかを学習します。次に、ウイルスがその細胞に侵入して増殖するメカニズムなどを学習します。ウイルスの性質や活動について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第2回	化学結合論と分子の立体構造	化学結合論によって原子同士がつながって分子が生成すること、および、分子の立体構造によって物質の性質が決まることを学習する。
第3回	生体を構成する有機化合物	生体を構成する種々の有機化合物について学習し、それらの分子構造について理解を深める。
第4回	遺伝情報の発現（1）	生物の遺伝子DNAをRNAに転写する過程について学習する。
第5回	遺伝情報の発現（2）	mRNAが持つ遺伝情報をタンパク質に翻訳する過程について学習する。
第6回	遺伝情報の発現（3）	細胞分裂の際に行われる遺伝子DNAの複製について学習する。
第7回	生化学の研究手法	生化学を学習する際の研究手法について学習する。

第8回	ウイルスの構造	種々のウイルスについて基本的な構造を理解する。
第9回	λファージ	λファージの生活環について学習する。
第10回	HIV	ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の生活環について学習する。
第11回	インフルエンザウイルス	インフルエンザウイルスの構造や増殖過程について学習する。
第12回	新型コロナウイルス	新型コロナウイルスについて最新の研究成果を学習する。
第13回	ウイルス治療薬	ウイルス治療薬開発の概要について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

・書名：ヴォート生化学
著者名：Donald Voet, Judith G. Voet
訳者名：田宮信雄 ほか
出版者名：東京化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「教養化学 L C」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective treatment has not yet been established. This situation brings severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, students will learn the processes of expression and transmission of genetic information that is fundamental for living organisms, and then that of multiplication of viruses utilizing such the processes of the host cell. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of viruses from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：薬の科学

向井 知大

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

薬の開発は人類の寿命を大きく伸ばし、医学の発展に大きく寄与してきました。この授業では、薬とはどのようなものか、人体にどのような働きをするのか、薬はどのように開発されるか、など、薬の原理について有機化学を用いて紹介していきます。

【到達目標】

薬の働きについての学習を通して、タンパク質や低分子有機化合物の構造式を身近なものにし、有機化合物の性質を左右する構造的特徴について理解することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文を授業支援システムにアップロードする予定です。高校などにおける自然科学系科目(理系科目)の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義計画と概要、学習方法について説明。
第2回	薬の歴史	古代から現代までの薬、薬を作ることができるようになったきっかけについて。
第3回	有機化学の基礎	有機化合物の構造や性質について。
第4回	DNAとタンパク質	アミノ酸の化学構造と、タンパク質やDNAの立体構造について。
第5回	酵素と代謝	タンパク質や炭水化物などを分解、合成する酵素について。
第6回	栄養の化学	食品に含まれる栄養素が体内でどのように変化し、働くかについて。
第7回	生活習慣病の薬	糖尿病や脂質異常症の薬について。
第8回	抗炎症薬①	非ステロイド薬とステロイド薬の作用機序について。
第9回	抗炎症剤②	花粉症などアレルギーの薬、抗ヒスタミン薬の分子設計と、副作用改善について。
第10回	化学療法薬と抗生物質	病原細菌に強く作用する薬と、その作用機序について。
第11回	抗ウイルス薬	インフルエンザやエイズ、新型コロナウイルスの特徴と、その薬について。

第12回	がんの薬	様々な抗がん薬の働きと、副作用を軽減する試みについて。
第13回	うつ病の薬と危険ドラッグ	脳で働く生体物質や薬の働きについて。
第14回	まとめ	これまでの内容の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やweb検索などで調査してみてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。授業で使用する資料を授業支援システムで配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題と簡単なまとめを出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

高校で化学を履修していることを前提にはしていません。しかし、薬の理解には化学だけでなく理系全般の幅広い知識を必要とするため、難しく感じる内容も含まれると思います。そのため、発展的な内容を話す場合は、最低限理解して欲しい内容とはっきり区別するようにしています。また、高校で理系科目を多く履修した人も気づきが得られるように、服用する機会の多い薬や、最近認可された薬も題材にしています。質問は学習支援システムでも受け付けていますが、授業中にも時間を取るようにする予定です。

【Outline (in English)】

Pharmaceutics has extended the human lifespan and has greatly contributed to the development of medical science. This course introduces the basic principles of medical supplies using organic chemistry.

The goals of this course are to understand about organic compounds and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

SHS200LA（科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 200）

科学論 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中釜 浩一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

ILAC科目としての定員は25名

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

正しく論証を組み立て、間違った議論を見分ける技能は、あらゆる分野において重要だが、現代論理学のシステムを実際の議論に応用することは必ずしも容易ではない。科学哲学1では、直観的な理解が容易で、議論への応用に最も適していると思われる「タブロー法」の技法を習得し、論理的な議論を組み立て反論するための技法に熟達することを目指す。

【到達目標】

タブロー法を用いた論証の妥当性の判定や証明のテクニックに習熟する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎回練習問題を課する。

授業の冒頭で、前回の練習問題の解答を解説し、補足説明を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	論理と言語	論理の目的
第2回	命題論理とタブロー法（その1）	命題論理と記号言語
第3回	命題論理とタブロー法（その2）	記号化のポイント
第4回	命題論理とタブロー法（その3）	タブロー法と推理規則
第5回	命題論理とタブロー法（その4）	タブロー法による妥当性の判定
第6回	命題論理とタブロー法（その5）	タブロー法の補助規則
第7回	命題論理とタブロー法（その6）	中間テストと解説
第8回	述語論理とタブロー法（その1）	述語論理とは何か
第9回	述語論理とタブロー法（その2）	記号化とモデル
第10回	述語論理とタブロー法（その3）	述語タブロー
第11回	述語論理とタブロー法（その4）	述語タブローと論証の妥当性
第12回	述語論理とタブロー法（その5）	タブローも用いた証明の方法
第13回	述語論理とタブロー法（その6）	述語論理の完全性
第14回	まとめ	期末テストと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内容を整理し、課題として出される練習問題を解いて提出する。

論理学の参考文献を自分で読み進める。

本講義の予習復習時間は、授業ノートの整理・課題の執筆・参考文献の読解を合わせて毎回4時間程度を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

Wilfreid Hodges, Logic (penguin books)

リチャードジェフリー「形式的論理学」（産業図書）

中釜浩一「論理学の初歩」（梓出版）

【成績評価の方法と基準】

課題の提出 40 %

中間試験 30 %

期末の試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】

練習問題の解説を丁寧に行う。

【その他の重要事項】

・科学哲学2は科学哲学1の発展なので科学哲学1と合わせて年間受講することが望ましい。

・ILAC科目として受講する学生には定員があるので、初回の授業に必ず出席し教員の説明を聞くこと。

・文学部哲学科生以外が本科目を受講する場合、「科学哲学1」は「科学論LA」、「科学哲学2」は「科学論LB」に読み替えること。

【Outline (in English)】

Course outline: This course deals with the first order logic in terms of the tableau method.

Learning Objectives: To acquire skills to construct valid arguments and criticize invalid reasonings.

Learning activities outside of classroom: After each class meeting, students are expected to spend four hours to understand the day's content and to solve problems of exercise.

Grading Criteria: assignments: 40%, mid-term examination: 30%, term-end examination: 30%

SHS200LA (科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 200)

科学論 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中釜 浩一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

ILAC科目としての定員は25名

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様相の概念（必然、偶然、可能、不可能）は、言語の意味理解、原因結果の概念、責任や義務の分析等々、現代の重要な諸問題を展開する上で必須の概念的装置である。科学哲学2では、科学哲学1に引き続いて、様相概念の意味と、それに関わる論理に習熟することを目指し、様相体系K、T、S4、S5への展開を扱う。

【到達目標】

科学哲学1の十分な理解を前提とした上で、タブローの方法の様相論理の体系K、T、S4、S5への拡張してその技法に習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎回練習問題を課する。
各回の授業の冒頭で前回の課題の解答と補足解説を与える。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	タブロー法に関する復習	タブロー法のポイント
第2回	様相とは何か (その1)	様相概念の説明
第3回	様相とは何か (その2)	可能世界の概念
第4回	体系K (その1)	Kの説明
第5回	体系K (その2)	Kタブロー
第6回	体系K (その3)	Kタブローによる証明
第7回	中間まとめ	中間テストと解説
第8回	体系T (その1)	KとTの違い
第9回	体系T (その2)	Tタブローと証明
第10回	体系S4 (その1)	S4の説明
第11回	体系S4 (その2)	S4タブローと証明
第12回	体系S5 (その1)	S5の説明
第13回	体系S5 (その2)	S5タブローと証明
第14回	まとめ	期末テストと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業ノートを整理し、練習問題を解いて提出する。
論理学の参考文献を読み進める。
本講義の予習復習時間は、授業ノートの整理・課題の執筆・参考文献の読解を合わせて毎回4時間程度を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

リチャードジェフリー「形式的論理学」（産業図書）
中釜他「論理学の初歩」（梓出版）
Priest, An Introduction to Non-Classical Logic

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題：40%

中間試験：30%

期末の試験：30%

【学生の意見等からの気づき】

練習問題の解説を丁寧に行う。

【その他の重要事項】

・科学哲学1の内容の理解を前提とするので、科学哲学1を受講しておくか、参考文献によってタブロー法に習熟しておくこと。
・ILAC科目として受講する学生には定員があるので、初回の授業には必ず出席すること。
・文学部哲学科生以外が本科目を受講する場合、「科学哲学1」は「科学論LA」、「科学哲学2」は「科学論LB」に読み替えること。

【Outline (in English)】

Course outline: This course deals with some systems of modal logic in terms of the tableau method.

Learning Objectives: To acquire the skill to construct valid arguments and criticize invalid reasonings.

Learning activities outside of classroom: After each class meeting, students are expected spend four hours to understand the content and to solve problems of exercise.

Grading Criteria: assignments: 40%, mid-term examination: 30%, term-end examination: 30%

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

健康の科学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 康弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、人生の質を高める上で基盤となる「健康」について、科学的な視点から理解を深め、生涯にわたって実践できる健康管理の知識と方法を習得することを目的とします。

授業では、以下の内容を体系的に学習します。第一に、国の健康施策や統計データに基づき、平均寿命・健康寿命・人口動態の変化など、日本における健康課題を多角的に分析します。これにより、健康の社会的決定要因について、エビデンスに基づいた理解を深めます。

第二に、運動と健康の関連性について、様々な活動レベルにおけるデータを用いて検討します。特に、厚生労働省が示す運動指針の科学的根拠を理解し、生活習慣病予防のための効果的な運動方法について実践的に学びます。

第三に、日常的な健康管理に不可欠な栄養摂取と睡眠に関する科学的知見を学習します。現代社会で増加傾向にある肥満関連疾患や睡眠障害について、最新の研究成果に基づく予防・改善方法を理解します。

授業方法として、講義による知識の習得に加え、学生自身による振り返りと実践的な課題への取り組みを重視します。これにより、自己の健康行動を客観的に分析し、持続可能な健康づくりを実践する能力の育成を目指します。

【到達目標】

「健康に対する理解を深めること」、「運動・栄養・休養に対する新しい考え方を持つこと」を到達目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は講義科目です。この授業では、授業中に提供された知識・情報を単に記憶する・理解するだけでなく、個々人のスポーツ・運動実践場面における適用方法などについて考察することを最も重視します。そのため、共通の学習テーマの下での数回の授業が終了するごとに個人の考え・意見をまとめたミニレポートを提出してもらい、そのレポートを評価の一部とします。

なお、ミニレポート等に対する講評やフィードバックは、次回授業時に行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要説明
第2回	今日における健康の概念	WHOの提唱、健康日本21
第3回	健康と寿命①	平均寿命と健康寿命 出生者数と死亡者数
第4回	健康と寿命②	都道府県別にみた寿命と健康
第5回	健康と寿命③	世界の死因と感染症
第6回	運動と健康①	アスリートと健康 アスリートは長生きか？

第7回	運動と健康②	健康づくりのための運動 身体活動基準・アクティブガイド
第8回	健康と疾患①	虚血性心疾患および動脈硬化とは
第9回	健康と疾患②	糖尿病とは
第10回	健康と疾患③	肥満と糖尿病との関係
第11回	健康と疾患④	生活習慣病とメタボリックシンドローム
第12回	健康と疾患⑤	高血圧とは
第13回	健康と休養①	睡眠とは
第14回	健康と休養②	栄養補給とは 三大栄養素とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。

必要に応じて資料を配付します。

【参考書】

厚生労働省、健康日本21（第二次）。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kenkounippon21.html

厚生労働省、健康日本21（第三次）。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kenkounippon21_00006.html

厚生労働省、生活習慣病予防。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/seikatsu/seikatusyukan.html

【成績評価の方法と基準】

1) 授業への参画状況（授業ごとのリアクションペーパーなどで評価）：50%

毎回授業内容に関する簡易レポート（A4用紙1枚）の提出を求め、授業ごとに評価を行います。

2) 課題・ミニレポートの内容：30%

3) 学習態度：20%

【学生の意見等からの気づき】

2025年度より授業を担当するため、特にありません。

【Outline (in English)】

This course aims to deepen students' scientific understanding of "health" as a foundation for enhancing quality of life and to help them acquire practical knowledge and methods for lifelong health management.

The course systematically covers the following content. First, students will analyze health challenges in Japan from multiple perspectives, examining national health policies and statistical data, including changes in life expectancy, healthy life expectancy, and population dynamics. This will lead to an evidence-based understanding of the social determinants of health.

Second, students will examine the relationship between exercise and health using data from various activity levels. In particular, they will study the scientific basis of exercise guidelines established by the Ministry of Health, Labour and Welfare, and learn practical methods for preventing lifestyle-related diseases through effective exercise.

Third, students will study scientific findings on nutrition and sleep, which are essential for daily health management. They will understand prevention and improvement methods based on the latest research findings regarding obesity-related diseases and sleep disorders, which are increasing in modern society.

The teaching method emphasizes not only knowledge acquisition through lectures but also students' self-reflection and engagement with practical tasks. Through this approach, the course aims to develop students' ability to objectively analyze their health behaviors and implement sustainable health promotion practices.

Learning Objectives

Our goals are to deepen understanding of health, and to develop new ways of thinking about exercise, nutrition, and rest.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this course is 2 hours each.

Grading Criteria /Policy

Participation in class (evaluated through reaction papers for each class): 50%

Students are required to submit a brief report (1 page of A4 paper) related to the content of each class, which will be evaluated for each session.

Content of assignments and mini-reports: 30%

Learning attitude: 20%

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

健康の科学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 康弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、スポーツトレーニングの基本原則を紹介した上で、各種体力要因の意味やこれらを効果的に高めるためのトレーニング方法について幅広く学習し、実際の生活で活用できるようにすることを目的とします。効率的かつ効果的なトレーニングにより体力を向上させることは、アスリートばかりではなく、一般人にとっても、生涯にわたって健康で活動的な生活を過ごす上で重要なことを解説し、具体的なトレーニング内容についても紹介します。

【到達目標】

- 1) 体力トレーニングを実施する上での基本原則を理解する
- 2) 体力向上および健康増進のための合理的なトレーニング法やその効果の機序を理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は講義科目です。この授業では、授業中に提供された知識・情報を単に記憶する・理解するだけでなく、個々人のスポーツ・運動実践場面における適用方法などについて考察することを最も重視します。そのため、共通の学習テーマの下での数回の授業が終了するごとに個人の考え・意見をまとめたミニレポートを提出してもらい、そのレポートを評価の一部とします。

なお、ミニレポート等に対する講評やフィードバックは、次回授業時に行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要説明
第2回	健康とトレーニング①	トレーニングの常識・非常識
第3回	健康とトレーニング②	トレーニングとは何なのか？
第4回	健康とトレーニング③	トレーニングの原則
第5回	科学的トレーニング①	科学的トレーニングとは何なのか？
第6回	科学的トレーニング②	トレーニングに関する研究の作法 - 対照実験の有用性と限界 -
第7回	科学的トレーニング③	アスリートに有用な科学的トレーニングとは
第8回	中間まとめ	健康とトレーニング、科学的トレーニングについて考える
第9回	補助トレーニング①	専門トレーニングと補助トレーニング
第10回	補助トレーニング②	様々な補助トレーニング法
第11回	補助トレーニング③	筋力を増大させるトレーニング法

- 第12回 補助トレーニング④ スピードとパワーを増大させるトレーニング法
 第13回 補助トレーニング⑤ 持久力とは何なのか？
 第14回 補助トレーニング⑥ 持久力を増大させるトレーニング法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) 毎回の授業で提示する課題に取り組んでから授業にのぞむこと。
 - 2) 各授業で配布する資料内容を次回までに復習してくること。
 - 3) シラバスに記載の内容を毎回予習してくること。
- なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。

必要に応じて資料を配付します。

【参考書】

体力トレーニング論, 高松薫, 杏林書院

アスリート・コーチ・トレーナーのためのトレーニング科学, 山本正喜, 市村出版.

【成績評価の方法と基準】

- 1) 授業への参画状況（授業ごとのリアクションペーパーなどで評価）：50%
 - 2) 課題・ミニレポートの内容：30%
 - 3) 学習態度：20%
- 毎回授業内容に関する簡易レポート（A4用紙1枚）の提出を求め、授業ごとに評価を行います。

【学生の意見等からの気づき】

2025年度より授業を担当するため、特にありません。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce the fundamental principles of sports training, extensively covering the meaning of various physical fitness factors and effective training methods to enhance them, with the goal of enabling students to apply these principles in their daily lives. Enhancing physical fitness through efficient and effective training is crucial not only for athletes but also for the general population to lead a healthy and active lifestyle throughout their lives. This course will explain the importance of this aspect and also provide specific training content.

Learning Objectives

Understand the basic principles for implementing physical fitness training

Understand rational training methods for improving physical fitness and promoting health, and the mechanisms of their effects

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this course is 2 hours each.

Grading Criteria /Policy

Participation in class (evaluated through reaction papers for each class): 50%

Students are required to submit a brief report (1 page of A4 paper) related to the content of each class, which will be evaluated for each session.

Content of assignments and mini-reports: 30%

Learning attitude: 20%

HSS200LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200）

健康の科学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人生100年時代を迎え人々の生き方が多様化する中で、身体的な健康だけでなく、生きがいや人間の尊厳をも含めた包括的健康、ウェルビーイングの視点が重要になってきている。本講義では、バイオ・サイコ・ソーシャル・ヘルスに関わる様々なトピックスから個人の健康や社会の健康について考え、ライフスキルとしてウェルネスの確立に向けて自ら実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・健康の概念や健康観の変遷から、健康とは何かについて理解を深める。
- ・ウェルビーイングの視点から、自己の生活の質や地域の課題について考える。
- ・個人及び社会におけるウェルネスの確立に向けて主体的に行動できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第2回	健康観・健康概念の多様化	世界における健康観・健康概念がどのように多様化してきたかについて理解を深める。
第3回	日本における健康観の変遷	日本における健康観・健康概念の変遷について、時代背景を踏まえて理解を深める。
第4回	ホリスティック・ヘルス、ウェルビーイングとは	包括的健康、ウェルビーイングの視点から現代人の心身の健康について考える。
第5回	心身の健康度チェック	自己の身体的・精神的・社会的ストレス状況について主観的・客観的に把握する。
第6回	ストレス特性とストレス対処	自己のストレス特性を知り、ストレス対処のスキルについて学ぶ。
第7回	セルフマネジメント	パーソナリティや行動パターンとストレスの関係、セルフマネジメントについて学ぶ。

第8回	ストレスマネジメント実践編	日常生活で実践しやすいストレスマネジメントの方法について学ぶ。
第9回	メンタルヘルス、心の病	子ども、青少年、働く世代のメンタルヘルス、心の病の予防について学ぶ。
第10回	日本人の生活と健康課題	日本人の生活と健康課題、超高齢社会におけるウェルビーイングについて考える。
第11回	0次予防、健康のための環境づくり	0次予防、健康のための環境づくりの考え方、実践事例について学ぶ。
第12回	ライフサイクルと健康	ライフサイクル、各ライフステージにおける健康課題について理解を深める。
第13回	ライフスタイルと健康	ライフコース、ライフスタイルの多様化とワークライフバランスについて考える。
第14回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各2時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70%
- ・期末レポート30%

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

With the 100-Year Life, a life-course has become increasingly dynamic and diversified. Regarding the quality of individual lives, not only physical health but also perspective of holistic health including "ikigai" and human dignity is becoming an important concept. Health Sciences for ways of living is based on the biopsychosocial model, which posits that biological, psychological and social well-being are interactive.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

- 1.Students deepen their understanding of the field of Health Sciences of body, mind, and spirit.
- 2.Students learn basic theory and specific issues of biopsychosocial health.
- 3.Students put into practice for health promotion in their life and community.

【Learning activities outside of classroom】

- 1.Get information on current health issues from newspapers and news
- 2.Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- ・ Term-end report 30%

HSS200LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200）

健康の科学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

健康はいきいきと生きていくための資源であり、自ら健康をコントロールし、改善していくことは重要なライフスキルである。本講義では、ヘルスプロモーションの視点から、栄養・運動・休養に関わる基礎的知識、健康的な生活習慣や環境づくりについて学び、各自の生活における意識の向上、具体的な実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・栄養・運動・休養に関わる基礎的知識を身に付け、自己の生活習慣を見直す。
- ・健康的なライフスタイルを意識して、学んだことを日々の生活に活かす。
- ・個人や社会のウェルビーイングについて考え、行動する機会をつくる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第2回	生活習慣・健康度チェック	チェックシートにより自己の生活習慣や健康度を確認する。
第3回	健康的なウエイトコントロール	適正体重やボディイメージを知り、健康的なウエイトコントロールについて学ぶ。
第4回	エネルギー必要量と摂取量	エネルギー必要量と摂取量を算出してエネルギー収支を確認する。
第5回	食生活のセルフチェック	食事バランスガイドにより食生活振り返り、改善点を意識する。
第6回	食と健康	スポーツ栄養、サプリメント、食の安全等のトピックから、食と健康について理解を深める。
第7回	食と環境	食にまつわる健康や地域の課題、環境問題について、具体的事例から考える。
第8回	運動・スポーツの意義と役割	現代社会における運動・スポーツの重要性について理解を深める。

第9回	運動・スポーツによるトレーニング効果	人間の身体の特徴、運動・スポーツによるトレーニング効果について学ぶ。
第10回	健康的な運動習慣	自己の適切な運動量と運動内容を知り、運動習慣の改善点を意識する。
第11回	生活習慣病の予防	メタボリックシンドローム、生活習慣病とその予防について学ぶ。
第12回	生体リズムと健康	生体リズムとそのしくみ、健康的な睡眠について理解を深める。
第13回	ウェルエイジング	加齢による心身の変化を知り、老いをどう生きるかについて考える。
第14回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各2時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70%
- ・期末レポート30%

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

Health promotion is the process of enabling people to increase control over, and to improve, their health. It moves beyond a focus on individual behaviour towards a wide range of social and environmental interventions. (WHO) The aim of this course is to maintain a healthy body and mind as life skill improving a quality of life. Developing healthy habits are needed not only to keep your life long but enhance your happiness and vitality.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

- 1.Students learn foundational knowledge and skills required for healthy lifestyle.
- 2.Students put into practice for health promotion in their life.

【Learning activities outside of classroom】

- 1.Get information on current health issues from newspapers and news
- 2.Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- ・ Term-end report 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 1	基本3時制
第3回	Chapter 2	進行形
第4回	Chapter 3	完了形
第5回	Chapter 4	受動態
第6回	Chapter 5	使役
第7回	Chapter 6	5文型
第8回	Chapter 7	文の種類
第9回	Chapter 8	不定詞
第10回	Chapter 9	動名詞
第11回	Chapter 10	分詞
第12回	Chapter 11	句と節
第13回	Chapter 12	前置詞
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他
著、成美堂、2090円

【参考書】

英和辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 70%

授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 30%
遅刻は厳禁とする。

特別な事情があって30分以上遅れる場合は、必ず申し出ること。
また、小テストでの不正も厳禁である。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

オンライン授業で使用するPCもしくはタブレット端末

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (80%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (20%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) II

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明
第2回	Chapter 13	接続詞
第3回	Chapter 14	話法
第4回	Chapter 15	関係代名詞
第5回	Chapter 16	関係副詞
第6回	Chapter 17	助動詞
第7回	Chapter 18	仮定法
第8回	Chapter 19	冠詞と名詞
第9回	Chapter 20	代名詞
第10回	Chapter 21	形容詞と副詞
第11回	Chapter 22	比較
第12回	Chapter 23	否定
第13回	Chapter 24	特殊構文
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他著、成美堂、2090円

【参考書】

英和辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 70%

授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 30%
遅刻は厳禁とする。

特別な事情があって30分以上遅れる場合は、必ず申し出ること。
また、小テストでの不正も厳禁である。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

オンライン授業で使用するPCもしくはタブレット端末

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (80%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (20%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SS1) I

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

SSIの学生のなかで、英語を苦手とする学生が英語の基本文法や表現を習得することを目的とする。英語のレベルは基礎的なものから始めるが、徐々にさまざまな場面で使用可能な表現の習得を目指す。

【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介など、身の回りの日常会話のための表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講者には積極的に演習を行うことが求められる。予習よりは復習に力を注ぐこと。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	春学期の授業の進め方を紹介する。必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Unit1-1	Unit1の前半を演習する
第3回	Unit1-2	Unit1の後半を演習する
第4回	Unit2-1	Unit2の前半を演習する
第5回	Unit2-2	Unit2の後半を演習する
第6回	Unit3-1	Unit3の前半を演習する
第7回	Unit3-2	Unit3の後半を演習する
第8回	Unit4-1	Unit4の前半を演習する
第9回	Unit4-2	Unit4の後半を演習する
第10回	Unit5-1	Unit5の前半を演習する
第11回	Unit5-2	Unit5の後半を演習する
第12回	Unit6-1	Unit6の前半を演習する
第13回	Unit6-2	Unit6の後半を演習する
第14回	春学期のまとめ	春学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習を重視する。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

English Booster!(ストーリー&必須文法で学ぶ大学生の英語基礎力スタートアップ)

Robert Hickling 著、金星堂

英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験50%、授業時の応答や参加度50%。

4回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻2回を欠席1回に換算する。

授業に出ていても、授業に積極的に参加しない受講生は出席として認めない。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせて進度を調節する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is designed for SSI students. It introduces fundamental English grammar and vocabulary, beginning with essential phrases and words used in daily communication.

【Learning Objectives】

The primary goal of this course is for students to acquire foundational English skills.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Before each class, students are expected to read the assigned chapters from the textbook. A minimum of one hour of preparation is required for each session.

【Grading Criteria】

Term-End Examination: 50%, In-Class Participation: 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語 (SSI) II

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

SSIの学生のうち英語を苦手とする学生に、英語の基本から解説と演習を行う。春学期よりも多少難しい文法項目まで範囲に収め、基礎的な英語の運用能力の習得を目指す。

【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介だけでなく、時制や適切な語句の選択等などを通じて、春学期よりも多少高い英語表現能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講生には積極的に演習を行うことが求められる。復習を重視する。提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡は Hoppii で行う。授業日の朝に Hoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の振り返り	春学期に学んだ文法項目等の再確認を行う
第2回	Unit7-1	Unit7の前半を演習する
第3回	Unit7-2	Unit7の後半を演習する
第4回	Unit8-1	Unit8の前半を演習する
第5回	Unit8-2	Unit8の後半を演習する
第6回	Unit9-1	Unit9の前半を演習する
第7回	Unit9-2	Unit9の後半を演習する
第8回	Unit10-1	Unit10の前半を演習する
第9回	Unit10-2	Unit10の後半を演習する
第10回	Unit11-1	Unit11の前半を演習する
第11回	Unit11-2	Unit11の後半を演習する
第12回	Unit12-1	Unit12の前半を演習する
第13回	Unit12-2	Unit12の後半を演習する
第14回	秋学期のまとめ	秋学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習を重視する。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

English Booster!(ストーリー&必須文法で学ぶ大学生の英語基礎力スタートアップ)

Robert Hickling 著、金星堂

英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験50%、授業時の応答や参加度50%。

4回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻2回を欠席1回に換算する。

授業に出ていても、授業に積極的に参加しない受講生は出席と認めないことがある。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせて進度を調節する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is designed for SSI students. It introduces fundamental English grammar and vocabulary, beginning with essential phrases and words used in daily communication.

【Learning Objectives】

The primary goal of this course is for students to acquire these foundational English skills.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Before each class, students are expected to read the assigned chapters from the textbook. A minimum of one hour of preparation is required for each session.

【Grading Criteria】

Term-End Examination: 50%, In-Class Participation: 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I

2017年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は6つあります。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行う練習、3) 英語で自分の考えを表現する練習、4) 簡単な英文を読む練習、5) 統合的な英語学習、6) 英語学習を通して自らの人生を振り返り、将来について考察すること。

【到達目標】

この授業では、以下の目標到達を目指します。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行うこと、3) 英語で話したり、書いたりして自分の考えを表現できること、4) 簡単な英文を読むこと、5) 英語のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを統合的に学習すること、6) 英語学習を通して自らの人生を振り返り将来について考察すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業では、身近な題材を用いて基本的英語文法を学習しながら、英語で表現(スピーキング・ライティング)する練習を行います。簡単な英文を読む練習もします。ペアワークやグループワークを通じて共同学習を行います。授業は日本語で行いますが、徐々に英語でコミュニケーションする機会を増やしていきますので、積極的な授業の参加が求められます。授業ではより良い学習環境の構築・楽しく英語を学習することを目指します。また課題へのフィードバックは授業内、あるいは各個人の提出課題にフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の紹介 担当教員の紹介 自己紹介の準備
2	スピーキング：自己紹介 ライティング・スピーキング：今学期の目標設定	英語で自己紹介をします。 今学期の目標を英語で設定し、発表します。
3	品詞について (1)	英語の品詞とくに名詞、動詞、形容詞、副詞について学習します。
4	品詞について (2)、5 W 1 H	品詞の復習 疑問詞を使った疑問文
5	文型について (第1、2文型)	第1文型、第2文型の学習 (be, become, feelを用いた文の学習)
6	プレゼンテーション準備	効果的なプレゼンテーションに関して学習します。 プレゼンテーションの準備をします。
7	プレゼンテーション (1)	プレゼンテーションをします。

8	プレゼンテーション (2)	プレゼンテーションをします。
9	プレゼンテーション (3)	プレゼンテーションをします。
10	プレゼンテーション (4)	プレゼンテーションをします。
11	文型について (第3文型・第4文型)	第1文型、第2文型の復習 第3文型、第4文型の学習 (give, teach, tell, send, show, buyを用いた文の学習)
12	文型について (第5文型)	第1～第4文型の復習 第5文型の学習 (call, name, makeを用いた文の学習)
13	名詞句、形容詞句、副詞句、名詞節、形容詞節、副詞節について リーディングの練習	名詞句、形容詞句、副詞句、名詞節、形容詞節、副詞節の学習 簡単な英文を読む練習
14	全体の復習 リフレクション	今学期の復習をします。 今学期の学習を振り返り、夏季休暇中、来学期の目標を設定します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業外では以下の学習が求められます。

1) 課題を行い、提出期限に提出すること

2) 英語番組を定期的に視聴すること

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

適宜資料を配布します。

【参考書】

英和辞典、和英辞典

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%), 課題 (10%), プレゼンテーション (30%), 期末テスト (40%)

*各学期欠席4回以上の場合は、原則として単位修得は認められません。またプレゼンテーションを行わなかった場合、定期試験を受けなかった場合も単位修得は認められません。

【学生の意見等からの気づき】

適宜みなさんの御希望を伺いながら授業を進めていきたいと思えます。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii, Zoom, WORD, PowerPointを使用します。

コンピュータ、USBも使用します。

【その他の重要事項】

- 1) 積極的に授業に参加することが求められます。
- 2) マナーを守り、協力して授業に参加することが求められます。
- 3) 課題の提出期限を遵守することが求められます。
- 4) 授業に欠席する場合は、担当教員に必ず連絡することが必要です。
- 5) 受講希望者は、必ず最初のオンラインの授業に参加して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] You will learn English to achieve these six goals: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to read simple English sentences; 5) to learn English holistically and 6) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning Objectives] You will try to achieve these six goals in this English class: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to read simple English sentences; 5) to learn English holistically and 6) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning activities outside of classroom] You are expected: 1) to do assignments, submit them, and meet the deadline; 2) to watch or listen to an English program regularly/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria/Policy] class participation (20%), assignments (10%), presentation (30%), and final examination (40%)

*If you have four absences per semester without permission, do not make a presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) II

2017年度以降入学者

深谷 公宣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

基礎的な語彙・文法を振り返りながら、英文理解・表現のスキルを伸長させます。

【到達目標】

学期の終わりにまでに次のことができるようになるのが目標です。
 ・辞書を引き、単語の意味だけでなく品詞や用法を理解することができる。
 ・基本的な文法の知識に基づき、英文を読むことができる。
 ・簡単な英語で自分の考えを書くことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

・授業形態：教科書に沿って演習・解説をします。また、その単元に扱う内容に関連する文化的話題について紹介します。
 ・授業内課題：授業の終わりにライティングを行い、提出してもらいます。毎回辞書を持参してください。
 ・レポート課題：学期末に、英語で書かれた任意の楽曲について調べるレポート課題を出します。
 ・フィードバック方法：提出物は添削のうえ、返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unit1	Stand by Me (Ben E. King) 関係代名詞の that
2	Unit2	Jailhouse Rock (Elvis Presley) 命令文
3	Unit3	Blowin' in the Wind (Bob Dylan) 現在進行形
4	Unit4	Puff, the Magic Dragon (Peter, Paul and Mary) 習慣の would
5	Unit5	I've Gotta Get a Message to You (Bee Gees) 強調構文
6	Unit6	Bridge Over Thoudand Water (Simon & Garfunkel) 現在完了形
7	Unit7	Take Me Home, Country Roads (John Denver) 仮定法過去完了
8	Unit8	Imagine (John Lennon) 'wonder if..'
9	Unit9	I Need to Be in Love (The Carpenters) 仮定法過去

10	Unit10	Honesty (Billy Joel) to 不定詞の形容詞的用法
11	Unit11	Hotel California (Eagles) 受動態
12	Unit12	I Just Called to Say I Love You (Stevie Wonder) to 不定詞の副詞的用法
13	Unit13	Pride (In the Name of Love) (U2) 動詞句 (V+前置詞/V+副詞など)
14	Unit14	Like a Virgin (Madonna) 第2文型 (S+V+C) /第3文型 (S+V+O)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・授業前には予習を行ってください。
 ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

『ソングス&カルチャー (Enjoying English through Pop Songs)』
 関戸冬彦/小林愛明/山中章子/吉田要著、朝日出版社、2200円 (税込)。

【参考書】

授業の中で指示します。

【成績評価の方法と基準】

・平常点：40%
 ・授業内課題 (ライティング)：30%
 ・レポート課題：30%
 ・4回以上欠席した受講生は単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

[Course outline] Students will improve their English understanding and expression skills, by reviewing basic grammar and vocabulary.

[Learning Objectives] By the end of this course, students will be an active English learner who tries to look up a dictionary to understand not only the meaning of a word, but also its collocation, and uses the skills they acquired for reading and writing.

[Learning activities outside of the classroom] Preparation for exercises in the textbook.

[Grading Criteria/Policy] Class participation (40%), in-class assignments (30%), and final paper (30%).

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I

2017年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語の基礎力に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力、会話力を身につけ、社会で利用できる実践力を身につけることを目的としています。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

(1) 基礎文法力を身につける

(2) 基礎読解力を身につける

(3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。ペアワーク中心に進めます。英語が苦手な学生が、英語をまず好きになってもらうように双方向の楽しい授業を心がけます。授業内での課題、発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。自己紹介ゲームをする。
2	Unit 1 ①Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 日常生活で使用される英語表現を身につける
3	Unit 1 ②Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 通訳演習・発表
4	Unit 2 ①By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 日常生活で使用される英語表現を身につける
5	Unit 2 ②By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 通訳演習・発表
6	Unit 3 ①What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 日常会話で使用される英語表現を身につける。
7	Unit 3 ②What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 通訳演習・発表
8	Unit 4 ①Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 日常生活で使用される英語表現を身につける
9	Unit 4 ②Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 通訳演習・発表
10	Unit 5 ①We're Sorry for the Inconvenience	Tense① 日常生活で使用される英語表現を身につける

11 Unit 5
②We're Sorry for the Inconvenience Tense②
通訳演習・発表

12 Unit 6
①I haven't had an Opportunity Progressive Form/Perfect Tense①
日常生活で使用される英語表現を身につける

13 Unit 6
②I haven't had an Opportunity Progressive Form/Perfect Tense②
通訳演習・発表

14 期末試験 まとめ・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CDを聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

履修者に応じて、授業内で必要な場合は、参考書を指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50%（授業への参加度、態度、発表、小テスト）

評価の基準

(1) 基礎文法力、語彙力が身についているか

(2) リスニング力が身についているか

(3) 読解力が身についているか

欠席4回以上で、単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、英語が苦手な学生に対して、楽しい授業を心掛ける。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basic English

(1) Acquire basic grammar skills

(2) Acquire basic reading comprehension

(3) Acquire listening skills and daily English conversation Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

(1) Understanding the contents

(2) Acquire the daily English Conversation

(3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) II

2017年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制（48）

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、この授業では、基礎的な英語に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力、会話力を身につけ、社会で使える実践力を身につけます。発表中心の授業になります。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。各学生は予習をして授業に臨むことを原則とします。文法の解説、語彙力、リスニング力向上のための訓練を行い、実践力を身につけていきます。発表後、毎回アドバイスをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 ① Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ① 日常生活で使用する英語表現を身につける
2	Unit 7 ② Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ② 通訳演習・発表
3	Unit 8 ① You should ask Koji	Auxiliary Verbs ① 日常生活で使用する英語表現を身につける
4	Unit 8 ② You should ask Koji	Auxiliary Verbs ② 通訳演習・発表
5	Unit 9 ① Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ① 日常生活で使用する英語表現を身につける
6	Unit 9 ② Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ② 通訳演習・発表
7	Unit 10 ① I'd like to check in.	Participles ① 日常生活で使用する英語表現を身につける
8	Unit 10 ② I'd like to check in.	Participles ② 通訳演習・発表
9	Unit 11 ① Have you tried looking online?	Gerunds ① 日常生活で使用する英語表現を身につける

10	Unit 11 ② Have you tried looking on line?	Gerunds ② 通訳演習・発表
11	Unit 12 ① I'd like a smaller one	Comparatives ① 日常生活で使用する英語表現を身につける
12	Unit 13 ② Are you ready to order?	Relative Pronouns 日常生活で使用する英語表現を身につける
13	Unit 14 Walk eight blocks, and you'll see it on your right	Relative Adverbs 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CDを聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

学生のレベルや状況を鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50%（授業への参加度、態度、発表、小テスト）

評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身についているか
 - (2) リスニング力が身についているか
 - (3) 読解力が身についているか
- 欠席4回以上で単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basis English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily conversation skills

Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading, listening, and/or writing homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show &Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show &Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show &Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

The class was conducted online in the previous years, but students enjoyed "talking" to each other in English, made friends, and developed a sense of community through many communicative activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

The class was conducted online in the previous years, but students enjoyed "talking" to each other in English, made friends, and developed a sense of community through many communicative activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World (Migration, Work, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading, and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	Economic migrants. People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students' research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Prepare a short presentation on what kind of work would suite you. Would you move abroad to work? Homework: Reading on undocumented migrants.
Week 4	Reading Article 1: Undocumented and Irregular Migration.	Legal Illegal Alien Reading article about "undocumented" or "irregular" migrants, who are often referred to as "Illegal" migrants.

Week 5	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from the textbook. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.
Week 6	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading on immigration detention.	Week 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 7	Reading Task 2 Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. We will look at articles about people detained in immigration detention including the situation of a person from Turkey living in Japan.			Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feed back from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	Week 14	Student presentations part 2.	
Week 9	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and prepara- tion for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker &John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., &White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester. 2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading article on “undocumented” (“illegal”) migrants and other topics 10%		
Week 10	Unit 5: Migrants Workers in Japan	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading on Migrant Workers in Japan.			
Week 11	Reading Task 3:Migrant Workers Exploitation in Japan	Migrant workers in Japan working in various sectors and the challenges that they face. Case of technical trainees.			

- b. Reading article on immigration detention.10%
- c. Readings migrant workers in Japan. 10%
- 3. Major assignment: research and presentation 50%

Research Topic Work Sheet 10%

References for presentation (work sheet and bibliography in slides)10 %

Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 20%

Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%

You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.

- Additional resources for writing (dictionaries etc).

- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

【Outline (in English)】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi). There will be verbal feedback given directly to every student following their presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading record. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading record.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Manga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension / Your Opinions. Homework: Reading and reading diary. Reading on Palestine and it's Japanese translation.
Lesson 4	Translation of ideas.	We will look at articles and parts of books written in English about topics such as Israel-Palestine, genocide of Jewish people, and writing in English by people in Gaza. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.
Lesson 5	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Unit 6 Think global act local.	Japanese Companies selling products overseas Homework: Read article on migration and crime.

Lesson 7	Think Global Act Local: Migration and Globalization	The movement of people and the movement of different ways of living: how does this impact society? Reading article on the topic: Does migration lead to an increase in crime? Homework: Hand out worksheets on research for final presentation.	Lesson 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Lesson 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feedback from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. You will need to set aside time to research for your presentations and to read the articles given to you during class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search "Penguin reader" on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 [Grading Criteria] 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% · In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. · Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester. 2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading sections from books on Palestine and other topics 10% b. Reading article on immigration and crime. 10% c. Readings on articles related to the danger of crossing borders 10% 3. Major assignment: research and presentation 50% Research Topic Work Sheet 10% References for presentation (work sheet and bibliography in slides) 10 % Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10% You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.		
Lesson 9	Unit 8: Build a Happy Life!	Life of a European Architect in Japan from Text book			
Lesson 10	Build a Happy Life continued.	Life of a European Architect in Japan Homework: Reading on border control construction such as walls and fences.			
Lesson 11	Reading on border control.	The use of border walls and naval patrols to control borders are well known. These and more recent use of digital and automated systems including AI technology has made crossing borders increasingly dangerous for refugees and migrants. We look at a reading to understand the current trends in the uses of such technology.			
Lesson 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.			
Lesson 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!			

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の動向

岩坪 友子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまなテーマの英文および関連した練習問題やリスニングを通じて、現代社会・文化の動向について知識や問題意識を養いながら、1年次に習得した英語4技能の総合的な向上を目指します。予習・復習でスキルと学習習慣を定着させるとともに、プレゼンテーションでクリティカル・シンキング力を鍛えながらスキルを発展させます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約・意見交換できる
- (2)教材レベルの英語の音声を理解し、自分でも明瞭で自然なイントネーションで音読できる
- (3)教材に関連したトピックについて、情報収集・多面的考察を行い、知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書き、聞き手に伝わりやすく表現したり、意見交換ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら各種問題（語彙・内容把握ほか）、英文の要約（英語・日本語）・細部確認・意見交換などを指名やペアワークで行い、終了時にリアクションを記入します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認を行います。英文を論理的な文章のモデルとして意識することで、使う目線から語彙や構文を参考にして論理的な表現方法を身につけることも目指します。付属音声は予習復習での活用を奨励し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意してリスニングと読解力の向上に役立てながら、内容を理解した上での自然で明瞭な発話のモデルとします。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは、スライド資料の指示に沿って原稿を期日までに提出後、教員との個別リハーサルでアドバイスを受け、グループリハーサルを経て、発表・質疑応答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション。 Unit 1 The Arts: Multisensory Art 導入	授業の概要説明。U1 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
2	Multisensory Art 理解と考察	U1 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
3	Unit 2 Identity: Personality and Inner Growth 導入	U1 小テスト・ディクテーション解答。U2 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
4	Personality and Inner Growth 理解 と考察	U2 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題

5	Unit 3 Nature and Humanity: The Subterranean World 導入	U2 小テスト・ディクテーション解答。U3 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
6	The Subterranean World 理解と考察	U3 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
7	Unit 4 Achievement: Elements of Genius 導入	U3 小テスト・ディクテーション解答。U4 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
8	Elements of Genius 理解と考察	U4 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
9	Unit 5 Careers: Sports Medicine 導 入	U4 小テスト・ディクテーション解答。U5 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
10	Sports Medicine 理 解と考察。プレゼン テーション・リハー サル導入	U5 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
11	Unit 6 Culture: Cultural Awareness 導入。プ レゼンテーション・ リハーサル導入	U5 小テスト・ディクテーション解答。U6 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
12	Cultural Awareness 理解と考 察。プレゼンテー ション・リハーサル 導入	U6 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
13	期末テスト。プレゼ ンテーション・リ ハーサルと春学期の 復習	春学期末テスト。プレゼンテーションの練習・アドバイス（個別・グループ）。春学期の復習
14	プレゼンテーション。 春学期のまとめ	発表・質疑応答。U6 小テスト・ディクテーション解答。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで実力向上、発展的学習習慣の構築も目指します。

①予習 (1)テキストの問題を解き根拠も準備 (2)文章の趣旨を把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワード（スライドの図表）などを使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて（書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ）自分の意見を言う／書く

③プレゼンテーション準備：プレゼン用スライド資料の指示に沿って少しずつ準備、原稿を期限内に提出、リハーサル・推敲
※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て（印をつけたり）確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3* 南雲堂、2,640円（本体2,400円＋税）

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト40%、プレゼンテーション20%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックで予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・課題・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。

【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2, integrating the four skills of reading, writing, speaking and listening. The course is designed to help students to read articles on a wide range of issues in the world today and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students practice summarizing the text and exchanging ideas. They will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize and comment on the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics in speech and writing.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), final examination (40%) and final presentation (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の動向

岩坪 友子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまなテーマの英文および関連した練習問題やリスニングを通じて、現代社会・文化の動向について知識や問題意識を養いながら、1年次と春学期に習得した英語4技能の総合的な向上を目指します。予習・復習でスキルと学習習慣を定着させるとともに、プレゼンテーションでクリティカル・シンキング力を鍛えながらスキルを発展させます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約・意見交換できる
- (2)教材レベルの英語の音声を理解し、自分でも明瞭で自然なイントネーションで発音・音読できる
- (3)教材に関連したトピックについて、情報収集・多面的考察を行い、知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書き、聞き手に伝わりやすく表現したり、意見交換ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら各種問題（語彙・内容把握ほか）確認、英文の要約（英語・日本語）・細部確認・意見交換などを指名やペアワークで行い、終了時にリアクションを記入します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認を行います。英文を論理的な文章のモデルとして意識することで、使う目線から語彙や構文を参考にして論理的な表現方法を身につけることも目指します。付属音声は予習復習での活用を奨励し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意してリスニングと読解力の向上に役立てながら、内容を理解した上での自然で明瞭な発話のモデルとします。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは、スライド資料の指示に沿って原稿を期日までに提出後、教員との個別リハーサルでアドバイスを受け、グループリハーサルを経て、発表・質疑応答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Lifestyles: Living off the Grid 導入	Unit 7 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
2	Living off the Grid 理解と考察	Unit 7 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
3	Unit 8 The Performing Arts: The Actor's Craft 導入	U7 小テスト・ディクテーション解答。Unit 8 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約

4	The Actor's Craft 理解と考察	Unit 8 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
5	Unit 9 Conservation: Eco-Packaging 導入	U8 小テスト・ディクテーション解答。Unit 9 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
6	Eco-packaging 理解と考察	Unit 9 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
7	Unit 10 Business Trends: Pop-up Shops 導入	U9 小テスト・ディクテーション解答。Unit 10 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
8	Pop-up Shops 理解と考察	Unit 10 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
9	Unit 11 Growing Up: Screen Time 導入	U10 小テスト・ディクテーション解答。Unit 11 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
10	Screen Time 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル 導入	Unit 11 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
11	Unit 12 Wealth and Giving: The World of the Super Rich 導入。プレゼンテーション・リハーサル 導入	U11 小テスト・ディクテーション解答。Unit 12 ウォームアップ・語彙・大意把握・前半要約
12	The World of the Super Rich 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル 導入	Unit 12 語彙文法問題・後半要約・細部確認・意見交換・リスニングと速読問題
13	プレゼンテーション・リハーサル。秋学期末テスト	秋学期末テスト。プレゼンテーションの練習・アドバイス（個別・グループ）。秋学期の復習
14	プレゼンテーション。秋学期のまとめ	発表・質疑応答。U12 小テスト・ディクテーション解答。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで実力向上、発展的学習習慣の構築も目指します。

①予習 (1)テキストの問題を解き根拠も準備 (2)文章の趣旨を把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワード（スライドの図表）などを使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて（書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ）自分の意見を言う／書く

③プレゼンテーション準備：プレゼン用スライド資料の指示に沿って少しずつ準備、原稿を期限内に提出、リハーサル・推敲 ※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て（印をつけたり）確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett 著、Reading Fusion 3 南雲堂、2,640円（本体2,400円＋税）

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト40%、プレゼンテーション20%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックで予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・課題・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。

【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2, integrating the four skills of reading, writing, speaking and listening. The course is designed to help students to read articles on a wide range of issues in the world today and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students practice summarizing the text and exchanging ideas. They will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize and comment on the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics in speech and writing.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), final examination (40%) and final presentation (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 I	2017年度以降入学者
サブタイトル：English language and culture	
宇野 毅	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の4技能の実際的な向上

【到達目標】

- ・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に理解したとは言えないであろう。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいないだけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習しておくこと。
- ・履修者には授業内容(予習)に関して、自発的に発表してもらう予定である。これは、平常点として評価の対象となる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction Chapter 1 Britain and Europe (前半)	イギリスとヨーロッパ 本文の理解と文化的背景の解説
第2回	Chapter 1 Britain and Europe (後半)	イギリスのEU離脱 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第3回	Chapter 2 The Memories of Empire (前半)	大英帝国の繁栄 本文の理解と文化的背景の解説
第4回	Chapter 2 The Memories of Empire (後半)	大英帝国の名残 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第5回	Chapter 3 Who Are the British? (前半)	イギリス人とは？ 本文の理解と文化的背景の解説
第6回	Chapter 3 Who Are the British? (後半)	スコットランドや北アイルランドの歴史的推移 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第7回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (前半)	イギリスの経営 本文の理解と文化的背景の解説
第8回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (後半)	経営の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ

第9回	Chapter 5 The Salaryman (前半)	イギリスのサラリーマン事情 本文の理解と文化的背景の解説
第10回	Chapter 5 The Salaryman (後半)	日英労働比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第11回	Chapter 6 The Worship of the Individual (前半)	イギリスの個人主義 本文の理解と文化的背景の解説
第12回	Chapter 6 The Worship of the Individual (後半)	個人主義の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第13回	Chapter 7 The Battle for the Schools (前半)	イギリスの教育 本文の理解と文化的背景の解説
第14回	Chapter 7 The Battle for the Schools (後半)	日英教育比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。次回の範囲を必ず予習すること。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて【最低でも】2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

【参考書】

授業開講時に教室で指示する

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等70点・平常点30点（計100点）で、60点以上を合格基準として評価する。
- ・原則として、欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・Course outline：Improvement of the English 4 skills
- ・Learning Objectives：Perfect understanding of English Language and culture
- ・Learning activities outside of classroom：Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・Grading Criteria /Policy：Final grade will be calculated according to the following process：term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English language and culture

宇野 毅

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の4技能の実際的な向上

【到達目標】

・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に英語を理解したとは言えないであろう。

・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいるだけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習しておくこと。
- ・履修者には授業内容(予習)に関して、自発的に発表してもらう予定である。これは、平常点として評価の対象となる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり/Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (前半)	イギリス政治 本文の理解と文化的背景の解説
第2回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (後半)	日英政治比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第3回	Chapter 9 Changing Fashions (前半)	イギリスのファッション 本文の理解と文化的背景の解説
第4回	Chapter 9 Changing Fashions (後半)	日英ファッション比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第5回	Chapter 10 The Changing Media (前半)	イギリスのメディア 本文の理解と文化的背景の解説
第6回	Chapter 10 The Changing Media (後半)	日英メディア比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第7回	Chapter 11 The British Discover Food (前半)	イギリスの食事情 本文の理解と文化的背景の解説

第8回	Chapter 11 The British Discover Food (後半)	日英食文化比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第9回	Chapter 12 Cars with Personality (前半)	イギリスの車事情 本文の理解と文化的背景の解説
第10回	Chapter 12 Cars with Personality (後半)	日英車事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第11回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (前半)	イギリスのガーデニング 本文の理解と文化的背景の解説
第12回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (後半)	日英ガーデニング事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第13回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (前半)	イギリスの田園 本文の理解と文化的背景の解説
第14回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (後半)	日英田園比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。テキストの次回範囲を必ず予習すること。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、【最低でも】2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

【参考書】

授業開講時に教室で指示する

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等70点・平常点30点（計100点）で、60点以上を合格基準として評価する。
- ・原則として、欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・Course outline：Improvement of the English 4 skills
- ・Learning Objectives：Perfect understanding of English Language and culture
- ・Learning activities outside of classroom：Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・Grading Criteria /Policy：Final grade will be calculated according to the following process：term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA（英語 / English language education 200）		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：英語を通して学ぶ現代イギリスの文化・社会		
高井 美紀子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、現代イギリスの諸相について書かれた英文エッセイの読解を通して英語力を高めながら現代イギリスの文化と社会について理解を深めることを目的とします。扱われるトピックは、EU離脱、王室風刺、北アイルランド紛争、気候変動、音楽やSNS、移民問題、ジェンダー・セクシュアリティ問題と多岐にわたります。その中には現代日本の抱えている問題と驚くほど似ているものや深く通じるものもあり、日本の抱える問題を相対化して国際的な視点から見る視座を養うのにも役立ちます。テーマの性質上、テキストだけではなく、英語の新聞記事やニュース記事、映画や音楽、関連する動画など、様々な素材を適宜教材として用いる予定です。学期の終わりには学生による英語でのプレゼンテーションを行う。学生は授業で扱った内容から興味を持った問題に関して、各グループでリサーチし英語で発表を行います。この発表を通して、学生は自らの興味対象に対して調査をし、深く理解する能力、英語で発信する能力、英語で質疑応答する能力、仲間と協力しながら問題の解決に当たる能力などを身に着けます。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とする。

- ①英語母語話者の書いた英文を読んで正しく理解する能力。
- ②知らない固有名詞や言い回しが出てきても、文の構造、流れを理解し、トピックの趣旨を見失わない英文読解力。
- ③英文記事やニュース英語を読んだり聞いたりして、議論の趣旨を把握する能力。
- ④世界の他の国の問題と現代日本で起きている問題を比較して批判的に見る能力。
- ⑤自らの興味を英語で発信し、それについて仲間と英語でディスカッションする能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で、学生の発表を中心に進めます。学生は、テキストの自分の担当箇所を事前に予習し、授業内で発表します。学期末プレゼンテーションは課題解決型学習です。学生は、自ら設定したテーマに対し仲間と協力しながらリサーチし、その結果をまとめ発表をします。これらの発表が授業の中心になります。しっかりと準備して臨んでください。課題を出す場合は、学習支援システムを通じて出し、フィードバックも学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	オリエンテーション	授業の方針説明
第2回授業	Chapter 1 Brexit: Empire 2.0, NHS, SS-GB	ブレグジットの原因は？ それはイギリスにどのような影響を与えたか？
第3回授業	Chapter 2 Political Satire in the UK	イギリスの政治風刺の伝統について考える。

第4回授業	Chapter 3 England, Ireland and the Great Hunger	アイルランドとジャガイモ飢饉について考える。
第5回授業	Chapter 4 Belfast and the Troubles	イギリスとアイルランドの関係。
第6回授業	Chapter 5 Landscape, Film and Tourism in Scotland	スコットランドの景観m映画、旅行産業について考える。
第7回授業	Chapter 6 The Legacy of the Beatles	ビートルズについて知る。
第8回授業	Chapter 7 Friends-Real, Virtual, Artificial	現代のSNSやAIがもたらした社会の変化について考える。
第9回授業	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループ、テーマ決め。
第10回授業	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション中間報告1回目。
第11回授業	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション中間報告2回目。
第12回授業	プレゼンテーション①	学生による発表（前半グループ）
第13回授業	プレゼンテーション②	学生による発表（後半グループ）
第14回授業	春学期のまとめ	春学期の学習の振り返りとレポート指示

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
通常授業時における予習時間は30分が目安です。全員授業前に各チャプターのタイトルと日本語導入文を読み、ヴォキャブラリーやテキスト本文下の注に目を通しておいてください。読解発表担当者は、授業前にテキスト本文を精読し、分からない箇所は調べておいてください。発表担当者の準備時間の目安は最低1時間です。復習に必要な時間は30分です。プレゼンテーション準備期間に必要な授業外学習の時間の目安は3～4時間程度となります。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Reading Post-Brexit Britain

【編者名】 Christopher J. Armstrong, Anthony Piccolo, 板倉巖一郎

【出版社名】 松柏社

【出版年】 2024年

【価格】 2100円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：40%

学期末プレゼンテーション：40%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションの準備期間と当日のスケジュールは時間が十分にあったほうが良いという意見が多く、今期はプレゼンテーションに多めに時間を充てる予定です。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency as well as acquire some basic knowledge about current topics in Britain today. The topics cover a variety of issues such as Brexit, political satire, Northern Ireland and the Troubles, Climate Change, music, SNS, immigrants, gender and sexuality, and so on. Quite a few of these issues are relevant to issues which Japan is facing today, helping students see Japanese issues from a broader perspective. In addition to the textbook, news articles, journal articles, films, music, and other related movies on You Tube will also be teaching materials according to circumstances. In the end of the term, students give an English presentation of the theme in which they are interested through the course. By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. research the object of their interest cooperating with other students.
- B. present their research in English.
- C. give and respond to questions in English.

Before each class meeting, all students will be expected to read the title and Japanese introduction of each chapter, and check the vocabulary and notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting. Students who are assigned to interpret the reading text will be expected to have read it before each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. After each class meeting, all students will be expected to spend half an hour to understand the course content.

During Students' presentation period, all students will be required to spend 3 4 hours for preparation before each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end presentation: 40%、Term-end report : 20%、in class contribution: 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル：英語を通して学ぶ現代イギリスの文化・社会		
高井 美紀子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、現代イギリスの諸相について書かれた英文エッセイの読解を通して英語力を高めながら現代イギリスの文化と社会について理解を深めることを目的とします。扱われるトピックは、EU離脱、王室風刺、北アイルランド紛争、気候変動、音楽やSNS、移民問題、ジェンダー・セクシュアリティ問題と多岐にわたります。その中には現代日本の抱えている問題と驚くほど似ているものや深く通じるものもあり、日本の抱える問題を相対化して国際的な視点から見る視座を養うのにも役立ちます。テーマの性質上、テキストだけではなく、英語の新聞記事やニュース記事、映画や音楽、関連する動画など、様々な素材を適宜教材として用いる予定です。学期の終わりには学生による英語でのプレゼンテーションを行う。学生は授業で扱った内容から興味を持った問題に関して、各グループでリサーチし英語で発表を行います。この発表を通して、学生は自らの興味対象に対して調査をし、深く理解する能力、英語で発信する能力、英語で質疑応答する能力、仲間と協力しながら問題の解決に当たる能力などを身に着けます。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とする。

- ①英語母語話者の書いた英文を読んで正しく理解する能力。
- ②知らない固有名詞や言い回しが出てきても、文の構造、流れを理解し、トピックの趣旨を見失わない英文読解力。
- ③英文記事やニュース英語を読んだり聞いたりして、議論の趣旨を把握する能力。
- ④世界の他の国の問題と現代日本で起きている問題を比較して批判的に見る能力。
- ⑤自らの興味を英語で発信し、それについて仲間と英語でディスカッションする能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で、学生の発表を中心に進めます。学生は、テキストの自分の担当箇所を事前に予習し、授業内で発表します。学期末プレゼンテーションは課題解決型学習です。学生は、自ら設定したテーマに対し仲間と協力しながらリサーチし、その結果をまとめ発表をします。これらの発表が授業の中心になります。しっかりと準備して臨んでください。課題を出す場合は、学習支援システムを通じて出し、フィードバックも学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	Chapter 8: 'Your Very Good Health': The National Health Service in Crisis	イギリスの国民皆保険制度について知り、日本のそれと比較する。

第2回授業	Chapter 9: 'Keep Calm and Carry on': Two Ages of Austerity	イギリスの緊縮財政について考え、日本の状況と比較する。
第3回授業	Chapter 10: Climate Change: Policy, Opinion and Cultural Awareness	気候変動の問題について考える。
第4回授業	Chapter 11: Cotton Capital: Britain and the Slave Trade	イギリスと奴隷貿易の歴史の関わりについて考える。
第5回授業	Chapter 12: A Hostile Environment: The Windrush Scandal	かつての大英帝国とイギリスの植民地、現代の英連邦について考える。
第6回授業	Chapter 13: Behind the Glamour of 'Dishi Rishi'	イギリスの多文化共生について考える。
第7回授業	Chapter 14: J. K. Rowling and Transgender	トランスジェンダーに対する様々な意見を知る。
第8回授業	Chapter 15: Gender in the UK: LGBTQ+Issues	ジェンダーとLGBTQの問題について考える。
第9回授業	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループ、テーマ決め。
第10回授業	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション中間報告1回目。
第11回授業	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション中間報告2回目。
第12回授業	プレゼンテーション①	学生による発表（前半グループ）
第13回授業	プレゼンテーション②	学生による発表（後半グループ）
第14回授業	秋学期のまとめ	秋学期の学習の振り返りとレポート指示

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
通常授業時における予習時間は30分が目安です。全員授業前に各チャプターのタイトルと日本語導入文を読み、ヴォキャブラリーやテキスト本文下の注に目を通しておいください。読解発表担当者は、授業前にテキスト本文を精読し、分からない箇所は調べておいください。発表担当者の準備時間の目安は最低1時間です。復習に必要な時間は30分です。プレゼンテーション準備期間に必要な授業外学習の時間の目安は3～4時間程度となります。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Reading Post-Brexit Britain

【編著者名】 Christopher J. Armstrong, Anthony Piccolo, 板倉厳一郎

【出版社名】 松柏社

【出版年】 2024年

【価格】 2100円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：40%

学期末プレゼンテーション：40%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションの準備期間と当日のスケジュールは時間が十分にあったほうが良いという意見が多く、今期はプレゼンテーションに多めに時間を充てる予定です。

【学生が準備すべき機器他】

最終回の授業はオンライン授業（Zoom 授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency as well as acquire some basic knowledge about current topics in Britain today. The topics cover a variety of issues such as Brexit, political satire, Northern Ireland and the Troubles, Climate Change, music, SNS, immigrants, gender and sexuality, and so on. Quite a few of these issues are relevant to issues which Japan is facing today, helping students see Japanese issues from a broader perspective. In addition to the textbook, news articles, journal articles, films, music, and other related movies on You Tube will also be teaching materials according to circumstances. In the end of the term, students give an English presentation of the theme in which they are interested through the course. By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. research the object of their interest cooperating with other students.
- B. present their research in English.
- C. give and respond to questions in English.

Before each class meeting, all students will be expected to read the title and Japanese introduction of each chapter, and check the vocabulary and notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting. Students who are assigned to interpret the reading text will be expected to have read it before each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. After each class meeting, all students will be expected to spend half an hour to understand the course content.

During Students' presentation period, all students will be required to spend 3 4 hours for preparation before each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end presentation: 40%、Term-end report : 20%、in class contribution: 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、"sustainable relationships"に関連するユニットを扱う。動画と文章を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明、受講者の自己紹介
第2回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (1)	読解、スピーキング
第3回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (2)	リスニング、スピーキング
第4回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (3)	ライティング、発表
第5回	Unit 4: The Search for a Perfect Partner (1)	読解、スピーキング
第6回	Unit 4: The Search for a Perfect Partner (2)	リスニング、スピーキング
第7回	Unit 8: Emerging Forms of Family (1)	読解、スピーキング
第8回	Unit 8: Emerging Forms of Family (2)	リスニング、スピーキング

第9回	Unit 8: Emerging Forms of Family (3)	ライティング、発表
第10回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (1)	読解、スピーキング
第11回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (2)	リスニング（前半）、スピーキング
第12回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (3)	リスニング（後半）、スピーキング
第13回	パラグラフとは	パラグラフの構造
第14回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (4)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。
- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
 - ・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
 - ・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
 - ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

INTEGRITY Advanced (金星堂、2023年、2500円＋税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、予習10%、課題30%、期末試験40%
欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched a video clip and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting. [Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、"sustainable society"に関連するユニットを扱う。動画と文章を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する プレゼンテーション導入
第2回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (1)	読解、スピーキング
第3回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (2)	リスニング（前半）、スピーキング
第4回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (3)	リスニング（後半）、スピーキング
第5回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (4)	ライティング、発表
第6回	Unit 2: The Global Shift to Renewable Energy (1)	読解、スピーキング

第7回	Unit 2: The Global Shift to Renewable Energy (2)	リスニング、スピーキング
第8回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (1)	読解、スピーキング
第9回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (2)	リスニング、スピーキング
第10回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (3)	ライティング、発表
第11回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (1)	読解、スピーキング
第12回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (2)	リスニング（前半）、スピーキング
第13回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (3)	リスニング（後半）、スピーキング
第14回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
- ・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

INTEGRITY Advanced（金星堂、2023年、2500円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20％、予習10％、課題30％、期末試験40％

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。

また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched a video clip and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading, and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary. Economic migrants.
Week 3	Economic migrants.	People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students' research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Prepare a short presentation on what kind of work would suite you. Would you move abroad to work? Homework: Reading on undocumented migrants.
Week 4	Reading Article 1: Undocumented and Irregular Migration.	Legal Illegal Alien Reading article about "undocumented" or "irregular" migrants, who are often referred to as "Illegal" migrants.

Week 5	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from the textbook. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.
Week 6	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading on immigration detention.	Week 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 7	Reading Task 2 Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. We will look at articles about people detained in immigration detention including the situation of a person from Turkey living in Japan.			Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feed back from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	Week 14	Student presentations part 2.	
Week 9	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and prepara- tion for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker &John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., &White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester. 2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading article on “undocumented” (“illegal”) migrants and other topics 10%		
Week 10	Unit 5: Migrants Workers in Japan	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading on Migrant Workers in Japan.			
Week 11	Reading Task 3:Migrant Workers Exploitation in Japan	Migrant workers in Japan working in various sectors and the challenges that they face. Case of technical trainees.			

- b. Reading article on immigration detention.10%
- c. Readings migrant workers in Japan. 10%
- 3. Major assignment: research and presentation 50%

Research Topic Work Sheet 10%

References for presentation (work sheet and bibliography in slides)10 %

Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 20%

Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%

You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

【Outline (in English)】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi). There will be verbal feedback given directly to every student following their presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading record. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading record.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Manga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension / Your Opinions. Homework: Reading and reading diary. Reading on Palestine and it's Japanese translation.
Lesson 4	Translation of ideas.	We will look at articles and parts of books written in English about topics such as Israel-Palestine, genocide of Jewish people, and writing in English by people in Gaza. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.
Lesson 5	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Unit 6 Think global act local.	Japanese Companies selling products overseas Homework: Read article on migration and crime.

Lesson 7	Think Global Act Local: Migration and Globalization	The movement of people and the movement of different ways of living: how does this impact society? Reading article on the topic: Does migration lead to an increase in crime? Homework: Hand out worksheets on research for final presentation.	Lesson 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Lesson 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feedback from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. You will need to set aside time to research for your presentations and to read the articles given to you during class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search "Penguin reader" on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 [Grading Criteria] 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% · In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. · Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester. 2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading sections from books on Palestine and other topics 10% b. Reading article on immigration and crime. 10% c. Readings on articles related to the danger of crossing borders 10% 3. Major assignment: research and presentation 50% Research Topic Work Sheet 10% References for presentation (work sheet and bibliography in slides) 10 % Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10% You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.		
Lesson 9	Unit 8: Build a Happy Life!	Life of a European Architect in Japan from Text book			
Lesson 10	Build a Happy Life continued.	Life of a European Architect in Japan			
Lesson 11	Reading on border control.	Homework: Reading on border control construction such as walls and fences. The use of border walls and naval patrols to control borders are well known. These and more recent use of digital and automated systems including AI technology has made crossing borders increasingly dangerous for refugees and migrants. We look at a reading to understand the current trends in the uses of such technology.			
Lesson 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.			
Lesson 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!			

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading, listening, and/or writing homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

The class was conducted online in the previous years, but students enjoyed "talking" to each other in English, made friends, and developed a sense of community through many communicative activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

The class was conducted online in the previous years, but students enjoyed "talking" to each other in English, made friends, and developed a sense of community through many communicative activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語を通して学ぶ現代イギリスの文化・社会

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、現代イギリスの諸相について書かれた英文エッセイの読解を通して英語力を高めながら現代イギリスの文化と社会について理解を深めることを目的とします。扱われるトピックは、EU離脱、王室風刺、北アイルランド紛争、気候変動、音楽やSNS、移民問題、ジェンダー・セクシュアリティ問題と多岐にわたります。その中には現代日本の抱えている問題と驚くほど似ているものや深く通じるものもあり、日本の抱える問題を相対化して国際的な視点から見る視座を養うのにも役立ちます。テーマの性質上、テキストだけではなく、英語の新聞記事やニュース記事、映画や音楽、関連する動画など、様々な素材を適宜教材として用いる予定です。学期の終わりには学生による英語でのプレゼンテーションを行う。学生は授業で扱った内容から興味を持った問題に関して、各グループでリサーチし英語で発表を行います。この発表を通して、学生は自らの興味対象に対して調査をし、深く理解する能力、英語で発信する能力、英語で質疑応答する能力、仲間と協力しながら問題の解決に当たる能力などを身に着けます。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とする。

- ①英語母語話者の書いた英文を読んで正しく理解する能力。
- ②知らない固有名詞や言い回しが出てきても、文の構造、流れを理解し、トピックの趣旨を見失わない英文読解力。
- ③英文記事やニュース英語を読んだり聞いたりして、議論の趣旨を把握する能力。
- ④世界の他の国の問題と現代日本で起きている問題を比較して批判的に見る能力。
- ⑤自らの興味を英語で発信し、それについて仲間と英語でディスカッションする能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で、学生の発表を中心に進めます。学生は、テキストの自分の担当箇所を事前に予習し、授業内で発表します。学期末プレゼンテーションは課題解決型学習です。学生は、自ら設定したテーマに対し仲間と協力しながらリサーチし、その結果をまとめ発表をします。これらの発表が授業の中心になります。しっかりと準備して臨んでください。課題を出す場合は、学習支援システムを通じて出し、フィードバックも学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	オリエンテーション	授業の方針説明
第2回授業	Chapter 1 Brexit: Empire 2.0, NHS, SS-GB	ブレグジットの原因は？ それはイギリスにどのような影響を与えたか？
第3回授業	Chapter 2 Political Satire in the UK	イギリスの政治風刺の伝統について考える。

第4回授業	Chapter 3 England, Ireland and the Great Hunger	アイルランドとジャガイモ飢饉について考える。
第5回授業	Chapter 4 Belfast and the Troubles	イギリスとアイルランドの関係。
第6回授業	Chapter 5 Landscape, Film and Tourism in Scotland	スコットランドの景観m映画、旅行産業について考える。
第7回授業	Chapter 6 The Legacy of the Beatles	ビートルズについて知る。
第8回授業	Chapter 7 Friends-Real, Virtual, Artificial	現代のSNSやAIがもたらした社会の変化について考える。
第9回授業	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループ、テーマ決め。
第10回授業	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション中間報告1回目。
第11回授業	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション中間報告2回目。
第12回授業	プレゼンテーション①	学生による発表（前半グループ）
第13回授業	プレゼンテーション②	学生による発表（後半グループ）
第14回授業	春学期のまとめ	春学期の学習の振り返りとレポート指示

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

通常授業時における予習時間は30分が目安です。全員授業前に各チャプターのタイトルと日本語導入文を読み、ヴォキャブラリーやテキスト本文下の注に目を通しておいください。読解発表担当者は、授業前にテキスト本文を精読し、分からない箇所は調べておいください。発表担当者の準備時間の目安は最低1時間です。復習に必要な時間は30分です。プレゼンテーション準備期間に必要な授業外学習の時間の目安は3～4時間程度となります。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Reading Post-Brexit Britain

【編者名】 Christopher J. Armstrong, Anthony Piccolo, 板倉巖一郎

【出版社名】 松柏社

【出版年】 2024年

【価格】 2100円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：40%

学期末プレゼンテーション：40%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションの準備期間と当日のスケジュールは時間が十分にあったほうが良いという意見が多く、今期はプレゼンテーションに多めに時間を充てる予定です。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom 授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency as well as acquire some basic knowledge about current topics in Britain today. The topics cover a variety of issues such as Brexit, political satire, Northern Ireland and the Troubles, Climate Change, music, SNS, immigrants, gender and sexuality, and so on. Quite a few of these issues are relevant to issues which Japan is facing today, helping students see Japanese issues from a broader perspective. In addition to the textbook, news articles, journal articles, films, music, and other related movies on You Tube will also be teaching materials according to circumstances. In the end of the term, students give an English presentation of the theme in which they are interested through the course. By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. research the object of their interest cooperating with other students.
- B. present their research in English.
- C. give and respond to questions in English.

Before each class meeting, all students will be expected to read the title and Japanese introduction of each chapter, and check the vocabulary and notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting. Students who are assigned to interpret the reading text will be expected to have read it before each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. After each class meeting, all students will be expected to spend half an hour to understand the course content.

During Students' presentation period, all students will be required to spend 3 4 hours for preparation before each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end presentation: 40%、Term-end report : 20%、in class contribution: 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語を通して学ぶ現代イギリスの文化・社会

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、現代イギリスの諸相について書かれた英文エッセイの読解を通して英語力を高めながら現代イギリスの文化と社会について理解を深めることを目的とします。扱われるトピックは、EU離脱、王室風刺、北アイルランド紛争、気候変動、音楽やSNS、移民問題、ジェンダー・セクシュアリティ問題と多岐にわたります。その中には現代日本の抱えている問題と驚くほど似ているものや深く通じるものもあり、日本の抱える問題を相対化して国際的な視点から見る視座を養うのにも役立ちます。テーマの性質上、テキストだけではなく、英語の新聞記事やニュース記事、映画や音楽、関連する動画など、様々な素材を適宜教材として用いる予定です。学期の終わりには学生による英語でのプレゼンテーションを行う。学生は授業で扱った内容から興味を持った問題に関して、各グループでリサーチし英語で発表を行います。この発表を通して、学生は自らの興味対象に対して調査をし、深く理解する能力、英語で発信する能力、英語で質疑応答する能力、仲間と協力しながら問題の解決に当たる能力などを身に着けます。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とする。

- ①英語母語話者の書いた英文を読んで正しく理解する能力。
- ②知らない固有名詞や言い回しが出てきても、文の構造、流れを理解し、トピックの趣旨を見失わない英文読解力。
- ③英文記事やニュース英語を読んだり聞いたりして、議論の趣旨を把握する能力。
- ④世界の他の国の問題と現代日本で起きている問題を比較して批判的に見る能力。
- ⑤自らの興味を英語で発信し、それについて仲間と英語でディスカッションする能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で、学生の発表を中心に進めます。学生は、テキストの自分の担当箇所を事前に予習し、授業内で発表します。学期末プレゼンテーションは課題解決型学習です。学生は、自ら設定したテーマに対し仲間と協力しながらリサーチし、その結果をまとめ発表をします。これらの発表が授業の中心になります。しっかりと準備して臨んでください。課題を出す場合は、学習支援システムを通じて出し、フィードバックも学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	Chapter 8: 'Your Very Good Health': The National Health Service in Crisis	イギリスの国民皆保険制度について知り、日本のそれと比較する。

第2回授業	Chapter 9: 'Keep Calm and Carry on': Two Ages of Austerity	イギリスの緊縮財政について考え、日本の状況と比較する。
第3回授業	Chapter 10: Climate Change: Policy, Opinion and Cultural Awareness	気候変動の問題について考える。
第4回授業	Chapter 11: Cotton Capital: Britain and the Slave Trade	イギリスと奴隷貿易の歴史の関わりについて考える。
第5回授業	Chapter 12: A Hostile Environment: The Windrush Scandal	かつての大英帝国とイギリスの植民地、現代の英連邦について考える。
第6回授業	Chapter 13: Behind the Glamour of 'Dishi Rishi'	イギリスの多文化共生について考える。
第7回授業	Chapter 14: J. K. Rowling and Transgender	トランスジェンダーに対する様々な意見を知る。
第8回授業	Chapter 15: Gender in the UK: LGBTQ+Issues	ジェンダーとLGBTQの問題について考える。
第9回授業	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループ、テーマ決め。
第10回授業	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション中間報告1回目。
第11回授業	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション中間報告2回目。
第12回授業	プレゼンテーション①	学生による発表（前半グループ）
第13回授業	プレゼンテーション②	学生による発表（後半グループ）
第14回授業	秋学期のまとめ	秋学期の学習の振り返りとレポート指示

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
通常授業時における予習時間は30分が目安です。全員授業前に各チャプターのタイトルと日本語導入文を読み、ヴォキャブラリーやテキスト本文下の注に目を通しておいください。読解発表担当者は、授業前にテキスト本文を精読し、分からない箇所は調べておいください。発表担当者の準備時間の目安は最低1時間です。復習に必要な時間は30分です。プレゼンテーション準備期間に必要な授業外学習の時間の目安は3～4時間程度となります。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Reading Post-Brexit Britain

【編著者名】 Christopher J. Armstrong, Anthony Piccolo, 板倉厳一郎

【出版社名】 松柏社

【出版年】 2024年

【価格】 2100円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：40%

学期末プレゼンテーション：40%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションの準備期間と当日のスケジュールは時間が十分にあったほうが良いという意見が多く、今期はプレゼンテーションに多めに時間を充てる予定です。

【学生が準備すべき機器他】

最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency as well as acquire some basic knowledge about current topics in Britain today. The topics cover a variety of issues such as Brexit, political satire, Northern Ireland and the Troubles, Climate Change, music, SNS, immigrants, gender and sexuality, and so on. Quite a few of these issues are relevant to issues which Japan is facing today, helping students see Japanese issues from a broader perspective. In addition to the textbook, news articles, journal articles, films, music, and other related movies on You Tube will also be teaching materials according to circumstances. In the end of the term, students give an English presentation of the theme in which they are interested through the course. By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. research the object of their interest cooperating with other students.
- B. present their research in English.
- C. give and respond to questions in English.

Before each class meeting, all students will be expected to read the title and Japanese introduction of each chapter, and check the vocabulary and notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting. Students who are assigned to interpret the reading text will be expected to have read it before each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. After each class meeting, all students will be expected to spend half an hour to understand the course content.

During Students' presentation period, all students will be required to spend 3 4 hours for preparation before each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end presentation: 40%、Term-end report : 20%、in class contribution: 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、"sustainable relationships"に関連するユニットを扱う。動画と文章を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明、受講者の自己紹介
第2回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (1)	読解、スピーキング
第3回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (2)	リスニング、スピーキング
第4回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (3)	ライティング、発表
第5回	Unit 4: The Search for a Perfect Partner (1)	読解、スピーキング
第6回	Unit 4: The Search for a Perfect Partner (2)	リスニング、スピーキング
第7回	Unit 8: Emerging Forms of Family (1)	読解、スピーキング
第8回	Unit 8: Emerging Forms of Family (2)	リスニング、スピーキング

第9回	Unit 8: Emerging Forms of Family (3)	ライティング、発表
第10回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (1)	読解、スピーキング
第11回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (2)	リスニング（前半）、スピーキング
第12回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (3)	リスニング（後半）、スピーキング
第13回	パラグラフとは	パラグラフの構造
第14回	Unit 9: The Dark Side of Robots with Common Sense (4)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
- ・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

INTEGRITY Advanced (金星堂、2023年、2500円＋税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、予習10%、課題30%、期末試験40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。

また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched a video clip and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting. [Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル：現代の世界における日本		
山崎 暁子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月4/Mon.4		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、"sustainable society"に関連するユニットを扱う。動画と文章を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する プレゼンテーション導入
第2回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (1)	読解、スピーキング
第3回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (2)	リスニング（前半）、スピーキング
第4回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (3)	リスニング（後半）、スピーキング
第5回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (4)	ライティング、発表
第6回	Unit 2: The Global Shift to Renewable Energy (1)	読解、スピーキング

第7回	Unit 2: The Global Shift to Renewable Energy (2)	リスニング、スピーキング
第8回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (1)	読解、スピーキング
第9回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (2)	リスニング、スピーキング
第10回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (3)	ライティング、発表
第11回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (1)	読解、スピーキング
第12回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (2)	リスニング（前半）、スピーキング
第13回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (3)	リスニング（後半）、スピーキング
第14回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。
・テキストの動画を繰り返し視聴する。
・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

INTEGRITY Advanced（金星堂、2023年、2500円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20％、予習10％、課題30％、期末試験40％
欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).
[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched a video clip and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 I	2017年度以降入学者
サブタイトル：Critical Thinking and Contemporary Issues	
ROBIN F WEICHERT	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：月4/Mon.4
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。クリティカルシンキングの手法を学びながら、情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary issues

- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials
- Build confidence in discussing various topics
- Expand vocabulary related to current affairs

学生は以下の能力を身につけます：

- 現代の諸問題を分析する批判的思考力を身につける
- 論理的に意見を英語で表現できるようになる
- 実践的な英語教材の理解力を向上させる
- 様々なトピックについて議論する自信をつける
- 時事問題に関する語彙力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Critical thinking skill practice
- Listening and reading comprehension
- Vocabulary development
- Group discussions
- Writing exercises

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

この授業では以下のような活動を行います：

- クリティカルシンキングスキルの練習
- リスニングとリーディングの理解
- 語彙力の向上
- グループディスカッション
- ライティング演習

プレゼンテーション、課題、小テストに対するフィードバックは、授業の冒頭もしくは終わりに行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction & Unit 1: "What Did We Owe Each Other?"	The Critical Stance
2	Unit 1 continued	The Critical Stance in practice
3	Unit 2: "Is Violence Sometimes Necessary?"	Looking at Causes and Effects
4	Unit 2 continued	Looking at Causes and Effects
5	Unit 3: "The Lesser of Two Evils"	Logical Analysis
6	Unit 3 continued	Logical Analysis
7	Presentation Workshop	Presentation skills and preparation
8	Unit 4: "Little White Lies"	Making Inferences
9	Unit 5: "What Is the Truth?"	Evaluating Information
10	Unit 6: "Hot, Dry, and Crowded"	Conducting Secondary Research

11	Unit 7: "AI Has You, Yuki"	Using Evidence to Support a Position
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials
- Prepare for discussions
- Practice presentation skills

学生は以下の準備・復習を行ってください：

- 授業内容の復習
- ディスカッションの準備
- プレゼンテーションの練習

As supplementary reading practice, students are encouraged to engage in extensive reading using graded readers from the university library (<https://hosei.libguides.com/tadoku>). Students should aim to read at least one book every two weeks, keeping a simple reading log with titles and brief personal reactions.

補助的な読書練習として、図書館の多読用図書（グレーデッド・リーダー）を活用することを推奨します（<https://hosei.libguides.com/tadoku>）。2週間に1冊程度の読書を目標とし、簡単な読書記録（タイトルと短い感想）をつけてください。

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Elwood, James, and Michael Hood. The Critical Thinker—15 Essential Skills for Critical Thinking. Tokyo: Cengage Learning K.K., 2025. ISBN: 9784863124349. ￥2,500 (￥2,750 税込)

【参考書】

Extensive Reading Materials /多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. The library's collection includes series like Oxford Bookworms, Cambridge Readers, and Penguin Readers at various levels. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>

図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。Oxford Bookworms, Cambridge Readers, Penguin Readers など、様々なレベルの本を用意しています。詳しくは <https://hosei.libguides.com/tadoku> をご覧ください。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

Class participation and discussion (40%)

Final presentation (45%)

Extensive reading (reading log completion) (15%)

成績評価は以下の基準で行います：

授業参加とディスカッション (40%)

最終プレゼンテーション (45%)

多読（読書記録の完成） (15%)

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めません

【学生の意見等からの気づき】

This textbook is being used for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

今年度から新しい教科書を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas.

Course activities include critical thinking skill practice, listening and reading comprehension, vocabulary development, group discussions, and writing exercises. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (15%), and a final presentation that demonstrates critical thinking skills (45%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current English II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is both an online and face-to-face class, Some classes will be taught on ZOOM and some face-to-face.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break Discussions/News and Views	Summer break catch-up/ News Headlines/Discussion
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor/Unconscious Bias
Week 4	News Article	Eco-Anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/ presentations
Week 7	Mid-term project/ presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/ presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/ presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None required.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド デイビッド スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド デイビッド スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The
homework listening recordings can be streamed or downloaded
from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/Students> will
have to create a yahoo.com email address, join the group,
and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2
Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation,
25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%
. Unexplained/unjustified absences exceeding three class
sessions may disqualify students from obtaining credit for the
course. Lateness exceeding 15 minutes without justification
will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing,
grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the Real World.

ジョナサン エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.

11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: English for the Real World.

ジョナサン エイブル

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.

Japan Times.

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA（英語 / English language education 200）			第3回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
English 3 I			第4回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
サブタイトル：Introduction to British life & culture			第5回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
吉川 直澄			第6回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月4/Mon.4 単位数：1単位			第7回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『純爛たるグランドセース』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
その他属性：			第8回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイディオムを比較します。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			第9回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：現国王チャールズ三世の母、エリザベス二世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探究し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。			第10回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェークスピアの意義について調べてみましょう。
【到達目標】			第11回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine:アイヌ、私の声』（2020）と共に考察します。
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。			第12回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice）をアメリカ映画Coda（2022）と比較しながら考察します。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			第13回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			第14回	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。
【授業の進め方と方法】					
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）事例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
第1回	ガイダンス／課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第1回課題を提示します。			
第2回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示：コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレイカー」となるのか学習します。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出(30%)と学期末に行う文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価します。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA（英語 / English language education 200）		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル：Introduction to British life & culture		
吉川 直澄		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 4/Mon.4		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、EU離脱以降のイギリスを巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。		
【到達目標】		
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
第1回	学期末レポート課題のフィードバックと第1回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第1回レポート課題を指示します。
第2回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるのでしょうか。
第3回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第4回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示：ビートルズについて調べてみましょう。
第5回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第6回	The Establishment: The Boys in Blue	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015)の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（2000）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第7回	The Establishment: Scrounging off the State	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（2019）を鑑賞します。
第8回	The Establishment: Foreword to the Paperback Edition	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った2つのイギリス映画『ベッカムに恋して』（2002）と『エンパイア・オブ・ライト』（2022）を鑑賞します。
第9回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第10回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示：階級制度について学びます。
第11回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示：文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第12回	Film as a complex site of cultural representation	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第13回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書のまとめと第13回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。		

【テキスト（教科書）】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen, Jones. *The Establishment*, London: Penguin (2015).
Oakland, John. *British Civilization an Introduction*, Routledge (2020). ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(30%)と学期末に実施する文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価を行います。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートを提出していれば、問題はないと思いますが、欠席が4回以上ある場合、5回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることがを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Post-Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：英語圏の文化と社会：アメリカから見た世界の事情		
大曲 陽子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月4/Mon.4		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
CNN International シリーズ2025年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能の学習を通してナマのニュース英語を理解し、アメリカから見た世界を理解していく。		
6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。		
【到達目標】		
タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に付けることも目指す。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。		
ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自DefinitionとExamplesを完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布のAnswer sheetに解答してOpen LMSを通して締め切り日までに提出する。		
2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。		
Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。		
適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。		
課題等に対するフィードバック方法		
毎週課題の提出があるので、オンラインの時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
3	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
4	Unit 2 情報漏洩の疑いで米議会がTikTokを徹底追及	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
5	Unit 2 情報漏洩の疑いで米議会がTikTokを徹底追及	Unit 1 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
6	Unit 3 西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
7	Unit 3 西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル	Unit 2 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
8	Unit 4 いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
9	Unit 4 いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ	Unit 3 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
10	Unit 5 出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
11	Unit 5 出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち	Unit 4 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
12	Unit 6 悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
13	Unit 6 悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん	Unit 5 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめと期末試験
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.		
授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかり聞いてディクテーションを行う。テキストのDefinitionをしっかり調べ完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples部分は採点し返却される。		

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース（26）
朝日出版社 2420 円（税込）

【参考書】

特になし
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド型授業時 課題提出 10%・・・

Examples は採点する。1点×10問＝10点

（Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする）

●対面時 授業内課題提出 10%

●小テスト 30%

●期末試験 50%

*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル： 英語圏の文化と社会：アメリカから見た世界の事情		
大曲 陽子		
開講時期： 秋学期授業/Fall 曜日・時限： 月4/Mon.4		
単位数： 1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
CNN International シリーズ2025年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能の学習を通してナマのニュース英語を理解し、アメリカから見た世界を理解していく。		
6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。		
【到達目標】		
タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。		
ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自DefinitionとExamplesを完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布のAnswer sheetに解答してOpen LMSを通して締め切り日までに提出する。		
2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。		
Unit一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。		
適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。		
課題等に対するフィードバック方法		
毎週課題の提出があるので、オンラインの時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	Warming Up	時事問題プリント教材
2	Unit 7	オンデマンド型
	米国からメキシコは押し寄せるノマドワーカーに住民困惑	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。Examplesの課題を提出する。スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。内容のTF問題
3	Unit 7	オンデマンド型
	米国からメキシコは押し寄せるノマドワーカーに住民困惑	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。Examplesの課題を提出する。スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。内容のTF問題
4	Unit 8	オンデマンド型
	学生ローン地獄にあえぐ米国のミレニアム世代	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。Examplesの課題を提出する。Unit 7 語彙小テスト
5	Unit 8	オンデマンド型
	学生ローン地獄にあえぐ米国のミレニアム世代	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。内容のTF問題
6	Unit 9	オンデマンド型
	化粧品に夢中のアルファ世代	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。Examplesの課題を提出する。Unit 8 語彙小テスト
7	Unit 9	オンデマンド型
	化粧品に夢中のアルファ世代	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。内容のTF問題
8	Unit 10	オンデマンド型
	物流の2024年問題時間外労働の規制始まる	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。Examplesの課題を提出する。Unit 9 語彙小テスト
9	Unit 10	オンデマンド型
	物流の2024年問題時間外労働の規制始まる	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。内容のTF問題
10	Unit 11	オンデマンド型
	期待高まるアルツハイマー病治療最新線	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。Examplesの課題を提出する。Unit 10 語彙小テスト
11	Unit 11	オンデマンド型
	期待高まるアルツハイマー病治療最新線	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。内容のTF問題
12	Unit 12	オンデマンド型
	インドネシア政府が進める新首都ヌサンタラ建設計画	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。Examplesの課題を提出する。Unit 11 語彙小テスト
13	Unit 12	オンデマンド型
	インドネシア政府が進める新首都ヌサンタラ建設計画	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。内容のTF問題
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめと期末試験
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.		
授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかり聞いてディクテーションを行う。テキストのDefinitionをしっかり調べ完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples部分は採点し返却される。		

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース（26）
朝日出版社 2420円（税込）

【参考書】

特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples
は採点する。1点×10問＝10点 （Answer
Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする）

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unitに関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMSの質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?
Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることのできる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review

Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting
Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on a chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8回目	新聞記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック（プレゼン方法と記事内容）
12回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14回目	食生活、健康 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）70%、プレゼンテーション課題関連 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (70%) and presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3回目	裁判制度 ②	<i>The New York Times</i> 記事
4回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	ブック・パッセージ	パッセージの内容確認、プレゼン練習
6回目	移民、人種、ホリデイ①	Lesson 3: Juneteenth
7回目	移民、人種、ホリデイ②	Lesson 7: Illegal
8回目	移民、人種、ホリデイ③	関連資料、ライティング
9回目	ブック・プレゼンテーション(1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10回目	ブック・プレゼンテーション(9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11回目	ブック・プレゼンテーション(18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ
12回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind

13回目	環境問題、地域的多様性 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
14回目	環境問題、地域的多様性 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）70%、プレゼンテーション課題関連 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (70%) and presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本におけるさまざまな取り組み

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

单位数：1 单位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本でおこなわれていることに関するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、**English 1** と **English 2** で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ① 英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ② 英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③ テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④ テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤ 自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 などの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点を説明をします。
2	Unit 1	広がる ChatGPT の活用
3	Unit 2	アート×ビジネスの今
4	Unit 3	身だしなみの自由化

5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング
6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 1～Unit 3に関連するト ピックによるプレゼンテーショ ン
8	Unit 4	沖縄コーヒーを多くの人に
9	Unit 5	すごい錯覚－現実か錯覚か
10	Unit 6	多文化が共生する団地
11	Unit 7	核実験の記憶、そして鳥々の未 来
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期 末試験で確認します。試験・ま とめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 4～Unit 7に関連するト ピックによるプレゼンテーショ ン

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

米山明日香編『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN
QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』金星堂、
2025年、2,700円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか、が分かったりするものを用いてください（主要な動詞がどのような文型をとるのが示されている『ジュニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN’S NEWSLINE”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本におけるさまざまな取り組み

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本でおこなわれていることに関するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

- テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
 - ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
 - ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
 - ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
 - ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8	リアル書店のこれから
2	Unit 9	タイで広がる"Matcha"ブーム
3	Unit 10	ガザの生徒、広島で平和を願う
4	Unit 11	時を超えよみがえる将軍
5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング

6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 8 ～ Unit 11 に関連する トピックによるプレゼンテー ション
8	Unit 12	イギリスの名門校の伝統教育を 日本で
9	Unit 13	日本の技術でモンゴルの大地を 豊かに
10	Unit 14	AIの進歩と人類の未来
11	Unit 15	入管法改正の波紋
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期 末試験で確認します。試験・ま とめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 12 ～ Unit 15 に関連する トピックによるプレゼンテー ション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

米山明日香編『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』金星堂、2025年、2,700円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどのような文型をとるのか示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN’S NEWSLINE”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 I	2017年度以降入学者
サブタイトル：英語で日本文化を考える /Thinking Japanese Culture in English	
飛田 英伸	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月4/Mon.4 単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の文化について英語でディスカッションすることを通して、「読む、聞く、話す、書く」の4つの技能を向上させるとともに、グローバルな視点から日本の文化を捉え、自らの意見を発信できるようにする。

【到達目標】

- ・数分程度のプレゼンテーションを英語でできるようになる。
- ・簡単な表現を用いて英語でやり取りができるようになる。
- ・論理的でわかりやすい英語の文章を書けるようになる。
- ・コロケーションを意識した言葉の選択ができるようになる。
- ・複数のパラグラフから成る文章の構造を理解できるようになる。
- ・複雑な構造の文を理解できるようになる。
- ・ネイティブの発話スピードに慣れ、おおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・英語での情報収集ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニング、スピーキング、リーディングを行う。

2回目の授業ではスピーキング、リーディング、ライティングを行う。また、担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

課題へのフィードバックを学習支援システムを通して行う。また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: The Eyes Of Manga Characters	リスニング、スピーキング、リーディング
3	Unit 1: The Eyes Of Manga Characters	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
4	Unit 2: Japanese Rituals and food for the Gods	リスニング、スピーキング、リーディング
5	Unit 2: Japanese Rituals and food for the Gods	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
6	Unit 3: Animation in Japan	リスニング、スピーキング、リーディング
7	Unit 3: Animation in Japan	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング

8	Unit 4: Popular Fiction and Changing Ways of Reading	リスニング、スピーキング、リーディング
9	Unit 4: Popular Fiction and Changing Ways of Reading	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
10	Unit 5: Japanese Cuisine Goes Global	リスニング、スピーキング、リーディング
11	Unit 5: Japanese Cuisine Goes Global	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
12	Unit 6: The Development of Relations Between Humans and Animals	リスニング、スピーキング、リーディング
13	Unit 6: The Development of Relations Between Humans and Animals	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
14	プレゼンテーション	期末レポートの内容を発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. リスニングの動画を視聴し、問題に答え、学習支援システムを通して提出する。（1回目の授業前）

2. 教科書の Extensive activities の答えを学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。（2回目の授業前）

【復習】

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

2. リスニングの動画を見直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Japanese Popular Culture in English: Discussions and Critical Thinking (Robert Sheridan 他、南雲堂、2023年、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

レポート 40%

プレゼンテーション（小発表を含む） 20%

平常点（予習、作文、受講態度） 40%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

プレゼンテーションではパワーポイントを使用する。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの部分的な使用（例えば、英語での言い方を調べる）は禁止しないが、使用した場合はどこに用いたのかを必ず申告すること。また、その結果が信用できるものなのかを必ず検証し、検証の過程と結果についても申告すること。

レポートや作文をすべて生成AIによって作成することは禁止する。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through discussing Japanese Popular culture in English, students will deepen their understanding about Japanese culture in a global context, while improving their skills to communicate in English.

The goals of this course are to acquire skills for expressing ideas in English and improve ability for getting information in English.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on essays (40%), presentations (20%), and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル：英語で日本文化を考える /Thinking Japanese Culture in English		
飛田 英伸		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 4/Mon.4		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の文化について英語でディスカッションすることを通して、「読む、聞く、話す、書く」の4つの技能を向上させるとともに、グローバルな視点から日本の文化を捉え、自らの意見を発信できるようにする。

【到達目標】

- ・数分程度のプレゼンテーションを英語でできるようになる。
- ・簡単な表現を用いて英語でやり取りができるようになる。
- ・論理的でわかりやすい英語の文章を書けるようになる。
- ・コロケーションを意識した言葉の選択ができるようになる。
- ・複数のパラグラフから成る文章の構造を理解できるようになる。
- ・複雑な構造の文を理解できるようになる。
- ・ネイティブの発話スピードに慣れ、おおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・英語での情報収集ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。
1つのユニットを2回の授業で進める。
1回目の授業ではリスニング、スピーキング、リーディングを行う。
2回目の授業ではスピーキング、リーディング、ライティングを行う。また、担当者を決めて1分程度の小発表を行う。
いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。
課題へのフィードバックを学習支援システムを通して行う。また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Unit 7: Changing Forms of Celebrity in Japan	リスニング、スピーキング、リーディング
3	Unit 7: Changing Forms of Celebrity in Japan	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
4	Unit 8: Popular Culture and Food	リスニング、スピーキング、リーディング
5	Unit 8: Popular Culture and Food	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
6	Unit 9: Cats and their Powerful Influence on Japanese Culture	リスニング、スピーキング、リーディング
7	Unit 9: Cats and their Powerful Influence on Japanese Culture	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング

8	Unit 10: Language and Japanese Media	リスニング、スピーキング、リーディング
9	Unit 10: Language and Japanese Media	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
10	Unit 11: Human Rights and Japanese Pop Culture	リスニング、スピーキング、リーディング
11	Unit 11: Human Rights and Japanese Pop Culture	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
12	Unit 12: Cuteness	リスニング、スピーキング、リーディング
13	Unit 12: Cuteness	小発表、リーディング、スピーキング、ライティング
14	プレゼンテーション	レポートの内容を発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. リスニングの動画を視聴し、問題に答え、学習支援システムを通して提出する。（1回目の授業前）
2. 教科書の **Extensive activities** の答えを学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。（2回目の授業前）

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
2. リスニングの動画を見直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Japanese Popular Culture in English: Discussions and Critical Thinking (Robert Sheridan 他、南雲堂、2023年、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

レポート 40%
プレゼンテーション（小発表を含む） 20%
平常点（予習、作文、受講態度） 40%
欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。
プレゼンテーションではパワーポイントを使用する。
学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの部分的な使用（例えば、英語での言い方を調べる）は禁止しないが、使用した場合はどこに用いたのかを必ず申告すること。また、その結果が信用できるものなのかを必ず検証し、検証の過程と結果についても申告すること。
レポートや作文をすべて生成AIによって作成することは禁止する。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through discussing Japanese Popular culture in English, students will deepen their understanding about Japanese culture in a global context, while improving their skills to communicate in English.

The goals of this course are to acquire skills for expressing ideas in English and improve ability for getting information in English.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on essays (40%), presentations (20%), and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今日の日本の論点に関するニュースを通して現代日本についての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

テキストを辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からはhoppiiを通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1の小テストとChapter2の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	UChapter3&4	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4の小テストとChapter5の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5の小テストとChapter6の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST

from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE

映像で学ぶ NHK ワールドが発信する日本

米山明日香 編著

金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストを通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppii を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST

from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE

映像で学ぶ NHK ワールドが発信する日本

米山明日香 編著

金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 I	2017年度以降入学者
サブタイトル：Critical Thinking and Contemporary Issues	
ROBIN F WEICHERT	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：月 5/Mon.5
単位数：1 単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。クリティカルシンキングの手法を学びながら、情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary issues

- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials
- Build confidence in discussing various topics
- Expand vocabulary related to current affairs

学生は以下の能力を身につけます：

- 現代の諸問題を分析する批判的思考力を身につける
- 論理的に意見を英語で表現できるようになる
- 実践的な英語教材の理解力を向上させる
- 様々なトピックについて議論する自信をつける
- 時事問題に関する語彙力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Critical thinking skill practice
- Listening and reading comprehension
- Vocabulary development
- Group discussions
- Writing exercises

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

この授業では以下のような活動を行います：

- クリティカルシンキングスキルの練習
- リスニングとリーディングの理解
- 語彙力の向上
- グループディスカッション
- ライティング演習

プレゼンテーション、課題、小テストに対するフィードバックは、授業の冒頭もしくは終わりに行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction & Unit 1: "What Did We Owe Each Other?"	The Critical Stance
2	Unit 1 continued	The Critical Stance in practice
3	Unit 2: "Is Violence Sometimes Necessary?"	Looking at Causes and Effects
4	Unit 2 continued	Looking at Causes and Effects
5	Unit 3: "The Lesser of Two Evils"	Logical Analysis
6	Unit 3 continued	Logical Analysis
7	Presentation Workshop	Presentation skills and preparation
8	Unit 4: "Little White Lies"	Making Inferences
9	Unit 5: "What Is the Truth?"	Evaluating Information
10	Unit 6: "Hot, Dry, and Crowded"	Conducting Secondary Research

11	Unit 7: "AI Has You, Yuki"	Using Evidence to Support a Position
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials
- Prepare for discussions
- Practice presentation skills

学生は以下の準備・復習を行ってください：

- 授業内容の復習
- ディスカッションの準備
- プレゼンテーションの練習

As supplementary reading practice, students are encouraged to engage in extensive reading using graded readers from the university library (<https://hosei.libguides.com/tadoku>). Students should aim to read at least one book every two weeks, keeping a simple reading log with titles and brief personal reactions.

補助的な読書練習として、図書館の多読用図書（グレーデッド・リーダー）を活用することを推奨します（<https://hosei.libguides.com/tadoku>）。2週間に1冊程度の読書を目標とし、簡単な読書記録（タイトルと短い感想）をつけてください。

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Elwood, James, and Michael Hood. The Critical Thinker—15 Essential Skills for Critical Thinking. Tokyo: Cengage Learning K.K., 2025. ISBN: 9784863124349. ￥2,500 (￥2,750 税込)

【参考書】

Extensive Reading Materials /多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. The library's collection includes series like Oxford Bookworms, Cambridge Readers, and Penguin Readers at various levels. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>

図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。Oxford Bookworms, Cambridge Readers, Penguin Readers など、様々なレベルの本を用意しています。詳しくは <https://hosei.libguides.com/tadoku> をご覧ください。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

Class participation and discussion (40%)

Final presentation (45%)

Extensive reading (reading log completion) (15%)

成績評価は以下の基準で行います：

授業参加とディスカッション (40%)

最終プレゼンテーション (45%)

多読（読書記録の完成）(15%)

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めません

【学生の意見等からの気づき】

This textbook is being used for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

今年度から新しい教科書を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas.

Course activities include critical thinking skill practice, listening and reading comprehension, vocabulary development, group discussions, and writing exercises. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (15%), and a final presentation that demonstrates critical thinking skills (45%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current English II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is both an online and face-to-face class, Some classes will be taught on ZOOM and some face-to-face.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break Discussion/News and Views	Summer break catch up/News Headlines discussions
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor
Week 4	News Article	Eco-anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/ presentations
Week 7	Mid-term project/ presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/ Presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/ Presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None required.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary
Computer with camera/mic
Headset
ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド デイビッド スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド デイビッド スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The
homework listening recordings can be streamed or downloaded
from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/Students> will
have to create a yahoo.com email address, join the group,
and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2
Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation,
25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%
. Unexplained/unjustified absences exceeding three class
sessions may disqualify students from obtaining credit for the
course. Lateness exceeding 15 minutes without justification
will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing,
grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			第3回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
English 3 I			第4回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
サブタイトル：Introduction to British life & culture			第5回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
吉川 直澄			第6回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5			第7回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『純爛たるグランドセース』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
単位数：1単位			第8回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイディオムを比較します。
その他属性：			第9回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：現国王チャールズ三世の母、エリザベス二世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			第10回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェークスピアの意義について調べてみましょう。
English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探究し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。			第11回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine:アイヌ、私の声』（2020）と共に考察します。
【到達目標】			第12回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice）をアメリカ映画Coda（2022）と比較しながら考察します。
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。			第13回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			第14回	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）事例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
第1回	ガイダンス／課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第1回課題を提示します。			
第2回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示：コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレイカー」となるのか学習します。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出(30%)と学期末に行う文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価します。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル：Introduction to British life & culture		
吉川 直澄		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、EU離脱以降のイギリスを巡るいくつかのキーワードを探索し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。		
【到達目標】		
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
第1回	学期末レポート課題のフィードバックと第1回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第1回レポート課題を指示します。
第2回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるのでしょうか。
第3回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第4回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示：ビートルズについて調べてみましょう。
第5回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第6回	The Establishment: The Boys in Blue	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015)の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（2000）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第7回	The Establishment: Scrounging off the State	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（2019）を鑑賞します。
第8回	The Establishment: Foreword to the Paperback Edition	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った2つのイギリス映画『ベッカムに恋して』（2002）と『エンパイア・オブ・ライト』（2022）を鑑賞します。
第9回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第10回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示：階級制度について学びます。
第11回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示：文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第12回	Film as a complex site of cultural representation	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第13回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書のまとめと第13回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。		

【テキスト（教科書）】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen, Jones. *The Establishment*, London: Penguin (2015).
Oakland, John. *British Civilization an Introduction*, Routledge (2020). ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(30%)と学期末に実施する文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価を行います。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートを提出していれば、問題はないと思いますが、欠席が4回以上ある場合、5回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることがを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Post-Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方と方法】

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Review of the exam Moving On
10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 11: School Laptops for All	Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam	Review of the exam
	Unit 11: School Laptops for All	Moving On

10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35 %

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35 %

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?
Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることのできる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review

Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting
Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on a chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、**English-English dictionary**も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8回目	新聞記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック（プレゼン方法と記事内容）
12回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14回目	食生活、健康 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）70%、プレゼンテーション課題関連 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (70%) and presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3回目	裁判制度 ②	<i>The New York Times</i> 記事
4回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	ブック・パッセージ	パッセージの内容確認、プレゼン練習
6回目	移民、人種、ホリデイ①	Lesson 3: Juneteenth
7回目	移民、人種、ホリデイ②	Lesson 7: Illegal
8回目	移民、人種、ホリデイ③	関連資料、ライティング
9回目	ブック・プレゼンテーション(1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10回目	ブック・プレゼンテーション(9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11回目	ブック・プレゼンテーション(18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ
12回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind

13回目	環境問題、地域的多様性 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
14回目	環境問題、地域的多様性 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）70%、プレゼンテーション課題関連 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (70%) and presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：日本におけるさまざまな取り組み		
吉江 秀和		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本でおこなわれていることに関するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

- テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
 - ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
 - ③テキストなどの英文を繰り返し読み聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
 - ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
 - ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらったり作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Unit 1	広がる ChatGPT の活用
3	Unit 2	アート×ビジネスの今
4	Unit 3	身だしなみの自由化

5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング
6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 1～Unit 3 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Unit 4	沖縄コーヒーを多くの人に
9	Unit 5	すごい錯覚－現実か錯覚か
10	Unit 6	多文化が共生する団地
11	Unit 7	核実験の記憶、そして島々の未来
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 4～Unit 7 に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

米山明日香編『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』金星堂、2025年、2,700円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか、が分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN’S NEWSLINE”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル：日本におけるさまざまな取り組み		
吉江 秀和		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本でおこなわれていることに関するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

- テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
 - ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
 - ③テキストなどの英文を繰り返し読み聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
 - ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
 - ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8	リアル書店のこれから
2	Unit 9	タイで広がる"Matcha"ブーム
3	Unit 10	ガザの生徒、広島で平和を願う
4	Unit 11	時を超えよみがえる将軍
5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング

6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 8 ～ Unit 11 に関連する トピックによるプレゼンテー ション
8	Unit 12	イギリスの名門校の伝統教育を 日本で
9	Unit 13	日本の技術でモンゴルの大地を 豊かに
10	Unit 14	AIの進歩と人類の未来
11	Unit 15	入管法改正の波紋
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期 末試験で確認します。試験・ま とめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 12 ～ Unit 15 に関連する トピックによるプレゼンテー ション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

米山明日香編『映像で学ぶNHKワールドが発信する日本 JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN'S NEWSLINE』金星堂、2025年、2,700円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどのような文型をとるのかを示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN’S NEWSLINE”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今日の日本の論点に関する記事を通して現代日本に關しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

テキストを辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からはhoppiiを通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1の小テストとChapter2の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	Chapter3&4	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4の小テストとChapter5の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5の小テストとChapter6の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST

from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE

映像で学ぶ NHK ワールドが発信する日本

米山明日香 編著

金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストを通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppel を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST

from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE

映像で学ぶ NHK ワールドが発信する日本

米山明日香 編著

金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：英語で読む世界のニュース：World News in English		
大和久 悌一郎		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの4技能の習熟を行う。またそれを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】

- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回ごとにリアクションペーパーで質問・感想を募り、次の冒頭で回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	ガイダンス	授業の進め方等の確認。
第二回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（リーディング及びリスニング）
第三回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（テキストの問題解答、文法事項の確認）
第四回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッショニスタに（テキストのリーディング及びリスニング）
第五回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッショニスタに（テキストの問題解答、文法事項の確認）

第六回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストのリーディング及びリスニング） ここまでの復習の小テスト
第七回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストの問題解答、文法事項の確認）
第八回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストのリーディング及びリスニング）
第九回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストの英作文問題解答）
第十回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストのリーディング及びリスニング）
第十一回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストについての英文要旨作成）
第十二回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者の为す（テキストのリーディング及びリスニング）
第十三回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者の为す（テキストについてのディスカッション）
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、講読を終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald著『NTV News24 English 一日テレNews24 Englishで考える日本事情』英宝社、2017年

【参考書】

例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）

英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）など）

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60% , Term-end exam : 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む世界のニュース：World News in English

大和久 悌一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの4技能の習熟を進める。またこれらを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】

- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回ごとにリアクションペーパーで質問・感想を募り、次の冒頭で回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	Chapter 7	Chapter 7 26-year-old designs Honda's new sports car 26歳がスポーツカーをデザイン（テキストのリーディング及びリスニング）
第二回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト（テキストのリーディング及びリスニング）
第三回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト（テキストの英作文問題解答）
第四回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット（テキストのリーディング及びリスニング）

第五回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット（テキストの英作文問題解答）
第六回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会（テキストのリーディング及びリスニング）ここまでの復習の小テスト
第七回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会（テキストについてのディスカッション）
第八回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト（テキストのリーディング及びリスニング）
第九回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表（テキストのリーディング及びリスニング）
第十一回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十二回	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki 長崎のおくんち、始まる（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十三回	Chapter 14	Chapter 14 UN Women opens Japan office 国連女性事務所を東京に開設（テキストについてのグループ・ディスカッション）
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、リーディングを終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald著『NTV News24 English 一日テレNews24 Englishで考える日本事情』英宝社、2017年

【参考書】

例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）など）

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、学期末試験40%で評価します。30分を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting.

[Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy]

Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60%
, Term-end exam : 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方と方法】

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Review of the exam Moving On
10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方と方法】

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 11: School Laptops for All	Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam	Review of the exam
	Unit 11: School Laptops for All	Moving On

10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35 %

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35 %

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
English 3 I					
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 月4/Mon.4			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
【到達目標】			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作るができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり/Yes			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】			13	プレゼンテーション1	指定されたテーマで書きあげた原稿をもとに、各自がクラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
なし/No			14	プレゼンテーション2 総括	全体発表の2回目。最後に学びを総括する。
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40％ 発表40％ レポート課題20%。遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 月4/Mon.4			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			12	プレゼンテーション 1	テーマに沿って各自が書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			13	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり/Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし/No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Technology and the world of tomorrow

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。技術革新がどのような社会変革をもたらす可能性があるのかについて学び考えていきます。

【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方：

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (授業は演習形式で行います。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/	1.Orientation オリエンテーション
2	Learning to use dictionaries #1/ Chapter 1: Universal Basic Income #1	1.Learning to use English-Japanese dictionaries 2.Paragraph reading the first paragraph of Chapter 1
3	Chapter 1: Universal Basic Income #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
4	Chapter 1: Universal Basic Income #3	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
5	Chapter 3: Facial Recognition #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
6	Chapter 3: Facial Recognition #2	1.Paragraph reading 2.Thinking more about facial recognition
7	Chapter 3: Facial Recognition #3	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges

8	Learning to use dictionaries #2/ Chapter 4: Automated Transportation #1	1.Learning to use English-English dictionaries 2.Paragraph reading 3.Comprehension Check
9	Chapter 4: Automated Transportation #2	1.Paragraph reading 2.Thinking more about an autonomous vehicle
10	Chapter 4: Automated Transportation #3	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
11	Chapter 5: Machine Learning #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
12	Chapter 5: Machine Learning #2	1.Paragraph reading 2.Thinking more about machine learning
13	Chapter 5: Machine Learning #3	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
14	Review and Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly reading, listening or writing home assignments

2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Considering Tomorrow: 15 Changes to Prepare for (『変わりゆく世界：明日の世界を考える15のトピック』, 音羽書房鶴見書店, 2022年) ¥ 1,900 + 税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業を一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (Both English-Japanese dictionary and English-English dictionary are necessary)

【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on potential social changes caused by technological developments. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Technology and the world of tomorrow

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

技術革新がどのような社会変革をもたらす可能性があるのかについて学び考えます。English 3 I に引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/ Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #1	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening practices
2	Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Reading aloud
3	Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Presenting your ideas
4	Chapter 10: Drones that Patrol, Deliver, and Teach #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
5	Chapter 10: Drones that Patrol, Deliver, and Teach #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Reading aloud

6	Chapter 10: Drones that Patrol, Deliver, and Teach #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Presenting your ideas
7	Chapter 11: Energy Transition #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
8	Chapter 11: Energy Transition #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Reading aloud
9	Chapter 11: Energy Transition #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Presenting your ideas
10	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
11	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Reading aloud
12	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Presenting your ideas
13	Review this course of this semester	1.Exchange your idea 2.Writing your idea
14	Review &Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Considering Tomorrow: 15 Changes to Prepare for (『変わりゆく世界：明日の世界を考える 15 のトピック』, 音羽書房鶴見書店, 2022 年) ￥1,900 + 税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated.

語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (Both English-Japanese dictionary and English-English dictionary are necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about potential social changes caused by cutting-edge technological developments. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
English 3 I 2017年度以降入学者					
サブタイトル：身近なテーマで考える世界の中の日本：Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
【到達目標】			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作るができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			13	プレゼンテーション1	指定されたテーマで書きあげた原稿をもとに、各自がクラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
なし /No			14	プレゼンテーション2 総括	全体発表の2回目。最後に学びを総括する。
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40％ 発表40％ レポート課題20%。遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル：身近なテーマで考える世界の中の日本：Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
【到達目標】					
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			
			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
			12	プレゼンテーション 1	テーマに沿って各自が書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
			13	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。
			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % レポート課題 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Current Affairs", based upon the three main threats to humanity as identified by the United Nations:

- 1) Artificial Intelligence
- 2) Climate Change
- 3) Geopolitical change

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of international issues in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The material for this subject will use BBC News articles, TED Talks, and various news articles from reliable sources that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join "Classroom". Course overview and class policies. Grading system.
2	Artificial Intelligence	Vocabulary and Discussion with 10 questions
3	Artificial Intelligence	Reading - Article and Worksheet.
4	Artificial Intelligence	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
5	Artificial Intelligence	Speaking: Discussion about AI - with 10 questions.
6	Climate Change	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
7	Climate Change	Reading - Article and Worksheet

8	Climate Change	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
9	Climate Change	Discussion - with 10 questions
10	Geopolitics	Vocabulary and Discussion with 10 questions
11	Geopolitics	Reading - Article and Worksheet
12	Geopolitics	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
13	Geopolitics	Discussion - with 10 questions
14	TED Talk: Critical Thinking Wrap up	Watch a TED talk and analyze if the speaker is telling the truth.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

No textbook required

【参考書】

To be provided as Material during semester.

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 30%

In-Class Worksheets: 36%

Word Games: 10%

Participation Self Evaluation: 10%

On-Line Practice (Duolingo): 14%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

Change of Textbook.

2025: Added Word Games (Wordle) and On-line Practice (Duolingo for schools). Introduced the use of Generative Text software and restructured the Writing component of the course.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.

A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones /mobile devices are acceptable.

Also, a Laptop or tablet device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Classroom". Please download Google Classroom to your device before our first class. The Course code will be advised via the university Learning Management System (LMS) before the first class.

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2 and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Arts-Based Learning of Social Activism in the World

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art play in maintaining, restoring, or enhancing social justice in the world.

【到達目標】

This course is designed to develop your English proficiency further as you learn about various cultural and social practices of the world. You will also learn to think critically about important issues that surround us today and develop the ability to effectively express your own ideas, feelings, and opinions. The main goal is communication, not translation or accuracy. You will become aware of some issues related to human rights and able to express your ideas and questions about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In class you will have a chance to appreciate artistic expressions of social messages. You will also be asked to exchange your ideas and emotions and discuss relevant issues in pairs or small groups. You will also give presentations about your chosen humanitarian activist(s). You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) and group work. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your reflective writing and class presentations within a week of submission.

This class involves a number of highly interactive activities. In order to learn to communicate multimodally, that is, to communicate effectively online as well as in person, we will alternate between face to face (F2F) and Zoom course meetings. Please be prepared to use your webcam throughout the online class and participate actively at all times.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Poetry, Marshall Rosenberg	Learning language from poetry, Nonviolent communication

3	Poetry, Mother Teresa	Developing language identities through poetry
4	Poetry or film, social activist (TBA, to be announced)	Poetry or film for art and social justice
5	Story-telling, Mahatma & Kasturabai Gandhi	Learning language through narratives
6	Paintings, photographs, and peace linguistics	Language learning and peace
7	Music, Mairead Corrigan McGuire & Betty Williams	Social activism and language learning through music
8	Music, Nelson Mandela	Social activism through music
9	Children's literature, H.H. The Dalai Lama	Social justice education in picture books and kamishibai theater
10	Literature, Peter Benenson Meena Keshwar Kamal	Learning language through literature
11	Novels, Sister Chang Khong	Learning language through literature
12	Film, Mothers of the Plaza de Mayo	Learning language through (documentary) film
13	Cartoon, activist TBA	Learning language through the art of speech
14	Wrap-up	Reflection and the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish assigned reading or listening tasks and other creative assignments before coming to class. As you will be discussing your ideas, reactions, and questions, you are expected to become familiar with the topic of the week and come ready for discussion. Work before and after the class for at least one hour each week.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

Purchase a copy of this textbook in the Sanseido bookstore on campus. Handouts related to the course content may be provided in class. Bring a notebook or loose sheets of paper.

【参考書】

Meera Censor website: <https://www.meeracensor.com/>

The Center for Nonviolent Communication: <https://www.cnvc.org/>

Amnesty International: <https://www.amnesty.org/en/>

Amnesty International in Japanese: <https://www.amnesty.or.jp/>

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)*
- 2) Presentation on a social activist (25%)
- 3) Peer teaching/discussion (25%)
- 4) Reflective writing (15%)
- 5) Final paper (15%)

* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught as much as possible in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend an online class on campus.

【Outline (in English)】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art play in maintaining, restoring, or enhancing social justice in the world. Feedback will be provided in interaction throughout the course and for your reflective writing and class presentations within a week of submission. Your work will be assessed through participation, group and individual presentations, and reflective writings.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group & pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parroting. They will be given the opportunity to converse on a variety of topics related to each unit and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in class.

Comments, feedback, explanations about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?

Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare presentations, complete writing assignments and homework and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook

● Dictionary (online English-English dictionary will be introduced and used in class)

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group & pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parroting. They will be given the opportunity to converse on a variety of topics related to each unit and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in class.

Comments, feedback, explanations about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review
Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting

Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Topic: Reading and presenting a book (English/American/World literature); Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 (Book presentation)
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
 Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare presentations, complete writing assignments and homework and pass the final test.

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook
- Dictionary (online English-English dictionary will be introduced and used in class)
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Media

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Media

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Analyzing Culture & Society Through English:
The Culture of Consumption and Art

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course aims to help students enhance their analytical reading skills and speaking fluency through exposure to content on culture and society from the English speaking world. Students will read and analyze texts that explore present-day cultural and societal concerns as commonly viewed by English speakers. They will identify key arguments, perspectives, and underlying themes within these texts. Through guided reading exercises, structured discussions, and response activities, students will build their ability to interpret the selected texts and express well-supported opinions. In addition, writing tasks and listening exercises will be incorporated to complement these activities and reinforce overall language proficiency. By the end of the course, students will be better equipped to form independent viewpoints and engage critically with present-day issues in English.

【到達目標】

- ・ Develop critical and analytical reading skills to interpret and evaluate texts
- ・ Enhance comprehension and discussion abilities through engagement with contemporary cultural or social issues
- ・ Strengthen vocabulary and sentence organization understanding for greater fluency in reading
- ・ Foster independent thinking and the ability to express well-formed opinions for a higher level of verbal communication

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course employs a structured yet interactive approach to cultivate analytical reading skills and speaking fluency. Guided reading exercises are used to provide students with essential skills for interpretation of a text and its analysis for discussion in English. A combination of instructor-led analysis and student-centered discussions will be benefitted to reinforce comprehension and critical thinking. Students will also be required to give individual presentations and complete some writing tasks, such as paragraphs and short essays, to express their ideas in a more organized way. Attained knowledge in vocabulary and grammar will be used by students to complete all key assignments with success. Learning will be supported through teacher feedback which will be provided verbally and/or in written form depending on the task.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Orientation & Introduction to Consumerism	On the first lesson day, course guidance will be provided and students will become familiar with class rules and requirements. Following this, they will be introduced to the main course subject through a lecture on history of consumerism. By the end of the lesson day, students will start developing preliminary ideas about the course and key concepts in consumerism theory.
2	Consumption & Creating Spectacles	On this lesson day, students will start reading the first assigned article of the term. For a warm-up, students will first engage in a discussion on the main topic. Following this, they will make a detailed reading of the article and answer questions in pairs or groups. Important terms will be also revised after an initial exploration of the article content. Lastly, before the lesson day ends, presentation schedule for the term will be announced. Students are expected to give a short presentation on the topics decided by the instructor. The goal is to add more depth to subjects in exploration.
3	Spectacled World of Objects & Souvenirs	On this lesson day, students will give presentations on the selected topics. The aim is to better understand how we create spectacles through consumption. While the examples from the article will continue serving as a guide for exploration of the subject, a class discussion following each presentation will add depth to the developed ideas through raised questions. To reinforce learning, students will also listen to another lecture about history of consumerism and value creation in different eras will be the focus.

4	How to Write Long Essays & Quiz #1	The lesson day will start with a quiz to assess student knowledge on the learned subjects. Students will be provided with multiple choice questions as well as written ones to demonstrate their understanding of consumerism. Following this, a lecture on academic essay structure will be given. Students will review the basics of academic essays and practice on the topic. The goal is to help students write a long essay in argumentative style, which will be their final assignment for this course.	7	Forms: What Are They? & How Do We Consume Them?	On this lesson day, a lecture on forms which are fundamental to art-making will be given. The goal is to help students develop a foundational understanding of forms and their overall significance for us. At the start of the lesson, students will be presented with essential background information. They will then expand on the subject by addressing the following key questions: Do we observe forms only in art? How else do we make use of them? Are we consuming them ethically or becoming misguided consumers? To answer these questions effectively, students will observe selected art works in groups and then revisit relevant article(s) explored in the previous classes.
5	Why Art and Consumption Together?	On this lesson day, students will start reading another article on consumerism. Through this article, they will engage in a discussion on consumption and art. Students will question why art remains a need for many. The goal is to find a good response to this important question from different perspectives and understand consumerism more. In addition, before the lesson day ends, students will have a group work to exchange ideas and choose a topic for their long essays. Until the next class, they are expected to produce some work for in-class discussion and feedback.	8	How to Write with Better Style & Quiz #2	The lesson day will begin with a quiz to assess student knowledge on consumption and art relation. Students will be provided with multiple-choice and written questions to demonstrate understanding on the learned subject. Following this, students will be given a lecture on academic essays. They will learn how they can write in English by following a more academic language and style. This will give them a chance to improve some of the pronoun inconsistency and other unity issues commonly found in their writings.
6	Student Presentations & Peer Reviews	The lesson day will begin with student presentations on design and art. Students will question what makes art essential and how it differs from design. The goal is to insightfully reveal the impacts of consumerism on our livelihood. Presentations will be followed by peer reviews. During the peer review task, students will work in groups to give feedback to one another and revise their writings. Teacher will also join groups and provide support.			

9	What Is Lithography? & Why Does It Matter?	On this lesson day, students will give presentations on Fredric Jameson and Andy Warhol to start talking about wrong consumption. After the presentations, a new article on a related subject will be introduced. Students will work in groups and answer the given questions. To support understanding and add depth to the class discussion, students will also watch a short video and learn how a work of lithography is produced. Lastly, before the lesson day ends, students will be given a chance to observe some representative works of lithography and exchange ideas on their significance. In the next lesson, they will compare lithography to silk-screen printing of Warhol to talk about consumerism more.	12	What Did William Morris Teach Us About Design?	On this lesson day, students will start reading a new article on William Morris. The goal is to develop better perspective on the previously discussed subject (i.e., differences between art and design) and ensure that learning has taken place. Students will observe the selected designs of Morris for a discussion on the subject. Then, they will compare his designs to those of Warhol to reveal characteristics that give Morris' designs an art value. In this way, students will argue for correct form use which avoids transference of wrong kind.
10	Lithography vs. Silk-Screen Printing	On this lesson day, students will continue their discussion on lithography by comparing this art form to silk-screen printing of Warhol. For this purpose, students will first watch a short video on silk-screen print production to understand how silk-screen prints are made. Then, they will exchange views to list similarities and differences between the two art forms. Based on their observations, students will draw conclusions about how forms are abused or used productively. Are we establishing wrong hierarchies through form abuse? This question will find an answer on this lesson day.	13	Course Review & Quiz #4	On this lesson day, students will read a new article on consumerism to review the important details from the course. As part of the course review and reading practice, students will be provided with a set of questions to analyze the article. These questions will also serve as the term's last quiz. After completing the quiz, students will discuss their responses and exchange views. Ideas from this discussion will help students to summarize the term and understand why good art matters for avoiding wrong consumption in various aspects of life.
11	Peer Reviews & Quiz #3	The lesson day will begin with a quiz to assess student knowledge on the covered subjects within the last two weeks. As before, students will be provided with multiple-choice and written questions to demonstrate knowledge. This will be followed by a peer review session to revise writings and provide feedback. For peer reviews, students will work in groups and exchange opinions. Teacher will also make sure to join each group to support discussion and revision of writings. Lastly, before the lesson day ends, a lecture on Fredric Jameson will be given to provide the rest for all and wrap up the discussion on the subject.	14	Final Day & Last Round of Presentations	On the last lesson day, students will give their final presentations. In this round of the presentations, students will give a speech on their long essays to share ideas for a final time in the Spring.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook is required. All materials will be provided by the course instructor.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
<https://www.nytimes.com/>
<https://www.washingtonpost.com/>
<https://www.japantimes.co.jp/>
<https://www.bbc.com/news>
<https://www.theguardian.com>

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Presentations: 30%
Quizzes: 10%

Final Assignment: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

This course aims to help students enhance their analytical reading skills and speaking fluency through exposure to content on culture and society from the English speaking world. Students will read and analyze texts that explore present-day cultural and societal concerns as commonly viewed by English speakers. They will identify key arguments, perspectives, and underlying themes within these texts. Through guided reading exercises, structured discussions, and response activities, students will build their ability to interpret the selected texts and express well-supported opinions. In addition, writing tasks and listening exercises will be incorporated to complement these activities and reinforce overall language proficiency. By the end of the course, students will be better equipped to form independent viewpoints and engage critically with present-day issues in English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Analyzing Culture & Society Through English:
The Culture of Consumption and Art

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The Autumn term builds on the foundation established in the Spring and aims to further strengthen English proficiency across all four key areas. However, as in the Spring, supporting fluency in reading remains the primary goal. The theme of consumption will be re-examined, this time with a focus on zeitgeist and narrativization to encourage a deeper understanding. To provide context for this examination, students will be assigned texts which relate to environment and architecture. These readings are expected to reinforce key ideas and learning outcomes of the Spring term.

【到達目標】

- * Reinforce overall language comprehension by exploring contemporary cultural and social topics
- * Improve critical reading and analytical skills to assess and interpret texts effectively
- * Expand vocabulary and refine sentence structure awareness to improve reading fluency
- * Encourage independent thought and articulate expression for more effective verbal and written communication

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course employs a structured yet interactive approach to cultivate analytical reading skills and speaking fluency. Guided reading exercises are used to provide students with essential skills for interpretation of a text and its analysis for discussion in English. A combination of instructor-led analysis and student-centered discussions will be benefitted to reinforce comprehension and critical thinking. Students will also be required to give individual presentations and complete some writing tasks, such as paragraphs and short essays, to express their ideas in a more organized way. Attained knowledge in vocabulary and grammar will be used by students to complete all key assignments with success. Learning will be supported through teacher feedback which will be provided verbally and/or in written form depending on the task.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Orientation & Introduction to the Autumn Term	On the first lesson day, students will receive course guidance along with an overview of class rules and requirements. This will be followed by a brief review of the Spring term topics. To assess their readiness for the Autumn term, students will take a diagnostic quiz. Additionally, the presentation schedule for the Autumn term will be announced.
2	What's Zeitgeist? Why Does it Matter?	On this lesson day, students will start reading the first assigned article of the term. For a warm-up, students will first engage in a discussion on the main topic. Following this, they will make a detailed reading of the article and answer questions in pairs or groups. The goal is to understand what zeitgeist is and why it is crucial with regard to wrong consumption. During the lesson day, students will be also encouraged to establish a link between zeitgeist and form-making for various purposes.
3	Consumption & Environmental Issues: Toward A Global Crisis?	On this lesson day, students will give presentations on environmental issues and second-hand clothing. The primary goal is to examine how these topics relate to our wrong consumption habits and to explore the role of zeitgeist in shaping these habits. After the presentations, a brief lecture will summarize the key concepts and terms to ensure that all essential points are thoroughly covered for the day. Lastly, before the lesson day ends, writing assignment details will be provided. Until the next class, students are required to choose a topic from the list or come up with their own topic for their long essays.

4	Consumption & Environmental Issues: Is There a Solution?	The lesson day will begin with a discussion session for long essay writing. Students will exchange ideas and share their findings with their group members. This will help them to assess if they have developed well-rounded ideas and decide what else remains to be done. Afterward, students will engage in reading a new article to build more knowledge on zeitgeist and consumption relation. They will work in groups or pairs to explore the key points of the article and exchange opinions. “Can zeitgeist also help us with sustainable production?” will be answered.	7	Modernism & Le Corbusier: What Was the Ideal Design for Le Corbusier?	On this lesson day, students will start reading a new article which explores Le Corbusier's approach to urban housing. As before, students will work in pairs or groups to analyze the assigned article for preliminary ideas. Following this, they will engage in a discussion to examine the subject in greater depth. What was the ideal design for Le Corbusier? How does this ideal relate to our understanding of ethical consumption? These questions will find an answer in this lesson.
5	Argumentative Essays: How to Write Them	The lesson day will start with a quiz to assess student knowledge on the covered subjects. Students will be provided with multiple choice questions as well as written ones. After the correct answers are reviewed, students will listen to a lecture on argumentative essays. The lecture will focus on argumentative essay organization and cover all other essential aspects. To reinforce learning and highlight effective language use in argument-building, a sample essay analysis will be also included in this lecture.	8	Form Follows Function & Modular Housing	The lesson day will begin with student presentations. The goal is to talk about modular housing which is an outcome of modernist movements in architecture. To provide context, students will first give a speech about the Bauhaus movement and its ideals. Then, the International Style movement will be shortly revisited for the same purpose. These will be followed by presentations on the concept and characteristics of modular housing. How did modular housing shape modern housing? Was it solely for mass production? Or, did it offer any broader architectural and social benefits? These questions will be opened to class discussion.
6	Consumption & Architecture: What Has Modernism Taught Us?	The lesson day will start with student presentations. The goal is to begin exploring the zeitgeist and consumption relation with a focus on architecture and its main goals. Students will give a speech about the history of modern architecture and its core principles as well as a major architectural movement named ‘the International Style.’ Afterward, the lesson will continue with peer reviews. During the peer review task, students will work in groups to read each other's work and give feedback. Teacher will also join each group and provide support throughout the task.	9	Citations: Direct Quotes and Paraphrases & Quiz #3	This lesson day will begin with a quiz to re-assess students' understanding of consumption and zeitgeist relation based on the most recent learning. Following this, a lecture on citations will be given by the instructor. Students will review direct quotes and paraphrases. They will be provided with examples and practice questions. The entire lesson day will be dedicated to this subject.

10	Modernism & Louis Kahn: Why Did Zeitgeist Matter for Kahn?	On this lesson day, two presentations will be given. The first student will give a speech which reminds the core principles of modernist architecture to classmates. The goal is to situate Louis Kahn within the modernist tradition. Then, another student will expand on the subject and give a presentation which reveals Kahn's proficient use of zeitgeist in his designs. Ideas from these presentations will be later benefitted to read and analyze an article on Kahn's use of zeitgeist. Why did zeitgeist matter for Louis Kahn? What goal did he have in mind?	13	Course Review & Quiz #4	On this lesson day, students will have a review quiz to revise all covered subjects. Students will be provided with a variety of questions, such as multiple-choice, true/false questions to reflective prompts to demonstrate knowledge and assess learning. Why do forms matter? Can zeitgeist itself be considered a form? How do different kinds of forms influence our ability to create — whether in productive or unproductive ways? Through the review quiz, these questions will be revisited to wrap up the term and examine the role of forms in preventing misguided consumption one last time.
11	Modernism & Frank Lloyd Wright: What Did We Learn from Wright?	The lesson day will begin with presentations introducing Wright and his architectural style. Afterward, students will engage with an article to deepen their understanding of Wright's "organic architecture" and exchange opinions. For a more dynamic class discussion and more perspective on the subject at hand, students will revisit the selected designs of Wright and note key observations in bullet points. They will then share notes and impressions with classmates. All of this will contribute to understand Wright's modernist style and its significance in relation to the main course theme.	14	Final Day & Last Round of Presentations	On this lesson day, students will give their last presentations for the term. In this round of presentations, students will give a speech on their long essays to share ideas for a final time in the Autumn.
12	References & Peer Review	The lesson day will start with a peer review session to revise the produced works. Students will be provided with a checklist to give feedback to each other and improve their writings. As before, the teacher will join each group and help students address the most important issues in their works. Following this, reference writing will be practiced and students will start writing reference entries in APA style. Teacher will walk around and check the lists to make sure that all entries are written correctly and plagiarism is avoided. Lastly, students will be reminded to complete their final draft submissions on the course system as a Word document attachment until midnight on this day.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 No textbook is required. All materials will be provided by the course instructor. 【参考書】 Students are required to consult dictionaries and other materials provided by the instructor to complete their weekly course preparations. 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 20% Presentations: 30% Quizzes: 10% Final Assignment: 40% More than 3 absences will result in automatic failure of the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 The Autumn term builds on the foundation established in the Spring and aims to further strengthen English proficiency across all four key areas. However, as in the Spring, supporting fluency in reading remains the primary goal. The theme of consumption will be re-examined, this time with a focus on zeitgeist and narrativization to encourage a deeper understanding. To provide context for this examination, students will be assigned texts which relate to environment and architecture. These readings are expected to reinforce key ideas and learning outcomes of the Spring term.		

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Verbal Communication & Discussion

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/ TED video #2.
第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/ TED Talk #2 (continued).
第5回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/ TED Talk #3, part 1.
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/ TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/ TED Talks, in active English.
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring semester.
第13回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	SPEAKING Exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.
第14回	Discussion of correct Exam answers...and of students' plans for the Summer Break.	Students will find out exam answers; and will be invited to discuss (in English) their plans for the Summer Break.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headphones /microphone/FREE Skype account/FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/have a fever/coughing/sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/Influenza/Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Verbal Communication & Discussion

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events /Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? / When...? /Where...? /Why...? /Which...? / How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...&to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video /song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/OhShoGatsu.

第12回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans.	Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
第13回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第14回	"How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans.	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo (+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headphones/microphone/FREE Skype account/FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/have a fever/coughing/sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/Influenza/Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【—】

—

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

小坂 恵理子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。

更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	オリエンテーション	①音読と発音の指導 ②CNN Unit 1 ③Words and Phrases to Study ④Examples ⑤Blanks to Fill in ⑥Reading Comprehension
第2回目	Unit 1, cont.	①Judgments to Make ②Vocabulary exercise ③Paragraph writing 指導
第3回目	Unit 2	①単語テスト ②音読 ③Paragraph writing workshop ④Start Unit 2: Words and phrases to study
第4回目	Unit 2, cont.	①Examples ②Blanks to Fill in ③Reading Comprehension ④Vocabulary exercises
第5回目	Unit 3	①Judgements to Make ②Vocabulary exercises ③Paragraph writing exercise ④Start Unit 3 Words and phrases to study

第6回目 Unit 3, cont.

- ①単語テスト
- ②音読
- ③Examples
- ④Blanks to Fill in
- ⑤Reading Comprehension
- ⑥Paragraph writing workshop

第7回目 中間試験

第8回目 Unit 4

- まとめと解説
- ①Start Unit 2: Words and phrases to study
- ②Examples
- ③Blanks to Fill in
- ④Reading Comprehension

第9回目 Unit 4, cont.

- ①Vocabulary exercises
- ②Paragraph writing exercise
- ③Judgements to make

第10回目 Unit 5

- ①音読
- ②単語テスト
- ③Paragraph writing workshop
- ④Start Unit 5: Word and phrases to study
- ①Examples
- ②Blanks to Fill in
- ③Reading Comprehension
- ④Vocabulary exercises
- ⑤Judgements to make

第11回目 Unit 5, cont.

- ①Start Unit 6: Word and phrases to study
- ②Examples
- ③Blanks to Fill in
- ④Reading Comprehension
- ①音読
- ②単語テスト
- ③Vocabulary exercises
- ④Judgements to make
- ⑤Paragraph writing exercise
- まとめと解説

第12回目 Unit 6

第13回目 Unit 6, cont.

第14回目 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース23』English for the Global Age with CNN, Vol 23.
著者関西大学CNN英語研究会
出版者：朝日出版社
出版年2022年
価格：1900円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加20%、中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%
Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

小坂 恵理子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。

更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

ディプロマポリシー

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。

②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。

③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。

④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。

⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回目	CNN Unit 7	① Words and Phrases to Study ② Examples ③ Blanks to Fill in ④ Reading Comprehension
第2回目	Unit 7, cont.	① Judgments to Make ② Vocabulary exercise ③ Paragraph writing exercise
第3回目	Unit 8	① 単語テスト ② 音読 ③ Paragraph writing workshop ④ Start Unit 8: Words and phrases to study
第4回目	Unit 8, cont.	① Examples ② Blanks to Fill in ③ Reading Comprehension ④ Vocabulary exercises
第5回目	Unit 9	① Judgments to Make ② Vocabulary exercises ③ Paragraph writing exercise ④ Start Unit 9 Words and phrases to study

第6回目 Unit 9, cont.

① 単語テスト
② 音読
③ Examples
④ Blanks to Fill in
⑤ Reading Comprehension
⑥ Paragraph writing workshop

第7回目 中間試験

第8回目 Unit 10

まとめと解説
① Start Unit 10: Words and phrases to study
② Examples
③ Blanks to Fill in
④ Reading Comprehension

第9回目 Unit 10, cont.

① Vocabulary exercises
② Paragraph writing exercise
③ Judgments to make

第10回目 Unit 11

① 音読
② 単語テスト
③ Paragraph writing workshop
④ Start Unit 11: Word and phrases to study

第11回目 Unit 11, cont.

① Examples
② Blanks to Fill in
③ Reading Comprehension
④ Vocabulary exercises
⑤ Judgments to make

第12回目 Unit 12

① Start Unit 12: Word and phrases to study
② Examples
③ Blanks to Fill in
④ Reading Comprehension

第13回目 Unit 12, cont.

① 音読
② 単語テスト
③ Vocabulary exercises
④ Judgments to make
⑤ Paragraph writing exercise
まとめと解説

第14回目 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース23』English for the Global Age with CNN, Vol 23.

著者関西大学CNN英語研究会

出版者：朝日出版社

出版年2022年

価格：1900円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加20%、中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%

Active participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Outline in English: Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Active Participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Communication Skills 1

RICHARD WILCOX

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

In Person Class.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts;
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics; Topic: Speed dating	GR Discussion; Written Test on Textbook
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
6	Describing things; Topic: Stress	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
7	Ecology; Topic: Listening and taking note_	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
8	Problems and Solutions; Topic: Fast food	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
9	Comparisons; Topic: Shopping trends	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
11	Group organization; Topic: Student choice	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
12	Presentations; Topic: Course related topics	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups) Student Q & A
13	Choice of test topics	GR Discussion; Written Test on Textbook
14	Student peer review and feedback	Course Review

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト (教科書)】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Communication Skill 2

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	5 - 8 Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts; Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest.

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TedTalks and Printed Media

ROBERT J SPIVAK

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3は、英語1と2で得たスキルと知識を基に、さまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。そのためにこのコースでは、学生は英語を使って、さまざまな観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。また時事トピックを通じて時事問題を学び、さまざまな情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Students will read authentic texts and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a passage from a newspaper/magazine article or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by reading, listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the reading selections and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied. Feedback on class assignments will be provided orally as well as through HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Introduction	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Interdisciplinary. Unit 1A: Inspired Leadership / Magazine-style article	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Understanding references. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement
Three.	Interdisciplinary. Unit 1B: How to Start a Movement	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
4	Conservation. Unit 2A: Trouble for the Air Plants / Scientific article	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
5	Conservation. Unit 2B: Conserving the Canopy	Understanding main ideas and key details. Recognizing purpose. Recognizing supporting evidence. Inferring reasons. Synthesizing information.
6	Health / innovations. Unit 3A: Big Problems, Simple Solutions. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
7	Health / innovations. Unit 3B: A Warm Embrace that Saves Lives.	Understanding main ideas and key details. Identifying solutions. Visualizing a process. Predicting solutions. Synthesizing information. Interpreting a statement.
8	Sociology / technology. Unit 4A: Is Gaming Good for You? Research report.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
9	Sociology / Technology. Unit 4B: Gaming Can Make a Better World.	Understanding main ideas and key details. Summarizing. Recognizing tone and message. Inferring statements. Reflecting on own experience. Evaluating information
10	Psychology / Education. Unit 5A: Engaging Learners.	Getting the main ideas. Understanding key details. Identifying supporting ideas with evidence. Finding similarities and differences. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.

11	Psychology / Education. Unit 5B: The Key to Success? Grit.	Understanding main ideas. Understanding overall message. Understanding terms. Summarizing the talk. Evaluating information. Synthesizing information. Reflecting on own experience.
12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Making inferences. Getting meaning from context.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Summarizing. Recognizing purpose.
14	Final Test. Summarizing text / talks from media in small groups.	Summarizing. Giving opinions. Synthesizing information. Evaluating information. Reflecting on own experience.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TedTalks and Printed Media

ROBERT J SPIVAK

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3-IIは、春学期に開講された英語3-Iの続きです。英語3は、英語1と2で習得したスキルと知識を基に、英語を使ってさまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。このコースでは英語を使って、あらゆる観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。またさまざまな時事問題を学び、情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的な英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a brief passage or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the text or Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the texts and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied. Feedback on assignments will be done orally and through HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Introduction	Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Food/Health. Unit 6A: Food Revolution. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Identifying problems and solutions. Understanding infographics. Getting meaning from context. Applying information. Reflecting on own experience.
3	Food/Health. Unit 6B: Teach Every Child About Food.	Understanding main ideas and key details. Inferring meaning. Evaluating information. Reflecting on own experience.
4	Behavior/ Psychology. Unit 7A. Power Poses. Research Report.	Getting the main ideas and details. Recognizing text structure. Getting meaning from context. Analyzing statements. Reflecting on own experience.
5	Behavior/ Psychology. Unit 7B: Your Body Language Shapes Who You Are.	Understanding main ideas and key details. Recognizing sequence. Identifying purpose. Summarizing. Reflecting on own experience. Inferring statements. Reasoning ideas.
6	Energy/ Engineering. Unit 8A: Kite Power. News Report.	Getting the main ideas. Scanning for specific information. Making comparisons. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion. Reflecting on possible solutions.
7	Energy/ Engineering. Unit 8B: How I Harnessed the Wind,	Understanding main ideas. Visualizing a process. Understanding causes and effects. Inferring meaning. Synthesizing information.
8	Engineering/ Art. Unit 9A: Thinking in Pictures. Biographical article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on possibilities.
9	Engineering/ Art. Unit 9B: Deep Sea Diving in a Wheelchair.	Understanding main ideas and key details. Recognizing tone and message. Inferring meaning. Comparing information.
10	Statistics/ Economics. Unit 10A: Information is Beautiful. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding infographics. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on own experience.
11	Statistics/ Economics. Unit 10B: The Beauty of Data Visualization.	Understanding main ideas and key details. Analyzing information. Reflecting on own experience. Interpreting a speaker's statement.

12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
14	Final Test. Summarizing text/talks from media in small groups.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

In principle, no more than 3 absences are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Unit 1 Pressure to Please < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 1の本文の前半を読解します。
3	Unit 1 Pressure to Please < 読解とExercises>	Unit 1の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
4	Unit 2 No Time to Waste: Should we ban meetings? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 2の本文の前半を読解します。
5	Unit 2 No Time to Waste: Should we ban meetings? < 読解とExercises>	Unit 2の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
6	Unit 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 3の本文の前半を読解します。

7	Unit 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success? < 読解とExercises>	Unit 3の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
8	中間テストと解説	Unit 1～3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Unit 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 4の本文の前半を読解します。
10	Unit 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter? < 読解とExercises>	Unit 4の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
11	Unit 5 Long Weekends: Should we work four days a week? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 5の本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Ireland < 読解とExercises>	Unit 5の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	Unit 4～5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Dave Rear『Our World, Our Stories』（成美堂、2025）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- ・ mid-term test 40%

- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 6 Tourism: Is it a blessing or a curse? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 6の本文の前半を読解します。
2	Unit 6 Tourism: Is it a blessing or a curse? < 読解とExercises>	Unit 6の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
3	Unit 7 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 7の本文の前半を読解します。
4	Unit 7 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen? < 読解とExercises>	Unit 7の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
5	Unit 8 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 8の本文の前半を読解します。

6	Unit 8 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world? < 読解とExercises>	Unit 8の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
7	中間テストと解説	Unit 6～8を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
8	Unit 9 Lost Cities: Are they myth or reality? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 9の本文の前半を読解します。
9	Unit 9 Lost Cities: Are they myth or reality? < 読解とExercises>	Unit 9の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
10	Unit 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War III? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 10の本文の前半を読解します。
11	Unit 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War III? < 読解とExercises>	Unit 10の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
12	Unit 11 Left or Right: What is bias in the media? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 11の本文の前半を読解します。
13	Unit 11 Left or Right: What is bias in the media? < 読解とExercises>	Unit 11の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
14	期末テストと解説	Unit 9～11を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Dave Rear『Our World, Our Stories』（成美堂、2025）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- mid-term test 40%
- term test 40%
- activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion** や **group presentation** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビデオ・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および必要に応じてメールで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A

5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

以前は全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになった」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ(小論文)を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には **HOPPII** (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および **HOPPII** で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q &A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show &Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q &A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quizk 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q &A

5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show &Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q &A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q &A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q &A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show &Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q &A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q &A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q &A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q &A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q &A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q &A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q &A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎日出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム **Hoppii** から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加:25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項:授業 4 回分相当ののがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

以前は全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになった」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌（ばらの花 - くるり）	・小テスト（予備日） ・歌の解釈
3	日本語の歌（ばらの花 - くるり）	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1

4	英語の歌1 (Youth - Troye Sivan)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (Youth - Troye Sivan)	・歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌1 (Youth - Troye Sivan)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (In Too Deep - Jacob Collier)	・歌詞を文に再構成する ・プレゼンテーション課題のグループ構成を発表 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (In Too Deep - Jacob Collier)	・歌詞の和訳
9	英語の歌2 (In Too Deep - Jacob Collier)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成）
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習）
13	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ヒーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
 - ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
 - ・ディクテーション課題 25%
 - ・単語テスト 10%
- 欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌 (恋は桃色 - 細野晴臣)	・小テスト (予備日) ・歌の解釈
3	日本語の歌 (恋は桃色 - 細野晴臣)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1 (授業内) ・単語練習1

4	英語の歌1 (big felings-WILLOW)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (big felings-WILLOW)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2 (以降、授業外) ・単語練習2
6	英語の歌1 (big felings-WILLOW)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (Somebody Else - The 1975)	・歌詞を文に再構成する ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (Somebody Else - The 1975)	・文に再構成した歌詞の和訳
9	英語の歌2 (Somebody Else - The 1975)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業 (スクリプトとスライド作成)
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業 (スクリプトとスライド作成、発表練習) ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業 (スクリプトとスライド作成、発表練習)
13	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2・英語での質疑応答・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
 - ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
 - ・ディクテーション課題 25%
 - ・単語テスト 10%
- 欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30分以上の遅刻は欠席と見なし、3回の遅刻は欠席1回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本文学

大野 ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつかまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまぎれもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。春学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の推薦する作家について英語でプレゼンテーションを行う。

【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をしてもらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った発表を個人で、英語で行う。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方や評価基準について説明し、自己紹介を行う。
2	Soseki	夏目漱石「夢十夜」を読み、漱石について講義する。
3	Akutagawa (1)	芥川龍之介「藪の中」を読む。
4	Akutagawa (2)	引き続き「藪の中」を読み、ディスカッションを行う。
5	Akutagawa (3)	引き続き「藪の中」を読み、芥川について講義する。
6	Kajii (1)	梶井基次郎「檸檬」を読み、ディスカッションを行う。
7	Kajii (2)	引き続き「檸檬」を読み、梶井について講義する。
8	Kafu (1)	永井荷風「牡丹の客」を読み、ディスカッションを行う。
9	Kafu (2)	引き続き「牡丹の客」を読み、荷風について講義する。
10	Tanizaki (1)	谷崎潤一郎「刺青」を読む。

11	Tanizaki (2)	引き続き「刺青」を読み、ディスカッションを行う。
12	Tanizaki (3)	引き続き「刺青」を読み、谷崎について講義する。
13	Presentation	個別プレゼンテーションを行う。
14	Review	講評および学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

発表40%、小テスト30%、平常点30%

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。欠席回数が4回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

【学生の意見等からの気づき】

英文での精読は体力を要するので、適宜アクティビティなどを挟んで緊張をほぐしたい。

【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also present about their favorite author to the rest of the class.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40%Presentation, 30%Quiz, 30%Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60%or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本文学

大野 ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつきまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまぎれもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。秋学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の関心ある作家について英語でレポートを仕上げる。

【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をしてもらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った英文レポートを仕上げ、提出する。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方について説明し、前期をふりかえる。
2	Kawabata (1)	川端康成「水月」を読む。
3	Kawabata (2)	引き続き「水月」を読み、ディスカッションを行う。
4	Kawabata (3)	引き続き「水月」を読み、川端について講義する。
5	Dazai (1)	太宰治「メロイクリスマス」を読む。
6	Dazai (2)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、ディスカッションを行う。
7	Dazai (3)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、太宰について講義する。
8	Nakajima (1)	中島敦「名人伝」を読む。
9	Nakajima (2)	引き続き「名人伝」を読み、中島について講義する。
10	Miyazawa (1)	宮沢賢治「なめとこ山の熊」を読む。

11	Miyazawa (2)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、ディスカッションを行う。
12	Miyazawa (3)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、宮沢について講義する。
13	Presentation	各自のレポートの内容についてミニ・プレゼンを行う。
14	Review	講評および学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

レポート40%、小テスト30%、平常点30%
成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。欠席回数が4回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

【学生の意見等からの気づき】

英文での精読は体力を要するので、適宜アクティビティなどを挟んで緊張をほぐしたい。

【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also write a paper on their favorite author.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40%Paper, 30%Quiz, 30%Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60%or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	The Way we Live Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
English 3 I					
サブタイトル：English in Global Contexts					
TOBY TRAUB					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 3/Fri.3 単位数：1単位					
その他属性：			5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Learning English for communicating in a global society.					
【到達目標】 This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、 経営学部：DP1			6	Unit 2 Political Refugees Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz scores.			7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり /Yes					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities	8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..			
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	9	Unit 3: Seize the day Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment and/or study for a quiz every week in preparation for class. This writing assignment will usually require research. Students should expect to spend at least two hours on homework/studying outside of class, on average. Some weeks will be more, and some weeks will be less.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations: 70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline (in English)】

This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	Human Compassion Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
English 3 II					
2017年度以降入学者					
サブタイトル：English in Global Contexts					
TOBY TRAUB					
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金3/Fri.3 単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Learning English for communicating in a global society.			5	Is telling lies bad? Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
【到達目標】 This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			6	Immigration good, or bad? Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz scores.			7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり/Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり/Yes					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.	8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
2	Homelessness Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
3	Art and War Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.			

10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity. Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

Students will spend a bare minimum of two hours a week homework outside of class, some weeks will be more, and some will be less.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations: 70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the

assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：地域別に見るアメリカ合衆国

大 阪 大 学

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、アメリカ合衆国を11の地域に分け、各地域の民族的起源や歴史的経験、そして伝統を学びながら、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能の学習をとおして、英語圏の文化と社会に関する知見と総合的な英語力の習得を目指す。

【到達目標】

学生は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習をとおして、変化する社会情勢や国際関係を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡りあえる英語力と批判的な視点を身につけることができる。また、英語力だけでなく、人文的教養を身につけることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式で進めるため、参加者は教科書の予習が必須である。

授業の前半では、事前に指名された発表者が教科書の英文を訳読する。その後、全体での質疑応答を交えながら文法と内容の解説もおこなう。

授業の後半では、英語による内容要約、内容や文法に関するリスニング問題、本文に関する発展的な内容の英語プレゼンテーションなどもおこなう。

課題の提出は学習支援システムを通じておこなう。

発表や課題に対するフィードバックは、授業の後半に実施する。また、質疑応答の時間を十分に設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 1	Dividing America
第3回	Chapter 1	Mini-nations
第4回	Chapter 2	New England
第5回	Chapter 2	The Boston area
第6回	Chapter 3	The New York Metropolis
第7回	Chapter 3	Irish immigrants
第8回	Chapter 4	Appalachia
第9回	Chapter 4	Agricultural products
第10回	Chapter 5	The South
第11回	Chapter 5	Deep South towns and cities
第12回	Chapter 6	American Music Roots in the South
第13回	Chapter 6	Elvis Presley
第14回	期末試験	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Where Are You From?: American Regions 地域で見るアメリカ』、音羽書房鶴見書店、2020年、2090円（税込）

【参考書】

適宜授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40%

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

前年度は担当していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course divides the United States into 11 regions, and aims to provide students with knowledge of English-speaking cultures and societies as well as comprehensive English language skills through the study of the four skills of listening, reading, writing, and speaking, while learning about the ethnic origins, historical experiences, and traditions of each region.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：地域別に見るアメリカ合衆国

大 阪 大 学

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、アメリカ合衆国を11の地域に分け、各地域の民族的起源や歴史的経験、そして伝統を学びながら、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能の学習をとおして、英語圏の文化と社会に関する知見と総合的な英語力の習得を目指す。

【到達目標】

学生は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習をとおして、変化する社会情勢や国際関係を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡りあえる英語力と批判的な視点を身につけることができる。また、英語力だけでなく、人文学的教養を身につけることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式で進めるため、参加者は教科書の予習が必須である。

授業の前半では、事前に指名された発表者が教科書の英文を訳読する。その後、全体での質疑応答を交えながら文法や内容の解説もおこなう。

授業の後半では、英語による内容要約、内容や文法に関するリスニング問題、本文に関する発展的な内容の英語プレゼンテーションなどもおこなう。

課題の提出は学習支援システムを通じておこなう。

発表や課題に対するフィードバックは、授業の後半に実施する。また、質疑応答の時間を十分に設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 7	The Industrial North
第3回	Chapter 7	Northern cities
第4回	Chapter 8	The Heartland: Prairies and Plains
第5回	Chapter 8	The primarily agricultural region
第6回	Chapter 9	Out West
第7回	Chapter 9	The current nuclear issue
第8回	Chapter 10	Alaska
第9回	Chapter 10	The resources in Alaska
第10回	Chapter 11	The Pacific Northwest
第11回	Chapter 11	Silicon Valley
第12回	Chapter 12	The Southwest
第13回	Chapter 12	Texas and California
第14回	期末試験	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Where Are You From?: American Regions 地域で見るアメリカ』、音羽書房鶴見書店、2020年、2090円（税込）

【参考書】

適宜授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40%

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

前年度は担当していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course divides the United States into 11 regions, and aims to provide students with knowledge of English-speaking cultures and societies as well as comprehensive English language skills through the study of the four skills of listening, reading, writing, and speaking, while learning about the ethnic origins, historical experiences, and traditions of each region.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
English 3 I 2017年度以降入学者					
サブタイトル：身近なテーマで考える世界の中の日本：Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金3/Fri.3			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
【到達目標】			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作るができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			13	プレゼンテーション1	指定されたテーマで書きあげた原稿をもとに、各自がクラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
なし /No			14	プレゼンテーション2 総括	全体発表の2回目。最後に学びを総括する。
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40％ 発表40％ レポート課題20%。遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル：身近なテーマで考える世界の中の日本：Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金3/Fri.3			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数：1 単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
【到達目標】					
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			
			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
			12	プレゼンテーション 1	テーマに沿って各自が書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
			13	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。
			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % レポート課題 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の文化、科学技術、環境問題

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界中の様々な分野をトピックとしたリーディング教材を使用し、リーディング、リスニング、発音練習、英作文などの演習を実施します。英語の語彙力や読解力、発音、リスニング力を向上させ、さらに受講者同士の会話練習や英作文を通して最終的には自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを目標とします。

【到達目標】

1. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
2. 英文の発音練習を通して英語の音声に慣れ、リスニング力を強化する。
3. 国際的なトピックについての自分の意見を英語でアウトプットできるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態 講義と演習形式 はじめにテキストの演習問題の内容と語彙の確認を行います。次に、英文の内容を講義形式で解説します。英文の内容などについて適宜受講生に質問をするので、その質問に答えられるように事前に予習が必要です。テキストの音声を使用した発音練習も実施します。解説終了後にテキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。フィードバックは授業内での解説や学習支援システムを使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストの紹介、英語の発音について
2	Unit 1A The World's Game	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 1A 課題提出
3	Unit 1B What Makes an Olympic Champion?	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 1B 課題提出
4	Unit 2A What Is Beauty?	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 2A 課題提出
5	Unit 2B Skin: The Body Canvas	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 2B 課題提出
6	Unit 3A Racing to Rescue Koalas	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 3A 課題提出
7	Unit 3B Tracking the Snow Leopard	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 3B 課題提出
8	Unit 4A Sacred Summit	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 4A 課題提出

9	Unit 4B Is Prediction Possible?	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 4B 課題提出
10	Unit 5A Land of Fire and Ice	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 5A 課題提出
11	Unit 5B The Perfect Beach	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 5B 課題提出
12	Unit 6A The World's Favorite Drug	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 6A 課題提出
13	Unit 6B Addicted to Distraction	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 6B 課題提出
14	期末試験とまとめ	第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。春期授業全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に指定したテキストの演習問題や英文を予習してください。受講者が予習をしていることを前提に英文の解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として学習支援システムから出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Reading Explorer, Third Edition Student Book, Text Only < Level 3 > (Cengage) 著者 Nancy Douglas, David Bohlke 他 ISBN 97803571116272

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムからの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生のレベルに合わせたペースで進めていくよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に大学のメールアドレスを使用します。課題提出の際には、スマートフォン、PC、タブレットPC等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メール本文に「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を明記し、必ず大学のアドレスを使用してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, listening, and writing skills through reading various topics in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for understanding various issues in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の文化、科学技術、環境問題

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界中の様々な分野をトピックとしたリーディング教材を使用し、リーディング、リスニング、発音練習、英作文などの演習を実施します。英語の語彙力や読解力、発音、リスニング力を向上させ、さらに受講者同士の会話練習や英作文を通して最終的には自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを目標とします。

【到達目標】

1. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
2. 英文の発音練習を通して英語の音声に慣れ、リスニング力を強化する。
3. 国際的なトピックについての自分の意見を英語でアウトプットできるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態 講義と演習形式 はじめにテキストの演習問題の内容と語彙の確認を行います。次に、英文の内容を講義形式で解説します。英文の内容などについて適宜受講生に質問をするので、その質問に答えられるように事前に予習が必要です。テキストの音声を使用した発音練習も実施します。解説終了後にテキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。フィードバックは授業内での解説や学習支援システムを使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストの紹介、英語の発音について
2	Unit 7A Powering the Planet	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 7A 課題提出
3	Unit 7B City of the Future?	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 7B 課題提出
4	Unit 8A China's Grand Canal	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 8A 課題提出
5	Unit 8B Highway of Dreams	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 8B 課題提出
6	Unit 9A The Power of Virtual Reality	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 9A 課題提出
7	Unit 9B High-Flying Helpers	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 9B 課題提出
8	Unit 10A What's on Your Mind?	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 10A 課題提出

9	Unit 10B Inside Animal Minds	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 10B 課題提出
10	Unit 11A Van Gogh's World	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 11A 課題提出
11	Unit 11B Seeing the Light	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 11B 課題提出
12	Unit 12A Defying Gravity	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 12A 課題提出
13	Unit 12B The Ultimate Trip	英文内の語彙の確認、演習問題の確認、英文読解、発音練習、Unit 12B 課題提出
14	期末試験とまとめ	第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。秋期授業全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に指定したテキストの演習問題や英文を予習してください。受講者が予習をしていることを前提に英文の解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として学習支援システムから出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Reading Explorer, Third Edition Student Book, Text Only < Level 3 > (Cengage)

著者 Nancy Douglas, David Bohlke 他 ISBN 9780357116272

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムからの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生のレベルに合わせたペースで進めていくよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に大学のメールアドレスを使用します。課題提出の際には、スマートフォン、PC、タブレットPC等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メール本文に「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を明記し、必ず大学のアドレスを使用してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, listening, and writing skills through reading various topics in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for understanding various issues in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の英語で広がるコミュニケーション

佐喜真 彩

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3では、English1とEnglish2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）をさらに発展させます。この授業では、世界各地で使用されている多様な英語（World Englishes）を教材として扱います。これらを通じて、英語圏における文化的多様性への理解を深めながら、実践的な英語運用能力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・他文化について英語で情報収集することができる
- ・世界各地で使用される多様な英語の特徴を理解し、聞き取ることができる
- ・多様な英語使用者とのコミュニケーションに自信を持ち、自分の意見や考えを効果的に表現することができる
- ・異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的な違いを認識し、適切に対応することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

（授業の進め方）基本的には教科書『On Board for More World Adventures』にそって

進めながら、適宜ペア（グループ）ワークを取り入れます。（フィードバック方法）リアクションペーパーに書かれた質問はすべて次の授業で取り上げて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明、ウォームアップ、席決め
2	Unit1-1 AUSTRALIA	リーディング、語彙・表現学習
3	Unit1-2 AUSTRALIA	ビデオタスク、英語で意見交換
4	Unit2-1 INDONESIA	リーディング、語彙・表現学習
5	Unit2-2 INDONESIA	ビデオタスク、英語で意見交換
6	Unit3-1 SINGAPORE	リーディング、語彙・表現学習
7	Unit3-2 SINGAPORE	ビデオタスク、英語で意見交換
8	Unit4-1 CHINA	リーディング、語彙・表現学習
9	Unit4-2 CHINA	ビデオタスク、英語で意見交換
10	Unit5-1 ARGENTINA	リーディング、語彙・表現学習
11	Unit5-2 ARGENTINA	ビデオタスク、英語で意見交換
12	Unit6-1 MEXICO	リーディング、語彙・表現学習
13	Unit6-2 MEXICO	ビデオタスク、英語で意見交換
14	試験とまとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

- ・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『On Board for More World Adventures 続・映像で学ぶ世界の文化と英語』金星堂、2021年。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

- ・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%
- ・小テストおよび英作文課題：20%
- ・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

- ・積極的な授業参加を促すために、毎回ペア（グループ）ワークを取り入れます。
- ・単語や表現は知っているが聞き取ることができないという課題を持つ学生が多いので、聞き取りのコツやシャドーイングを使った反復練習の仕方を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

■ Course outline

English 3 builds upon the four language skills (reading, listening, writing, and speaking) developed in English 1 and 2. This course features materials focusing on various English varieties used around the world. Through exposure to World Englishes, students will enhance their practical language skills while developing a deeper understanding of cultural diversity in English-speaking regions.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Students will be able to gather information about other cultures using English
2. Students will be able to understand and comprehend the characteristics of diverse English varieties used worldwide
3. Students will be able to communicate confidently with diverse English speakers and express their opinions and ideas effectively
4. Students will be able to recognize and appropriately respond to linguistic and cultural differences in intercultural communication

■ Learning activities outside of classroom

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

■ Grading Criteria/Policy

The final grade will be determined based on the following components (total 100 points):

- ・Class participation (preparation and active engagement): 40%
- ・Quizzes and writing assignments: 20%
- ・Final examination: 40%

Note on Attendance:

Students who miss 4 or more classes per semester will not be eligible to receive course credit, except under extraordinary circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の英語で広がるコミュニケーション

佐喜真 彩

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3では、English1とEnglish2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）をさらに発展させます。この授業では、世界各地で使用されている多様な英語（World Englishes）を教材として扱います。これらを通じて、英語圏における文化的多様性への理解を深めながら、実践的な英語運用能力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・他文化について英語で情報収集することができる
- ・世界各地で使用される多様な英語の特徴を理解し、聞き取ることができる
- ・多様な英語使用者とのコミュニケーションに自信を持ち、自分の意見や考えを効果的に表現することができる
- ・異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的な違いを認識し、適切に対応することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

（授業の進め方）基本的には教科書『On Board for More World Adventures』にそって進めながら、適宜ペア（グループ）ワークを取り入れます。（フィードバック方法）リアクションペーパーに書かれた質問はすべて次の授業で取り上げて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明、ウォームアップ、席決め
2	Unit7-1 GERMANY	リーディング、語彙・表現学習
3	Unit7-2 GERMANY	ビデオタスク、英語で意見交換
4	Unit8-1 FINLAND	リーディング、語彙・表現学習
5	Unit8-2 FINLAND	ビデオタスク、英語で意見交換
6	Unit9-1 POLAND	リーディング、語彙・表現学習
7	Unit9-2 POLAND	ビデオタスク、英語で意見交換
8	Unit10-1 SPAIN	リーディング、語彙・表現学習
9	Unit10-2 SPAIN	ビデオタスク、英語で意見交換
10	Unit11-1 GREECE	リーディング、語彙・表現学習
11	Unit11-2 GREECE	ビデオタスク、英語で意見交換
12	Unit12-1 KENYA	リーディング、語彙・表現学習
13	Unit12-2 KENYA	ビデオタスク、英語で意見交換
14	試験とまとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

- ・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『On Board for More World Adventures 続・映像で学ぶ世界の文化と英語』金星堂、2021年。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%

・小テストおよび英作文課題：20%

・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

・積極的な授業参加を促すために、毎回ペア（グループ）ワークを取り入れます。

・単語や表現は知っているが聞き取ることができないという課題を持つ学生が多いので、聞き取りのコツやシャドーイングを使った反復練習の仕方を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

・辞書を必ず持参してください。

・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

■ Course outline

English 3 builds upon the four language skills (reading, listening, writing, and speaking) developed in English 1 and 2. This course features materials focusing on various English varieties used around the world. Through exposure to World Englishes, students will enhance their practical language skills while developing a deeper understanding of cultural diversity in English-speaking regions.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Students will be able to gather information about other cultures using English
2. Students will be able to understand and comprehend the characteristics of diverse English varieties used worldwide
3. Students will be able to communicate confidently with diverse English speakers and express their opinions and ideas effectively
4. Students will be able to recognize and appropriately respond to linguistic and cultural differences in intercultural communication

■ Learning activities outside of classroom

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

■ Grading Criteria/Policy

The final grade will be determined based on the following components (total 100 points):

- ・Class participation (preparation and active engagement): 40%
- ・Quizzes and writing assignments: 20%
- ・Final examination: 40%

Note on Attendance:

Students who miss 4 or more classes per semester will not be eligible to receive course credit, except under extraordinary circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Global issues and Japan

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。現在の日本が直面する様々な課題と将来の展望について学び考えます。

【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #1	1. Orientation オリエンテーション 2. Reading the first paragraph of Chapter 2
2	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
3	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
4	Gender Equality 男女格差 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading
5	Gender Equality 男女格差 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
6	Gender Equality 男女格差 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice

7	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading
8	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
9	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
10	Digitalization and Public Administration デジタル化と行政 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading
11	Digitalization and Public Administration デジタル化と行政 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
12	Digitalization and Public Administration デジタル化と行政 #3	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
13	Digitalization and Public Administration デジタル化と行政 #4	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly reading, listening or writing home assignments

2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点15』, 音羽書房鶴見書店, 2023年) ￥2,000+税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業を一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on social issues in Japan from a global perspective. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Global issues and Japan

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本が直面する課題をグローバルな視点から学び考えます。English 3 Iに引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/ Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #1	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening paragraph of Chapter 7
2	Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
3	Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #3	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Thinking more about Nuclear Power
4	Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #4	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
5	Foreign Technical Intern Trainees 外 国人技能実習生 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check

6	Foreign Technical Intern Trainees 外 国人技能実習生 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Thinking more about foreign workers in Japan
7	Foreign Technical Intern Trainees 外 国人技能実習生 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
8	Refugee Status 難 民認定 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
9	Refugee Status 難 民認定 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Thinking more about refugee issues
10	Refugee Status 難 民認定 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
11	Heading to the Country 地方移住 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
12	Heading to the Country 地方移住 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Thinking more about life and values
13	Heading to the Country 地方移住 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点15』, 音羽書房鶴見書店, 2023年) ￥2,000 + 税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about Japan in the international community. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TedTalks and Printed Media

ROBERT J SPIVAK

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3は、英語1と2で得たスキルと知識を基に、さまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。そのためにこのコースでは、学生は英語を使って、さまざまな観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。また時事トピックを通じて時事問題を学び、さまざまな情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Students will read authentic texts and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a passage from a newspaper/magazine article or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by reading, listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the reading selections and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied. Feedback on assignments will be given orally and through HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Introduction	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Understanding references. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
Three	Interdisciplinary. Unit 1B: How to Start a Movement	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
4	Conservation. Unit 2A: Trouble for the Air Plants / Scientific article	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
5	Conservation. Unit 2B: Conserving the Canopy	Understanding main ideas and key details. Recognizing purpose. Recognizing supporting evidence. Inferring reasons. Synthesizing information.
6	Health / innovations. Unit 3A: Big Problems, Simple Solutions. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
7	Health / innovations. Unit 3B. A Warm Embrace that Saves Lives.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
8	Sociology / technology. Unit 4A: Is Gaming Good for You? Research report.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
9	Sociology / Technology. Unit 4B: Gaming Can Make a Better World.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
10	Psychology / Education. Unit 5A: Engaging Learners.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding supporting ideas with evidence. Finding similarities and differences. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.

11	Psychology / Education. Unit 5B: The Key to Success? Grit.	Understanding main ideas. Understanding overall message. Understanding terms. Summarizing the talk. Evaluating information. Synthesizing information. Reflecting on own experienCe.
12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Making inferences. Getting meaning from context.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Summarizing. Recognizing purpose.
14	Final Test. Summarizing text / talks from media in small groups.	Summarizing. Giving opinions. Synthesizing information. Evaluating information. Reflecting on own experience.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

In principle, no more than 3 absences are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TedTalks and Printed Media

ROBERT J SPIVAK

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3-IIは、春学期に開講された英語3-Iの続きです。英語3は、英語1と2で習得したスキルと知識を基に、英語を使ってさまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。このコースでは英語を使って、あらゆる観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。またさまざまな時事問題を学び、情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的な英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills. Feedback on assignments will be given orally and through HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
one	Introduction	Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.

2	Food/Health. Unit 6A: Food Revolution. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Identifying problems and solutions. Understanding infographics. Getting meaning from context. Applying information. Reflecting on own experience.
three	Food/Health. Unit 6B: Teach Every Child About Food.	Understanding main ideas and key details. Inferring meaning. Evaluating information. Reflecting on own experience.
4	Behavior/ Psychology. Unit 7A: Power Poses. Research Report.	Getting the main ideas and details. Recognizing text structure. Getting meaning from context. Analyzing statements. Reflecting on own experience.
5	Behavior/ Psychology. Unit 7B: Your Body Language Shapes Who You Are.	Understanding main ideas and key details. Recognizing sequence. Identifying purpose. Summarizing. Reflecting on own experience. Inferring statements. Reasoning ideas.
6	Energy/ Engineering. Unit 8A: Kite Power. News Report	Getting the main ideas. Scanning for specific information. Making comparisons. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion. Reflecting on possible solutions.
7	Energy/ Engineering. Unit 8B: How I Harnessed the Wind,	Understanding main ideas. Visualizing a process. Understanding causes and effects. Inferring meaning. Synthesizing information.
8	Engineering/ Art. Unit 9A: Thinking in Pictures. Biographical article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on possibilities.
9	Engineering/ Art. Unit 9B: Deep Sea Diving in a Wheelchair.	Understanding main ideas and key details. Recognizing tone and message. Inferring meaning. Comparing information.
10	Statistics/ Economics. Unit 10A: Information is Beautiful. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding infographics. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on own experience.
11	Statistics/ Economics. Unit 10B: The Beauty of Data Visualization.	Understanding main ideas and key details. Analyzing information. Reflecting on own experience. Interpreting a speaker's statement.
12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.

13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
14	Final Test. Summarizing text/talks from media in small groups.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

In principle, no more than 3 absences are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Communication Skills 1

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics; Topic: Speed dating	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	Describing things; Topic: Stress	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
7	Ecology; Topic: Listening and taking notes	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
8	Problems and Solutions: Topic: Fast food	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	Comparisons: Topic: Shopping trends	Queen of the Sun (30 - 60 min.); Discussion
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
11	Group organization; Topic: Student choice	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
12	Presentations; Topic: Course related topics	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	Choice of test topics	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	Student peer review and feedback	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Communication Skills 2

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	5 - 8 Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts; Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Unit 1 Pressure to Please < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 1の本文の前半を読解します。
3	Unit 1 Pressure to Please < 読解とExercises>	Unit 1の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
4	Unit 2 No Time to Waste: Should we ban meetings? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 2の本文の前半を読解します。
5	Unit 2 No Time to Waste: Should we ban meetings? < 読解とExercises>	Unit 2の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
6	Unit 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 3の本文の前半を読解します。

7	Unit 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success? < 読解とExercises>	Unit 3の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
8	中間テストと解説	Unit 1~3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Unit 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 4の本文の前半を読解します。
10	Unit 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter? < 読解とExercises>	Unit 4の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
11	Unit 5 Long Weekends: Should we work four days a week? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 5の本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Ireland < 読解とExercises>	Unit 5の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	Unit 4~5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Dave Rear『Our World, Our Stories』(成美堂、2025)

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい (電子辞書も可)

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。(遅刻は欠席0.5回として扱います)

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- ・ mid-term test 40%

- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 6 Tourism: Is it a blessing or a curse? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 6の本文の前半を読解します。
2	Unit 6 Tourism: Is it a blessing or a curse? < 読解とExercises>	Unit 6の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
3	Unit 7 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 7の本文の前半を読解します。
4	Unit 7 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen? < 読解とExercises>	Unit 7の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
5	Unit 8 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 8の本文の前半を読解します。

6	Unit 8 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world? < 読解とExercises>	Unit 8の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
7	中間テストと解説	Unit 6～8を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
8	Unit 9 Lost Cities: Are they myth or reality? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 9の本文の前半を読解します。
9	Unit 9 Lost Cities: Are they myth or reality? < 読解とExercises>	Unit 9の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
10	Unit 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War III? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 10の本文の前半を読解します。
11	Unit 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War III? < 読解とExercises>	Unit 10の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
12	Unit 11 Left or Right: What is bias in the media? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 11の本文の前半を読解します。
13	Unit 11 Left or Right: What is bias in the media? < 読解とExercises>	Unit 11の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
14	期末テストと解説	Unit 9～11を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Dave Rear『Our World, Our Stories』（成美堂、2025）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- mid-term test 40%
- term test 40%
- activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本について英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。本授業では、「4技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、特に日本の歴史について英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを英語と日本語を用いて行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはオンライン等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2項	発音練習	発音練習
第3講	Chapter 1-1 The Jomon Period	縄文時代について
第4講	Chapter 1-2,3 The Yayoi Period	弥生時代について
第5講	Chapter 1-4,5 T	仏教の伝来、大化の改新について
第6講	Chapter 2-6,7,8,9,10	平安時代について
第7講	Chapter 2-11,12	武士の時代について
第8講	Chapter 4	安土桃山時代について
第9講	Chapter 5	江戸時代
第10講	プレゼンテーション1	プレゼンテーション1
第11講	プレゼンテーション2	プレゼンテーション2
第12講	プレゼンテーション3	プレゼンテーション3
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

シンプルな英語で話す日本史、ジェームズ・M・バーダマン著、株式会社ジャパントイムズ出版、ISBN978-4-7980-1594-3

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等(20%)、グループ・プレゼンテーション(40%)、ペーパーテスト(40%)の総合点で評価します。尚、欠席が4回以上になった物は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 40%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。「4技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはオンライン等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2項	発音練習	発音練習
第3講	Writing練習	夏休みの出来事を英語で書く
第4講	Chapter 6-54-62	近代史
第5講	Chapter 6-64-68	近代の戦争
第6講	Chapter 6-69-78	二つの大戦
第7講	Chapter 7-79-82	戦後の日本
第8講	Chapter 7-83-90	現代の日本
第9講	Chapter 7-91-100	「今、ここで」私たちは何をし、何を考えるのか
第10講	プレゼンテーション4	プレゼンテーション4
第11講	プレゼンテーション5	プレゼンテーション5
第12講	プレゼンテーション6	プレゼンテーション6
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

シンプルな英語で話す日本史、ジェームズ・M・バーダマン著、株式会社ジャパントイムズ出版、ISBN978-4-7890-1594-3

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等(20%)、グループ・プレゼンテーション(40%)、ペーパーテスト(40%)の総合点で評価します。尚、欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人1分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 40%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion** や **group presentation** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビデオ・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および必要に応じてメールで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A

5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

以前は全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになった」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ(小論文)を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には **HOPPII** (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および **HOPPII** で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q &A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show &Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q &A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quizk 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q &A

5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show &Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q &A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q &A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q &A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show &Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q &A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q &A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q &A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q &A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q &A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q &A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q &A

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材 (授業のスライドを含む) と関連情報は授業支援システム **Hoppii** から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当のものをがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

以前は全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになった」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Multiculturalism in the U.S.

磯部 芳恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
 2. short lectures and explanations by the teacher
- Feedback will be given in class.
3. pair and group discussions
 4. presentations
 5. feedback in class

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Student introductions Course outline Getting started: reading an article
2	Unit 1 AI in Education	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Unit 1 AI in Education Try this, one more time!	Summary Discussion
4	Unit 2 Multitasking	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Unit 2 Multitasking Try this, one more time!	Summary Discussion

6	Unit 3 To Nap or Not to Nap?	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
7	Unit 3 To Nap or Not to Nap? Try this, one more time!	Summary Discussion
8	Unit 4 Domino's Pizza Car	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Unit 4 Domino's Pizza Car Try this, one more time!	Summary Discussion
10	Unit 5 What is Flag Football?	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Unit 5 What is Flag Football? Try this, one more time!	Summary Discussion
12	Review	Unit 1-5 Vocabulary
13	Presentation	Presentation Unit 1-5
14	Wrap up and feed back	End of term review and Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CNN 10 Vol.13 – Student News – <2025年>（朝日出版社）

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>

<https://learningenglish.voanews.com/>

<https://www.newsinlevels.com/>

<https://breakingnewsenglish.com>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(30%), homework(20%), tests(40%), and a presentation(10%). Points are deducted if you are absent.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slide to class on a memory stick.

【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Multiculturalism in the U.S.

磯部 芳恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Therefore they will acquire four skills, reading, listening, speaking and writing skills.

【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. presentations
5. feedback in class

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Reading an article	Breaking News English Vocabulary Summary Discussion
2	Unit 6 Chief UNO Player	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Unit 6 Chief UNO Player Try this, too!	Summary Discussion
4	Unit 7 Basketball Superstar	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Unit 7 Basketball Superstar Try this, one more time!	Summary Discussion

6	Unit 8 Creating Eco-Accessories	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
7	Unit 8 Creating Eco-Accessories Try this, one more time!	Summary Try this, one more time!
8	Unit 9 Secret Education for Women	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Unit 9 Secret Education for Women Try this, too!	Summary Discussion
10	Unit 10 Drones at the Beach	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Unit 10 Drones at the Beach Try this, too!	Summary Discussion
12	Review	Unit 6-10 Vocabulary, expressions
13	Presentation	Choose a topic from Unit 6-10 and give a presentation
14	Wrap up and feed back	End of the term review and Q &A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CNN 10 Vol.13 – Student News – <2025年>（朝日出版社）2200円。

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>

<https://learningenglish.voanews.com/>

<https://www.newsintlevels.com/>

<https://breakingnewsenglish.com>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(30%), homework(20%), tests(40%), and a presentation(10%). Points are deducted if you are absent.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーを活用して、活用できるものは授業で紹介する。

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick.

【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Furthermore they will learn to give a presentation.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌（ばらの花 - くるり）	・小テスト（予備日） ・歌の解釈
3	日本語の歌（ばらの花 - くるり）	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1

4	英語の歌1 (Youth - Troye Sivan)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (Youth - Troye Sivan)	・歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌1 (Youth - Troye Sivan)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (In Too Deep - Jacob Collier)	・歌詞を文に再構成する ・プレゼンテーション課題のグループ構成を発表 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (In Too Deep - Jacob Collier)	・歌詞の和訳
9	英語の歌2 (In Too Deep - Jacob Collier)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成）
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習）
13	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ヒーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
 - ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
 - ・ディクテーション課題 25%
 - ・単語テスト 10%
- 欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30分以上の遅刻は欠席と見なし、3回の遅刻は欠席1回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌 (恋は桃色 - 細野晴臣)	・小テスト (予備日) ・歌の解釈
3	日本語の歌 (恋は桃色 - 細野晴臣)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1 (授業内) ・単語練習1

4	英語の歌1 (big feelings - WILLOW)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (big feelings - WILLOW)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2 (以降、授業外) ・単語練習2
6	英語の歌1 (big feelings - WILLOW)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (Somebody Else - The 1975)	・歌詞を文に再構成する ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (Somebody Else - The 1975)	・文に再構成した歌詞の和訳
9	英語の歌2 (Somebody Else - The 1975)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業 (スクリプトとスライド作成)
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業 (スクリプトとスライド作成、発表練習) ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業 (スクリプトとスライド作成、発表練習)
13	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2・英語での質疑応答・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
 - ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
 - ・ディクテーション課題 25%
 - ・単語テスト 10%
- 欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30分以上の遅刻は欠席と見なし、3回の遅刻は欠席1回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の英語で広がるコミュニケーション

佐喜真 彩

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3では、English1とEnglish2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）をさらに発展させます。この授業では、世界各地で使用されている多様な英語（World Englishes）を教材として扱います。これらを通じて、英語圏における文化的多様性への理解を深めながら、実践的な英語運用能力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・他文化について英語で情報収集することができる
- ・世界各地で使用される多様な英語の特徴を理解し、聞き取ることができる
- ・多様な英語使用者とのコミュニケーションに自信を持ち、自分の意見や考えを効果的に表現することができる
- ・異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的な違いを認識し、適切に対応することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

（授業の進め方）基本的には教科書『On Board for More World Adventures』にそって

進めながら、適宜ペア（グループ）ワークを取り入れます。（フィードバック方法）リアクションペーパーに書かれた質問はすべて次の授業で取り上げて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明、ウォームアップ、席決め
2	Unit1-1 AUSTRALIA	リーディング、語彙・表現学習
3	Unit1-2 AUSTRALIA	ビデオタスク、英語で意見交換
4	Unit2-1 INDONESIA	リーディング、語彙・表現学習
5	Unit2-2 INDONESIA	ビデオタスク、英語で意見交換
6	Unit3-1 SINGAPORE	リーディング、語彙・表現学習
7	Unit3-2 SINGAPORE	ビデオタスク、英語で意見交換
8	Unit4-1 CHINA	リーディング、語彙・表現学習
9	Unit4-2 CHINA	ビデオタスク、英語で意見交換
10	Unit5-1 ARGENTINA	リーディング、語彙・表現学習
11	Unit5-2 ARGENTINA	ビデオタスク、英語で意見交換
12	Unit6-1 MEXICO	リーディング、語彙・表現学習
13	Unit6-2 MEXICO	ビデオタスク、英語で意見交換
14	試験とまとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。

・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『On Board for More World Adventures 続・映像で学ぶ世界の文化と英語』金星堂、2021年。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%

・小テストおよび英作文課題：20%

・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

・積極的な授業参加を促すために、毎回ペア（グループ）ワークを取り入れます。

・単語や表現は知っているが聞き取ることができないという課題を持つ学生が多いので、聞き取りのコツやシャドーイングを使った反復練習の仕方を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

・辞書を必ず持参してください。

・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

■ Course outline

English 3 builds upon the four language skills (reading, listening, writing, and speaking) developed in English 1 and 2. This course features materials focusing on various English varieties used around the world. Through exposure to World Englishes, students will enhance their practical language skills while developing a deeper understanding of cultural diversity in English-speaking regions.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Students will be able to gather information about other cultures using English
2. Students will be able to understand and comprehend the characteristics of diverse English varieties used worldwide
3. Students will be able to communicate confidently with diverse English speakers and express their opinions and ideas effectively
4. Students will be able to recognize and appropriately respond to linguistic and cultural differences in intercultural communication

■ Learning activities outside of classroom

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

■ Grading Criteria/Policy

The final grade will be determined based on the following components (total 100 points):

・Class participation (preparation and active engagement): 40%

・Quizzes and writing assignments: 20%

・Final examination: 40%

Note on Attendance:

Students who miss 4 or more classes per semester will not be eligible to receive course credit, except under extraordinary circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の英語で広がるコミュニケーション

佐喜真 彩

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3では、English1とEnglish2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）をさらに発展させます。この授業では、世界各地で使用されている多様な英語（World Englishes）を教材として扱います。これらを通じて、英語圏における文化的多様性への理解を深めながら、実践的な英語運用能力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・他文化について英語で情報収集することができる
- ・世界各地で使用される多様な英語の特徴を理解し、聞き取ることができる
- ・多様な英語使用者とのコミュニケーションに自信を持ち、自分の意見や考えを効果的に表現することができる
- ・異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的な違いを認識し、適切に対応することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

（授業の進め方）基本的には教科書『On Board for More World Adventures』にそって

進めながら、適宜ペア（グループ）ワークを取り入れます。（フィードバック方法）リアクションペーパーに書かれた質問はすべて次の授業で取り上げて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明、ウォームアップ、席決め
2	Unit7-1 GERMANY	リーディング、語彙・表現学習
3	Unit7-2 GERMANY	ビデオタスク、英語で意見交換
4	Unit8-1 FINLAND	リーディング、語彙・表現学習
5	Unit8-2 FINLAND	ビデオタスク、英語で意見交換
6	Unit9-1 POLAND	リーディング、語彙・表現学習
7	Unit9-2 POLAND	ビデオタスク、英語で意見交換
8	Unit10-1 SPAIN	リーディング、語彙・表現学習
9	Unit10-2 SPAIN	ビデオタスク、英語で意見交換
10	Unit11-1 GREECE	リーディング、語彙・表現学習
11	Unit11-2 GREECE	ビデオタスク、英語で意見交換
12	Unit12-1 KENYA	リーディング、語彙・表現学習
13	Unit12-2 KENYA	ビデオタスク、英語で意見交換
14	試験とまとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

- ・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『On Board for More World Adventures 続・映像で学ぶ世界の文化と英語』金星堂、2021年。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

- ・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%
- ・小テストおよび英作文課題：20%
- ・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

- ・積極的な授業参加を促すために、毎回ペア（グループ）ワークを取り入れます。
- ・単語や表現は知っているが聞き取ることができないという課題を持つ学生が多いので、聞き取りのコツやシャドーイングを使った反復練習の仕方を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

■ Course outline

English 3 builds upon the four language skills (reading, listening, writing, and speaking) developed in English 1 and 2. This course features materials focusing on various English varieties used around the world. Through exposure to World Englishes, students will enhance their practical language skills while developing a deeper understanding of cultural diversity in English-speaking regions.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Students will be able to gather information about other cultures using English
2. Students will be able to understand and comprehend the characteristics of diverse English varieties used worldwide
3. Students will be able to communicate confidently with diverse English speakers and express their opinions and ideas effectively
4. Students will be able to recognize and appropriately respond to linguistic and cultural differences in intercultural communication

■ Learning activities outside of classroom

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

■ Grading Criteria/Policy

The final grade will be determined based on the following components (total 100 points):

- ・Class participation (preparation and active engagement): 40%
- ・Quizzes and writing assignments: 20%
- ・Final examination: 40%

Note on Attendance:

Students who miss 4 or more classes per semester will not be eligible to receive course credit, except under extraordinary circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: ビジネスケースから学ぶ日本のグローバル化

井上 紗央里

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国内企業のグローバル化に着目した英文記事の読解を通して、国内、国際社会への日本の取り組みの理解を深めることを目標とします。またテキスト内のディクテーションの演習を毎回実施しリスニング力と語彙力を強化していきます。受講者同士の英語での会話練習や、英作文を通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることも目標とします。

【到達目標】

1. ディクテーションやシャドーイングを通じて英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 日本の社会、特に国内企業のグローバル化への取り組みについての理解を深め、自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト Global Leadership (金星堂) を使用し、テキスト内の演習問題、英文読解、リスニングのディクテーション、リアクションペーパーの作成を行います。春学期はテキストの前半の Case を使用します。授業では予習箇所について学生を指名し発言を求めます。各ユニットごとにテキスト内の演習問題を授業内課題として出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、Case 1 プレ授業	授業の説明、Case 1 のプレ授業、受講生同士での簡単な自己紹介
2	Case 1 前半	Case 1 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
3	Case 1 後半	Case 1 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
4	Case 2 前半	Case 2 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
5	Case 2 後半	Case 2 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
6	Case 3 前半	Case 3 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
7	Case 3 後半	Case 3 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
8	Case 4 前半	Case 4 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
9	Case 4 後半	Case 4 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment

10	Case 5 前半	Case 5 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
11	Case 5 後半	Case 5 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
12	Case 6	Case 6 の Vocabulary, Listening, Reading, Pair Work, Assignment
13	Case 8	Case 8 の Vocabulary, Listening, Reading, Pair Work, Assignment
14	最終試験とまとめ	第1回から第13回までの授業を試験範囲として最終試験を実施。全体のまとめ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に指定したテキストの演習問題を解き、Reading の英文を読んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Global Leadership - 2nd Revised Edition, Case Studies of Business Leaders in Japan 「ビジネスケースで学ぶグローバル人材の条件 [改訂第2版]」 著者 中谷安男 /Ryan Smithers (金星堂 2022) ISBN: 978-4-7647-4154-6

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

授業内試験 50 %、平常点 (予習、授業内での発言などの貢献度、課題提出) 50 % で評価します。欠席回数が4回を超えた学生は単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

学生のレベルに合わせた進度で進めていくよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：ビジネスケースから学ぶ日本のグローバル化

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国内企業のグローバル化に着目した英文記事の読解を通して、国内、国際社会への日本の取り組みの理解を深めることを目標とします。またテキスト内のディクテーションの演習を毎回実施しリスニング力と語彙力を強化していきます。受講者同士の英語での会話練習や、英作文を通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることも目標とします。

【到達目標】

1. ディクテーションやシャドーイングを通じて英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 日本の社会、特に国内企業のグローバル化への取り組みについての理解を深め、自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト Global Leadership (金星堂) を使用し、テキスト内の演習問題、英文読解、リスニングのディクテーション、リアクションペーパーの作成を行います。秋学期はテキストの後半の Case を使用します。授業では予習箇所について学生を指名し発言を求めます。各ユニットごとにテキスト内の演習問題を授業内課題として出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、Case 9 プレ授業	授業の説明、Case 9 のプレ授業、受講生同士での簡単な自己紹介
2	Case 9 前半	Case 9 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
3	Case 9 後半	Case 9 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
4	Case 10 前半	Case 10 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
5	Case 10 後半	Case 10 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
6	Case 11 前半	Case 11 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
7	Case 11 後半	Case 11 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
8	Case 12 前半	Case 12 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
9	Case 12 後半	Case 12 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment

10	Case 13 前半	Case 13 の Vocabulary, Listening, Reading 前半
11	Case 13 後半	Case 14 の Reading 後半, Listening, Pair Work, Assignment
12	Case 14	Case 14 の Vocabulary, Listening, Reading, Pair Work, Assignment
13	Case 15	Case 15 の Vocabulary, Listening, Reading, Pair Work, Assignment
14	最終試験とまとめ	第1回から第13回までの授業を試験範囲として最終試験を実施。全体のまとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に指定したテキストの演習問題を解き、Reading の英文を読んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Global Leadership - 2nd Revised Edition, Case Studies of Business Leaders in Japan 「ビジネスケースで学ぶグローバル人材の条件 [改訂第2版]」 著者 中谷安男 / Ryan Smithers (金星堂 2022) ISBN: 978-4-7647-4154-6

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

授業内試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言などの貢献度、課題提出） 50 % で評価します。欠席回数が4回を超えた学生は単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

学生のレベルに合わせた進度で進めていくよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：World Affairs

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:

- 1) Changes in Technology
- 2) Aspects of Culture
- 3) Beliefs

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join "Classroom". Course overview and class policies. Grading system.
2	Technology	Vocabulary for technology. Small group discussion of changes in technology.
3	Technology:	Listening and shadowing with Audio and Script.
4	Technology	Group Presentation about a new technology - BBC News articles.

5	Technology:	Writing: Prepare a paragraph to discuss advantages or disadvantages of a new technology.
6	Culture:	Speaking: "Breaking the Ice" Overcome language barriers. Vocabulary for culture. Group discussion.
7	Culture: Listening	Listening and shadowing with Audio and Script.
8	Culture:	The history and development of English language and culture.
9	Culture: Group discussion	Compare and contrast Japanese culture with English culture. Prepare a paragraph.
10	Beliefs:	Group discussion and Vocabulary related to Beliefs.
11	Beliefs	Listening and shadowing with Audio and Script.
12	Beliefs	Group Discussion of beliefs and superstitions.
13	Presentation	Make a Group Presentation about Clancy of the Overflow
14	TED Talk: Critical Thinking	Watch a TED talk and analyze if the speaker is telling the truth.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 3,000 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 20%

In-Class Worksheets: 30%

Word Games: 12%

On-Line Homework (The Study Centre): 24%

On-Line Practice (Duolingo): 14%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

Change of Textbook.

2025: Added Word Games (Wordle) and On-line Practice (Duolingo for schools). Introduced the use of Generative Text software and restructured the Writing component of the course.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.

A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones /mobile devices are acceptable.

Also, a portable device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom”. Please download Google Classroom to your device before our first class. The Course code will be advised via the university Learning Management System (LMS) before the first class.

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2 and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: World Affairs

ALAN M NICHOLLS

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:

1)

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Review and Objectives	Review of semester 1. Ground rules and grading. Objectives. Decide which Units to study
2	The News:	Vocabulary for technology. Small group discussion of where to get news.
3	ThThe News:	Listening and shadowing with Audio and Script.
4	The News	Small Group discussion and activity. Prepare a short News program.
5	The News	Writing: Prepare an essay outline. Describe a photograph (TOEIC Test 1)
6	Ecotourism	Vocabulary for tourism. Group discussion.

7	Ecotourism: Listening	Listening and shadowing with Audio and Script. Form Ballad groups.
8	Ecotourism:	Ecotourism Presentation; Small group activity.
9	Ecotourism.	Writing: Prepare an Introduction paragraph. Ballad preparation.
10	Environment:	Group discussion and Vocabulary related to Environment. BBC Ideas Videos and Worksheet.
11	Environment	Listening and shadowing with Audio and Script.
12	Environment.	Writing. Prepare a conclusion for the essay. Final Practice for Ballad presentation.
13	Presentation	Make a Group Presentation of their group ballad.
14	TED Talk: Ice Bound Wonderlands	Watch a TED talk and complete Worksheet. Additional Ballad presentations. Summary

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10%of total course value.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 3,000 yen to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 20%

Classroom Worksheets: 20%

On-line practice (Duolingo): 14%

On-Line Homework (The Study Centre): 24%

Word Games: 12%

Group and pair work participation:10%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

Change of Textbook.

2025: Upgraded to include on-line practice (Duolingo), Word Games (Wordle) and Generative Text software.

【学生が準備すべき機器他】

Please have access to Japanese/English and English/English e-dictionaries. A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones /mobile devices are acceptable.

Also, a portable device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom”. Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code will be advised in the University Learning Management System (LMS) before the first class.

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2 and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Media

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Media

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English-Speaking World

Kregg Johnston

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 1 Embrace stress	Vocabulary and listening development Introduction of Response Journals (RJ)
Week 2	Reading: The stressed-out generation TED talks: How to make stress your friend	Involving the audience Gerund/infinitives
Week 3	Quiz chapter 1 Chapter 2 Media influences	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: Superheros as role models TED talks: How movies teach manhood	Relative clauses Effect of Media Knowing your audience
Week 5	Quiz chapter 2 Ch 3 Development	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: The economics of happiness TED talks: Global population growth	Describing goals and ambitions Adding points to an explanation Present perfect simple/continuous

Week 7	Quiz chapter 3 Presentation: Favorite fictional character/Wealth distribution in a country	Presentations on Favorite fictional character/Wealth distribution in a country
Week 8	Ch 4 Secrets & lies	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: Lies we need to tell TED talks: How to spot a liar	Collocations Giving examples Modals of deduction & speculation
Week 10	Quiz chapter 4 Ch 5 To the edge	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Magic man TED talks: How I held my breath for 17 minutes	Time expressions Stating challenges and successes Explaining technical words
Week 12	Quiz chapter 5 Ch 6 Money matters	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Giving something back TED talks: Giving away wealth	Collocations Listening for main ideas Phrasal verbs Authenticity
Week 14	Quiz chapter 6 Presentation: Explaining a significant achievement	Presentation: Explain your most significant achievement

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com

<https://quizlet.com/KreggJ/folders>

<https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/>

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on group discussion and presentation skills.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English-Speaking World

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 7 Medical frontiers	Vocabulary and listening development
Week 2	Reading: Just press print TED talks: Problem of prosthetic limbs	Modals of probability Signpost language Body movement & gestures
Week 3	Quiz chapter 7 Chapter 8 Life decisions	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: The defining decade TED talks: Why the 30's is not the new 20's	Future perfect/future perfect progressive Listing for opinions Describing milestones
Week 5	Quiz chapter 8 Ch 9 Technology & innovation	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: Drones TED talks: Robots that can fly and cooperate	Clues from context 1st & 2nd conditional Referring to visuals Debating
Week 7	Quiz chapter 9 Presentation: Robotic surgery: for or against	Presentations whether robotic surgery should be allowed
Week 8	Ch 10 Connections	Vocabulary and listening development

Week 9	Reading: The lost art of listening TED talks: 5 ways to listen better	Reported speech Identifying cause & effect Summarizing with acronyms
Week 10	Quiz chapter 10 Ch 11 Life in the slow lane	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Your brain on nature TED talks: Cloudy w/a chance of joy	Articles & quantifiers Repeating main ideas Showing enthusiasm
Week 12	Quiz chapter 11 Ch 12 Make yourself heard	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Whistle blowers TED talks: Dare to disagree	3rd & mixed conditionals Listen for stressed words Using pauses
Week 14	Quiz chapter 12 Presentation: A vacation spot where people can slow down and enjoy nature	Presentation on a place where people can slow down and enjoy nature

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com

<https://quizlet.com/KreggJ/folders>

<https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/>

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course

In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on group discussion & presentation .

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Verbal Communication & Discussion

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/ TED video #2.
第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第5回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/ TED Talk #3, part 1.
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/ TED Talks, in active English.
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (&give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review of Exam topics studied and discussed during the Spring semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (&give opinions about) that video, in smooth, spoken English./Review for the Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第13回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第14回	Students will be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headphones/microphone/FREE Skype account/FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/have a fever/coughing/sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/Influenza/Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Verbal Communication & Discussion

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	*[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events /Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? / When...? /Where...? /Why...? /Which...? / How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...&to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/OhShoGatsu.

第12回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans.	Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
第13回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第14回	"How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans.	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to every class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo (+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headphones/microphone/FREE Skype account/FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/have a fever/coughing/sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/Influenza/Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界から見た日本, 日本から見た世界

宇治谷 義英

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	授業の説明, ウォームアップ.
2	"Everyone in Japan will be called Sato by 2531 unless marriage law changed, says professor" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
3	"The Guardian view on smartphones and children: a compelling case for action" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.

4	"Japan to allow divorced parents to share custody of children" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
5	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
6	"The Guardian view on the cost of a cashless society: the most vulnerable will pay" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"Tokyo battles surge of destructive raccoons that went from pet to pest" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
9	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
10	"The Guardian view on culture: fight for the arts in our era of austerity" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
11	"The Guardian view on the rule of law in Hong Kong: the verdict of foreign judges is damning" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
12	"The Guardian view on the right to fail in the arts: a principle that must be upheld" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
13	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL等）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）, および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界から見た日本, 日本から見た世界

宇治谷 義英

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、春学期に続いて、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	"I couldn't say no' anger grows over topless medical exams in Japan schools" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
2	"The Guardian view on the teacher shortage: flexibility and career breaks could help" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.

3	"Japanese man who spent 46 years on death row cleared of murders" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
4	"The Guardian view on Israel and the UN: undermining a vital institution" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
5	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
6	"The Guardian view on the return of President Trump: a bleak day for America and the world" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"The Guardian view on a showtrial in Hong Kong: a new authoritarian low" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
9	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
10	"Hatsune Miku has a special part in my heart" (<i>The Guardian</i>) (1) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
11	"The Guardian view on a new wave of biographical films: creative risks that redefine history" (<i>The Guardian</i>) (2) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
12	"Why it costs 37 cents to make Japan's bullet trains run on time" (<i>The Financial Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
13	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL等）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Media

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Media

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Verbal Communication & Discussion

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smooth, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/ TED video #2.
第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/ TED Talk #2 (continued).
第5回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/ TED Talk #3, part 1.
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/ TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/ TED Talks, in active English.
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Preparation & practice, for Exam (topics studied and discussed during the Spring semester).	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./Prep & practice for Speaking exam.
第13回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第14回	Students might be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

* IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to every class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headphones /microphone/FREE Skype account/FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/have a fever/coughing/sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/Influenza/Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Verbal Communication & Discussion

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	*[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events /Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? / When...? /Where...? /Why...? /Which...? / How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...&to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/OhShoGatsu.

第12回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans.	Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
第13回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Fall semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第14回	"How was your OhShoGatsu?" + Students might be asked to speak about their Winter Break plans.	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to every class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headphones/microphone/FREE Skype account/FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/have a fever/coughing/sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/Influenza/Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で考える現代社会

宇治谷 義英

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"The Guardian view on lifting lockdown: we need cohesion, not division" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"Brewers furious at 'nanny state' plan to put calorie count on beer in pubs" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"The Guardian view on football's failed super league: hit back hard" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"The Guardian view on declining birthrates: there may be trouble ahead" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"The Guardian view on inflation: the revival that's nothing like the 1970s" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the super-rich: a billion reasons for a wealthy tax" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Being the Queen sure has its ups and downs..." (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

扱う記事の入手方法 (URLなど) は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）, および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で考える現代社会

宇治谷 義英

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"The Times view on the Covid winter strategy: Familiar Plan" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"Political gestures can be inspiring. But let's not mistake them for victory" (<i>The Guardian</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"Political gestures can be inspiring. But let's not mistake them for victory" (<i>The Guardian</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"The Times view on the Senate investigation into the social media giant: Two Facedbook" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"The Guardian view on sexual abuse and the Catholic church: contrition is not enough" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"The Times view on social media anonymity: David's Law" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"Why the witch-hunt victims of early modern Britain have come back to haunt us" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"Why the witch-hunt victims of early modern Britain have come back to haunt us" (<i>The Observer</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Last rites rights of condemned around the world" (<i>BBC</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URLなど）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)			5	Unit2-2	Unit2 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
English 3 I			6	Unit3-1	Unit3 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
サブタイトル：			7	Unit3-2	Unit3 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
岩下 弘史			8	Unit4-1	Unit4 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 5/Fri.5			9	Unit4-2	Unit4 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
単位数：1単位			10	Unit5-1	Unit5 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
その他属性：			11	Unit5-2	Unit5 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			12	Unit6-1	Unit6 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに向上させていきます。これから4技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。			13	Unit6-2	Unit6 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。			14	まとめ (期末試験)	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。
【到達目標】			【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】		
・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。			本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。		
・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。			/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.		
・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。			詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。		
・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。			【テキスト (教科書)】		
・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。			『15章版：ニュースメディアの英語—2025年度版—』(朝日出版社、2025年)		
・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。			【参考書】		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			「ジーニアス英和辞典」(大修館)		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です (初回の授業で説明します)。		
【授業の進め方と方法】			【成績評価の方法と基準】		
授業は基本的には以下の手順で進めます。			平常点 (授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など) 40%		
・前回の授業のリアクションペーパーに関しての全体的なフィードバック (くわえて個別にもフィードバックをする)			期末試験 60%		
・読解解説 (指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です)			公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。		
・読んだテキストのリスニング (ディクテーション含む)			【学生の意見等からの気づき】		
・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント			スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。		
ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。			【学生が準備すべき機器他】		
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】			学習支援システムで諸々の連絡をします。		
あり /Yes					
【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。			
2	Unit1-1	Unit1 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)			
3	Unit1-2	Unit1 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)			
4	Unit2-1	Unit2 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)			

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA (英語 / English language education 200)			5	Unit8-2	Unit8 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
English 3 II			6	Unit9-1	Unit9 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
サブタイトル：			7	Unit9-2	Unit9 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
岩下 弘史			8	Unit10-1	Unit10 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5			9	Unit10-2	Unit10 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
単位数：1単位			10	Unit11-1	Unit11 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
その他属性：			11	Unit11-2	Unit11 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			12	Unit12-1	Unit12 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに向上させていきます。これから4技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。			13	Unit12-2	Unit12 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)
本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。			14	まとめ (期末試験)	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。
【到達目標】			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。			本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。		
・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。			/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.		
・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。			詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。		
・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。			【テキスト（教科書）】		
・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。			『15章版：ニュースメディアの英語—2025年度版—』（朝日出版社、2025年）		
・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。			【参考書】		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			「ジーニアス英和辞典」（大修館）		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。		
【授業の進め方と方法】			【成績評価の方法と基準】		
授業は基本的には以下の手順で進めます。			平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）40%		
・前回の授業のリアクションペーパーに関しての全体的なフィードバック（くわえて個別にもフィードバックをする）			期末試験 60%		
・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）			公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。		
・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）			【学生の意見等からの気づき】		
・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント			スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。		
ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。。			【学生が準備すべき機器他】		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			学習支援システムで諸々の連絡をします。		
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。			
2	Unit7-1	Unit7前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)			
3	Unit7-2	Unit7後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)			
4	Unit8-1	Unit8前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)			

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化・社会を考察する

岩崎 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカの文化・社会的問題を扱うニュース・ストーリーとニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。アメリカを表象する様々な情報を批判的に受容することによって、アメリカ的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。また、第二次トランプ政権とともに大きく変貌した、あるいは変貌して行くアメリカの姿を考察する。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。

④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業説明の後、各自英語で自己紹介する

2

Unit 1 Gun Control 1

アメリカ社会と銃の関係について考察する

銃の所持が憲法によって保証されているアメリカにおいて、おびただしい数の市民が銃の犠牲になっている。アメリカ社会と銃の関係に関するエッセイを読み、アメリカ社会と銃の関係性について考察する。

論理的なエッセイの構造を学び、トピックセンテンスを中心としてパラグラフの内容を簡潔に説明する技法を学ぶ。

3

Gun Control 2

アメリカ社会と銃の関係について議論する

このエッセイを読み終えた後で、銃規制についてペアを組んで英語で意見を言い合う。

アメリカで頻発する学校での銃乱射事件を扱うニュース映像を見てリスニング演習を行う。

音声面では[θ]と[ð]の発音の仕方を習得する。日本語のサ行ザ行による代用をやめ正しい音を発音できるようにする。シャドーイングを実践する。

前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。

4

Unit 2 Trump's Border Wall 1

アメリカと移民について考察する

トランプ氏は2016年の大統領選挙で、急増する移民対策としてメキシコとの国境に壁を作ることを公約に掲げて当選した。このエッセイを読みトランプ氏の壁を通してアメリカの移民問題について考察する。

エッセイ全体のトピックと各パラグラフの関連を理解する。

5

Unit 2 Trump's Border Wall 2

アメリカと移民について議論する。

このエッセイを読み終えた後で、銃規制についてペアを組んで英語で意見を言い合う。

再度大統領に就任したトランプ大統領が不法移民を軍用機を使って強制送還したことを伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。

音声面では[f]と[v]の発音の仕方を習得したのちシャドーイングを実践することによりリスニング能力を高める。

6

Unit 3 Occupy Wall Street 1

格差社会アメリカについて考察する

前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。

2011年の「ウォール街を占拠せよ」をスローガンにして始まった貧富の格差是正を求める運動を振り返り、格差が拡大するアメリカを考察する。

英文パラグラフが、基本的に主題文、指示文、結論文という構造を持つことを、テキストの英文の中で確認する。

7	Unit 3 Occupy Wall Street 2 格差社会アメリカについて議論する	このエッセイを読み終えた後で、格差についてペアを組んで英語で意見を言い合う。 格差拡大の問題を扱うニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では破裂音 [p] [t][k] の発音の仕方を習得する。破裂音に伴う息の強さが日本語と比較して桁違いに強いことをよく理解し、発音の際強い息を出せるように練習する。 シャドーイングを実践しリスニング能力を高める。	12	Unit 4 Racism in America を読む 1 アメリカにおける人種問題を考察する	“Black Lives Matter”運動が示す通り、アメリカでは白人警察官による黒人に対する不当な暴力が深刻な問題になっている。人種問題が深刻度を増している状況をその歴史を辿りながら考察する。 パラグラフにおける主題文と支持文を区別しメイン・アイデアを理解する。
8	ナキウサギの絶滅危機を通して地球温暖化を伝えるニュース映像を見る	前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 ニュース映像を見て、温暖化に伴い多くの野生動物が絶滅の危機に瀕していることを直視する。ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。 解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。 シャドーイングを実践する。 再度映像を見る。 ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。 ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。	13	Unit 4 Racism in America 2 アメリカにおける人種問題について議論する	エッセイの内容を理解した上で、人種差別の問題克服のために何が必要かをペアを組んで英語で話し合う。 人種問題と関連して、第二次世界大戦中に日系アメリカ人が強制収容所に収監された事実を伝えるニュース映像を見て、リスニングの演習を行う。 音声面では [s] [z] の発音の仕方を習得する。日本語の [ス] [ズ] の音とは息の強さにおいて全く異なることを認識し、強く長く息を吐き出して発音できるようにする。 シャドーイングを実践する。
9	自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (1) エッセイの構造を学ぶ	前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 4パラグラフからなるエッセイの構造を学習する。 各パラグラフの役割と構成を学ぶ。 エッセイプラン表の作成法を学ぶ。	14	提出したエッセイのフィードバック	添削しコメントを添えてエッセイを返却する。 このフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。 また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。
10	自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (2) 辞書の活用法を学ぶ	作成したエッセイプラン表の内容をペアの相手に説明し、相手からフィードバックをもらいプラン表を完成させる。 英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を徹底的に学習する。 授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に使ってみる。			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。 リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。 リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。 記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。 春学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。
11	自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (3) 論理的な展開を理解する	論理的な誤りを含むエッセイの例を複数読んで、どう訂正すれば論理的に正しい展開になるのか考察する。 特に、導入の主張と各パラグラフのトピックの論理的整合性、また各パラグラフのトピックとその支持文の関連性の重要性を学ぶ。			【テキスト（教科書）】 塚田幸光他、『Inside and Out—American Culture and Society』、金星堂 【参考書】 特に無し。 【成績評価の方法と基準】 授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。 一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。 4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。 原則的に遅刻は認めない。 オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。 【学生の意見等からの気づき】 アウトプットの比重を高めたい。 【その他の重要事項】 この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をする、スマホを操作し続けるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is designed to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing through the use of a textbook and news videos on topics related to American culture and society. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化・社会を考察する

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカの文化・社会的問題を扱うニュース・ストーリーとニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。アメリカを表象する様々な情報を批判的に受容することによって、アメリカ的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。また、第二次トランプ政権とともに大きく変貌した、あるいは変貌して行くアメリカの姿を考察する。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①リーディング
テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。
- ②スピーキング
エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。
- ③ライティング
学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。
- ④リスニング
テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。
- ⑤フィードバック
リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	映像ニュースを見る 日系を含めたアジア系アメリカ人に対する襲撃が増加している現状を知る	アメリカでは未だに人種間の対立や人種差別が存在し、コロナなどの危機的な状況になると、差別が顕在化することを知る。ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。 解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。 [h]の発音の仕方を習得する。息の強さにおいて日本語の[h]行の音とは全く異なることに留意する。 シャドーイングを実践する。 再度映像を見る。 ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。 ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。 現在多くのアメリカ先住民は居留地に囲い込まれているが、その居留地の安全性が連邦政府の政策により脅かされている。アメリカ入植者による略奪の歴史を辿りながら、先住民が置かれている状況を考察するエッセイを読む。 主題文を支持する文にも、さらにその詳細を示す文があることを知る。
2	Unit 6 Native American Struggles 1 アメリカ・インディアン居留地の問題を考察する	このエッセイを読み終えたのち、先住民が現在抱えている問題点についてペアを組んで英語で話し合う。 先住民の現状を伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では[j][ɜ][tʃ][dʒ]の発音の仕方を習得する。発音に際し強く長く息を吐き出せるよう努力する。 シャドーイングを実践する。
3	Unit 6 Native American Struggles を読む 2 アメリカ・インディアン現状について議論する	前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 女性の権利は大きく改善されたとは言え、アメリカでも未だに男女平等は実現していない。 #Me Too運動に到るまでの女性解放運動を振り返るエッセイを読み、女性が現在おかれている状況に関して考察するエッセイを読む。 主題文の内容に対して支持文が納得のいく論拠を与えているかどうか判断し、その判断の理由を自分の言葉で説明する。
4	Unit 7 Women's Rights Movement 1 アメリカにおける女性開放運動を考察する	

5	Unit 7 Women's Rights Movement 2 女性の権利について議論する	このエッセイを読み終えたのち、この問題点についてペアを組んで英語で話し合う。 #Me Too運動のきっかけとなった、映画プロデューサーのワインスタインによる女性に対する暴行事件を伝えるニュース映像を見て、リスニング演習を行う。音声面では[r]の発音の仕方を習得する。 シャドーイングを実践する 前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 リーディング・ライティング能力向上のため関係代名詞と関係副詞を学習する。プリントの演習を通して両者の完全理解を目指す。 とくに、関係代名詞の名詞的性質と関係副詞の副詞的性質を認識することによって両者の違いを明確に理解する。	11	因果を論じる英文エッセイの書き方を学ぶ	前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 4パラグラフからなる因果を論じるエッセイの構造を学習する。各パラグラフの役割と構成を復習する。 エッセイプラン表の作成法を復習する。 英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を徹底的に復習する。 授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に引いて見る。 つなぎの言葉の有効性を確認する。
6	関係代名詞を完全に理解する	前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 リーディング・ライティング能力向上のため関係代名詞と関係副詞を学習する。プリントの演習を通して両者の完全理解を目指す。 とくに、関係代名詞の名詞的性質と関係副詞の副詞的性質を認識することによって両者の違いを明確に理解する。	12	Unit 12 Plastic Garbage in the Ocean ゴミと海の間を通じた環境を考える	近年海洋のプラスチックごみは海の生態系を破壊し、人々の健康に害を及ぼすとして大きな問題になっている。ハワイからカリフォルニアにいたる太平洋ゴミベルトの現状を知り、その対策を論じるエッセイを読む。 パラグラフは、主題・主張の一貫性が重要であり、それに関係のない事柄に言及してはいけないことを学ぶ。
7	Unit 8 U.S. Evangelicals 1 宗教とアメリカ政治の関連を考察する	前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 キリスト教プロテスタント「福音派」はアメリカの政策に大きな影響を及ぼす一大保守勢力である。「福音派」がどのようにアメリカ政治に影響を及ぼし、どのような問題を引き起こしているのかを考察するエッセイを読む。 パラグラフの内容を説明する際に、支持文の内容を簡潔に列挙することを実践する。	13	if節のない仮定法を学習する	様々な文学作品から集めたif節のない仮定法の具体的な用例を経験することによって、仮定法の完全理解を目指す。
8	Unit 8 U.S. Evangelicals 2 宗教と政治の問題について議論する	このエッセイを読み終えたのち、この問題点についてペアを組んで英語で話し合う。 2024年の大統領選で、トランプ当選に関して福音派が果たした貢献を伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では[n],[m]の発音の仕方を習得する。	14	提出したエッセイのフィードバック	添削しコメントを添えてエッセイを返却する。 このフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。 また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。
9	Unit 9 The Student Loan Crisis 1 アメリカにおける学生ローンの現状を考察する	前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。 アメリカでは多くの大学生が多額の学資ローンを抱えており、その返済苦が大きな社会問題になっている。アメリカにおける学生の経済事情を考察するエッセイを読む。 既知情報を頼りにパラグラフ間の関連を理解する術を学ぶ。			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。 リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。 リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。 記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。 秋学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。
10	Unit 9 The Student Loan Crisis 2 奨学金に関する問題を議論する	日本でも「奨学金」という名の学資ローンが大きな社会問題になっている。このエッセイを読み終えた後、日本における学資ローンの問題点をアメリカとの比較においてペアを組んで英語で話し合う。 アメリカにおける学資ローンの問題を伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では[w]の音を習得する。			【テキスト（教科書）】 塚田幸光他、『Inside and Out—American Culture and Society』、金星堂 【参考書】 特に無し。 【成績評価の方法と基準】 授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。 一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。 4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。 原則的に遅刻は認めない。 オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。 【学生の意見等からの気づき】 ペアワークによる演習を増やす。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is designed to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing through the use of a textbook and news videos on topics related to American culture and society. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Critical Thinking and Contemporary Issues

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。クリティカルシンキングの手法を学びながら、情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary issues

- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials
- Build confidence in discussing various topics
- Expand vocabulary related to current affairs

学生は以下の能力を身につけます：

- 現代の諸問題を分析する批判的思考力を身につける
- 論理的に意見を英語で表現できるようになる
- 実践的な英語教材の理解力を向上させる
- 様々なトピックについて議論する自信をつける
- 時事問題に関する語彙力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Critical thinking skill practice
- Listening and reading comprehension
- Vocabulary development
- Group discussions
- Writing exercises

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

この授業では以下のような活動を行います：

- クリティカルシンキングスキルの練習
- リスニングとリーディングの理解
- 語彙力の向上
- グループディスカッション
- ライティング演習

プレゼンテーション、課題、小テストに対するフィードバックは、授業の冒頭もしくは終わりに行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction & Unit 1: "What Did We Owe Each Other?"	The Critical Stance
2	Unit 1 continued	The Critical Stance in practice
3	Unit 2: "Is Violence Sometimes Necessary?"	Looking at Causes and Effects
4	Unit 2 continued	Looking at Causes and Effects
5	Unit 3: "The Lesser of Two Evils"	Logical Analysis
6	Unit 3 continued	Logical Analysis
7	Presentation Workshop	Presentation skills and preparation
8	Unit 4: "Little White Lies"	Making Inferences
9	Unit 5: "What Is the Truth?"	Evaluating Information
10	Unit 6: "Hot, Dry, and Crowded"	Conducting Secondary Research

11	Unit 7: "AI Has You, Yuki"	Using Evidence to Support a Position
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials
- Prepare for discussions
- Practice presentation skills

学生は以下の準備・復習を行ってください：

- 授業内容の復習
- ディスカッションの準備
- プレゼンテーションの練習

As supplementary reading practice, students are encouraged to engage in extensive reading using graded readers from the university library (<https://hosei.libguides.com/tadoku>). Students should aim to read at least one book every two weeks, keeping a simple reading log with titles and brief personal reactions.

補助的な読書練習として、図書館の多読用図書（グレーデッド・リーダー）を活用することを推奨します（<https://hosei.libguides.com/tadoku>）。2週間に1冊程度の読書を目標とし、簡単な読書記録（タイトルと短い感想）をつけてください。

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Elwood, James, and Michael Hood. The Critical Thinker—15 Essential Skills for Critical Thinking. Tokyo: Cengage Learning K.K., 2025. ISBN: 9784863124349. ￥2,500 (￥2,750 税込)

【参考書】

Extensive Reading Materials /多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. The library's collection includes series like Oxford Bookworms, Cambridge Readers, and Penguin Readers at various levels. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>

図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。Oxford Bookworms, Cambridge Readers, Penguin Readersなど、様々なレベルの本を用意しています。詳しくは <https://hosei.libguides.com/tadoku> をご覧ください。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

Class participation and discussion (40%)

Final presentation (45%)

Extensive reading (reading log completion) (15%)

成績評価は以下の基準で行います：

授業参加とディスカッション (40%)

最終プレゼンテーション (45%)

多読（読書記録の完成） (15%)

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めません

【学生の意見等からの気づき】

This textbook is being used for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

今年度から新しい教科書を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas.

Course activities include critical thinking skill practice, listening and reading comprehension, vocabulary development, group discussions, and writing exercises. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (15%), and a final presentation that demonstrates critical thinking skills (45%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Critical Thinking and Contemporary Issues

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。クリティカルシンキングの手法を学びながら、情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary issues
- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials
- Build confidence in discussing various topics
- Expand vocabulary related to current affairs

学生は以下の能力を身につけます：

- 現代の諸問題を分析する批判的思考力を身につける
- 論理的に意見を英語で表現できるようになる
- 実践的な英語教材の理解力を向上させる
- 様々なトピックについて議論する自信をつける
- 時事問題に関する語彙力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Critical thinking skill practice
- Listening and reading comprehension
- Vocabulary development
- Group discussions
- Writing exercises

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

この授業では以下のような活動を行います：

- クリティカルシンキングスキルの練習
- リスニングとリーディングの理解
- 語彙力の向上
- グループディスカッション
- ライティング演習

プレゼンテーション、課題、小テストに対するフィードバックは、授業の冒頭もしくは終わりに行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8: "Cancel Culture"	Detecting Bias

2	Unit 9: "The Food We Eat: Back to Nature?"	Being Impartial
3	Unit 10: "Should We Build It If We Can?"	Finding Strengths and Weaknesses in Arguments
4	Unit 11: "Does Technology Make Us Happier?"	Debate
5	Unit 12: "A Future Without Work"	Imagining the Future
6	Unit 13: "Global Citizenship and Open Borders"	Logical Fallacies
7	Presentation Workshop	Presentation skills and preparation
8	Unit 14: "Screen Time: How Does It Affect Our Relationships?"	The Straw Man Fallacy
9	Unit 15: "The Stories We Tell"	The Ad Hominem Fallacy and Appeal to Authority Fallacy
10	Critical Thinking Integration	Skill integration
11	Presentation Preparation	Final preparation
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Conclusion	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials
 - Prepare for discussions
 - Practice presentation skills
- 学生は以下の準備・復習を行ってください：
- 授業内容の復習
 - ディスカッションの準備
 - プレゼンテーションの練習

As supplementary reading practice, students are encouraged to engage in extensive reading using graded readers from the university library (<https://hosei.libguides.com/tadoku>). Students should aim to read at least one book every two weeks, keeping a simple reading log with titles and brief personal reactions.

補助的な読書練習として、図書館の多読用図書（グレーデッド・リーダー）を活用することを推奨します（<https://hosei.libguides.com/tadoku>）。2週間に1冊程度の読書を目標とし、簡単な読書記録（タイトルと短い感想）をつけてください。

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Elwood, James, and Michael Hood. The Critical Thinker — 15 Essential Skills for Critical Thinking. Tokyo: Cengage Learning K.K., 2025.

ISBN: 9784863124349. ¥2,500 (¥2,750税込)

【参考書】

Extensive Reading Materials /多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. The library's collection includes series like Oxford Bookworms, Cambridge Readers, and Penguin Readers at various levels. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>

図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。Oxford Bookworms, Cambridge Readers, Penguin Readersなど、様々なレベルの本を用意しています。詳しくは <https://hosei.libguides.com/tadoku> をご覧ください。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

Class participation and discussion (40%)

Final presentation (45%)

Extensive reading (reading log completion) (15%)

成績評価は以下の基準で行います：

授業参加とディスカッション (40%)

最終プレゼンテーション (45%)

多読（読書記録の完成）(15%)

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

This textbook is being used for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

今年度から新しい教科書を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas.

Course activities include critical thinking skill practice, listening and reading comprehension, vocabulary development, group discussions, and writing exercises. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (15%), and a final presentation that demonstrates critical thinking skills (45%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語圏の文化と社会: Aspects of the English-Speaking World

CHIA-WEI KANG

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

The goals of the course are for students to:

1. Acquire and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
2. Deepen knowledge of vocabulary and common expressions
3. Develop speaking skills and practice new expressions through output activities
4. Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5. Familiarize themselves with how to express effectively through writing activities and assignments
6. Become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Course Orientation /Unit 2 Family Connections	Course Orientation/Unit 2 Family Connections: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 2 Family Connections	Reading “Genealogy,” Discussions
Lesson 3	Unit 2 Family Connections	Ted Talk: “The World’s Largest Family Reunion,” Presentation Skills

Lesson 4	Unit 3 Global Stories	Unit 3 Global Stories: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 3 Global Stories	Reading “Top Picks,” Discussions
Lesson 6	Unit 3 Global Stories	Ted Talk: “My Year Reading A Book From Every Country,” Presentation Skills
Lesson 7	Unit 4 Music	Unit 4 Music: Listening and Speaking
Lesson 8	Unit 4 Music	Reading “Music and The Brain, Discussions
Lesson 9	Unit 4 Music	Ted Talk: “Why I Take The Piano On The Road ... And In The Air,” Presentation Skills
Lesson 10	Unit 6 Inspiration	Unit 6 Inspiration: Listening and Speaking
Lesson 11	Unit 6 Inspiration	Reading “Inspiring Lives,” Discussions
Lesson 12	Unit 6 Inspiration	Ted Talk: “How A Boy Became An Artist,” Presentation Skills
Lesson 13	Presentation Task	Presentation Task
Lesson 14	Final In-Class Writing/Final Review Task	Final In-Class Writing/Final Review Task

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト (教科書)】

Cengage’s Keynote Book 2
Title: Keynote 2 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96504-1
Price: ¥ 3,185

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Four Quizzes: 40%(10%each)

One Presentation: 15%

One In-Class Writing: 15%

One Final Review Task: 10%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：Aspects of the English-Speaking World

CHIA-WEI KANG

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

The goals of the course are for students to:

1. Acquire and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
2. Deepen knowledge of vocabulary and common expressions
3. Develop speaking skills and practice new expressions through output activities
4. Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5. Familiarize themselves with how to express effectively through writing activities and assignments
6. Become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Course Orientation /Unit 7 Ethical Choices	Course Orientation/Unit 7 Ethical Choices: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 7 Ethical Choices	Reading “Leather from a Lab,” Discussions
Lesson 3	Unit 7 Ethical Choices	Ted Talk: “Leather and Meat Without Killing Animals,” Presentation Skills

Lesson 4	Unit 8 Better Cities	Unit 8 Better Cities: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 8 Better Cities	Reading “Connecting Citizens,” Discussions
Lesson 6	Unit 8 Better Cities	Ted Talk: “It’s Our City. Let’s Fix It,” Presentation Skills
Lesson 7	Unit 9 Giving	Unit 9 Giving: Listening and Speaking
Lesson 8	Unit 9 Giving	Reading “Donation Revolution,” Discussions
Lesson 9	Unit 9 Giving	Ted Talk: “Should You Donate Differently?,” Presentation Skills
Lesson 10	Unit 11 Nature	Unit 11 Nature: Listening and Speaking
Lesson 11	Unit 11 Nature	Reading “The Miracle of Pollen,” Discussions
Lesson 12	Unit 11 Nature	Ted Talk: “The Hidden Beauty of Pollination,” Presentation Skills
Lesson 13	Presentation Task	Presentation Task
Lesson 14	Final In-Class Writing/Final Review Task	Final In-Class Writing/Final Review Task

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Cengage’s Keynote Book 2
Title: Keynote 2 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96504-1
Price: ¥ 3,185

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Four Quizzes: 40%(10%each)

One Presentation: 15%

One In-Class Writing: 15%

One Final Review Task: 10%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: Cool Cat Helps Kids with Vision Problems	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: Cool Cat Helps Kids with Vision Problems	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: Will Artificial Intelligence Take Your Job?	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: Will Artificial Intelligence Take Your Job?	読解及び問題演習

第6回	Unit 3: 3D Calk Art on Fourth of July Celebration	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 3: 3D Calk Art on Fourth of July Celebration	読解及び問題演習
第8回	Unit 4: Youth Orchestra Works to Narrow Racial Gap	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: Youth Orchestra Works to Narrow Racial Gap	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: Can Robots and Humans Coexist?	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: Can Robots and Humans Coexist?	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: Teens Help Seniors Learn How to Use Technology	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: Teens Help Seniors Learn How to Use Technology	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅ですませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7 (CBS ニュースブレイク 7)

熊井信弘他著 成美堂 2025年 2600円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦労している受講生の方が少なくないのに気づかれます。昨年度は授業での聞き取りに時間を多く割くよう意識しましたが、不十分だった点もあったかと思います。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外での学習に時間を割くよう受講生の方に促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Japanese Employees Take Part in Smile Classes	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Japanese Employees Take Part in Smile Classes	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: Planting Tiny Forests in Flight to Slow Climate Change	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: Planting Tiny Forests in Flight to Slow Climate Change	読解及び問題演習

第6回	Unit 9: The Impact of ChatGPT on Education and Beyond	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: The Impact of ChatGPT on Education and Beyond	読解及び問題演習
第8回	Unit 10: Customers are Fed up with "Tipflation"	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 10: Customers are Fed up with "Tipflation"	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: Santa Clause in Atlanta Speaks Spanish, Sign Language, and English	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: Santa Clause in Atlanta Speaks Spanish, Sign Language, and English	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: Japan's Shrinking Population	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: Japan's Shrinking Population	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7 (CBS ニュースブレイク 7)

熊井信弘他著 成美堂 2025年 2600円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦労している受講生の方が少なくないのに気づかれます。昨年度は授業での聞き取りに時間を多く割くよう意識しましたが、不十分だった点もあったかと思います。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外での学習に時間を割くよう受講生の方に促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for Global Awareness: Enhancing Language Skills through Current Affairs

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.

【到達目標】

- * Develop reading skills for critical analysis and discussion
- * Cultivate awareness of social, economic, and political concerns from a different cultural perspective
- * Reinforce language skills in all four key areas - reading, listening, speaking, and writing
- * Expand vocabulary and strengthen practical grammar application for language acquisition

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course primarily uses a textbook to develop level-specific language skills across all four key areas: reading, writing, listening, and speaking. To deepen understanding and reinforce learning, students engage with selected news articles from reputable sources, using them as a basis for discussion. Group work is incorporated to ensure active participation and encourage collaborative learning. Additionally, students complete writing tasks, such as short paragraphs and reflective responses, to develop their ability to express ideas in a clear and organized manner. Through a combination of structured lessons, interactive discussions, and written exercises, the course fosters both linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. To support learning, feedback is provided on all tasks either verbally or in written form as needed.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3 I Spring Term	Students will be introduced to the course. Course guidelines will be overviewed together. After students get to know each other, they will start working on the selected unit from the textbook. For a warm-up, they will have some discussion on the main theme ideas in small groups. To support the group discussions, excerpts from news articles will be additionally provided. This will add more depth to the discussions being developed and more ideas will follow.
2	What Impacts Our Environment & Fragile Forests	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. Before the end of the lesson day, students will also write a well-developed paragraph on an environmental problem after they briefly practice giving evidence and describing facts. Writings will be collected and marked.
3	Climate Change & Our Fragile Forests	The lesson day will start with teacher feedback on the collected writings. On the day, students will also start reading a new passage which is adapted from a recently published news article. The goal is to provide students with more chances for an exposure to present-day issues on the unit's main theme and development of individual views. Lastly, before the lesson day ends, students will receive guidance on their presentation projects. All students are required to give a presentation at least once during the Spring term, and the requirements will be explained in detail in this lesson.

4	A Hero in the Jungle & Issues to be Solved	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. Correct answers will be reviewed together after the task is complete. The purpose is to ensure that key vocabulary is acquired. Following this, students will watch a TED video which exposes to viewers a pressing environmental issue affecting the rainforests of Costa Rica. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To achieve both goals with success, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as important details. Then, they will be asked to pay attention to tone and attitude of the speaker for an in-depth discussion.	7	What About Simple Solutions? & Are They Really Effective?	Reading passage which is about the important issues facing the developing world will be covered on the day. Students will make a detailed reading of the passage and answer questions on key ideas and supporting details. They will be also asked to work in pairs or small groups to brainstorm about other crucial problems — this time, from around the world — and list them in bullet points. Following these, students will review cause & effect language markers and write a well-developed paragraph which explains an issue of their choice. At the end of the day, writings will be submitted for feedback & grading.
5	Bright Ideas & New Answers	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned with the task will give their presentation which is around 5 or 6 minutes to talk about an environmental issue. Following this, final thoughts on environmental problems will be shared and important points from the unit will be summarized. If any time remains, students will briefly review redundancy & relative pronouns to better understand some of the inconsistencies in their previously submitted paragraphs and learn how to avoid them.	8	Migration: An Important Driver of Development or Challenge Maker?	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will be given ample opportunities to ask questions and make some improvements on their works. Following this, they will read a news article about immigration and understand what makes immigration essential for the world development despite the associated challenges. Afterward, to develop more perspective on the subject, students will work together and prepare a group work. They are expected to discuss a specific challenge in detail. Therefore, googling relevant information and data for support of ideas is essential in this task. Lastly, each group will share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Needs of Others & Are There Solutions?	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a short talk on the most essential needs of the developing world. Then, they will read excerpts from news articles to deepen their understanding and exchange ideas freely. By the end of the lesson, they will be prepared for the reading passage analysis, which will take place in the next class. Also, if any activities from the previous lesson remain unfinished, time will be allocated to complete them in this lesson.	9	Education: How Has It Evolved Over The Last Ten Years?	The lesson day will start with a quiz to assess students' understanding of the essential vocabulary covered since the start of the term. After the quiz, students will begin working on a new unit which focuses on education. First, they will have some discussion on the subject by reading excerpts from news articles and exchanging ideas. The goal is to briefly highlight some of the most significant educational issues of the present age. Following this, students will read the assigned textbook's passage and answer questions for more perspective.

10	Face-to-Face and Online Education: Which One Suits You The Most?	The lesson day will start with a new reading material on education. Students will read a news article which compares face-to-face classes to online learning. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language. In this task, students will be also required to highlight a key advantage of one teaching method over the other one. As before, students will review the essential language markers and complete a short practice activity before the actual writing task begins in class.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson day will start with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics should be about education and relate to aspects covered in classes. After the presentations, students will get ready for the final exam. Important language topics and vocabulary will be reviewed through short practice activities. Lastly, guidance on the final exam will be provided before the class ends.
11	Educational Issues: A lack of Motivation & What Motivates us to Study?	The lesson day will begin with feedback on the written works. During the feedback session, students will briefly review task-relevant connectors and linking words once again to refine their writing. Following this, they will be given time to ask questions and make additional improvements. Afterward, students will complete the final reading task of the term. They will read and analyze one more news article which explores the root causes of motivation issues in learning. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a discussion. As before, they will share their ideas and findings with other classmates for a more lively class discussion on the subject.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Spring term to an end.
12	Education & Success: What's the Key?	The lesson day will focus on listening practice, with students completing two key tasks. First, they will watch the assigned textbook's video content and take notes for key information. Afterward, students will shortly exchange ideas to check comprehension. Then, students will watch the video again to complete fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss additional factors that contribute to success in learning. Is grit the only major contributor?			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840 Additional articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Presentations: 25% Writing assignments: 10% Final Exam: 35% More than 3 absences will result in failure from the course. 【学生の意見等からの気づき】 Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor. 【学生が準備すべき機器他】 No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.

【Outline (in English)】

This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for Global Awareness: Enhancing Language Skills through Current Affairs

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.

【到達目標】

- * Strengthen proficiency in all four core language skills
- * Enhance reading skills for critical analysis and effective discussion
- * Foster understanding of social, economic, and political issues from a cross-cultural viewpoint
- * Broaden vocabulary and improve practical grammar usage to support language learning.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The approach will remain consistent in the Autumn term, further building on the targeted skills. Students will continue to use the same textbook, which will be supplemented with carefully selected news articles from reputable sources to enhance skill development across all areas. The course requirements will largely stay the same, with an emphasis on active class participation and group work to foster linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. Additionally, students will complete short writing assignments, similar to those in the Spring term, contributing to the achievement of the course's learning outcomes. Lastly, feedback will be provided on all tasks in verbal and/or written form as in the previous term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Autumn Term Classes	Students will be introduced to the course. Rules & requirements will be overviewed together. Afterward, students will start working on the designated unit from the textbook. To start, students will engage in a group discussion to develop ideas on the main unit theme. To enrich class discussion and deepen analysis, students will be also provided with various excerpts from news articles on food-related diseases and associated issues. This will make students ready for the next class' reading and writing tasks.
2	What is a Food Revolution?	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a short class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. After completing reading passage analysis and discussion, students will be asked to write a well-developed paragraph on a food-related issue by applying cause & effect language. For preparation, students will briefly review key vocabulary and essential language markers from the Spring term, with a particular focus on connectors. Lastly, writings will be collected for feedback and assessment at the end of the day.
3	Hunger Strikes. But, What About a Solution?	The lesson day will begin with teacher feedback on the collected writings. Following the feedback, students will start reading a news article which explores the major contributors to the global food crisis. The goal of the week is to engage students with the present-day issues on the unit's main theme while encouraging them to expand their perspectives beyond the textbook content. Before the lesson day ends, students will be also provided with essential guidance on giving presentations. Requirements of the task will be explained in detail, and the schedule will be announced.

4	Food Education & Why It Matters	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. This will provide them with a chance to assess their understanding of the key vocabulary learned thus far. Once the task is complete, correct answers will be revealed to clarify doubts and allow review where needed. Afterward, students will watch a TED video which exposes an ongoing problem about food served at schools. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To complete all successfully, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as specific information. Then, they will be asked to take notes on the speaker's tone and attitude to support an in-depth discussion of the important points from the video.	7	Body Language & Its Impact on Our Lives	On this lesson day, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension. They will gain more insight into the role body language plays in shaping our perceptions of confidence and success. Afterward, they will start preparing for the day's writing task. They will be provided with some discussion questions to brainstorm for more ideas about language and success relation. Following this, students will review argumentation language and write a well-developed paragraph on one of the discussed questions. Writings will be submitted at the end of the day.
5	Food Campaigns & How to Raise Awareness across the World	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned for the day will give a presentation which is around 5-6 minutes and talk about a food-related problem or a closely associated issue. If time permits, students will also engage in additional instructor-prepared activities for a practice session. They will complete activities on a selected language topic, which will be determined after the instructor reviews students' writings submitted at the end of lesson 2.	8	Language Barrier Many Immigrants Deal With	The lesson day will begin with teacher feedback on the writings. During the feedback session, students will be given a chance to ask questions and address specific issues in their writings. Afterward, they will read a news article about language barriers facing immigrant family children in schools. They will answer comprehension questions and then collaborate for a group work. In groups, students will analyze other challenges which are rooted in language barriers and propose solutions. Throughout this task, students are allowed to google relevant information and data for support of ideas. Lastly, each group will be asked to share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Success Stories & Body Language	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a TED talk about body language and its impact on success. Afterward, they will read excerpts from reliable research and newspaper publications to deepen their understanding of the theme and participate in an open class discussion. By the end of the day, they will be ready for the next week's reading passage analysis.	9	Energy Builders & Energy Production	The lesson day will start with a vocabulary quiz. Students will answer questions to assess their knowledge on the attained vocabulary from the previous unit. After the quiz, the new unit theme will be introduced through some excerpts from news articles. This will give students a chance to become familiar with some of the most significant issues concerning use of energy and production methods at present. Following this, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension and exchange of opinions.

10	Global Issues in Energy Use	The lesson day will start with a new reading material on energy. Students will read a news article which analyzes the major impacts of sanctions on Russia's energy export. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language and highlighting one significant consequence. For this writing task, students will be also taught to read graphs and explain data from such content.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson will begin with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics have to be about issues which pertain to energy and should also relate to aspects covered in classes. Following this, learned grammar and vocabulary will be practiced through short activities. Guidance on the final exam will be also provided before the lesson ends.
11	Global Issues in Energy Use II	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will ask questions and improve the highlighted errors. Afterward, they will engage in reading a news article which covers the major causes of today's energy issues. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a class discussion. As before, all groups will aim to expand discussion and propose solutions for the raised article issue(s). Additionally, groups will be required to justify their views by providing reasonable facts and other evidence from the assigned article as well as other sources. All will shortly present their findings to the class before the lesson ends.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Autumn term to an end.
12	Harnessing the Wind	This lesson day will focus on listening practice. Students will complete two key tasks. First, they will watch the assigned video from the textbook and take notes on key points. Afterward, students will briefly exchange ideas to check their comprehension. Following this, they will watch the video again, this time completing fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss what feeds our curiosity and propels us to invent.			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840 Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://www.theguardian.com/international 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Presentations: 25% Writing assignments: 10% Final Exam: 35% More than 3 absences will result in failure from the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the Real World.

ジョナサン エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.

11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: English for the Real World.

ジョナサン エイブル

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.

Japan Times.

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

AIで仕事がなくなるか、ロボットと人間の共存は可能か、地球温暖化を食い止めるための植樹活動、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit2前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit2後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit5前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit5後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキストUnit6前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit6後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit8前半	リスニング、リーディング

11	テキストUnit8後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくこと。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025 年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験(あるいはレポート)の成績(40%)、プレゼンテーション(20%)、授業参加度(40%)とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

教育におけるChatGPTの影響、日本の老舗ビジネスの極意、静寂を守る環境活動家たち、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit9前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit9後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit10前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit10後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキストUnit14前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit14後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit15前半	リスニング、リーディング

11	テキストUnit15後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験(あるいはレポート)の成績(40%)、プレゼンテーション(20%)、授業参加度(40%)とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

【第一部】

第2週 Topic: Interdisciplinary

第5週 Topic: Business/Leadership

第8週 Topic: Life Science

第11週 Topic: Sociology/Fashion

【第二部】

第3週：TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週：TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週：TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週：TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第三部】：各Unitテストと自己表現 第4,7,10,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Review Unit 1	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第7週	Review Unit 2	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第10週	Review Unit 3	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process

第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第13週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第14週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet**に記入しておく。

復習：**checksheet**に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および **unit quiz**）40％、課題30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation: 40%(Class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 %/Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。

また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

[第一部] 第2週 Topic: Architecture and Design 第5週 Topic: Conservation/Engineering 第8週 Topic: Visual Arts/Sociology

[第二部] 第3週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un-expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第6週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第9週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

[第三部]: 各Unitテストと自己表現 第4,7,10,11,12,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第2週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第7週	Unit 7: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts /Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第10週	Unit 9: REview	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	期末テスト	Final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスク립トを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。
復習：checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40％、課題30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation: 40%(class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 %/Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
 受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
 世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
 提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」（Hoppii）で行う。
 授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業計画と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston)	Bostonの歴史を学び、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine)	Maineの文化についてのエッセイを読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1)	New York市の歴史を学び、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2)	New York市の地域ごとの多様性を学び、スピーキングの演習を行う
6	Chapter5 (Washington, D.C.)	連邦政治の舞台としてのワシントンD.C.について書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
7	Chapter6 (Charleston)	南北戦争について学び、リスニング演習を行う

8	Chapter7 (Savannah)	南部文化の特徴を学び、リスニング演習を行う
9	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
10	Chapter8 (Oswege)	アメリカの典型的なsmall townの社会について学び、スピーキング演習を行う 紹介文の返却日
11	プレゼンテーション (1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	プレゼンテーション (2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)

必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等を授業中に使用することは固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ	
須藤 祐二	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金4/Fri.4 単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づいて、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」（Hoppii）で行う。
授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学習内容の振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter9 (Austin) の速読とリスニング演習	Austinの文化的特徴についての紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
3	Chapter10 (Saint Jo, Texas) の速読とスピーキング演習	カウボーイ文化の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
4	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico) の精読とスピーキング演習	Santa Feの歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
5	Chapter12(Arizona) の精読とスピーキング演習	アメリカ文化における Route 66 の意義についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	Chapter 13(Los Angeles 1) の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う

7	Chapter 14(Los Angeles 2) の速読とリスニング演習	Los Angeles の多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
8	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
9	Chapter 15(Seattle) の精読とスピーキング演習	Seattleのコーヒー文化について学び、スピーキング演習を行う
10	プレゼンテーション (1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
11	プレゼンテーション (2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について日本語で意見交換を行い、自分の意見を英語でまとめて書く
13	アメリカのニュース記事の精読とスピーキング演習	与えられた記事を読み、自分の意見を英語で述べる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等を授業中に使用することは固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：地域別に見るアメリカ合衆国

大 阪 大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、アメリカ合衆国を 11 の地域に分け、各地域の民族的起源や歴史的経験、そして伝統を学びながら、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの 4 技能の学習をとおして、英語圏の文化と社会に関する知見と総合的な英語力の習得を目指す。

【到達目標】

学生は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習をとおして、変化する社会情勢や国際関係を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡りあえる英語力と批判的な視点を身につけることができる。また、英語力だけでなく、人文的教養を身につけることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式で進めるため、参加者は教科書の予習が必須である。

授業の前半では、事前に指名された発表者が教科書の英文を訳読する。その後、全体での質疑応答を交えながら文法と内容の解説もおこなう。

授業の後半では、英語による内容要約、内容や文法に関するリスニング問題、本文に関する発展的な内容の英語プレゼンテーションなどもおこなう。

課題の提出は学習支援システムを通じておこなう。

発表や課題に対するフィードバックは、授業の後半に実施する。また、質疑応答の時間を十分に設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 1	Dividing America
第3回	Chapter 1	Mini-nations
第4回	Chapter 2	New England
第5回	Chapter 2	The Boston area
第6回	Chapter 3	The New York Metropolis
第7回	Chapter 3	Irish immigrants
第8回	Chapter 4	Appalachia
第9回	Chapter 4	Agricultural products
第10回	Chapter 5	The South
第11回	Chapter 5	Deep South towns and cities
第12回	Chapter 6	American Music Roots in the South
第13回	Chapter 6	Elvis Presley
第14回	期末試験	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Where Are You From?: American Regions 地域で見るアメリカ』、音羽書房鶴見書店、2020 年、2090 円（税込）

【参考書】

適宜授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40 %

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

前年度は担当していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course divides the United States into 11 regions, and aims to provide students with knowledge of English-speaking cultures and societies as well as comprehensive English language skills through the study of the four skills of listening, reading, writing, and speaking, while learning about the ethnic origins, historical experiences, and traditions of each region.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：地域別に見るアメリカ合衆国

大 概 説

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、アメリカ合衆国を11の地域に分け、各地域の民族的起源や歴史的経験、そして伝統を学びながら、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能の学習をとおして、英語圏の文化と社会に関する知見と総合的な英語力の習得を目指す。

【到達目標】

学生は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習をとおして、変化する社会情勢や国際関係を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡りあえる英語力と批判的な視点を身につけることができる。また、英語力だけでなく、人文的教養を身につけることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式で進めるため、参加者は教科書の予習が必須である。

授業の前半では、事前に指名された発表者が教科書の英文を訳読する。その後、全体での質疑応答を交えながら文法と内容の解説もおこなう。

授業の後半では、英語による内容要約、内容や文法に関するリスニング問題、本文に関する発展的な内容の英語プレゼンテーションなどもおこなう。

課題の提出は学習支援システムを通じておこなう。

発表や課題に対するフィードバックは、授業の後半に実施する。また、質疑応答の時間を十分に設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 7	The Industrial North
第3回	Chapter 7	Northern cities
第4回	Chapter 8	The Heartland: Prairies and Plains
第5回	Chapter 8	The primarily agricultural region
第6回	Chapter 9	Out West
第7回	Chapter 9	The current nuclear issue
第8回	Chapter 10	Alaska
第9回	Chapter 10	The resources in Alaska
第10回	Chapter 11	The Pacific Northwest
第11回	Chapter 11	Silicon Valley
第12回	Chapter 12	The Southwest
第13回	Chapter 12	Texas and California
第14回	期末試験	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Where Are You From?: American Regions 地域で見るアメリカ』、音羽書房鶴見書店、2020年、2090円（税込）

【参考書】

適宜授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40%

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

前年度は担当していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course divides the United States into 11 regions, and aims to provide students with knowledge of English-speaking cultures and societies as well as comprehensive English language skills through the study of the four skills of listening, reading, writing, and speaking, while learning about the ethnic origins, historical experiences, and traditions of each region.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 I	2017年度以降入学者
サブタイトル：日本の今を伝える	
岩崎 博	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 4/Fri.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセーを作成する。

④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセーに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業説明の後、各自英語で自己紹介する

2	Unit 2 Which Class Style Is More Effective, Face to Face or Online ? (1)	対面式授業とオンライン授業の長所と短所を比較考察する
3	Unit 2 Which Class Style Is More Effective, Face to Face or Online ? (2)	対面式授業とオンライン授業について議論する。
4	Unit 9 Should Japan Ban the Sale of Pets? (1)	ペット販売の問題点を考察する
5	Unit 9 Should Japan Ban the Sale of Pets? (2)	ペット販売の問題点を議論する
6	Unit 10 Should Japan Introduce a Four-day Workweek? (1)	日本は労働日数を減らすべきか考察する

オンライン授業と対面式授業の比較をトピックにする英語会話の音声聞き、双方の代表的な長所を理解する。[f] [v] の発音を習得する。その際リスニングの学習法、パラレル音読・シャドーイングの原理と方法を学び、それを実践する。また、相手に発言を繰り返してほしい場合の表現を学ぶ。

オンライン授業と対面式授業を比較するプレゼンテーションを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を英語で簡潔に要約する。

3人1組になって対面式授業とオンライン授業のどちらが良いか賛否に分かれて英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。

日本の教育を扱った英語ニュースを読み、理解した内容を英語で要約する練習をする。さらにペアを組んで、感想を英語で話し合う。

ペット販売の是非を話し合う英語会話の音声聞き、その問題点を理解する。音声面では [θ] と [ð] の発音の仕方を習得する。シャドーイングを実践する。また、途中で議論に加わる時の表現を学ぶ。

ペット販売の問題点を指摘するプレゼンを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を英語で簡潔に要約する。

3人1組になってペット販売の賛否について議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。

愛玩動物との関連で、野生動物と人間の関係を扱う映像ニュースを見てリスニング演習を行う。どうして人に懐いたクマが殺されなくてはならなかったのか、どうして知床では「餌やりがクマを殺す」のかを理會し、人間と野生動物の関係のあるべき姿について英語で議論する。

週休3日になった場合の問題点について話し合う英会話音声を聞いて、リスニング演習を行う。音声面では /θ/ /v/ の音を発音できるように習得し、シャドーイングを実践することによりリスニング能力を高める。また、誤解を解く時の表現を学ぶ。

労働日数短縮の長所と短所に関するプレゼンを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考に理解した内容を英語で簡潔に要約する。

- 7 Unit 10 Should Japan Introduce a Four-day Workweek? (2)
日本は労働日数を減らすべきか議論
- 8 Unit 11 Should Children's video Game Time Be Limited by Law? (1)
日本で子供のゲーム時間を法律で規制すべきか考察する
- 9 Unit 11 Should Children's video Game Time Be Limited by Law? (2)
日本で子供のゲーム時間を法律で規制すべきか議論する
- 10 自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (1)
エッセイの構造を学ぶ
- 11 自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (2)
辞書の活用法を学ぶ
- 12 自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (3)
論理的な展開を理解する
- 3人1組になって労働日数を減らすべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。
日本における過労死を扱うニュースストーリーを読み、その内容を英語で簡潔に要約したのち、理解した内容について英語で意見を言い合う。
エッセイ内で地球温暖化解決のため政府が行うべき政策の「基準」を提示されているが、その妥当性を考察する。
リスニングでは [s] [z] の発音の仕方を習得する。日本語の [ス] [ズ] の音とは息の強さにおいて全く異なることを認識し、強く長く息を吐き出して発音できるようにする。
シャドーイングを実践する。
子供のゲーム時間規制に賛成・反対の立場をとる男女の英会話を聞き、その代表的な意見を理解する。発音では [æ] [ʌ] [ə] の発音の仕方を習得し、シャドーイングを実践する。また、見聞きした情報を客観的に伝えるときの英語表現を学ぶ。
子供のゲーム時間規制に関する賛否両論を紹介するプレゼンを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を英語で簡潔に要約する。
3人1組になってゲーム時間を規制すべきか賛否に分かれて英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。
ゲームの問題をあつかう英語新聞記事を読んで、理解した内容を英語で簡潔に要約したのち、要約したものをクラスの前で発表する。さらに、理解した内容についてペアを組んで英語で議論する。
4パラグラフからなるエッセイの構造を学習する。
各パラグラフの役割と構成を学ぶ。
エッセイプラン表の作成法を学ぶ。
作成したエッセイプラン表の内容をペアの相手に説明し、相手からフィードバックをもらいプラン表を完成させる。
英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効な辞書を使う意義と活用法を学習する。
授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に使ってみる。
論理的な誤りを含むエッセイの例を複数読んで、どう訂正すれば論理的に正しい展開になるのか考察する。
特に、導入の主張と各パラグラフのトピックの論理的整合性、また各パラグラフのトピックとその支持文の関連性の重要性を学ぶ。

- 13 シャドーイング・リスニング試験 テキストの所定箇所のシャドーイングと、リスニング試験を行う。
- 14 提出したエッセイのフィードバック 添削しコメントを添えてエッセイを返却する。
このフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。
また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。
春学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

飯野厚他、『Voice Your Opinion』、金星堂

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。
4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。
オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

アウトプットの比重を高めたい。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をする、スマホを操作し続けるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is designed to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing through the use of a textbook and news videos on topics related to Japanese culture and society. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make pronouncements about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learned after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本の今を伝える

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセーを作成する。

④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセーに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	映像ニュースを見る 第二次世界大戦中、 日系アメリカ人が人 種的偏見により財産 を剥奪され収容所に 強制収監された、ア メリカの負の歴史を、 収監された日系米人 の孫である記者の目 を通して振り返る。	ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。 解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。 [h] の発音の仕方を習得する。息の強さにおいて日本語の[ハ]行の音とは全く異なることに留意する。シャドーイングを実践する。 ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアを組んで英語で質問をする。 ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。 キャッシュレス決済導入に関して賛否にわかれる英会話を聞いて、リスニング演習を行う。[w]の音の特徴と発音の仕方を学び、発音できるよう練習する。論点を対比・比較する時の表現を学ぶ。 日本が世界的に見てキャッシュレス決済の導入が極端に遅れている現状を報告するプレゼンを聞きながらメモを取り、そのメモを参考に理解した内容を英語で発表する。
2	Unit 12 Should Cashless Payment Be Promoted Further in Japan? (1) キャッシュレス決済 導入の是非を考察する	3人1組になってキャッシュレス決済導入の是非をめぐる英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。 日本がキャッシュレス決済後進国であることを伝える英語新聞記事を読んで、理解した内容を英語で簡潔に要約したのち、要約したものをクラスの前で発表する。さらに、理解した内容についてペアを組んで英語で議論する。
3	Unit 12 Should Cashless Payment Be Promoted Further in Japan? (2) キャッシュレス決済 導入の是非を議論する	ソーシャルメディア会社による投稿内容の検閲の是非をめぐる英語会話を聞いてリスニング演習を行う。[n][m][ŋ]の音の特徴と発音の仕方を理解し、発音できるようにする。また、相手に反論する時の表現を学ぶ。 日本がキャッシュレス決済導入の是非を議論する
4	Unit 13 Should Social Media Companies Censor Their Platforms? (1) 日本でソーシャルメ ディア運営企業は投 稿内容を検閲すべき かについて考察する	ソーシャルメディア会社による投稿内容検閲の利点・欠点の双方を論じるプレゼンを聞いてメモを取り、そのメモを参考に理解した内容を簡潔な英語で表現する練習をする。

5	Unit 13 Should Social Media Companies Censor Their Platforms? (2) 日本でソーシャルメディア会社は投稿内容を検閲すべきかについて議論する	3人1組になって、ソーシャルメディア運営企業は投稿内容を検閲すべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。 トランプ氏が大統領に就任するとすぐ、大手ソーシャルメディア企業のメタはトランプ大統領からの圧力に屈服する形でファクトチェックを廃止すると発表している。このようにソーシャルメディア企業は虚偽情報やヘイトスピーチを許容する方向に向かっている。この実情を伝える英語ニュース映像を見て、日本におけるソーシャルメディア上の投稿に対して規制を設けるべきか議論する。	10	Unit 15 Should Public Baths and Hot Spring Accept People with Tattoos? (1) タトゥー受け入れの是非を考察する	タトゥーを受け入れるべきか否かをめぐる英語会話を聞いてリスニング演習を行う。Dark Lと呼ばれる、次に母音が続かない [l] の音の特徴と発音法を学習しこの音の発音を習得する。 結論・まとめを述べる時の表現を学ぶ。 タトゥー受け入れに対する賛成意見と反対意見の双方を比較・対照する英語のプレゼンを聞いてその問題点を理解する。英語を聞きながらメモをとり、そのメモを参考にして理解した内容を簡潔な英語で表現する練習をする。
6	関係代名詞を完全に理解する	リーディング・ライティング能力向上のため関係代名詞と関係副詞を学習する。プリントの演習を通して両者の完全理解を目指す。 とくに、関係代名詞の名詞的性質と関係副詞の副詞的性質を認識することによって両者の違いを明確に理解する。	11	Unit 15 Should Public Baths and Hot Spring Accept People with Tattoos? (2) タトゥー受け入れの是非を議論する	3人1組になって、日本はタトゥーを受け入れるべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。日本のタトゥー受け入れ問題を論じる英字新聞記事を読んで、理解した内容を簡単な英語で要約する練習をする。内容について英語で意見を言い合う。
7	Unit 14 Should Japan Invest More in Space Development? (1) 日本は宇宙開発に もっと投資すべきかどうかについて考察する	宇宙開発投資をめぐる問題について話し合う英語の会話を聞いてリスニング演習をする。破裂音[p] [t] [k]の特徴と発音の仕方を学びそれを習得する。推論・仮定を表明する時の表現を学ぶ。宇宙開発投資の長所短所を論じるプレゼンを聞いてその問題点を理解する。聞きながらメモをとり、そのメモを参考にして理解した内容を簡潔な英語で発言する練習をする。	12	if節のない仮定法を学習する	様々な文学作品から集めたif節のない仮定法の具体的な用例を経験することによって、仮定法の完全理解を目指す。
8	Unit 14 Should Japan Invest More in Space Development? (2) 日本は宇宙開発に もっと投資すべきかどうかについて議論する	3人1組になって、日本は宇宙開発に もっと投資すべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。日本の宇宙開発の実情を伝える英字新聞記事を読んで、理解した内容を簡単な英語で要約する練習をする。内容について英語で意見を言い合う。	13	リスニング・シャドーイングのテスト	テキストの指定箇所のリスニングとシャドーイングの試験を行う。
9	因果を論じる英文エッセイの書き方を学ぶ	4パラグラフからなる因果を論じるエッセイの構造を学習する。各パラグラフの役割と構成を復習する。 エッセイプラン表の作成法を復習する。 英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を復習する。 授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に引いてみる。 つなぎの言葉の有効性を確認する。	14	提出したエッセイのフィードバック	添削しコメントを添えてエッセイのフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。 また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。
秋学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

飯野厚他、『Voice Your Opinion』、金星堂

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。
4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。
オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークによる演習を増やす。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Invention Needed: The Sillier the Better	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: World Traveler, Starting by Accident	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 4: International Volunteers Help Children in Need	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 5: Public Servant Goes Private	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 6: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 7: Building Playgrounds in Disaster-Hit Communities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など。防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based course and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Tech for Pets Takes Off	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 10: Hairdressers Given a Shot at Independence	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 11: Japanese Tradition Reinvented to Help Global Farming	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Green Tea Shochu Hits the Spot with overseas Connoisseurs	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Looking to the Future in 'Jeans Town'	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: A Recollection of Courage	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Indoor Farms Sprouting Up in Cities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶNHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	The Way we Live Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
English 3 I					
サブタイトル：English in Global Contexts					
TOBY TRAUB					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
Learning English for communicating in a global society.					
【到達目標】					
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback will be obtained through quiz scores.					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
あり /Yes					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities	5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	6	Unit 2 Political Refugees Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
			8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
			9	Unit 3: Seize the day Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Tips for the Quiz Quiz Song lesson
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment and/or study for a quiz every week in preparation for class. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>
<https://www.japantimes.co.jp/news/>
<https://www.yahoo.com/news/>
<http://www.bbc.com/news>
<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%
 Quizzes, writing assignments, presentations: 70%
 Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course. Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary. Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline (in English)】

This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Global Contexts

TOBY TRAUB

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz grades.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4

Human
Compassion
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

5

Is telling lies bad?
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

6

Immigration good, or bad?
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

7

How neighborhoods happen.
Introduce big presentation.
Create teams. Go over expectations.

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

8

Rules versus freedom
Presentation topics due.
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

9

Japan surveillance state.
Outline of presentations due.
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity. Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations: 70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt

or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for Global Awareness: Enhancing Language Skills through Current Affairs

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.

【到達目標】

- * Develop reading skills for critical analysis and discussion
- * Cultivate awareness of social, economic, and political concerns from a different cultural perspective
- * Reinforce language skills in all four key areas - reading, listening, speaking, and writing
- * Expand vocabulary and strengthen practical grammar application for language acquisition

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course primarily uses a textbook to develop level-specific language skills across all four key areas: reading, writing, listening, and speaking. To deepen understanding and reinforce learning, students engage with selected news articles from reputable sources, using them as a basis for discussion. Group work is incorporated to ensure active participation and encourage collaborative learning. Additionally, students complete writing tasks, such as short paragraphs and reflective responses, to develop their ability to express ideas in a clear and organized manner. Through a combination of structured lessons, interactive discussions, and written exercises, the course fosters both linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. To support learning, feedback is provided on all tasks either verbally or in written form as needed.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3 I Spring Term	Students will be introduced to the course. Course guidelines will be overviewed together. After students get to know each other, they will start working on the selected unit from the textbook. For a warm-up, they will have some discussion on the main theme ideas in small groups. To support the group discussions, excerpts from news articles will be additionally provided. This will add more depth to the discussions being developed and more ideas will follow.
2	What Impacts Our Environment & Fragile Forests	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. Before the end of the lesson day, students will also write a well-developed paragraph on an environmental problem after they briefly practice giving evidence and describing facts. Writings will be collected and marked.
3	Climate Change & Our Fragile Forests	The lesson day will start with teacher feedback on the collected writings. On the day, students will also start reading a new passage which is adapted from a recently published news article. The goal is to provide students with more chances for an exposure to present-day issues on the unit's main theme and development of individual views. Lastly, before the lesson day ends, students will receive guidance on their presentation projects. All students are required to give a presentation at least once during the Spring term, and the requirements will be explained in detail in this lesson.

4	A Hero in the Jungle & Issues to be Solved	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. Correct answers will be reviewed together after the task is complete. The purpose is to ensure that key vocabulary is acquired. Following this, students will watch a TED video which exposes to viewers a pressing environmental issue affecting the rainforests of Costa Rica. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To achieve both goals with success, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as important details. Then, they will be asked to pay attention to tone and attitude of the speaker for an in-depth discussion.	7	What About Simple Solutions? & Are They Really Effective?	Reading passage which is about the important issues facing the developing world will be covered on the day. Students will make a detailed reading of the passage and answer questions on key ideas and supporting details. They will be also asked to work in pairs or small groups to brainstorm about other crucial problems — this time, from around the world — and list them in bullet points. Following these, students will review cause & effect language markers and write a well-developed paragraph which explains an issue of their choice. At the end of the day, writings will be submitted for feedback & grading.
5	Bright Ideas & New Answers	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned with the task will give their presentation which is around 5 or 6 minutes to talk about an environmental issue. Following this, final thoughts on environmental problems will be shared and important points from the unit will be summarized. If any time remains, students will briefly review redundancy & relative pronouns to better understand some of the inconsistencies in their previously submitted paragraphs and learn how to avoid them.	8	Immigration: An Important Driver of Development or Challenge Maker?	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will be given ample opportunities to ask questions and make some improvements on their works. Following this, they will read a news article about immigration and understand what makes immigration essential for the world development despite the associated challenges. Afterward, to develop more perspective on the subject, students will work together and prepare a group work. They are expected to discuss a specific challenge in detail. Therefore, googling relevant information and data for support of ideas is essential in this task. Lastly, each group will share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Needs of Others & Are There Solutions?	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a short talk on the most essential needs of the developing world. Then, they will read excerpts from news articles to deepen their understanding and exchange ideas freely. By the end of the lesson, they will be prepared for the reading passage analysis, which will take place in the next class. Also, if any activities from the previous lesson remain unfinished, time will be allocated to complete them in this lesson.	9	Education: How Has It Evolved Over The Last Ten Years?	The lesson day will start with a quiz to assess students' understanding of the essential vocabulary covered since the start of the term. After the quiz, students will begin working on a new unit which focuses on education. First, they will have some discussion on the subject by reading excerpts from news articles and exchanging ideas. The goal is to briefly highlight some of the most significant educational issues of the present age. Following this, students will read the assigned textbook's passage and answer questions for more perspective.

10	Face-to-Face and Online Education: Which One Suits You The Most?	The lesson day will start with a new reading material on education. Students will read a news article which compares face-to-face classes to online learning. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language. In this task, students will be also required to highlight a key advantage of one teaching method over the other one. As before, students will review the essential language markers and complete a short practice activity before the actual writing task begins in class.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson day will start with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics should be about education and relate to aspects covered in classes. After the presentations, students will get ready for the final exam. Important language topics and vocabulary will be reviewed through short practice activities. Lastly, guidance on the final exam will be provided before the class ends.
11	Educational Issues: What Motivates us to Study?	The lesson day will begin with feedback on the written works. During the feedback session, students will briefly review task-relevant connectors and linking words once again to refine their writing. Following this, they will be given time to ask questions and make additional improvements. Afterward, students will complete the final reading task of the term. They will read and analyze one more news article which explores the root causes of motivation issues in learning. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a discussion. As before, they will share their ideas and findings with other classmates for a more lively class discussion on the subject.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Spring term to an end.
12	Education & Success: What's the Key?	The lesson day will focus on listening practice, with students completing two key tasks. First, they will watch the assigned textbook's video content and take notes for key information. Afterward, students will shortly exchange ideas to check comprehension. Then, students will watch the video again to complete fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss additional factors that contribute to success in learning. Is grit the only major contributor?			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840

Additional articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Presentations: 25%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 35%

More than 3 absences will result in failure from the course.

【学生の意見等からの気づき】

Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor.

【学生が準備すべき機器他】

No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.

【Outline (in English)】

This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for Global Awareness: Enhancing Language Skills through Current Affairs

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.

【到達目標】

- * Strengthen proficiency in all four core language skills
- * Enhance reading skills for critical analysis and effective discussion
- * Foster understanding of social, economic, and political issues from a cross-cultural viewpoint
- * Broaden vocabulary and improve practical grammar usage to support language learning.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The approach will remain consistent in the Autumn term, further building on the targeted skills. Students will continue to use the same textbook, which will be supplemented with carefully selected news articles from reputable sources to enhance skill development across all areas. The course requirements will largely stay the same, with an emphasis on active class participation and group work to foster linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. Additionally, students will complete short writing assignments, similar to those in the Spring term, contributing to the achievement of the course's learning outcomes. Lastly, feedback will be provided on all tasks in verbal and/or written form as in the previous term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Autumn Term Classes	Students will be introduced to the course. Rules & requirements will be overviewed together. Afterward, students will start working on the designated unit from the textbook. To start, students will engage in a group discussion to develop ideas on the main unit theme. To enrich class discussion and deepen analysis, students will be also provided with various excerpts from news articles on food-related diseases and associated issues. This will make students ready for the next class' reading and writing tasks.
2	What is a Food Revolution?	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a short class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. After completing reading passage analysis and discussion, students will be asked to write a well-developed paragraph on a food-related issue by applying cause & effect language. For preparation, students will briefly review key vocabulary and essential language markers from the Spring term, with a particular focus on connectors. Lastly, writings will be collected for feedback and assessment at the end of the day.
3	Hunger Strikes. But, What About a Solution?	The lesson day will begin with teacher feedback on the collected writings. Following the feedback, students will start reading a news article which explores the major contributors to the global food crisis. The goal of the week is to engage students with the present-day issues on the unit's main theme while encouraging them to expand their perspectives beyond the textbook content. Before the lesson day ends, students will be also provided with essential guidance on giving presentations. Requirements of the task will be explained in detail, and the schedule will be announced.

4	Food Education & Why It Matters	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. This will provide them with a chance to assess their understanding of the key vocabulary learned thus far. Once the task is complete, correct answers will be revealed to clarify doubts and allow review where needed. Afterward, students will watch a TED video which exposes an ongoing problem about food served at schools. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To complete all successfully, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as specific information. Then, they will be asked to take notes on the speaker's tone and attitude to support an in-depth discussion of the important points from the video.	7	Body Language & Its Impact on Our Lives	On this lesson day, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension. They will gain more insight into the role body language plays in shaping our perceptions of confidence and success. Afterward, they will start preparing for the day's writing task. They will be provided with some discussion questions to brainstorm for more ideas about language and success relation. Following this, students will review argumentation language and write a well-developed paragraph on one of the discussed questions. Writings will be submitted at the end of the day.
5	Food Campaigns & How to Raise Awareness across the World	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned for the day will give a presentation which is around 5-6 minutes and talk about a food-related problem or a closely associated issue. If time permits, students will also engage in additional instructor-prepared activities for a practice session. They will complete activities on a selected language topic, which will be determined after the instructor reviews students' writings submitted at the end of lesson 2.	8	Language Barrier Many Immigrants Deal With	The lesson day will begin with teacher feedback on the writings. During the feedback session, students will be given a chance to ask questions and address specific issues in their writings. Afterward, they will read a news article about language barriers facing immigrant family children in schools. They will answer comprehension questions and then collaborate for a group work. In groups, students will analyze other challenges which are rooted in language barriers and propose solutions. Throughout this task, students are allowed to google relevant information and data for support of ideas. Lastly, each group will be asked to share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Success Stories & Body Language	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a TED talk about body language and its impact on success. Afterward, they will read excerpts from reliable research and newspaper publications to deepen their understanding of the theme and participate in an open class discussion. By the end of the day, they will be ready for the next week's reading passage analysis.	9	Energy Builders & Energy Production	The lesson day will start with a vocabulary quiz. Students will answer questions to assess their knowledge on the attained vocabulary from the previous unit. After the quiz, the new unit theme will be introduced through some excerpts from news articles. This will give students a chance to become familiar with some of the most significant issues concerning use of energy and production methods at present. Following this, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension and exchange of opinions.

10	Global Issues in Energy Use	The lesson day will start with a new reading material on energy. Students will read a news article which analyzes the major impacts of sanctions on Russia's energy export. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language and highlighting one significant consequence. For this writing task, students will be also taught to read graphs and explain data from such content.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson will begin with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics have to be about issues which pertain to energy and should also relate to aspects covered in classes. Following this, learned grammar and vocabulary will be practiced through short activities. Guidance on the final exam will be also provided before the lesson ends.
11	Global Issues in Energy Use II	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will ask questions and improve the highlighted errors. Afterward, they will engage in reading a news article which covers the major causes of today's energy issues. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a class discussion. As before, all groups will aim to expand discussion and propose solutions for the raised article issue(s). Additionally, groups will be required to justify their views by providing reasonable facts and other evidence from the assigned article as well as other sources. All will shortly present their findings to the class before the lesson ends.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Autumn term to an end.
12	Harnessing the Wind	This lesson day will focus on listening practice. Students will complete two key tasks. First, they will watch the assigned video from the textbook and take notes on key points. Afterward, students will briefly exchange ideas to check their comprehension. Following this, they will watch the video again, this time completing fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss what feeds our curiosity and propels us to invent.			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840 Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://www.theguardian.com/international 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Presentations: 25% Writing assignments: 10% Final Exam: 35% More than 3 absences will result in failure from the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World (Migration, Work, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading, and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	Economic migrants. People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students' research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Prepare a short presentation on what kind of work would suite you. Would you move abroad to work? Homework: Reading on undocumented migrants.
Week 4	Reading Article 1: Undocumented and Irregular Migration.	Legal Illegal Alien Reading article about "undocumented" or "irregular" migrants, who are often referred to as "Illegal" migrants.

Week 5	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from the textbook. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.
Week 6	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading on immigration detention.	Week 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 7	Reading Task 2 Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. We will look at articles about people detained in immigration detention including the situation of a person from Turkey living in Japan.			Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feed back from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	Week 14	Student presentations part 2.	
Week 9	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and prepara- tion for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker &John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., &White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor’s Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester. 2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading article on “undocumented” (“illegal”) migrants and other topics 10%		
Week 10	Unit 5: Migrants Workers in Japan	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading on Migrant Workers in Japan.			
Week 11	Reading Task 3:Migrant Workers Exploitation in Japan	Migrant workers in Japan working in various sectors and the challenges that they face. Case of technical trainees.			

- b. Reading article on immigration detention.10%
- c. Readings migrant workers in Japan. 10%
- 3. Major assignment: research and presentation 50%

Research Topic Work Sheet 10%

References for presentation (work sheet and bibliography in slides)10 %

Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 20%

Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%

You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.

- Additional resources for writing (dictionaries etc).

- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

【Outline (in English)】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi). There will be verbal feedback given directly to every student following their presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading record. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading record.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Manga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension / Your Opinions. Homework: Reading and reading diary. Reading on Palestine and it's Japanese translation.
Lesson 4	Translation of ideas.	We will look at articles and parts of books written in English about topics such as Israel-Palestine, genocide of Jewish people, and writing in English by people in Gaza. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.
Lesson 5	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Unit 6 Think global act local.	Japanese Companies selling products overseas Homework: Read article on migration and crime.

Lesson 7	Think Global Act Local: Migration and Globalization	The movement of people and the movement of different ways of living: how does this impact society? Reading article on the topic: Does migration lead to an increase in crime? Homework: Hand out worksheets on research for final presentation.	Lesson 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Lesson 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feedback from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. You will need to set aside time to research for your presentations and to read the articles given to you during class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search "Penguin reader" on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 [Grading Criteria] 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% · In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. · Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester. 2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading sections from books on Palestine and other topics 10% b. Reading article on immigration and crime. 10% c. Readings on articles related to the danger of crossing borders 10% 3. Major assignment: research and presentation 50% Research Topic Work Sheet 10% References for presentation (work sheet and bibliography in slides) 10 % Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10% You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.		
Lesson 9	Unit 8: Build a Happy Life!	Life of a European Architect in Japan from Text book			
Lesson 10	Build a Happy Life continued.	Life of a European Architect in Japan			
Lesson 11	Reading on border control.	Homework: Reading on border control construction such as walls and fences. The use of border walls and naval patrols to control borders are well known. These and more recent use of digital and automated systems including AI technology has made crossing borders increasingly dangerous for refugees and migrants. We look at a reading to understand the current trends in the uses of such technology.			
Lesson 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.			
Lesson 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!			

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

AIで仕事がなくなるか、ロボットと人間の共存は可能か、地球温暖化を食い止めるための植樹活動、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit2前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit2後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit5前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit5後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキストUnit6前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit6後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit8前半	リスニング、リーディング

11	テキストUnit8後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくこと。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

教育におけるChatGPTの影響、日本の老舗ビジネスの極意、静寂を守る環境活動家たち、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit9前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit9後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit10前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit10後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキストUnit14前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit14後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit15前半	リスニング、リーディング

11	テキストUnit15後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいので、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験(あるいはレポート)の成績(40%)、プレゼンテーション(20%)、授業参加度(40%)とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

【第一部】

第2週 Topic: Interdisciplinary

第5週 Topic: Business/Leadership

第8週 Topic: Life Science

第11週 Topic: Sociology/Fashion

【第二部】

第3週：TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週：TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週：TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週：TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第三部】：各Unitテストと自己表現 第4,7,10,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Review Unit 1	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第7週	Review Unit 2	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第10週	Review Unit 3	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process

第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第13週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第14週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet**に記入しておく。

復習：**checksheet**に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および**checksheet**の提出）40％、小テスト30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

教室内の換気、温度調節等にも気を配り、より快適な学習環境を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation: 40%(class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 %/Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様に本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。

また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

[第一部] 第2週 Topic: Architecture and Design 第5週 Topic: Conservation/Engineering 第8週 Topic: Visual Arts/Sociology

[第二部] 第3週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un-expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第6週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第9週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

[第三部]: 各Unitテストと自己表現 第4,7,10,11,12,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第2週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第7週	Unit 7: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts /Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第10週	Unit 9: REview	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	期末テスト	Final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスク립トを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。
復習：checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言およびunit quiz）40％、課題30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation: 40%(class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 %/Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの歴史と伝統 (British History and Tradition)

田口 清一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3では、English1とEnglish2で身に付けた英語の4技能（読む・書く・聞く・話す）を更に深めることを目的とする、また、この4技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

- * 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら、批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
- * 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Chapterにおいて、本文の読解、リスニング、ライティング（センテンス・レベル）、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング（補充問題とパラグラフ・レベル）に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、毎回の課題に対し、授業（対面又はオンライン）での解説によってフィードバックを行う。最終回には春学期全体の講評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第2回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(可算と不可算)
第3回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(冠詞と限定詞)
第4回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第5回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第6回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)③ Chapter2(ローマ時代のイギリス)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第7回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング

第8回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)③	リスニング、ライティング
第9回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第10回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第11回	Chapter3(アングロ・サクソン時代イギリス)③ Chapter4(ノルマン人による征服)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第12回	Chapter4(ノルマン人による征服)②	読解、リスニング、スピーキング
第13回	chapter4(ノルマン人による征服)③	リスニング、ライティング
第14回	学期末の課題 学期末の講評	パラグラフレベルのライティング 春学期の課題の総評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文演習においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習(ライティング)においては必ず自分の解答を用意して臨み、解説によって自ら添削すること。各回の授業のポイントには必ず次回までに復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を最低一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」40%、課題の出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(40%) and the results of the required assignments(60%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの歴史と伝統 (British History and Tradition)

田口 清一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3では、English1とEnglish2で身に付けた英語の4技能（読む・書く・聞く・話す）を更に深めることを目的とする。また、この4技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

- * 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら、批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
- * 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Chapterにおいて、本文の読解、リスニング、ライティング（センテンス・レヴェル）、スピーキングはテキストに沿って行い、ライティング（補充問題とパラグラフ・レヴェル）は別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、毎回の課題に対し、授業（対面又はオンライン）での解説によってフィードバックを行う。最終回には年間を通しての総評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本語と英語の相違	文圧縮(名詞構文)
第2回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第3回	Chapter5(中世のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第4回	Chapter5(中世のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第5回	Chapter5(中世のイギリス)③	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter6(キリスト教の到来)①	
第6回	Chapter6(キリスト教の到来)②	読解、リスニング、スピーキング
第7回	Chapter6(キリスト教の到来)③	リスニング、ライティング
第8回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)①	読解、リスニング、スピーキング
第9回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)②	読解、リスニング、スピーキング

第10回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)③	リスニング、ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter8(産業革命)①	
第11回	Chapter8(産業革命)②	読解、リスニング、スピーキング
第12回	Chapter8(産業革命)③	リスニング、ライティング
第13回	年間の仕上げの課題	Writing an Essay
第14回	今年度の総括	年間の課題に対する総評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習(ライティング)においては必ず自分の解答を用意して臨み、解説によって自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」40%、課題の出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期からの習熟度も考慮に入れる。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も幅広い観点から英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(40%) and the results of the required assignments(60%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
 受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
 世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
 提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」（Hoppii）で行う。
 授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業計画と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston)	Bostonの歴史を学び、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine)	Maineの文化についてのエッセイを読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1)	New York市の歴史を学び、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2)	New York市の地域ごとの多様性を学び、スピーキングの演習を行う
6	Chapter5 (Washington, D.C)	連邦政治の舞台としてのワシントンD.Cについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
7	Chapter6 (Charleston)	南北戦争について学び、リスニング演習を行う

8	Chapter7 (Savannah)の速読とリスニング演習	南部文化の特徴を学び、リスニング演習を行う
9	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
10	Chapter8 (Oswege)の精読とスピーキング演習	アメリカの典型的なsmall townの社会について学び、スピーキング演習を行う 紹介文の返却日
11	プレゼンテーション(1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	プレゼンテーション(2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)

必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等を授業中に使用することは固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ	
須藤 祐二	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5 単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づいて、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」（Hoppii）で行う。
授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学習内容の振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter9 (Austin) の速読とリスニング演習	Austinの文化的特徴についての紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
3	Chapter10 (Saint Jo, Texas) の速読とスピーキング演習	カウボーイ文化の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
4	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico) の精読とスピーキング演習	Santa Feの歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
5	Chapter12(Arizona) の精読とスピーキング演習	アメリカ文化における Route 66 の意義についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	Chapter 13(Los Angeles 1) の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う

7	Chapter 14(Los Angeles 2) の速読とリスニング演習	Los Angeles の多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
8	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
9	Chapter 15(Seattle) の精読とスピーキング演習	Seattleのコーヒー文化について学び、スピーキング演習を行う
10	プレゼンテーション (1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
11	プレゼンテーション (2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について日本語で意見交換を行い、自分の意見を英語でまとめて書く
13	アメリカのニュース記事の精読とスピーキング演習	与えられた記事を読み、自分の意見を英語で述べる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等を授業中に使用することは固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Invention Needed: The Sillier the Better	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: World Traveler, Starting by Accident	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 4: International Volunteers Help Children in Need	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 5: Public Servant Goes Private	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 6: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 7: Building Playgrounds in Disaster-Hit Communities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など。防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based course and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Tech for Pets Takes Off	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 10: Hairdressers Given a Shot at Independence	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 11: Japanese Tradition Reinvented to Help Global Farming	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Green Tea Shochu Hits the Spot with overseas Connoisseurs	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Looking to the Future in 'Jeans Town'	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: A Recollection of Courage	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Indoor Farms Sprouting Up in Cities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶNHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：世界に発信される日本のニュース		
三原 里美		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 5/Fri.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュース映像を題材に、現代の日本社会に関する様々なテーマについて英語で学び、日本のニュースがどのように世界に発信されているかを考える。映像や音声によるリスニング練習、ニュース原稿の精読、各トピックについてのライティングとディスカッションを通して、四技能の習得を目指す。

【到達目標】

- ・日本の社会、文化を英語で世界に発信するための表現方法を習得する。
- ・ニュース映像を見たり音声を聴いたりして、ニュースの大まかな内容を把握できる。
- ・ニュース原稿の精読を通して、時事問題に用いられる表現方法に慣れ、単語・熟語の知識を身につける。
- ・時事的な話題について自分の意見や考えをまとめ、平易な英語で表現できる。
- ・英作文に基づき自分の考えを口頭で相手に伝えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。ニュース映像を見て問題を解き、音声を聴いてスクリプトの穴埋めを完成させる。本文を精読した後、もう一度問題を解き直して理解度を確認する。各Unitの終わりにはトピックに関する自分の考えを英語で書き、その内容を学生同士ペアを組んで会話形式で発表し合う。授業の終わりに作文を提出、翌週にフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、英字新聞の記事など教科書以外の教材を用いて読解を行う。また、Unitごとに単語・熟語の小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方についての説明
2	Unit 1	Studying in the Metaverse (練習問題、リスニング、読解)
3	Unit 1	Studying in the Metaverse (読解、ライティング、ディスカッション)
4	Unit 2	Japanese Firms Switching to English Amid Engineer Shortage (練習問題、リスニング、読解)
5	Unit 2	Japanese Firms Switching to English Amid Engineer Shortage (読解、ライティング、ディスカッション)
6	Unit 3	Recycling Car Parts Into Fashion Treasure (練習問題、リスニング、読解)

7	Unit 3	Recycling Car Parts Into Fashion Treasure (読解、ライティング、ディスカッション)
8	Unit 4	Japanese Family Steps Up to Support Evacuee (練習問題、リスニング、読解)
9	Unit 4	Japanese Family Steps Up to Support Evacuee (読解、ライティング、ディスカッション)
10	Unit 5	Mixing Art With Online Meetings (練習問題、リスニング、読解)
11	Unit 5	Mixing Art With Online Meetings (読解、ライティング、ディスカッション)
12	Unit 6	Deer Ramen (練習問題、リスニング、読解)
13	Unit 6	Deer Ramen (読解、ライティング、ディスカッション)
14	試験	Unit1～6の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
授業までに教科書の本文を読み、分からない単語・熟語を辞書で調べておく。各UnitのDiscussion Questionsに対する自分の考えを事前に日本語でまとめる。

【テキスト（教科書）】

山崎達朗、Stella M. Yamazaki 編著『NHK Newsline 7』金星堂、2024年（税込 ¥2,750）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（小テスト、英作文、授業態度） 40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, students will learn contemporary Japanese society through news videos and scripts in order to think how news on Japan spreads in the world. Students are expected to improve four English skills by listening to news, reading its scripts, writing and discussing opinions about each topic.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Grasp the summary of news by watching news videos
- ・ Understand English grammar and the structure of paragraphs
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to consult a dictionary for the meaning of words and phrases in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 60%

Quizzes, submission assignments, class contribution 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界に発信される日本のニュース

三原 里美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュース映像を題材に、現代の日本社会に関する様々なテーマについて英語で学び、日本のニュースがどのように世界に発信されているかを考える。映像や音声によるリスニング練習、ニュース原稿の精読、各トピックについてのライティングとディスカッションを通して、四技能の習得を目指す。

【到達目標】

- ・日本の社会、文化を英語で世界に発信するための表現方法を習得する。
- ・ニュース映像を見たり音声を聴いたりして、ニュースの大まかな内容を把握できる。
- ・ニュース原稿の精読を通して、時事問題に用いられる表現方法に慣れ、単語・熟語の知識を身につける。
- ・時事的な話題について自分の意見や考えをまとめ、平易な英語で表現できる。
- ・英作文に基づき自分の考えを口頭で相手に伝えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。ニュース映像を見て問題を解き、音声を聴いてスクリプトの穴埋めを完成させる。本文を精読した後、もう一度問題を解き直して理解度を確認する。各Unitの終わりにはトピックに関する自分の考えを英語で書き、その内容を学生同士ペアを組んで会話形式で発表し合う。授業の終わりに作文を提出、翌週にフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、英字新聞の記事など教科書以外の教材を用いて読解を行う。また、Unitごとに単語・熟語の小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7	Making Sure the Message Is Heard (練習問題、リスニング、読解)
2	Unit 7	Making Sure the Message Is Heard (読解、ライティング、ディスカッション)
3	Unit 8	Think Globally, Graze Locally (練習問題、リスニング、読解)
4	Unit 8	Think Globally, Graze Locally (読解、ライティング、ディスカッション)
5	Unit 9	A Sea Turtle's Tale (練習問題、リスニング、読解)
6	Unit 9	A Sea Turtle's Tale (読解、ライティング、ディスカッション)
7	Unit 10	"Robot Cafe" Showcases AI's Potential (練習問題、リスニング、読解)

8	Unit 10	"Robot Cafe" Showcases AI's Potential (読解、ライティング、ディスカッション)
9	Unit 11	More Than Just a Cafe (練習問題、リスニング、読解)
10	Unit 11	More Than Just a Cafe (読解、ライティング、ディスカッション)
11	Unit 12	Heeding the Words of Younger People for a Better Future (練習問題、リスニング、読解)
12	Unit 12	Heeding the Words of Younger People for a Better Future (読解、ライティング、ディスカッション)
13	Unit 13	Wood Would Do (練習問題、リスニング、読解)
14	試験	Unit7～13の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業までに教科書の本文を読み、分からない単語・熟語を辞書で調べておく。各UnitのDiscussion Questionsに対する自分の考えを事前に日本語でまとめておく。

【テキスト（教科書）】

山崎達朗、Stella M. Yamazaki 編著『NHK Newslines 7』金星堂、2024年（税込 ¥2,750）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（小テスト、英作文、授業態度）40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, students will learn contemporary Japanese society through news videos and scripts in order to think how news on Japan spreads in the world. Students are expected to improve four English skills by listening to news, reading its scripts, writing and discussing opinions about each topic.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Grasp the summary of news by watching news videos
- ・ Understand English grammar and the structure of paragraphs
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to consult a dictionary for the meaning of words and phrases in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 60%

Quizzes, submission assignments, class contribution 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：アメリカ社会		
本間 章郎		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金4/Fri.4		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: Young Boy Seeks to Spend His Love of literacy	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: Young Boy Seeks to Spend His Love of literacy	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: Graduation Day Surprise	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: Graduation Day Surprise	読解及び問題演習
第6回	Unit 3: A Mission to Help the Homeless	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 3: A Mission to Help the Homeless	読解及び問題演習

第8回	Unit 4: Fly Me to the Moon	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: Fly Me to the Moon	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: A Man on the Bench by the Beach	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: A Man on the Bench by the Beach	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: COVID Vaccine Inequalities	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: COVID Vaccine Inequalities	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅まで済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6 (CBS ニュースブレイク 6)
熊井信弘他著 成美堂 2023年 2600円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦労している受講生の方が少なくないのに気づかれます。昨年度は授業での聞き取りに時間を多く割くよう意識しましたが、不十分だった点もあったかと思います。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外での学習に時間を割くよう受講生の方に促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：アメリカ社会	
本間 章郎	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金4/Fri.4 単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Surfing in Japan	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Surfing in Japan	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: A New Beat	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: A New Beat	読解及び問題演習
第6回	Unit 9: Vintage Office Gear Making a Comeback During Pandemic	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: Vintage Office Gear Making a Comeback During Pandemic	読解及び問題演習
第8回	Unit 10: Virtual Tutors	リスニング及び内容理解

第9回	Unit 10: Virtual Tutors	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: Thanksgiving	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: Thanksgiving	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: You've Got a Friend	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: You've Got a Friend	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6 (CBS ニュースブレイク 6)

熊井信弘他著 成美堂 2023年 2600円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦勞している受講生の方が少なくないのに気づかれます。昨年度は授業での聞き取りに時間を多く割くよう意識しましたが、不十分だった点もあったかと思います。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外での学習に時間を割くよう受講生の方に促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
English 3 I					
サブタイトル：身近なテーマから英語で発信					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金4/Fri.4			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
【到達目標】			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作るができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			13	プレゼンテーション 1	テーマに沿って書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
なし /No			14	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。学びを総括する。
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40％ 発表40％ レポート課題20％ 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル：身近なテーマから英語で発信					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金4/Fri.4			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			12	プレゼンテーション 1	テーマに沿って各自が書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			13	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。
【授業の進め方と方法】			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり/Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし/No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % レポート課題 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
English 3 I					
サブタイトル：身近なテーマから英語で発信					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 5/Fri.5			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
【到達目標】			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。			13	プレゼンテーション 1	テーマに沿って書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			14	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。学びを総括する。
あり/Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし/No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40％ 発表40％ レポート課題20％ 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル：身近なテーマから英語で発信					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
【到達目標】					
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			
			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
			12	プレゼンテーション 1	テーマに沿って各自が書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
			13	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。
			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 % 発表 40 % レポート課題 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：アメリカ社会		
本間 章郎		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 5/Fri.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: Young Boy Seeks to Spend His Love of literacy	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: Young Boy Seeks to Spend His Love of literacy	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: Graduation Day Surprise	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: Graduation Day Surprise	読解及び問題演習
第6回	Unit 3: A Mission to Help the Homeless	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 3: A Mission to Help the Homeless	読解及び問題演習

第8回	Unit 4: Fly Me to the Moon	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: Fly Me to the Moon	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: A Man on the Bench by the Beach	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: A Man on the Bench by the Beach	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: COVID Vaccine Inequalities	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: COVID Vaccine Inequalities	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅まで済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6 (CBS ニュースブレイク 6)
熊井信弘他著 成美堂 2023年 2600円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦労している受講生の方が少なくないのに気づかれます。昨年度は授業での聞き取りに時間を多く割くよう意識しましたが、不十分だった点もあったかと思います。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外での学習に時間を割くよう受講生の方に促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Surfing in Japan	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Surfing in Japan	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: A New Beat	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: A New Beat	読解及び問題演習
第6回	Unit 9: Vintage Office Gear Making a Comeback During Pandemic	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: Vintage Office Gear Making a Comeback During Pandemic	読解及び問題演習
第8回	Unit 10: Virtual Tutors	リスニング及び内容理解

第9回	Unit 10: Virtual Tutors	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: Thanksgiving	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: Thanksgiving	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: You've Got a Friend	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: You've Got a Friend	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6 (CBS ニュースブレイク 6)

熊井信弘他著 成美堂 2023年 2600円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦勞している受講生の方が少なくないのに気づかれます。昨年度は授業での聞き取りに時間を多く割くよう意識しましたが、不十分だった点もあったかと思います。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外での学習に時間を割くよう受講生の方に促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA（英語 / English language education 200）		
英語 7		2017年度以降入学者
深谷 公宣		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA先での授業に向け、英文読解力の伸長をはかる。社会的に議論を呼んでいる題材を取り上げ、精読を主眼としつつ、スキミング、スキニング、推論など、さまざまな読みの技術を高める。

【到達目標】

- ・社会問題についてのまとまった英文を丁寧に読むことができる。
- ・社会問題についてのまとまった英文を素早く読み、情報を把握できる。
- ・読んだ英文について自分の意見をまとめ、英語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

（１）予習：

- ・教科書に掲載されたふたつの英文に目を通す。
- ・宿題として指示された演習問題を解く。

（２）授業：

- ・宿題の答え合わせ
- ・分量の多いふたつ目の英文を数文ずつに分けて学生に割り当て、順に音読・訳読
- ・教員が、質疑による理解度の確認、関連事項の補足説明をおこなう。
- ・教科書の演習問題をおこなう。

（３）課題：

- ・授業中に終わらなかった演習問題を宿題とする。
- ・単元が終わるごとに、教科書のライティング課題を提出する。

（４）フィードバック：

- ・（２）に記載の通り、その日取り上げた英文について、教員から質疑や補足説明をおこなう。
- ・（３）で提出したライティング課題について、添削の上、後日返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方とスケジュールの確認 ・『リスニング・ハンドブック』の使い方の確認
2	Unit1: A World of English	1. The Wonder of Language 2. An English Speaking World
3	Unit2: Disappearing Languages	1. The Rise and Fall of Languages 2. The Killer Language
4	Unit3: Where Are All Babies?	1. Population Pyramids 2. Fewer and Fewer Babies
5	Unit4: Our Crowded Earth	1. Population Growth 2. Exploding Population
6	Unit5: The Price of Excellence	1. Sports and Competition 2. The Search for Speed
7	Unit6: Do Great Athletes Deserve Great Salaries?	1. The Economics of Sport 2. Salaries of Top Sportspeople

8	Unit7: The Inconvenient Truth of Climate Change	1. What is Global Warming? 2. Hotter and Hotter
9	Unit8: The Global Warming Myth?	1. The Meaning of Myth 2. The Myth of Global Warming?
10	Unit9: Changing Ideas of Beauty	1. Beauty 2. What is Beauty?
11	Unit10: Is Beauty Skin Deep?	1. Improving on Nature? 2. The Never-Ending Desire for Beauty
12	Unit11: Vegetarianism	1. A Vegetable Diet 2. Vegetarianism: The Healthy and Moral Choice
13	Unit12: Animals as Food	1. Meat Made Man 2. Animal Slaves
14	授業内試験	試験と授業のまとめ、解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・教科書の予習をしたうえで授業に臨んでください。
- ・宿題として指示された演習課題に取り組んでください。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Charles Browne, Brent Culligan, and Joseph Phillips. In Focus 2. 金星堂、2024年. 2700円. ISBN: 978-4-7647-4194-2.

【参考書】

授業のなかで指示します。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点：30%（授業内での発言から、予習や演習問題における取り組み姿勢を評価）
- ・提出物：30%（全6回のライティング課題を指示通りに作成し、期日までに提出できているかを評価）
- ・学期末試験：40%（長文読解問題等によるテストを実施し、学期中に学んだリーディング・スキルの習熟度を評価）
- ・4回以上欠席した受講者は単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

- ・Course outline: This course aims to improve students' reading skills so they can prepare for the SA program. The texts we read are mainly about social issues currently being debated.
- ・Learning Objectives: Close reading will be the main focus of the class, but other skills should be enhanced, such as skimming, scanning, or making inferences.
- ・Learning activities outside of the classroom: Preparation for exercises in the textbook. Additional tasks will be assigned.
- ・Grading Criteria/Policy: In-class activity 30%, Assignments 30%, Final Examination 40%. In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA前に「英語を読むこと」を中心にした最後の授業になるので、移民や多文化主義について書かれた論説文の講読を行う。これらの教材は英語学習者用に書かれたものではないが、専門的な内容を扱う割には平易に書かれている。この授業によって、専門的な内容のものでも読めるという自信をSA前に身につけてもらいたい。また、読み取った内容を英語で表現する練習も取り入れる。英語圏SA先の社会は多様な人種背景をもった人々で成り立っているため、異文化体験を意義あるものにするためにも、こうした社会について、きちんとした基礎知識を身につけてほしい。

【到達目標】

学生は、簡単な英語で書かれたものであれば、専門的な内容でも読めるようにする。

専門的見地から書かれた論点を批判的にくみ取り、自分の意見を英語で表現できるようにする。英語運用能力の強化はもちろんとして、SA前の学生が身につけるべき国際社会についての基礎知識の獲得も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

段落ごとに内容を日本語で要約する。難しい内容や表現の箇所については訳読も取り入れて理解を促す。また、読み取った内容を基に自分の意見を英語で表現するための演習も取り入れる。

提出された課題のフィードバックは授業中だけでなく、学習支援システム(Hoppii)を通じて行う。

授業方法の変更はHoppiiで周知する。そのため、受講生は授業日の朝にHoppiiを確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業テーマの確認をする。
第2回	移民の歴史	移民の歴史について書かれた論説文を読む。
第3回	移民と現代社会	移民と現代社会の多様ななかかわりを考える。
第4回	強制移住とは	強制移住の定義と歴史を考える。
第5回	自発的な移民とは	自発的な移民の特徴を考える。
第6回	グローバリゼーションと移民	移民とグローバリゼーションの関係を考える。
第7回	グローバリゼーション下の移民と多様性	グローバリゼーションと多様性の関係を考える。
第8回	移民と経済発展	移住先の国の開発・経済発展と移民の関係を考える。
第9回	移民と開発支援	移民の出身国の開発支援と移民の関係を考える。
第10回	欧州と移民	欧州における非合法移民を考える。
第11回	アメリカと移民	アメリカにおける非合法移民を考える。
第12回	難民とは	難民の現状と定義を考える。
第13回	難民と統合	亡命先社会への難民の統合と課題を考える。

第14回 学期のまとめ

学習した内容の復習とまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の復習を重視する。

有用と思われる資料を紹介した場合には、その読解や視聴を行ってから授業に出席すること。

リスニング・ハンドブックに掲載のサイトを指定するので、各自でリスニングの練習をすること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布する。

必ず英和・和英辞書を持参して、授業に参加すること。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を70%、授業内に課した課題を含む平常評価を30%とする。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

授業中にパソコン、タブレット、スマートフォンを使用することは固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の英語力に配慮しながら、進む速度を調整することがある。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 Since English 7 is the final course focused on developing reading skills before students embark on their Study Abroad programs, emphasis will be placed on reading articles related to immigration and multiculturalism. The selected materials are academically written but appropriate for students' proficiency level. Reading academic texts will help students build confidence in their reading skills. Additionally, students will practice summarizing articles to enhance their comprehension and analytical abilities.

As students will be studying abroad in multiethnic countries, this course also aims to equip them with knowledge of key cultural and social aspects of their host countries, ensuring a more enriching Study Abroad experience.

【Learning Objectives】

Students will be able to read academic content on immigration and multiculturalism, provided it is written in clear and accessible English.

Students will develop the ability to critically assess arguments presented from a professional perspective and express their own opinions in English.

In addition to improving their English language skills, students will acquire fundamental knowledge of international society, which is essential for pre-Study Abroad preparation.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Before each class, students are expected to read the assigned articles. A minimum of one hour of preparation is required for each session.

【Grading Criteria】

Term-End Examination: 70%, In-Class Participation: 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

異文化コミュニケーションに関わるさまざまな知識や考え方を学びながら、SAに必要な英語力、とくに「読む力」をつける。

【到達目標】

1. 英文を、一語ごとに立ち止まることなく、意味のかたまり（句や節）を意識しながら一定の速度で読むことができる。（フレーズ・リーディングの習得。）
2. パラグラフの構造・構成を意識して長文を正確に読み、内容を的確につかむことができる。（パラグラフ・リーディングの習得。）
3. 読んで理解できる英文を、聴解できる。
4. 読んで理解できた英文を、日本語・英語の両方で要約できる。
5. 異文化コミュニケーションへの理解を深めることを通じて、SA先でコミュニケーションを円滑に行うための心構えができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書本文の内容の理解を深め、本文に出てきた英語表現を身につけることを目的として、本文・練習問題に関するグループワークや質疑応答を行う。

各授業の最後に、理解を確認する小テストを実施し、翌週フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション/ Unit 1	授業について。SAに向けての英語・各国文化事情などの勉強について。『英語リスニング・ハンドブック』などを利用しての日常的な自習について。/ Intercultural Communication in Today's World
2	Unit 2	English for Intercultural Communication
3	Unit 3	Important Features of Human Communication
4	Unit 4	The Concept of Culture
5	Unit 5	Language and Thought
6	Unit 6/Unit 7	Communication Styles/ Human Psychology and Communication
7	復習・復習試験（1）	前半：これまでの復習、補足。 後半：復習試験（Unit 2～5）。
8	Unit 8	Speech Acts across Cultures
9	Unit 9	Stereotypes and Intercultural Communication
10	Unit 10	Cultural Accommodation in Intercultural Communication
11	Unit 11	Intercultural Communication in Higher Education
12	Unit 12	Study Abroad and Intercultural Adaptation

- 13 復習・復習試験（2） 前半：復習、補足。後半：復習試験（Unit 8～12）
- 14 Unit 13、補足
前半：Intercultural Competence for the Future /
後半：SAに向けての補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 準備学習は必須である。最低限、
- (1) 本文を読み、不明点を洗い出す
 - (2) 本文の音声（教科書に付属のCD）を用いて、聴解・朗読ができるようにする
 - (3) 練習問題を解くことが必要。

付属のCDのナレーションは、アメリカ (Unit 1,5,9,13)、イギリス (Unit 2,6,10)、カナダ (Unit 3, 7, 11)、オーストラリア (Unit 4, 8, 12) の4か国のネイティブスピーカーが担当している。予習の際に活用し、各SA先で使われる英語の違いに親しんだり、自分のSA先の英語に耳を慣らしたりしてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Troy McConachy、古家聡、櫻井千佳子共著、『Intercultural Communication for English Language Learners in Japan（英語学習者のための異文化コミュニケーション）』南雲堂。

【参考書】

大学～一般向けの英和および英英辞書、各1点以上。

いずれも各自の好みで選んで構わないが、用例を豊富に載せているものを1点は使用すること。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストやレポート）28%、および復習試験（2回）72%の総合評価。

4回以上欠席の場合、単位を与えない。

遅刻や授業態度の不良については、頻度や程度に応じて、総合点から減点する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

・ペア／グループワークを効果的に取り入れ、学生同士で学び合えるようにすることが重要である。

【学生が準備すべき機器他】

・毎回、端末デバイス（PC、タブレット等）とイヤホンを持参してください。授業内で実施する小テスト、リスニング等に使用します。
・「オンライン実施」の授業は、Zoomを利用します。大学の教室で受講する際は、ハウリング防止のためヘッドセットを持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of English 7 is to further develop students' reading ability in preparation for their SA programs in English-speaking countries. Students will also be introduced to various academic approaches to intercultural communication, thereby conceiving their own ideas about how to communicate with people from different cultures.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills and attitudes mentioned above, mainly through practicing phrase reading, paragraph reading, summarizing and commenting on the reading passage of each unit.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises. ※ Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and/or after each class.

Grading Policies: Grading will be decided based on short review tests and a short report (28%), and the mid-term and term-end exams (72%). ※ In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについての英文を素早く正確に読む力を養います。授業内でのリーディングの練習の他に、SA英語圏留学の際に生かせるように、情報収集と意見を述べることに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. テキスト内の英文を素早く正確に読解することが出来るようになる。
2. 既習事項を踏まえ、テキスト以外の様々なトピックについての英文を可能な限り速く読み、内容を正確に把握出来るようになる。
3. テキスト内の語彙や表現を理解し、情報収集や表現をする際に使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では1回につき1つのChapterを進めていきます。1つのChapterは、「Pre-reading Preparation」「Vocabulary」「Reading Analysis」「Information Organization」「Short Summary」「Critical Thinking」で構成されています。流れとして、まずは予習範囲である「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の確認を行います。次に、Appendix 1にある「Full Passage」を読み、その後、「Reading Analysis」に沿って段落ごとに理解を深めます。授業後は、授業で学習したことの確認とリーディングスキルの向上のための復習をしてください。授業中には、素早く正確に読解できるようになることを目指しますので、リーディングにかかった時間を記録していきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、小テストを行います。また、リスニング・ハンドブックで紹介されているサイトを使った課題を出します。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生または全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の理解、アクティビティー
2	Chapter 1: The Birth-Order Myth	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
3	Chapter 2: My Husband, the Outsider	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
4	Chapter 3: Hop, Skip ... and Software?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
5	Chapter 4: Highs and Lows in Self-Esteem	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
6	Chapter 5: Who Lives Longer?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント

7	Chapter 6: Are Gifted Children Born or Made?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
8	Chapter 7: Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
9	Chapter 8: Wilder Places for Wild Things	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
10	Chapter 9: Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
11	Chapter 10: Matters of Life and Death	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
12	Chapter 11: Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
13	Chapter 12: Saving Her Sister's Life	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
14	まとめ・期末テスト	リーディングや語彙に関するテストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、予習として授業前に「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の解答を行います。授業後には、既習Chapterの語彙、文法、読み方のポイントを復習し、音読も行いましょう。

【テキスト（教科書）】

テキスト名：Reading Dynamics – Skills for Academic Success
 編著者：山科美和子/横山三鶴/沖野泰子
 出版社：Cengage Learning
 出版年：2016年
 価格：2200円＋税
 ISBN: 9784863122871

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点30%（授業中の活動・小テスト）
2. 課題20%（リーディング、「リスニング・ハンドブック」）
3. 期末試験50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻（授業開始時刻から10分を超える場合）で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。
- ・テキストの音声はダウンロード形式（無料）です。テキストの7ページに案内がありますので、テキスト購入後にダウンロードをしてください。
- ・「リスニング・ハンドブック」をいつでも参照できるようにしておきましょう。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて、または授業支援システムを通して受け付けます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire skills for reading accurately and fluently based on several daily and modern social topics in English. It also enhances students' vocabulary knowledge needed to gather information and express their ideas. It will help students prepare for assignments when studying abroad.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to read passages quickly and accurately in the textbook.
2. Based on what students learned, they will be able to read and understand passages on several topics at an advanced level outside of the textbook.
3. Students will be able to understand all the vocabulary and expressions in the textbook, and use them when they gather information or express their ideas.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should prepare for class and review what they have learned in one hour. Before class, students have to answer “Pre-reading Preparation” and “Vocabulary” in the textbook. After class, students have to review the vocabulary, grammar, and reading tips they learned, and practice reading the passage they read in the classroom out loud.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
 2. Assignments (Reading and “Listening Handbook”) 20%
 3. Final test 50%
- ・ Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - ・ If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - ・ Students should show proof of their delay and absence.
 - ・ Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will get a black mark.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

衣笠 正晃

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語圏SA留学での授業履修に求められるレベルの英語力を「読む力」を中心に身につけることを目的として、現代社会の諸問題を取り上げた英文（論説文）を読み進めます。

【到達目標】

- 1) まとまった量の英文を限られた時間のなかで読み、構成を踏まえつつ内容情報を正確に整理・把握する力を身につける。
- 2) 多様な話題についての英文を通じて、英語圏をはじめとする世界の情勢を理解するとともに、日本について語るために必要な知識や視点を身につける。
- 3) 情報収集や意見表明、議論のために必要な、大学生にふさわしいレベルの英語語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では、英文を逐語的に日本語に置き換えるのではなく、英語のままでその論旨・内容を把握することに重点を置きます。毎回の授業の主な構成は以下の通りです。

- 1) 前回の復習とその回の予習の確認（小テスト／口頭）。
- 2) テキストのパラグラフごとの内容、重要表現の確認（担当者はアトラダムに指名します）。
- 3) 授業内容の理解の確認・練習問題（小テスト／口頭）、書き取り。
- 4) 授業内容についての討議、リアクションシートへの（感想・質問の）記入。

なお必要に応じてテキストを補完するためのプリントを配付・使用することがあります。またリアクションシートのコメント・質問には授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画の説明+ Art Therapy (Unit 1)前半の講読
2	癒しとしての芸術	Art Therapy (Unit 1)後半の講読
3	フィクションと科学技術	From Sci-Fi to Reality (Unit 2)の講読
4	労働力の流出と流入	Exporting Labor (Unit 3)の講読
5	地球環境の諸問題	Celebrating the Earth (Unit 4)の講読
6	人格の成長と成熟	Kidults (Unit 6)の講読
7	中間試験+食糧と遺伝子工学	筆記による試験+ Genetically Modified Foods (Unit 7)の講読
8	有名人によるマーケティング	Empires of the Stars (Unit 8)の講読
9	異文化と対人関係	Cross-Cultural Friendship (Unit 10)の講読
10	国際犯罪への対策	Maritime Piracy (Unit 12)の講読
11	アイデンティティと恋愛	The Science of Love (Unit 13)の講読
12	経済格差が生む困窮	The Homeless (Unit 14)の講読
13	グローバル化と通貨	A World Currency? (Unit 15)の講読
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験+学期授業内容の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回とも次のとおり。

- 1) 指定された箇所の予習。まず導入問題を解き、Reading Passageの文章全体を時間を測って読み、大意を把握する。つぎに内容確認問題を解く。再度テキストを読み、理解できなかった語句・表現を調べ、発展問題に答える。最後にもう一度確認のため通読する。（大意把握、細部確認、再確認と、都合最低3回はテキストを読む）。また内容理解に必要な情報を自主的に収集する。
 - 2) 発音・イントネーションの確認。テキストの音声ファイルを利用して音読練習をおこない、語句のアクセントなどを確認する。またニュースサイト等を利用したリスニング練習をおこなう。
 - 3) 授業を終えた箇所の復習。テキストを再度読み、内容と理解度を確認する。
 - 4) 課題（パラグラフライティングなどを含む）については、期日までに作成・提出する。
- なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett (著) *Reading Fusion 2* (2nd Edition) (リーディング・フュージョン 【改訂新版】) (南雲堂、2024年) 本体2,400円
※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

参考書・辞書については、随時授業中に紹介します。英英辞典が必要となります。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加度、課題、小テストなどによる。50％）、試験（中間および期末。50％）をあわせて評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。

- 1) 英文をスピーディーに読むなかで、その構造・論旨を正確に把握できているか。
- 2) 現代の国際社会における諸問題とその背景についての知識・関心を深めているか。
- 3) 情報収集や意見表明、議論に欠かせない、一定レベルの語彙が習得できているか。

欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

履修者が自主的に課題に取り組めるよう、予習についての指導や、質問を受けての問題共有や解説を一層充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や提出物の回収、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】

- ・初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
- ・出席者の状況に合わせて、進度や読むユニットの順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。
- ・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、かならず遵守してください。

【Outline (in English)】

This course is intended to provide students with the minimal academic English (especially reading) skills needed during their study abroad, through reading articles written on various topics in today's world. The goals are to attain a high-intermediate to high level of reading comprehension, to obtain basic knowledge on global social issues, and to acquire university-level vocabulary. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (50%) and regular examinations (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

最新の英米の新聞記事・論説から、英語圏で起きていること、そして英語圏から見た日本を含むアジアを読み解く。

【到達目標】

(1)ただ事実を報じた記事ではなく、論説などの英文を正確に読み、筆者の意見を把握すること、(2)それに対して自分で論評を加えられるようになること、(3)英語圏のメディアがアジアをどのように見ているかを知っておくこと。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	ウォームアップを含めて授業の内容説明、ニュース英語のリスニング。
2	"The Guardian view on lifting lockdown: we need cohesion, not division" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
3	"Brewers furious at 'nanny state' plan to put calorie count on beer in pubs" (<i>The Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
4	"The Guardian view on football's failed super league: hit back hard" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	プレゼン、英語ニュースのリスニング。

6	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"The Guardian view on declining birthrates: there may be trouble ahead" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	プレゼン、英語ニュースのリスニング。
10	"The Guardian view on inflation: the revival that's nothing like the 1970s" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the super-rich: a billion reasons for a wealthy tax" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
12	"Being the Queen sure has its ups and downs..." (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	プレゼン、英語ニュースのリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用する記事は新しいものをその都度指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社、1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生が英語および記事内容を身近に感じられるよう丁寧な説明を心がけます。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn what is happening outside Japan and how Japan is regarded from the outside through the latest articles of UK or US news media.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容をコンパクトにまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容をコンパクトにして説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として毎回の授業で1つの記事というペースで進めることを目標とします。記事毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方と評価の方法の説明をします。
第2回	Is it in your blood?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第3回	An unpunished crime	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第4回	Extensive reading Q &A with Julian Bamford	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第5回	Money matters	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第6回	Is netspeak harming the English language?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第7回	試験・まとめと解説（中間）	試験・まとめと解説
第8回	Language and the world	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第9回	Population crisis	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第10回	The greatest show on earth	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第11回	Consumer beware: advertising techniques	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

第12回	For an effective interview	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説（期末）	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス. (¥2,600円＋税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(70%)

平常点および課題 (30%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 30%, Exam 70%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES O ESSEX

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月3/Mon.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは、英語の短編小説を題材にした課題を出します。毎週、学科のライティング・ハンドブックと並行して、異なる英語短編小説を取り上げます。英語のパラグラフやエッセイをより上手に書けるようになるための指導を行います。

【到達目標】

The primary goal of this course is for students to become better writers of English academic writing (paragraphs and essays). The second aim is for students to gain a better understanding of and appreciation for, English short stories. Such short stories will provide the stimuli about which students' paragraphs and essays will be composed.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This class will be a mix of lecture and group discussion. Although the language of the lectures is English, the professor will explain clearly and concisely to ensure students' maximum understanding. The professor will also use Powerpoint slides. Feedback on assignments/performance etc will be provided either in written or verbal form in the classroom, or through Hoppii.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容			
1 of 14	Orientation The Writer's Handbook	- Course explanation and overview - Explanation of key terms: plot, character, setting, theme and style. - Introduction to reading strategies for English short stories. - Brief introduction to the history of the short story. Homework in preparation for next class: Read "The Gift of the Magi" by O. Henry.	3 of 14	Character and Characterisation: Analyse characters and methods of characterisation. The Writer's Handbook	- Discuss "A Good Man is Hard to Find". - Explanation of character types: protagonist, antagonist, flat, round, dynamic, static. - Group activity: Character analysis of the main characters. Homework in preparation for next class: Read "Harrison Bergeron" by Kurt Vonnegut.
			4 of 14	Setting and atmosphere: Explore the importance of setting and atmosphere in a short story. The Writer's Handbook	- Discuss "Harrison Bergeron". - Explanation of setting, time, place, social environment. - Group activity: Analyse the setting and atmosphere of Harrison Bergeron. Homework in preparation for next class: Read "The Lottery" by Shirley Jackson.
			5 of 14	Theme and symbolism: Identify and interpret themes and symbols. The Writer's Handbook	- Discuss "The Lottery". - Explanation of theme and symbolism. Group activity: Identify themes and symbols in "The Lottery". Homework in preparation for next class: Read "The Yellow Wallpaper" by Charlotte Perkins Gilman.
			6 of 14	Point of View and Narration: Understand different points of view and their effects. The Writer's Handbook	- Discuss "The Yellow Wallpaper". - Explanation of narrative perspectives: first person, third person (limited, omniscient). - Group activity: Analyse the narrative perspective of "The Yellow Wallpaper". Homework in preparation for next class: Read "Cathedral" by Raymond Carver.
			7 of 14	Style and Tone: Analyse the author's style and tone. The Writer's Handbook	- Discuss "Cathedral". - Explanation of style and tone. - Group activity: Examine style and tone in "Cathedral". Homework in preparation for next class: Read "Everyday Use" by Alice Walker.
2 of 14	Plot and Structure: Understand plot and narrative techniques. The Writer's Handbook	- Discuss "The Gift of the Magi". Explanation of plot elements: exposition, rising action, climax, falling action, resolution. - Group activity: Create a plot diagram for "The Gift of the Magi". Homework in preparation for next class: Read "A Good Man is Hard to Find" by Flannery O'Connor.	8 of 14	Literary Analysis Techniques: Apply literary analysis techniques to short stories. The Writer's Handbook	- Discuss "Everyday Use". - Explanation of literary analysis techniques. - Group activity: Conduct a literary analysis of "Everyday Use". Homework in preparation for next class: Read "A Very Old Man with Enormous Wings" by Gabriel Garcia Marquez.
			9 of 14	Historical and Cultural Contexts: Understand the influence of historical and cultural contexts on short stories, The Writer's Handbook	- Discuss how historical and cultural contexts shape short stories. - Case study: "A Very Old Man with Enormous Wings" Homework in preparation for next class: Read "The Tell-Tale Heart" by Edgar Allan Poe.

10 of 14	Psychological and Social Themes: Analyse psychological and social themes. The Writer's Handbook	- Discuss "The Tell-Tale Heart". - Exploration of psychological and social themes. - Group activity: Analyse the psychological themes in "The Tell-Tale Heart". Homework in preparation for next class: Review your lecture notes
11 of 14	Review, consolidation and wrap-up. The Writer's Handbook	Students will be given the opportunity to review the week's lectures, and their corresponding class notes in preparation for the final report.
12 of 14	Essay topic selection and type (compare/contrast, definition, narrative etc)	Students will be guided in deciding a theme for their essay (in response to one of the short stories read this semester), and its type
13 of 14	Work on essays.	Students will be given time to work on their essays.
14 of 14	Final submission	The purpose of the final report, like most courses, is the student's chance to demonstrate their knowledge and understanding. Please note students may be expected to apply their knowledge and understanding to stories not previously covered in this course. The aim of the course is not to understand the selected stories inside out, but to gain a deeper understanding and appreciation of short stories in general.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will be assigned every week, and students are expected to spend a minimum of one hour/week on this. This homework will both help to prepare students for the subsequent lesson and help them to consolidate their knowledge and understanding of the previous lesson. In addition, students are expected to review their class notes each week.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required: materials will be provided either through Hoppii or distributed in the classroom.

【参考書】

No reference books are required.

【成績評価の方法と基準】

Participation 50%

Essay 50%

Please note 4% will be deducted for every class you are unable to participate in. Please note also that medical receipts/doctors' letters etc do not excuse absences, they merely explain them. Students will be unable to pass the class if they are absent 4+ times (for any reason).

To ensure objective grading, a rubric will be used.

【学生の意見等からの気づき】

Following student comments and feedback from previous summer intensive courses and personal reflections, I have overhauled my syllabus and made improvements.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to prepare:

- a notebook specifically for this class

- a pen or pencil

- a dictionary (preferably not a smartphone app)

【その他の重要事項】

Students are discouraged from using AI tools for understanding the stories in this class, and for completing homework assignments.

Many students automatically sit at the back of the room. I plan on using the projector intensively. Please sit where you can see the screen easily (and I can see you!).

Above all, I hope you enjoy my course, and that you can take something away from it that will benefit you long after you complete it.

【None】

No pre-requisite.

【Outline (in English)】

The written assignments you complete in this class will be in response to English short stories. Each week, students will look at a different English short story, alongside the department's writing handbook. Instruction will be provided that enables students to become better writers of English paragraphs and essays.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Mysterious phenomena	Presentations about a mysterious phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2500 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.

10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on assignments and class participation (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Mysterious phenomena	Presentations about a mysterious phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2500 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

DANIEL G DUSZA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will enhance their abilities in the following.

1. Discuss various issues systematically with peers in order to gather a variety of perspectives and understand them with more clarity.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding using various means of communication (i.e. Human, ICT, and AI).
3. Produce both spoken and written artifacts for social and academic purposes.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Class Orientation Discussion	Explanation of the course and required study methods Homework: Discuss and Describe 3 People

Week-2	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-1: News	Summarize a Breaking News English stories
Week-3	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-2: News	Summarize a Breaking News English stories
Week-4	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-3: News	SUMMARISING TEST Summarize a Breaking News English stories
Week-5	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-1: Debate Topics	Team reading and discussion about global topics Homework: Make a presentation from Q&A
Week-6	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-2: Debate Topics	Same as above and Making a strong start
Week-7	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-3: Debate Topics	Same as above and Managing the Q&A like a pro.
Week-8	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-4: Debate Topics	WRITING TEST Same as above and Nailing the closure
Week-9	Unit 3: Communicating Information Writing from Discourse-1	Prepare two processes (directive & descriptive) Homework: Write both Essays
Week-10	Unit 3: Communicating Information Writing from Discourse-2	Using a rubric to review peers essays and offer feedback
Week-11	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/ Presentation - Introduction	Discuss the topic of interest with peers Discuss opinions Start writing
Week-12	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/ Presentation - Support	Discussion about the ways that commercials affect our lives
Week-13	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/ Presentation - Counter Arguments	Discussion about sources of information about the world

Week-14	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/ Presentation - Nailing the Summary/ Conclusion/ Recommendation	FINAL ESSAY Write a 2 page essay discussing your knowledge and opinion about a recent news event

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required to be purchased. Readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 1. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-667-7 93740

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 2. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-668-4 93740

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 3. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-669-1 93740

【成績評価の方法と基準】

Grades are determined as follows.

Class preparation, participation, and presentation for the following.

1. Breaking News English discussion and summaries (30%)
2. Progressive Debate discussion and summaries (30%)
- Communications skills in social and academic setting based on a rubric of achievements for the following.
3. Descriptive Essay from interviews and research (10%)
4. Process Essay for international presentations (10%)
5. Topic Based Essay/Presentation (20%)

In principle, up to three(3) absences per semester are permitted. Students should ensure that absences do not impact collaboration or participation. Late submissions of assignments will be penalized 10%for each day late.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork, homework, and essays on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(100%- 90%)

A(89 - 80%)

B(79 - 70%)

C(69 - 60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59%and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

DANIEL G DUSZA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will enhance their abilities in the following.

1. Discuss various issues systematically with peers in order to gather a variety of perspectives and understand them with more clarity.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding using various means of communication (i.e. Human, ICT, and AI).
3. Produce both spoken and written artifacts for social and academic purposes.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Class Orientation Discussion	Explanation of the course and required study methods Homework: Discuss and Describe 3 People

Week-2	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-1: News	Summarize a Breaking News English stories
Week-3	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-2: News	Summarize a Breaking News English stories
Week-4	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-3: News	SUMMARISING TEST Summarize a Breaking News English stories
Week-5	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-1: Debate Topics	Team reading and discussion about global topics Homework: Make a presentation from Q&A
Week-6	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-2: Debate Topics	Same as above and Making a strong start
Week-7	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-3: Debate Topics	Same as above and Managing the Q&A like a pro.
Week-8	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-4: Debate Topics	WRITING TEST Same as above and Nailing the closure
Week-9	Unit 3: Communicating Information Writing from Discourse-1	Prepare two processes (directive & descriptive) Homework: Write both Essays
Week-10	Unit 3: Communicating Information Writing from Discourse-2	Using a rubric to review peers essays and offer feedback
Week-11	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/ Presentation - Introduction	Discuss the topic of interest with peers Get their opinions Start writing
Week-12	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/ Presentation - Support	Discussion about the ways that commercials affect our lives
Week-13	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/ Presentation - Counter Arguments	Discussion about sources of information about the world

Week-14 Unit 4:
Communicating
Collected
Knowledge
Topic Based
Opinion Essay/
Presentation -
Nailing the
Summary/
Conclusion/
Recommendation

Write a 2 page essay
discussing your knowledge
and opinion about a recent
news event

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required to be purchased. Readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 1. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-667-7 93740

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 2. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-668-4 93740

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 3. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-669-1 93740

【成績評価の方法と基準】

Grades are determined as follows.

Class preparation, participation, and presentation for the following.

1. Breaking News English discussion and summaries (30%)
2. Progressive Debate discussion and summaries (30%)
- Communications skills in social and academic setting based on a rubric of achievements for the following.
3. Descriptive Essay from interviews and research (10%)
4. Process Essay for international presentations (10%)
5. Topic Based Essay/Presentation (20%)

In principle, up to three(3) absences per semester are permitted. Students should ensure that absences do not impact collaboration or participation. Late submissions of assignments will be penalized 10%for each day late.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork, homework, and essays on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(100%- 90%)

A(89 - 80%)

B(79 - 70%)

C(69 - 60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59%and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will learn to process readings to know the main points, suitable contrasts to discuss relevant issues related to the reading, and how to look for additional resources to help them better understand any hidden cultural elements that may influence interpretation of the text. Students then will improve writing summaries and related essays for the readings.

【到達目標】

The primary aim is to prepare students for functioning abroad in a primarily English only environment. Students will be prepped on using useful strategies for opening conversations as well as assessing what professors expect from the international students in their classes.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Face to face

Reading/writing in pairs

Reading for details and writing with details

Summarizing for groups

Mixed discussion

Mixed debate

Quick writing

Feedback will be provided through graded essay drafts (written with comments) and oral suggestions during quick free writing sessions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Galapagos	Examining the theory	looking at reasons for cultural failures
	multi-faceted cultural dividedness	
Culture and race	What are ethnic markers?- why they matter	What distinguishes people in multi-cultural societies
Learning in a vacuum	How education systems differ and what that means for those societies	Why educational differences color our views
Bargains	Negotiating for better terms- when and how	When should you negotiate
Heading to Mars	Why space is suddenly important^new horizons and new materials race	Why does other planets matter
Midterm Exam	Written questions	Exam
AI with us	Managing AI at work	How chat gpt and other AI affect us

Training	Why companies want certain workers	What are good worker qualities
Social media-beats or ally?	Is Tik Tok dangerous?	What does social media do when it's not social
Getting lost	Navigating cities worldwide- street smarts	Why street smart is important
Cultural mishaps	Why cultures sometimes collide?	What causes cultural conflicts and how to resolve them
Culture disappearing	Why are some cultures flourishing better than others?	Why some cultures die and others flourish
Odd hobbies	Is it okay to be an otaku?	What is extreme- fan vs fanatic
Final exam	Written exam questions	Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Not applicable, handouts will be given.

【参考書】

Websites will be provided.

【成績評価の方法と基準】

Tests 25%(12.5%midterm, 12.5%final)

Class participation - 50%

Homework - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A- teaching first time.

【学生が準備すべき機器他】

Pen and paper and binder for handouts

【その他の重要事項】

N/A

【Outline (in English)】

This course will allow students to obtain a strong base in intermediate to upper intermediate writing and discussion skills. Students will need these skills at their disposal when studying abroad: skimming, scanning, writing with details, summarizing, highlighting pros and cons of suitable alternative solutions, using word clusters, and paraphrasing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション I 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

【到達目標】

Students will practice the skills needed to make effective use of their voices to achieve more natural communication. Students will also practice speaking in "ideas" rather than words. The course will use TED Talks, BBC videos, generative AI and online English training applications and current news articles to enable students to become more effective and proficient in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. We will also practice speaking by making online presentations. All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Outline of course, grading criteria and class policies. Access Google Classroom
2	Unit 1: Technology	Introduction of technology Generative applications; Practice A++ to encourage longer speaking.
3	Technology	Discussions of Technology: Building on Original statements (BOOST)
4	Technology: Reading	BBC Articles - Transport systems. Practice different questions Yes/No/Key/Or
5	Technology: Presentation skills	TED Talk: Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills

6	Unit 3: Culture	Introduction of Culture related Vocabulary; Oral Practice A++.
7	Culture	Theme Discussions. Build on Original Statement. Introduce Ballad
8	Culture: Research a country	Theme-related topic study. Negative Questions and TAG questions. Prepare a short presentation on main elements of culture
9	Culture:	Presentation Skills: Present about another culture using presentation aids.
10	Unit 5: Beliefs	Introduce key vocabulary for Belief systems. Discuss beliefs and culture.
11	Beliefs	Practice pronunciation Listening and Shadowing. Prepare a short presentation. Continue Ballad
12	Beliefs	Make a short presentation about beliefs
13	Presentation	Make small Group Ballad presentation.
14	Review and Recap	Watch a TED Presentation and evaluate for Academic or Social Style.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Class preparation; There will be some short worksheet assignments designed to test the students' understanding of the ideas presented in the major themes of the course.

Students will be required to work in small groups to prepare a short presentation of a Ballad.

Students will be required to complete weekly assignments to practice English and increase their ability.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

To be issued during semester.

【成績評価の方法と基準】

In-Class Worksheets 30%

Small Group Presentation: 12%

Group/Pair/Class Participation 10%

Online Unit Tests: 12%

On-Line Tasks/Exercises: 12%

Word Puzzle: 10%

Online practice: 14%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

2022: Change of textbook from previous years.

2023: Use of generative AI applications in development of a presentation outline.

2024: Added weekly on-line practice (Duolingo)

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. (Smartphones are only acceptable in unusual situations.) Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition and generative AI software.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. Students will be required to join the subject using “Classroom”.

The Classroom Code for this subject will be advised via the university Hoppii system.

【Outline (in English)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and the use of rhythm and intonation to assist oral communication.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション II 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

【到達目標】

The goal of this course is to further enhance students' oral communication skills. Students will practice making both formal and informal presentations. Students will practice using punctuation to join and separate ideas and using gestures to emphasize ideas. Students will practice techniques to increase eye contact during online presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The level of the material should suit students at a pre-intermediate level.

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. Students will gain critical thinking skills through comparison of different articles on the same topic. Students will also practice presentation skills including gesture, voice control, eye contact, using notes and timing of presentation.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Welcome New Students. Review Semester 1, Ground rules, Study Centre.
2	Unit 7: The News	Introduction of Theme-Vocabulary; Oral Practice A++, Boost.
3	The News	Shadowing. Prepare a TV News presentation.

4	TED Talk - Julian Treasure	Small group presentation of Task from week 3. Analysis and Discussion of Presentation Skills.
5	The News	TED Talk: How to make people WANT to listen. Worksheet
6	Unit 9: Ecotourism	Introduction of Theme-related Vocabulary; Oral Practice A++ and Boost.
7	Ecotourism	Shadowing with Text Famous speech preparation.
8	Ecotourism	Presentation or Debate about Eco-Tourism. Famous speech Preparation
9	Academic style	Video Presentation TMWM. Analysis and Discussion; Presentation Skills
10	Unit 11: Environment	Introduction of Theme-related Vocabulary; Oral Practice A++, Boost
11	Environment	Environmental issues Discussions and Shadowing
12	Environment	BBC Articles - Soil and Water. Analyze video. Worksheet.
13	Famous speech	Presentation: Famous speech.
14	TED Talk - How not to be ignorant.	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Class preparation; There will be some short worksheet assignments designed to test the students' understanding of the ideas presented in the major themes of the course.

Students will be required to work in small groups to prepare a short presentation of a Ballad.

Students will be required to complete short weekly online assignments to practice English and increase their ability.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like it to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised during course.

【成績評価の方法と基準】

Writing a presentation outline: 10%

In-Class Worksheets: 20%

Presentations: 12%

Pair/Group Participation: 10%

On-Line Tests: 12%

On-Line Tasks/Exercises: 12%

Word Puzzle: 10%

On-line English practice assignments: 14%

In principle, no more than 3 absences are allowed in order to gain a Credit grade.

【学生の意見等からの気づき】

2023: Introduced generative AI to create a presentation outline.

2024: Introduced on-line English practice

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. (Smartphones are only acceptable in unusual situations). Students will be required to know their Hosei Gmail account details and check it every day. Students may use voice recognition software. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. The Classroom Code for this subject will be advised via the university Hoppii system.

【Outline (in English)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students' ability for person-to-person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including alternative meat products, transport technology and climate change.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション I 2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their oral communication skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and reading fluency.
2. Students will become more capable of participating in discussions, debates, and making presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The teacher will act as a facilitator, providing oral and written feedback on assignments, unit tests, and speaking tasks to help students successfully achieve the course goals.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Class orientation	Introduction to the course, students and teacher.
2	Unit 1 First Impressions	Features you look for when you meet someone.
3	Unit 2 Big or small?	Sharing ideas about living in a big city or a small town.
4	Unit Quiz. Unit 3 - The Good Language Learner	Units 1 & 2 quiz The pros and cons of living in another country.
5	Unit 6 What are friends for?	Things close friends do for each other.
6	Unit 7 What's for lunch?	Deciding which foods are healthy.
7	Unit Quiz. Mid-semester task preparation.	Units 3, 6 & 7 quiz.
8	Mid-semester speaking task	Mid-semester speaking task.

9	Unit 8 Your Online Past	Your digital literacy skills.
10	Unit 9 Taking Care of Father	Living with an older parent.
11	Quiz Unit 10 My Student Life	Units 8 & 9 quiz. Important reasons to go to university.
12	Unit 11 International Relationships	Good and bad things about international relationships.
13	Quiz Final speaking task preparation	Units 10 & 11 quiz Final speaking task preparation
14	Final speaking task	Final speaking task

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Impact Issues 2 (3rd Edition)
ISBN 9789813134386
Pearson

【参考書】

Worksheets
Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)
Mid-semester task (16%)
Homework completion /quizzes (45%)
Final task (25%)

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also use activities and tasks to expand their vocabulary and grammatical knowledge.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション II 2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is

for students who wish to practice and develop their oral communication skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and reading fluency.

2. Students will become more capable of participating in discussions, debates, and making presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The teacher will act as a facilitator, providing oral and written feedback on assignments, unit tests, and speaking tasks to help students successfully achieve the course goals.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Class orientation Speaking task	Introduction to the semester. Speaking and writing task: your summer vacation.
2	Unit 12 Create another future	Ways to save the environment.
3	Unit 13 Ben and Mike	How to deal with rumors.
4	Quiz Unit 14 Government Control	Units 12 &13 quiz How much control do you want in your life?
5	Unit 15 Ask Annie	Getting support for a big decision.
6	Unit 16 What makes you happy?	What makes a person happy?
7	Unit Quiz. Mid-semester task preparation.	Units 14, 15 &16 quiz.
8	Mid-semester speaking task	Mid-semester speaking task.
9	Unit 17 Who will help them?	Who needs help in your country, city or neighborhood?
10	Unit 18 Finding the Right One	Your ideal partner.

11	Quiz Unit 19 Dress for Success	Units 17 &18 quiz. What makes someone a good teacher?
12	Unit 20 A Mother's Story	Is capital punishment the right punishment?
13	Quiz Final speaking task preparation	Units 19 &20 quiz Final speaking task preparation
14	Final speaking task	Final speaking task

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Impact Issues 2 (3rd Edition)

ISBN 9789813134386

Pearson

【参考書】

Worksheets

Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)

Mid-semester task (16%)

Homework completion /quizzes (45%)

Final task (25%)

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also use activities and tasks to expand their vocabulary and grammatical knowledge.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュ I 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students gain confidence to communicate effectively in global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after

which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook Introduction
2	Unit 1: Pleased to meet you (1-6)	Introducing people Pages 7-10
3	Unit 1: Pleased to meet you (7-12)	Introducing people Pages 10-13
4	Unit 2: Who do you work for? (1-6)	Describing companies Pages 15-18
5	Unit 2: Who do you work for? (7-12)	Describing companies Pages 18-21
6	Unit 3: What do you do? (1-6)	Describing occupations Pages 23-25
7	Unit 3: What do you do? (7-12)	Describing occupations Pages 26-29
8	Unit 4: Can I leave a message (1-6)	Phone conversations Pages 31-34
9	Unit 4: Unit 4: Can I leave a message (7-12)	Phone conversations Pages 34-36
10	managing my time (1-6)	Describing time and schedules Pages 39-42
11	Unit 5: It's tough managing my time (7-12)	Describing time and schedules Pages 42-46

14	Unit 6 What do you call that thing? (1-6)	Talking about difficult words Pages 49-51
13	Unit 6 What do you call that thing? (7-12)	Talking about difficult words Pages 52-55
14	Student Pair Speaking Examination	Final Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge.

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュⅡ 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students gain confidence to communicate effectively in global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook Introduction
2	Unit 7: How much is that in Korean Won? (1-6)	Talking about money Pages 57-59
3	Unit 7: How much is that in Korean Won?(7-12)	Talking about money Pages 59-62
4	Unit 8: You need to download a form (1-6)	Giving instructions Pages 65-67
5	Unit 8: You need to download a form (7-12)	Giving instructions Pages 68-72
6	Unit 9: Do you like Indonesian food?(1-6)	Describing food Pages 75-77
7	Unit 9: Do you like Indonesian food?(7-12)	Describing food Pages 77-81
8	Unit 10: Do you have the sales figures? (1-6)	Working with large numbers Pages 83-86
9	Unit 10: Do you have the sales figures? (7-12)	Working with large numbers Pages 86-91

10	Unit 11: Make sure you keep all receipts (1-6)	Giving advice /Business trips Pages 93-95
11	Unit 11: Make sure you keep all receipts (7-12)	Giving advice /Business trips Pages 96-99
12	Unit 12 When's the trade fair? (1-6)	Describing future plans Pages 101-103
13	Unit 12 When's the trade fair? (7-12)	Describing future plans Pages 103-108
14	Student Pair Speaking Examination	Final Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr /ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュ I 2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から

確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To learn English (all four skills) for use in a professional (corporate) setting

【到達目標】

This is an intermediate to advanced (level 3-4) business English course that focuses on improving oral and written communication skills in a business setting (listening & speaking, writing practice). Reading short essays and writing memos and business correspondence will also be emphasized in this course, as well as vocabulary development.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be conducted entirely in English and in person. Students are expected to actively participate in classroom activities and discussions, and to give short presentations on business-related topics. Students should be prepared for class by doing the assigned reading and homework. Regular feedback will be given in class and by means of written assignments.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Self Introductions; explanation of course guidelines.
2	Living Abroad part 1	Reading and vocabulary practice—describe a local festival.
3	Living Abroad part 2	Small Talk: listening and conversation practice.
4	Living Abroad part 3	Case study: Global recruit. First writing assignment due.
5	Unit 2 Dealing with Customers	Reading and discussion: The shopping experience.
6	Dealing with Customers part 2: Using Polite Language	Listening and role play telephone customer service. Reading advertisements.
7	Dealing with Customers part 3—Business Correspondence	Handling e-mail complaints and making apologies.
8	Units 1 & 2 Review:	Midterm test
	Midterm test	

9	Unit 3: Operations— Lean Manufacturing	Reading and discussion: The Toyota Production System.
10	Unit 3 part 2: Trends and Planning	Company performance: reading and group assignment.
11	Unit 3 Part 3: Describing Company Performance	Student presentations
12	Unit 4: Case Study	Reading and discussion case study on the low cost air carrier (LCC) industry.
13	Unit 4 Review and Final Test	Unit review and final test,
14	Final Class: Wrap-up	Return tests. Feedback and discussion activities.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Homework is assigned every week and should take approximately 60 to 90 minutes. Students are expected to do the readings prior to the beginning of class and look up any unfamiliar vocabulary terms. Students will also do preparation for presentations outside of class.

【テキスト (教科書)】

Business Result Pre-intermediate: Student Book, 2nd edition, Grant/Hudson/Hughes; Oxford University Press.

【参考書】

Students should have a Japanese-English dictionary available (paper or electronic) for use in class.

【成績評価の方法と基準】

20%Attendance &Class Participation

30%Midterm &Final Tests

50%Presentations

【学生の意見等からの気づき】

The course will utilize more current issues and topics pertaining to the business world. Students are also encouraged to read business news and bring current topics into the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have access to a computer to prepare for presentations.

【その他の重要事項】

Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester. Coming late to class twice = one absence. Students who are absent more than 3 times without good reason will not receive credit for the course.

【Outline (in English)】

Students will learn about English used in international corporate settings. Special emphasis will be on speaking (presentations) and writing e-mails and short reports in formal English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュⅡ 2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The course emphasizes the learning and development of advanced English skills (reading, writing, speaking, listening) for use in a global professional (corporate) setting.

【到達目標】

This is an intermediate to advanced (level 3-4) business English course that focuses on improving oral and writing communication skills in a business setting (listening & speaking). Reading short passages and writing memos and business correspondence will also be emphasized in this course, as well as vocabulary development.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class is conducted entirely in English and in person. Students are expected to actively participate in classroom activities and discussions, and to give periodic presentations on business-related topics. Students should be prepared for class by doing the assigned readings and exercises in the textbook. Regular feedback is provided orally during class and through written assignments.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 4: Success Stories	Reading and discussion: Business leaders.
2	Unit 4: Success Stories Part 2	Vocabulary practice. First Writing assignment.
3	Unit 4: Success Stories Part 3	Speaking activity: Evaluating strengths and weaknesses.
4	Unit 5: Selling & Promotion	Reading and discussion: Advertising Spaces.
5	Unit 5: Selling Part 2	Student Presentations: developing an effective advertising campaign.
6	Unit 5: Selling Part 3	Speaking practice: Role play and Negotiating
7	Units 4 & 5 Review	Units 4 & 5 Review and Midterm Test
8	Unit 6 The Organization	Reading and discussion: Entrepreneurs
9	Unit 6 The Organization Part 2	Vocabulary and writing practice: types of companies; business meeting agendas.
10	Unit 6 The Organization Part 3	Writing Assignment #2 due: Business Plans

11	Unit 8: Going Global	Reading & Discussion: International Franchises
12	Going Global Part 2	Vocabulary and speaking practice. Opening a franchise.
13	Going Global Part 3	Final Student Presentations
14	Units 6 & 8 Review & Assessment	Presentation feedback. Final test and course wrap-up.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to come to class prepared, having read the assigned readings and studied any unfamiliar vocabulary terms. The University recommends students spend approximately 60 minutes on preparation each week for a one credit class. Students will need to spend additional time outside of class to do research and prepare for presentations twice each semester.

【テキスト (教科書)】

Business Result Pre-intermediate: Student's Book, 2nd edition, Grant/Hudson/Hughes. Oxford University Press.

【参考書】

Students should have a good Japanese-English dictionary (paper or electronic) that they bring to class every week.

【成績評価の方法と基準】

20% Attendance & Class Participation

30% Midterm and final tests

50% Presentations

【学生の意見等からの気づき】

The course will utilize more issues and topics pertaining to the world of business.

【学生が準備すべき機器他】

Audio-visual equipment will be used as appropriate.

【その他の重要事項】

Students are allowed up to three unexcused absences. Students who are late to class twice = one absence.

【Outline (in English)】

This class will teach students English skills used in international corporate settings. Students will have the opportunity to practice expressing themselves in spoken and written English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者
I

ウォルター カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (36)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Intro- duction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Sustain- able commu- nities I	Keeping the social peace	Examining social goals for societies. Exploring cultural bonds.
Sustain- able commu- nities II	Social peace	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts.
Dilemmas for a respon- sible tourist I	Tourists and value they bring to societies	How tourism affects our lives in both positive and negative ways.

DilemmasNew trends of
for a tourism
respon-
sible
tourist
IIProtectingProtecting our
world cultural artifacts
heritageI
ProtectingLooking at
world historical buildings
heritage and the events they
II showNo more Engineered food
Bananas and possible
I consequencesNo more Scientists develop
Bananas strains and their
II goalsBlowing Corruption and its
whistles problemsI
Blowing Witness to
whistles government wasteII
Breaking Bad laws
the law IBreaking Well meaning laws
the law ISummary Taking at look at
useful words
learnedPonder tourism negatives and
positive outcomesHow buildings are preserved
and design shows our historyWhy are these buildings
important for remembering
history?Quiz 1
Researching food sources and
why variety is important
Science and its end goals and
how they might ruin our
healthLooking at corporate
problems and how difficult
they are to solve
Trying to eliminate wasteExamining when do you have
an obligation to protestQuiz 2
Researching laws that don't
cover all circumstances
Reviewing useful vocabulary
and its parameters

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Some reading and vocabulary review.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Issues that matter - Kinseido

ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 70%

Homework 30%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

English to English dictionary or web dictionary, paper, smartphone or PC

【その他の重要事項】

Contact email
walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者 II

ウォルター カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (36)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will acquire discussion skills to handle discussions about economic, political, and current events topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Intro- duction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food politics	Food politics	How do we get our food?
Food politics II	Sourcing our food	Positives and negatives of climate change on food sourcing
Food in- equality I	Food and its effects on society	Look at how inequalities affect our food
Recycling	recycling and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
Recycling II	Covering aspects of structure and use of waste	Looking at waste usage
Blowing whistles	Whistle blowing vs leaking	How whistle blowing affects us
Blowing whistles II II	Consequences of leaking	Government actions vs leaking

ProtestingProtesting

ProtestingHandling protests II

Fake news Where does fake news come from?

Fake news II Social media and fake news

review Review course of unit themes

ques-
tions

I

review Review course of unit themes

issues

and

Sum-

mary

Reasons why people protest

Why people protest and how governments handle it

Talking about fake vs real news

Why social media is full of it

Discussions of unit themes

Discuss course related themes.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Prepare presentation material and review vocabulary lists.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Issues that matter- Kinseido

ISBN 978-4-7647-4061-7

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 70%

Homework 30%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Require more use of English by students

【学生が準備すべき機器他】

English to English dictionary or web dictionary, paper, writing instrument

【その他の重要事項】

Contact email

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary I 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル 3～4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (36)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈ゲ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】

1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing.
2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will learn new vocabulary from the textbook and reinforce it via discussions and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.

5	Unit 5	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
6	Unit 6	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion Feedback
7	Midterm	
8	Unit 7	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
9	Unit 8	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 9	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 10	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 11	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 12	Learn new vocabulary. Reading story. Homework: prepare for final exam.
14	Final exam	feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles.

【テキスト（教科書）】
Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】
Book and Quizlet should be studied.

【成績評価の方法と基準】
50%quizzes and exams
25%writing exercises using new words
25%effort and participation
No more than 4 absences or missed assignments are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
No feedback

【学生が準備すべき機器他】
Internet enabled device to participate in class with Zoom. Students should also be familiar with Google classroom and Hoppii.

【Outline (in English)】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary II 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (36)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈ゲ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】

1. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
2. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will learn new vocabulary from the textbook and reinforce it via discussions and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 13	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 14	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 15	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 16	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion

5	Unit 17	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
6	Unit 18	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Unit 19	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
8	Midterm Exam	Feedback
9	Unit 20	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 21	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 22	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 23	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 24	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
14	Final Exam	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hour a week for a two-credit class for a 2 hour class and 1 hour a week for a 1 hour class. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles for homework before class.

【テキスト（教科書）】

Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

50%quizzes and exams

25%writing exercises using new words

25%effort and participation

In principle, no more than 3 absences are allowed.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing I 2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (24)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an academic writing course focused on writing skills to improve scores on the IELTS Writing Task 1 (WT1) and to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

WT1 involves writing short essays of at least 150 words, focusing on describing and analyzing visual data presented in a graph, table, chart, or diagram, requiring candidates to identify key trends and patterns and present them in a concise report format, to be written in 20 minutes.

【到達目標】

Students are expected to advance their practical writing skills (1) to improve their WTS1 scores and (2) to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

Students are expected to

1. Improve their basic grammar
2. Develop the ability to write clear but relatively complex sentences
3. Understand and improve their ability to write paragraphs
4. Understand how to interpret, analyse, and present data to reach reasonable conclusions
5. Write clearly and logically under time pressure without access to dictionaries

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In the main part of the course, each week students will be given guidance and objectives on how to write a particular type of WT1 topic, and then either in class or for homework practice writing their own WT1.

In the following class, the student work will be given feedback and compared to model answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course	Guide to IELTS academic and general WT1

Class 2	Informal and Formal Letters	How to write an informal letter and a formal letter in IELTS General
Class 3	Formal Letter Practice	Feedback on last week's work How to write a formal letter job application How to ask for time off
Class 4	Informal letter Practice	Feedback on last week's work How to write an informal letter to a friend How to write an informal letter selling a laptop
Class 5	Grammar and Vocabulary for WT1	Feedback on last week's work Writing task: Numbers, amounts, figures, totals
Class 6	Trends	Feedback on last week's work Writing task: Trends
Class 7	Statistics	Feedback on last week's work Writing task: Statistics
Class 8	Maps	Feedback on last week's work Writing task: Maps
Class 9	Process Diagrams	Feedback on last week's work Writing task: Process Diagrams
Class 10	Bar Charts	Skills: The pronouns it and then: writing about a favorite drink.
Class 11	Line Graphs	Feedback on last week's work Writing task: Line Graphs
Class 12	Pie Charts	Feedback on last week's work Writing task: Pie Charts
Class 13	Tables	Feedback on last week's work Writing task: Tables
Class 14	Student Choice of Task	Feedback on last week's work Writing task: Student Choice

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to review feedback and grammar corrections each week from the instructor and apply lessons learned to the next writing task.

Students are expected to assimilate new vocabulary, grammar, and descriptive/analytical/interpretative skills on a weekly basis.

In particular, students are to review their writing assignments on a weekly basis so that their grammar, syntax, and narrative structure improve so as to raise their IELTS WT1 core.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course." Thank you for your co-operation.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. The instructor will provide all materials.

【参考書】

Supplied by the Instructor

【成績評価の方法と基準】

Weekly writing examples: 80%

In-class participation: 20%

***Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

1. Please address me as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (Writing)(7)A

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

【Outline (in English)】

This course contains instruction, study and regular writing practice on a series of example topics taken from real exams, providing real practice, followed up by editing and feedback.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing II 2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火2/Tue.2

単位数: 1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上 (各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (24)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: 〈ゲ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is an academic writing course focused on writing skills to improve scores on the IELTS Writing Task 2 (WT2) and to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

WT2 Involves writing a full essay in which/for which students need to respond to a given question or argument, demonstrating an ability to construct a well-structured opinion and argument with supporting evidence and clear opinions.

【到達目標】

Students are expected to advance their practical writing skills (1) to improve their WT2 scores and (2) to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

Students are expected to

1. Improve their basic grammar
2. Develop the ability to write clear but relatively complex sentences
3. Understand and improve their ability to write paragraphs
4. Understand how to improve their ability to structure an argument/opinion
5. Write clearly and logically under time pressure without access to dictionaries

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

In the main part of the course, each week students will be given guidance and objectives on how to write a particular type of WT2 topic, and then either in class or for homework practice writing their own WT2

In the following class, the student work will be given feedback and compared to model answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course	Guide to IELTS WT2: Writing an essay introduction without paraphrasing
Class 2	IELTS Opinion Essay on shorter work weeks	Time Management Issues Practice Essay

Class 3	IELTS Discussion Essay on the utility of a university education	Feedback on last week's work 7-step guide to writing examples in main body paragraphs Practice Essay
Class 4	IELTS Discussion Essay on the topic of migration	Feedback on last week's work Realistic Expectations when preparing for IELTS Practice Essay
Class 5	IELTS Discussion Essay on the utility of a particular course	Feedback on last week's work Discussion essay language Practice Essay
Class 6	IELTS Two-Part Question Essay about home ownership	Feedback on last week's work Complex sentences Practice Essay
Class 7	IELTS Two-Part Question Essay on owning versus renting homes	Feedback on last week's work Words and phrases to avoid Practice Essay
Class 8	IELTS Opinion Essay on the role of newspapers and books in the future	Feedback on last week's work Balancing your opinion Practice Essay
Class 9	IELTS Opinion Essay on the topic of wealth	Feedback on last week's work Crime and Punishment vocabulary Practice Essay
Class 10	IELTS Opinion Essay on endangered animals	Feedback on last week's work Writing effective body paragraphs Practice Essay
Class 11	IELTS Opinion Essay on global warming	Feedback on last week's work Keeping your writing simple and concise Practice Essay
Class 12	IELTS Causes Solutions Essay on poverty	Feedback on last week's work Differences between problem solution and causes solutions essays Practice Essay
Class 13	IELTS Causes Solutions Essay on bullying	Feedback on last week's work Three types of advantage and disadvantage essays Practice Essay
Class 14	Student Choice of Task	Feedback on last week's work Practice Essay

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review feedback and grammar corrections each week from the instructor and apply lessons learned to the next writing task.

Students are expected to assimilate new vocabulary, grammar, and descriptive/analytical/interpretative skills on a weekly basis.

In particular, students are to review their writing assignments on a weekly basis writing so that their grammar, syntax, and narrative structure improve so as to raise their IELTS WT1 core

【テキスト (教科書)】

There is no textbook. The instructor will provide all materials.

【参考書】

Supplied by the Instructor

【成績評価の方法と基準】

Weekly writing examples: 80%

In-class participation: 20%

***Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

1. Please address me as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (Writing)(7)A

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

【Outline (in English)】

Such essays are usually at least 250 words and are to be written within 40 minutes.

This course contains instruction, study and regular writing practice on a series of example topics taken from real exams, providing real practice, followed up by editing and feedback.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing I 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

レベル 3～4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制（24）

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

【到達目標】

The student will be able to prepare a paragraph with the basic structure of a topic sentence (with Main Idea), supporting ideas and detail sentences.

Students will be able to communicate his/her thoughts, in written format, to an Academic audience. The course will cover paragraph development, grammar structures for different paragraph styles and paragraph organization.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will work in pairs or groups to develop paragraphs. In-class worksheets and homework assignments will check the student's understanding of the different paragraph styles. Videos of Academic presentations will be used to compare the similarities between written and oral presentations.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introductions Course overview Assessment Classroom Management
2.	Process Writing. Generative A.I.	Six Steps of Academic Writing. Using outlines. Using Generative A.I.

3.	Getting ready to write	Choosing a Topic Brainstorming Editing Describing a photograph
4.	Paragraph structure	Topic Sentence Supporting sentences Concluding sentence TOEIC Test 1
5.	Paragraph Development. Peer editing	Styles of support Detail, Explanation, Example. Give constructive feedback using on-line sharing.
6.	Descriptive Writing	Using Adjectives: describing people and places.
7.	Descriptive Paragraphs	Describing a process using connectors. Keeping ideas connected and in order
8.	TOEIC Test 2 Opinion Paragraphs.	Introduce opinion v.s. fact. Modal Auxiliary Verbs.
9.	Opinion Paragraphs	Convincing the reader. Causal Adverbs. Checking Punctuation.
10.	Compare and Contrast Paragraphs.	Comparative Structures.
11.	Advantages / Disadvantages.	Block vs. Point by Point organization. Trend Verbs.
12.	Problem /Solution Paragraphs.	Using Conditional Structures.
13.	Present a paragraph.	Identify the key features of a paragraph.
14.	Presentation Worksheet 2	Summarize paragraphs, Review Worksheet units 1 to 7. Wrap up.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Homework assignments writing different styles of paragraphs. Pre-reading of Text.

Worksheets related to Text.

All assignments are written in digital format and submitted via Google Classroom.

To assist in providing feedback, Google Docs format is preferred.

【テキスト（教科書）】

"Writing Essays: From Paragraph to Essay" by Dorothy E Zemach and Lisa A Ghulldu MACMILLAN Writing Series.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework writing Assignments: 30%

Worksheet Assignments: 20%

Pair and Group Participation: 10%

Presentation: 10%

TOEIC Tests: 20%

Word Puzzles: 10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

2023: Incorporated use of AI text generators.

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are only acceptable in unusual situations. Students will be required to know their Hosei Gmail account details and check it daily. Students may use voice recognition software and will use Generative Artificial Intelligence applications. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Please download Google Classroom to your device before our first class. The "Course Code" will be advised via the Hoppii LMS.

【Outline (in English)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing II 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

レベル 3～4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制（24）

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will enable the student to acquire and develop ACADEMIC ESSAY writing skills. This course will emphasize "writing as a process".

Students will learn the structure of Academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

【到達目標】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills for interview situations and written English tests (TOEIC/IELTS/TOFEL) where candidates have a limited time to prepare an essay. A final assignment will be a document suitable for submission as an academic essay. Students will use Generative Artificial Intelligence to generate an essay and then decompose the essay into its component parts.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in pair work and small groups. Students will also practice using peer editing with online documents. In a final presentation, the student will demonstrate their understanding of the features of an academic essay.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction and review of Spring 2024.	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Thesis Statements	Greet New students. Voice recognition and Generative AI software. Introduce Thesis statements.

3.	Writing to communicate opinions or new ideas.	Prepare an Introduction with a Thesis.
4.	Using software to create an essay outline.	Introduction, body paragraphs, conclusion. The Waffle Puzzle
5.	Prepare and check Essay outline	Checking an Outline.
6.	Introduce the TOEIC Part 3 Writing Test.	TOEIC Writing test: What is it? What do examiners look for?
7.	Attempt the TOEIC Writing Test Part 3.	Attempt the TOEIC Test 3? Agree or Disagree? Prepare an outline with supporting ideas. Write an Essay.
8.	Cohesion in Essays	Linking the Body Paragraphs. Check everything is connected to the Thesis.
9.	Unity in Essays	Words and Expressions to connect ideas in Paragraphs.
10.	Introduce The TOEFL tests.	What is in the TOEFL Test? What do examiners want to see? Worksheet.
11.	TOEFL Test - In-class practice.	Take the TOEFL Test in-class. Review and discuss weak points.
12.	Introduce The TOEIC Writing Test.	The IELTS Test. - What is it? What are examiners looking for? Trend Verbs.
13.	The IELTS Test In Class practice.	What is the IELTS test? How to achieve a good score. Worksheet.
14.	Using citations for advanced writing.	Using Citations and Templates in Advanced Essays and Research documents.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Homework assignments will be set. There will also be short Worksheets based on material presented during lessons and the Text.

【テキスト（教科書）】

"Writing Essays from Paragraph to Essay" by D.E. Zemach and Lisa A Ghulldu, MACMILLIAN Writing Series.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Written Homework assignments: 30%

Classroom Worksheets: 20%

Pair and Group Participation: 20%

Writing Tests: 20%

Waffle Puzzle: 10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are only acceptable in unusual situations. Students will be required to know their Hosei Gmail account details and check it daily. Students may use voice recognition software and will use Generative A.I. software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Please download "Google Classroom" to your laptop or tablet at the start of semester. The Course Code will be advised via the Hoppii LMS announcements.

【Outline (in English)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.

Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います、一字一句全て訳していくようなことはしません。各適宜、グループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第2回	A Life Without Plastic	記事を読解します。 プラなし生活を始めよう (前半)
第3回	A Life Without Plastic	記事を読解します。 プラなし生活を始めよう (後半)
第4回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags	記事を読解します。 ルワンダ発：ビニール袋は使えません (前半)

第5回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags	記事を読解します。 ルワンダ発：ビニール袋は使えません (後半)
第6回	An Epidemic of Overweight Africans	記事を読解します。 ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇 (前半)
第7回	An Epidemic of Overweight Africans	記事を読解します。 ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇 (後半)
第8回	West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside	試験・まとめと解説 (中間)
第9回	West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside	記事を読解します。 タイ発：危険なりサイクル (前半)
第10回	West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside	記事を読解します。 タイ発：危険なりサイクル (後半)
第11回	College Cheating, A Global Business	記事を読解します。 宿題はゴーストライターにお任せ (前半)
第12回	College Cheating, A Global Business	記事を読解します。 宿題はゴーストライターにお任せ (後半)
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説 (期末)	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト (教科書)】

・ニューヨークタイムズ世界見聞, 喜多留女/Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社。(2,100円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。
試験(80%)
平常点および課題 (20%)
欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【その他の重要事項】

受講希望者が多数の場合、初回の授業時に選抜を行う可能性があります。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 20%, Exam 80%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第2回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発：教室の映像、全国に生配信 (前半)	記事を講読します。
第3回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発：教室の映像、全国に生配信 (後半)	記事を講読します。

第4回	Last Chance Travel' As the World Changes 失われゆく土地を指す旅 (前半)	記事を講読します。
第5回	Last Chance Travel' As the World Changes 失われゆく土地を指す旅 (後半)	記事を講読します。
第6回	Chinese Babies, Born Into Canadian Citizenship カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到 (前半)	記事を講読します。
第7回	Chinese Babies, Born Into Canadian Citizenship カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到 (後半)	記事を講読します。
第8回	試験・まとめと解説 (中間)	試験・まとめと解説
第9回	Human Contact Is Now a Luxury Good タブレットの中で猫を飼う (前半)	記事を講読します。
第10回	Human Contact Is Now a Luxury Good タブレットの中で猫を飼う (後半)	記事を講読します。
第11回	With Cloning, Pet Owners in China Need Never Say Goodbye 中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります (前半)	記事を講読します。
第12回	With Cloning, Pet Owners in China Need Never Say Goodbye 中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります (後半)	記事を講読します。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説 (期末)	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト (教科書)】

・ニューヨークタイムズ世界見聞、喜多留女/Keith Wesley ADAMS 編注、英宝社。(2,100円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題（20%）

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達することにより1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 1	Going Viral
第3回	Chapter 2	Tourist Traps
第4回	Chapter 3	Deal Me In
第5回	Chapter 1 ～ Chapter 3 のまとめ	Chapter 1 ～ Chapter 3 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Chapter 4	Full Contact
第7回	Chapter 5	Fake News
第8回	Chapter 6	Dead as a Dodo
第9回	Chapter 7	It's a Dry Heat
第10回	Chapter 4 ～ Chapter 7 のまとめ	Chapter 4 ～ Chapter 7 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Chapter 8	Man's Best Friend
第12回	Chapter 9	The Wild West
第13回	Chapter 10	Man versus Beast

第14回 学期末課題

期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。
適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』)(François de Soete 他著、成美堂、2,000円(税別))
配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各Chapterの本文は900words程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2
単位数：1単位
レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)
定員制 (36)
その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 11	A Perfect World
第3回	Chapter 12	Modern Frankenstein
第4回	Chapter 13	Tinted Lenses
第5回	Chapter 11 ~ Chapter 13 のまとめ	Chapter 11 ~ Chapter 13 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Chapter 14	Get Well Soon
第7回	Chapter 15	The Need for Speed
第8回	Chapter 16	Time Travel
第9回	Chapter 17	The Great Unknown
第10回	Chapter 14 ~ Chapter 17 のまとめ	Chapter 14 ~ Chapter 17 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Chapter 18	The Endgame
第12回	Chapter 19	Heads Up
第13回	Chapter 20	Destination Mars

第14回 学期末課題 期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000円(税別)) 配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各Chapterの本文は900words程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。春学期の初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

舟橋 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

イギリスの真実の姿を描いたテキストを読みながら、「イギリス」「英国」と日本語で呼んでいる国についての、大学生として必要な知識を深め、英語の読解力、リスニング、英語による質問への回答、ライティング能力の充実を目指す。Chapter によっては、取り上げられているトピックに関連する映像を見て、理解を深めたり、課題として、テキストを復習したりリサーチをしてもらい、その結果を課題として提出してもらう (半期で2回を予定)。

【到達目標】

学生が教科書の英文を、正しい発音で読み、把握して、読解問題を解けるようになること。また、英文の難しい箇所については、わかりやすい日本語で訳せることを目指す。テキストのリスニングや英作文の問題を容易に答えられるようになること。そして、「イギリス」について、正しい基礎知識を身につけ、現状について説明できるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各授業で予習をしてきたことを確認するため、CDを使用して、文を正しく声を出して読みます。きちんと日本語に訳す精読から、徐々に、テキストの読解問題を解いた後で、難しい部分のみを日本語に訳すという速読を目指します。順不同に学生を差して、読解や問題を答えてもらい、その後、必要な情報の説明を加えていきます。課題を課す場合は、「学習支援システム (Webclass)」から提出してもらい、採点あるいは、コメントをつけて、フィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業、および、テキストの進め方、予習の仕方などの説明。必要な場合は、受講者の選抜をする。
第2回	Part I Diversity Chapter 1 The Country of Diversity'	Warm-Up で、UK の地理的基礎知識を確認。 Vocabulary-Building Reading Passage 精読。 Getting the Gist
第3回	Chapter 1 The Country of Diversity	本文内容の確認。 テキスト後半。 UK の diversity の一例である Kazuo Ishiguro について映像教材で学ぶ

第4回	Chapter 2 England, Wales, Scotland, and Northern Ireland	Warm-Up ~ Reading Passage 精読。 the UK の nations について、学ぶ。
第5回	Chapter 2 England, Wales, Scotland, and Northern Ireland	テキスト後半。 UK の nations の理解を深め、アイルランドについて基礎知識を得るため、映像教材で学ぶ。
第6回	Chapter 3 The Power of the Commonwealth	Warm-Up の地図を見て、the British Empire の基礎知識を確認し、他の問題に答える。 Vocabulary-Building「コモンウェルス」とは何かを理解するために、 Reading Passage 精読。 本文内容の確認。 テキスト後半。
第7回	Chapter 3 The Power of the Commonwealth	Getting the Gist ~ Conversation and Writing と Extra Activities で、 リスニングと語彙力増強。
第8回	Chapter 4 The Birth of Cultural Studies in the UK	Warm-Up ~ Reading Passage 精読によって、「カルチュラル・スタディーズ」の勃興と現在を学ぶ。 テキスト後半。
第9回	Chapter 4 The Birth of Cultural Studies in the UK	Getting the Gist ~ Conversation and Writing で、 本文内容の確認、および、 リスニングと語彙力増強。 Extra Activities 「カルチュラル・スタディーズ」について、グループディスカッション。
第10回	Part III Communication に入る Chapter 5 The Languages of the UK	Warm-Up の画像について学ぶ。 Vocabulary-Building While Reading の画像が何かを、 Reading Passage 精読中に確認。 the UK で話されている多種類の言語について学ぶ。
第11回	Chapter 5 The Languages of the UK	本文内容の確認 テキスト後半 Getting the Gist ~ Conversation and Writing で、 リスニング力と語彙力増強読解。 Extra Activities を素材にした課題について説明。
第12回	Chapter 6 The Development of Journalism in the UK	Warm-Up の画像について学ぶ。 Vocabulary-Building で語彙を確認後、the UK のジャーナリズムについて、 Reading Passage 精読して学ぶ。
第13回	Chapter 6 The Development of Journalism in the UK	本文内容の確認 テキスト後半 Getting the Gist ~ Conversation and Writing で、 リスニングと語彙力増強。 Extra Activities でリサーチ結果を確認。 グループで、イギリスと日本のジャーナリズムの違いについてディスカッション。
第14回	試験・まとめと解説	試験に備えて、学期内で行なった課の復習しておく。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Warm-Up, Vocabulary-Building を辞書を活用して予習しておく。
Reading Passage を辞書を活用して読め、かつ、訳せるように予習し、その後の読解問題で本文に出てきた単語の理解を深め、本文理解の質問に答えておく。Conversation and Writing および、Extra Activities も、予習の必要がある。また、Chapter によっては、次週までに課題を課す場合は、締め切りまでに、「学習支援システム（Webclass）」から提出すること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Noriyuki Harada, Andrew Houwen, Akira Morita 『Aspects of British Culture: Academic Approaches』 金星堂

【参考書】

参考書がある場合は、授業中に知らせる。また、テキスト以外に授業で読む資料がある場合は、「学習支援システム（Webclass）」に置く。

【成績評価の方法と基準】

平常点を30%、学期の途中で提出してもらう課題を20%、最後のテストを50%で計算する。学期末テスト未受験、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

2025年度から初めて担当するので、これまでの意見はないです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

予習、復習、課題のために、検索用に使用するスマホ、コンピュータあるいはタブレット

【Outline (in English)】

Through reading a textbook called *Aspects of British Culture: Academic Approaches*, the object of this class is to develop not only English reading skills but the other three English skills, and to understand more about the UK, or Britain. Study textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 30%, occasional assignments 20%, and the end-of-the term exam 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル: 社会と文化の諸相を知る

舟橋 美香

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

イギリスの真実の姿を描いたテキストを読みながら、「イギリス」「英国」と日本語で呼んでいる国についての、大学生として必要な知識を深め、英語の読解力、リスニング、英語による質問への回答、ライティング能力の充実を目指す。Chapter によっては、取り上げられているトピックに関連する映像を見て、理解を深めたり、課題として、テキストを復習したりリサーチをしてもらい、その結果を課題として提出してもらう (半期で2回を予定)。

【到達目標】

学生が教科書の英文を、正しい発音で読み、把握して、読解問題を解けるようになること。また、英文の難しい箇所については、わかりやすい日本語で訳せることを目指す。テキストのリスニングや英作文の問題を容易に答えられるようになること。そして、「イギリス」について、正しい基礎知識を身につけ、現状について説明できるようになることを目指す。第13回目の授業では、アイルランドについても理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

各授業で予習をしてきたことを確認するため、CDを使用して、文を正しく声を出して読みます。きちんと日本語に訳す精読から、徐々に、テキストの読解問題を解いた後で、難しい部分のみを日本語に訳すという速読を目指します。順不同に学生を差して、読解や問題を答えてもらい、その後、必要な情報の説明を加えていきます。課題を課す場合は、「学習支援システム (Webclass)」から提出してもらい、採点あるいは、コメントをつけて、フィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 7 The Vessel of Worldwide Art and Culture ①	世界中から芸術人やアーティストが集まる the UK について、Warm-Up で基礎知識を学び、Vocabulary-Building で語彙確認をしてから、Reading Section を精読。Getting the Gist ~ Summarising で、Reaading 内容理解をチェックし、リスニング力の増強を図る。Reading で取り上げられていた人物を選んで、リサーチする課題について説明。
第2回	Chapter 7 The Vessel of Worldwide Art and Culture ②	

第3回	Chapter 8 The Relationship between Japan and the UK ①	Warm-Up で、日本の歴史についての基礎知識を確認し、Vocabulary-Building で語彙を確認。Reading Passage を、日本の歴史を確認しながら精読。
第4回	Chapter 8 ② The Relationship between Japan and the UK ② Gulliver's Travels について学ぶ	Getting the Gist ~ Convesation and Writing で、Reading Section のテーマの理解を深め、リスニング、ライティング力の増強を図る。Extra Activities 確認。「学習支援システム (Webclass)」に置く追加資料で、Gulliver's Travels の理解を深める。
第5回	Part III に入る Chapter9 The History of British Democracy ①	Warm-Up の画像で、日本との違いをディスカッション。Vocabulary-Building で語彙を確認後、Reading Section で、イギリスの民主主義、特に、「婦人参政権」運動について学ぶ。
第6回	Chapter 9 Chapter9 The History of British Democracy ② Extra Activities で、イギリス史における重大イベントを学ぶ	Getting the Gist ~ Summaring, Conversation and Writing で、テーマの理解を深め、リスニング力とライティング力増強を図る。Extra Activities で、イギリス史における重大イベントを学ぶ。
第7回	Chapter 11 With or Without God: The Development of the Natural Science ①	Warm-Up の画像で、著名な科学者の顔と業績を確認。Vocabulary-Building のあと、Reading Section を精読し、自然科学と神への信仰についての科学者たちの模索を学ぶ。While Reading の画像について、確認。
第8回	Chapter 11 With or Without God: The Development of the Natural Science ②	Getting the Gist ~ Conversation and Writing で、テーマの理解を深め、リスニング力とライティング力増強を図る。Extra Activities を、グループで解く。
第9回	Part IV British Common Sense に入る。 Chapter 12 The Country of Satire ①	Warm-Up の画像を見て、問題に英語で答える。Vocabulary-Building で語彙を確認後、Reading Section で、風刺について学ぶ。
第10回	Chapter 12 British Common Sense に入る。 Chapter 12 The Country of Satire ② テキスト後半の問題の後、風刺について追加資料を読む	Getting the Gist ~ Conversation and Writing を解くことで、テーマの理解を深め、リスニング力、語彙力の増強を図る。Extra Activities について、グループでディスカッションし、回答を探す。イギリスの風刺について、テキストのほかに、「学習支援システム (Webclass)」に置く追加資料で、理解を深める。提出課題について説明。
第11回	Chapter 14 An Oxbridge Education ①	Warm-Up の地図を見ながらの問に答える。Vocabulary-Building の後、Reading Section で、イギリスの著名な2つの大学について学ぶ。

第12回	Chapter 14 An Oxbridge Education ②[世界的に有名かつ、卓越した人物を輩出してきたイギリスの2つの大学]	Getting the Gist～Conversation and Writing, Extra Activities を解くことで、テーマの理解を深め、リスニング力、語彙力の増強を図る。 日本の大学との違いについて、グループでディスカッション。
第13回	Ireland について学ぶ	「学習支援システム (Webclass)」に置く資料と映像資料で、アイルランドについて学ぶ。
第14回	復習 まとめ テスト 解説	復習/まとめを行う。テストに備えて、学期内で行なった課の復習をしておく。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Warm-Up, Vocabulary-Building を辞書を活用して予習しておく。
Reading Passage を辞書を活用して読み、その後の読解問題で本文に出てきた単語の理解を深め、本文理解の質問に答えておく。Extra Activities については、授業内で扱うか、課題にする場合がある。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Noriyuki Harada, Andrew Houwen, Akira Morita 『Aspects of British Culture: Academic Approaches』 金星堂

【参考書】

参考書がある場合は、授業中に知らせる。また、テキスト以外に授業で読む資料がある場合は、「学習支援システム (Webclass)」に置く。

【成績評価の方法と基準】

平常点を30%、学期の途中で提出してもらう課題を20%、最後のテストを50%で計算します。学期末テスト未受験、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

2025年度から担当するので、返答できません。

【Outline (in English)】

Through reading a textbook called *Aspects of British Culture: Academic Approaches*, the object of this class is to develop not only English reading skills but the other three English skills, and to understand more about the UK, or Britain. Study textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 30%, occasional assignments 20%, and the end-of-the term exam 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

鈴木 博雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

マスメディアで世界情勢を読むことを主眼とし、次の3点を目標とする。①国際問題を歴史や民族の問題を含めてルーツから見て行く。②必要な専門用語と基礎知識を身につけて、英字新聞や国際放送、インターネット情報にアクセスする力をつける。③簡単な構文を使ってニュースを英語で要約する力を身につける。

【到達目標】

マスメディアで国際情勢を読む英語能力獲得する。国際的な時事問題を扱った英文を読みながら、基礎語彙を増やし、行間を読む力や要約力を高める。その過程で英文内容についての質疑応答も行い、英語を深く、正確に、批判的に読む力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本とする。
- ・国際問題を扱った時事英語の文章の構造を踏まえながら、精読の演習を行う。
- ・英文内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキストUnit 1 前半	Ukraine: The Russian invasion of Ukraine ①
2	テキストUnit 1 後半	Ukraine: The Russian invasion of Ukraine ②
3	テキストUnit 2 前半	Ireland: "the troubles" in Northern Ireland ①
4	テキストUnit 2 後半	Ireland: "the troubles" in Northern Ireland ②
5	テキストUnit 3 前半	Brexit: Why did the UK leave the EU? ①
6	テキストUnit 3 後半	Brexit: Why did the UK leave the EU? ②
7	テキストUnit 4 前半	The second cold war?: US vs China ①
8	テキストUnit 4 後半	The second cold war?: US vs China ②
9	テキストUnit 5 前半	The Israeli-Palestinian conflict: The most difficult global issue to resolve ①
10	テキストUnit 5 後半	The Israeli-Palestinian conflict: The most difficult global issue to resolve ②

11	テキストUnit 6 前半	Rohingya: A troubled minority in Myanmar ①
12	テキストUnit 6 後半	Rohingya: A troubled minority in Myanmar ②
13	テキストUnit 7 前半	Busques: The oldest European people ①
14	テキストUnit 7 後半	Busques: The oldest European people ②

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・辞書を活用しながら、テキストを精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応じて前時に指示します。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
“University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト (教科書)】

石谷由美子 著、『Exploring the Roots of 15 Current Global Issues 国際問題のルーツを探る』(南雲堂)

ISBN：9784523179634

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど) (60%)、期末試験点 (40%) を総合的に判断して評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

- ・時事英語を積極的に読み、世界情勢を知ることの重要性を実感しながら、時事英語読解力の効果的な養成を図りたい。
- ・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

- (1) To obtain the ability to read about world affairs in the mass media.
- (2) By the ability in (1), we mean the basic practical skill of reading mass media English which is required when students get out into the world after they graduate to live everyday life with an accurate understanding of international current events.
- (3) Students should intensively read the textbook in the preparatory reading range for at least 60 minutes outside of class time.
- (4) Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%). In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

鈴木 博雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、マスメディアで読む世界情勢マスメディアで世界情勢を読むことを主眼とし、次の3点を目標とする。①国際問題を歴史や民族の問題を含めてルーツから見て行く。②必要な専門用語と基礎知識を身につけて、英字新聞や国際放送、インターネット情報にアクセスする力をつける。③簡単な構文を使ってニュースを英語で要約する力を身につける。

【到達目標】

春学期に養成した学力を踏まえ、マスメディアで国際情勢を読む英語能力獲得する。国際的な時事問題を扱った英文を読みながら、基礎語彙を増やし、行間を読む力や要約力を高める。その過程で英文内容についての質疑応答も行い、英語を深く、正確に、批判的に読む力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本とする。
- ・国際問題を扱った時事英語の文章の構造を踏まえながら、精読の演習を行う。
- ・英文内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8 前半	Korea: The division of Korea ①
2	Unit 8 後半	Korea: The division of Korea ②
3	Unit 9 前半	Romani: Romani's great journey ①
4	Unit 9 後半	Romani: Romani's great journey ②
5	Unit 10 前半	Switzerland: Armed neutrality ①
6	Unit 10 後半	Switzerland: Armed neutrality ②
7	Unit 11 前半	Hong Kong: One country, two systems ①
8	Unit 11 後半	Hong Kong: One country, two systems ②
9	Unit 12 前半	The Pope and the Vatican City State: The smallest country in the world ①

10	Unit 12 後半	The Pope and the Vatican City State: The smallest country in the world ②
11	Unit 13 前半	Kurds: A stateless people ①
12	Unit 13 後半	Kurds: A stateless people ②
13	Unit 14 前半	Urughurs: How can Muslims survive in China? ①
14	Unit 14 後半	Urughurs: How can Muslims survive in China? ②

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・辞書を活用しながら予習反意を精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応じて前時に指示します。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

“University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト (教科書)】

石谷由美子 著、『Exploring the Roots of 15 Current Global Issues 国際問題のルーツを探る』(南雲堂)

ISBN：9784523179634

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど) (60%)、期末試験点 (40%) を総合的に判断して評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

- ・時事英語を積極的に読み、世界情勢を知ることの重要性を実感しながら、時事英語読解力の効果的な養成を図りたい。
- ・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

(1)To obtain the ability to read about world affairs in the mass media.

(2)By the ability in (1), we mean the basic practical skill of reading mass media English which is required when students get out into

the world after they graduate to live everyday life with an accurate understanding of international current events.

(3)Students should intensively read the textbook in the preparatory reading range for at least 60 minutes outside of class time.

(4)Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%).

In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして文化、また人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会、そして文化について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部: Lesson Aでは、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部: Lesson Bでは、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部として、第1部、第2部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talkに関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

【第1部】

第2週 Topic: Interdisciplinary

第5週 Topic: Business/Leadership

第8週 Topic: Life Science

第11週 Topic: Sociology/Fashion

【第2部】

第3週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第3部】

第4週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第7週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第10週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第13週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	What is TED?
第2週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic: Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第5週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic: Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...etc.
第7週	Unit 2: Team Power	Check sheet summarizing and stating opinions
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Lesson A Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas and key details,... etc.

第10週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions
第11週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic:Sociology/Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view
第13週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions
第14週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED talkについての予備知識を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、**checksheet**に記入しておく。

復習：扱ったTED talkの要約をし、**checksheet**に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED talk関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。以下が授業で扱うTED talkです。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、配布資料

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40％、課題30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand English sentences without translating into Japanese

- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a paragraph
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation: 40%(Class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 %/Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。<https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/>)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期同様本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、セメスター終盤には、第3部として、学習したトピックをひとつ選び、更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

【第1部】

第2週 Topic: Architecture and Design

第5週 Topic: Communication/Sociology

第8週 Topic: Visual Arts/Sociology

【第2部】

第3週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja第6週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第9週 : TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【第3部】

第4週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

第7週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第10週 : TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

第11週 13週 : Your favorite TED Talk

<https://www.ted.com/>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業の進め方についての説明 目標の確認
第2週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Architecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第5週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第7週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第8週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts /Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts /Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第10週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic

第11週	Your favorite TED talk	Finding your favorite TED talk.
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	期末テスト	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED talkについての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、**checksheet**に記入しておく。

復習：扱ったTED talkの要約をし、**checksheet**に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED talk関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。以下が授業で扱うTED talkです。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40％、課題30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく多く英語を使う場を設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand English sentences without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a paragraph
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation: 40%(Class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 %/Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。<https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/>)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業（授業動画配信オンデマンド型）では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド授業を視聴して、指定の締め切り日までにHoppiiを通して課題を提出する。2回目の授業（対面）では、全員が内容を目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布するプリント学習を行い、自分の考えをまとめる。

Chapter 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

授業で取り上げるChapterは以下の6つとする

Chapter 1,3,4,6, 9, 10

前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時はOpen LMS を通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMS を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 履修者の決定	ここで履修者を決定するので、履修希望者は必ず初回アンケートに回答してLMSを通して提出すること。
2	Chapter1 Pressure to please: Why can't we say no?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
3	Chapter1 Pressure to please: Why can't we say no?	本文内容の確認 テキスト後半 Reading Details Finding Details Summary プリント教材、主にグループワークで行う。
4	Chapter 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
5	Chapter 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 1 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
6	Chapter 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
7	Chapter 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 3 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
8	Chapter 6 Tourism: Is it Blessing or a curse?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
9	Chapter 6 Tourism: Is it Blessing or a curse?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 4 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
10	Chapter 9 Lost Cities: Are they myth or reality?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
11	Chapter 9 Lost Cities: Are they myth or reality?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 6 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
12	Chapter 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War III?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
13	Chapter 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War III?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 9 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。

14 これまでのまとめと これまでのまとめ
期末試験 期末試験

term-end examination 50%

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画配信オンデマンド授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各Chapterのvocabularyを必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿ったTF問題に真剣に取り組む。(vocabulary, TFは採点する。) 本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解に関しての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Our World Our Stories

変動する世界と現代社会の再発見

成美堂（2,200 円税込）

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1点×10問＝10点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		2	Chapter 11 Left or Right : What is bias in the media?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
英語で学ぶ社会と文化Ⅱ		3	Chapter 11 Left or Right : What is bias in the media?	本文内容の確認 テキスト後半 Reading Details Finding Details Summary プリント教材、主にグループワークで行う。
サブタイトル：社会と文化の諸相を知る		4	Chapter 13 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
大曲 陽子		5	Chapter 13 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 11 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、主にグループワークで行う。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3 単位数：1単位 レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。 https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/) 定員制 (36) その他属性：〈優〉		6	Chapter 15 Entertainment Empire: How did Disney take over the World ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。 6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。		7	Chapter 15 Entertainment Empire: How did Disney take over the World ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 13 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、主にグループワークで行う。
【到達目標】 タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に着けることも目指す。		8	Chapter 16 Spooky Science : Are ghost real ?	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Question for Understanding Part 1
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1		9	Chapter 16 Spooky Science : Are ghost real ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 15 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、主にグループワークで行う。
【授業の進め方と方法】 本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。 ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業（授業動画配信オンデマンド型）では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド授業を視聴して、指定の締め切り日までにHoppiiを通して課題を提出する。2回目の授業（対面）では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布する記事を読んで自分の考えをまとめる。 Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。 授業で取り上げるChapterは以下の6つとする Chapter 11, 13, 15, 16, 17, 18 前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。 適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。 課題等に対するフィードバック方法 毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。 小テストは採点返却される。		10	Chapter 17 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 あり /Yes		11	Chapter 17 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 16 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、主にグループワークで行う。
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし /No		12	Chapter 18 Cell Magic : Can we make a living robot?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		13	Chapter 18 Cell Magic : Can we make a living robot?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 17 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、主にグループワークで行う。
回	テーマ	内容	14	これまでのまとめと期末試験
1	Warming Up	ここで履修者を決定する時事問題プリント教材		Unit 20 語彙小テスト これまでのまとめ 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画配信オンデマンド授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各Chapterのvocabularyを必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿ったTF問題に真剣に取り組む。(vocabulary, TFは採点する。)本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解に關しての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Our World Our Stories

変動する世界と現代社会の再発見

成美堂（2,200円税込）

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1点×10問＝10点 (Answer Sheetの空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheetの回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに關連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMSの質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制（24）

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈ゲ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement. You will have many opportunities to express your thoughts in a concise and logical manner. You will try various ways to make your opinions more persuasive.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentations using easy editing software on your phone or PC to share with the class. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	First presentation: "How to..."	Teach us how to do something better. Look at examples. Generate ideas and select topics.
3	Developing your work	Show your ideas and make an outline. Basic presentation structure.
4	Developing your work	Revise and practise. Body language and gestures -examples and practise.
5	Final practise	Combine all the elements and review your speech. Make changes after feedback from classmates and teacher.
6	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
7	Second presentation: SWOT analysis	A SWOT analysis. What is it? Look at examples. Generate ideas and select topics
8	Developing your work:	A SWOT analysis. Show your first research and organise. Voicework - how to vary your voice to make your words have more impact.
9	Developing your work:	Show us your presentation draft and practise. Turn your draft into notecards. Asking and answering questions during a presentation.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates.
11	Third Presentation: Pechakucha	What is a pechakucha presentation? Explanation and examples. Topic planning.
12	Developing your work:	Practise. Speaking to time limits and on the spot transitions.
13	Final practise	Review and practise.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the Pechakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed pair presentations.

【学生が準備すべき機器他】

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制（24）

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentation using easy editing software on your phone or PC to share with the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation and a review of the Spring Semester. First presentation: "Inspired by a movie"	A cultural or social theme picked from a movie For example. "The Lego Movie" - a comparison of the education systems of Denmark and Japan. The role of propaganda in Vietnam War movies "The Devil wears Prada" - Karoshi - is work / life balance really possible? Discussing ideas and topic selection.
2	Developing your work	Sharing research. Making outlines and considering some rhetorical techniques such as the rule of 3 and repetition.
3	Developing your work	Sharing research. Using rhetorical techniques. Review of voice techniques.
4	Final practise	Making discussion questions. Practise and make changes after feedback from classmates and teacher.
5	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
6	Second presentation: Something I've learned that you should know	What knowledge have you gained in your university life that you think other people would benefit from knowing? generating ideas
7	Developing your work	Considering different narratives styles. Sharing ideas.
8	Developing your work	Sharing your ideas and using props in a speech.
9	Final practise	Practise your speech using a prop.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
11	Third Presentation: A persuasive speech	A speech about something you feel strongly about. Make us believe how correct and important your opinion is.
12	Developing your work:	Adding passion and emotion to your words. Speaking with your whole body - examples and practise.
13	Final practise	Looking again at body language and voice.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the peckakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested more time to prepare in class.

【学生が準備すべき機器他】

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火3/Tue.3

単位数: 1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上 (各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (24)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: 〈ゲ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will be able to prepare and make presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook
	Introduction	
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give Self Introduction
3	Unit 1 A good friend (Pages 8-11)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 1 A good friend (Pages 12-15)	- Organizing ideas - Adding impact techniques
5	Unit 1 A good friend (Pages 16-17)	- Developing presentation techniques
6	Unit 1 A good friend (Pages 18-19)	Presentation - "A good friend"
7	Unit 2 A favorite place (Pages 20-23)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 2 A favorite place (Pages 24-27)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 2 A favorite place (Pages 28-29)	- Developing presentation techniques
10	Unit 2 A favorite place (Pages 30-31)	Presentation - "My Favorite Place"
11	Unit 3 A prized Possession (Pages 32-37)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas

12	Unit 3 A prized possession (Pages 38-41)	- Adding impact - Developing presentation Techniques
13	Unit 3 A prized possession (Pages 42-42)	Presentation - "My Prized Possession"
14	Make-up Presentations/ Course Review	Finalize spring semester course

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

・ Presentations - 75%(Unit 1, 2 and 3 presentations are required.)

・ Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

Students will gain confidence in public speaking.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル 3～4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (24)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will gain confidence in public speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook
	Introduction	
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give Self Introduction presentation
3	Unit 4 A memorable experience (Pages 44-47)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 4 A memorable experience (Pages 48-51)	- Organizing ideas - Adding impact
5	Unit 4 A memorable experience (Pages 52-53)	- Developing presentation techniques
6	Unit 4 A memorable experience (Pages 54-55)	Presentation - "My Memorable Experience"
7	Unit 5 I'll show you how (Pages 56-59)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 5 I'll show you how (Pages 61-63)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 5 I'll show you how (Pages 64-65)	- Developing presentation techniques

10	Unit 5 I'll show you how (Pages 66-67)	Presentation - "How to"
11	Unit 6 Screen magic (Pages 68-73)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas
12	Unit 6 Screen magic (Pages 73-77)	- Adding impact - Developing presentation techniques
13	Unit 6 Screen magic (Pages 78-79)	Presentation - "Movie or TV Show Review"
14	Make-up Presentations/ Course Review	Finalize fall semester course

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

- ・ Presentations - 75%(Unit 4, 5 and 6 presentations are required.)
- ・ Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

Students will be able to prepare and make presentations.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I

2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (24)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈ゲ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email. Instructor will provide feedback during class or by email

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions	Talk about spring break.
	HW/text pgs. 4-12	Getting started.

2	2. Text pgs. 13-14, 15-17, 18-22 HW/informative speech (pg. 17) with visuals, posture, eye contact, gestures	Watch sample presentation DVD.
3	3. Performance of informative speech HW/text pgs. 23-24, 28-29	Speech performance and feedback.
4	4. Text pgs. 30-38 HW/demonstration speech (pg. 38) with visuals, posture, eye contact, gestures, voice inflection	Demonstration speech.
5	5. Performance of demonstration speech HW/text pgs. 39-46	Student speech performances.
6	6. Text pgs. 47-48, pgs. 51-55 HW/country comparison (pgs. 49 & 56)	Prepare for country comparison speech.
7	7. Performance of country comparison HW/pgs. 57-59	Student speeches.
8	8. Text pgs. 60-67 HW/speech introduction (pg. 67)	Focus on speech introduction.
9	9. Performance of speech introduction HW/text pgs. 68-72	Speech introduction performances.
10	10. Text pgs. 73-85 HW/speech body (pg. 86)	Focus on speech body.
11	11. Performance of speech body HW/text pgs. 87-94 conclusion (pg. 95)	Student performances of speech body.
12	12. Presentation of conclusion HW/final presentation (pg. 99 steps 1,2,3)	Focus on speech conclusion.
13	Final presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
14	Final presentations	End of term evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト（教科書）】

Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082

【参考書】

Students will use online resources to research and prepare their presentations.

【成績評価の方法と基準】

Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason—serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II

2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

レベル 3～4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

定員制 (24)

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈ゲ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to make effective presentations on a variety of topics. Students will learn to confidently deliver multimedia informative/descriptive speeches, as well as comparative, demonstrative and argumentative/persuasive presentations. Students will also learn to evaluate the quality and content of others' presentations, to take notes on presentation content, and to provide detailed feedback to help presenters to improve their presentation technique.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. The fall semester of this course will concentrate on the preparation and delivery of persuasive, argumentative and rhetorical speeches. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email. Instructor will provide feedback during class or by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.

2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.
3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.
4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.
5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.
6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.
8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.
10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.
12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.
14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト（教科書）】

Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082

【参考書】

Students will make use of a variety of online resources in the research and preparation of their speeches.

【成績評価の方法と基準】

Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason—serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語アカデミック・リーディング I 2017年度以降入学者

岩崎 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

論理的な英文を読む喜びを感じることを目指します。その目標達成のために、パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

【到達目標】

パラグラフリーディングの技術を習得する。
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
コンテキストを正しく捉える力を養う。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
辞書が活用できるようになる。
英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。
クリティカル・リーディングの重要性を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察しますので、授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。フィードバックに関しては、学生が発表するたびに教師がコメントを出し、さらにそのコメントについてクラスで話し合います。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業に関する説明の後、パラグラフの構造について理解します。
2	Session 1 What a Painting Can Tell Us 本エッセイの展望	筆者は絵画に隠された物語を読み解いていきます。筆者は絵の中にどんな物語を読み込むのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。

3	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフを理解し、トピックセンテンスを見つける	パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認します。これを理解した上で、トピックセンテンスを見つけ、それが何故トピックセンテンスなのか、自分の言葉で説明します。
4	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフリーディングの実践	トピックセンテンスと支持文の関連性を考え、それを自分の言葉で表現します。 What a Painting Can Tell Us に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合います。
5	Session 2 Split-Brain Research 本エッセイの展望	右脳・左脳の機能の違いを世に知らしめた、有名な事例を紹介する論文を読みます。右脳と左脳の機能の違いに、言語がどのように関わっているのでしょうか？ このエッセイでは、学生はパラグラフのトピックに留意しつつ英文和訳を行います。 実験の模様を図解するイラストを参照しながら、実験の手順を記述する文章を正確に読む練習をします。
6	Session 2 Split-Brain Research イラストを頼りに実験の記述を読む	図と英語の記述を対応させることによって、視覚情報が左右の脳にどのように伝わるのかを理解します。
7	Session 2 Split-Brain Research イラストと記述を照応させる	実験の結果に関する記述が、具体的に実験の何を指し示すのかを理解します。抽象的な記述を具体的に理解し説明する読みを実践します。
8	Session 2 Split-Brain Research 記述内容を具体的に読む	ある文が意味をなすということは、文脈を理解することに他ならないことを学習します。
9	Session 2 Split-Brain Research 文脈をたどる	また、言語が左右の脳の機能の違いにどんな影響を及ぼしているのか理解します。
10	Session 9 On Speaking on Speaking 本エッセイの展望	Split-Brain Research に関する意見を発表し、クラスで話し合います。 Session 9 では、言語の変化生成に関する仮説を扱う論文を読みます。言語は原初の形を痕跡として残しつつ絶えず変化し続けること、人間には言語を生み出す普遍的能力があることを学びます。子供は言語の生成・変化にどんな形で関わってきたのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
11	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化	言語が絶えず変化していることを学びます。 パラグラフにおける旧情報と新情報を識別し、パラグラフ間のつながりを考察します。

12	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化(様態・担い手)	言語はどのように変化するのか、また誰がそれを担うのかを学びます。 トピックセンテンスの言い換えの文から、パラグラフ全体の主張をより具体的に理解できることを学びます。 itの指示内容を識別する方法を学習します。
13	Session 9 On Speaking on Speakingのまとめ 春学期学習内容の総括	On Speaking on Speakingについて各自の意見を発表します。 春学期に学習した内容で重要な箇所を振り返り、教師が学生からの質問に答えます。
14	学期末試験・解答	学期末試験を行います。試験後、解答・解説を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
予習は、テキストの指定箇所（1ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。
復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低5回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるように準備します。

【テキスト（教科書）】

『The Universe of English』東京大学英語教室編（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、試験60パーセントの比率で評価します。
授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。
一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていきます。
4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。
オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ学生の発表を中心にして、授業を進行していきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it. The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them. Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class. The final grade will be decided based on class-participation 40 %and term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語アカデミック・リーディング II 2017年度以降入学者

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

論理的な英文を読む喜びを感じることを目指します。その目標達成のために、パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

【到達目標】

パラグラフリーディングの技術を習得する。
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
コンテキストを正しく捉える力を養う。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
辞書が活用できるようになる。
英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。
クリティカル・リーディングの重要性を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察しますので、授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	パラグラフの構造を理解します。
2	Session 17 Ecology 本エッセイの展望	エコロジーの入門書のエッセイを読みます。コンパクトながら、エコロジーの定義から始まり、生物圏の区分、食物連鎖、生物濃縮、生態遷移などに言及し、エコロジーの最も重要な分野をわかりやすく解説しています。また、生態学的知識を吸収することによって、現在我々を取り巻く環境問題を考えたいと思っています。
3	Session 17 Ecology 概念を定義するタイプのパラグラフ	エコロジーという概念の定義を行うパラグラフを読み、エコロジーとは何なのかを考察します。

4	Session 17 Ecology 抽象と具体	エコロジーという概念 (抽象) とそれが示す具体像の間を行き来しつつ、エコロジーに対する理解を深めます。
5	Session 17 Ecology エコロジーが扱う領域の外観	生態系・食物連鎖・生物濃縮・生体遷移とは何か、具体例を通して学びます。
6	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land 本エッセイの展望	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読みます。混沌とするアメリカ社会においてディズニーランドがどんな価値観を体現し、どんな役割を果たしているのか考察します。このエッセイでは、学生は各パラグラフの内容を要約します。ディズニーランドの人気を支える倫理観、歴史観、哲学を考察します。
7	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランド人気の理由	ディズニーランドが単なるテーマ・パークにとどまらず、旧約聖書に登場する「約束の土地」であるという筆者の主張を考察します。
8	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランドの神話の意義	ディズニーランドが単なるテーマ・パークにとどまらず、旧約聖書に登場する「約束の土地」であるという筆者の主張を考察します。
9	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 本エッセイの展望	コロンブスが歴史上の偉人から、アメリカを侵略し破壊した悪人に評価が変わった理由を考察する論文を読みます。どうしてコロンブスは英雄から世紀の大悪人になってしまったのか、果たしてコロンブスを糾弾する者たちの真の意図とは何か? 歴史とは何かを考えさせる実にスリリングなエッセイです。このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。歴史的記述における視点の重要性を考えます。主格関係と目的格関係を表す前置詞ofの用法を学び、名詞句の中に主語+述部動詞、あるいは主語+述部動詞+目的語と似た構造が存在することを学習します。
10	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy クロノジカルな記述の視点	コロンブスの評価が英雄から人類最悪の男に凋落した理由として筆者が援用する歴史観について考察します。筆者が提示した理論を「アメリカ発見」の歴史に当てはめると何が読みとれるのか考えます。
11	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 歴史とは何か	コロンブス以前のアメリカが理想郷として描き出されている現状の背後に隠された意図を考えます。
12	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 反コロンブス神話とは	コロンブスが「歴史的コマ」として、現代の政治ゲームの中でどのように利用されているか、具体的記述の中で理解します。
13	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy コロンブスとは何なのか	「発見」された側がコロンブスを世紀の大悪人だと糾弾する本当の理由が明かされます。クラス全体でエッセイの問題点を指摘し、その内容を批判的に論じます。

14 試験日 秋学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
予習は、テキストの指定箇所（1ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。

復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低5回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるように準備します。

【テキスト（教科書）】

東京大学英語教室編『The Universe of English』（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、試験60パーセントの比率で評価します。
授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていきます。

4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。

オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生が話し合って問題を解決する機会を増やします。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

できるだけ教師と学生の対話を通して、知的に楽しくて為になる、双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.

The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.

Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅰ

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2
 単位数：1単位
 レベル3,4（各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）
 定員制（36）
 その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEICの頻出テーマを扱ったテキストを使用し、語彙、英語表現、文法を学びながら総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語の文章を速く正確に読む力をつけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの各unitはlisteningとreadingの二つのパートから成り立っています。一回の授業で一つのパートを扱います。前半はlisteningです。語彙の確認をしてからlistening問題に取り組みます。ペアあるいはグループで答え合わせをし、その後クラス全体で間違えた箇所を確認しながら、英語表現、文法の確認をします。後半はreadingです。問題にチャレンジした後、ペアあるいはグループで答え合わせをし、クラス全体で内容の確認を行います。小テストに対するフィードバックは授業当日に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1 Eating Out (listening)	Vocabulary, Useful Expression
3	Unit 1 Eating Out (reading)	Grammar
4	Unit 2 Travel (listening)	Vocabulary, Useful Expression
5	Unit 2 Travel (reading)	Grammar
6	Unit 3 Amusement (listening)	Vocabulary, Useful Expression
7	Unit 3 Amusement (reading)	Grammar
8	Unit 4 Meetings (listening)	Vocabulary, Useful Expression
9	Unit 4 Meetings (reading)	Grammar
10	Unit 5 Personnel (listening)	Vocabulary, Useful Expression
11	Unit 5 Personnel (reading)	Grammar
12	Unit 6 Shopping (listening)	Vocabulary, Useful Expression
13	Unit 6 Shopping (reading)	Grammar

14 学期末試験 試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後にテキスト・演習問題の復習をし、質問がある場合は次回授業にお願いします。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『一歩上を目指す TOEIC LISTENING AND READING TEST: Level 3 —Advanced—』（朝日出版社）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、小テスト35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

基礎的な英語力がつくように、文法事項の説明を丁寧にするように心がけました。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Course Outline

The purpose of this class is to help students develop their listening and reading skills for TOEIC.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies such as skimming and scanning.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to review what was covered in the previous lesson. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Reports 35%
3. Classroom Participation 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
英語検定試験対策Ⅱ		2017年度以降入学者
妻鹿 裕子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水2/Wed.2		
単位数：1単位		
レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)		
定員制 (36)		
その他属性：〈優〉		

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

TOEICの頻出テーマを扱ったテキストを使用し、語彙、英語表現、文法を学びながら総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語 (Englishes) の発音に慣れます
- ・英語の文章を速く正確に読む力をつけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの各unitはlisteningとreadingの二つのパートから成り立っています。一回の授業で一つのパートを扱います。前半はlisteningです。語彙の確認をしてからlistening問題に取り組みます。ペアあるいはグループで答え合わせをし、その後クラス全体で間違えた箇所を確認しながら、英語表現、文法の確認をします。後半はreadingです。問題にチャレンジした後、ペアあるいはグループで答え合わせをし、クラス全体で内容の確認を行います。小テストに対するフィードバックは授業当日に行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 7 Advertisement (listening)	Vocabulary, Useful Expression
3	Unit 7 Advertisement (reading)	Grammar
4	Unit 8 Daily Life (listening)	Vocabulary, Useful Expression
5	Unit 8 Daily Life (reading)	Grammar
6	Unit 9 Office Work (listening)	Vocabulary, Useful Expression
7	Unit 9 Office Work (reading)	Grammar
8	Unit 10 Business (listening)	Vocabulary, Useful Expression
9	Unit 10 Business (reading)	Grammar
10	Unit 11 Traffic (listening)	Vocabulary, Useful Expression
11	Unit 11 Traffic (reading)	Grammar

12	Unit 12 Finance and Banking (listening)	Vocabulary, Useful Expression
13	Unit 12 Finance and Banking (reading)	Grammar
14	学期末試験	試験と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業後にテキスト・演習問題の復習をし、質問がある場合は次回授業にお願いします。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『一歩上を目指す TOEIC LISTENING AND READING TEST: Level 3 ―Advanced―』(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、小テスト35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

基礎的な英語力がつくように、文法事項の説明を丁寧にするように心がけました。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

Hoppiiを使用します。

【Outline (in English)】

Course Outline

The purpose of this class is to help students develop their listening and reading skills for TOEIC.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies such as skimming and scanning.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to review what was covered in the previous lesson. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Reports 35%
3. Classroom Participation 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検準1級・1級とTOEFLの演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to talk about basic topics
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(授業は演習形式で行います)

- 1.Clarifying objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのか、ゴールをどこに設定するかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検とTOEFL テストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading &Listening practice to identify your strong and weak points (強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Reviewing home assignment 2.Learning Paragraph Structure 3.Paragraph reading practice 4.Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Paragraph reading practice

6回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Paragraph reading practice
7回	Eiken: Essay Writing	1.Learning basic writing structures and analyzing model essays 2.Writing an essay 3.Peer Editing
8回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Rewriting your draft
9回	Introduction to TOEFL Test	1.Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFLについて) 2.Reading practice 3.Listening practice
10回	TOEFL: Intensive Reading Training	1.Paragraph reading practice 2.Summarizing passages
11回	TOEFL:Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
12回	TOEFL: Intensive Listening Training	1.Overlapping and shadowing practice 2.Listening exercises 3.Mini-presentation
13回	TOEFL: Listening and speaking Training	1.Overlapping and shadowing practice 2.Mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1.Weekly reading and listening home assignments
- 2.Writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業を一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and TOEFL tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検準1級・1級と IELTS の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to give a mini-presentation on a given topic
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(授業は演習形式で行います)

- 1.Clarifying objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのか、ゴールをどこに設定するかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検と IELTS テストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading &Listening practice to identify your strong and weak points (強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training #1	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice
6回	Eiken: Intensive Listening Training #2	1.Listening practice 2.Reading rapidly practice

7回	Introduction to IELTS	1.Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2.Reading practice 3.Listening practice
8回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
9回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Reading practice
10回	IELTS Writing: Writing an Essay for Task 2 (1)	1.Learning basic writing structures and analyzing model essays 2.Writing an essay
11回	IELTS Writing: Writing an Essay for Task 2 (2)	1.Peer editing 2.Feedback 3.Rewriting your draft
12回	IELTS: Intensive Listening practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice
13回	IELTS: Listening Training and presentation	1.Overlapping and shadowing 2.mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)

2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業を一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and IELTS tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test 600点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。

【到達目標】

- ・ TOEIC Listening & Reading Testを受験し、600点以上をとる。
- ・ TOEIC 受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができる。
- ・ 苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

第2回から第13回授業において単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や長文読解問題などを解き、解説を行います。各自、解説・フィードバックを受けてテキストの復習をし、単語の暗記を行ってください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。自己目標を定める。
2	Unit 1	Vocabulary quiz < Listening part > Restaurant
3	Unit 1 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Restaurant
4	Unit 2	Vocabulary quiz < Listening part > Department Store
5	Unit 2 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Department Store
6	Unit 3	Vocabulary quiz < Listening part > Train Station
7	Unit 3 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Train Station
8	Unit 4	Vocabulary quiz < Listening part > Transportation
9	Unit 4 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Transportation

10	Unit 5	Vocabulary quiz < Listening part > Post Office
11	Unit 5 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Post Office
12	Unit 6	< Listening part > Bank
13	Unit 6 cont.	< Reading part > Bank
14	Final	期末試験を実施する

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

第2回から第11回授業で単語クイズを行います。予習をして授業に参加してください。授業で間違った箇所を分析し、復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』(石井隆之他著) 成美堂

【参考書】

辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%), 単語テスト (20%), 期末試験 (60%)

原則として、学期期間中に4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。

毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

授業では単に答え合わせをするだけでなく、各問題の内容や背景を理解しながら授業を進めたいと思います。

学生の皆さんもできるだけ予習をして授業に臨んでください。

また、TOEIC試験の形式に慣れていただくように、復習もしっかりと行って下さい。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Achieve 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria / Policy)】 Class Participation (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test 600 点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600 点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミスを分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。春学期の「英語検定試験対策Ⅰ」受講による自身の到達度を確認し、より効果的な学習プランを立てましょう。

【到達目標】

- ・ TOEIC Listening & Reading Test を受験し、600 点以上をとる。
- ・ TOEIC 受験に向けた学習の中で自分の苦手を分析することができる。
- ・ 苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

第2回から第13回授業において単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や読解問題などを解き、解説を行います。各自、解説・フィードバックを受けてテキストの復習をし、単語の暗記を行ってください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。受講者は自分の前期到達度を確認し、後期の自己目標を立てる。
2	Unit 7	Vocabulary quiz < Listening part > Airport
3	Unit 7 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Airport
4	Unit 8	Vocabulary quiz < Listening part > Hotel
5	Unit 8 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Hotel Unit 7 & 8 Test
6	Unit 9	Vocabulary quiz < Listening part > Hospital
7	Unit 9 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Hospital
8	Unit 10	Vocabulary quiz < Listening part > Events and Performances

9	Unit 10 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Events and Performances Unit 9 & 10 Test
10	Unit 11	Vocabulary quiz < Listening part > College
11	Unit 11 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > College < Listening part > Office
12	Unit 12	< Reading part > Office
13	Unit 12 cont.	Unit 11 & 12 Test
14	Final	期末テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

第2回から第13回までは毎回授業で単語テストを行います。予習をして授業に参加すること。授業で間違えた箇所を分析し、復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』(石井隆之他著) 成美堂

【参考書】

辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), 期末試験 (50%)
原則として、学期期間中に4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。
毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

授業では単に答え合わせをするだけでなく、各問題の内容や背景を理解しながら授業を進めたいと思います。
学生の皆さんもできるだけ予習をして授業に臨んでください。
また、TOEIC試験の形式に慣れていただくように、復習もしっかりと行って下さい。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Archive 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria / Policy)】 Class Participation (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

TOEIC(R)650点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低1回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。

この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650点を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書 (電子辞書可)、授業用ノートを必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。

対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方を詳しく説明していく
2	文法説明 第1課 Arts & Amusement 1	TOEIC(R)で必要とする基礎的文法の説明
3	第1課 Arts & Amusement 2	リスニング 音の脱落
4	第1課 Arts & Amusement 3	リーディング 名詞・代名詞
5	第2課 Lunch & Parties 1	第1課小テスト リスニング 子音と母音の連結 1
6	第2課 Lunch & Parties 2	リーディング 形容詞 & 冠詞

7	第3課 Medicine & Health 1	第2課小テスト リスニング 子音と母音の連結 2
8	第3課 Medicine & Health 2	リーディング 副詞
9	第4課 Traffic & Travel 1	第3課小テスト リスニング 音の混合
10	第4課 Traffic & Travel 2	リーディング 比較
11	第5課 Ordering & Shipping 1	第4課小テスト リスニング t音の変化
12	第5課 Ordering & Shipping 2	リーディング 動詞 & 時制
13	第6課 Factories & Production 1	第5課小テスト リスニング いろいろな数字に慣れよう
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。 まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
リスニング (教科書付属のCDその他)
NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト (教科書)】

TOEIC(R) L&R TESTへのニューアプローチ 一改訂版
大須賀直子・塚野壽一・山本厚子著
2019年 成美堂
2000円
ISBN978-4-7919-7189-3

【参考書】

学校語彙で学ぶTOEIC(R)テスト [単語集]
成美堂 (1700円)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %
小テスト 10 %
レポート課題・発言点 20 %
平常点 10 %
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC(R) L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Three tardies will count as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

TOEIC(R)650点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低1回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。

この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650点台の英単語を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書 (電子辞書可)、授業用ノートを必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。

対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	TOEIC(R)に関する説明・情報、関連分野について
2	第6課 Factories & Production 2	リーディング 未来表現など
3	第7課 Research & Development 1	第6課小テスト リスニング 英語とカタカナ表記との発音の違いを認識しよう。
4	第7課 Research & Development 2	リーディング 主語と動詞の呼応、時制の一致
5	第8課 Computer & Technology 1	第7課小テスト リスニング トピックが何なのかを把握しよう！
6	第8課 Computer & Technology 2	リーディング 能動態&受動態

7	第9課 Employment & Promotion 1	第8課単語テスト リスニング 会話や説明文の状況・場所・人間関係を把握しよう！
8	第9課 Employment & Promotion 2	リーディング 不定詞&動名詞
9	第10課 Advertisements & Personnel1	第9課単語テスト リスニング 場面をイメージしよう！
10	第10課 Advertisements & Personnel 2	リーディング 分詞
11	第11課 Telephone & Messages 1	第10課小テスト リスニング 英語の話の展開の特徴を知ろう
12	第11課 Telephone & Messages 2	リーディング 助動詞
13	第12課 Banking & Finance 1	第11課小テスト リスニング すべての語句を聞き取ろうとしない
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。 まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
リスニング (教科書付属のCDその他)
NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト (教科書)】

TOEIC(R) L&R TESTへのニューアプローチ 一改訂版ー
大須賀直子・塚野壽一・山本厚子著

2019年 成美堂

2000円

ISBN978-4-7919-7189-3

【参考書】

学校語彙で学ぶTOEIC(R)テスト[単語集]

成美堂 (1700円)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

小テスト 10%

レポート課題・発言点 20%

平常点 10%

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は3回で欠席1回に換算される。

各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【その他の重要事項】

秋学期のみ登録予定の学生も、教科書は春学期に購入すること

【Outline (in English)】

Course outline

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC(R) L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC(R) TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Three tardies will count as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication I

2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目では、「ソーシャルメディア」「ビジネス」「ストーリー」にまつわるトピックについて、楽しみながら英語で聞き、読み、話す練習をし、それぞれの授業の終わりには、その日のトピックについて自信を持って英語で話せるようになることを目指します。（ソーシャルメディアやビジネスについての知識は必要ありません。）

【到達目標】

日常生活やビジネスで役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回、その日のトピックについて、まずはリスニングとリーディングを通して主要な語彙や言い回しに慣れ親しみます（＝インプット）。その後、音読やリテリング（自分の言葉で説明する）などのアクティビティを通してインプットした表現を定着させ、最終的に自分が考えた内容を英語で自信を持って話せるようにします（＝アウトプット）。これらを、随時ペアワークによって行います。皆さんのアウトプットとしての発話に対して随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第2回	Unit 1 What is important to you?	SNSで自分の大切なものを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第3回	Unit 2 My morning routine	動画サイトでモーニングルーティンを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第4回	Unit 3 Your recommended restaurant	グルメサイトでおすすめのレストランを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第5回	Unit 4 The best film ever	映画レビューサイトでお気に入りの映画を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第6回	Unit 5 What is a true friend?	Q&Aサイトで悩み相談に答える、という設定で英語を話す練習をします。
第7回	Unit 6 The best pizza in town	新メニュー開発に向けてユニークなピザを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第8回	Unit 7 An ideal private tour plan	ニーズに合わせたツアープランを企画する、という設定で英語を話す練習をします。
第9回	Unit 8 Useful apps for your smartphone	あったらいいなと思うアプリの機能をプレゼンする、という設定で英語を話す練習をします。

第10回	Unit 9 A proposal for new flavors	データをもとにヒット商品の新しい味を提案する、という設定で英語を話す練習をします。
第11回	Unit 10 A great figure in the business world	ビジネス界の偉人を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第12回	Unit 11 Cheese for Uncle David	クスッと笑える小噺を英語で話す練習をします。
第13回	Unit 12 The baby sitter	英語でストーリーの展開を予測して伝える練習をします。
第14回	期末試験とまとめ	授業でおぼえた表現を用いた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のUnitで解説したポイントをよく復習して、期末試験でどのUnitのテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれのUnitの内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Speaking Steps『スピーキング・ステップ～英語を話すための3ステップ～』（金星堂）

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度(50%)と期末試験(50%)から総合的に評価します。欠席4回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【Outline (in English)】

In this course, students listen to, read and speak English on various enjoyable topics regarding 'social media', 'business' and 'stories' so that they can speak confidently about a specific topic in English by the end of each class. The goal of this course is learning useful expressions for daily life and business and improving speaking skills in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication II

2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目では、様々な架空の設定やトピックで英語を楽しく話すアクティビティを行うことで、日常会話で役立つ英語表現に慣れ親しみ、様々なトピックについて英語で自信をもって話せるようになることを目指します。

【到達目標】

日常生活や旅行で役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

それぞれの回のテーマに沿った架空の設定で英会話を行えるような、様々なアクティビティをペアワークやグループワークを取り入れながら行います。その際、随所で簡単なライティングを取り入れながら日常会話や旅行で使える便利な表現をおぼえることで、様々なトピックについて自信をもって英語で話せるようにします。学習成果としての皆さんの英語での発話に対して、随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第2回	Unit 1 You and your classmates	自己紹介・他己紹介に関連した英会話の練習をします。
第3回	Unit 2 You, going out to eat	外食に関連した英会話の練習をします。
第4回	Unit 3 You, shopping	買い物に関連した英会話の練習をします。
第5回	Unit 4 You, out on the town	街での外出に関連した英会話の練習をします。
第6回	Unit 5 You, planning a trip	旅行の計画に関連した英会話の練習をします。
第7回	Unit 6 You, hotel guest	ホテル滞在に関連した英会話の練習をします。
第8回	Unit 7 You, world traveler	海外旅行に関連した英会話の練習をします。
第9回	Unit 8 You, living with others	ホームステイやシェアハウスに関連した英会話の練習をします。
第10回	Unit 9 You, job hunting	就職活動に関連した英会話の練習をします。
第11回	Unit 10 You, giving good advice	誰かに助言をする際の英会話の練習をします。
第12回	Unit 11 You, solving world problems	世界の諸問題に関連した英会話の練習をします。
第13回	Unit 12 You, inventor for the future	画期的な発明に関連した英会話の練習をします。
第14回	期末試験とまとめ	授業でおぼえた表現を用いた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のUnitで解説したポイントをよく復習して、期末試験でどのUnitのテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれのUnitの内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Starting off with role play and discussion『これからの英語コミュニケーション講座』（南雲堂）

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。欠席4回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【学生が準備すべき機器他】

教科書に書き込んだ内容を写真に撮ってLMS等に提出してもらうことがあるので、スマホまたはタブレットがあるとよいですが、ない場合はご相談ください。

【その他の重要事項】

前学期のOral Communication Iを取っていなくても受講可能です。

【Outline (in English)】

In this course, students speak English in various role-plays in imaginary situations and discussions on enjoyable topics so that they can familiarize themselves with useful daily life expressions in English and speak confidently about various topics in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English through Movies and Drama I 2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト *Integrated Skills Through Movies* により、映画について書かれたエッセイを精読し、映画に出てくる表現が身につくよう練習します。

【到達目標】

1. 楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
2. 映画の内容について理解を深めます。
3. エッセイに出てくる語句や文法の知識を正確に身につけます。
4. 映画に出てくる表現を身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1. 映画の中で注目すべき英語表現を理解します。
 2. 単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
 3. 映画の見どころを解説します。
 4. エッセイ理解のための練習問題と、1で学んだ表現をより深く理解するための練習問題に取り組みます。
- 授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。)
第2回	Chapter 1: Finding Mr. Right	<i>Bridget Jones's Diary</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第3回	Chapter 2: Email: A Communication Revolution	<i>You've Got M@il</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第4回	Chapter 3: Love and Courage	<i>Titanic</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第5回	Chapter 4: Working Women and The American Dream	<i>Working Girl</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第6回	Chapter 5: The Communication of Love	<i>I am Sam</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第7回	Chapter 6: Over the Rainbow	<i>The Majestic</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第8回	Chapter 7: Figuring Life Out	<i>Cast Away</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第9回	Chapter 8: Who am I?	<i>Bicentennial Man</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。

第10回	Chapter 10: The Price of Fame	<i>The Bodyguard</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第11回	Chapter 11: Hollywood Laughs at Hollywood	<i>America's Sweethearts</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第12回	Chapter 12: Getting Rid of the Politicians	<i>Dave</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第13回	復習と春学期末テスト	春学期に学んだエッセイと映画の中のフレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	筆記試験のフィードバックと秋学期授業 (English through Movies & Drama II) の予告	筆記試験を返却して徹底解説し、個別のフィードバックも行います。 秋学期の課題映画 <i>Notting Hill</i> について解説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストのエッセイ読解と各練習問題は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。その他に各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。

【テキスト（教科書）】

Integrated Skills Through Movies (Asahi Press)

【参考書】

特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

「映画を楽しみながら英語を学べてよかった」、「知っているはずの文法項目でも、抜けていたところに気づけてよかった」などと、好評でした。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoomでも動画共有を行うので、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoomではお顔出しと静かな環境からの参加をお願いしています。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、学習支援システムも利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to read intensively essays in *Integrated Skills Through Movies* and to practice key phrases in movies. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and final exam(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)
English through Movies and Drama II
2017年度以降入学者
平野井 ちえ子
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火 4/Tue.4
単位数：1 単位
定員制 (20)
その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

*Notting Hill*により口語表現を学びます。この作品はいわゆるロマンティックコメディですが、日常会話に応用し易い比較的平易な表現を豊富に含んでいます。また、登場人物の台詞からイギリス英語とアメリカ英語の違いも学びます。

【到達目標】

1. 口語表現に親しみ、応用できるよう習得する。
2. **Authentic** な英語に対するリスニング力を向上させる。
3. イギリス英語とアメリカ英語の違いを学ぶ。
4. シナリオを読むことに慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

このテキストの各ユニットは、プレタスク（語句や表現の予備知識を習得する）、聴き取り、表現練習、イギリス英語とアメリカ英語の比較、映画本編のスク립ト等から構成されています。プレタスク、聴き取り、表現練習などのタスクから取り組み、英米語の比較を経て、スク립トの一部を読みます。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。最初の授業にも必ず出席してください。
第2回	Unit 1: William's Notting Hill & 'She'	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第3回	Unit 2: Surreal, But Nice	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第4回	Unit 3: A Goddess Is A Movie Star	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第5回	Unit 4: Birthday Party	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第6回	Unit 5: A Date With Anna	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第7回	Unit 1 ~ Unit 5 の復習	Unit 1 ~ Unit 5 で学んだ口語表現を復習します。

第8回	Unit 6: She's Gone	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第9回	Unit 7: She's Back	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第10回	Unit 8: Rude Awakening -Ain't No Sunshine	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第11回	Unit 9: Like Me Again	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第12回	Unit 10: The Right Decision -The Meaning of My Life Is She	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第13回	復習と秋学期末試験	<i>Notting Hill</i> で学んだ英語表現について復習と筆記試験を行います。
第14回	筆記試験のフィードバックと学習アドバイス	筆記試験を返却して徹底解説し、個別のフィードバックも行います。英語学習に適した映画についての講義を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト前半の練習問題は予習を前提に進めます。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Notting Hill →映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』新装版（松柏社）

【参考書】

特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

以前*Love Actually*を使用しましたが、映画好きの受講者が多く、楽しい授業となりました。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoomでも動画共有を行うので、使用機器（PC利用のこと）とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoomではお顔出しと静かな環境からの参加をお願いします。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、学習支援システムも利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to learn and practice vocabularies and phrases in the movie *Notting Hill*, understanding the content. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and final exam(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English through Movies and Drama I 2017年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ヒュー・グラント主演のイギリスのコメディ映画『アバウト・ア・ボーイ』を英語字幕付きで見て、そのスクリプト（映画脚本）とExerciseの載ったテキストを使い、日常的な英語を理解し、学ぶ。映画を見る前に、単語の確認をしてから、映画を見て、読解問題を解き、CDで、一部の聞き取り問題を行ってから、コメディ映画特有の比喩的な表現とBritish Englishの問題を解く。これらの作業から、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現（特に、イギリスの口語）を学び、スクリプトの音源のCDを聞き、リスニング能力を向上させ、内容については、テキストで問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書のスクリプトの英文を読み、各エクササイズに答えてもらいます。予習を前提にした授業を行う。授業では、映画を見る前のエクササイズの後、映画を見て、教科書の問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深める。課題やレポートは、「学習支援システム(Webclass)」から提出してもらい、採点あるいは、コメントをつけて、フィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション。	テキストの説明と、どこを予習すべきかなどを説明。また、「学習支援システム(Webclass)」の教材のところに、Youtubeの予告編を見て、どんな映画が想像して、ディスカッションする。テキストを手配しておく。
2	Unit 1 A Boy and a Man (万が一、テキストがまだない学生は、学習支援システム(Webclass)の教材に置いてあるUnit 1のExercisesとScriptを予習して授業に臨むように。) 次週以降は、テキストがあるという前提で授業する。	ふたりの男子。テキストの予習復習をする。
3	Unit 2 Will joins SPAT	ウィルSPATに入会。テキストの予習復習をする。
4	Unit 3 You Need a Backup	支えが要るんだ。テキストの予習復習をする。

5	Unit 4 Will and Marcus Become Mates	ウィルとマーカスの奇妙な友情。テキストの予習復習をする。
6	Unit 5 Marcus's Fashion Makeover	マーカスを変身させよう。テキストの予習復習をする。
7	Unit 6 Will's First Real Christmas	初めての本物のクリスマス。テキストの予習復習をする
8	Unit 7 The Boys Get Crushes	ふたりが同時に恋をした。テキストの予習復習をする。
9	Unit 8 Lies, Half-truths & Honesty	「ウソ」と「半端なホント」と「ホントのホント」。テキストの予習復習をする。
10	Unit 9 Marcus's Gift to Mum	お母さんへの贈り物。テキストの予習復習をする。
11	Unit 10 No Man Is an Island	人は孤島ではない。テキストの予習復習をする。
12	Unit 1-10 復習 (Unit 9までしか見られない可能性があります。)	日本語字幕で、Unit 1 から、最後まで、一気に見て復習する。時間的にUnit 10まで行かない場合は、翌週に、Unit 10 だけ日本語字幕で見る。
13	Unit 10(?) &Unit 1-5	もし第12回に日本語字幕で最後まで見られなかった場合は、Unit 10を日本語字幕で見てから、映画の前半のUnit 1-5を、英語字幕で復習する。テキストの巻末の「チャック」を学ぶ。
14	Unit 6 - Unit 10	英語字幕で、映画の後半を復習する。テキストの巻末の「チャック」を学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、テキストの問題を解き、辞書を引きながらスクリプトに目を通して、必ず、注を読んでおく。

【テキスト（教科書）】

Peter Hedges/Chris Weitz &Paul Weitz, 神谷久美子、Kim R.Kanel『About a Boy』松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を30%、授業で回収する書き込みシートを20%、学期末のレポートを50%で採点する。課題未提出および欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいました。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called About a Boy, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50%and the final paper 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English through Movies and Drama II	2017年度以降入学者
舟橋 美香	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：月 4/Mon.4
単位数：1単位	
定員制 (20)	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リチャード・カーティスが脚本・監督し、ヒュー・グラント、リーアム・ニーソン、コリン・ファース、キーラ・ナイトレイ、ビル・ナイなど、イギリス出身の俳優が綺羅星の如く登場し、さまざまな恋模様が描かれる映画『Love Actually』を、英語字幕付きで見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。英語力アップだけでなく、イギリスを構成する様々な登場人物たちが話す英語から、階級や立場によって異なるイギリスで話されている英語についても学ぶ。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、リスニング能力を向上させ、内容については、スクリプトを読み、テキストで問題を解くことで、理解を深めることができる。また、映画には、さまざまな英語が話されるので、実際に話される英語の聞き取り能力もアップさせる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

予習を前提にした授業を行う。各章のスクリプト（映画脚本）と問題をあらかじめ予習している状態で、映画を見る前にやる教科書のエクササイズを解いてから、CDで映画のスクリプトを聴きながら、テキストのスクリプトの部分を読む。その後、各週の映画を見て、問題を解いて理解を深める。各Unitのテキストを終えてから、小テストを行い、答え合わせをしてから回収します。また、復習用に「単語テスト」を配布しますので、書き入れて、次週持ってきてください。また、「学習支援システム（Webclass）」に提出してもらう課題は、採点し、コメントをつけて、フィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	テキストのどこを予習すべきかを含めた授業の説明。テキストを手配しておく。
2	Unit 1 Love Actually Is All Around	クリスマス5週間前のロンドン。様々な人物登場。映画の script の読み方について、解説してから、Previewing の答え合わせをしてから、映画を見て、問題に答える。以降の週も同じ流れ。
3	Unit 2 Agony of Being in Love	Daniel たちの物語。
4	Unit 3 Feel Uncomfortable?	6組の人物たちの想い。
5	Unit 4 Have You Gone Completely Insane?	新たな恋の展開？。
6	Unit 5 It's for you	Daniel の奮闘。他の登場人物の中には、自分の恋心に気づくものもいて、、、。

7	Unit 6 You're Beautiful	クリスマスプレゼント問題発生。
8	Unit 7 All I Want for Christmas is You	アメリカに到着する Colin。プレゼント問題がまたまた発生。
9	Unit 8 The Time to Be with the People You Love	ついにクリスマス。様々な想いが交錯。
10	Unit 9 All I want for Christmas is You	すべての恋がクライマックスに。
11	映画の冒頭から、なるべく最後の方まで、Unit 1-9 復習。>	日本語字幕付きで、Unit 1 から 9 を通して、授業時間内で見られるところまで見て復習する。
12	11回目の授業で見られなかった映画の最後までを復習& Unit 1-5 復習	日本語字幕で、映画の最後まで見たあと、英語字幕付きで、映画の前半の Unit 1-5 を通して見て復習する。
13	映画の後半、Unit 6-9 を通して見る。	英語の字幕で、映画の後半を復習する。
14	Unit 10 Let's Review!	テキストの最初から最後まで復習しておく。授業では、テキストの Unit 10 の答え合わせ。学期末レポートの説明。（レポートは学習支援システム（Webclass）で、提出してもらうので、その確認。）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、辞書を引きながら、テキストのスクリプトに目を通して、各Unitの問題を解いておく。注(Notes)もしっかり予習しておく。

【テキスト（教科書）】

仁科恭徳監修、藤原康弘／鎌倉義士／吉川祐介 編著『Love Actually』松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

各時間に回収する「小テスト」と3回目の授業以降に授業の冒頭で答え合わせをする復習用の「単語テスト」を20%。各授業におけるリアクションを含めた平常点を30%、学期末のレポートを50%で採点する。各課題未提出あるいは欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

2025年度から新たなテキストを使用するので、これまでの別のテキスト／映画についての意見は参考にならない可能性がありますので、無回答とします。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called *Love Actually*, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50%and the final paper 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) I

2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「TOEIC®って何？」という入門レベルの話題から出発しますが、秋学期授業終了時には、TOEIC®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、春学期から出題内容・言語スキルを系統的に学んでいきます。

【到達目標】

TOEIC®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

主として、後述のcore textに沿った授業ですが、単なるTOEIC®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、e-learningによる個別問題演習も行います。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	春学期・秋学期の概要とレベルの説明。
第2回	Unit 1: Travel (名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第3回	Unit 2: Dining Out (形容詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第4回	Unit 3: Media (副詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第5回	Unit 4: Entertainment (時制を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第6回	Unit 1～4	復習のためのポイント講義と問題演習
第7回	Unit 5: Purchasing (主語と動詞の一致を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第8回	Unit 6: Clients (能動態・受動態を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第9回	Unit 7: Recruiting (動名詞・不定詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第10回	Unit 8: Personnel (現在分詞・過去分詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第11回	Unit 5～8	復習のためのポイント講義と問題演習
第12回	Interview	個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認しアドバイスを行います。
第13回	復習と春学期末テスト	春学期に学んだ単語・フレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	春学期の総括	期末テストを返却して解説します。秋学期授業の予告、夏季休暇中の勉強のしかたなどを説明し、個別指導を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

下記Core textや関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。秋学期12月のTOEIC®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Score Booster for the TOEIC® L&R Test Intermediate (金星堂)
そのほか、プリント教材

【参考書】

URL (例)

<http://heathrow.com/><https://www.expedia.co.uk/><https://www.ox.ac.uk/gazette/>など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (40%)、Interview (20%)、期末テスト (40%) から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

通年履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。少人数クラスならではのコミュニケーションが効果的だったのではと自負しています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom授業では、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom授業ではお顔出しと静かな環境からの参加をお願いしています。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

We will start with the introductory topic, 'What it is like the TOEIC® test?' Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC® scores. We will learn such knowledge and skills systematically from the spring semester. By the end of the course, students should get familiar with the testing types. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(60%) and final exams(40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) II

2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期の学習を踏まえて、秋学期はとくにビジネスシーンを意識した内容に取り組みます。秋学期終了時には、TOEIC®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、系統的に学んでいきます。

【到達目標】

TOEIC®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。12月のTOEIC®本試は全員に受験していただく予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

主として、後述のcore textに沿った授業ですが、単なるTOEIC®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、実践力を養う一斉小テストも行います。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	春学期の学習内容の復習、秋学期の学習計画の説明などを行います。
第2回	Unit 9: Advertising (代名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第3回	Unit 10: Meetings (比較を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第4回	Unit 11: Finance (前置詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第5回	Unit 8～11	復習のためのポイント講義と問題演習
第6回	Unit 12: Offices (接続詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第7回	問題演習 (1)	パート別に制限時間を設けての問題演習
第8回	問題演習 (2)	パート別に制限時間を設けての問題演習
第9回	Unit 13: Daily Life (前置詞と接続詞の違いを学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第10回	Unit 14: Sales & Marketing (関係代名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第11回	Unit 15: Events (語彙の結びつきを学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第12回	Interview	個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認しアドバイスを行います。
第13回	復習と秋学期末テスト	秋学期に学んだ単語・フレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	秋学期の総括	期末テストを返却して解説します。 12月のTOEIC®スコアレポート提出後、学生本人の希望に応じて個別指導を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

下記Core textや関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。12月のTOEIC®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Score Booster for the TOEIC® L&R Test Intermediate (金星堂)
そのほか、プリント教材

【参考書】

『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 10』(Educational Testing Service)
URL (例)
<http://heathrow.com/>
<https://www.expedia.co.uk/>
<https://www.ox.ac.uk/gazette/>など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%)、Interview (20%)、期末テスト(30%)、12月TOEIC®本試のスコア (20%)から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。少人数クラスならではのコミュニケーションが効果的だったのではと自負しています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom授業では、使用機器(PC利用のこと)とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom授業ではお顔出し参加と静かな環境からの参加をお願いしています。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC® scores. We will continue to learn such knowledge and skills systematically. Especially in the fall semester, we will focus on a variety of business situations. By the end of the course, students should reach their target score in the TOEIC® testing. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(30%), interview(20%), final exam(30%) and TOEIC® score(20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) I

2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEICに初めて挑戦する人もスコアを上げたい人も、TOEICのための学習を通して、ビジネス英語だけでなく、日常生活で役立つ英語力（特にリスニングとリーディング）を身につけていきます。

【到達目標】

TOEICスコア500～600点取得できる程度の英語力を身につけると同時に、日常で役立つ英語の表現をおぼえ、リスニングとリーディングの基礎力をつけていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回教科書を1unitずつ学習していきます。各unitでTOEIC全パートの問題形式の解法ポイントを押さえながら演習を行うと同時に、日本人にとって聞き取りにくいリスニングのポイントや見落としがちな文法事項を解説します。また、ビジネスや日常生活の様々な分野に関する英語に触れることで、TOEICだけでなく日常生活で役立つ表現をおぼえていきます。皆さんが取り組む演習問題等の解答に対して、随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEICの概要
第2回	Unit 1 Restaurants	代名詞の聞き取り、人称代名詞
第3回	Unit 2 Entertainment	機能語の聞き取り、不定代名詞
第4回	Unit 3 Business	短縮形の聞き取り、現在・過去の時制
第5回	Unit 4 The Office	つながる音の聞き取り、現在完了
第6回	Unit 5 Telephone	音の脱落、前置詞（時・時間）
第7回	Unit 6 Letters & E-mails	音の脱落、前置詞（位置・場所）
第8回	Unit 7 Health	音の連結、数量形容詞
第9回	Unit 8 The Bank & The Post Office	音の連結、自動詞と他動詞
第10回	Unit 9 New Products	音の連結と脱落、接尾辞と品詞ー形容詞
第11回	Unit 10 Travel	短い対話文の聞き取り、接尾辞と品詞ー副詞
第12回	Unit 11 Daily Life	長い対話文の聞き取り、分詞構文
第13回	Unit 12 Job Applications	長い文章の聞き取り、比較
第14回	期末試験とまとめ	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate (成美堂)
*同タイトルのBasicまたはAdvancedと間違えないように気を付けてください。

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。欠席4回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気をつけます。

【Outline (in English)】

In this course, whether they are new to TOEIC or want to improve their score, through learning for TOEIC, students will acquire not only business English, but also English skills (especially listening and reading skills) that will be useful in everyday life. The aim of this course is for students to acquire English language skills to the extent that they can obtain a TOEIC score of 500-600 points. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) II

2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC に初めて挑戦する人もスコアを上げたい人も、TOEIC のための学習を通して、ビジネス英語だけでなく、日常生活で役立つ英語力（特にリスニングとリーディング）を身につけていきます。

【到達目標】

TOEIC スコア 500～600 点取得できる程度の英語力を身につけると同時に、日常で役立つ英語の表現をおぼえ、リスニングとリーディングの基礎力をつけていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回教科書を 1unit ずつ学習していきます。各 unit で TOEIC 全パートの問題形式の解法ポイントを押さえながら演習を行うと同時に、日本人にとって聞き取りにくいリスニングのポイントや見落としがちな文法事項を解説します。また、ビジネスや日常生活の様々な分野に関する英語に触れることで、TOEIC だけでなく日常生活で役立つ表現をおぼえていきます。皆さんが取り組む演習問題等の解答に対して、随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC の概要
第2回	Unit 1 Sightseeing / Guided Tour	「主語」と「述語動詞」を探そう
第3回	Unit 2 Restaurant	「人称」と「単数」か「複数」か、を考えよう
第4回	Unit 3 Hotel / Service	「現在形」か「現在進行形」か。「過去形」か「現在完了形」か。
第5回	Unit 4 Employment	「自動詞」と「他動詞」を使い分けよう
第6回	Unit 5 Entertainment	「現在分詞」も「過去分詞」も形容詞の働きをする
第7回	Unit 6 Shopping / Purchases	「文の要素」を思い出そう
第8回	Unit 7 Sports / Health	「基本 5 文型」と「第 2 文型」、「第 3 文型」の見分け方
第9回	Unit 8 Doctor's Office / Pharmacy	接続詞の種類と接続詞ではない「接続副詞」
第10回	Unit 9 Hobbies / Art	接続詞 vs 前置詞のよくあるパターンと関連語句
第11回	Unit 10 Education / Schools	「関係代名詞」と「関係副詞」
第12回	Unit 11 Technology / Office Supplies	「比較級」と「最上級」
第13回	Unit 12 Transportation	「仮定法」と「倒置」のケース
第14回	期末試験とまとめ	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Progressive Strategy for the TOEIC L&R Test (成美堂)

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気をつけます。

【その他の重要事項】

春学期の TOEIC I を受講していなくても、受講できます。

【Outline (in English)】

In this course, whether they are new to TOEIC or want to improve their score, through learning for TOEIC, students will acquire not only business English, but also English skills (especially listening and reading skills) that will be useful in everyday life. The aim of this course is for students to acquire English language skills to the extent that they can obtain a TOEIC score of 500-600 points. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (20)

2018年度までに「英検準備 I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検準1級と TOEFL の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interviews and lectures
- 3.Be able to talk about basic topics
- 4.Be able to write a multi-paragraph essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (授業は演習形式で行います)

- 1.Clarity objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのか、ゴールをどこに設定するかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検と TOEFL テストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify your strong and weak points(強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice
4回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1 Learning Paragraph Structure 2 Paragraph reading practice 2 Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping 2 Prosodic shadowing 3 Contents shadowing
6回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice

7回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay 3.Peer editing
8回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Writing your draft 2.Feedback
9回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2 Reading practice 3 Listening practice
10回	TOEFL: Intensive Reading Training	1 Paragraph reading practice 2 Summarizing passages
11回	TOEFL: Reading and Listening practice	1 Reviewing paragraph structure 2 Paragraph reading practice 3.Listening practice
12回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Listening exercises
13回	TOEFL: Listening and speaking Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1.Weekly reading or listening home assignments
- 2.Writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated.

語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and TOEFL tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (20)

2018年度までに「英検準備Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検とIELTSの演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to give a mini-presentation on a given topic
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (授業は演習形式で行います)

- 1.Clarifying objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのか、ゴールをどこに設定するかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検とIELTSテストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading & Listening practice to identify your strong and weak points(強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training #1	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice
6回	Eiken: Intensive Listening Training #2	1.Listening practice 2.Reading rapidly practice

7回	Eiken: Essay Writing	1.Learning basic writing structures and analyzing model essays 2.Writing an essay
8回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Peer editing 2.Feedback 3.Rewriting your draft
9回	Introduction to IELTS	1.Explanation of the basic format of IELTS(IELTSについて) 2.Reading practice 3.Listening practice
10回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
11回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Reading practice
12回	IELTS: Intensive Listening practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening exercises
13回	IELTS: Listening Training and presentation	1.Overlapping and shadowing 2.mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)

2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and IELTS tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Business Communication I 2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現やEメール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/Readingのみならず、TOEIC® Speaking/Writingにも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業始めにListening小テストを毎回行う。メイン教材としては、まずTOEIC®実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネスDVD視聴、英文書類、Eメール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**
なし/No**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Academic English	Business Communication に必と Business English
第2回	TOEIC® Listening Test	要な英語について概説する TOEIC®のListening問題を一回分(100問)解き、答え合わせを行う
第3回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる1（文法）
第4回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる2（語彙）
第5回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる1（単一文書単語補充）
第6回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる2（単一文書読解）
第7回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる3（複数文書の関連付け）
第8回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる4（図表・伝票を含む複数文書）

第9回	Listening 7 英文帳票作成	英語音声聴解 Leave Request Domestic/Oversea Travel Form
第10回	Listening 8 社内文書作成	英語音声聴解 Interoffice Memo Notice
第11回	Listening 9 社交文書作成1	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴①会合
第12回	Listening 10 社交文書作成2	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴②業務連絡
第13回	就職活動文書作成	履歴書作成 応募カバーレター 紹介状・推薦状 試験・まとめと解説
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を引きながら読み、問題の答えを考えてくる必要がある。

【テキスト（教科書）】

TOEIC®問題、Listening問題、英文レター・メール等のWriting問題、ビジネスシーンを収録したDVDのDictation問題は、すべてプリントを配布する。

【参考書】

授業に必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、課題等20%を原則とする。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも0点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

TOEIC問題の中のビジネス関連部分を解きながらビジネス英語に慣れていき、無理なくビジネスシーンの英語に対応できるようになることを目指している。履修者の中でTOEIC受験を予定する人からの質問等には対応する。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。英文メール&レターWritingを行う際、備付PCのない教室が割り当てられた場合は各自のモバイルPCを持ち込むことになる。PCの都合がつかない学生にはPC貸与を受けるなど方策をとるので、PCの有無で受講を控える必要はない。なお、授業で扱うTOEIC実問題が難しいと不安な場合は、学習支援システムに解説パワーポイントスライドをアップするので予習に活用していただきたい。

【その他の重要事項】

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。また、単位取得のためには授業参加状況も大切で、遅刻・欠席のないように願う。

【Outline (in English)】

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import /export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student’s overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Business Communication II 2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解を持ち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現やEメール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/ReadingのみならずTOEIC® Speaking/Writingにも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業始めにListening小テストを毎回行う。メイン教材としては、まずTOEIC®実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネスDVD視聴、英文書類、Eメール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。なお、春学期とは別の問題を使って授業を進めるため、秋学期からの履修も可能で不利は一切ない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Business EnglishとTOEIC®等各種資格試験	Business Communicationに必要な英語とTOEIC®, ビジネス英語検定試験等について解説する
第2回	TOEIC® Listening Test	TOEIC®のListening問題を一回分(100問)解き、答え合わせを行う
第3回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1(文法)
第4回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2(語彙)
第5回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1(単一文書単語補充)
第6回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2(単一文書読解)
第7回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3(複数文書の関連付け)

第8回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4(図表・伝票を含む複数文書)
第9回	Listening 7 英文帳票作成	英語音声聴解 Cash Advanced Payment, Expense Report, Cash Payment Request
第10回	Listening 8 貿易書類作成	英語音声聴解 Packing List, Invoice
第11回	Listening 9 転職・売込	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴①転職
第12回	Listening 10 会議英語	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴②会議・プレゼンテーション
第13回	価格交渉と取引成立	ビジネスDVD視聴③交渉
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を調べながら読み、問題の答えを考えてくることが必要。

【テキスト（教科書）】

TOEIC®問題、Listening問題、英文レター・メール等のWriting問題、ビジネスシーンを収録したDVDのDictation問題は、すべてプリントを配布する。

【参考書】

授業に必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、課題等20%を原則とする。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも0点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

TOEIC問題の中のビジネス関連部分を解きながらビジネス英語に慣れていき、無理なくビジネスシーンの英語に対応できるようになることを目指している。履修者の中でTOEIC受験を予定する人からの質問等には対応する。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。英文メール&レターWritingを行う際、備付PCのない教室が割り当てられた場合は各自のモバイルPCを持ち込むことになる。PCの都合がつかない学生にはPC貸与を受けるなど方策をとるので、PCの有無で受講を控える必要はない。なお、授業で扱うTOEIC実問題が難しいと不安な場合は、学習支援システムに解説パワーポイントスライドをアップするので予習に活用していただきたい。

【その他の重要事項】

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。また、単位取得のためには授業参加状況も大切で、遅刻・欠席のないように願う。

【Outline (in English)】

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import /export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student’s overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ニュース英語 I

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

ニュース英語を正確にすばやく読み取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音読とチャンク・リーディングは車の両輪のようなものであるから、音読練習も時間をかけて行う。意味のかたまりを意識し、英語らしい読み方を身につけることによって、リスニング力やライティング力も鍛えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

ペア / グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型（＝協働学習）の授業を行う。英文をかたまりごとに分け、前から読んで理解する訓練を行う。各章の終わりには日英の変換練習を行い、ライティング・スピーキング力の向上に繋げていく。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。洋楽、洋画、TOEIC®の問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Chapter 01: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第3回	Chapter 01: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第4回	Chapter 02: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第5回	Chapter 02: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第6回	Chapter 03: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第7回	Chapter 03: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第8回	Chapter 04: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第9回	Chapter 04: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第10回	Chapter 05: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第11回	Chapter 05: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第12回	Chapter 06: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

VOA News: Reading for Cross-cultural Understanding (英宝社, 2021)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50% + プレゼンテーション20% + 提出課題20% + 平常点10%によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

チャンクリーディング、洋楽クイズ、クイズサイトの利用を引き続き行う。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【その他の重要事項】

教科書は初回授業までに購入しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint. The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. The course will examine American culture and society. It expects students to gain an increased critical understanding of them and express themselves effectively.

・ Students will learn to read efficiently.

・ Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.

・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and oral reading at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ニュース英語Ⅱ

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制（20）

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

ニュース英語を正確にすばやく読み取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音読とチャンク・リーディングは車の両輪のようなものであるから、音読練習も時間をかけて行う。意味のかたまりを意識し、英語らしい読み方を身につけることによって、リスニング力やライティング力も鍛えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

ペア/グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型（＝協働学習）の授業を行う。英文をかたまりごとに分け、前から読んで理解する訓練を行う。各章の終わりに日英の変換練習を行い、ライティング・スピーキング力の向上に繋げていく。提出課題に対しては、個別またはクラスのフィードバックを行う。洋楽、洋画、TOEIC®の問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Chapter 06: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第3回	Chapter 07: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第4回	Chapter 07: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第5回	Chapter 08: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第6回	Chapter 08: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第7回	Chapter 09: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第8回	Chapter 09: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第9回	Chapter 10: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第10回	Chapter 10: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第11回	Chapter 11: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第12回	Chapter 11: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

VOA News: Reading for Cross-cultural Understanding (英宝社, 2021)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50%＋プレゼンテーション20%＋提出課題20%＋平常点10%によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

チャンクリーディング、洋楽クイズ、クイズサイトの利用を引き続き行う。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint. The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. The course will examine American culture and society. It expects students to gain an increased critical understanding of them and express themselves effectively.

・ Students will learn to read efficiently.

・ Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.

・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and oral reading at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミ ユニケーション) A- I 2017年度以降入学者

TIMOTHY B BETJEMAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to help students develop their English communication skills, focusing on listening, speaking, and writing. Through engaging class activities and practical assignments, students will gain confidence and fluency in expressing themselves in English.

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to navigate a variety of real-world English-speaking situations that they are likely to encounter when living or studying abroad. They will also enhance their ability to convey ideas clearly and logically in both spoken and written forms.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will take place in person at the Ichigaya campus. Classes will include lectures, discussions, and collaborative tasks. Students will be encouraged to express their viewpoints, participate in debates, role play, and deliver short presentations. Feedback will be provided in class or via email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Overview of syllabus, expectations, and self-introductions
2	A Test of Endurance (Textbook Unit 1)	Formulating and defending opinions
3	A Test of Endurance (Textbook Unit 1)	Group discussion: Team vs. individual sports
4	Avoiding Identity Theft (Textbook Unit 2)	Giving and receiving advice
5	Avoiding Identity Theft (Textbook Unit 2)	Group discussion: Strategies to prevent fraud
6	Writing Workshop	Crafting precise and effective sentences
7	Why Explore Space? (Textbook Unit 3)	Making and confirming predictions
8	Why Explore Space? (Textbook Unit 3)	Group discussion: The future of space travel

9	Persuasive Speaking (Textbook Unit 4)	Using logical and emotional arguments
10	Persuasive Speaking (Textbook Unit 4)	Group discussion: Evaluating advertisements
11	Individual Presentation (3-5 min)	Topics: Personal uniqueness or cultural distinctions
12	Individual Presentation (3-5 min)	Continuation of student presentations
13	Final Exam Preparation	Reviewing vocabulary and listening skills
14	Final Exam (Units 1-4)	Exam and course reflections

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

NorthStar Listening and Speaking 5th Edition 3 (Pearson)
ISBN: 978-0-13-522703-9

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%- Participation and classwork

40%- Assignments*

30%- Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

*Assignments:

Weekly English Activity Journal - Record at least two English-related activities per week, and briefly summarize an item from the news.

Speech Assignment (3-5 min): Choose one of the following topics:

a. What makes you unique?

b. How does Japan differ from other cultures?

【学生の意見等からの気づき】

No revisions have been made based on previous student feedback.

【Outline (in English)】

This course is designed to help students develop their English communication skills, focusing on listening, speaking, and writing. Through engaging class activities and practical assignments, students will gain confidence and fluency in expressing themselves in English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-II 2017年度以降入学者

TIMOTHY B BETJEMAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course aims to enhance students' listening, speaking, and writing abilities through a range of interactive classroom activities and independent assignments. The objective is to help students become more confident and proficient English communicators.

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to effectively communicate in various English-speaking scenarios, particularly those they might encounter while living or studying abroad. Additionally, they will develop the ability to articulate their thoughts and opinions through both speaking and writing in a clear and concise manner.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in person on the Ichigaya campus. Each session will include brief lectures, textbook exercises, discussions, and group activities. Students will be encouraged to express and support their opinions and prepare short speeches on assigned topics. Feedback on homework and in-class participation will be provided in person and/or via email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Overview of course structure, expectations, and student introductions
2	Careers (Unit 5)	Using follow-up questions to extend conversations
3	Careers (Unit 5)	Role play: job interview
4	Tourism (Unit 6)	Considering different perspectives on an issue
5	Tourism (Unit 6)	Designing a tourism campaign for a local Japanese site
6	Writing Workshop	Structuring a paragraph with topic and supporting sentences
7	Restorative Justice (Unit 7)	Developing persuasive arguments
8	Restorative Justice (Unit 7)	Group discussion: Pros and cons of restorative justice
9	Climate Change (Unit 8)	Analyzing and presenting data
10	Climate Change (Unit 8)	Group discussion: Strategies for addressing climate change

11	Individual Speech (3-5 min)	Topic: How would you like to improve yourself or Japan?
12	Individual Speech (3-5 min)	Continuation of student presentations
13	Final Exam Review	Vocabulary and listening practice
14	Final Exam (Units 4-8)	Exam and wrap-up

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

NorthStar Listening and Speaking 5th Edition 3
ISBN: 978-0-13-522703-9

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

30%- In-class participation and activities

40%- Assignments*

30%- Final exam

In principle, no more than three absences are allowed.

* Assignments:

Weekly English Activity Journal - Record at least two English-related activities per week, and briefly summarize an item from the news.

Speech Preparation (3-5 min): Choose between:

a. How would you like to improve yourself?

b. How would you like to improve Japan?

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

This course aims to enhance students' listening, speaking, and writing abilities through a range of interactive classroom activities and independent assignments. The objective is to help students become more confident and proficient English communicators.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミュニケーション) B- I 2017年度以降入学者

TIMOTHY B BETJEMAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course focuses on enhancing students' understanding and use of key business-related English phrases and expressions. Through practical applications and engaging activities, students will develop confidence in using English effectively in professional settings.

【到達目標】

By the end of this course, students will be equipped to navigate a variety of business communication scenarios that they might encounter in an English-speaking work environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in person at the Ichigaya campus. Each session will feature a mix of mini-lectures, interactive textbook exercises, discussions, and role-playing activities. Students will be encouraged to engage in conversations, analyze case studies, and refine their business communication skills. Personalized feedback will be provided in class and/or via email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Overview of syllabus, course expectations, and introductions
2	Careers (Unit 1)	Business phone calls
3	Careers (Unit 1)	Case study: You Juice
4	Companies (Unit 2)	Describing companies
5	Companies (Unit 2)	Case study: Dino Conti
6	Selling (Unit 3)	Negotiation skills and business transactions
7	Selling (Unit 3)	Role-play: Negotiating
8	Great Ideas (Unit 4)	Effective strategies for leading meetings
9	Great Ideas (Unit 4)	Role-play: Pitching a new attraction
10	Stress Management (Unit 5)	Participating effectively in workplace discussions
11	Stress Management (Unit 5)	Case study: Davies-Miller
12	Entertaining (Unit 6)	Socializing, networking, and small talk in professional settings
13	Final Exam Preparation	Review of vocabulary, listening skills, and key concepts

14 Final Exam (Units 1-6) Exam and course wrap-up

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Market Leader 3rd Edition Extra Edition Pre-Intermediate Coursebook (Pearson)
ISBN:9781292361161

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

30%- Participation and class activities

40%- Assignments

30%- Final assessment

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

This course focuses on enhancing students' understanding and use of key business-related English phrases and expressions. Through practical applications and engaging activities, students will develop confidence in using English effectively in professional settings.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-II 2017年度以降入学者

TIMOTHY B BETJEMAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to enhance students' understanding and use of business-related English phrases and expressions, helping them gain confidence in professional communication settings.

【到達目標】

By the end of the course, students will be prepared to navigate various business communication scenarios, allowing them to collaborate effectively with English-speaking colleagues and clients.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will take place in person at the Ichigaya campus. Sessions will feature a combination of short lectures, textbook-based exercises, discussions, and group activities. Students will analyze case studies, engage in role-playing exercises, and refine their business communication skills. Feedback will be provided both in class and via email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Overview of course structure, expectations, and student introductions
2	New Business (Unit 7)	Understanding key economic terms
3	New Business (Unit 7)	Case study: Shimizu Cycle
4	Marketing (Unit 8)	Introduction to marketing frameworks
5	Marketing (Unit 8)	Case study: Bicycle Light
6	Planning (Unit 9)	Meetings: Interrupting and clarifying
7	Planning (Unit 9)	Role-play: Effective planning and coordination
8	Managing People (Unit 10)	Socializing and entertaining
9	Managing People (Unit 10)	Case study: Wendy Peterson (Part 1)
10	Conflict Resolution (Unit 11)	Identifying and addressing workplace conflicts
11	Conflict Resolution (Unit 11)	Case study: Wendy Peterson (Part 2)
12	Product Presentation (Unit 12)	Describing and presenting a product effectively

13	Final Exam Preparation	Review of vocabulary, listening skills, and key concepts
14	Final Exam (Units 7-12)	Examination and course wrap-up

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Market Leader 3rd Edition Extra Edition Pre-Intermediate (Pearson)
ISBN:9781292361161

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

30%- Participation and in-class activities

40%- Assignments

30%- Final exam

In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

This course is designed to enhance students' understanding and use of business-related English phrases and expressions, helping them gain confidence in professional communication settings.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I 2017年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。現代社会では、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文に接し、コミュニケーションの道具として英語を使いこなすことが必要だと考えられます。本講義では、比較的平易な英語で書かれたビジネス向けのテキストや動画を用い、実際に使われることを想定したロール・プレイングを行うことでアウトプットできるようにしていきます。

【到達目標】

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解でき、英語で発信する基礎力をつけることです。また、プレゼンテーション(グループ・プレゼンテーションを含む)に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

○最初は、テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたり話したりする作業およびロール・プレイングが中心となります。自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、英語と日本語での発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。

○課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはオンライン等を用いて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第2講	Unit 1 Meeting for the First Time	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第3講	Unit 1の復習	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第4講	Unit 2 Welcoming a Newcomer	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第5講	Unit 1,2	内容の理解、要約、意見のまとめ(1)
第6講	Unit 3 Telephone Communication	内容の理解、要約、意見のまとめ(2)
第7講	Unit 3	内容の理解、要約、意見のまとめ(3)
第8講	Unit 4 Office Issues	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのプランニング(1)
第9講	Unit 4	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのプランニング(2)
第10講	Unit 5 Arranging a Meeting	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのリハーサル(1)

第11講	Unit 6 video Conferencing	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのリハーサル(2)
第12講	プレゼンテーション	プレゼンテーション

復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習及びプレゼンテーションのための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、プレゼンテーション等発表の計画をし、必要であればグループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト (教科書)】

English for the Global Workplace、塩見佳代子他著、成美堂、ISBN978-4-7919-7312-5

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の教場練習への参加程度(50%)、プレゼンテーション(50%)を全て考慮し、評価します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

1. 授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ発表の場合はグループ性と一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline (in English)】**【Course Outline】**

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading the articles about business and everyday life.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 50%, Presentations: 50%, No term-end examinations

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-II 2017年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。現代社会では、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文に接し、コミュニケーションの道具としてビジネスに関する英語を使いこなすことが必要だと考えられます。本講義では、比較的平易な英語で書かれたテキストや動画を用い、実際に使われることを想定したロール・プレイングを行うことでアウトプットできるようにしていきます。

【到達目標】

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解でき、英語で発信する基礎力をつけることです。また、プレゼンテーション (グループ・プレゼンテーションを含む) に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

The goal of this course is to use English texts efficiently (to get information from written things without any problems and to give appropriate presentations).

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

○最初は、テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたり話したりする作業およびロール・プレイングが中心となります。自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、英語で発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。

○課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第2講	English Writing Skills	夏休みのことを書く
第3講	Unit 8 Job Interviews	文法理解のスキル(2)
第4講	Unit 8	ライティングのスキル
第5講	Unit 9 Traveling on Business	動画鑑賞とスピーチ
第6講	Unit 10 Receiving Overseas Visitors	動画鑑賞とスピーチ原稿
第7講	Unit 10	スピーチ原稿作成方法
第8講	Unit 11 Meeting with Clients	スピーチ題材の選択

第9講	Unit 11	動画鑑賞とプレゼンテーション (1)
第10講	Unit 12 Negotiations	動画鑑賞とプレゼンテーション (2)
第11講	Unit 13 Giving Presentations	ライティング(2)
第12講	Unit 14 Review 2	スピーチ、プレゼンテーション、ライティングの復習
第13講	全体の復習	全体の復習
第14講	総括	全体の総括

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

English for the Global Workplace、塩見佳代子他著、成美堂、ISBN978-4-7919-7312-5

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の教場練習への参加程度 (50%)、プレゼンテーション (50%) を全て考慮し、評価します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていたいただきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ発表の場合はグループ性と一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading the articles about business and everyday life.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 50%, Presentations: 50%, No term-end examinations

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-I 2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course aims to develop communicative competence necessary to function in a variety of situations encountered in business. Students will learn key phrases and grammar related to the business topics covered in each unit. The students will also develop their listening comprehension skills by listening to interviews with business people and short talks. The students will also practice using this knowledge by taking part in role plays and end of unit case discussions. The students will learn and practice how to summarize their case discussions in the form of email correspondence.

【到達目標】

This course aims to develop communicative competence necessary to understand what others say, state their opinions through role plays and case discussions, and briefly summarize the results of their discussions in written form for a variety of situations encountered in business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course will make use of pair work, group work, and discussion skills in concordance with the textbook. Vocabulary development and listening comprehension will be stressed. After completing the case discussion at the end of each unit, the students will be expected to submit a written summary of their discussions.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course introduction	Ice breakers, Level assessment
Week 2	Unit 1 Introductions	State nationalities Using the verb "To be" Introducing yourself & others
Week 3	Unit 1 Introductions	Asking & answering Wh- questions Conversation & role play: Introducing yourself & others
Week 4	Unit 1 quiz and case discussion	Unit 1 quiz U1 case: choose job candidate to meet Written summary of discussion

Week 5	Unit 2 Work & leisure	Word partnerships for Routines, leisure activities Days, months, dates & prepositions of time Discussing routines
Week 6	Unit 2 Work & leisure	Simple present tense Adverbs and expressions of frequency Asking questions Expressing feelings
Week 7	Unit 2 quiz and case discussion	Unit 2 quiz U2 case: Decide 3 changes for company Written summary of discussion
Week 8	Unit 3 Problems	State Problems at work adjectives with "too" & "enough" Listen to interview on work problems
Week 9	Unit 3 Problems	Phoning: Solving problems Present tense: Negatives sentences & Questions
Week 10	Unit 3 quiz and case discussion	Unit 3 quiz U3 case: Discuss advertising policy in groups Working across cultures: restaurant etiquette Written summary of discussion
Week 11	Unit 4 Travel	Talk about travel Listen to travel information Use "Can/Can't" to state ability or possibility State existence: "there is/ there are"
Week 12	Unit 4 Travel	Listening: arranging plans on the phone Checking arrangements: telephone role play
Week 13	Unit 4 quiz and case discussion	Unit 4 quiz U4 case: Scheduling different conferences at a conference center. Written summary of discussion
Week 14	Units 1-4 Review	Review of units 1-4, conclusion activities for course.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Homework assigned from the textbook, supplemental exercises, preparation for discussion, write short business correspondence 本授業の準備学習・復習時間は、各4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Market Leader Coursebook: elementary 3rd ed. Cotton, Falvy, Kent
ISBN 9781292134758

【参考書】

Market Leader Coursebook: elementary 3rd ed. Cotton, Falvy, Kent
ISBN 9781292134758

【成績評価の方法と基準】

Student grades will be calculated in the following way:

Quizzes-55%

Homework-20%

In class contribution 15%

Writing assignments: business correspondence (Typed) 10%

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on discussion of ideas in pairs or small groups.

【学生が準備すべき機器他】

The textbook

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

Course outline:

Learning objectives:

To review and learn functional language for common business situations & topics and to build English vocabulary while improving communicative competence.

Learning activities outside of class:

Complete all homework assignments in advance of the next class and prepare for regular quizzes and speaking tasks done in class.

Grading policy: Students will be graded on preparation and successful completion of homework assignments and performance on quizzes and communication tasks. Active participation in class by using the target language is expected and will influence in-class performance.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-II 2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course aims to develop communicative competence necessary to function in a variety of situations encountered in business. Students will learn key phrases and grammar related to the business topics covered in each unit. The students will also develop their listening comprehension skills by listening to interviews with business people and short talks. The students will also practice using this knowledge by taking part in role plays and end of unit case discussions. The students will learn and practice how to summarize their case discussions in the form of email correspondence.

【到達目標】

This course aims to develop communicative competence necessary to understand what others say, state their opinions through role plays and case discussions, and briefly summarize the results of their discussions in written form for a variety of situations encountered in business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will make use of pair work, group work, and discussion skills in concordance with the textbook. Vocabulary development and listening comprehension will be stressed. After completing the case discussion at the end of each unit, the students will be expected to submit a written summary of their discussions.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course introduction	Ice breakers, Level assessment
Week 2	Unit 7 People	Describing People Use adjectives to describe people Past simple: negatives & questions Listen to an interview on managing people
Week 3	Unit 7 People	Question forms Stating and dealing with problems Reading: Asking questions about Andrea Jung & Steve Jobs

Week 4	Unit 7 quiz and case discussion	Unit 7 quiz U7 case: Advice on work problems Written summary of discussion
Week 5	Unit 8 Advertising	Advertising quiz Talk about Advertising & markets Read about VW advertising and answer questions
Week 6	Unit 8 Advertising	Explaining graphs and using quantifiers Stating opinions and making comparisons Comparing car features Comparative/Superlative Discussing Marketing strategy
Week 7	Unit 8 quiz and case discussion	Unit 8 quiz U8 case: Advertising for a chocolate bar Written summary of discussion
Week 8	Unit 9 Companies	Describing companies Listening: interview on favorite company Using the present continuous tense Reading: Wind-energy business
Week 9	Unit 9 Companies	Grammar: Present continuous vs simple Role play: show visitor around company Starting a presentation
Week 10	Unit 9 quiz and case discussion	Unit 9 quiz U9 case: Present your company to an audience Written summary of presentation
Week 11	Unit 10 Communication	Doing business abroad Article: Methods of communication Listen to interview on social networking Stating future plans: fixed arrangements vs intended plans
Week 12	Unit 10 Communication	Making offers Making arrangements by phone Article on Vodafone CEO
Week 13	Unit 10 quiz and case discussion	Unit 10 quiz U10 case: Discuss how to communicate bad news to employees. Written summary of discussion
Week 14	Review Units 7-10	Review of units 7-10, conclusion activities for course.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Homework assigned from the textbook, supplemental exercises, preparation for discussion, write short business correspondence 本授業の準備学習・復習時間は、各4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Market Leader Coursebook: elementary 3rd ed. Cotton, Falvy, Kent
ISBN 9781292134758

【参考書】

Market Leader Coursebook: elementary 3rd ed. Cotton, Falvy,
Kent
ISBN 9781292134758

【成績評価の方法と基準】

Student grades will be calculated in the following way:

Quizzes-55%

Homework-20%

In class contribution 15%

Writing assignments:business correspondence (Typed) 10%

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on discussing ideas in pairs or small groups.

【学生が準備すべき機器他】

The textbook

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

Course outline:

Learning objectives:

To review and learn functional language for common business situations & topics and to build English vocabulary while improving communicative competence.

Learning activities outside of class:

Complete all homework assignments in advance of the next class and prepare for regular quizzes and speaking tasks done in class.

Grading policy: Students will be graded on preparation and successful completion of homework assignments and performance on quizzes and communication tasks. Active participation in class by using the target language is expected and will influence in-class performance.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (英語検定試験対策) A-I 2017年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つがTOEIC(R)のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト1章分を、2回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 1	Unit 1 Daily Life [基本5文型] (精読、内容理解)
3	Unit 1	Unit 1 Daily Life [基本5文型] (再読、リスニング、質疑応答)
4	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (精読、内容理解)
5	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (再読、リスニング、質疑応答)
6	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (精読、内容理解) ここまでの復習の小テスト
7	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (再読、リスニング、質疑応答)
8	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (精読、内容理解)

9	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (再読、リスニング、質疑応答)
10	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (精読、内容理解)
11	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (再読、リスニング、質疑応答)
12	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (精読、内容理解)
13	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (再読、リスニング、質疑応答)
14	Unit 7	Unit 7 Business & Economics [助動詞] (精読、内容理解)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC® テスト コアをつかんで完全攻略』金星堂、2015年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の4月の春学期第1回目の授業に出席し、受講許可を得て9月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion): 60%, Term-end exam: 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
Practical English (英語検定試験対策) A-II	
2017年度以降入学者	
大和久 悌一郎	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3	
単位数：1単位	
定員制 (25)	
2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つがTOEIC(R)のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト1章分を、2回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (精読、リスニング、内容理解)
3	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (再読、質疑応答)
4	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (精読、リスニング、内容理解)
5	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (再読、質疑応答)
6	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (精読、リスニング、内容理解) ここまでの復習の小テスト
7	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (再読、質疑応答)

8	Unit 11	Unit 11 Finance & Banking [代名詞・関係詞] (精読、リスニング、内容理解)
9	Unit 11	Unit 11 Finance & Banking [代名詞・関係詞] (再読、質疑応答)
10	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (精読、リスニング、内容理解)
11	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (再読、質疑応答)
12	Review Test 1	Review Test 1 を解く。リスニング問題とその解説。
13	Review Test 1	Review Test 1 を解く。長文読解問題とその解説。
14	Review Test 2	Review Test 2 を解く。リスニングと長文読解問題、その解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著 『TOEIC® テスト コアをつかんで完全攻略』、金星堂、2015年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、学期末試験40%で評価します。アンケートについて、期限を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の4月の春学期第1回目の授業に出席し、受講許可を得て9月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60% , Term-end exam : 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (英語検定試験対策) B-I 2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This TOEFL test preparation course is designed for students to further improve their academic English proficiency and become familiar with the TOEFL ITP and TOEFL iBT test structure and test items. This course aims to help students through TOEFL practices (1) strengthen their four skills (reading, listening, speaking, and writing skills) as well as vocabulary and grammar skills, and (2) acquire knowledge about academic subjects necessary for the TOEFL test. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to become familiar with TOEFL test procedure and test items.
- (b) be able to gain knowledge about academic subjects needed for TOEFL tests.
- (c) be able to learn and use test-taking strategies.
- (d) be able to strengthen English proficiency to take TOEFL tests.
- (e) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the TOEFL test items. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and homework will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction, Self-Introduction
2	TOEFL ITP Reading 1 (American History)	Unit 1 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
3	TOEFL ITP Listening 1 (Section 1 - Part A)	Unit 2 - Short Conversation, Vocabulary, Grammar
4	TOEFL ITP Reading 2 (Natural Science)	Unit 3 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar

5	TOEFL ITP Listening 2 (Section 1 - Part B)	Unit 4 - Long Conversation, Vocabulary, Grammar
6	TOEFL ITP Reading 3 (American Culture)	Unit 5 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
7	TOEFL ITP Listening 3 (Section 1 - Part C)	Unit 6 - Talk, Vocabulary, Grammar
8	TOEFL ITP Reading 4 (Economics)	Unit 7 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
9	TOEFL ITP Listening 4 (Section 1 - Part B)	Unit 8 - Long Conversation, Vocabulary, Grammar
10	TOEFL ITP Reading 5 (American History)	Unit 9 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
11	TOEFL ITP Listening 5 (Section 1 - Part C)	Unit 10 - Lecture, Vocabulary, Grammar
12	TOEFL ITP Reading 6 (Natural Science)	Unit 11 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
13	TOEFL ITP Listening 6 (Section 1 - Part C)	Unit 12 - Lecture, Vocabulary, Grammar
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to try TOEFL practices (reading, listening, speaking, and writing), learn vocabulary, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Mark D. Stafford &Chizuko Tsumatori (2010). Power-up Trainer for the TOEFL ITP. Cengage Learning. ISBN: 9784863124172 (¥2300 + 税)

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes &Homework (40%); Final Exam (50%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります(遅刻3回で1回の欠席になります)。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子または紙媒体) を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為 (例えば、【Plagiarism剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること) など。防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

This TOEFL test preparation course aims to help students further improve their academic English proficiency and acquire knowledge about academic subjects necessary to take TOEFL ITP and TOEFL iBT tests. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class.

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes & Homework (40%); Final Exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (英語検定試験対策) B-II 2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制 (25)

2025年度以降入学生は履修不可。詳細は履修の手引きを確認すること。

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This TOEFL test preparation course is designed for students to further improve their academic English proficiency and become familiar with the TOEFL ITP and TOEFL iBT test structure and test items. This course aims to help students through TOEFL practices (1) strengthen their four skills (reading, listening, speaking, and writing skills) as well as vocabulary and grammar skills, and (2) acquire knowledge about academic subjects necessary for the TOEFL test. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to become familiar with TOEFL test procedure and test items.
- (b) be able to gain knowledge about academic subjects needed for TOEFL tests.
- (c) be able to learn and use test-taking strategies.
- (d) be able to strengthen English proficiency to take TOEFL tests.
- (e) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the TOEFL test items. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and homework will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	TOEFL iBT - Reading 1	Reading Passages, Vocabulary, Grammar
3	TOEFL iBT - Listening 1	Conversation, Discussion, Lecture
4	TOEFL iBT - Speaking 1	Independent & Integrated Speaking 1
5	TOEFL iBT - Speaking 2	Integrated Speaking 2
6	TOEFL iBT - Writing 1	Independent Writing
7	TOEFL iBT - Writing 2	Integrated Writing

8	TOEFL iBT - Reading 2	Reading Passages, Vocabulary, Grammar
9	TOEFL iBT - Listening 2	Conversation, Discussion, Lecture
10	TOEFL iBT - Speaking 3	Independent & Integrated Speaking
11	TOEFL iBT - Writing 3	Independent & Integrated Writing
12	Review 1	Reading Passage, Conversation, Discussion, Lecture
13	Review 2	Independent & Integrated Speaking, Independent & Integrated Writing
14	Summary /Final Exam	Summary & Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to try TOEFL practices (reading, listening, speaking, and writing), learn vocabulary, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided by the instructor.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes & Homework (40%); Final Exam (50%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります(遅刻3回で1回の欠席になります)。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子または紙媒体) を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為 (例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること) など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

This TOEFL test preparation course aims to help students further improve their academic English proficiency and acquire knowledge about academic subjects necessary to take TOEFL ITP and TOEFL iBT tests. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class.

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes & Homework (40%); Final Exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English for Study Abroad I	2017年度以降入学者
高井 美紀子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火4/Tue.4	
単位数：1単位	
定員制 (25)	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、ニュージーランドまたはオーストラリアに留学する学生のための準備講座です。ニュージーランドとオーストラリアの文化や歴史や自然をトピックとして取り上げたテキストを用いて、実生活に即した英語の使い方を学びます。学習の中心となるのはリスニングとスピーキングです。スピーキングはグループワークやペアワークを中心に、グループ、ペアごとにプレゼンテーションを行います。これらのアクティヴィを通して、学生は、実生活で使われる英語に焦点を当てた、文法にとらわれない会話力を身に付け、留学生活への心理的障壁を取り除きます。これらのアクティヴィは英検やIELTS、ケンブリッジなどの資格試験のスピーキングテストの準備にもなります。また、コミュニケーションに必要なスラング表現に慣れることも意識します。最後に、ニュージーランドやオーストラリアの文化や歴史や自然について知ることで、留学への意欲を高めることも本授業の目的です。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に付けることを目標とします。

- ①留学先であるニュージーランド、オーストラリアの文化・慣習に関する知識を身に付ける。
- ②留学生活に必要な英会話表現を身に付ける。
- ③シチュエーションに合わせて仕えるスラング表現を学ぶ。
- ④スラングの混ざった英語を聞き取れるようになる。
- ⑤実生活に応じたシチュエーションで実際に英語でコミュニケーションを取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、テキストに添って進めます。リーディングとリスニングは担当発表形式で、スピーキングはペアワーク、グループワーク形式で行います。スピーキングはペアやグループで練習した後、全員の前で発表を行います。授業後に復習プリントを配り、知識を確実なものにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回 授業	オリエンテーション	授業の方針説明
第 2 回 授業	Unit 1: Introduction to New Zealand	リーディング、リスニング、スピーキング
第 3 回 授業	Unit 13: Introduction to Australia	
第 3 回 授業	Unit 2: Making Friends in NZ	リーディング、リスニング、スピーキング
第 3 回 授業	Unit 14: Making Friends in Australia	

第 4 回 授業	Unit 3: Fitting in at Home in NZ	リーディング、リスニング、スピーキング
第 5 回 授業	Unit 15: Fitting in at Home in Australia	
第 5 回 授業	Unit 4: Kiwi School Life	リーディング、リスニング、スピーキング
第 6 回 授業	Unit 16: Aussie School Life	
第 6 回 授業	Unit 5: NZ Nature and Wildlife	リーディング、リスニング、スピーキング
第 7 回 授業	Unit 17: Australian Nature and Wildlife	
第 7 回 授業	Unit 6: Kiwi Food	リーディング、リスニング、スピーキング
第 8 回 授業	Unit 18: Aussie Food	
第 8 回 授業	Unit 7: Zew Zealand Maori	リーディング、リスニング、スピーキング
第 9 回 授業	Unit 19: Indigenous people in Australia	
第 9 回 授業	Unit 8: Getting Around and Going Out in NZ	リーディング、リスニング、スピーキング
第 10 回 授業	Unit 20: Getting Around and Going Out in Oz	
第 10 回 授業	Unit 9: New Zealand Tourist Spots	リーディング、リスニング、スピーキング
第 11 回 授業	Unit 21: Aussie Tourist Spots	
第 11 回 授業	Unit 10: Beach Life in NZ	リーディング、リスニング、スピーキング
第 12 回 授業	Unit 22: Sun, Sand and Surf in Oz	
第 12 回 授業	Unit 11: Sport Passiion in New Zealand	リーディング、リスニング、スピーキング
第 13 回 授業	Unit 23: A Great Sporting Nation	
第 13 回 授業	Unit 12: Kiwi Holiday Celebration	リーディング、リスニング、スピーキング
第 14 回 授業	Unit 24: Aussie Holiday Celebration	
第 14 回 授業	学期末テスト	知識確認のための筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習としては、シラバスに記載されている授業計画に沿って、授業で扱うテキストのユニットの導入のReading文章を読んで授業内容のイメージを膨らませておいてください（所要時間30分）。
復習としては、復習プリントを配りますので（オンライン配布の場合もある）、それをやって次の授業時に提出してください（所要時間30分）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Exploring Down Under: A Guide to Studying in New Zealand and Australia

【編著者】 Matthew J. Cotter, Peter M. Schinckel、田中直子

【出版社】 南雲堂

【出版年】 2025 年

【価格】 2420 円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

平常点（リーディング、リスニング、スピーキングプレゼンテーション）：50点

復習プリント：20点

学期末テスト：30点

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

前回の授業ではユニット終了後に知識定着のための小テストを行っていたが、授業内で小テストを行うと授業時間が圧迫され、予定の範囲まで終わらなかったため、今年度は小テストの代わりに復習プリントを行い知識の定着を図ります。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業はオンライン授業（Zoom 授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire essential skills in English for studying abroad. Using the textbook written for students who will study in New Zealand or Australia, this course introduces Real Life English or 'Grammar Free' Conversation on speaking and listening to students taking this course. The focus of each lesson is listening and speaking activity and conducted through pair work or group work. These activities will enhance the development of students' skill in speaking about everyday conversation topics that related to the unit topics. They also prepare students for speaking tests such as EUKEN, IELTS, and Cambridge.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. learn essential knowledge about culture and customs of New Zealand and Australia.
- B. learn how to use English in real life situations.
- C. get accustomed to slangs and use them in conversation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the writing text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

After class assignments: 20%, Term-end test : 30%, in class contribution: 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English for Study Abroad II 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics, based upon the three main threats to humanity as identified by the United Nations:

- 1) Artificial Intelligence
- 2) Climate Change
- 3) Geopolitical change

【到達目標】

Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading and discussing various articles and will deepen their understanding of international issues in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The material for this subject will use BBC News articles, TED Talks, and various news articles from reliable sources that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join "Classroom". Course overview and class policies. Grading system.
2	Artificial Intelligence	Vocabulary and Discussion with 10 questions
3	Artificial Intelligence	Reading - Article and Worksheet.
4	Artificial Intelligence	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
5	Artificial Intelligence	Speaking: Discussion about AI - with 10 questions.
6	Climate Change	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
7	Climate Change	Reading - Article and Worksheet
8	Climate Change	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
9	Climate Change	Discussion - with 10 questions
10	Geopolitics	Vocabulary and Discussion with 10 questions
11	Geopolitics	Reading - Article and Worksheet

12	Geopolitics	Listening - BBC Ideas Video and Worksheet
13	Geopolitics	Discussion - with 10 questions
14	TED Talk: Critical Thinking Wrap up	Watch a TED talk and analyze if the speaker is telling the truth.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト (教科書)】

No textbook required

【参考書】

To be provided as Material during semester.

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 30%

In-Class Worksheets: 36%

Word Games: 10%

Participation Self Evaluation: 10%

On-Line Practice (Duolingo): 14%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course".

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.

A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones /mobile devices are acceptable.

Also, a Laptop or tablet device that supports a Word Processor (written assignments should be submitted in Google Docs format)

Voice recognition software may be an advantage.

Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Classroom". Please download Google Classroom to your device before our first class. The Course code will be advised via the university Learning Management System (LMS) before the first class.

【Outline (in English)】

This course requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics, based upon the three main threats to humanity as identified by the United Nations:

- 1) Artificial Intelligence
- 2) Climate Change
- 3) Geopolitical change

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

【到達目標】

- ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- 名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
②	諺（1）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
③	諺（2）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
④	諺（3）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
⑤	諺物語（1）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
⑥	諺物語（2）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
⑦	諺物語（3）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
⑧	寓話（1）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
⑨	寓話（2）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
⑩	寓話（3）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
⑪	歌謡曲（1）	ドイツ語のSchlagerを聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
⑫	歌謡曲（2）	ドイツ語のSchlagerを聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
⑬	歌謡曲（3）	ドイツ語のSchlagerを聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
⑭	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱われたムビーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

配点は、出席及び授業への参加態度30%、学期末試験70%を原則とするが、全体の状況を見て微修正することもある。学期中に中間テストを行う場合は、その点数を適宜加味する。欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

HOPPII学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、WIFIを利用して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

- Can read and understand texts written in German.

- Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

Homework/review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

As a general rule, points will be allocated based on 30% attendance and class participation and 70% on the final exam, but slight adjustments may be made based on the overall situation.

If a mid-term test is given during the semester, the scores will be taken into consideration as appropriate.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

【到達目標】

- ・ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- ・名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
②	物語詩（１）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、和訳する。
③	物語詩（２）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、内容を正確に理解する。
④	物語詩（３）	ドイツ語の物語詩（バラード）のアニメと曲を視聴し、ドイツ語特有の音声変換やリズムに慣れ親しむ。
⑤	メルヘン（１）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
⑥	メルヘン（２）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
⑦	メルヘン（３）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
⑧	絵本（１）	アニメ化された絵本を視聴し、内容を理解する。
⑨	絵本（２）	原作を読み、和訳する。
⑩	絵本（３）	Nacherzählung（リライトしたもの）を和訳する。
⑪	映画の台詞（１）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
⑫	映画の台詞（２）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
⑬	映画の台詞（３）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
⑭	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱われたムービーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

配点は、出席及び授業への参加態度 30%、学期末試験 70% を原則とするが、全体の状況を見て微修正することもある。学期中に中間テストを行う場合は、その点数を適宜加味する。欠席が全体の 3 分の 1 を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

HOPPII 学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学の PC やプリンター、WIFI を利用して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

- ・ Can read and understand written in German.
- ・ Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

Homework, review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

As a general rule, points will be allocated based on 30% attendance and class participation and 70% on the final exam, but slight adjustments may be made based on the overall situation.

If a mid-term test is given during the semester, the scores will be taken into consideration as appropriate.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

【到達目標】

1年生で学習した文法事項、未学習の文法事項を復習したり新たに学んだりしながら、いろいろなタイプのドイツ語の文章を自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomなどによるオンラインになる回もあるので、「各回の授業形態」を見ると各回の授業形態が確認できる。教員からの連絡が特になければ、ここを見ること。

学習支援システムに授業に関するメッセージをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 4/12	復習をかねての課題。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。教科書と辞典を持つてくること。
2 4/19	Lektion 1 Brot Wurst DöKebab	Lektion 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
3 4/26	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題。
4 5/10	Lektion 2 Herr Böse und Herr Streit	Lektion 2 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
5 5/17	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6 5/24	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第2式について学ぶ。
7 5/31	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8 6/7	Lektion 4 Der süße Brei	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9 6/14	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題。
10 6/21	Lektion 5 Wiener Kaffehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了について学ぶ。
11 6/28	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題。
12 7/5	これまでの文法の補足。	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。

13 7/12 重要な事項の補足 特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 7/19 試験・まとめと解説。試験と春学期のまとめをする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

耕平耕平／畠山 寛／高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』同文社 4版2021年 2000円（税別）

初回から持ってくる。

【参考書】

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合については[その他の重要事項]を参照のこと。基本的には期末試験＋小テスト72%、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

緊張感を持って遅刻せず、積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

Zoomのできる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに真剣に参加しよう。

公欠届、診断書などはきちんと提出すること。コロナやインフルエンザに関しては大学の指示に従いなさい。体調不良と書くだけでなく、症状も書くこと。

教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがある。学習支援システムからの連絡にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。公欠にならない理由でも無断で欠席するよりは、すぐに理由を連絡する方が減点は少ない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process
Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツ文化を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】

ドイツ語のいろいろなタイプの文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomなどによるオンラインになる回もあるので、シラバスの「各回の授業形態」を見なさい。
学習支援システムに授業に関するメッセージをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにチェックしなさい。
さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。
下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 9/20	導入、ドイツ語の感覚を取り戻す。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。 教科書と辞書を持ってくること。
2 9/27	Lektion 6 Abschlussprüfung Verdammt heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形（2）、zu不定詞、過去分詞の用法について学ぶ。
3 10/4	Lektion 6 の続き。	Lektion 6 の練習問題。
4 10/11	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
5 10/18	Lektion 7 の続き。	Lektion 7 の練習問題。
6 10/25	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu不定詞（2）について学ぶ。
7 11/8	Lektion 8 の続き。	Lektion 8 の練習問題。
8 11/15	Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。
9 11/22	Lektion 9 の続き。	Lektion 9 の練習問題。
10 11/29	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
11 12/6	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れたり、文法事項の補足説明などをする。	引き続き、学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。

12 12/13	さらに難しいテキストを読む。	なかなか授業で触れることのないタイプのドイツ語を読む。
13 12/20	重要事項の補足。	特に重要な事項を詳しく学ぶ。
14 1/10	試験・まとめと補	試験と秋学期のまとめをする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回学んだことの復習とテキストの予習。
本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

萩原耕平／ 畠山寛／高本敬之著 『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』 同文社 4版2021年 2000円（税別）

【参考書】

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合については[その他の重要事項]を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験72%、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。遅刻と出席には気をつけましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しよう。
公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。コロナやインフルエンザに関しては大学の指示に従いなさい。
教科書と電波のつながらない独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。
対面とオンラインを何回目にするかは授業の進度によって少しづれることがある。学習支援システムからの連絡にいつも気をつけていなさい。
休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。公欠にならない理由でも無断で欠席するよりは、すぐに理由を連絡する方が減点は少ない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process
Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習を行います。ドイツ語の発音、会話、さらにはドイツの歴史、文化に対する理解を深めます。

【到達目標】

この授業では、1年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化します。これにより、より難しいドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに発展的に文法を学んでいきます。応用練習として、ドイツ語圏の文学作品を読んだり、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習をおこないます。参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	1年時に学習した文法事項の確認
第2回	形容詞	比較級、最上級
第3回	接続法1	接続法1式
第4回	接続法2	接続法2式
第5回	テキスト読解	1課、および音声・映像教材を使用します。
第6回	テキスト読解	2課、および音声・映像教材を使用します。
第7回	テキスト読解	3課、および音声・映像教材を使用します。
第8回	確認テスト	復習としての確認テスト
第9回	テキスト読解	4課、および音声・映像教材を使用します。
第10回	テキスト読解	5課、および音声・映像教材を使用します。
第11回	テキスト読解	6課、および音声・映像教材を使用します。
第12回	確認テスト	復習としての確認テスト
第13回	文法事項の確認	全体的な復習
第14回	期末テスト	テストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。文法の復習のプリントを配布します。

【テキスト（教科書）】

Susanne Schermann / Ken Aihara, 『Lesebuch Deutsch ドイツ語を読む 改訂版』、朝日出版社

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(30%)、確認テスト(30%)、期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語で文学作品を読むというと難しく感じるかもしれません。しかし普段自分で手に取らないものに挑戦する良い機会として、積極的に授業に参加してほしいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくること。

【Outline (in English)】

The class is appropriate for intermediate learners.

In this class we will learn the pronunciation and actual conversations. The purpose of this class is to learn about German culture and history as well as language, to stimulate interest in German-speaking countries and to deepen their understanding. The standard preparation and revision time for this class is one hour in total. Evaluation will be based on participation in class(30%), mid-term exam (30%), final exam (40%)

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習を行います。ドイツ語の発音、会話に加えて、ドイツの文化、歴史に対する理解を深めます。

【到達目標】

この授業では、1年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化します。これにより、より難しいドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに発展的に文法を学んでいきます。応用練習として、ドイツ語圏の文学作品を読んだり、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習をおこないます。参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	文法の復習	学習した文法事項の確認
第2回	テキスト読解	7課、および音声・映像教材を使用します。
第3回	テキスト読解	8課、および音声・映像教材を使用します。
第4回	テキスト読解	9課、および音声・映像教材を使用します。
第5回	確認テスト	復習としての確認テスト
第6回	テキスト読解	10課、および音声・映像教材を使用します。
第7回	テキスト読解	11課、および音声・映像教材を使用します。
第8回	テキスト読解	12課、および音声・映像教材を使用します。
第9回	テキスト読解	ことわざについて、および音声・映像教材を使用します。
第10回	テキスト読解	ドイツ語の文学作品を読む①
第11回	テキスト読解	ドイツ語の文学作品を読む②
第12回	テキスト読解	ドイツ語の文学作品を読む③
第13回	文法事項の確認	全体的な復習
第14回	期末テスト	テストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。文法の復習のプリントを配布します。

【テキスト（教科書）】

Susanne Schermann /Ken Aihara, 『Lesebuch Deutsch ドイツ語を読む 改訂版』、朝日出版社

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(30%)、確認テスト(30%)、期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語で文学作品を読むというと難しく感じるかもしれません。しかし普段自分で手に取らないものに挑戦する良い機会として、積極的に授業に参加してほしいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくる。

【Outline (in English)】

The class is appropriate for intermediate learners.

In this class we will learn the pronunciation and actual conversations. The purpose of this class is to learn about German culture and history as well as language, to stimulate interest in German-speaking countries and to deepen their understanding. The standard preparation and revision time for this class is one hour in total. Evaluation will be based on participation in class(30%), mid-term exam (30%), final exam (40%)

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ発音や文法事項の復習および中級レベルの文法知識を学ぶとともに、ドイツ語圏の文化に関する様々な文章を読むことで、他文化圏に関する理解を深める。

【到達目標】

学んだ文法知識を単に暗記するのではなく、それを作文や読解作業の際に運用できるようになる。例えば、ドイツ語で書かれた文の構文を文法的に正確に自分で説明できるようになることなどがこの授業での到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。文法の復習を行う回と、約200ワード程度の文章を精読する回とを交互に分けて授業を進めていく予定である。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についての説明 発音のチェック
第2回	Lektion 1(文法)	人称代名詞と動詞の人称変化
第3回	Lektion 1(文法)	Thema 1 自己紹介の仕方
第4回	Lektion 2(文法)	名詞の性、数、格 定冠詞、不定冠詞、冠詞の格変化
第5回	Lektion 2(読解)	Thema 2 ドイツ語圏の地理
第6回	Lektion 3(文法)	不規則変化動詞、命令形、人称代名詞の格変化
第7回	Lektion 3(読解)	Thema 3 食べ物・スイーツ
第8回	Lektion 4(文法)	定冠詞類、不定冠詞類
第9回	Lektion 4(文法)	前置詞
第10回	Lektion 4(読解)	Thema 4 産業
第11回	Lektion 5(文法)	話法の助動詞、接続詞
第12回	Lektion 5(読解)	Thema 5 旅行
第13回	Lektion1～5の復習	テスト前の最終確認
第14回	最終試験	テストと春学期の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。準備学習は主に音読の練習や長文読解時に必要となる構文の把握等をしてもらう予定である。復習・宿題では各回ごとの学習内容が身についているかどうかを判断するための独作文等を課す。

【テキスト（教科書）】

『ミニマムドイツ語・レーゼン』熊谷哲哉・大喜祐太著、朝日出版社、2023年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞書

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、和訳、音読のチェックなどを含む平常点50%と最終試験50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に合わせて授業を進めていく予定である。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞書と1年次に使った教科書を持参してくること。

【その他の重要事項】

授業の進度は、クラスの状況によって一部変更する可能性もある。

【Outline (in English)】

In addition to reviewing the pronunciation and grammar learned in the first year and learning intermediatelevel grammar, students will develop their understanding of other cultures by reading a variety of texts about German cultures. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ発音や文法事項の復習および中級レベルの文法知識を学ぶとともに、ドイツ語圏の文化に関する様々な文章を読むことで、他文化圏に関する理解を深める。

【到達目標】

学んだ文法知識を単に暗記するのではなく、それを作文や読解作業の際に運用できるようになる。例えば、ドイツ語で書かれた文の構文を文法的に正確に自分で説明できるようになることなどがこの授業での到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。文法の復習を行う回と、約200ワード程度の文章を精読する回とを交互に分けて授業を進めていく予定である。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の復習 授業の進め方に関する説明
第2回	Lektion6(文法)	分離動詞・非分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞
第3回	Lektion6(読解)	Thema 6 教育制度
第4回	Lektion7(文法)	過去形、現在完了形
第5回	Lektion7(読解)	Thema 7 歴史
第6回	Lektion8(文法)	形容詞、序数
第7回	Lektion8(読解)	Thema 8 哲学
第8回	Lektion9(文法)	受動態
第9回	Lektion9(文法)	関係代名詞
第10回	Lektion9(読解)	Thema 9 サッカー
第11回	Lektion10(文法)	接続法Ⅰ・Ⅱ式
第12回	Lektion10(読解)	Thema 10 文学
第13回	Lektion6～10の復習	テスト前の最終確認
第14回	最終試験	テストと一年間の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。準備学習は主に音読の練習や長文読解時に必要となる構文の把握等をしてもらう予定である。復習・宿題では毎回ごとの学習内容が身についているかどうかを判断するための独作文等を課す。

【テキスト（教科書）】

『ミニマムドイツ語・レーゼン』熊谷哲哉・大喜祐太著、朝日出版社、2023年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞書

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、和訳、音読のチェックなどを含む平常点50%と最終試験50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に合わせて授業を進めていく予定である。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞書と1年次に使った教科書を持参してくること。

【その他の重要事項】

授業の進度は、クラスの状況によって一部変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In addition to reviewing the pronunciation and grammar learned in the first year and learning intermediatelevel grammar, students will develop their understanding of other cultures by reading a variety of texts about German cultures. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

学期末にはドイツの文化や社会に関連したビデオを用いて、応用練習をします。

【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。

ドイツ語で日常的な表現を身につけます。

ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

文法説明等は講義形式になりますが、毎回、担当者を決めて訳読します。

回ごとのトピックや表現方法を取り上げながら、授業を進めます。映画や映像教材を使って、それを授業で見ることで、聞き取る能力をつけます。

これらと並行して、ドイツの歴史や文化に触れる視聴覚資料を利用していきます。

また、適宜、オンライン等による確認小テストを行います。

訳読課題のフィードバックは次の授業時に、また確認小テストのフィードバックはオンラインで行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	イントロダクションを行い、授業の進め方などの説明、およびLektion1を行う
第2回	Lektion1 相手について知る	動詞の位置と練習問題
第3回	Lektion2 Meine Familie 家族の紹介	名詞の性のまとめ
第4回	Lektion2 Meine Familie 家族の持ち物	所有冠詞と練習問題
第5回	Lektion3 Meine Hobbys 趣味について語る	不規則動詞のまとめ
第6回	Lektion3 Meine Hobbys ドイツ人の趣味 ビデオを用いた文法 事項や会話の視聴・ 確認	これまでの学習部分の文法的、 解釈的確認と質問対応
第7回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所 名詞の複数形と練習 問題	いくつかのテーマに従って、ド イツ語の表現を学ぶ

第8回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所	名詞の3格について
第9回	Lektion4 Zum Chiemsee 交通機関について	前置詞と練習問題
第10回	Lektion5 Gesundheit ドイツの保険・医療 制度	分離・非分離動詞のまとめ
第11回	Lektion5 Gesundheit ドイツと日本の医療 の比較	時刻の表現と練習問題
第12回	Lektion6 Einkaufen 買い物の表現	話法の助動詞のまとめ 命令形と練習問題
第13回	ドイツの文化と社会 に関連したビデオ 学習 質問対応	ビデオとそのスクリプトを見な がら、これまでの学習部分の文 法的、解釈的確認 質問対応
第14回	春学期で学んだ表現 の振り返りと期末試 験・まとめと解説	春学期の文法事項から見た表現 の振り返り期末試験・まとめと 解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき合わせて1時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。

次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト (教科書)】

ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン> 清野智明他著 朝日出版社

【参考書】

必要場合は授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について(期末試験について)

成績配分は期末試験50%、平常点(これまでの確認テスト、課題履行、授業への積極的参加を含む)50%です。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語文法・表現についてわかりやすい丁寧な説明を継続します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業になった場合の必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

【Course outline】 German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

- confirm German grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the way of German lives, manners and customs of Germany and the social systems.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and
in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
春学期に学習したことを確実にし、基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。
学期末にはドイツの社会と文化に関連したビデオを用いて、ドイツ語の表現を豊かにします。

【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。
ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。
日常生活についてドイツ語での表現法を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1年時に学んだ文法事項を確認しながら、別角度で文法体系を見直します。

毎回、担当者を決めて本文と Lesetext を訳読し、解説を加えます。
また、適宜、オンライン等による確認小テストを行う。
訳読課題のフィードバックは次回の授業時に行い、また確認小テストのフィードバックはオンラインで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション Lektion7 ミュンヘン 大都市の生活	シラバスの説明 3・4格支配の前置詞の文章
第2回	Lektion7 ミュンヘン 文化と芸術	並列接続詞を使った文を学ぶ
第3回	Lektion8 Nach dem Urlaub ドイツの休暇制度	定冠詞類のまとめ
第4回	Lektion8 Nach dem Urlaub ドイツ人の休暇の過ごし方	過去形を使った文を学ぶ
第5回	Lektion9 Essen und Trinken ドイツの食習慣 テーブルマナーの比較	現在完了形の表現を学ぶ 副文を使った表現を学ぶ
第6回	Lektion10 Weihnachten ドイツのクリスマス	比較級と最上級を学ぶ
第7回	Lektion10 Weihnachten クリスマスの祝い	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ

第8回	Lektion11 Mode ドイツのファッション 日本・ドイツ・イタリアのモードの比較	形容詞の格変化のまとめ 天候の表現を学ぶ
第9回	Lektion12 Mein Wunsch 願望や仮定の表現	接続法第2式を使った文例を学ぶ
第10回	Lektion12 Mein Wunsch 留学生の生活 夢を語る表現	zu不定詞を学ぶ esの用法を学ぶ
第11回	ビデオを用いた学習 ：ドイツの学校制度・社会制度	ビデオとそのスクリプトを用いた学習でドイツの社会や学校について知る
第12回	ビデオを用いた学習 ：ドイツの学生アルバイト事情・ドイツの通勤・通学事情	ビデオとそのスクリプトを用いた学習でドイツの慣習やEUについて知る
第13回	ビデオを用いた学習 ：ドイツの自動車道、自動車産業	これまでの学習の内容や文法知識の定着を確実にものにする
第14回	秋学期の総復習と期末試験、まとめと解説	文法や表現方法の要点確認と期末試験 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき合わせて1時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】

ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン> 清野智明他著 朝日出版社

【参考書】

必要があれば適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50%

平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50%

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい丁寧な説明を継続します。
ドイツについて新しい発見ができるように構成します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

【Course outline】 German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

- confirm German grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the way of German lives, manners and customs of Germany and the social systems.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力をつける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
- 1) テキスト各文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。
- 2) 各文の文法構造を解析し、文同士、段落同士のつながりを文法的に分析していきます。
- 3) テキストの内容を理解していきます。
- 4) 各課の終わりにテキストを音読したファイルを提出していただきます。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします。また前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション ／ Lektion 0.	授業の進め方について／自己紹介のテキストを読む
第2回	Lektion 1(地理と気候)	アクセントと発音／文構造の理解
第3回	Lektion 1(地理と気候)	内容把握と日本語訳
第4回	Lektion 2(食生活)	アクセントと発音／文構造の理解
第5回	Lektion 2(食生活)	内容把握と日本語訳
第6回	Lektion 3(ドイツ語という言語)	アクセントと発音／文構造の理解
第7回	Lektion 3(ドイツ語という言語)	内容把握と日本語訳
第8回	Lektion 4(ドイツの大学)	アクセントと発音／文構造の理解
第9回	Lektion 4(ドイツの大学)	内容把握と日本語訳
第10回	Lektion 5(祝日と休暇)	アクセントと発音／文構造の理解
第11回	Lektion 5(祝日と休暇)	内容把握と日本語訳

第12回	Lektion 6(ドイツの治安事情)	アクセントと発音／文構造の理解
第13回	Lektion 6(ドイツの治安事情)	内容把握と日本語訳
第14回	前期のまとめ	試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：課題に従ってテキストを分析する。音読の練習。

復習：音読の練習。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

斎藤太郎 /Siegfried Kohlhammer (2018年)『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』朝日出版社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。

独和辞典は紙の辞書を推奨します。くわしくは初回授業でお話します。

また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。

中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003)『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な貢献・提出課題：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoomを使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar.

(Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II 2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
- 1) テキスト各文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。
- 2) 各文の文法構造を解析し、文同士、段落同士のつながりを文法的に分析していきます。
- 3) テキストの内容を理解していきます。
- 4) 各課の終わりにテキストを音読したファイルを提出していただきます。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします。また前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	前期の復習
第2回	Lektion 7 (教育制度)	アクセントと発音／文構造の理解
第3回	Lektion 7 (教育制度)	内容把握と日本語訳
第4回	Lektion 8 (政治制度)	アクセントと発音／文構造の理解
第5回	Lektion 8 (政治制度)	内容把握と日本語訳
第6回	Lektion 9 (ドイツの歴史概観)	アクセントと発音／文構造の理解
第7回	Lektion 9 (ドイツの歴史概観)	内容把握と日本語訳
第8回	Lektion 10 (音楽の国ドイツ)	アクセントと発音／文構造の理解
第9回	Lektion 10 (音楽の国ドイツ)	内容把握と日本語訳
第10回	Lektion 11 (ドイツの宗教事情)	アクセントと発音／文構造の理解
第11回	Lektion 11 (ドイツの宗教事情)	内容把握と日本語訳

第12回	Lektion 12 (二つのドイツ)	アクセントと発音／文構造の理解
第13回	Lektion 12 (二つのドイツ)	内容把握と日本語訳
第14回	後期のまとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をすること。
復習：本文をあらためて音読する。
※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

斎藤太郎 / Siegfried Kohlhammer (2018年) 『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 朝日出版社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。

独和辞典は紙の辞書を推奨します。くわしくは初回授業でお話します。

また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。

中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003) 『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』 白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な貢献・提出課題：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoomを使用します。

【Outline (in English)】**(Course outline)**

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar.

(Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

【到達目標】

- ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- 名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
②	諺（1）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
③	諺（2）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
④	諺（3）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
⑤	諺物語（1）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
⑥	諺物語（2）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
⑦	諺物語（3）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
⑧	寓話（1）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
⑨	寓話（2）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
⑩	寓話（3）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
⑪	歌謡曲（1）	ドイツ語のSchlagerを聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
⑫	歌謡曲（2）	ドイツ語のSchlagerを聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
⑬	歌謡曲（3）	ドイツ語のSchlagerを聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
⑭	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱われたムビーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

配点は、出席及び授業への参加態度30%、学期末試験70%を原則とするが、全体の状況を見て微修正することもある。学期中に中間テストを行う場合は、その点数を適宜加味する。欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

HOPPII学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、WIFIを利用して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

- Can read and understand texts written in German.

- Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

Homework/review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

As a general rule, points will be allocated based on 30% attendance and class participation and 70% on the final exam, but slight adjustments may be made based on the overall situation.

If a mid-term test is given during the semester, the scores will be taken into consideration as appropriate.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

【到達目標】

- ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- 名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
②	物語詩（１）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、和訳する。
③	物語詩（２）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、内容を正確に理解する。
④	物語詩（３）	ドイツ語の物語詩（バラード）のアニメと曲を視聴し、ドイツ語特有の音声変換やリズムに慣れ親しむ。
⑤	メルヘン（１）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
⑥	メルヘン（２）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
⑦	メルヘン（３）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
⑧	絵本（１）	アニメ化された絵本を視聴し、内容を理解する。
⑨	絵本（２）	原作を読み、和訳する。
⑩	絵本（３）	Nacherzählung(リライトしたもの)を和訳する。
⑪	映画の台詞（１）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
⑫	映画の台詞（２）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
⑬	映画の台詞（３）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
⑭	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱われたムービーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

配点は、出席及び授業への参加態度30%、学期末試験70%を原則とするが、全体の状況を見て微修正することもある。学期中に中間テストを行う場合は、その点数を適宜加味する。欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

HOPPII学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、WIFIを利用して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

- Can read and understand written in German.
- Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

Homework, review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

As a general rule, points will be allocated based on 30% attendance and class participation and 70% on the final exam, but slight adjustments may be made based on the overall situation.

If a mid-term test is given during the semester, the scores will be taken into consideration as appropriate.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

【到達目標】

1年生で学習した文法事項、未学習の文法事項を復習したり新たに学んだりしながら、いろいろなタイプのドイツ語の文章を自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomなどによるオンラインになる回もあるので、「各回の授業形態」を見ると各回の授業形態が確認できる。教員からの連絡が特になければ、ここを見ること。学習支援システムに授業に関するメッセージをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 4/14	復習をかねての課題。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。教科書と辞典を持っていくこと。
2 4/21	Lektion 1 Brot Wurst DöKebab	Lektion 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
3 4/28	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題。
4 5/12	Lektion 2 Herr Böse und Herr Streit	Lektion 2 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
5 5/19	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6 5/26	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第2式について学ぶ。
7 6/2	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8 6/9	Lektion 4 Der süße Brei	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9 6/16	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題。
10 6/23	Lektion 5 Wiener Kaffehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了について学ぶ。
11 6/30	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題。
12 7/7	これまでの文法の補足。	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。

13 7/14 重要な事項の補足 特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 7/21 試験・まとめと解説。試験と春学期のまとめをする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

耕平耕平／畠山 寛／高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』同社 4版2021年 2000円（税別）

初回から持ってくること。

【参考書】

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合については[その他の重要事項]を参照のこと。基本的には期末試験＋小テスト72%、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

緊張感を持って遅刻せず、積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

Zoomのできる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに真剣に参加しよう。

公欠届、診断書などはきちんと提出すること。コロナやインフルエンザに関しては大学の指示に従いなさい。体調不良と書くだけでなく、症状も書くこと。

教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがある。学習支援システムからの連絡にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。公欠にならない理由でも無断で欠席するよりは、すぐに理由を連絡する方が減点は少ない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process
Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツ文化を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】

ドイツ語のいろいろなタイプの文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomなどによるオンラインになる回もあるので、シラバスの「各回の授業形態」を見なさい。
学習支援システムに授業に関するメッセージをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにチェックしなさい。
さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。
下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 9/22	導入、ドイツ語の感覚を取り戻す。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。 教科書と辞書を持ってくること。
2 9/27	Lektion 6 Abschlussprüfung Verdammt heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形（2）、zu不定詞、過去分詞の用法について学ぶ。
3 10/6	Lektion 6 の続き。	Lektion 6 の練習問題。
4 10/13	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
5 10/20	Lektion 7 の続き。	Lektion 7 の練習問題。
6 10/27	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu不定詞（2）について学ぶ。
7 11/10	Lektion 8 の続き。	Lektion 8 の練習問題。
8 11/15	Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。
9 11/22	Lektion 9 の続き。	Lektion 9 の練習問題。
10 12/1	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
11 12/8	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れたり、文法事項の補足説明などをする。	引き続き、学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。

12 12/15	さらに難しいテキストを読む。	なかなか授業で触れることのないタイプのドイツ語を読む。
13 12/22	重要事項の補足。	特に重要な事項を詳しく学ぶ。
14 1/10	試験・まとめと補	試験と秋学期のまとめをする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回学んだことの復習とテキストの予習。
本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

萩原耕平／ 畠山寛／高本敬之著 『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』 同文社 4版2021年 2000円（税別）

【参考書】

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合については[その他の重要事項]を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験72%、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。遅刻と出席には気をつけましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しよう。
公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。コロナやインフルエンザに関しては大学の指示に従いなさい。
教科書と電波のつながらない独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。
対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって少しずれることがある。学習支援システムからの連絡にいつも気をつけていなさい。
休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。公欠にならない理由でも無断で欠席するよりは、すぐに理由を連絡する方が減点は少ない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process
Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語4 I 2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次にドイツ語1、2を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくためにさまざまなシチュエーションのなかで必要な表現を学ぶことを目的とします。またドイツ、オーストリア、スイスの現代の政治・社会・課題・若者の日常や関心などを様々な表現を通して学びます。

【到達目標】

初級文法の知識を確実なものとして行うことができます。日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現、使える会話表現を身につけることができます。ドイツ、オーストリア、スイスの現代の政治・社会・課題・特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストをともに読み進めていきます。各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。教科書に沿って期末に確認テストを行います。1年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。訳読を行うにあたっては、精読 (close reading) ・解釈力の養成・文法的知識の向上をめざします。第1回はオンラインで行います。URL等はHoppiiの「お知らせ欄」で通知いたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション Kapitel 1 はじめに	授業の進め方、 訳読と文法的説明を行う
第2回	Kapitel 1 オーストリアと琵琶湖 国際交流	文法的解説 課題・読解を行う
第3回	Kapitel 2 オーストリアと琵琶湖の共通点について	テキストの Kapitel 1 表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と 表現の練習・まとめ
第4回	Kapitel 2 ドイツ語の正書法	Kapitel 2 訳読と受動形 の文法的説明を行う
第5回	Kapitel 2 綴りのミスをどこかで減点すべきか	テキストの Kapitel 2 の読解を行う また、成句表現を学ぶ
第6回	Kapitel 3 ザクセン、チューリッゲン の社会状況	表現の方法について知識を定着 させる

第7回	Kapitel 3 州議会選挙で躍進した党と政権の行方	Kapitel 3 の文法的説明を行う 訳読の解説
第8回	Kapitel 4 国民的テレビアニメと児童書	Kapitel 4 テキストの読解を行う この章の練習問題で内容確認と 表現の練習
第9回	Kapitel 4 時代に合わせ、後世に引き継がれるアニメ	ドイツ・アースとリアのアニメ 文化と歴史
第10回	Kapitel 5 フードロスと環境保護	Kapitel 5 の文法的説明を行う 練習問題で表現の練習・まとめ
第11回	Kapitel 5 環境保護のためのアプリ活用と支援	テキストの Kapitel 5 の読解を行う Landeskundeについて
第12回	授業に関連したビデオ学習	ドイツやオーストリアの音楽、 文化や歴史についてビデオを通して学ぶ
第13回	第二次世界大戦やその時代のドイツに関連したビデオを用いた学習	ドイツやオーストリアの歴史・ 政治をビデオを用いて、より深く知る
第14回	期末試験、解説とまとめ	これまでに学んだ読解と文法的 説明の振り返り 期末試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき合わせて1時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておきます。自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。テキストに描かれている事柄（例えば、現代の環境問題や社会的課題）などに関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】

『DACH トピックス 10 2025年度版』（Menschen in DACH）

D.Beier-Taguchi

R.田中雅敏 著

朝日出版社

【参考書】

とくにありませんが、毎回、独和辞典で調べる習慣は大事です。また、テキストに描かれている事柄などに関して書かれた本を読むことも重要です。

【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について
成績配分は期末試験50%、平常点（確認テストの点数の累積、課題、授業への積極的な参加を含む）50%です。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な解説で説明しています。また、ドイツの文化や歴史も学べるということで、ビデオも取り入れてゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読 (close reading) ・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。第1回はオンラインで行う。Hoppiiを見てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】 German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading and with audio-visual aids and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of Germany, Austria and Switzerland.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語4Ⅱ

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に学んだことを踏まえて、1年次にドイツ語1、2を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくために、ドイツやオーストリア、スイスという国について学び、またさまざまな表現を身につけていくことを目的とします。

【到達目標】

初級文法の知識を確実なものとするができます。
ドイツ語によるさまざまな表現方法や構文を学ぶことができます。
またドイツ、オーストリア、スイスの現代の政治・社会・課題・若者の日常や関心などを様々な表現を通して学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストをともに読み進めていきます。
各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。
適宜、確認テストを行います。

1年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。
訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上をめざします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction 授業の方法	Introduction 授業についての説明 成績評価の説明
第2回	Kapitel 6 ドイツのストライキ	Kapitel 6の訳読の解説を行う。
第3回	Kapitel 6 農業従事者の抗議の理由と農業政策	Kapitel 6 Landeskundeについて学ぶ。 練習問題で確認と応用
第4回	Kapitel 7 激甚化する自然災害について	Kapitel 7 訳読と文法的説明を行う
第5回	Kapitel 7 飛行機破損と洪水	Kapitel 7 感嘆句の意味を調べる
第6回	Kapitel 8 多様な性	Kapitel 8に従って、表現の方法について知識を定着させる
第7回	Kapitel 8 ドイツで進む法整備	Kapitel 8 接続法と直説法 ドイツ語の表現
第8回	Kapitel 9 ユーロヴィジョン・ソング・コンテスト	Kapitel 9 過去形と現在形についてより深く学ぶ
第9回	Kapitel 9 コンテストは政治的メッセージ発信の場か？	Kapitel 9 のテキストの表現の説明を行う 練習問題で確認と応用

第10回	Kapitel 10 クリスマスマーケットの変容	Kapitel 10 訳読の解説と テキストの文法的説明を行う
第11回	Kapitel 10 音楽のないクリスマスマーケットの理由	Kapitel 10 比較級、最上級を学ぶ テキストの表現を学ぶ
第12回	ドイツ、オーストリア、スイスについてのビデオ学習	第二次大戦と『サウンド・オブ・ミュージック』
第13回	第二次世界大戦時のドイツの政治・ホロコースト、そこから得られる学びをビデオを通して確認する	ドイツの歴史について、より深く知り、またそこから得られた知識の内容理解を確認する。
第14回	期末試験、解説とまとめ	表現と文法事項を中心とした振り返り 期末試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするために復習をします。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストに描かれている事柄に関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読み、より興味をもって授業に臨み、理解を深めます。

【テキスト（教科書）】

『DACH トピックス10 2025年度版』（Menschen in DACH）
D.Beier-Taguchi
R田中雅敏 著
朝日出版社

【参考書】

とくにありませんが、ドイツ、オーストリア、スイスの芸術、産業、文化、政治、経済についても学ぶことになるので、関心のある領域があれば、その分野の参考書を読むことは重要である。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。
期末試験 50 %
平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50 %

【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な説明に努めたい。
また、ドイツの文化や歴史について学べるということなので、ビデオ学習も取り入れてゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。
授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

【Outline (in English)】

Course outline: German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading the text on Germany and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to:

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of Germany, Austria and Switzerland.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: : Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語4 I

2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、秋学期の「ドイツ語4-II」と併せて、中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。

1年次で学習した文法事項の確認をしながらドイツ語の文章を読むことによって、文法力の強化、構文・テキストを的確に把握する読解力や語彙力、またビデオを用いて聴解力のレベルアップを図ります。

使用する教科書とビデオはドイツ語圏の文化を理解するために重要で興味深いテーマを扱っているため、1年が終わる頃には、ドイツ語圏の社会や文化、そこに住む人々のものの考え方や日常生活などに関する知識と理解が深まっていることでしょう。

【到達目標】

- ・小数や序数を使った表現ができる
- ・人称代名詞の格変化ができる
- ・話法の助動詞を使った表現ができる
- ・形容詞の強・弱・混合の格変化ができる
- ・形容詞と副詞の比較表現ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・決められた量のテキストを、辞書を引いて日本語に訳してきてもらい、それを授業で確認します。
- ・パートナー練習やグループワークを通じて、文法知識の定着を図ります。
- ・音読の練習を行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては、その場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	Lektion 0	Selbstvorstellung
02	Lektion 1	Geographie und Klima
03	Video : Winter in Deutschland	ドイツの冬
04	Lektion 2	Essen und Trinken
05	Video : Wurst /Bier	ドイツと言えば？ソーセージ/ビール！
06	Lektion 3	Deutsche Sprache
07	Lektion 4	Studium in Deutschland
08	Lektion 5	Feiertage, Urlaub und Freizeitaktivitäten
09	Video : Urlaub	ドイツの休暇
10	Video : Wandern	ドイツ人の好きなハイキング
11	Lektion 6	Innere Sicherheit in Deutschland
12	Lektion 7	Schulsystem Deutschlands
13	Video : Schule	ギムナジウムでの授業
14	春学期の振り返り	学期末試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。

・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer/斎藤太郎 共著、朝日出版、2021年、第5刷、¥2300+税

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等）30%と期末試験70%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。

・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course, together with German 4-II in the autumn semester, aims to provide students with a steadily increasing command of intermediate-level German grammar and expression.

By reading German texts while checking the grammar studied in the first year, the course aims to strengthen grammar skills, reading comprehension and vocabulary skills to accurately grasp the syntax and text, and to improve listening comprehension skills using videos.

The textbooks and videos cover important and interesting topics for understanding German-speaking cultures, so that by the end of the year you will have a greater knowledge and understanding of German-speaking societies and cultures, the way of thinking and daily life of the people living there, and much more.

[Learning Objectives]

Can use decimals and ordinal numbers.

Can use personal pronouns with case changes.

Can express using modal auxiliaries in speech.

Can use strong, weak and mixed case changes of adjectives.

Can express comparative adjectives and adverbs.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

[Grading Criteria/Policy]

The overall evaluation is based on a combination of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) of 30% and a final examination of 70%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 4 II

2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期の「ドイツ語4-I」の後続授業という位置づけです。春学期に学習したことを踏まえ、引き続き中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。

ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する知識と理解力を深めることを通じて、日本をはじめ、他の文化圏に対する理解も深めます。

【到達目標】

- ・受動表現が使えるようになる
- ・過去の表現ができるようになる
- ・副文（従属文）が使えるようになる
- ・副文（関係文）が使えるようになる
- ・分詞の用法を理解することで冠飾句が使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・決められた量のテキストを、辞書を引いて日本語に訳してきてもらい、それを授業で確認します。
- ・パートナー練習やグループワークを通じて、文法知識の定着を図ります。
- ・音読の練習を行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては、その場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	これまでの振り返り	春学期の復習
02	Lektion 8	Politisches System Deutschlands
03	Lektion 8 文法	受動態、zu不定詞句
04	Lektion 9	Deutsche Geschichte im Überblick
05	Lektion 9 文法	過去の表現
06	Lektion 10	Deutschland als Musikland
07	Lektion 10 文法	副文（従属文）
08	Lektion 11	Religiöse Landschaft in Deutschland
09	Lektion 11 文法	(不) 定関係代名詞
10	Lektion 12	Die Teilung Deutschlands
11	Lektion 12 文法	分詞の用法、冠飾句
12	Lektion 13	EU und Deutschland
13	Lektion 13 文法	接続法第二式
14	秋学期の振り返り	学期末試験、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。
 - ・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer/斎藤太郎 共著、朝日出版、2021年、第5刷、¥2300+税

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等）30%と期末試験70%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。

・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course is positioned as a follow-up to German 4-I in the spring semester. The aim is to build on what has been learned in the spring semester and to continue to steadily acquire intermediate-level German grammar and expressions.

By deepening their knowledge and understanding of the German language and the cultures of German-speaking countries, students will also deepen their understanding of Japan and other cultural areas.

[Learning Objectives]

Can use passive expressions.

Able to use expressions in the past.

Able to use sub-sentences (subordinate sentences).

Be able to use adverbial sentences (relational sentences).

To be able to use adverbial clauses by understanding the use of participles.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

[Grading Criteria/Policy]

The overall evaluation is based on a combination of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) of 30% and a final examination of 70%.

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語 4 I

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制（30）

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

200ワード程度のドイツ語の文章を精読しながら、1年次に学習した文法事項の確認と中級レベルのドイツ語に必要な読解力や語彙力の向上を目指す。

【到達目標】

一つ目は、授業で学んだ文法知識や辞書などを手掛かりに、ドイツ語で書かれた文章の構文を正確に把握する精読のスキルを身につける。二つ目は、構文を意識しながら正確な発音で音読をするスキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。

ドイツ語のテキストの読解が授業の中心になる。読解にあたっては、毎回担当者を決めて、事前に訳文を準備してもらう。自分で作成した訳文については文法事項や構文などを簡単に説明できるように準備をしておくこと。また、音読のチェックも毎回行うので、音声ファイルなどを使って予習をするようにしておくこと。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方 自己紹介 初級文法の復習
第2回	Lektion 1 モーツァルトとリルケの手紙	不定代名詞を学ぶ
第3回	Lektion 1 モーツァルトとリルケの手紙	テキストの精読および音読
第4回	Lektion 1 モーツァルトとリルケの手紙	テキストの精読および音読
第5回	Lektion 2 カエルの王様	接続法 I 式を学ぶ
第6回	Lektion 2 カエルの王様	テキストの精読および音読
第7回	Lektion 3 アルプスの少女ハイジ	命令形を学ぶ
第8回	Lektion 3 アルプスの少女ハイジ	テキストの精読および音読
第9回	Lektion 4 秋の日	不定関係代名詞を学ぶ
第10回	Lektion 4 秋の日	テキストの精読および音読
第11回	Lektion 5 若きウェルテルの悩み	関係代名詞、関係副詞を学ぶ
第12回	Lektion 5 若きウェルテルの悩み	テキストの精読および音読
第13回	Lektion 5 若きウェルテルの悩み	テキストの精読および音読
第14回	最終試験	テストと春学期学んだことの総復習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。準備学習は授業内で読むことになるテキストの和訳と構文の把握、そして音読の練習を行ってもらう予定である。復習としては事前に提出した和訳と授業内で修正した和訳を照らし合わせ、両和訳の違いを文法的に説明できるようになっているかどうかを確認する作業を行ってもらう。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ語を読む 改訂版』、相原剣・スザンネシェアマン著、朝日出版社、2019年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞典

【成績評価の方法と基準】

授業への参加態度、和訳課題、音読のチェックなどを含む平常点50%と期末テスト50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に合わせて授業の進め方は調整する予定である。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典を持参すること。

【その他の重要事項】

授業の内容や順序は、クラス状況によって一部変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

Through close reading of German texts of approximately 200 words, the course aims to confirm the grammatical points learned in the first year and to review reading comprehension and vocabulary skills necessary for intermediate level German. Before/after each class meeting, students will be expected to spend for one hour to understand the course content. Overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語 4 II

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

定員制（30）

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

200ワード程度のドイツ語の文章を精読しながら、1年次に学習した文法事項の確認と中級レベルのドイツ語に必要な読解力や語彙力の向上を目指す。

【到達目標】

一つ目は、授業で学んだ文法知識や辞書などを手掛かりに、ドイツ語で書かれた文章の構文を正確に把握する精読のスキルを身につける。二つ目は、構文を意識しながら正確な発音で音読をするスキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。

ドイツ語のテキストの読解が授業の中心になる。読解にあたっては、毎回担当者を決めて、事前に訳文を準備してもらう。自分で作成した訳文については文法事項や構文などを簡単に説明できるような準備をしておくこと。また、音読のチェックも毎回行うので、音声ファイルなどを使って予習をするようにしておくこと。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の振り返り 授業の進め方の説明
第2回	Lektion 6 ことわざと名言とアフォリズム	接続法Ⅱ式を学ぶ
第3回	Lektion6 ことわざと名言とアフォリズム	テキストの精読および音読
第4回	Lektion7 クラバート	テキストの精読および音読
第5回	Lektion7 クラバート	テキストの精読および音読
第6回	Lektion8 変身	分詞構文を学ぶ
第7回	Lektion8 変身	テキストの精読および音読
第8回	Lektion9 死のフーガ	テキストの精読および音読
第9回	Lektion10 1985年5月8日の演説	指示冠詞と再帰動詞を学ぶ
第10回	Lektion10 1985年5月8日の演説	テキストの精読および音読
第11回	Lektion11 朗読者	不定関係代名詞 Was、枠外配置を学ぶ
第12回	Lektion11 朗読者	テキストの精読および音読
第13回	Lektion11 朗読者	テキストの精読および音読
第14回	最終試験	試験および一年間のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。準備学習は授業内で読むことになるテキストの和訳と構文の把握、そして音読の練習を行ってもらう予定である。復習としては事前に提出した和訳と授業内で修正した和訳を照らし合わせ、両和訳の違いを文法的に説明できるようになっているかどうかを確認する作業を行ってもらう。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ語を読む 改訂版』、相原剣・スザンネシェアマン著、朝日出版社、2019年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞典

【成績評価の方法と基準】

授業への参加態度、和訳課題、音読のチェックなどを含む平常点50%と期末テスト50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に合わせて、適宜授業の進捗は変更する予定である。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典を持参すること。

【その他の重要事項】

授業の内容や順序は、クラスの状況によって一部変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

Through close reading of German texts of approximately 200 words, the course aims to confirm the grammatical points learned in the first year and to review reading comprehension and vocabulary skills necessary for intermediate level German. Before/after each class meeting, students will be expected to spend for one hour to understand the course content. Overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語(3) I

2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第3回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第4回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。疑問文の練習
第5回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。疑問文の練習
第6回	買い物	チラシを読む、買い物で必要な会話を習得する
第7回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第8回	旅行のドイツ語I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第9回	旅行のドイツ語II ホテル	ホテルについての情報、予約 Webページを読む
第10回	旅行のドイツ語III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第11回	旅行のドイツ語IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第12回	旅行のドイツ語V 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第13回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第14回	締め・総復習および 予備日	学期の締め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語(3) II

2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第2回	童話 I	グリム童話を読む
第3回	童話 II	文法の解説
第4回	環境問題 テーマ1	環境問題についての資料を読む
第5回	環境問題 テーマ2	環境問題についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第6回	ドイツの政治・社会 について I	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第7回	ドイツの政治・社会 について II	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第8回	ドイツの政治・社会 について III	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第9回	ドイツの政治・社会 について IV	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第10回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第11回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第12回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第13回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第14回	締め・総復習および 予備日	2年間のドイツ語の勉強の締め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語7

2017年度以降入学者

林 志津江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前年度の「ドイツ語1（SA）」～「ドイツ語4（SA）」の後続授業という位置付けです。SAドイツ語圏での留学に対する事前準備として、ドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力の獲得とさらなる向上を目指します。

【到達目標】

第一の目標は、ドイツ語の文章を文法に即し分析的に読む能力の向上です。これが一定のレベルに達しないうちはSA先大学のドイツ語での授業についていけず、楽しいはずの日常も苦痛となってしまいかもしれません。

第二の目標は、大学生の知的な会話にふさわしい、抽象的なトピックに関する語彙を増やし、話題にふさわしいコメントをドイツ語で発する能力の獲得です。

第三の目標は、地域ごと異なる社会制度や文化慣習を、言語の特性と関連づけて理解できる能力の獲得です。SA先であるドイツ・リューネブルクとそれに関わるの文化や社会に関する言説を知的に理解し楽しめれば、SAはより充実した体験になるはずだからです。以上を通じて、留学地での生活に適応するために必要な能力と心構えをしっかりと身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解と、そのテキストに即した問いと答えをドイツ語で作文する作業を軸に進めます。並行して前年度「ドイツ語1」「ドイツ語3」で使用した教科書を用い、ドイツ語の初級文法の基礎固めを行います。初級文法の知識を固めドイツ語圏とヨーロッパについての知識を増やししながら、SA先大学での授業の準備と積極的なドイツ語での発信を目指すとともに、活気ある授業とより良い理解にも配慮します。

- ・LMSとして、主にGoogle Classroomを使用します。
- ・連絡手段として、学期を通じ法政Gメールをチェックしてください。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、1年次の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	ヨーロッパの真ん中で（1）	（文法の補足）接続法（1）法（Mode）の考え方、直説法・命令法・接続法の違い、接続法第II式の用法
3	ヨーロッパの真ん中で（2）	（文法の補足）接続法（2）接続法第II式の用法、「引用する」の意味について
4	ドイツ語を話す（1）	ドイツ語を話す地域・様々な方言と多様な表現 （文法の補足）定関係代名詞（1）複文を徹底的に理解する

5	ドイツ語を話す（2）	「ドイツ語」の成立の背景にあったもの （文法の補足）定関係代名詞（2）複文を徹底的に理解する
6	教会と信仰1 — クリスマスを祝う	「アドヴェント」と「聖夜」、ドイツ語圏各地の祝い方
7	教会と信仰2 — さまざまな風習	ドイツ語圏の信仰分布、大晦日の日、イースターと謝肉祭
8	教育と学校制度	義務教育で身に付けるもの、「自分で選択する」という自覚
9	"Bildung"という価値	大学あるいは職業教育という選択、大学は何のため？
10	働き方と住まい	働くのは何のため？ 人間関係と住まいの関係、くつろいだ気持ちを表すドイツ語
11	働き方・休み方	自由な時間を謳歌する権利、有給休暇を消化する義務
12	買い物と流通事情	「スーパーマーケット」ではないマーケット？ "Bio"ってなに？
13	食事と食文化	さまざまな食べ物・さまざまなドイツ語、「ドイツ（語圏）の食べ物」と言えば？
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。ドイツ語の文・テキストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。

【テキスト（教科書）】

- ・"Dreimal Deutsch"（Klett, 2000/2005/2009/2021/2022/2023）
- ・1年次（2024年度）に使用したドイツ語文法の教科書（『身に付く文法Leicht2』ないし『シュトラッセノイ ver.3』）

【参考書】

- ・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003年）
- ・清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014年）

【成績評価の方法と基準】

- ・授業への積極的な参加（外部試験の受験結果含）および提出課題（50％）
- ・学期末試験（50％）

以上の成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・独和辞典は必携です（紙媒体ないし電子辞書）。自宅での学習では紙媒体の辞書を使用することを強く薦めます。
- ・学期末最終試験には、紙媒体の辞書が必ず必要です。

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
- ・随時、法政Gメールと所定のLMS（lms 2025 および Google Classroom）を確認してください。
- ・受講者には「ドイツ語技能検定試験（公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催）」や「ドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験（Goethe Zertifikat）」あるいは「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）」の受験を強く推奨します。特に「ドイツ語技能検定試験」の3級には積極的にチャレンジしてください。Goethe Zertifikatについては割引料金適応が適用されるので、受験希望者はぜひ担当者に知らせて下さい。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加」に加算されます（2025年7月下旬までに担当者に通知されたものに限り）。

【Outline (in English)】

German course for the intermediate levels (nearly A1. completed), exclusively for Participants of SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) in the next semester held by the faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language and German speaking world, especially ability of reading and composition for general topics to talk about.

【Learning Objectives】

- ・ To develop an understanding of a wide range of topics relating to life, culture and society in German-speaking countries and to express and explain these in German.
- ・ Able to express their own opinions and take part in discussions on abstract topics in German.
- ・ Able to write texts of a certain length in German.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

- ・ The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each.
- ・ There are prescribed preparation and review tasks.
- ・ Assignments outside of class time will be given on a case-by-case basis.
- ・ In addition to the above, please read the newspaper (daily) or listen to the news as much as possible. It is advisable to make effective use of the internet and social networking sites for German-speaking media.

【Grading criteria】

The course will be judged on the basis of a combination of 50% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 50% of end-of-term assignments (tests).

On the basis of this grading system, students who have achieved at least 60% of the objectives of this course will be considered to have passed the course.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語8

2017年度以降入学者

小川 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では、まず1年次で扱った文法事項や語彙・表現を復習しながら、文法の未習事項を扱います。それが終わり次第、ドイツ語の表現をさらに実際に使うことで、これまでに習得したドイツ語初級文法を復習します。ビデオ撮影を用いてグループや個人での発表練習や会話練習を行います。

【到達目標】

秋学期のSAに向け、これまでに学んだ文法の知識を生かしながら、自らドイツ語で表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法を学び、また復習をします。学んだ文法や表現を実際に活用（作文）し、スクリプトを作成、発音の練習を行い、動画等の成果を作成・発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクションと第14課①	授業内容の説明、若干の復習をした後、受動態や分詞を扱います
第2回	第14課②	習ったことを応用していきます
第3回	第15課①	接続法第1式を扱います
第4回	第15課②	接続法第2式を扱います
第5回	第15課③	習ったことの応用をします。
第6回	これまでのまとめ①	14課・15課についてまとめを行います。 その後、受動態・接続法を使った動画のスクリプトを作成します。
第7回	これまでのまとめ②	前週のスクリプトをもとに動画の作成を行います。
第8回	好きな本や映画、または場所について語る①	文法の復習や表現の確認をしながら、テーマにあわせた作文と、会話の練習を行います。
第9回	好きな本や映画、または場所について語る②	前週の文法項目とテーマに沿って、ビデオ撮影のためのスクリプトを作成します。
第10回	好きな本や映画、または場所について語る③	完成したスクリプトから発音練習し、動画を作成します。
第11回	グループプロジェクト・学内または東京を紹介①	まずグループを作ります。文法の復習や表現の確認をしながら、テーマにあわせた作文と、会話の練習を行います。
第12回	グループプロジェクト・学内または東京を紹介②	前週の文法項目とテーマに沿って、ビデオ撮影のためのスクリプトをグループで作成します。
第13回	グループプロジェクト・学内または東京を紹介③	完成したスクリプトから発音練習し、また題材を集めます。

第14回 グループプロジェクト・学内または東京を紹介④および授業のまとめ

グループで動画を作成します。その後、授業のまとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間とします。ただし、動画作成のためのコンテンツ準備や動画編集で授業時間外でさらに時間を要することもあります。

【テキスト（教科書）】

新しい教科書は使用しません。昨年度のドイツ語2・4で用いた教科書『身につくドイツ文法＜Leicht＞2』を用います。授業資料はLMS等でその都度配布します。

【参考書】

・1回生で用いたドイツ語文法の教科書
・中島・平尾・朝倉（2003年）『必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加、小テスト等（平常点）30％、14・15課の間試験40％、動画撮影30％とします。

【学生の意見等からの気づき】

受講者が自ら発言しやすい授業運営とするように努めます。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンだけでなく、PCをご持参ください。

【その他の重要事項】

未定ですが、ドイツで日本語を学ぶ学生との交流を考えています。詳細は授業でお知らせします。
教室外でコンテンツを集めることも想定されるため、フィールドワークを「あり」にしています。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Students will review the German grammar they have learned so far by using German expressions in practice. Practice group and individual presentations and conversations using video recordings.

【到達目標（Learning Objectives）】

Students will be able to express themselves in German using the grammatical knowledge they have acquired so far.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Active participation 30%

Examination 40%

Video shootings 30%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 - I 2017年度以降入学者

平松 英人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語初級文法を一通り学習し終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることに加え、ドイツ語圏文化の紹介などを通じて異文化理解を深めることが目標となる。

【到達目標】

1年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は12課からなり、各課とも導入、会話、聞き取り、読解、文法問題、発音から構成されている。語彙や文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、ドイツ語文章の読解や会話の練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 1 Ich hatte Fieber 1	イントロダクション 過去形①
2	Lektion 1 Ich hatte Fieber 2	名詞の2格と2格支配の前置詞
3	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 1	定冠詞類 副詞的4格
4	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 2	使役動詞 知覚動詞
5	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 1	過去形②
6	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 2	zu不定詞 um zu, statt zu, ohne zu不定詞（句）
7	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 1	確認テスト 方向・場所を表す前置詞
8	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 2	現在完了形
9	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 1	再帰代名詞
10	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 2	再帰動詞

11	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 1	命令形 接続法2式
12	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 2	複合名詞
13	まとめと補足	春学期のまとめと補足
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！ 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5
¥2,700＋税

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を60%、平常点を40%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生の理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

Course outline: In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach A2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3-II

2017年度以降入学者

平松 英人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語初級文法を一通り終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることに加え、ドイツ語圏文化の紹介などを通じて異文化理解を深めることが目標となる。

【到達目標】

1年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は12課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話、読解、リスニング力の向上を目指す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 1	従属の接続詞と副文①
2	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 2	従属の接続詞と副文②
3	Lektion 8 Ich schenke ihr einen roten Rock 1	形容詞
4	Lektion 8 Ich schenke ihr einen roten Rock 2	序数
5	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 1	比較級
6	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 2	最上級
7	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 1	確認テスト 関係代名詞①

8	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 2	関係代名詞②
9	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 1	受動態
10	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 2	分詞
11	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 1	接続法2式
12	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 2	接続法1式
13	まとめと補足	まとめと補足
14	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！ 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5
¥2,700 + 税

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を60%、平常点を40%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生の理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach A2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語コミュニケーション I 2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。
課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション 自己紹介 (簡単な表現・会話)	Einführung Zur Person (einfache Redemittel, Übungen)
②	自己紹介 (ほかの表現・練習)	Zur Person (weitere Redemittel, Übungen)
③	趣味 (簡単な表現・会話)	Hobbys (einfache Redemittel, Übungen)
④	趣味 (ほかの表現・練習)	Hobbys (weitere Redemittel, Übungen)
⑤	家族	Familie
⑥	食べ物・飲み物 (簡単な表現・会話)	Essen & Trinken (einfache Redemittel, Übungen)
⑦	食べ物・飲み物 (ほかの表現・練習)	Essen & Trinken (weitere Redemittel, Übungen)
⑧	総復習	Wiederholung (Wortschatz, Grammatik, Redemittel)
⑨	住居	Wohnung
⑩	時刻と日付 (簡単な表現・会話)	Uhrzeit und Datum (einfache Redemittel, Übungen)
⑪	時刻と日付 (ほかの表現・練習)	Uhrzeit und Datum (weitere Redemittel, Übungen)

⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	練習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法・語彙などの復習 & 課題（ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題）
本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者**JENS OSTWALD**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。

単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	Einführung
②	春学期の復習	Wiederholung
③	旅行のためのドイツ語 1 道を尋ねる (簡単な表現)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - einfache Redemittel)
④	旅行のためのドイツ語 2 道を尋ねる (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - weitere Redemittel, Übungen)
⑤	旅行のためのドイツ語 3 ホテルで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Hotel - einfache Redemittel)
⑥	旅行のためのドイツ語 4 ホテルで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Hotel - weitere Redemittel, Übungen)
⑦	旅行のためのドイツ語 5 レストランで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Restaurant - einfache Redemittel)

⑧	旅行のためのドイツ語 6 レストランで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Restaurant - weitere Redemittel, Übungen)
⑨	旅行のためのドイツ語 7 駅にて (簡単な表現)	Reisedeutsch (Verkehr - einfache Redemittel)
⑩	旅行のためのドイツ語 8 駅にて (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Verkehr - weitere Redemittel, Übungen)
⑪	旅行のためのドイツ語 9	Reisedeutsch (Reiseziele)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen Übungen zur Wiederholung
⑬	復習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法・語彙などの復習 & 課題（ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題）

本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語表現法 I

2017年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで。

基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書く。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともあります、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Erste Schritte: Persönliche Angaben machen Sich selbst vorstellen	自己紹介を書く I 辞書の使い方 I
2.	Länder, Städte, Zahlen	自分の出身を紹介する 人を紹介する
3.	Meine Stadt beschreiben	方位と場所
4.	Mein Alltag	日常 時間を表す
5.	Tagesablauf	助動詞
6.	Hobby und Freizeit	分離動詞

7.	Freizeitangebote in der Stadt	場所と時間を表す
8.	Lieblingsdinge beschreiben	好きな「もの」を紹介する 冠詞と代名詞
9.	作文作成 2	発表
10.	Essen und Trinken	食生活についてと好み
11.	Im Restaurant	レストランのメニューと注文
12.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
13.	Vor den Ferien I	不規則動詞 話法の助動詞
14.	Vor den Ferien II	休暇中の予定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。予習はテキストを事前に読む、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト（教科書）】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明

白水社

ISBN：9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度（50%）
提出してもらうドイツ語の作文（50%）
を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要です。電子辞書可。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this course students will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They will also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50%) and written homework (50%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語表現法Ⅱ

2017年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともあります、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業内または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Nach den Ferien	現在完了形
2.	Postkarte	Postkarte schreiben 手紙を書く
3.	Wohnen	前置詞
4.	Mein Traumhaus	住まいについて書く
5.	Wohnen in der Stadt oder auf dem Land ?	理由を表す
6.	Jahreskalender Datum und Monate Feiertage	年間行事 招待状を書く
7.	Feste feiern	複文
8.	An der Universität	大学について書く
9.	Meine Universität	グループワーク： 大学紹介を書く

10. Meine Universität グループワーク発表
2
11. Eine Reise planen 旅行計画
12. Sehenswürdigkeiten 観光名所の紹介文を書く
vorstellen
13. Erlebnisse und 過去形
Erfahrungen 1 私の人生
14. Erlebnisse und プレゼンテーション発表
Erfahrungen 2

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。

予習は事前にテキストを読む、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト (教科書)】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』 清野智明

白水社

ISBN : 9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度 (50%)

提出してもらうドイツ語の作文 (50%)

を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要。電子辞書可。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this class we will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50 %) and written homework (50 %)

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

入門ドイツ語(SS1) I

2017年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

2回の授業で1つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppiiを通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	発音の原則	アルファベットと発音の基本。数字の練習。
2	第1課 動詞の現在人称変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	第1課 動詞の現在人称変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
4	第2課 名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	第2課 名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
6	第3課 動詞の不規則変化/命令形	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	第3課 動詞の不規則変化/命令形	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
8	第4課 冠詞類/時刻の表現	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	第4課 冠詞類/時刻の表現	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
10	第5課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	第5課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
12	第6課 形容詞の格変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	第6課 形容詞の格変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
14	試験、まとめと解説	春学期のまとめと試験をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法説明を読み、疑問点を整理しておくこと。
復習は文法に関する問題を解答し提出すること。
予習に1時間、復習に1時間を目安に授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。毎回プリントを配布するので、これをテキストと同等のものと考えること。

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢40%（主に出席と発音の習熟度で評価する）、数回の文法理解の小テストの平均60%。

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器を用意しておいてください。

【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

入門ドイツ語(SSI) II

2017年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

2回の授業で1つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppiiを通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	話法の助動詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
2	話法の助動詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	分離・非分離動詞 I ／接続詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
4	分離・非分離動詞 II ／接続詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	再帰代名詞・再帰動詞/zu不定詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
6	再帰代名詞・再帰動詞/zu不定詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	動詞の3基本形/過去形・現在完了形 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
8	動詞の3基本形/過去形・現在完了形 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	受動態/比較表現 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
10	受動態/比較表現 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	関係代名詞/関係副詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
12	関係代名詞/関係副詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	接続法	会話文の解説と文法説明。練習問題。
14	試験、まとめと解説	秋学期のまとめ都市圏をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

その週の授業で学んだ表現を繰り返し発音して、暗記すること。

【テキスト（教科書）】

プリントをテキストとして配布する

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢40%（主に出席と練習問題への取り組み、発音の習熟度で評価する）、文法理解度チェックのための小テストの平均60%。

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器の用意をお願いします。

【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツ語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：映画を通じてドイツ語圏の国々を知る

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。(履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。)

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	オリエンテーション	授業の概説 ドイツ語圏クイズ
2.	ドイツ語圏の世界 1	地理,言語,文化～政治、経済まで
3.	ドイツ語圏の世界 2	ドイツ語圏の映画史入門
4.	文学	ドイツ文学と言えばゲーテ？ 映画：ゲーテの恋 ～君に捧ぐ 「若きウェルテルの悩み」 Goethe! (2010) ディスカッション
5.	音楽	クラシック音楽の世界 Amadeusからクララ・シューマンまで
6.	オーストリア	Sissiとミュージカル「エリザベート」 サウンド・オブ・ミュージック
7.	スイスと日本	映画：ハイジ アルプスの物語 Heidi (2015) ハイジ in Japan
8.	映画鑑賞	作品未定
9.	戦争映画 I 第一次世界大戦	西部戦線異状なし(1930) 戦場のアリア (2005) ディスカッション

10.	ドイツと日本	ベートーヴェンの「第九」 プレゼンテーション 映画：バルトの楽園 (2006)
11.	映画の中のヒトラー I	ヒトラーと女性 ドキュメンタリー映画 レニ Die Macht der Bilder: Leni Riefenstahl 1993
12.	映画の中のヒトラー II	ヒトラー ～最期の12日間～ (2004)
13.	映画鑑賞	作品未定
14.	まとめ	ディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・文献を事前に読む。(資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語)

- ・映画鑑賞
 - ・自分担当のプレゼンテーションの準備とレジュメ作成
- 本授業の準備学習・復習時間は、計2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストを配布

【参考書】

- ・森井 裕一 (著, 編)『ドイツの歴史を知るための50章』(エリア・スタディーズ151)
- ・宮田真治・島山寛・濱中春 (編著)『ドイツ文化55のキーワード』
- ・新野守広・飯田道子・梅田紅子 (編)『知ってほしい国 ドイツ』
- ・スイス文学研究会 (編)『スイスを知るための60章』(エリア・スタディーズ128)
- ・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための57章【第2版】(エリア・スタディーズ19)

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません
「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。
質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society. The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read reference material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツ語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：映画を通じてドイツ語圏の国々を知る

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。(履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。)

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	戦後の東西ドイツ	サッカーを通して見る戦後ドイツ：『ベルンの奇跡』(2003)『僕たちは希望という名の列車に乗った』(2018)
2.	60年代の東西ドイツ	ベルリンの壁ができるまで『トンネル』Der Tunnel (2001)
3.	70年代の西ドイツ	極左のテロリズム『バーダー・マインホフ/理想の果てに』Der Baader Meinhof Komplex (2008)
4.	東ドイツ	東ドイツの秘密警察 (Stasi)『善き人のためのソナタ』Das Leben der Anderen (2006)『ゲンダーマン 優しき裏切り者の歌』Gundermann (2018)『東ベルリンから来た女』(2012)

5.	ドイツ統一	ベルリンの壁崩壊『グッバイ、レーニン!』Good Bye Lenin (2003) プレゼンテーション ディスカッション
6.	芸術	『Pina/ピナ・バウシュ』 踊り続けるいのち
7.	青春	児童文学の映画化 映画：『飛ぶ教室』2003『50年後のボクたちは』Tschick (2016) プレゼンテーション ディスカッション
8.	ヒトラーについて笑っているのか？	ヒトラーについて笑っているのか？『帰ってきたヒトラー』Er ist wieder da! (2015) プレゼンテーション ディスカッション
9.	ドイツ極右組織	ドイツ極右組織 NSU『女は二度決断する』Aus dem Nichts (2017) プレゼンテーション ディスカッション
10.	ドイツ極右組織	映画鑑賞
11.	ドイツ以外のドイツ語圏の映画	スイス映画・オーストリア映画と映画祭
12.	移民国ドイツ	難民問題
13.	移民国ドイツ	映画：初めてのおもてなし Willkommen bei Hartmanns (2016) プレゼンテーション ディスカッション
14.	まとめ	プレゼンテーション ディスカッション 映画鑑賞

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・文献を事前に読む (資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語)

・映画鑑賞

本授業の準備学習・復習時間は、計2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストを配布

【参考書】

- ・森井裕一 (著, 編集)『ドイツの歴史を知るための 50 章』(エリア・スタディーズ 151)
- ・宮田眞治・畠山寛・濱中春 (編著)『ドイツ文化 55 のキーワード』
- ・新野守広・飯田道子・梅田紅子 (編)『知ってほしい国 ドイツ』
- ・スイス文学研究会 (編)『スイスを知るための 60 章』(エリア・スタディーズ 128)
- ・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための 57 章【第2版】(エリア・スタディーズ 19)

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特にありません

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません。「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

小川 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「ドイツ」や「ドイツ語圏」と聞いて、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか？

本授業ではドイツやドイツ語圏についてトピックをとりあげ、少し深く考えてみたいと思います。

ドイツ語の学習は前提としません。

【到達目標】

ドイツ語圏に関する様々なテーマを見ることで、社会や歴史について理解し、今後探求していく糸口を見つけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業の最初に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーに反応したいと思います。また、授業中に受講生のみなさんにこちらから問いかけたり、受講生同士で話し合ってもらったこともあったかと思っています。積極的な参加を期待します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ドイツとドイツ語圏について。
第2回	ドイツ語の歴史と多様性	ドイツ語が成立した歴史や地域的な違いを見ます。英語の知識が役に立つかもしれません。
第3回	ビール	ビールの歴史と現状について。
第4回	ドイツの環境政策	ドイツの環境政策について。
第5回	ドイツの交通政策	トラムや電気自動車、アウトバーンなど交通政策について。
第6回	ドイツの鉄道	ドイツの鉄道の歴史と現在について。
第7回	自動車産業から見るドイツ経済	ドイツ経済について、自動車産業から。
第8回	ドイツの教育制度	マイスター制度など、日本とは異なる教育制度について。
第9回	東ドイツ	かつて存在した東ドイツ (ドイツ民主共和国) やベルリンの壁について。
第10回	ドイツの歴史教育	過去をどう扱うのかについて。
第11回	多様化するドイツ	移民の歴史と現在、統合政策について。
第12回	オーストリアとウィーン	カフェ文化など独自の文化を形成するオーストリアの首都ウィーンについて。

第13回	日本の中のドイツ、ドイツの中の日本	ハリボー、バウムクーヘン、アニメ文化等、日本にあるドイツ語やドイツ語圏の文化、ドイツ (語圏) にある日本の文化について。
第14回	まとめ	これまでの話題について補足しながら振り返ります。期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

予習：次のテーマについて、思いつくことをいくつかメモしておいてください。

復習：ハンドアウトを読み直し、気になるテーマについては図書館で本を探してみてください。

【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

【参考書】

授業ごとに提示します。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパーを含めた授業への積極的な参加40%、期末レポート60%

【学生の意見等からの気づき】

受講生が意見を述べやすいようにとめます。

【学生が準備すべき機器他】

授業資料 (ハンドアウト) はLMSなどを通じて配布します。スマートフォン以外にPCやタブレットがあると便利です。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できます。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

This course introduces and explores topics about Germany and the German-speaking world.

Students do not need to learn German to take this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

Students will develop an understanding of the society, culture and history of the German-speaking world.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】

Active participation 40%

Final report 60%

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツの文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

小川 敦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、ドイツ語が／ドイツ語も使われる／使われた地域の歴史や文化について扱います。言語の話も出ますが、ドイツ語の知識は不要です。

【到達目標】

ドイツ語圏の文化や社会、人々の多様性について理解を深めます。日本社会への気づきにもつなげます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業の最初に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーに反応したいと思います。また、授業中に受講生のみなさんにこちらから問いかけたり、受講生同士で話し合っているだけでもあることもあるかと思います。積極的な参加を期待します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業で扱うテーマについて概観します。
第2回	オーストリアの歴史	オーストリアの現代史を中心に扱います。ハプスブルク帝国に遡ることもあります。
第3回	オーストリアの現代史と現在	オーストリアの現代史と現在のオーストリアの社会や文化を扱います。
第4回	スイスの歴史	多言語国家であり永世中立国であるスイスがどのように成立したのかを見ます。
第5回	スイスの現代史と現在	スイスの現代史と現在のスイス社会を考えます。
第6回	ベルギーの歴史	ベルギーの歴史を扱います (ベルギーには小さなドイツ語共同体があります)。
第7回	ベルギーの現代史と現在	ベルギーの現代史を扱いながら、EUの中心地でありながら今日でも言語問題でゆれるベルギーの今を考えます。
第8回	ルクセンブルクの歴史	GDPが世界トップクラスである小国ルクセンブルクの歴史を扱います。
第9回	多様化するルクセンブルク	多言語社会・移民社会となった今日のルクセンブルクについて考えます。

第10回	アルザス・ロレーヌの歴史	ドイツなのかフランスなのか、帰属をめぐってゆれたフランス東部のアルザス地方・ロレーヌ地方の歴史について扱います。
第11回	アルザス・ロレーヌ (言語)	アルザス・ロレーヌについて、特に言語問題に焦点を当てます。
第12回	ドイツ騎士団と東プロイセン	かつて東に移住したドイツ系住民の歴史を扱います。
第13回	アメリカ合衆国のドイツ系住民	かつて、ドイツ語圏からは多くの人々がアメリカに移住しました。今日にも残る移民の歴史を扱います。
第14回	まとめ	これまでの話題について補足しながら振り返ります。期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

予習：次のテーマについて、思いつくことをいくつかメモしたり、インターネット等で検索してください。

復習：ハンドアウトを読み直し、気になるテーマについては図書館で本を探してみてください。

【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

【参考書】

授業ごとに提示します。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパーを含めた授業への積極的な参加 40%、期末レポート 60%

【学生の意見等からの気づき】

講生が意見を述べやすいようにつとめます。

【学生が準備すべき機器他】

授業資料 (ハンドアウト) はLMSなどを通じて配布します。スマートフォン以外にPCやタブレットなどがあると便利です。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できます。春学期に履修した人も履修しなかった人も積極的な参加を期待します。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

This course focuses on the history and culture of the regions where German is also used or where it was used.

【到達目標 (Learning Objectives)】

In this course, students deepen their understanding of the diversity of cultures, societies and people in German-speaking areas.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】

Active participation 40%

Final report 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiなどを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	LEÇONS 1	(教科書の演習問題)
第2回	LEÇONS 2	(教科書の演習問題)
第3回	LEÇONS 3	(教科書の演習問題 - 会話)
第4回	LEÇONS 4	(教科書の演習問題)
第5回	LEÇONS 5	(教科書の演習問題)
第6回	LEÇONS 6	(教科書の演習問題 - 会話)
第7回	LEÇONS 7	(教科書の演習問題)
第8回	LEÇONS 8	(教科書の演習問題 - 会話)
第9回	LEÇONS 9	(教科書の演習問題)
第10回	LEÇONS 10	(教科書の演習問題 - 会話)
第11回	LEÇONS 11	(教科書の演習問題)
第12回	LEÇONS 12	(教科書の演習問題 - 会話)
第13回	レッスン1～12の復習	レッスン1～12の復習
第14回	まとめ/試験 その他	まとめ/試験 その他：課題/補講：課題/補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合うことができるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppii」での質問も可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon 13	(教科書の演習問題) La spatialisation
第2回	Leçon 14	(教科書の演習問題) Les différentes interrogations
第3回	Leçon 15	(教科書の演習問題 - 会話) Les heures
第4回	Leçon 16	(教科書の演習問題) Les verbes pronominaux 1
第5回	Leçon 17	(教科書の演習問題) Les verbes pronominaux «
第6回	Leçon 18	(教科書の演習問題 - 会話) Le passé composé avec “avoir”
第7回	Leçon 19	(教科書の演習問題) Le passé composé avec «
第8回	Leçon 20	être » (教科書の演習問題) Les verbes pronominaux au
第9回	Leçon 21	passé composé (教科書の演習問題 - 会話) La comparaison 1
第10回	Leçon 22	(教科書の演習問題) La comparaison 2
第11回	Leçon 23	(教科書の演習問題) L'imparfait 1
第12回	Leçon 24	(教科書の演習問題 - 会話) L'imparfait 2
第13回	レッスン13～24の復習	レッスン13～24の復習

第14回 まとめ/試験 その他 まとめ/試験 その他：課題/補講：課題/補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法が実際に文章中で使われている平易なフランス語文を読みながら、文法の復習をしつつ、今のフランスに関する様々な話題を知ることを目的としています。単なる仏文和訳にとどまらず、授業中に検索もおこないながらフランスに詳しくなりましょう。初級文法では軽く触れられていた文法事項についても、解説と練習問題を使って学習します。

【到達目標】

単語の意味を調べれば、フランス語のニュースや新聞の内容をおおまかに把握できるようになること。さらに、フランス語で書かれた簡単な文章を自力で読み解き、意見をまとめることができるようになることを目標にしています。文法レベルはフランス語検定試験3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回の授業で、4ページ構成の1レッスンを終える速度で進みます。1回目は、各章の扉にある日本語の解説を読み、フランス語で書かれている本文に関する基本的な知識を得ます。音読練習のあと、使われている文法事項の解説と練習問題を解きます。2回目は、1行ずつ音読しながら文法事項を反映させて日本語に訳していきます。さらにグループに分かれて関連事項で気になったことを検索して発表、章末にあるテーマで話し合いを行いそれも教室内で発表をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 0「授業の進め方」	グループ分け、音読練習
2回目	Leçon 1「ボルドーのカヌレ」	解説理解、音読練習、文法：目的語になる人称代名詞
3回目	Leçon 1「ボルドーのカヌレ」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
4回目	Leçon 2「セース河岸のブキニスト」	解説理解、音読練習、文法：指示代名詞
5回目	Leçon 2「セース河岸のブキニスト」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
6回目	Leçon 3「ジュス ティース・トリエ監督『落下の解剖学』」	解説理解、音読練習、文法：現在分詞・ジェロンディフ
7回目	Leçon 3「ジュス ティース・トリエ監督『落下の解剖学』」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
8回目	Leçon 4「新しいバカロレア」	解説理解、音読練習、文法：形容詞
9回目	Leçon 4「新しいバカロレア」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
10回目	Leçon 5「利用者の口コミ評価サイト」	解説理解、音読練習、文法：半過去
11回目	Leçon 5「利用者の口コミ評価サイト」	和訳、関連事項検索、ディスカッション

12回目	Leçon 6「ミラン・クンデラ」	解説理解、音読練習、文法：複文
13回目	Leçon 6「ミラン・クンデラ」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
14回目	試験とまとめ	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べておく。(約30分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認しておく。(約30分) グループディスカッションの回には、話し合った内容を簡潔にまとめたものをクラスウェブ上に提出する。(約30分)

【テキスト（教科書）】

『時事フランス語—2025年度版—』石井洋二郎 ほか著（朝日出版社）

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価：平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%、学期末テスト（授業最終日に実施される筆記試験）50%

試験方法：学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。

【学生の意見等からの気づき】

みんなの協力で出来上がった訳文は資料としてクラスウェブ上に残します。

【学生が準備すべき機器他】

検索をしたりディスカッション内容を発表するためのPC等が必要です。

【Outline (in English)】

The purpose of this class is to review grammar while reading simple French sentences in which elementary grammar is actually used in the text, and to learn about various topics related to France today. It is not just a simple French-Japanese translation, but also to become familiar with France by searching during class. Grammar points that were only lightly mentioned in the elementary grammar class will be studied using explanations and practice problems.

By looking up the meaning of words, you will be able to roughly grasp the contents of French news and newspapers. Furthermore, the goal is to be able to read simple sentences written in French on your own and summarize your opinions. The grammar level is aimed at the French Language Proficiency Test Level 3.

The class will proceed at a speed that allows you to complete one lesson consisting of four pages in two lessons. In the first class, you will read the Japanese explanations at the beginning of each chapter and gain basic knowledge about the main text written in French. After practicing reading aloud, you will answer the explanations and practice problems for the grammar points used. In the second class, you will translate into Japanese while reading aloud one line at a time, reflecting the grammar points. Students will then split into groups to research related topics that interest them and make presentations about them. They will also discuss themes at the end of the chapters and make presentations about these in the classroom.

Grading: Regular points (participation in class, discussions and presentations) 50%/Final exam (written exam held on the last day of class) 50%

Exam method: Final exams will not be held "during exam period", but during regular class time on the last day of classes.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法が実際に文章中で使われている平易なフランス語文を読みながら、文法の復習をしつつ、今のフランスに関する様々な話題を知ることを目的としています。単なる仏文和訳にとどまらず、授業中に検索もおこないながらフランスに詳しくなりましょう。初級文法では軽く触れられていた文法事項についても、解説と練習問題を使って学習します。

【到達目標】

単語の意味を調べれば、フランス語のニュースや新聞の内容をおおまかに把握できるようになること。さらに、フランス語で書かれた簡単な文章を自力で読み解き、意見をまとめることができるようになることを目標にしています。文法レベルはフランス語検定試験3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回の授業で、4ページ構成の1レッスンを終える速度で進みます。1回目は、各章の扉にある日本語の解説を読み、フランス語で書かれている本文に関する基本的な知識を得ます。音読練習のあと、使われている文法事項の解説と練習問題を解きます。2回目は、1行ずつ音読しながら文法事項を反映させて日本語に訳していきます。さらにグループに分かれて関連事項で気になったことを検索して発表、章末にあるテーマで話し合いを行いそれも教室内で発表をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 7「フランスの夜行列車の復活」	解説理解、音読練習、文法：比較級
2回目	Leçon 7「フランスの夜行列車の復活」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
3回目	Leçon 8「フレンチ・タッチ」	解説理解、音読練習、文法：命令法
4回目	Leçon 8「フレンチ・タッチ」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
5回目	Leçon 9「ケイジャン」	解説理解、音読練習、文法：中性代名詞
6回目	Leçon 9「ケイジャン」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
7回目	Leçon 10「ジュール・ジャンセン」	解説理解、音読練習、文法：複合過去
8回目	Leçon 10「ジュール・ジャンセン」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
9回目	Leçon 11「憲法に書き込まれた中絶権」	解説理解、音読練習、文法：受動態
10回目	Leçon 11「憲法に書き込まれた中絶権」	和訳、関連事項検索、ディスカッション
11回目	Leçon 12「アングレーム国際漫画祭」	解説理解、音読練習、文法：最上級
12回目	Leçon 12「アングレーム国際漫画祭」	和訳、関連事項検索、ディスカッション

13回目 Leçon 13「理系分野と女性」 辞書を使って和訳、自分で文法解説を試みる(文法：関係代名詞)

14回目 試験とまとめ 筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約30分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認しておく。(約30分)グループディスカッションの回には、話し合った内容を簡潔にまとめたものをクラスウェブ上に提出する。(約30分)

【テキスト（教科書）】

『時事フランス語—2025年度版—』石井洋二郎 ほか著（朝日出版社）

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価：平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%、学期末テスト（授業最終日に実施される筆記試験）50%

試験方法：学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。

【学生の意見等からの気づき】

みんなの協力で出来上がった訳文は資料としてクラスウェブ上に残します。

【学生が準備すべき機器他】

検索をしたりディスカッション内容を発表するためのPC等が必要ですよ。

【Outline (in English)】

The purpose of this class is to review grammar while reading simple French sentences in which elementary grammar is actually used in the text, and to learn about various topics related to France today. It is not just a simple French-Japanese translation, but also to become familiar with France by searching during class. Grammar points that were only lightly mentioned in the elementary grammar class will be studied using explanations and practice problems.

By looking up the meaning of words, you will be able to roughly grasp the contents of French news and newspapers. Furthermore, the goal is to be able to read simple sentences written in French on your own and summarize your opinions. The grammar level is aimed at the French Language Proficiency Test Level 3.

The class will proceed at a speed that allows you to complete one lesson consisting of four pages in two lessons. In the first class, you will read the Japanese explanations at the beginning of each chapter and gain basic knowledge about the main text written in French. After practicing reading aloud, you will answer the explanations and practice problems for the grammar points used. In the second class, you will translate into Japanese while reading aloud one line at a time, reflecting the grammar points. Students will then split into groups to research related topics that interest them and make presentations about them. They will also discuss themes at the end of the chapters and make presentations about these in the classroom. Grading: Regular points (participation in class, discussions and presentations) 50%/Final exam (written exam held on the last day of class) 50%

Exam method: Final exams will not be held "during exam period", but during regular class time on the last day of classes.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね一回の授業で一課進みます。
小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	第1課	自己紹介する 疑問副詞・疑問形容詞
第2回	第2課	日常生活 代名動詞現在形
第3回	第3課	尋ねる 疑問代名詞
第4回	第4課	時間割 冠詞
第5回	復習；綴り字の読み方	発音練習
第6回	まとめ	第一回小テスト（予定）
第7回	第5課	身体／健康 定冠詞の縮約形
第8回	第6課	計画 疑問文
第9回	第7課	家族 否定文
第10回	第8課	天候／時間 非人称構文
第11回	第9課	公共交通機関 目的語人称代名詞
第12回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第13回	第10課	バカンス／観光 近接未来形・単純未来形
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フランスの今』（駿河台出版社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点満点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加算して、最終評価を下します。詳細は第1回の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework (1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests(25/150x2), final teste (100/150)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、簡単なフランス語のテキストを訳読していきます。特に自署の使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身につけることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね一回の授業で一課進みます。
小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習1 第11課	春学期のまとめ 美食／料理 近接過去形・半過去・複合過去
第2回	第11課	つづき
第3回	第12課	出来事を語る 代名動詞複合過去
第4回	第13課	都会と田舎 強調構文・ジェロンディフ
第5回	第14課	比較する 比較級
第6回	第15課	スポーツ／勉強 最上級
第7回	復習2	第1回小テスト（予定）
第8回	第18課	食品 en 中性代名詞
第9回	第19課	郵便局／銀行 y,le 中性代名詞
第10回	第20課	文学／詩 関係代名詞（1）
第11回	第21課	スペクタクル／ショー 関係代名詞（2）
第12回	復習3	第二回小テスト（予定）
第13回	第22課	衣服／モード／色 条件法
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は特に必要ありません。簡単な宿題が毎回です。必ずやってきて下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フランスの今』（駿河台出版社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回的小テストが各25点、合計150点でつきます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加味して最終評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】

「気づき」ではなく「気づいたこと」と表記してほしい。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework(1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests (25/150x2), final test (100/150)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

(1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする

(2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める

(3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る

(4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1年次に終了した文法事項等の確認
第2回	1課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第3回	1課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第4回	2課 エッフェル等と自由 の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞qui, que
第5回	2課 エッフェル等と自由 の女神	文法の練習問題 文章読解

第6回	3課 ベルシー・ヴィラー ジュを訪れる	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 関係代名詞dont, où
第7回	3課 ベルシー・ヴィラー ジュ	文法の練習問題 文章読解
第8回	4課 ルイ・ヴィトン財団 美術館を訪れる	会話文の音読と和訳 文法の復習 疑問代名詞
第9回	4課 ルイ・ヴィトン財団 美術館	文法の練習問題 文章読解
第10回	5課 電話をかける	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 条件法
第11回	5課 フランスの電 話事情	文法の練習問題 文章読解
第12回	仏検4級をめざして1	会話実践 文章読解
第13回	仏検4級をめざして2	仏検4級の練習問題を解く
第14回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500円）

副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他

文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。

また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%

期末試験の成績(60%)により、評価します。

期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったので、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。

疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

(1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる

(2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める

(3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る

(4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課 デジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第2回	第6課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第3回	第7課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第4回	第7課 世界文化遺産の街 デジョン	文法の練習問題 文章読解
第5回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第6回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理	文法の練習問題 文章読解
第7回	第9課 ボヌスに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第8回	第9課 世界文化遺産の街 ボヌス	文法の練習問題 文章読解
第9回	第10課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第10回	第10課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第11回	4級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第12回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第13回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第14回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ(朝日出版社、2500円)(フランス語3Iの教科書を継続使用)
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワール仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社) 他
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%
期末試験の成績(60%)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。
小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	第1課(講読)	Vous ou tu ?
第2回	第1課(文法)	直説法現在・所有形容詞・疑問文の種類
第3回	第2課(講読)	La bise, facile comme bonjour ?
第4回	第2課(文法)	非人称構文・関係代名詞 qui と que ・比較級と最上級
第5回	復習：綴り字の読み方	発音練習
第6回	まとめ	第一回小テスト（予定）
第7回	第3課(講読)	Croire ou ne pas croire, telle est la question
第8回	第3課(文法)	直説法半過去・指示形容詞・目的語の人称代名詞
第9回	第4課(講読)	À la bonne heure !
第10回	第4課(文法)	準助動詞・直説法複合過去(1)・中性代名詞 le
第11回	第5課(講読)	Premier avril ! Sourire obligatoire
第12回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第13回	第5課(文法)	代名動詞・直説法複合過去(2)・指示代名詞
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来て下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』（朝日出版社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点満点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加算して、最終評価を下します。詳細は第1回の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework (1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests(25/150x2), final teste (100/150)

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、簡単なフランス語のテキストを訳読していきます。特に辞書の使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身につけることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。
小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習 1 第6課（講読）	春学期のまとめ La vérité sort de la bouche des animaux
第2回	第6課（文法）	不定法構文・直説法単純未来・所有代名詞
第3回	第7課（講読）	Un robot venu du futur
第4回	第7課（文法）	人称代名詞の強勢形・直説法前未来・疑問代名詞・疑問副詞
第5回	第8課（講読）	Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays.
第6回	復習 2	第一回小テスト（予定）
第7回	第8課（文法）	特殊な情勢系と複数形・受動態・前置詞＋関係代名詞
第8回	第9課（講読）	Je suis gaucher, mais pas maladroit
第9回	第9課（文法）	条件法現在・命令文・中性代名詞 en と y
第10回	第10課（講読）	Tout n'est pas perdu
第11回	第10課（文法）	疑問形容詞・関係代名詞 dont ・過去分詞
第12回	復習 3	第二回小テスト（予定）
第13回	第11課（講読）	Un roi calculateur
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は特に必要ありません。簡単な宿題が毎回です。必ずやってきて下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』（朝日出版社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加味して最終評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】

「気づき」ではなく「気づいたこと」と表記してほしい。

【Outline (in English)】

Course outline; review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

Learning objectives; understanding of french texts

Learning activity outside of classroom; homework(1hour)

Grading Criteria; 2 minitests (25/150x2), finaltest(100/150)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明など
第2回	第1課 vousにする？ tuにする？	vousとtuの使い分けについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第3回	第1課 文法の復習	所有形容詞や疑問形の復習と、練習問題
第4回	第2課 biseは何回？	フランス人の挨拶について書かれたフランス語の文章を訳読する
第5回	第2課 文法の復習	非人称構文などの復習と、練習問題
第6回	第3課 迷信を信じますか	迷信について書かれたフランス語の文章を訳読する
第7回	第3課 文法の復習	半過去などの復習と、練習問題
第8回	第4課 不人気なのに止められないサマータイム	サマータイムについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第9回	第4課 文法の復習	複合過去などの復習と、練習問題
第10回	第5課 エイプリルフールは背中に注意	エイプリルフールについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第11回	第5課 文法の復習	代名動詞などの復習と、練習問題
第12回	第6課 動物から学ぼう	動物について書かれたフランス語の文章を訳読する。
第13回	第6課 文法の復習	単純未来などの復習と、練習問題
第14回	全体の復習	最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

きちんと予習をして、授業に臨む。予習復習時間は各2時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900円

【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業での発表など）を50%、学期末テストの点数を50%とし、それぞれの点数を合算して60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline (in English)】

Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points.

In total, 60 points or more will pass.

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 3Ⅱ

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第7課 ロボットはどこまで進化するか	ロボットについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第2回	第7課 文法の復習	前未来などの復習と、練習問題
第3回	第8課 君もフランコフォニーの一員	フランコフォニーについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第4回	第8課 文法の復習	受動態などの復習と、練習問題
第5回	第9課 左利きにも優しい社会	左利きについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第6回	第9課 文法の復習	条件法現在などの復習と、練習問題
第7回	第10課 食品ロスを解決するには	食品ロスについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第8回	第10課 文法の復習	疑問形容詞などの復習と、練習問題
第9回	第11課 簿記を学んだフランス王	フランス王について書かれたフランス語の文章を訳読する
第10回	第11課 文法の復習	大過去などの復習と、練習問題
第11回	第12課 熊は友達	熊について書かれたフランス語の文章を訳読する
第12回	第12課 文法の復習	強調構文などの復習と、練習問題
第13回	第13課 漫画が市民権を得るまで	漫画について書かれたフランス語の文章を訳読する

第14回 全体の復習

最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

きちんと予習をして授業に臨む。予習復習時間は各2時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900円

【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業での発表など）を50%、学期末テストの点数を50%とし、それぞれの点数を合算して60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline (in English)】

Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points.

In total, 60 points or more will pass.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。しかしその前に、基本文法の未習箇所を勉強しましょう。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検3級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の授業はそれぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。講読では指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション。	授業の進め方。文法の復習／補文法（1）。
第2回	文法（2）。	語人称代名詞。
第3回	文法（3）。	文法の復習／関係代名詞。
第4回	文法（4）。	文法の復習／単純未来、中性代名詞。
第5回	文法（5）。	文法の復習／複合過去と半過去、両者の違い。
第6回	文法（6）。	受動態、現在分詞とジェロン
第7回	文法（7）。	ディフ。
第8回	講読・第1課。	条件法現在。
第9回	第1課。第2課。	接続法現在。
第10回	第2課。	「モン・サン・ミッシェル」
第11回	第3課／文法。第4課。	「モン・サン・ミッシェル」、
第12回	第4課。	「チュニジア」
第13回	第5課。	「チュニジア」
第14回	期末試験。	大過去（本文は読みません）。
		「サロン・ド・ショコラ」
		「サロン・ド・ショコラ」
		「エッフェル塔」
		試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読の授業ではあらかじめ発表者を指名しますので、指名された学生は必ず準備した上で出席してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「マ・グラメール」、白水社。

「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

出席と発表の回数／内容50%、期末試験50%で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEICのスコアも975点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50 %

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検3級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テキストを読み進めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第5課。第6課。	「エッフェル塔」「ワーテルローの戦い」
第2回	第6課。	「ワーテルローの戦い」
第3回	第7課。	「カレーのジャングル」
第4回	第7課。第8課。	「カレーのジャングル」「ラグビーと国籍」
第5回	第8課。	「ラグビーと国籍」
第6回	第9課。	「逸脱した抗議行動」
第7回	第9課。第10課。	「逸脱した抗議行動」「ルーブル美術館」
第8回	第10課。	「ルーブル美術館」
第9回	第11課。	「観光の女王」
第10回	第11課。第12課。	「観光の女王」「ブレグジット」
第11回	第12課。	「ブレグジット」
第12回	第13課。	「ニースのテロ事件」
第13回	第13課。第14課。	「ニースのテロ事件」「カマンベール」
第14回	期末試験。	試験・まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

出席と発表の回数／内容50%、期末試験50%で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEICスコアも「975点」を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50 %

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木4/Thu.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年生時に引き続き、フランス語の四技能(読解・作文・会話・聞き取り)の基礎を確立することを目指す。

【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。

教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に学生が実力を把握できるように小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 一年生の復習	・ 授業方針の説明 ・ 基本的なフランス語の決まり事を確認 ・ フランス語での自己紹介
第2回	第1課	・ être 動詞
第3回	第2課	・ avoir 動詞 ・ 第一群規則動詞
第4回	第3課	・ 疑問文 (一年生の復習)
第5回	第3課続き	・ 疑問詞が付いた疑問文
第6回	第4課	・ 目的補語人称代名詞
第7回	第5課	・ 形容詞 ・ 形容詞の比較級と最上級
第8回	第5課続き	・ 形容詞 ・ 形容詞の比較級と最上級
第9回	中間テスト 第6課	・ 複合過去の復習
第10回	第6課続き	・ 代名動詞の復習 ・ 目的補語人称代名詞を作った複合過去の文
第11回	第7課	・ 半過去
第12回	第7課続き	・ 半過去
第13回	まとめと復習	・ 重要事項の確認と復習
第14回	試験	・ まとめの試験とその解説を行う。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CDも聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

田辺保子・西部由里子『Encore Salut 2』駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典を持っていることが望ましい。

【成績評価の方法と基準】

中間テストと平常点で50%、学期末テスト50%。

中間テストに加えて、適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。小テストは追試はしません。授業には必ず出席するようにしてください。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川(junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp)までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%、Examinations in class : 30%、in class contribution in class: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期と同様に、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

- 1.日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
- 2.簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
- 3.簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進めます。必要に応じてプリントを配布します。中間テストを行い、期間内に受講者が理解度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第8課	・受動態
第2回	第9課	・直接法単純未来
第3回	第9課続き	・目的補語人称代名詞の復習 ・中性代名詞
第4回	第9課続き	・練習問題の答え合わせ
第5回	第10課	・条件法現在
第6回	第10課続き	・条件法過去
第7回	中間テスト	・中間テスト
	第11課	・関係代名詞
第8回	第11課続き	・直接複合過去と受動態の復習 ・過去分詞の一致
第9回	第12課	・関係代名詞 <i>qui, que</i> の復習 ・関係代名詞 <i>dont, où</i>
第10回	第13課	・現在分詞 ・ジェロンディフ
第11回	第14課	・フランス語の語法について ・直接法と条件法の復習
第12回	第14課続き	・接続法現在
第13回	復習	・ここまで学習した中で特に重要な項目を復習する。
第14回	試験	試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも24時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

田辺保子・西部由里子『Encore Salut 2』駿河台出版社。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50%）、中間テストと平常点（50%）
平常点には、授業時に適宜行われる小テストの点数も含まれます。

【学生の意見等からの気づき】

学生の弱点を補えるよう、理解が徹底していない箇所を繰り返して学習するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン等の電子機器を用意していることが望ましい。

【その他の重要事項】

質問等があれば、西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までメールをください。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%, Examinations in class: 30%, in-class contribution: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生時に引き続き、フランス語の四技能（読解・作文・会話・聞き取り）の基礎を確立することを目指す。

【到達目標】

- 1.日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
- 2.簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
- 3.簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。

教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に学生が実力を把握できるように小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 一年生の復習	・授業方針の説明 ・基本的なフランス語の決まり事を確認
第2回	第1課	・フランス語での自己紹介
第3回	第1課続き	・動詞の現在形と複合過去の復習
第4回	第2課	・動詞の現在形と複合過去の復習
第5回	第2課続き	・人称代名詞
第6回	第3課	・人称代名詞
第7回	第3課続き	・代名動詞
第8回	復習	・代名動詞 ・第1課から第3課までの総復習を行う。
第9回	中間テスト 第4課	・中間テスト ・補語人称代名詞の復習
第10回	第4課続き	・中性代名詞
第11回	第5課	・直接法単純未来
第12回	第5課続き	・直接法前未来
第13回	第6課	・テキスト読解
第14回	試験	・まとめの試験とその解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CDも聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

松村博史・パンドロム・エディ『Croissant 2』朝日出版社。

【参考書】

仏和辞典を持っていることが望ましい。

【成績評価の方法と基準】

中間テストと平常点で50%、学期末テスト50%。

中間テストに加えて、毎回、単語テストか動詞活用テストを行います。小テストは追試はしません。授業には必ず出席するようにしてください。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期と同様に、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

- 1.日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
- 2.簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
- 3.簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進めます。必要に応じてプリントを配布します。中間テストを行い、期間内に受講者が理解度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期の復習	第1課から第6課の復習
第2回	文法補足 1	・現在分詞とジェロンディフ
第3回	第7課	・複合過去の復習 ・半過去
第4回	第7課続き	・大過去 ・問題演習
第5回	第8課	・時・理由・条件を表す接続詞
第6回	第8課続き	・問題演習
第7回	中間テスト	・中間テスト
	第9課	・条件法現在
第8回	第9課続き	・条件法過去
第9回	第10課	・関係代名詞
第10回	第10課続き	・強調構文
第11回	第11課	・接続法現在
第12回	第11課続き	・接続法過去
第13回	第12課	・テキスト読解
第14回	試験	試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも24時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

田辺保子・西部由里子『Croissant 2』朝日出版社。

【参考書】

仏和辞典を持っていることが望ましい。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50%）、中間テストと平常点（50%）

平常点には、毎回行う単語や動詞活用に関する小テストの点数も含まれます。

授業には毎回出席すること。

【学生の意見等からの気づき】

学生の弱点を補えるよう、理解が徹底していない箇所を繰り返して学習するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン等の電子機器を用意していることが望ましい。

【その他の重要事項】

質問等があれば、西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までメールをください。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%、Examinations in class: 30%、in-class contribution: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語2に引き続き、自分の生活について話せることを目指しています。日常会話でよく使う題材を中心に学習を進めていきます。聞く・話す・書く・読むを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。また、フランス文化なども紹介し、その知識を養うことも目指します。

資格は筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELF* A1レベル）に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習
フランスの文化の紹介の練習は1.ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。
基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Leçon 1 Éléments de base フランス語の基礎	授業の紹介 フランス語の発音、数字など
2	Leçon 2 Premières présentations	自己紹介 s'appeler動詞、国籍、学年
3	Leçon 3 Dire Où on habite 今住んでいるところについて話す	habiter 動詞、être de+出身地
4	Leçon 4. Parler des transports 交通手段について話す	venir 動詞、疑問詞 (comment, où...)
5	Leçon 5 Parler des petits boulots バイトについて話す	travailler 動詞、"J'aimerais+不定詞"
6	Leçon 6 Panorama 1 総復習 1	名前、国籍、学部、学年、出身地、住んでいるところ、交通手段、アルバイト
7	Leçon 7 Parler de ses animaux ペットについて話す	avoir 動詞、不定冠詞、 「Qu'est-ce que」疑問詞

8	Leçon 8 Parler de sa famille 家族について話す	所有形容詞、数字60まで、性格を表す形容詞
9	Leçon 9 Parler des tâches ménagères 家事について話す	faire 動詞、aimer beaucoupなど「好き」好きの程度を言う
10	Leçon 10 Parler de ce qu'on mange 食べ物について話す	不定冠詞／部分冠詞、manger 動詞
11	Leçon 11 Sortir à Paris パリで遊ぶ	時間を表す単語、「deから...àまで...」の表現、Tu aimerais...誘う表現
12	Leçon 12 Panorama 2 総復習 2 (1)	avoir, faire, aimer, manger 動詞
13	Leçon 12 Panorama 2 総復習 2 (2)	文法の復習、リスニングなど
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題（復習のために家でリスニングと書く練習する）本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

題名 Moi, je ... コミュニケーション A1
筆者 Bruno Vannieuwenhyuse 他
出版社 Alma Publishing/アルマ出版
ISBN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

小テスト50%平常点（授業中の発言、学習態度等）50%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン・スマートフォンで音声ダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to the conversation part of DELF A1. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 33%, mid-Term examination: 34%, in-class contribution: 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語2に引き続き、自分の生活について話せることを目指しています。日常会話でよく使う題材を中心に学習を進めていきます。聞く・話す・書く・読むを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。また、フランス文化なども紹介し、その知識を養うことも目指します。

資格は筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELF* A1レベル）に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習
フランスの文化の紹介の練習は 1. ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。
基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 13 Parler des matières et des profs	aimer, préférer, trouver 動詞、定冠詞 科目・先生について話す
2	Leçon 14 Parler des loisirs	faire+部分冠詞、"être membre du club de"の表現 クラブ活動について話す
3	Leçon 15 Parler du quotidien	時間を言う、代名動詞
4	Leçon 16 Parler du week-end	aller 動詞、近接未来 週末の過ごし方について話す
5	Leçon 17 Parler de ses goûts	頻度に関する質問と答え、代名詞 y と en の使い方 好みについて話す
6	Leçon 18 Panorama 3	13～17課までの文法の復習 総復習3
7	Leçon 19 Parler des vacances	複合過去、半過去 休暇中の活動について話す
8	Leçon 20 Parler de ses expériences	複合過去+déjà/jamais quand+複合過去形/半過去形 経験について話す

9	Leçon 21 Parler de la géographie et de la gastronomie	都市の位置を説明する、地方の名物 地理と食文化について話す
10	Leçon 22 Parler du temps	天気を表す語彙、疑問形容詞 quel, quelle 天気について話す
11	Leçon 23 Planifier un voyage en France	il y a, 形容詞前置修飾、形容詞後置修飾 フランスへの旅を計画する
12	Leçon 24 Panorama 4 総復習 4 (1)	19-23 課までの文法の復習
13	Leçon 24 Panorama 4 総復習 4 (2)	既習事項を使った対話文
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

題名 Moi, je... コミュニケーション A1

筆者 Bruno Vannieuwenhuyse 他

出版社 Alma Publishing/アルマ出版

ISDN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

小テスト50%期末試験34%、平常点（授業中の発言など）50%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンで音声ダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to DELF A1 or Futsuken level 5 or 4. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 33%, mid-term examination: 34%, in-class contribution: 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELTA A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 ―初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年（1900円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文化を紹介する時間がもう少し取れるよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『ブチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級～準2級レベル、DELFA2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞＋関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroït	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroït	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculeur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculeur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロンディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 ―初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年（1900円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文化を紹介する時間がもう少し取れるよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 I

2017年度以降入学者

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「フランス語圏（フランコフォニー）」をテーマにしたテキストを用いて、中級に向けたフランス語文法を学びつつ、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。また、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検4級～3級レベルの文法事項の習得を目指します。

世界のフランス語圏（フランコフォニー）に関する基礎的な知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書『フランコフォニーへの旅（改訂版）』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようにします。

2回の授業で1つの課を終えることを目標とします（10課＋α）。授業中に触れられなかった練習問題などは「ミニ課題」として提出してもらいます。フィードバックとして、次の授業までに添削した上で返却し、必要な箇所については授業内でも振り返りの解説をします。

最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	・既習事項の確認 ・綴りと発音の関係、リズムとイントネーションの確認 ・フランス語圏（フランコフォニー）の概説
2	Leçon 1 Des villes francophones	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (名詞の性数、冠詞、提示の表現など)
3	Leçon 1 Les francophones dans le monde	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (よく使う疑問詞と前置詞など)
4	Leçon 2 Nous sommes étudiants	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (主語人称代名詞、être／avoirなど)
5	Leçon 2 Les langues de France	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (形容詞、強勢形など)
6	Leçon 3 Elles travaillent beaucoup!	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (ER動詞、命令法など)

7	Leçon 3 Le français en Europe	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (疑問文・否定文、所有形容詞など)
8	Leçon 4 Qu'est-ce qu'on fait ce week-end ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (IR動詞、不規則動詞、部分冠詞、縮約など)
9	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (指示形容詞、近接未来・過去など)
10	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (既習の時制の確認、今後の時制との関係など)
11	Leçon 5 Quel pays francophone visiter ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (不規則動詞、助動詞の疑問文・否定形など)
12	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (比較級と最上級など)
13	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (特殊な比較級と最上級など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

- ・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。
- ・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。
- ・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

- ・小松祐子、ジル・デルメール著、『フランコフォニーへの旅（改訂版）』、駿河台出版社、2019年。
- ・以下の出版社サイトを介して、音声を聞くこともできる。
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

- ・これまでに用いた教科書
- ・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000年。
- ・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013年。
- ・曾我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995年。
- ・久保田剛史著、『フランス語動詞60』、朝日出版社、2015年。
- ・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。

①平常点（ミニ課題など）：30%

②期末テスト：70%

【学生の意見等からの気づき】

- ・フランス語の発音についても、しっかりと確認できるように、発話してもらう時間を増やしたい。
- ・動詞の活用については、教科書の順序ではなく少し早めに取り上げ始めることで、復習の時間を多くとってもらえるようにしたい。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (mini-exercise, etc.): 30%, term-end test: 70%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

廣松 勲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「フランス語4 I」に引き続き、「フランス語圏（フランコフォニー）」をテーマにしたテキストを用いて、中級に向けたフランス語文法を学びつつ、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。また、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検4級～3級レベルの文法事項の習得を目指します。

世界のフランス語圏（フランコフォニー）に関する基礎知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「フランス語4 I」に引き続き、教科書『フランコフォニーへの旅（改訂版）』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようにします。

2回の授業で1つの課を終えることを目標とします（10課＋α）。授業中に触れられなかった練習問題などは「ミニ課題」として提出してもらいます。フィードバックとして、次の授業までに添削した上で返却し、必要な箇所については授業内でも振り返りの解説をします。

最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1-5の総括	・春学期の学習事項の復習 ・秋学期の学習事項の紹介
2	Leçon 6 Un week-end à Bruxelles	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (代名動詞、不規則動詞など)
3	Leçon 6 Le français au Maghreb	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (Il faut、2つの人称代名詞など)
4	Leçon 7 Les grandes vacances	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (複合過去、過去分詞形など)
5	Leçon 7 Le français en Afrique noire	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (受動態、否定の多様性など)
6	Leçon 8 Je n'habite pas en France	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (半過去、使役・放任動詞など)
7	Leçon 8 Le français en Asie du Sud-Est	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (関係代名詞など)

8	Leçon 9 J'irai dans un pays africain	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (単純未来、前未来など)
9	Leçon 9 Le français dans le Pacifique①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (ジェロンディフ、現在分詞など)
10	Leçon 9 Le français dans le Pacifique②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (中生代名詞など)
11	Leçon 10 Les voyages forment la jeunesse	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (条件法現在と過去など)
12	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (接続法現在と過去など)
13	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (感嘆文など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

- ・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。
- ・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。
- ・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

- ・小松祐子、ジル・デルメール著、『フランコフォニーへの旅（改訂版）』、駿河台出版社、2019年。
- ・以下の出版社サイトを介して、音声聞くこともできる。
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

- ・これまでに用いた教科書
- ・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000年。
- ・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013年。
- ・曾我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995年。
- ・久保田剛史著、『フランス語動詞60』、朝日出版社、2015年。
- ・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。

- ①平常点（ミニ課題など）：30%
- ②期末テスト：70%

【学生の意見等からの気づき】

- ・フランス語の発音についても、しっかりと確認できるように、発話してもらう時間を増やしたい。
- ・動詞の活用については、教科書の順序ではなく少し早めに取り上げ始めることで、復習の時間を多くとってもらえるようにしたい。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (mini-exercise, etc.): 30%, term-end test: 70%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 I

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う授業です。本文に含まれている文法事項を復習し、フランス語の文章をニュアンスを把握して正確に日本語に訳します。そのあと、本文の内容についてクラスで話し合い発表します。

【到達目標】

1年間でフランス語検定4級レベルの文法を復習することができず。単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な文章を自力で読み解き、意見をまとめることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回の授業で、1レッスンを終える速度で進みます。授業1回目は、音読練習、文法事項説明と配布する確認プリントを解きながらの定着を行います。授業2回目は、1回目で学習した文法が所を確認、音読と文法知識を生かした日本語訳を行います。そのあと、内容についてグループで話し合いその結果を発表します。みんなで協力して作成した日本語訳はクラスウェブで確認できます。文法問題は授業時に答え合わせをします。グループで話し合った内容はリアクションペーパーにまとめ、授業内に口答で発表したあと提出します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 0「授業の進め方」	グループ分け、音読練習、ディスカッション練習
2回目	Leçon 1「制服への帰」	音読練習、自動詞・他動詞、命令形、疑問文
3回目	Leçon 1「制服への帰」	音読と和訳、ディスカッション
4回目	Leçon 2「バカロレア改革と大学入試改革」	音読練習、複合過去、過去分詞、半過去
5回目	Leçon 2「バカロレア改革と大学入試改革」	音読と和訳、ディスカッション
6回目	Leçon 3「仕事と情熱：城の修復」	音読練習、単純未来、前未来、受動態
7回目	Leçon 3「仕事と情熱：城の修復」	音読と和訳、ディスカッション
8回目	Leçon 4「フランスはスタートアップの国？」	音読練習、関係代名詞、指示代名詞
9回目	Leçon 4「フランスはスタートアップの国？」	音読と和訳、ディスカッション
10回目	Leçon 5「移民とフランスの文化」	音読練習、直接目的補語、間接目的補語
11回目	Leçon 5「移民とフランスの文化」	音読と和訳、ディスカッション
12回目	Leçon 6「フランスのMangaブーム」	音読練習、代名動詞、前置詞つき関係代名詞
13回目	Leçon 6「フランスのMangaブーム」	音読と和訳、ディスカッション

14回目 試験とまとめ

文法・和訳の試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べておく。(約30分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認して、適切な日本語に訳しておく。(約30分)

【テキスト（教科書）】

『12テーマでわかるフランス事情』岡見さえ、ミカエル・デブレ著（白水社）

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価：

平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%

学期末テスト（授業最終日に実施される筆記試験）50%

試験方法：

学期末試験は「試験期間中」ではなく通常授業の最終日の授業時間内に実施します。教室にて文法問題と仏和和訳の試験を行います。

【学生の意見等からの気づき】

グループで検索したり話し合った内容は授業時間中に発表してもらいます。みんなの協力で出来上がった日本語訳は資料としてウェブに残します。

【学生が準備すべき機器他】

グループ発表をする際には、Zoom上のチャットに書き込みができるPC等が必要です。(スマートフォンも可)

【Outline (in English)】

This is a class to accurately understand texts written in French and to consider their contents. Students will review the grammar points contained in the text, grasp the nuances of the French text, and translate it accurately into Japanese. After that, they will discuss and present the contents of the text in class. You can review grammar at the level of the French Language Proficiency Test Level 4 in one year. By looking up the meaning of words, you will be able to read and understand simple sentences written in French on your own and form your opinion.

The course will progress at a pace that allows one lesson to be completed in two classes. In the first class, students will practice reading aloud, receive an explanation of grammar points, and review the material by answering the handouts that will be distributed. In the second class, students will review the grammar points learned in the first class and translate them into Japanese using their reading aloud and grammar knowledge. Students will then discuss the content in groups and present the results. The Japanese translations that students have worked together to create can be viewed on the class web. Students will check their answers to the grammar questions during class. Group discussions will be compiled into reaction papers, which will be presented orally in class and then submitted. Grading: Regular points (participation in class, discussions and presentations) 50%, Final exam (written exam on the last day of class) 50%/Exam method: Final exams will be held during regular class time on the last day of classes, not during the "exam period". Grammar questions and French-Japanese translation exams will be held in the classroom.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う授業です。本文に含まれている文法事項を復習し、フランス語の文章をニュアンスを把握して正確に日本語に訳します。そのあと、本文の内容についてクラスで話し合い発表します。

【到達目標】

1年間でフランス語検定4級レベルの文法を復習することができます。単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な文章を自力で読み解き、意見をまとめることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回の授業で、1レッスンを終える速度で進みます。授業1回目は、音読練習、文法事項説明と配布する確認プリントを解きながらの定着を行います。授業2回目は、1回目で学習した文法が所を確認、音読と文法知識を生かした日本語訳を行います。そのあと、内容についてグループで話し合いその結果を発表します。みんなで協力して作成した日本語訳はクラスウェブで確認できます。文法問題は授業時に答え合わせをします。グループで話し合った内容はリアクションペーパーにまとめ、授業内に口答で発表したあと提出します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 7「国立パリ・オペラ座バレエ団」	音読練習、比較級・最上級
2回目	Leçon 7「国立パリ・オペラ座バレエ団」	音読と和訳、ディスカッション
3回目	Leçon 8「ファッションとメセナの伝統」	音読練習、現在分詞・ジェロンディフ
4回目	Leçon 8「ファッションとメセナの伝統」	音読と和訳、ディスカッション
5回目	Leçon 9「2050年、フランス語の話者7億人!？」	音読練習、中性代名詞
6回目	Leçon 9「2050年、フランス語の話者7億人!？」	音読と和訳、ディスカッション
7回目	Leçon 10「テレワーク、理想の働き方？」	音読練習、条件法現在・過去
8回目	Leçon 10「テレワーク、理想の働き方？」	音読と和訳、ディスカッション
9回目	Leçon 11「文学大国・フランス」	音読練習、接続法現在・過去
10回目	Leçon 11「文学大国・フランス」	音読と和訳、ディスカッション
11回目	Leçon 12「“パリテ”の現状と課題」	音読練習、動詞の時制、直説法現在のニュアンス
12回目	Leçon 12「“パリテ”の現状と課題」	音読と和訳、ディスカッション
13回目	オリジナルテキスト	文法のまとめ、和訳練習
14回目	試験とまとめ	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べておく。(約30分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認して、適切な日本語に訳しておく。(約30分)

【テキスト（教科書）】

『12テーマでわかるフランス事情』岡見さえ、ミカエル・デブレ著（白水社）

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価：

平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%

学期末テスト（授業最終日に実施される筆記試験）50%

試験方法：

学期末試験は「試験期間中」ではなく通常授業の最終日の授業時間内に実施します。教室にて文法問題と仏文和訳の試験を行います。

【学生の意見等からの気づき】

グループで検索したり話し合った内容は授業時間中に発表してもらいます。みんなの協力で出来上がった日本語訳は資料としてウェブに残します。

【学生が準備すべき機器他】

グループ発表をする際には、Zoom上のチャットに書き込みができるPC等が必要です。(スマートフォンも可)

【Outline (in English)】

This is a class to accurately understand texts written in French and to consider their contents. Students will review the grammar points contained in the text, grasp the nuances of the French text, and translate it accurately into Japanese. After that, they will discuss and present the contents of the text in class. You can review grammar at the level of the French Language Proficiency Test Level 4 in one year. By looking up the meaning of words, you will be able to read and understand simple sentences written in French on your own and form your opinion.

The course will progress at a pace that allows one lesson to be completed in two classes. In the first class, students will practice reading aloud, receive an explanation of grammar points, and review the material by answering the handouts that will be distributed. In the second class, students will review the grammar points learned in the first class and translate them into Japanese using their reading aloud and grammar knowledge. Students will then discuss the content in groups and present the results. The Japanese translations that students have worked together to create can be viewed on the class web. Students will check their answers to the grammar questions during class. Group discussions will be compiled into reaction papers, which will be presented orally in class and then submitted. Grading: Regular points (participation in class, discussions and presentations) 50%, Final exam (written exam on the last day of class) 50%/Exam method: Final exams will be held during regular class time on the last day of classes, not during the "exam period". Grammar questions and French-Japanese translation exams will be held in the classroom.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 I

2017年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、2年生以上の学生を対象とします。1年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（単純未来など）を学び、4技能を身に付けることを目指します。

【到達目標】

1年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。フランス語の検定試験4級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）でA1以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書は『クロワッサン2(改訂版)』とあるように、『クロワッサン1』という教科書の続編となっていて、2年生から始めるのに都合よくできています。新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。

皆さんは学期中に数回学習支援システムを通して課題を出すことになります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。

学期末には試験を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第1課その1 「君の名は？」	動詞の現在形と複合過去の復習 ：対話と文法
2	第1課その2 主語の書き換えと作文	動詞の現在形と複合過去の復習 ：練習問題
3	第2課その1 「彼女をあなたに紹介してあげましょう」	直接目的語と間接目的語、強勢 形：対話と文法
4	第2課その2 代名詞への書き換えと作文	直接目的語と間接目的語、強勢 形：練習問題
5	第3課その1 「私は6時半に起きます」	代名動詞の現在形と複合過去形 ：対話と文法
6	第3課その2 主語の書き換えと作文	代名動詞の現在形と複合過去形 ：練習問題
7	第4課その1 「1台貸してあげるよ」	中性代名詞と指示代名詞： 対話と文法
8	第4課その2 受け答えと指示代名詞	中性代名詞と指示代名詞：練習 問題
9	第5課その1 「休み中何するの？」	単純未来と前未来（未来完了） ：対話と文法

10	第5課その2 主語の書き換えと作文	単純未来と前未来：練習問題
11	第6課 「日本マニアのフランス人」	読む練習1
12	文法補足1-1	現在分詞と gérondif
13	授業内試験 文法補足1-2	授業内試験 過去分詞と受動態
14	試験の復習 文法補足1-3	試験の復習 所有代名詞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

出版社のHPより音声ダウンロードして対話文や例文を聞いてください。

<https://text.asahipress.com/free/french/croissant2/>

教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1-2：1課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて複合過去の文を作る。複合過去の練習問題をやる。

3-4：2課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて人称代名詞を使った文を作る。人称代名詞の練習問題をやる。

5-6：3課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて代名動詞を使った文を作る。代名動詞の練習問題をやる。

7-8：4課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて中性代名詞や指示代名詞を使った文を作る。中性代名詞や指示代名詞の練習問題をやる。

9-10：5課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて単純未来や前未来の文を作る。単純未来や前未来の練習問題をやる。

11：6課の文章を読み、練習問題をやる。

12：現在分詞を学ぶ。期末試験のための復習をする。

13：過去分詞と受動態を学ぶ。

14：試験の復習をする。所有代名詞を学ぶ。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題があるときは30分ほど上乗せになります。

【テキスト（教科書）】

『クロワッサン2—もっと知りたいフランス語 改訂版>』（『クロワッサン1』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ 著、朝日出版社

【参考書】

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問）が平常点になります。（50%）

また期末試験を行います（50%）

【学生の意見等からの気づき】

口頭練習がもっとスムーズに進む手立てを考えます。

【学生が準備すべき機器他】

1年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have studied French for at least one year. Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (among others future tense,) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

At the end of this course, the students are expected to reach at least the fourth-grade level of the APEF or A1 level of CEFR.

The students must prepare the classes, and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (50%) and terminal examination (50%).

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、2年生以上の学生を対象とします。春学期のフランス語4 Iを引き継いで1年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びできなかった重要項目（半過去、条件法、接続法など）を学びつつ、4技能を身に付けることを目指します。

【到達目標】

1年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。フランス語の検定試験3級程度、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）でA2程度の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期に続いて、新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。

また学習支援システムを通して課題を時折出すことになります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。学期末には試験を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第7課その1 「祖父母のところへ行ったものでした」	複合過去と半過去、大過去：対話と文法
2	第7課その2 主語の書き換えと作文	複合過去と半過去、大過去：練習問題
3	第8課その1 「合格しなかったら、真剣に勉強しなくてはだめだよ」	時、理由、条件を表す接続詞：対話と文法
4	第8課その2 接続詞を使った練習	時、理由、条件を表す接続詞：練習問題
5	第9課その1 「私があなただったらティラミスを食べてみるわよ」	条件法現在、条件法過去：対話と文法
6	第9課その2 条件法を使った練習	条件法現在、条件法過去：練習問題
7	第10課その1 「パリが一望できる場所よ」	関係代名詞、強調構文：対話と文法
8	第10課その2 関係代名詞を使った練習 強調構文への書き換え	関係代名詞、強調構文：練習問題

9	第11課その1 「僕になにをしてほしいんだい？」	接続法現在、接続法過去：対話と文法
10	第11課その2 主語の書き換えと作文	接続法現在、接続法過去：練習問題
11	第12課 『ワッフルとムール貝ポテトの国へ』	読む練習2：動詞や関係詞の練習
12	文法補足2-1	話法と時制の一致
13	授業内試験 分法補足2-2	授業内試験 疑問文や命令文の間接話法
14	試験の復習 分法補足2-3	試験の復習 単純過去

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

出版社のHPより音声ダウンロードして対話文や例文を聞いてください。

<https://text.asahipress.com/free/french/croissant2/>

教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1-2：7課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて半過去の文を作る。半過去の練習問題をする。

3-4：8課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて時、理由、条件を表す従属節を伴った文を作る。練習問題をする。

5-6：9課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて条件法の文を作る。条件法の練習問題をする。

7-8：10課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて関係代名詞を使った文や強調構文を作る。練習問題をする。

9-10：11課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて接続法の文を作る。接続法の練習問題をする。

11：読み物を読む。

12：話法と時制の一致を学ぶ。期末試験のための復習をする。

13：疑問文や命令文の間接話法を学ぶ。

14：単純過去を学ぶ。試験の復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題があるときは、30分ほど上乗せになります。

【テキスト（教科書）】

春学期で用いた教科書を引き続き使います：

『クロワッサン2—もっと知りたいフランス語 改訂版』（『クロワッサン1』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ 著、朝日出版社

【参考書】

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問など）が平常点になります。（50％）

また期末試験を行います（50％）

【学生の意見等からの気づき】

口頭練習がもっとスムーズに進む手立てを考えます。

【学生が準備すべき機器他】

1年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have studied French for at least one year. It is the continuation of the French 4 I (spring semester). Reviewing what they have already learned, the students will get new knowledge (imperfect past, conditional, subjunctive etc.) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

During this course, the students are expected to try to reach the third-grade level of the APEF or A2 level of CEFR.

The students must prepare the classes, and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (50%) and terminal examination (50%).

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語(3) I 2017年度以降入学者**コリンヌ ヴァリエヌ**

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合うことができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiなどを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	LEÇONS 1	(教科書の演習問題) Se présenter
第2回	LEÇONS 2	(教科書の演習問題) Les pronoms personnels
第3回	LEÇONS 3	(教科書の演習問題 - 会話) Présent de l'indicatif 1
第4回	LEÇONS 4	(教科書の演習問題) Présent de l'indicatif 2
第5回	LEÇONS 5	(教科書の演習問題) Les pronoms définis/indéfinis
第6回	LEÇONS 6	(教科書の演習問題 - 会話) Pronoms possessifs
第7回	LEÇONS 7	(教科書の演習問題) Les pronoms interrogatifs
第8回	LEÇONS 8	(教科書の演習問題 - 会話) Localisation 1
第9回	LEÇONS 9	(教科書の演習問題) Localisation 2
第10回	LEÇONS 10	(教科書の演習問題 - 会話) Prépositions devant les noms de pays 1
第11回	LEÇONS 11	(教科書の演習問題) Prépositions devant les noms de pays
第12回	LEÇONS 12	(教科書の演習問題 - 会話) Les verbes être, avoir et faire
第13回	レッスン1～12の復習	レッスン1～12の復習 Révisions
第14回	まとめ/試験 その他：課題/補講	まとめ/試験 その他：課題/補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

アンケートで得た生徒の意見や要望、指導の実態を踏まえて改善している。

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppii」での質問も可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon 13	(教科書の演習問題) La spatialisation
第2回	Leçon 14	(教科書の演習問題) Les différentes interrogations
第3回	Leçon 15	(教科書の演習問題 - 会話) Les heures
第4回	Leçon 16	(教科書の演習問題) Les verbes pronominaux 1
第5回	Leçon 17	(教科書の演習問題) Les verbes pronominaux «
第6回	Leçon 18	(教科書の演習問題 - 会話) Le passé composé avec “avoir“
第7回	Leçon 19	(教科書の演習問題) Le passé composé avec «
第8回	Leçon 20	(教科書の演習問題) être » Les verbes pronominaux au
第9回	Leçon 21	passé composé (教科書の演習問題 - 会話)
第10回	Leçon 22	La comparaison 1 (教科書の演習問題)
第11回	Leçon 23	La comparaison 2 (教科書の演習問題)
第12回	Leçon 24	L'imparfait 1 (教科書の演習問題 - 会話)
第13回	レッスン13～24の復習	L'imparfait 2 レッスン13～24の復習

第14回 まとめ/試験 その他 まとめ/試験 その他：課題/補講
：課題/補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

アンケートで得た生徒の意見や要望、指導の実態を踏まえて改善している。

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. In this class, you will learn mainly simple conversation. GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語Ⅶ 2017年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業の目的は、フランス語圏の時事についての簡単な文章を朗読・翻訳することと、練習問題を解くことにより、社会・文化・歴史の教養を身につけながら、中級文法や語彙の学習をおこなうことです。フランス語8 SA、フランス語コミュニケーションII,IIIと連携しながら実践的なフランス語習得を目指します。

【到達目標】

フランス語の論理的で簡単な文章が理解できるようになります。確かな文法力（特に動詞の諸活用）が身につきます。フランス語検定3級レベル程度に達成することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を担当者が朗読・翻訳します。関連して練習問題を通し、文法の知識を補います。適宜、小テストを実施し、講義内でフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	1 ボルドーのカヌー①	人称代名詞
第2回	2 ボルドーのカヌー②	複合過去
第3回	2 セーヌ河岸のブキニスト①	指示代名詞 半過去
第4回	2 セーヌ河岸のブキニスト②	時代に関する諸表現
第5回	3 ジュスティエヌ・トリエ監督『落下の解剖学』①	現在分詞とジェロンディフ
第6回	3 ジュスティエヌ・トリエ監督『落下の解剖学』②	映画に関する語彙 単純未来
第7回	5 ミラン・クンデラ⑦	大過去 前未来
第8回	5 ミラン・クンデラ②	文学に関する語彙
第9回	6 フランスの夜行列車の復活	比較級 条件法
第10回	6 フランスの夜行列車の復活	交通に関する語彙 時制の一致
第11回	12 アングレーム国際漫画祭①	接続法
第12回	13 アングレーム国際漫画祭②	単純過去
第13回	補習『星の王子様』	単純過去
第14回	期末試験	-試験の実施と答えあわせ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に文章を読み、単語を辞書で調べる。CDを聴き、音読すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

石井洋二郎ほか『Hirondelle 2025（時事フランス語2025年度版）』（朝日出版社、定価2090円）
斎藤昌三『3段階チェック式フランス語トレーニング・コース』（白水社、定価2640円）

【参考書】

電子辞書

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や小テストも含む）50%＋期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppiiを通じて正答を示すようにします。

【Outline (in English)】

【Course outline】 The student will be asked to read and translate texts about French culture.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A. Reading abilities

-B. Increase of vocabulary

-C. Review of the elementary grammar

-D. Acquisition of the intermediate grammar

【Learning activities outside of classroom】 Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content

【Grading Criteria /Policy】 Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語8

2017年度以降入学者

ル ルー 清野 ブレンダン

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期からの留学を控えた学生を対象とするこの授業は「ヨーロッパ共通参照枠組み」に準拠したA2レベルの達成を目指すための総合的フランス語入門コースの続きです。「フランス語コミュニケーションⅢ」（フランス人教員）とセットの科目で、同じ教科書を使うことでフランス語の総合力を強化します。

特にフランス語を実践的に応用する、コミュニケーション重視の授業です。

【到達目標】

SAフランス（西部カトリック大学）に備え、自分自身の日常生活や身近なテーマについて、簡単なフランス語で、相互に働きかけ合うことを目標とします。4つの能力を総合的に練習し、「ヨーロッパ共通参照枠組み」で定められているA2レベルを目指します。つまり、最低限必要なことを行うための、よく使われる日常的表現やごく簡単な言い回しを理解し、用いることができるようになることを目指します。自分や他人を紹介することができ、個人的な事柄(住んでいる場所、知り合い、持ち物など)について質問をしたり、答えたりできるようになります。相手がゆっくり、はっきり話し、協力的であれば、簡単なやりとりができるようになります。

留学への出発までにはフランス語実用技能検定試験（仏検）3級、DELF A1合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語母語話者の教員や他の学生との対話等を通じて、フランス語を自発的かつ気軽に使えるように、ライティングを支柱とする授業です。特に、自分の言いたいことを簡略化すること、つまり情報に優先順位をつけて話を整理すること、あるいは自然な会話・作文に必要な表現を学習します。

言語というものは、他の科目と違い、教科書や他人のメモを見るだけで覚えられるものではなく、自分で聞いて理解し、自分で口・ペンにし、はじめて身に付くものなので、毎回授業に積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり、作文・会話を作ったりすることは最も重要なことで成功への鍵です。

この授業では、作文やリーディングマラソン（フランス語多読）のような課題も課せられますので、そのつもりでいて下さい。

宿題や小テストに関するフィードバックは基本的に授業時間内に行いますが、LMSを通じて行う場合も考えられます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業の紹介 学生による自己評価	TCF等
②	L1. Donne-moi tes coordonnées !	数えることができる 綴りが正しく書ける
③	DELF A1	Compréhension écrite Expression écrite
④	L3. Explique-moi ce mot !	知らない単語を説明できる
⑤	L5. Décris-moi le contenu de ton sac !	物をリストアップできる

⑥	L7. Décris-moi cette personne !	人の特徴を説明できる
⑦	L9. Fais-moi deviner cet objet !	物について手短かに説明できる
⑧	L11. Décris-moi ce tableau !	絵画の特徴を説明できる
⑨	L13. Parle-moi des fêtes de ton pays !	自分の国の祝祭について紹介することができる
⑩	L15. Raconte-moi un conte !	短い物語を書くことができる
⑪	L17. Invente une pub !	商品の広告文を書くことができる
⑫	L19. Tu as raison !	フランス語で意見を書ける
⑬	L21. Ouais !	くだけた調子で話すことができる
⑭	L23. Discutons ensemble !	自分の会話を面白くすることができる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

当然ながら、授業の内容を次の授業までに復習すること。復習・語彙・書き取り（Dictée）の小テストを頻繁に行います。本授業の準備・復習時間は、2時間を標準とします。「Furago, フランス語の練習帳」というサイトも利用しますので、定期的に目標を達成しないと成績が上がらない仕組みになります。

また、耳をできるだけ早くフランス語の音に慣れさせるために教科書についている音源等を各自聴くこと。音源をスマホなどに入れ、（長い）通学時間を賢く利用しましょう！

【テキスト（教科書）】

『Moi, je... コミュニケーションA2』, Simon Serverin, 他, アルマ出版

ISBN: 978-4-905343-44-8 (2025年)

【参考書】

留学の際、仏和辞典が必携のアイテムになりますので、できるだけ早く入手しましょう。紙のものでも、電子辞書でも、スマホのアプリでも大丈夫ですが、翻訳ソフト（Google translate 等）はNG：クラスではその使用を認めません。

【成績評価の方法と基準】

・書き取り(Dictée), 語彙テスト, その他の課題:約20 %
 ・「Furago, フランス語の練習帳」: 約20 %
 ・リーディングマラソン（フランス語多読）: 約20 %
 ・作文: 約20 %
 ・平常点(授業への参加状況): 約20%。尚、平常点に関しては減点方式をとり、4回目の欠席で不合格となります。10分以上の遅刻は2回で欠席扱いとなり、遅延証明は2回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

学生の意見等を読み、工夫する必要がある点は特に記載されていないように思いました。しかし改善は常に試みます！

【学生が準備すべき機器他】

※「Furago, フランス語の練習帳」というサイトへの登録が必須です。スマートフォン、タブレット、パソコンからアクセスできます。有料ですが、学生にとって異常な負担になる金額ではありませんし、定額制ですので、安心して利用できます。登録費が6ヶ月につき990円になります。

【Outline (in English)】

French for beginners (3rd semester). This course focuses on developing mainly basic oral (and written) communication skills in French. Its main target is students motivated/selected for the Study Abroad program in France. It also prepares to the A1 level of French proficiency tests.

Depending on the tasks, revision and/or homework will require from one to three hours.

The grading criteria are as follows:

Homework, short tests, etc.: 20 % / Furago (exercises on line):20%/Reading marathon (Extensive reading):20%/Short essays:20 % / Class participation:20%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 3 - I

2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語文法を1年間学習した学生が、文法の基礎を固め、フランス語の読解、音読、聴解の力を向上させる授業です。運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランス文化への理解を深めることを目指します。

【到達目標】

さまざまな時制を組み合わせて、フランス語で場面を描写できるようになる。

フランスの現代社会について、フランス語で読み、聞き、理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

春学期はまず、前年度使用した教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』および『マエストロ1』）を用いて、フランス語文法の解説と運用演習を引き続き行います。後半では、これまで学んだ文法事項を復習しながら、比較的まとまった量のフランス語を読み、理解する演習に取り組みます。

学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンスと1年次に学習したことの確認
2	文法（1）	代名動詞の現在形
3	文法（2）	代名動詞の複合過去形
4	表現	過去の行為や出来事を語る
5	文法（3）	半過去
6	中間試験	これまでの確認と演習問題
7	聴解と音読（1）	Les réseaux sociaux（ソーシャル・ネットワーク）
8	購読（1）	Les réseaux sociaux（ソーシャル・ネットワーク）
9	聴解と音読（2）	Le budget（お財布事情）
10	購読（2）	Le budget（お財布事情）
11	文法（4）	受動態
12	聴解と音読（3）	La discrimination（差別）
13	購読（3）	La discrimination（差別）
14	期末試験	これまでの確認と演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルを活用してください。

【テキスト（教科書）】

『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』近江屋志穂・竹本研史著、朝日出版社、2023年、2300円+税

『マエストロ1 実践フランス語 初級』北村亜矢子・Vincent Durrenberger 著、朝日出版社、2020年、2700円+税

『クワ・ドゥ・ヌフ？ Z世代のリアル・フランス』Léna Giunta・清岡智比古・Olivia Boissel 著、白水社、2023年、2000円+税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み25%、中間試験25%、期末試験50%で総合的に評価します。

4回以上の欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。

授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have already studied French for one year. Students will learn more advanced expressions and vocabulary, enabling them to speak, listen, and discuss French culture in French by the end of the course. After each class, students are expected to dedicate two hours to reviewing the material. Repeating sentences from the text aloud is an effective practice method.

Grading will be based on in-class contribution (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-II

2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語文法を1年間学習した学生が、文法の基礎を固め、フランス語の読解、音読、聴解の力を向上させる授業です。運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランス文化への理解を深めることを目指します。

【到達目標】

フランスの現代社会について、フランス語で読み、聞き、理解を深める。

実用フランス語技能検定試験では、4級レベルへの到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

前年度使用した教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』）を用いて、フランス語文法の解説と運用演習を行いながら、これまで学んだ文法事項を復習します。また、比較的まとまった量のフランス語を読み、理解する演習に中心的に取り組みます。学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	アイスブレイク	春学期の復習
2	文法（1）	単純未来形
3	聴解と音読（1）	La mode（ファッション）
4	購読（1）	La mode（ファッション）
5	文法（2）	条件法現在
6	聴解と音読（2）	L'amour（恋愛事情）
7	購読（2）	L'amour（恋愛事情）
8	中間試験	これまでの確認と演習問題
9	文法（3）	接続法現在
10	聴解と音読（3）	La recherche d'emploi（仕事探し）
11	購読（3）	La recherche d'emploi（仕事探し）
12	聴解と音読（4）	L'écologie（エコロジー）
13	購読（4）	L'écologie（エコロジー）
14	期末試験	これまでの確認と演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』近江屋志穂・竹本研史著、朝日出版社、2023年、2300円+税

『クワ・ドゥ・ヌフ？ Z世代のリアル・フランス』Léna Giunta・清岡智比古・Olivia Boissel著、白水社、2023年、2000円+税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み25%、中間試験25%、期末試験50%で総合的に評価します。

4回以上の欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have already studied French for one year. Students will learn more advanced expressions and vocabulary, enabling them to speak, listen, and discuss French culture in French by the end of the course. After each class, students are expected to dedicate two hours to reviewing the material. Repeating sentences from the text aloud is an effective practice method.

Grading will be based on attendance (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3-I

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。しかしその前に、基本文法の未習箇所を勉強しましょう。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検3級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

最初の数回は文法の復習と未習箇所を勉強します（昨年の文法の教科書を持参してください）。それぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。その後は講読の授業です。指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション。	授業の進め方。文法の復習／比較と最上級。
第2回	文法（1）。	文法の復習／補語人称代名詞、疑問形容詞と疑問代名詞。
第3回	文法（2）。	文法の復習／中性代名詞、複合過去。
第4回	文法（3）。	文法の復習／関係代名詞。
第5回	文法（4）。	文法の復習／ジェロンディフ。受動態。
第6回	文法（5）。	代名動詞。
第7回	文法（6）。	半過去と単純未来。
第8回	文法（7）。	条件法現在。
第9回	文法（8）。	接続法現在。
第10回	講読（1）。	復活祭の卵
第11回	講読（2）。	ニューカレドニア住民投票
第12回	講読（3）。	ローランギャロス
第13回	講読（4）。	すずらん
第14回	期末試験。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「文法と文化で学ぶ基礎フランス語」、朝日出版社。
「アンフォ vol.6 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50点、平常点50点の合計点で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEICのスコアも975点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50 %

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-II

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検3級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テキストを読み進めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講読（1）。	マリでの人質解放
第2回	講読（2）。	カンヌ映画祭
第3回	講読（3）。	気候温暖化
第4回	講読（4）。	ボンボン
第5回	講読（5）。	イギリスの漁業権
第6回	講読（6）。	食品ロス
第7回	講読（7）。	カタルーニャ
第8回	講読（8）。	諸聖人の祝日
第9回	講読（9）。	トリュフ
第10回	講読（10）。	心のレストラン
第11回	講読（11）。	クリスマスマーケット
第12回	講読（12）。	新型コロナ
第13回	講読（13）。	スベキュロス・クッキー（プリントを配布）
第14回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.6 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50点、平常点50点の合計点で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEICのスコアも975点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in-class contribution: 50 %

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏 (フランコフォニー)」を知ることとする目的とします。そのような (フランス共和国を含めた) 広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化 (言語、芸術、習慣、食生活など) が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、春学期は主にフランス共和国本土にある「地域圏」を中心として、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー (フランス語圏) の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

授業ではコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

提出されたコメントシートについて、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ：	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国及びフランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	① Île-de-France	・イル＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
3	② Bretagne	・ブルターニュ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

4	③ Normandie	・ノルマンディー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	④ Hauts-de-France	・オー＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	⑤ Grand-Est	・グラン＝テスト地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	⑥ Pays de la Loire	・ペイ＝ド＝ラ＝ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	⑦ Centre-Val de Loire	・サントル＝ヴァール＝ド＝ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	⑧ Bourgogne-Franche Comté	・ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	⑨ Nouvelle-Aquitaine	・ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	⑩ Auvergne-Rhône-Alpes	・オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	⑪ Occitanie	・オクシタニー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	⑫ Provence-Alpes-Côte d'Azur (PACA)	・プロヴァンス＝アルプ＝コート＝ダジュール地域圏 (PACA) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	⑬ Corse まとめ	・コルス地方公共団体に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など ・春学期授業のまとめ ・秋学期授業の予告：世界のフランコフォニー

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文 (場合によっては各地域圏サイト) を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
 - 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができるとは限らないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
 - 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい (或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため)。
 - 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点 (特に引用の仕方、参考文献の書き方) について確りと学習しておいて欲しい。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

I. 以下の4冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。

- 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018年。本体2600円＋税
 - 2) ジャック・レヴィ編 (土居佳代子訳)『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018年。本体2800円＋税
 - 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・バーロウ著 (立花英裕監修・中尾ゆかり訳)『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008年。本体2400円＋税
 - 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012年。本体3400円＋税
- II. 以下の2冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。
- 5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス、地方を巡る旅)』駿河台出版社、2017年。本体1900円＋税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophoneie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅：改訂版)』駿河台出版社, 2019年. 本体2300円＋税

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

①平常点（コメントシートなど）：30%

②期末レポート：70%

【学生の意見等からの気づき】

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the French speaking world (la Francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc.): 30%,
term-end report: 70%.

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏 (フランコフォニー)」を知ること主たる目的とします。そのような (フランス共和国を含めた) 広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化 (言語、芸術、習慣、食生活など) が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、秋学期はフランス共和国本土以外の「地域圏」、そしてフランス共和国以外の「フランコフォニー」について扱い、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー (フランス語圏) の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

毎回の授業においてコメントシートを執筆・提出してもらい、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国外にある県・地域圏について簡単に紹介 ・フランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	カリブ海域の地域圏 Martinique et Guadeloupe	・カリブ海域の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

3	南米大陸の地域圏 Guyane française	・南米大陸の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
4	インド洋の地域圏 Réunion et Mayotte	・インド洋の地域研に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	太平洋の海外領土 Nouvelle-Calédonie	・太平洋の海外領土に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	北米大陸のフランス語圏① Québec (Canada)	・北米大陸カナダにおけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	北米大陸のフランス語圏② Louisiane	・北米大陸アメリカ合衆国におけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	北アフリカのフランス語圏① Algérie	・マグリブ中央部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	北アフリカのフランス語圏② Maroc et Tunisie	・マグリブ西部および東部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	サハラ以南のフランス語圏① Sénégal	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	サハラ以南のフランス語圏② Congo-Kinshasa et Congo-Brazzaville	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領およびベルギー領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	サハラ以南のフランス語圏③ Rwanda	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧ベルギー領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	ヨーロッパのフランス語圏① Belgique	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	ヨーロッパのフランス語圏② Suisse	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
	まとめ	・秋学期授業のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文 (場合によっては各地域圏サイト) を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
- 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
- 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい (或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため)。
- 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点 (特に引用の仕方、参考文献の書き方) について確りと学習しておいて欲しい。

本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

1. 以下の4冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
- 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018年。本体2600円＋税
- 2) ジャック・レヴィ編 (土居佳代子訳)『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018年。本体2800円＋税
- 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・バーロウ著 (立花英裕監修・中尾ゆかり訳)『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008年。本体2400円＋税
- 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012年。本体3400円＋税

II. 以下の2冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。

5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス, 地方を巡る旅)』駿河台出版社, 2017年, 本体1900円+税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophonie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅: 改訂版)』駿河台出版社, 2019年, 本体2300円+税

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

①平常点 (コメントシート等) : 30 %

②期末レポート : 70 %

【学生の意見等からの気づき】

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the French speaking world (la Francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc.): 30%,
term-end report: 70%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語コミュニケーション(初級) I 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Se présenter	自己紹介
2	Présenter quelqu'un	第三者の紹介
3	Parler des choses que l'on possède ; parler des animaux domestiques	持っている物について話す。 ペットについて話す。
4	「J'adore ça !」 ; les petits plaisirs de la vie	aimer動詞を使い、好き嫌いについて話す。
5	「Je pense que les Français sont ...」 Les stéréotypes sur les Français	フランス人のステレオタイプ
6	「Vous avez des frères et sœurs ?」	兄弟がいますか。家族について話す
7	Que faites-vous le week-end ? Verbes aller et faire.	週末の過ごし方(ビデオ)
8	À la boulangerie	パン屋で (ビデオ)
9	「Je me lève à 7 heures.」	日常生活を話す
10	Décrire quelqu'un : apparence physique et vêtements	人を描写する。外見、服装
11	Un café français	フランスのカフェ (ビデオ)
12	Présentation de la France	フランスの簡単な紹介 (ビデオ)

13 「Où voudriez-vous partir en vacances ?」 「バカンスでどこに行きたいですか。」夏休みしたいことを言う。

14 révisions 復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は不要です。

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点100% (授業中の発言50%及び宿題の提出50%)。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活の話をもっとします。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goal of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

- In-class contribution and participation: 50%

- Homework: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語コミュニケーション(初級)Ⅱ 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Qu'est-ce que vous avez fait pendant les vacances ?	ヴァカンスの時したことを言う。(ビデオ)
2	Chez le boucher	肉屋で (ビデオ)
3	Parler de son petit boulot	バイトについて話す (ビデオ)
4	Protester	クレームを言う (音声)
5	Parler de sa chambre	自分の部屋について話す。(ビデオ)
6	Acheter des vêtements	服を買う会話 (ビデオ)
7	C'est comment chez vous ?	自分の住んでいる家について話す (ビデオ)
8	Parler de son quartier	自分の住んでいる町を話す。(ビデオ)
9	「J'ai déjà fait de la plongée.」	スキューバダイビングをやったことある」経験・したことを話す
10	Présentation de Paris	パリの紹介のビデオ
11	Parler de sa ville	自分の住んでいる市町村について話す。(ビデオ)
12	Noël en France	フランス人のクリスマスの過ごし方
13	Parler de ses bonnes résolutions	新年の抱負を言う
14	Révision	復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて、提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は不要です。

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業中の発言50%や宿題の提出50%)。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活をもっと話します。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goal of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

- In class contribution and participation: 50%
- Homework: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

時事フランス語 I

2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉〈ダ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目「時事フランス語 I」の目的は、あなたのフランス語を、できる限り専門的な学びに近づけ、就職など実社会で役立てていくための、いわば基礎体力を作ることにあります。毎週、フランス語圏の公共放送のニュースサイト（TV5Monde や Radio France Internationale）で提供されている無料の教材に、皆で取り組みます。やさしい内容から始まりますので、1年生でも心配はいりません。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください <https://youtube.com/shorts/0NmZ4iyyvSQ?feature=shared>

【到達目標】

リスニング力や語彙（ごい）力を増すことが「時事フランス語」科目の全体としての目標です。ただし、スタート地点が、人により異なりますので、ゴールとして目指すべき到達目標も人により異なります。次のA～Dのカテゴリー分けを参考に、あなた自身の到達目標を設定しましょう。

・カテゴリーA（大学で初めてフランス語を学び始めた1年生や、第3外国語としてフランス語を勉強し始めた学生、千代田コンソからの履修者を主に想定）：「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら日本語）であれば、内容に関する前提知識をあまり持たない人として、簡単な質問や意見を述べることができる。

・カテゴリーB（大学入学後フランス語を学び始め、1年以上が経過した2年生を主に想定）：「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」4級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら日本語）であれば、ある程度関心をもって質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーC（フランス語を2年以上、ある程度は続けて勉強してきた学生を主に想定）：「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA2～B1、「実用フランス語技能検定試験」3級～準2級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、フランス語で、キーワードを使った簡単な質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーD（日本語が第1言語＝いわゆる「母語」＝ではない人。外国人留学生を主に想定）：「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本語を除く）の情報源も使い、日本語または英語で、簡単な質問や意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】で示した2つのニュースサイトに掲載されている教材に、皆で取り組みます。外国人向けに「やさしいフランス語 français facile」で制作された番組にもとづく、実践的な教材が多いです。聞き取り（リスニング）やシャドーイング、内容面の理解（時事問題に関する知識）を確認しながら、授業は進みます。この授業では、わからない、知らないからという理由で怒られたり、馬鹿にされたりすることはありません。質問するのが恥ずかしいという受け身の学校文化から、フランス語で分からないこと、できないことを1つずつ減らしていこうという積極的な方向に意識を変えるのが、この授業の狙いです。この授業は基本的に対面ですが、体調不良等を理由とするリアルタイム・オンラインでの参加に積極的に対応します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	世界を知るためのもう1つの視点	パリ18区に住む小学3年（CE2）生たちのぞのぞから見える世界
Séance 2	現代フランスの生活風景	結婚のプロポーズ（同性婚）やスクワット（空き住居の不法占拠）など
Séance 3	フランス移住の第一歩は共和主義の理解から	国歌ラ・マルセイエーズが歌えるのは、フランスではポイント高いです。
Séance 4	グローバル化（mondialisation）に対するフランス的見方＝ものづくりの衰退	フランスの伝統的な産品を知っているアジアからの留学生がいいたら、フランスの人は喜ぶでしょう。
Séance 5	グアドループ：中南米のカリブ海に浮かぶフランスの海外県	クレオール語に代表される文化の混淆で有名。1980年代には「ワールド・ミュージック」としてグアドループ発信のブークが流行
Séance 6	デモやストライキ	ストライキになると色々不便だと怒る人もいる一方、ストライキは労働者の重要な権利とみなされてもいます。
Séance 7	フランス語で炎暑はcanicule といいます	毎夏、山火事や40度を超える高温が南ヨーロッパを中心に伝えられるようになりました。
Séance 8	カンヌ映画祭	この季節に毎年開かれる有名文化イベント。娯楽作よりも芸術性の高い作品が受賞する傾向があり、日本人の活躍が目立ちます。
Séance 9	ラップとユーチューバー	さまざまな国や地域の出身者が、フランス語ラップのYouTube動画を制作
Séance 10	男女平等の理想と現実	女性の就業率が比較的高いフランスだが、男女の賃金格差など課題も残る。女性の権利への関心は高い。
Séance 11	ツール・ド・フランス	この季節に毎年開かれる有名スポーツイベント。7月の3週間、フランスや隣接国の路上を自転車レースが駆け抜ける。
Séance 12	格差社会アメリカの批判	大企業の経営者たちとその従業員の給与格差が大きすぎるというのも、フランス語圏のメディアではありがちな話題
Séance 13	環境問題の語彙（ごい）・表現①	絶滅危惧種を守ることをめぐる外交。「フカヒレ」や「象牙」が登場します。

Séance 環境問題の語彙（ご コンゴ民主共和国（RDC）はフ
14 い）・表現② ランス語圏ニュースではよく登
場する国です。内戦などの要因
で安全を脅かされる国立公園職
員たちの話題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・「時事フランス語Ⅰ」のような科目では、1回の授業につき、1時間以上、授業時間外に学習をおこなうことが、法政大学では標準になっています。

・「毎回授業内容表 Tableau de bord /Dashboard」等に教材へのリンクが置いてあります。

・(ア) 音声ファイルの内容でシャドーイングできる範囲を、1単語→1文→複数の文、のように広げていくことや、(イ) 番組内でひんぱんに使われる語彙（ごい）を分野ごとに整理して覚えるといったことに取り組むと、実践的な語学力が向上します。

・「毎回授業内容表」は次のリンクから閲覧してください <https://x.gd/IQfRj>

【テキスト（教科書）】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>

2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

※フランス語圏の公共放送が提供し、無料、かつ全世界のフランス語学習者が利用している教材です。

【参考書】

仏和辞典が必要です。持っていない人は、法政大学図書館オンラインデータベース上で『ポケプロ仏和』『ロバール仏和』が利用できます（自宅など学外からもアクセス可）。

【成績評価の方法と基準】

1. 授業への毎週の参加（50%）※この科目「時事フランス語Ⅰ」は対面に分類される授業であるため、原則として教室での出席が求められますが、学期14回の授業のうち1人あたり合計7回まで、Zoomでのリアルタイム・オンライン授業の形式による参加を認めています（オンライン参加を希望する授業回ごとに、事前にメールで申し出ること）。

2. 授業への貢献の量と質、到達目標の達成に向けた努力（50%）※フランス語の学習歴に応じて、カテゴリーA、B、C、Dの3つに学生を分けており、カテゴリーごとに努力していただきたい方向性を下↓に示しています。

3. 実用フランス語技能検定試験（仏検）やDELFLやTCFを受検したか、また合格したか（100%の枠外で5～20%程度の加点をします）※期末試験、期末レポートはありません。

・カテゴリーAの方にお願したい方向性：フランス語が初歩の段階なのは問題ありません。語学面で授業内容に喰らいつこうという努力の跡をお示ください。

・カテゴリーBの方にお願したい方向性：ニュースの内容理解の面を中心とした、質問や意見の表明など、授業への参加の姿勢をお示ください。

・カテゴリーCの方にお願したい方向性：聞きやすい発音や構文の理解、ある程度多くの語彙をもっていることを何らかの形で示してください。

・カテゴリーDの方にお願したい方向性：ご自身の第1言語（日本語ではない）と、日本語、フランス語の3つの言語や、それらの言語から得られる時事問題に関する知識や情報をお示し下さい。

※なんらかの障がいや疾患、メンタルな面を含むハンディキャップなど、諸事情により対面授業に参加することが困難な方は、法政大学障がい学生支援室に「就学上の配慮」をできるだけ早い時期に求めてください。「就学上の配慮」が認められた場合は、障がい学生支援室から担当教員に連絡が来ますので、代わりとなる課題に取り組んでいただきます。

※この科目が開講されている期間中に「学校保健安全法に定める感染症」に感染した方は、所属する学部連絡し「感染症等に係る授業欠席等配慮願」を受け取ってください。そして、所属する学部が発行する「配慮願」を担当教員にご提出ください。学生側の都合による欠席とは異なる、感染拡大防止のための出席停止として扱います。

【学生の意見等からの気づき】

・フランスに留学して、リスニング力や語彙（ごい）の不足を痛感したという声をよく耳にします。その一方で、リスニング力や語彙力を伸ばす目的で、TV5Monde や Radio France Internationale (RFI) を留学先で自習したという経験談も聞きます。TV5Monde や RFI は、日本でも視聴できますが、フランス語圏に詳しくない人が独りで学ぼうとしても、ニュースの内容がよく理解できない場合があります。この「時事フランス語Ⅰ」を履修すれば、ニュースや表現の解説を、あなたのフランス語発音に対する指導とともに、日本の環境で学ぶことができます。

・努力を続けるにはモチベーションが必要です。モチベーションを高めるには、じっさいに手の届きそうな目標をもつとよいでしょう。下記のリンク先にある資料が、目標やモチベーションについて考えるための、参考となればさいわいです <https://x.gd/ZvduG>

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンやタブレット、ノートパソコン等の情報端末が必要です。

【その他の重要事項】

「時事フランス語」って怖いのかな、自分に向いているのかどうか…と迷っている方は、次のリンク先にあるプレイズメント・テストをお試し受験してみてください。問題文は英語とフランス語で書かれています。◀ Commencer ▶と書かれたボタンをクリックすると問題が表示されます。<https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1>もし半分ぐらい正答できるようなら、この授業を履修するのにちょうど良いレベルではないかと思います。

【Outline (in English)】

【Outline and objectives】

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

【Goal】

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyū.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

【Method(s)】

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative information will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

【References】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)

2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

[Grading criteria]

Your final grade in this seminar will be decided on the following:

1. Quantity and quality of "summary comments" = 50%
2. In-class activity participation and various contributions to the class = 50%

[Equipment student needs to prepare]

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

[Others]

- 1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.
- 2) The above schedule is still subject to change.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

時事フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉〈ダ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目「時事フランス語Ⅱ」の目的は、あなたのフランス語を、できる限り専門的な学びに近づけ、就職など実社会で役立てていくための、いわば基礎体力を作ることにあります。毎週、フランス語圏の公共放送のニュースサイト（TV5MondeやRadio France Internationale）で提供されている無料の教材に、皆で取り組みます。やさしい内容から始まりますので、1年生でも心配はいりません。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください <https://youtube.com/shorts/RQtay4cmhW8?feature=shared>

【到達目標】

リスニング力や語彙（ごい）力を増すことが「時事フランス語」科目の全体としての目標です。ただし、スタート地点が、人により異なりますので、ゴールとして目指すべき到達目標も人により異なります。次のA～Dのカテゴリー分けを参考に、あなた自身の到達目標を設定しましょう。

・カテゴリーA（大学で初めてフランス語を学び始めた1年生や、第3外国語としてフランス語を勉強し始めた学生、千代田コンソからの履修者を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら日本語）であれば、内容に関する前提知識をあまり持たない人として、簡単な質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーB（大学入学後フランス語を学び始め、1年以上が経過した2年生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」4級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら日本語）であれば、ある程度関心をもって質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーC（フランス語を2年以上、ある程度は続けて勉強してきた学生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA2～B1、「実用フランス語技能検定試験」3級～準2級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、フランス語で、キーワードを使った簡単な質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーD（日本語が第1言語＝いわゆる「母語」＝ではない人。外国人留学生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本語を除く）の情報源も使い、日本語または英語で、簡単な質問や意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】で示した2つのニュースサイトに掲載されている教材に、皆で取り組みます。外国人向けに「やさしいフランス語 français facile」で制作された番組にもとづく、実践的な教材が多いです。聞き取り（リスニング）やシャドーイング、内容面の理解（時事問題に関する知識）を確認しながら、授業は進みます。この授業では、わからない、知らないからという理由で怒られたり、馬鹿にされたりすることはありません。質問するのが恥ずかしいという受け身の学校文化から、フランス語で分からないこと、できないことを1つずつ減らしていこうという積極的な方向に意識を変えるのが、この授業の狙いです。この授業は基本的に対面ですが、体調不良等を理由とするリアルタイム・オンラインでの参加に積極的に対応します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	多様性と出会うためのもう1つの入り口	フレキシタリアン・ダイエットとフランスの駄菓子（食文化から近づいてみる）
Séance 2	気が早いですがクリスマスの話題	宗教を信じる・信じない、家族のあり方、消費社会について考えます。
Séance 3	移民の気持ちを（教員の補助付きで）疑似体験してみる。	移民を念頭においたフランス語検定試験の例題に取り組む。
Séance 4	職業と平等	職業名の女性形を認めさせるというフェミニズムのかたち
Séance 5	デパートの歴史	19世紀のパリの文化的影響力は大きく、鉄筋とガラスで作られたデパートは最先端の建築やファッションの舞台だった
Séance 6	フランスの「サラメシ」	フランスの会社員たちは昼食に何をどんな風に食べているのか？
Séance 7	モナ・リザを一言でたとえるなら？	ボルトレ・シノワについて学びます。
Séance 8	ある日のニュースのヘッドライン	年金問題やローマ教皇が登場
Séance 9	少子化問題	2010年を越えたあたりから出生率が低下傾向のフランス。その原因は？
Séance 10	コートジボワールから見た世界	起業家の女性が訪れたいと夢見る国は？
Séance 11	ブルキナファソから見た世界	外からの支援ではなく、地元根差した住宅の改善とは？
Séance 12	アフリカやアジアからヨーロッパを目指す多くの避難民を渡航させる業者たち	どんな国にでも行けるパスポートは、あなたを含めた世界の一握りの人しかもっていない。
Séance 13	ボーヴォワール	« On ne naît pas femme, on le devient. » という文を知っておきましょう。
Séance 14	エメ・セゼール	ネグリチュードとは？

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・「時事フランス語Ⅱ」のような科目では、1回の授業につき、1時間以上、授業時間外に学習をおこなうことが、法政大学では標準になっています。

・「毎回授業内容表 Tableau de bord /Dashboard」等に教材へのリンクが置いてあります。

・(ア) 音声ファイルの内容でシャドーイングできる範囲を、1単語→1文→複数の文、のように広げていくことや、(イ) 番組内でひんぱんに使われる語彙（ごい）を分野ごとに整理して覚えるといったことに取り組むと、実践的な語学力が向上します。

・「毎回授業内容表」は次のリンクから閲覧してください <https://x.gd/VHfLE>

【テキスト（教科書）】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>
2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

※フランス語圏の公共放送が提供し、無料、かつ全世界のフランス語学習者が用いている教材です。

【参考書】

仏和辞典が必要です。持っていない人は、法政大学図書館オンラインデータベース上で『ポケプロ仏和』『ロバール仏和』が利用できます（自宅など学外からもアクセス可）。

【成績評価の方法と基準】

1. 授業への毎週の参加（50%）※この科目「時事フランス語Ⅰ」は対面に分類される授業であるため、原則として教室での出席が求められますが、学期14回の授業のうち1人あたり合計7回まで、Zoomでのリアルタイム・オンライン授業の形式による参加を認めています（オンライン参加を希望する授業回ごとに、事前にメールで申し出ること）。
2. 授業への貢献の量と質、到達目標の達成に向けた努力（50%）※フランス語の学習歴に応じて、カテゴリーA、B、C、Dの3つに学生を分けており、カテゴリーごとに努力していただきたい方向性を下↓に示しています。
3. 実用フランス語技能検定試験（仏検）やDELFLやTCFを受検したか、また合格したか（100%の枠外で5～20%程度の加点をします）※期末試験、期末レポートはありません。

・カテゴリーAの方にお願したい方向性：フランス語が初歩の段階なのは問題ありません。語学面で授業内容に喰らいつこうという努力の跡をお示しください。

・カテゴリーBの方にお願したい方向性：ニュースの内容理解の面を中心とした、質問や意見の表明など、授業への参加の姿勢をお示しください。

・カテゴリーCの方にお願したい方向性：聞きやすい発音や構文の理解、ある程度多くの語彙をもっていることを何らかの形で示してください。

・カテゴリーDの方にお願したい方向性：ご自身の第1言語（日本語ではない）と、日本語、フランス語の3つの言語や、それらの言語から得られる時事問題に関する知識や情報をお示し下さい。

※なんらかの障がいや疾患、メンタルな面を含むハンディキャップなど、諸事情により対面授業に参加することが困難な方は、法政大学障がい学生支援室に「就学上の配慮」をできるだけ早い時期に求めてください。「就学上の配慮」が認められた場合は、障がい学生支援室から担当教員に連絡が来ますので、代わりとなる課題に取り組んでいただきます。

※この科目が開講されている期間中に「学校保健安全法に定める感染症」に感染した方は、所属する学部連絡し「感染症等に係る授業欠席等配慮願」を受け取ってください。そして、所属する学部が発行する「配慮願」を担当教員にご提出ください。学生側の都合による欠席とは異なる、感染拡大防止のための出席停止として扱います。

【学生の意見等からの気づき】

・フランスに留学して、リスニング力や語彙（ごい）の不足を痛感したという声をよく耳にします。その一方で、リスニング力や語彙力を伸ばす目的で、TV5MondeやRadio France Internationale (RFI)を留学先で自習したという経験談も聞きます。TV5MondeやRFIは、日本でも視聴できますが、フランス語圏に詳しくない人が独りで学ぼうとしても、ニュースの内容がよく理解できない場合があります。この「時事フランス語Ⅱ」を履修すれば、ニュースや表現の解説を、あなたのフランス語発音に対する指導とともに、日本の環境で学ぶことができます。

・努力を続けるにはモチベーションが必要です。モチベーションを高めるには、じっさいに手の届きそうな目標をもつとよいでしょう。下記のリンク先にある資料が、目標やモチベーションについて考えるための、参考となればさいわいです <https://x.gd/0NtiE>

【学生が準備すべき機器他】

音声ファイルやストリーミング動画をWifiのある環境で視聴したり、学習支援システム-HoppiiやGoogle Classroomを閲覧するために、タブレットやノートパソコン等の情報端末が必要です。

【その他の重要事項】

「時事フランス語」って怖いのかな、自分に向いているのかどうか…と迷っている方は、次のリンク先にあるプレイズメント・テストをお試し受験してみてください。問題文は英語とフランス語で書かれています。◀ Commencer ▶と書かれたボタンをクリックすると問題が表示されます。<https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1>
もし半分ぐらい正答できるようなら、この授業を履修するのにちょうど良いレベルではないかと思います。

【Outline (in English)】

【Outline and objectives】

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

【Goal】

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyū.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

【Method(s)】

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative information will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

【References】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - ◀ JapanKnowledge ▶)

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

【Grading criteria】

Your final grade in this seminar will be decided on the following:

1. Quantity and quality of "summary comments" = 50%

2. In-class activity participation and various contributions to the class = 50%

[Equipment student needs to prepare]

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

[Others]

1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.

2) The above schedule is still subject to change.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランスの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：フランスの映画

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これらフランス社会の様々な面について考えます。フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々 (フランス国籍を持つとは限りません) の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」、「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

誰でもが知っている大ヒット作、今では古典となったフランス映画の代表的作品、映画の歴史を創った作品、知る人ぞ知る映画などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。

皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	『アメリカ』1 2001年の大ヒット作 パリという空間： モンマルトルからあ ちこちへ	空想に駆られる主人公： 他人の幸せのために
2	『アメリカ』2 なぜヒットしたか	空想から現実へ モンマルトルは理想郷？
3	『アメリカ』3 オードリー・トット とマティユー・カソ ヴィッツ	刑事とシャネル／監督と俳優

4	『太陽がいっぱい』1 名優アラン・ドロ ン主演のフランス・イ タリア合作映画	このタイトルはどういう意味か。 誤訳かわざとか。外国映画の邦 題について。
5	『太陽がいっぱい』2 格差と犯罪	金持ちの傲慢青年と貧しき悪の 天才青年。
6	『太陽がいっぱい』3 犯罪は「太陽の せい」？ 映画音楽	地中海の熱い太陽と哀愁の音楽。 映画を知らずとも音楽は聴いた ことがある。
7	映画の始まり	世界初の映画上映：リュミエール兄弟。 初期の映画：『月世界探検旅行』 『ファントマス』
8	ヌーヴェル・ ヴァーグ 『勝手にしやがれ』1 ゴダールの代表作： 原題は「息切れ」	映画の「新しい波」 「外国映画の邦題について」その 2
9	『勝手にしやがれ』2 おかしなカップル： ジャン＝ポール・ペ ルモンドとジーン・ セバーグ	これは犯罪映画か？
10	『勝手にしやがれ』3 モンパルナス	右岸のモンマルトルと左岸のモン パルナス
11	ヌーヴェル・ヴァー グその2： トリュフォー	シャンソンとジャズ アントワヌ・ドゥワネルのシ リーズ：成長する主人公を成長 する同じ俳優が演じる
12	『女優マルキーズ』1 旅役者	ソフィー・マルソー演じる17世 紀の実在の女優はアクロバット もこなす旅役者
13	『女優マルキーズ』2 ルイ14世の時代	太陽王の古典主義時代： モリエールとジャン・ラシーヌ ；宮廷の豪華絢爛と場末の猥雑 さ
14	『女優マルキーズ』3 舞台上に死す	謎多き女優の生涯 ソフィー・マルソーとベルナール・ジロドー

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人はAVライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：モンマルトルについて調べる。
 - 2：アメリカの行く様々な地域について調べる。
 - 3：出演者の他の作品について調べる。
 - 4：フランス人にとっての地中海はどのようなものかを考える。
 - 5：「完全犯罪」は可能かを考える。
 - 6：フランス人および他の国の人々にとってアラン・ドロンとはどのような俳優かを考える。
 - 7：創世期の映画について調べる。
 - 8：外国映画の邦題について考える。
 - 9：『勝手にしやがれ』のどこが新しいのか考える。
 - 10：モンパルナスとモンマルトルの共通点と違いについて調べる。
 - 11：トリュフォーやその他のヌーヴェル・ヴァーグの監督について調べる。
 - 12：17世紀の俳優について調べる。
 - 13：17世紀の古典主義作家について調べる。
 - 14：出演者たちの他の作品について調べる。
- 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書0179
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603。
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164
『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書0924A

その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

【Outline (in English)】

This course deals with various aspects of lives in France with the aid of movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to moviemakers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects, which we can find in films.

The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in the French society.

The students are expected to see the whole of each film, which we can see only partially during the class, and to make some research on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

All students who are interested in France are welcome; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランスの文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：フランスの映画

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に続いて、この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これら社会の様々な面について考えます。フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々 (フランス国籍を持つとは限りません) の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。

「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

21世紀に入って大ヒットしたいいかにもフランスらしい？映画、アメリカのミュージカルのアンチテーゼのようなミュージカル映画、そして戦時中に創られた不朽の名作、さらに演劇の人気ナンバーワンのヒーローの映画化作品などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『最強のふたり』 1： 2011年のヒット作	「ふたり」とはどんな人たちか？
2	『最強のふたり』 2： 格差社会と移民	パリの郊外とは？ 富裕層の多い区域は？
3	『最強のふたり』 3： 「介護者」と「パートナー」：助 北の海岸での出会い	ける人とお膳立てする人

4	『シェルブールの雨傘』 1 フランスのミュージカル； 原題そのままの邦題は何を意味しているのか	誰もが聞いたことのあるミシェル・ルグランの音楽； 1960年代のフランスの地方都市：やはり北の港町
5	『シェルブールの雨傘』 2 フランスにとつての1960年代はじめ	アルジェリア戦争：様々な分断
6	『シェルブールの雨傘』 3 Westside Storyの向こうを張った？	「曖昧な」結末：雪のクリスマスでの再会と別れ
7	『天井桟敷の人々』 1 1945年の大作 19世紀のパリの下町という空間	伝説的名優勢ぞろい 「犯罪大通り」
8	『天井桟敷の人々』 2 庶民にとっての劇場	「言葉」の俳優とパントマイム役者
9	『天井桟敷の人々』 3 カーニバルという空間	またしても「曖昧な」結末：追いかけても追いつけない悪夢
10	『おかしなおかしな訪問者』 1 中世からのタイムスリップ。 ジャン・レノとクリスチャン・クラヴィエ共演	フランスのお笑い映画：フランス北部の中世と現代。名優たちの一人二役が見所
11	『おかしなおかしな訪問者』 2 めでたしめでたしの結末？	お笑い映画の定番的な演出と筋書。続編を予想させる、終わったようで終わらない結末？
12	『シラノ・ド・ベルジュラック』 1： 17世紀の実在の人物をモデルにした19世紀末の芝居	フランスのヒーロー人気ナンバーワン：剣にすぐれて弁もたつが、コンプレックスが恋を妨げる
13	『シラノ・ド・ベルジュラック』 2： 17世紀の宮廷と社会状況	過剰な繊細華麗 (préciosité) と過酷な戦争 (30年戦争とアラスの包囲)
14	『シラノ・ド・ベルジュラック』 3： 普遍的な価値	「型破り」と自己犠牲、「身を引く」美学

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人はAVライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：フランス映画に関する一般的なイメージについてまとめる。
 - 2：フランスの社会階層について調べる。
 - 3：なぜ『最強のふたり』がヒットしたのか考える。
 - 4：「ミュージカル」とは何であるかまとめる。
 - 5：アルジェリア戦争について調べる。
 - 6：『シェルブールの雨傘』の結末を他の作品の結末と比べて、その意味合いについて考える。
 - 7：『天井桟敷の人々』が公開された1945年ごろのフランスの状況について調べる。
 - 8-9：19世紀前半のパリについて調べる。
 - 10：『おかしな訪問者』で紹介されるフランスの中世と現代の生活について調べる。
 - 11：主人公を演じた俳優たちの経歴について調べる。
 - 12：『シラノ・ド・ベルジュラック』の主人公のモデルとなった17世紀の人物について調べる。
 - 13：17世紀当時のフランスの宮廷や社会の状況について調べる。
 - 14：なぜシラノという人物が時代と国を超えて人々を惹き付けるのかを考える。
- 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書 0179

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164

『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書0924A

その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

【Outline (in English)】

This course deals with various aspects of lives in France with the aid of movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to moviemakers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects, which we can find in films.

The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in the French society.

The students are expected to see the whole of each film, which we can see only partially during the class, and to make some research on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

All students who are interested in France are welcome; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSa200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200)

フランス生活文化論 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：「美食の国 フランス」のルーツをたどる(近代フランスの食文化とその社会的要因)

梶谷 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、19世紀～20世紀フランスの食文化を中心に、そのあり方を学びます。「フランスの食文化」という表現から、どのようなことをイメージするでしょうか。「華やか・おしゃれ」、あるいは「特別な日の料理」など様々な印象があると思いますが、実は、現代の私たちがフランス料理に対して持つイメージのルーツの多くは、近代のフランスにあります。空腹を満たす以上の価値を自国の食に見出していったフランス。なぜそうなったのか？ その背景を知って、フランス文化への理解を深めていきましょう。

【到達目標】

フランスの食文化について、歴史の流れとともに理解できるようになること。また、意見の記述や発表を通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ画像を用意して進めていきます。映像資料も見ると予定です。

原著の資料を見ることもありますが、解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。

毎回授業の最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。質問をきっかけに時に食文化の話を超えて、フランスの他の文化や歴史に触れることもあります。

また、受講する皆さんのフランスの食や文化に関する興味関心を共有していただく発表の機会も設けます。授業とは異なる視点に触れることも目的としていますので、大枠のテーマを逸脱していただければ広く様々なテーマを歓迎します。

最終課題は、期末レポートの作成です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介。日本においてフランスの食文化はどのように紹介されているかについても解説。
第2回	テーブルに「映える」料理	テーブルに「映える」料理はなぜ必要だったか？／宮廷料理について
第3回	「華やかな食卓」の特徴の変遷	「映える」料理から「味で魅せる」料理へ／18世紀までの価値観と、19世紀からの価値観
第4回	美食を支える背景	パリの美食を支えた市場／給仕の変化
第5回	「美食」は誰のものか：レストラン	「おいしい」が皆のものになる時代：レストラン興隆史

第6回	「美食」は誰のものか：「おいしい」の基準の誕生	「おいしい」を評価するということ：ガストロノミー(前編)
第7回	「美食」は誰のものか：情報が生み出す「美食」	「おいしい」の評価の変遷：ガストロノミー(後編)
第8回	資料で見るフランスの美食	フランスの美食についての映像資料を視聴します。コメントカードを通して、感想や考察をまとめてください。
第9回	高級料理の変遷	ヌーヴェル・キュイジーヌの誕生と、その後
第10回	文化としての「郷土料理」	フランスにおける郷土料理の位置／郷土料理＝文化的遺産という視点の原点
第11回	報告会①	フランスの食や文化にまつわる興味関心を発表しあいましょう。授業とは異なる視点に触れることが目的です。
第12回	報告会②	報告会は、履修者の人数により2回から3回に渡る可能性があります。
第13回	報告会③(予備日) 郷土料理でめぐるフランス 映像資料視聴	フランスの代表的な地方の位置の確認・その土地に根差した郷土料理を網羅的に見ていきます。ほか、一部となりますが第8回とは異なる映像資料を視聴します。
第14回	まとめ・レポート作成の手引き	現代から見た、近代フランスの食文化の重要性／レポートの書き方案内 (映像資料視聴予備日)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。下記参考書のうち、①を読み切ること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料配布を行いません。資料はすべて学習支援システムを通じての配信となります。授業中に使いますので、各自手元に用意の上出席してください。

【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013年。
- ②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008年。

【成績評価の方法と基準】

平常点(コメントカードの提出・発表を含む受講態度全般)60%、期末レポート40%の総合評価。

特に、平常点評価に含まれる授業期間内の「報告会での発表」、授業期間終了後の「期末レポートの提出」は必須です。

【学生の意見等からの気づき】

テーマを十分にお伝えするため、授業中は講義形式を採用しています。しかしその分、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。フィードバックコーナーが長くなってしまうこともあるのですが、テーマを深める機会であると考えているので、今年度も継続していきたいと思います(質問多数の場合、調整することはあります)。コメントカードは、ぜひ存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードしたPC、タブレット端末等を持参すること。原則として教室内での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が41人を超えてしまった場合、定員が40人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to study the gastronomic culture of modern France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution (60%) and term-end report (40%).

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス生活文化論 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：フランスの食文化史(古代から現代まで)

梶谷 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、フランスの食文化史を学びます。「美食の国」として名高いフランスはどのようにその食生活を営んできたのでしょうか。古代からの料理術の変遷を中心に、歴史の動きと連動させながら学びます。後半には、日本がフランスの食に与えた影響についても触れてゆきます。

【到達目標】

フランスの食文化について理解を深めること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。
原著の資料を見ることもありますが、解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。
毎回授業の最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。小さなことだと思っても、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。
最終回の前には、簡単な発表の機会も設けます。授業とは異なる視点に触れることも目的としていますので、大枠のテーマを逸脱していなければ広く様々なテーマを歓迎します。
最終課題は、期末レポートの作成です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介／現在のフランス食文化の最前線についての解説
第2回	古代から中世まで	何をどのように食べてきたのか／香辛料について
第3回	中世とルネサンス	マナーの確立／イタリアとの関わり
第4回	17世紀	グランド・キュイジーヌの誕生／「過剰」からの脱却と洗練
第5回	18世紀	宮廷料理の最盛期／「豪華な料理」とは？
第6回	フランス革命～19世紀初頭	「レストラン」とは何か／「ガストロノミー」の誕生／「スターシェフ」の出現
第7回	19世紀後半～19世紀末	19世紀後半～世紀末のレストラン／現代フランス料理の基礎の時代
第8回	20世紀初頭	第一次世界大戦とフランスの食文化／新しい「ガストロノミー」

第9回	20世紀半ば	全国的美食を求めてーガストロノミーとツーリズム／「美食ガイドブック」の誕生
第10回	20世紀半ば～20世紀末	ヌーヴェル・キュイジーヌー健康と美食
第11回	日本食文化のフランス食文化への影響	美しさを求めるということ／日本的味覚の広がり
第12回	フランス食文化の日本食文化への影響	「洋食」誕生物語
第13回	発表会①	レポートの構想、授業を通しての自分なりのまとめなど、いくつかのトピックの中から1つ選び、発表しましょう。
第14回	発表会② まとめ・レポート作成の手引き	発表会の予備日です。 主に「美食の国 フランス」のイメージはいかにして形成されたか、授業全体のまとめを行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。参考書のうち②を授業期間中に読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を紹介します。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しませんが、適宜、資料を主に学習支援システムを通じて配信します。授業開始までに、各自手元に用意してください。

【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013年。
- ②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008年。

【成績評価の方法と基準】

平常点(コメントカード提出・発表参加を含む受講態度全般)60%、期末レポート40%の総合評価
特に、平常点評価に含まれる授業期間内の「報告会での発表」、授業期間終了後の「期末レポートの提出」は必須です。

【学生の意見等からの気づき】

テーマを十分にお伝えするため、授業中は講義形式を採用しています。しかしその分、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。フィードバックコーナーが長くなってしまうこともあるのですが、テーマを深める機会であると考えているので、今年度も継続していきたいと思います(質問多数の場合、調整することはあります)。コメントカードは、ぜひ存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードしたPC、タブレット等を持参すること。原則として教室での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が41名を超えてしまった場合、定員が40人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to learn the historical background of the gastronomic culture of France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution (60%) and term-end report (40%).

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3 I

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法の学習を継続する（具体的には、動詞の完了体と完了体、関係代名詞および関係副詞）。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、動詞の「体」（完了体と完了体）、関係代名詞と関係副詞です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	名詞の性・数・格、動詞の時制、運動の動詞など
2	第12課：動詞の体のペア	ペア（完了体と完了体）の3パターン
3	第12課：動詞の体の意味	完了体の意味（動作の事実、継続・進行、反復、同時性など）／完了体の意味（動作の完了・結果、一回性・具体性、連続性など）
4	第12課：動詞の体と時制	完了体の過去形・現在形・未来形／完了体の過去形・未来形（非過去形）
5	第12課：動詞の体のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第12課：動詞の体の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第12課：動詞の体のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第13課：関係代名詞の変化（性・数・格変化）	関係代名詞の変化＝形容詞の硬変化A
9	第13課：関係代名詞の用法	二つの文の結合の仕方（主節と従属節の形成）
10	第13課：関係副詞	疑問詞から派生する関係副詞、二つの文の結合の仕方（守拙と従属節の形成）

11	第13課：関係代名詞・関係副詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳
12	第13課：関係代名詞・関係副詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
13	第13課：関係代名詞・関係副詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
14	期末試験	文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。

ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（1年次に学習した名詞の性・数・格を理解していないと、関係代名詞が分からない等）。一歩一歩確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part1).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to learn the rest of the introductory grammar (perfective and imperfective verbs, relative pronoun and relative adverb), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 3 II 2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法を一通り終える（具体的には、数詞の用法、比較級と最上級、仮定法）。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、数詞の表現（個数・時間・年月日・年齢・値段）、形容詞・副詞の比較級と最上級、仮定法（過去・現在・未来）です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「ロシア語 3 I」（春学期）の復習	動詞の完了体・完了体、関係代名詞・関係副詞
2	第14課：個数詞と名詞の結合	個数詞一覧、個数詞（主格）と名詞の結合（1＋単数主格／2～4＋単数生格／5～＋複数生格）
3	第14課：時間の表現、年月日の表現	「何時（に）？」・「どのくらいの時間？」、「何日（に）？」・「何月（に）？」・「何年（に）？」・「何年何月何日（に）？」
4	第14課：年齢の表現、値段の表現	「何歳？」、「いくら？」
5	第14課：数詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第14課：数詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第14課：数詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第15課：形容詞・副詞の比較級	合成比較級、単一比較級、比較の対象の表わし方
9	第15課：形容詞・副詞の最上級	合成最上級、単一最上級、比較級を利用した最上級
10	第15課：仮定法	仮定法＝過去形＋ <i>бы</i>
11	第15課：形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
12	第15課：形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法の会話	会話文の音読・読解・暗唱

13 第15課：形容詞・副詞の比較級と最上級

および仮定法のロシア語作文

14 期末試験 文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。
ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20％、期末試験80％。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（名詞や形容詞の性・数・格を覚えていないと、数詞の表現や比較級・最上級は理解できない）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】**Elementary Russian 3 (Part2).**

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to finish learning the elementary grammar (use of numerals, the comparative and the superlative, subjunctive mood), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3 I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語1と2で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の不完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40％、期末試験60％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60％、in class contribution: 40％ the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 3 II

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	被動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40%、期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3 I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基本的な文法の学習を終え、かんたんなロシア語テキストの講読を行う。

【到達目標】

新聞やネットなどのロシア語短文にも挑戦できる力をつける。辞書を用いて読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを通じロシア語を読み、書き、そして簡単な会話ができるように、音読に力を入れます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 1	これまでの復習（運動の動詞、名詞の前置格、対格、生格）
2	復習 2	これまでの復習（名詞の与格と造格）
3	第12課 動詞の完了体、不完了体	完了体と不完了体の文法説明
4	第12課 動詞の体と時制	第12課の「体と時制」、テキストの読解と文法説明
5	第12課	会話の読解と練習問題の答え合わせ、文法の復習
6	第13課 関係代名詞、関係副詞	関係代名詞と関係副詞の文法説明
7	第13課	テキストと会話の読解
8	第14課 数詞と時間	文法：数詞と名詞の結びつき、個数詞と順序数詞を覚える
9	第14課 数詞と時間（年月日の表現、年齢の表現など）	年月日の表現、年齢の表現などの文法説明、テキストの読解
10	第14課 会話と練習問題	会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
11	第15課 比較級、最上級、仮定法	比較級、最上級、仮定法の文法説明
12	第15課 テキスト、会話、練習問題	テキスト、会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
13	春期の総復習	春期に学んだ範囲の総復習
14	春学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットなどを用いてロシア語に関する新聞・雑誌等の記事を読み、ロシア語だけでなく、ロシアのことに関心を持ちましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read simple Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語 3 II

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な文法を終えたので、配布するテキストの講読に入ります。
今まで学んだ文法を復習しつつ、より高度な文法事項を学びます。

【到達目標】

新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国
際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

辞書を用いてテキストの読みと訳を確実にできるようにするため、
多くのテキストを精読していきます。適宜小テストを行い、採点の
上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 1	春学期の復習（12課～13課）数 詞と順序数詞の復習
2	復習 2	春学期の復習（14課～15課）数 詞と順序数詞の復習・暗記
3	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法のまとめ
4	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形容詞短語尾形につ いて
5	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形動詞について
6	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞現在と過 去
7	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞の現在と 過去
8	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞過去単語 尾形について
9	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。副動詞について
10	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の総まとめ
11	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の確認
12	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の練習
13	秋学期の総復習	もう一度困難な文章などを復習 する
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語に関する新聞・雑誌等の記事に慣れ親しむ。ロシアのニュー
スや文化に関心を持つ。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて
1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、
学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire advanced
Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire
Russian words, grammar and expressions dealt in the
textbook, and to read various Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each
class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the
following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-
class contribution, etc.): 40%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語4 I

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既習の初級文法を全面的に復習し、加えて未習の文法事項を学習する。格変化をただ頭で分かっているだけでは、それを実際に（読み書き・会話の際に）運用するには不十分である。そのため、名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の（まずは）前置格・対格・生格を自由に作り出し、即座に見分けることができるよう反復練習を行う（例えば、новый журнал, моя машина, русское словоの単数形および複数形の前置格・対格・生格を反射的に言えるようにする）。また、この練習を踏まえて、特に読む力、すなわち生きた現実で出会われる標準的なロシア語の文章（書籍・新聞・雑誌・ネット上のテキスト等）を読解する能力を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で理解を定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業となります

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の現在形、名詞の複数形、形容詞の性・数変化	動詞の現在形（第1変化）、男性名詞・女性名詞・中性名詞の規則的な複数形と不規則的な複数形、形容詞の性・数変化の6パターン（硬変化A・硬変化B・軟変化／混合変化A・混合変化B・混合変化C）
2	名詞の前置格	名詞の前置格のパターン（単数形・複数形）、名詞の前置格の用法
3	形容詞・所有代名詞の前置格	形容詞・所有代名詞の前置格のパターン（単数形・複数形）
4	名詞・形容詞・所有代名詞の前置格	様々な形容詞・所有代名詞の前置格と様々な名詞の前置格の結合
5	動詞の現在形、名詞の対格	動詞の現在形（第2変化）、名詞の対格のパターン（単数形・複数形）、名詞の対格の用法
6	形容詞・所有代名詞の対格	形容詞・所有代名詞の対格のパターン（単数形・複数形）
7	名詞・形容詞・所有代名詞の対格	様々な形容詞・所有代名詞の対格と様々な名詞の対格の結合
8	名詞の生格	名詞の生格のパターン（単数形・複数形）、名詞の生格の用法

9	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格のパターン（単数形・複数形）
10	名詞・形容詞・所有代名詞の生格	様々な形容詞・所有代名詞の生格と様々な名詞の生格の結合
11	с я 動詞、動詞の過去形、形容詞の短語尾形	с я 動詞の現在形、動詞（с я 動詞も含む）の過去形、形容詞の短語尾形の作り方と用法
12	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
13	所有代名詞と名詞の格変化	所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、1回につき2時間を標準とする。練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。

テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳（翻訳）を各自で提出しなければならない。

【テキスト（教科書）】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。

また、格変化の反復練習用等、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、文法の知識と読解力を問う期末テスト80%。

平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part1).

The aim of this course is to review, in a short term, the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, repetitive practice to be able to freely produce the prepositional, accusative, and genitive cases of singular and plural nouns, adjectives, and possessive pronouns) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content. Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語 4 II

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既習の初級文法の復習を継続し、加えて未習の文法事項を学習する。「ロシア語 4 I」の続きとして、名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の与格・造格を作り出し、見分けることができるよう反復練習を行う（例えば、новый журнал, моя машина, русское словоの単数形および複数形の与格・造格を反射的に言えるようにする）この練習を踏まえ、生きた現実の、標準的なレベルのロシア語の文章を読解する能力をさらに養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。書籍、新聞や雑誌、ネット上の文章から、最低限の情報を得ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業になります。

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	形容詞と名詞の格変化（復習）	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
2	所有代名詞と名詞の格変化（復習）	所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
3	名詞の与格	名詞の与格のパターン（単数形・複数形）、名詞の与格の用法
4	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格のパターン（単数形・複数形）
5	名詞・形容詞・所有代名詞の与格	様々な形容詞・所有代名詞の与格と様々な名詞の与格の結合
6	動詞の未来形、無人称文	動詞の合成未来形の作り方、無人称文の特徴、無人称文の現在形・過去形・未来形
7	動詞の命令形、否定の表現	動詞の命令形の3パターン、否定生格、「何も～ない」
8	名詞の造格	名詞の造格のパターン（単数形・複数形）、名詞の造格の用法
9	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格のパターン（単数形・複数形）
10	名詞・形容詞・所有代名詞の造格	様々な形容詞・所有代名詞の造格と様々な名詞の造格の結合

11	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）与格・造格への変化
12	所有代名詞と名詞の変化	所有代名詞と名詞（単数形・複数形）の（単数形・複数形）与格・造格への変化
13	形容詞・所有代名詞と名詞の格変化	形容詞・所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格・与格・造格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は2時間を標準とする。練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳（翻訳）を各自で提出しなければならない。

【テキスト（教科書）】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。また、格変化の反復練習用等、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、文法の知識と読解力を問う期末テスト80%。平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。日本語訳（翻訳）の作成を課する。授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part2).

The aim of this course is to review the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, repetitive practice to be able to freely produce the dative and instrumental cases of singular and plural nouns, adjectives, and possessive pronouns) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Befor/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content. Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語4 I

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次のロシア語学習を終えた学生を対象とする授業です。既習の文法事項を復習してから、教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書やプリント教材を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、適宜、課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習 (1)	格変化の復習（主格、生格）
2	既習文法の復習 (2)	格変化の復習（与格、対格）
3	既習文法の復習 (3)	格変化の復習（造格、前置格）
4	既習文法の復習 (4)	格変化の復習（人称代名詞）
5	動詞 (1)	動詞関連の文法事項の復習
6	動詞 (2)	動詞の完了体、不完了体の用法の説明と練習
7	動詞 (3)	動詞の完了体、不完了体の用法の説明と練習
8	複文 (1)	関係代名詞の説明と練習
9	複文 (2)	関係代名詞を含む複文の読解
10	複文 (3)	接続詞を含む複文の読解
11	数詞 (1)	数詞と名詞の結合の説明と練習
12	数詞 (2)	数詞と名詞の結合の説明と練習
13	数詞 (3)	時間表現の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習しましょう。格変化形や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

その他、適宜プリント教材を配布します。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50％、期末試験50％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50％、in class contribution: 50％

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 4 II 2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。さまざまなテーマのテキストの読解を通して、既習の文法事項を復習しながら、未習の文法事項を学びます。ロシア語の文章に慣れ親しみ、基礎文法の応用レベルでの定着を目指します。また、視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また、語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明と練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。視聴覚教材を用いる場合は、音読、書き取り、リスニングなどを行います。また、知識の定着や習熟度の確認のために、適宜、課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数詞 (4)	数詞と名詞の結合、時間表現の復習
2	数詞 (5)	年月日の表現
3	数詞 (6)	年齢の表現、値段の表現
4	数詞 (7)	テキストの音読と読解
5	数詞 (8)	リスニング
6	比較級、最上級、仮定法 (1)	文法解説と練習
7	比較級、最上級、仮定法 (2)	テキストの音読と読解
8	運動の動詞と接頭辞 (1)	文法解説と練習
9	運動の動詞と接頭辞 (2)	テキストの音読と読解
10	運動の動詞と接頭辞 (3)	スキットのセリフを聞き取る
11	文章読解 (1)	ロシアの文化に関するテキストを読む
12	文章読解 (2)	ロシアの歴史に関するテキストを読む
13	文章読解 (3)	ロシアの時事問題に関するテキストを読む
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to get used to Russian texts with various themes and master Russian basic grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語5 I

2017年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、授業時や学習支援システム経由で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	紹介：名前、出身、職業	リスニング、会話練習
2	家族の話	リスニング、会話練習
3	趣味	リスニング、会話練習
4	一日の流れ	リスニング、会話練習
5	一日の流れ（続き）	リスニング、会話練習
6	時間、スケジュール	リスニング、会話練習
7	国、言語、国籍	リスニング、会話練習
8	天気、季節	リスニング、会話練習
9	行ったことがある所	リスニング、会話練習
10	休暇の過ごし方	リスニング、会話練習
11	週の予定	リスニング、会話練習
12	好きな事、好きなものの	リスニング、会話練習
13	春学期の復習	リスニング、会話練習
14	春学期末テスト	聴解・筆記と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムにてプリント教材を配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50%、複数小テスト 30%、宿題 20%

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末（PCやタブレットなど）、Zoom授業になる場合には、Wi-Fi通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更することがあります。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination 50%, Word tests 30%, Homework 20%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 5 II

2017年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、課題内容によって授業時や学習支援システム経由や提出した課題につけたコメントのリンク送信などの方法で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	モスクワを歩く	リスニング、会話練習
2	私の街	リスニング、会話練習
3	お買い物	リスニング、会話練習
4	食べ物、お食事	リスニング、会話練習
5	家と部屋	リスニング、会話練習
6	映画	リスニング、会話練習
7	いつも通うところ	リスニング、会話練習
8	乗り物で行く	リスニング、会話練習
9	空港で	リスニング、会話練習
10	ロシアの年行事	リスニング、会話練習
11	ToDo リスト	リスニング、会話練習
12	電話、メール	リスニング、会話練習
13	秋学期の復習	リスニング、会話練習
14	秋学期末テスト	聴解・筆記と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時および学習支援システムにてプリントを配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50 %、複数小テスト 30%、宿題 20 %

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末（PCやタブレットなど）、Zoom授業になる場合には、Wi-Fi通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更することがあります。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination 50%, Word tests 30%, Homework 20%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語7

2017年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（数詞、比較級・最上級、形動詞・副動詞）を学んでいき、ロシア語文法の基礎をひとつおりの完成させることになります。

【到達目標】

辞書があればロシア語の文章を読めるようになるレベルを目指すべく長文を読む機会を多くも受け、文法の基礎力の充実と語彙力の増大に努めます。コミュニケーションの上でも、文法力と語彙力は不可欠です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項を練習問題を重ねつつ、学んでいきます。その後、ロシアの生活習慣や行事、文化をテーマとした長文の読解に入っていきます。ロシア語の文法、文章の構造を確認しながら読み進め、同時に、ロシアの文化についても知識を得て、読解の楽しみを味わいましょう。課題と小テストのフィードバックは翌週の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第2回	数詞を使った表現	時間の表現、年月日の表現など数詞の使い方を学ぶ。練習問題とテキスト読解。
第3回	数詞、比較級	数詞の表現の復習。比較級の暗記、比較級を使った表現について。練習問題。
第4回	最上級、仮定法	比較級の復習。最上級と仮定法の概説。テキスト読解と練習問題。
第5回	副動詞	副動詞（完了体・完了体）の説明。練習問題。
第6回	副動詞と形動詞	副動詞の復習。形動詞（能動形動詞・現在、過去）の説明。
第7回	形動詞（受動形動詞現在）	能動形動詞（現在、過去）の復習。受動形動詞（現在）の説明。
第8回	形動詞（受動形動詞過去）	受動形動詞現在の練習問題と復習。受動形動詞過去の説明。
第9回	形動詞のまとめ	受動形動詞過去の確認と練習問題。
第10回	長文読解：ロシアの祝日について（1）	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第11回	長文読解：ロシアの祝日について（2）	行事について知る文章の続き。副動詞、形動詞に着目して読む。
第12回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（1）	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら読んでいく。

第13回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（2）	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら読んでいく。
第14回	学期末試験	ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配付プリントの予習。適宜、課題も出すので必ず提出してください。また、長文読解に際しては、辞書を引く労を惜まずに「自分の単語帳」を作って語彙力の増大に励んで下さい。本授業の予習・復習時間は、1回につき1.5時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語教員 編）
その他、教場で配付、もしくは学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】

和久利誓一 『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（50％）、期末試験（25％）、小テスト（25％）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の60％以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

習得に困難な文法事項を学び、文法の総仕上げをする授業となりますが、平易に教えるよう努めます。

【Outline (in English)】

● Courses outline

This course proceeds in close contact with course: Russian 8.

In this course, we will acquire basics of Russian grammar: numbers, comparatives, superb, and participles.

● Learning objectives

With a dictionary, you will be able to read some level of Russian text. Improve the basics of grammar and increase vocabulary.

● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

● Grading Criteria/Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam (25 %) and quizzes (25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 8

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基礎文法の学習を終えた人を対象にした授業です。練習問題を解きながら、これまでに学んだ文法事項を復習し、知識の定着をはかります。さらに基礎文法では学ばなかった文法事項の説明と練習も行います。また、そうした学習と同時に、最重要単語の習得も目指します。

【到達目標】

ロシア語の基礎文法だけでなく、基礎文法を学ぶ際には採り上げられることが少ない、細かい文法事項も習得すること。最重要単語を覚えること。文法に関しては、ロシア語能力検定試験の4級・3級レベルを軽くこなせる力をつけましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で単語テストを行います。授業は、基本的に、単語テスト、練習問題の答え合せと解説、あるいは未習の文法事項の説明と練習、というかたちで行います。また必要に応じて課題を課します。添削した単語テストや課題は、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	格の用法 (1)	格の用法と形の復習
2	格の用法 (2)	格の用法と形の復習
3	形容詞と副詞	形容詞と副詞、比較級、最上級の復習
4	運動の動詞	定向動詞・不定向動詞の復習
5	運動の動詞と接頭辞 (1)	文法説明と練習
6	運動の動詞と接頭辞 (2)	文法説明と練習
7	動詞の体の用法	動詞の完了体、不完了体の用法の復習
8	関係代名詞、関係副詞	関係代名詞、関係副詞の復習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	被動形動詞	文法解説と練習
11	被動形動詞短語尾形、副動詞	文法解説と練習
12	数詞を伴う表現	数詞を伴う表現の復習
13	時間表現	時間表現の復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語テストの範囲については前の週の授業で指定するので、覚えておくようにしてください。授業内で提示される課題は必ずやってください。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験50 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. Through answering Russian practice exercises, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to master Russian basic grammar and increase vocabulary.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3-I

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語1と2で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の不完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編 [2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50％、期末試験50％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50％、in class contribution: 50％ the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 3-II

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	被動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in class contribution: 50%

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシア語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：ロシアの歴史

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシアの歴史および文化 (言語、民族、宗教、文学、思想など) を概観し、ロシアという国がどのような国なのか、その特質を理解する。それによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」の基本を獲得する。

ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】

一般の日本人にとっては理解しにくいロシアという国について、明確なイメージを持つことができる。

また、そうしたロシアの歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	9世紀半ばから13世紀の歴史	建国伝説、「キエフ・ルーシ」
第2回	13世紀から16世紀の歴史	「タタールの軛」、モスクワ大公国から「ロシア」へ (イヴァン3世とイヴァン4世)
第3回	17世紀の歴史	「動乱」、ロマノフ朝の成立
第4回	18世紀前半の歴史	ピョートル1世、「ロシア帝国」
第5回	18世紀後半の歴史	エカチェリーナ2世、ポーランド分割、「新ロシア」とクリミア半島、ウクライナ
第6回	19世紀初めの歴史	アレクサンドル1世、ナポレオン戦争、デカブリストの乱
第7回	19世紀半ばの歴史	ニコライ1世、クリミア戦争、アレクサンドル2世、農奴解放
第8回	19世紀終わりの歴史	アレクサンドル3世、産業革命
第9回	20世紀初めの歴史 (0年代～20年代)	ニコライ2世、第1革命、第1次世界大戦、ロシア革命、「ソ連」、レーニン
第10回	20世紀半ばの歴史 (30年代～40年代)	スターリン、第2次世界大戦
第11回	20世紀半ばの歴史 (50年代～60年代)	冷戦、フルシチョフ
第12回	20世紀終わりの歴史 (70年代～80年代)	停滞からベレストロイカへ、ゴルバチョフ

第13回 20世紀末の歴史 (90年代) ソ連崩壊、「ロシア連邦」、エリツィン

第14回 21世紀初めの歴史 ブーチン、ウクライナ戦争

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト (教科書)】

プリントを配布する。

【参考書】

『新版世界各国史22ロシア史』山川出版社、2002年。

『新版ロシアを知る事典』平凡社、2004年。

『ロシア文化事典』丸善出版、2019年。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (感想や質問の提出) 40%、期末レポート 60%。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。

毎授業の途中や最後に、授業内容に関する復習問題に取り組む。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to survey history and culture (languages, nations religions, literature, thought etc.) of Russia, as the background of Russian language. We will understand what kind of country Russia is and its special characteristics.

Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

Your final grade will be decided based on the following. Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシア語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：ロシアの周辺国の歴史

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中・東欧、ロシア、およびそれらの周辺国 (旧ソ連圏の国々など) の歴史および文化 (言語、民族、宗教など) を概観することによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」を獲得する。より広い視野においてロシアという国を理解する。ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】

一般の日本人にとってなじみのない中・東欧、ロシア、およびそれらの周辺地域について明確なイメージを持ち、これらの国や地域の持つ世界史的な意義を理解できる。
また、そうした国や地域の歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ロシアの周辺国 (現在の国境)、スラヴ諸族と現在の国家
第2回	ロシアの周辺国の歴史 (その1)	北欧の歴史—デンマーク・スウェーデン・ノルウェー・フィンランド (前半：16世紀まで；ヴァイキングの遠征、デンマークによるカルマル同盟、同盟からのスウェーデンの独立)
第3回	ロシアの周辺国の歴史 (その2)	北欧の歴史—デンマーク・スウェーデン・ノルウェー・フィンランド (後半：16世紀以降；デンマークの興隆と衰退と復興、スウェーデンの興隆と衰退と復興、ノルウェーの独立、フィンランドとアイスランドの独立)
第4回	ロシアの周辺国の歴史 (その3)	バルト三国の歴史—エストニア・ラトヴィア・リトアニア (リヴォニアとドイツ騎士団、リトアニアの発展、ポーランドによるリトアニアの吸収、ロシア帝国によるリヴォニア・ポーランド・リトアニアの全面的支配、バルト三国の独立)

第5回	ロシアの周辺国の歴史 (その4)	ポーランドの歴史 (前半：17世紀半ばまで；成長期、最盛期、衰退期)
第6回	ロシアの周辺国の歴史 (その5)	ポーランドの歴史 (後半：17世紀半ば以降；独立喪失期、独立の回復)
第7回	ロシアの周辺国の歴史 (その6)	ウクライナの歴史 (前半：13世紀まで；キエフ・ルーシ、タールの軛)
第8回	ロシアの周辺国の歴史 (その7)	ウクライナの歴史 (後半：13世紀以降；ポーランド・リトアニア時代、ロシア帝国時代、ソ連時代)
第9回	ロシアの周辺国の歴史 (その8)	中央アジア五国の歴史—カザフスタン・ウズベキスタン・トルクメニスタン・キルギスタン・タジキスタン (前半：9世紀まで；イラン系の興隆、トルコ系の侵入)
第10回	ロシアの周辺国の歴史 (その9)	中央アジア五国の歴史—カザフスタン・ウズベキスタン・トルクメニスタン・キルギスタン・タジキスタン (後半：9世紀以降；イスラムの興隆、モンゴルの侵攻、トルコ化とイスラム化、ロシア帝国・ソ連と清・中国の支配)
第11回	ロシアの周辺国の歴史 (その10)	コーカサス三国の歴史—ジョージア・アルメニア・アゼルバイジャン (東西南北の諸勢力の交差点としての北コーカサスと南コーカサス、前6世紀以来のジョージア、前6世紀以来のアルメニア、3世紀以来のアゼルバイジャン)
第12回	ロシアの周辺国の歴史 (その11)	トルコの歴史 (前半：16世紀まで；封建的帝国期、集権的帝国期)
第13回	ロシアの周辺国の歴史 (その12)	トルコの歴史 (後半：16世紀以降；分権的帝国期、近代的帝国期)
第14回	スラヴ民族と周辺諸民族	ゲルマン民族、ボヘミア、ハンガリー、ルーマニア、スロヴェニア、クロアチア、セルヴィア、アルバニア、マケドニア、ブルガリア、ユダヤ、ジプシーなど

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。
学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト (教科書)】

プリントを配布する。

【参考書】

『民族の世界史10 スラヴ民族と東欧ロシア』山川出版社。
森安達也『ビザンツとロシア・東欧』講談社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (感想や質問の提出) 40 %、期末レポート 60 %。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。
毎授業の途中や最後に、授業内容に関する復習問題に取り組む。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to survey history and culture (languages, nations, religions) of Central and Eastern Europe, Russia and their surrounding areas (countries of the former Soviet Union area etc.), as the background of Russian language. We will understand the specifics of Russia from a broader perspective.

Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

Your final grade will be decided based on the following. Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARSA200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）

ロシアの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアに興味をもつ学生であれば、ロシア語を学習していなくても履修できます。なお、SAエストニア（SAロシア代替）の事前学習も兼ねるので、SAエストニアの1年生もしくは2年生は必ず履修してください。ロシアは、峻厳で美しい自然、深く豊かな芸術（文学、音楽、美術、映画、アニメ、演劇、バレエ、建築など）に満ちた国、また、繊細で優美、神秘的でありながら素朴でパワフルという両極端な感覚に引き裂かれた、なんとも魅力溢れる国です。また、アジアとヨーロッパの文化的融合、社会主義から資本主義へのイデオロギー的・体制的移行、多民族の共生など、複雑で多面的な様相も興味深いものです。こうしたロシアのさまざまな側面を映像・レジュメ資料・概説を通して紹介していくのがこの授業ですが、これら多様な側面を統合して、ロシアの像を結んでいく作業を行うのはみなさん一人ひとりです。

【到達目標】

この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導くこと、そして教員が提起した問題に対して自身の意見を適切な文章でまとめる力を養うことも目的としています（コメントシートを通して）。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス：ロシアについて	ガイダンス。今日のロシア社会、地理的環境、歴史的キーワード、ソ連・ロシアの国歌を通してロシアの概略を示す。
第2回	モスクワ観光スポット（美術館、博物館、教会、劇場、世界遺産）	ロシアの首都モスクワ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、地下鉄、美術館、建築、観光スポットを紹介。
第3回	サンクト・ペテルブルクの名所（美術館、劇場、博物館、教会）	ロシア第2の都市サンクト・ペテルブルグ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、美術館、観光スポットを紹介。

第4回 民俗文化とロシア正教、国民の祝日

ロシア正教を国教とするロシア。その影響力は政治と結びついて大きなものとなっているが、キリスト教受容以前の異教との習合現象としての二重信仰の伝統もロシアに独特の文化を育んできた。異教、正教、社会主義というイデオロギーなど常に信仰の対象を抱き続ける信心深いロシア人の民俗文化やこれに基づく祝祭、宗教的行事、祝日について紹介。

第5回 ロシア・バレエの世界1

バレエ・リュスからソ連時代のバレエ史に名を残すダンサー、そして現代の国際的ダンサーまで、ロシア・バレエの粋を紹介すると同時に、政治的に抑圧を受けたバレエ界の事象、亡命したダンサーについて概観。

第6回 ロシア・バレエの世界2

前回の授業を踏まえて、政治とバレエの問題を考える。

第7回 ロシアの音楽1：グリンカ、チャイコフスキー、ムソルグスキー

ロシア・クラシック音楽の歴史を概観。グリンカからムソルグスキーまでの音楽を、指揮者ゲルギエフ、現代ロシアのソリストのパフォーマンスを通して紹介。

第8回 ロシアの音楽2：政治と音楽（ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ）

19世紀末からロシア革命時の音楽を概観。また、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、ラフマニノフを通して音楽と政治の問題を考える。

第9回 ロシアの音楽3：政治と音楽（テルミン、肋骨レコード）

反体制派と呼ばれたソリスト、抑圧された音楽について。

第10回 ロシア文学1：イーゴリ軍記から19世紀前半

『イーゴリ軍記』における異教性、カラムジンの感傷主義、プーシキンのロマン主義とリアリズムの融合について。《余計者》の確立。

第11回 ロシア文学2：19世紀半ば～（ゴーゴリ、ドストエフスキー）

ゴーゴリのグロテスクな手法、《小さな人間》について、ドストエフスキーの超人思想、神人について。

第12回 ロシア文学3：19世紀後半～20世紀（トルストイ、チェーホフ、アヴァンギャルド、フォルマリズム）

トルストイの「性愛・肉欲の否定」と聖愚者の賞揚。チェーホフの創作方法について。《異化》の概念について。政治と文学について。

第13回 ロシア文学4：亡命作家から現代（ソルジェニツィン、プロツキー、ペレーヴィン）／日本文学との影響関係

亡命作家を通して政治と文学の問題。検閲から自由になった現代作家の営みを概観。ロシア文学と日本文学との影響関係について。

第14回 民族問題とナショナリズムの歴史と現代の民族問題

ロシアの領土拡大とオリエンタリズムについて。ソ連時代の民族統合が現代に残した問題。チェチェン紛争、グルジア紛争、現代ロシアのナショナリズム。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、AVライブラリーコーナーの活用を勧めます。期末レポートの作成には1週間程度の時間が必要となります。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。教場で教員が作成する資料を配付します。

【参考書】

参考文献については教場もしくは学習支援システムで、随時、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として総合的に判断します。本授業の到達目標の60%以上を達成した学生は合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんとロシアの多様な側面を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

【Outline (in English)】**● Course outline**

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Tourist spots Moscow and Saint Peter's burg, Russian ballet, music and literature.

● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet /Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

● Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシアの文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアの歴史、映画、アニメ、美術の領域からロシアの文化の多様性を見ていきます。本講義では映像資料を多用して概説を行います。多くの情報を統合してロシアの像をまとめていく作業は学生のみなさん一人ひとりが行うことになります。この授業は、SAエストニア（SAロシア代替）の事前学習に位置付けられているので、SAエストニア1年の学生は必ず履修してください。

【到達目標】

この授業は、受動的に講義を受けたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張をまとめる力を養うことを目標としています（コメントシートを通して）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダース／ロシアの歴史1：キエフ	ロシアの歴史：キエフルーシ、タタールの軛、イワン雷帝の世について。
第2回	ロシアの歴史2	ピョートル大帝、エカテリーナ女帝、大黒屋光太夫、祖国戦争について映像資料を交えて概観。
第3回	ロシアの歴史3	農奴解放、近代化、テロリズム、日露戦争について映像資料を交えて概観。
第4回	ロシアの歴史4	ロマノフ王朝の崩壊、ロシア革命、スターリニズムについて映像資料を交えて概観。
第5回	ロシアの歴史5	雪解けから停滞へ、ベレストロイカ、チェルノブイリ原発事故、ソ連邦崩壊、新生ロシアまでを映像資料を交えて概観。
第6回	ソ連映画1	映画黎明期からモンタージュ派（エイゼンシュテイン、ヴェルトフ）、文芸映画を鑑賞しつつ、とりわけ政治的背景と映画の手法について着目する。

第7回 ソ連映画2

第8回 ソ連映画3

第9回 ロシア映画4

第10回 ロシア映画5

第11回 ロシア・アニメ1

第12回 ロシア・アニメ2

第13回 ロシア美術1

第14回 ロシア美術2

雪解け期から停滞の時代までに制作された文芸映画を、社会的背景、政治的体制、手法の観点から見ていく。

反体制の烙印を押された監督の作家性、手法、映像美を堪能する。また、SF映画を概観するとともに、ベレストロイカ期に多く制作された不条理作品、諷刺コメディを通して、政治と映画の問題を確認する。

検閲から自由になった映画として、芸術性と映像実験を重ねるソクーロフの作品、また、大国ロシアを再び謳い上げる戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状を概観する。

前回に引き続き、戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状と傾向を概観する。

黎明期からプロパガンダ・アニメ、児童アニメ（タレーヴィチ、アタマノフ、ヒトルーク、カチャーノフ）の概説と作品の鑑賞。

アート・アニメ（ノルシュテイン、ペトロフらの作品）の概説と作品鑑賞。

イコン（聖像画）の機能について、移動派の活動、パトロンの役割について。

マレーヴィチ、カンディンスキー、シャガールの絵画について。ロシア・アヴァンギャルド期の建築について紹介。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の視聴には、AVライブラリーコーナーの利用を勧めます。期末レポートの作成には1週間程度の時間を要することになります。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。教員が作成した資料を教場で配付するか、もしくは学習支援システムにアップします。

【参考書】

教場や学習支援システムで適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として、総合的に判断します。本授業の到達目標の60%以上を達成した学生が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

今学期はロシアの歴史、映画が中心となりますが、時事的な話題もとりにこみながら講義をおこないます。

【Outline (in English)】

● Course outline

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Russian history, and films, pictures and animations.

● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should to attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet /Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

●Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

検定のロシア語A

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級ロシア語を履修し終え中級以上を目指す学生のためのクラスです。資格として履歴書に書けるロシア語能力検定試験3級の合格を目指します。(3級はCEFR A2レベルの「文法・読解・聴解・会話・作文」力に相当します。)

【到達目標】

毎年5月と10月に実施されるロシア語能力検定試験に合格するために、以下の目標を達成する。1) 基礎文法を習得し確実に自身のものとする。2) テキストの内容を的確に把握し検定試験問題が解ける。3) 様々なテキストを和訳できる。4) ロシア語のリスニング問題が解ける、5) テキストを早く美しく音読できる。6) ロシア語の実践会話の習得、7) 語彙を増やし和訳や露訳の力を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語能力検定試験3級の合格を目指し、基礎文法の習得を完成させ、対策問題や過去問などを解いていく。視聴覚教材で生きたロシア語に触れ、リスニングし、美しい発音でのリーディング練習を行う。単語や熟語のミニテストを適時行い、語彙力を強化していく。課題等に対するフィードバックは、授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、基礎文法の復習	オリエンテーション、既習の教科書での基礎文法の復習
第2回	名詞と人称代名詞	名詞の性別と複数形、人称代名詞、名詞の格変化
第3回	形容詞、所有代名詞と指示代名詞	形容詞、所有代名詞と指示代名詞、その格変化
第4回	動詞（時制の表現）	動詞（現在人称変化、過去形、未来形、完了体）
第5回	副詞、無人称文、テキスト読解	副詞、無人称文、テキスト読解
第6回	時制を表す表現、疑問詞	時制を表す表現、疑問詞とその返答
第7回	運動の動詞	1) 運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）2) 「(歩いて・乗り物で) 運ぶ」「連れて行く」
第8回	動詞の命令形	3) パターンの命令形（完了体・不完了体含む）
第9回	比較級	主に単一比較級
第10回	関係代名詞	関係代名詞、関係副詞、接続詞
第11回	数詞（主格・対格）	数詞（数詞と名詞の変化）
第12回	リーディング	リーディング練習（アクセント記号の付いていないテキスト）
第13回	リスニング	リスニング（過去問を時間内で解く練習）
第14回	和文露訳	和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語学習の成果としてロシア語能力検定試験合格を目指した準備を進めて下さい。基礎文法を復習し、過去問題と対策問題に取り組んでいきましょう。授業で指定されたテキストや練習問題は事前に準備を済ませてから授業に臨んでください。

本科目は毎回2時間の予習・復習を目安とします。また、NHKロシア語講座（ラジオ）やインターネットなどでロシア映画や歌、ロシア関連のニュースを聴くなど、日頃からロシア語に触れてみましょう。

【テキスト（教科書）】

テキストは、適時プリントを配布します。

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

【参考書】

佐藤純一『NHK 新ロシア語入門』NHK出版、2001年

『大学のロシア語1』沼野恭子著、東京外国語大学出版会、2013年、¥3520

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み、単語ミニテストなど）70%、提出物の評価（課題や宿題等の提出）30%で評価します。課題は、文法の練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声も提出してもらい、その評価も加味する予定です。

【学生の意見等からの気づき】

新規授業のため、次年度以降に記載されます。皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めて参ります。

【その他の重要事項】

ロシア語既習者が対象です。

「検定」は、東京ロシア語学院主催のロシア語能力検定試験（毎年5月10月実施）を想定しておりますが、ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験（ТРКИ - テ・エル・カ・イ）受験の希望者が多い場合は、そちらに標準を合わせる予定です。

また、ロシア語能力検定試験4級受験希望者が多数の場合も4級対策を多めに行う予定です。

いずれかの検定試験を受験し、合格を目指してください。

なお、受講生の習熟度や社会情勢等により授業計画およびその進度は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

This course is for students who have completed Beginner Russian and are aiming for intermediate level or higher. Aiming to pass Level 3 of the Russian Language Proficiency Test, which can be written on your resume as a qualification. (Level 3 is equivalent to the CEFR A2 level of "grammar, reading comprehension, listening comprehension, conversation, and writing" ability.) Work to be done outside of class : students review basic grammar and work on past exam questions and preparation questions. Students prepare the textbooks and practice questions assigned in class in advance before attending class. Grading criteria : The evaluation will be based on 50% of the normal score (participation in class, study efforts such as preparation and review, vocabulary mini-test) and 50% of the evaluation of submitted materials (submission of assignments, homework, etc.).

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

検定のロシア語B

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級ロシア語を履修し終え中級以上を目指す学生のためのクラスです。資格として履歴書に書けるロシア語能力検定試験3級の合格を目指す。(3級はCEFR A2レベルの「文法・読解・聴解・会話・作文」力に相当します。)

春学期「検定のロシア語A」からの継続受講も可能です。

【到達目標】

毎年5月と10月に実施されるロシア語能力検定試験に合格するために、以下の目標を達成する。1) 基礎文法を習得し確実に自身のものとする。2) テキストの内容を的確に把握し検定試験問題が解ける。3) 様々なテキストを和訳できる。4) ロシア語のリスニング問題が解ける、5) テキストを早く美しく音読できる。6) ロシア語の実践会話の習得、7) 語彙を増やし和訳や露訳の力を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語能力検定試験3級の合格を目指し、基礎文法の習得を完成させ、対策問題や過去問などを解いていく。視聴覚教材で生きたロシア語に触れ、リスニングし、美しい発音でのリーディング練習を行う。単語や熟語のミニテストを適時行い、語彙力を強化していく。課題等に対するフィードバックは、授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、基礎文法の復習	オリエンテーション、既習の教科書での基礎文法の復習
第2回	名詞と人称代名詞	名詞の性別と複数形、人称代名詞、名詞の格変化
第3回	形容詞、所有代名詞と指示代名詞	形容詞、所有代名詞と指示代名詞、その格変化
第4回	動詞（時制の表現）	動詞（現在人称変化、過去形、未来形、完了体）
第5回	副詞、無人称文、テキスト読解	副詞、無人称文、テキスト読解
第6回	時制を表す表現、疑問詞	時制を表す表現、疑問詞とその返答
第7回	運動の動詞	1) 運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）2) 「(歩いて・乗り物で) 運ぶ」「連れて行く」
第8回	動詞の命令形	3 パターンの命令形（完了体・不完了体含む）
第9回	比較級	主に単一比較級
第10回	関係代名詞	関係代名詞、関係副詞、接続詞
第11回	数詞（主格・対格）	数詞（数詞と名詞の変化）
第12回	リーディング	リーディング練習（アクセント記号の付いていないテキスト）
第13回	リスニング	リスニング（過去問を時間内で解く練習）
第14回	和文露訳	和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語学習の成果としてロシア語能力検定試験合格を目指した準備を進めて下さい。基礎文法を復習し、過去問題と対策問題に取り組んでいきましょう。授業で指定されたテキストや練習問題は事前に準備を済ませてから授業に臨んでください。

本科目は毎回2時間の予習・復習を目安とします。また、NHKロシア語講座（ラジオ）やインターネットなどでロシア映画や歌、ロシア関連のニュースを聴くなど、日頃からロシア語に触れてみましょう。

【テキスト（教科書）】

テキストは、適時プリントを配布します。

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

【参考書】

佐藤純一『NHK 新ロシア語入門』NHK出版、2001年

『大学のロシア語1』沼野恭子著、東京外国語大学出版会、2013年、¥3520

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み）が70%、課題への回答やミニテストの評価30%の割合です。課題は、文法の練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声提出してもらい、その評価も加味する予定です。

【学生の意見等からの気づき】

新規授業のため、次年度以降に記載されます。皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めていきます。

【その他の重要事項】

ロシア語既習者が対象です。

「検定」は、東京ロシア語学院主催のロシア語能力検定試験（毎年5月10月実施）を想定しておりますが、ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験（ТРКИ - テ・エル・カ・イ）受験の希望者が多い場合は、そちらに標準を合わせる予定です。

また、ロシア語能力検定試験4級受験希望者が多数の場合も4級対策を多めに行う予定です。

いずれかの検定試験を受験し、合格を目指してください。

なお、受講生の習熟度や社会情勢等により授業計画およびその進度は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

This course is for students who have completed Beginner Russian and are aiming for intermediate level or higher. Aiming to pass Level 3 of the Russian Language Proficiency Test, which can be written on your resume as a qualification. (Level 3 is equivalent to the CEFR A2 level of "grammar, reading comprehension, listening comprehension, conversation, and writing" ability.) Work to be done outside of class : students review basic grammar and work on past exam questions and preparation questions. Students prepare the textbooks and practice questions assigned in class in advance before attending class. Grading criteria : The evaluation will be based on 50% of the normal score (participation in class, study efforts such as preparation and review, vocabulary mini-test) and 50% of the evaluation of submitted materials (submission of assignments, homework, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で習った内容をしっかり定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国の文化・風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・小テスト② ・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

*教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子市著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么？

第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」
第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について
第9回	第十一課 北京欢迎你	・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食
第12回	第十三課 中国的民族	・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

*教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。

（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書と授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話を行うことにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	発音と基礎文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第2課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間復習	中間テスト・会話の発表等
8	第6課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第7課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第8課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第9課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第10課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	第6課～第10課の復習	会話の発表・補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」杉野元子・黄漢青著 白帝社 2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は必ず「補充ドリル」がついているテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話を行うことにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期末試験の総括と第11課	新出語句・文法・本文・ドリル
2	第12課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
3	第13課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第14課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第15課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第11課～第15課の復習	会話・補充ドリル
7	中間試験	筆記試験
8	第16課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第17課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
10	第18課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
11	第19課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
12	第20課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
13	第16課～第20課の復習	会話・補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は、必ず「補充ドリル」がついたテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following
Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%),
in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題提出 授業への参加度 30 % 期末試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題、授業への参加度30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語 3 I 2017年度以降入学者		
柴崎 公美子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火1/Tue.1 単位数：1単位 その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。		
【到達目標】 一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定4級およびHSK3級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。 ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力 ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力 ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力 ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】 指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け2週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。 ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習 ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。 ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。 ・指示された課題は必ず取り組んでください。 ・課題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などを説明します。中国語リテラシーについてもお話します。
2	第12課 你是什么時候回来的？ Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第12課 你是什么時候回来的？ Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈
4	第13課 我正在写什么呢 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など
5	第13課 我正在写什么呢 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第14課 下雨了 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第14課 下雨了 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「不能～」・「除了～以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第15課 我怎么样来看 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	兼語文(1)、可能補語、禁止文など
9	第15課 我怎么样来看 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第16課 把以前的考一做 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	形容詞の重ね形、完了の「了」、処置文など
11	第16課 把以前的考一做 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「越～越……」、「不管～」、本文のリスニングと解釈
12	第17課 小心！后面来了一个 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	存現文、疑問詞の呼応など
13	第17課 小心！后面来了一个 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「差(一)点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。 【予習】 「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。 ・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。 【復習】 「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させたうえでテストに取り組む。これは課題となります。 【テキスト（教科書）】 『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）。		

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。
 一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%、課題の達成度+平常点（予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+平常点＝70%に変更し総合的に判断することとします）

配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に応じて評価レベルが下がります。

また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみなします。

提出課題についての注意：

オンラインドリル（Qizlet）以外に提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

- ①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。
- ②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い＝成績の低評価につながります。
- ③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。
- ④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。
- ⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【その他の重要事項】

受講において考慮すべきことがあれば遠慮なくご相談ください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, homework and in class contribution: 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。

【到達目標】

一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定4級およびHSK3級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。

- ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力
- ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力
- ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力
- ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け2週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。

- ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。
- ・指示された課題は必ず取り組んでください。
- ・課題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第18課 他的自行☒ 被人撞坏了	受身文、意味上の受身文など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
2	第18課 他的自行☒ 被人撞坏了	「比」と様態補語、結果補語の「☒」「成」、本文のリスニングと Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
3	第19課 “☒☒”和“打工”的性☒不同	「算」、複合方向補語の派生義など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習

4	第19課 “☒☒”和“打工”的性☒不同	「不但～而且……」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
5	第20課 有人告☒我 他生病了	兼語文(2)、「只有～才……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
6	第20課 有人告☒我 他生病了	「有的～有的……」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
7	第21課 “胡同”像迷☒一☒	さまざまな可能補語、「既然～就……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
8	第21課 “胡同”像迷☒一☒	「比」と動詞フレーズ、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
9	第22課 春☒的☒票 既不便宜又不好☒	「就是/即使～也……」、「既～又……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
10	第22課 春☒的☒票 既不便宜又不好☒	「并不」、「白」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
11	第23課 学分没有白修的	復習(その1)動詞述語文・形容詞述語文など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
12	第23課 学分没有白修的	復習(その2)疑問文・アスペクト、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
13	第24課 下次再会	復習(その3)補語・さまざまな文型など Step1の単語・文法学習 Step3の単語・文法学習
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験 末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。

【予習】「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。

・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。

【復習】「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させようとテストに取り組む。これは課題となります。

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%、課題の達成度＋平常点（小テスト、予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題＋平常点＝70%に変更し総合的に判断することとします）

配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に依りて評価レベルが下がります。

また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみなします。

提出課題についての注意：

オンラインドリル（Quizlet）以外に、提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。

②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い＝成績の低評価につながります。

③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。

④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。

⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。

・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。

・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, homework and in class contribution: 50%

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト【初級復習Ⅰ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一 日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト【初級復習Ⅱ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習Ⅲ・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。
復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

*欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary /grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity /oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。
基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用する。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半] ・チェックテストを返却・FB
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならぬ」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業進捗やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

*欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末期の一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくることを。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary /grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity /oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	発音と基礎文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第2課	会話・文法・本文・ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間復習	中間テスト・会話の発表等
8	第6課	文法・本文・ドリル・会話
9	第7課	文法・本文・ドリル・会話
10	第8課	文法・本文・ドリル・会話
11	第9課	文法・本文・ドリル・会話
12	第10課	文法・本文・ドリル・会話
13	第6課～第10課の復習	会話の発表・補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」 杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は必ず「補充ドリル」がついているテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following
Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%),
in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話を行うことにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期末試験の総括と第11課	新出語句・文法・本文・ドリル
2	第12課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
3	第13課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第14課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第15課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第11課～第15課の復習	会話・補充ドリル
7	中間試験	筆記試験
8	第16課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第17課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
10	第18課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
11	第19課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
12	第20課	新出語句・文法・本文・ドリル・会話
13	第16課～第20課の復習	会話・補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は、必ず「補充ドリル」がついたテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following
Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。それに加えて、中級レベルの読解力と現代中国への理解を深めます。

【到達目標】

- ・中国語中級の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得
- ・中国語中級の読解力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方ほか
第2回	第一課 大学生活	動詞＋“在”ほかポイント
第3回	第一課 大学生活	前回の続き・復習とドリル
第4回	第二課 大学生のタイムスケジュール	アスペクト助詞の“了”ほかポイント
第5回	第二課 大学生のタイムスケジュール	前回の続き・復習とドリル
第6回	第三課 朝食	文末に置く語気助詞“了”ほかポイント
第7回	第三課 朝食	前回の続き・復習とドリル
第8回	第四課 お茶のさまざま	“以…”ほかポイント
第9回	第四課 お茶のさまざま	前回の続き・復習とドリル
第10回	第五課 食（習慣）	“越来越…”ほかポイント
第11回	第五課 食（習慣）	前回の続き・復習とドリル
第12回	第六課 生活習慣	前置詞“把”ほかポイント
第13回	第六課 生活習慣	前回の続き・復習とドリル
第14回	第七課 交通（予定より速く進んだ場合は期末試験）	“不是…而是…”ほかポイント

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

陳淑梅ほか著『ことばと文化“一挙兩得”中級中国語』、朝日出版社、2,695円
ISBN: 978-4-255-45289-0

【参考書】

守屋宏則ほか著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、東方書店、2,640円
小学館『中日辞典』第3版、8,250円
スマホの辞書アプリなら、日中辞典も合わせて4,100円

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%＋平常点（小テスト）40%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は空いた時間にビデオをお見せするなど、できるだけ中国事情・文化に関わるお話もしました。好評だったので、今年も続けるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありませんが、ガイダンス時にご説明します。

【Outline (in English)】

This course introduces Chinese Conversation.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand intermediate grammar matters and to learn daily Chinese conversation and common expressions.

【Learning activities outside of the classroom】

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60 %, in-class contribution: 40 %.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。それに加えて、中級レベルの読解力と現代中国への理解を深めます。

【到達目標】

- ・中国語中級の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得
- ・中国語中級の読解力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第八課 学園祭	“是～的”構文ほかポイント
第2回	第八課 学園祭	前回の続き・復習とドリル
第3回	第九課 伝統的なスポーツ	受身文ほかポイント
第4回	第九課 伝統的なスポーツ	前回の続き・復習とドリル
第5回	第十課 歌舞伎と京劇	可能補語ほかポイント
第6回	第十課 歌舞伎と京劇	前回の続き・復習とドリル
第7回	第十一課 方言	“只要～就…”ほかポイント
第8回	第十一課 方言	前回の続き・復習とドリル
第9回	第十二課 会食時の習慣	動詞＋回数ほかポイント
第10回	第十二課 会食時の習慣	前回の続き・復習とドリル
第11回	第十三課 年越し	“哪怕～也…”ほかポイント
第12回	第十三課 年越し	前回の続き・復習とドリル
第13回	第十四課 若者たちの結婚事情	“有”連動文ほかポイント
第14回	第十四課 若者たちの結婚事情（予定より速く進んだ場合は期末試験）	前回の続き・復習とドリル

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

陳淑梅ほか編『ことばと文化“一挙兩得”中級中国語』、朝日出版社、2,695円

ISBN: 978-4-255-45289-0

【参考書】

守屋宏則ほか著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』東方書店、2,640円

小学館中日辞典第3版、8,250円

スマホの辞書アプリなら、日中辞典も合わせて4,100円

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%＋平常点（小テスト）40%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は空いた時間にはビデオをお見せするなど、できるだけ中国事情・文化に関わるお話もしました。好評だったので、今年も続けるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありませんが、ガイダンス時にご説明します。

【Outline (in English)】

This course introduces Chinese Conversation.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand intermediate grammar matters and to learn daily Chinese conversation and common expressions.

【Learning activities outside of the classroom】

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60 %, in-class contribution: 40 %.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語 3 I		2017年度以降入学者
張 玉萍		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題を確認作業を行なう。

②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。

③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、成績評価の基準、履修上の注意事項などについての説明。中国語レベルの確認
2	第1課 初次见面 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①名詞の前の“的” ②前置詞“在” ③“多”+動詞の重ね型 ◆練習問題を完成・確認する。
3	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
4	第2課 家庭 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①比較用法 ②“每～都…” ③動詞・形容詞の前の“地” ◆練習問題を完成・確認する。
5	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
6	第3課 互相见面 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“除了…以外…” ②疑問詞の呼応表現 ③“一点儿也不/没…” ◆練習問題を完成・確認する。

7	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
8	第4課 逛街 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①使役同士“让” ②助詞“着” ③複合方向補語 ◆練習問題を完成・確認する。
9	◆総合練習1 会話練習、表現練習	◆総合練習1を完成・確認する。 質疑応答
10	第5課 温泉旅行 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“是…的” ②“因…所以…” ③結果補語 ◆練習問題を完成・確認する。
11	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
12	第6課 我的爱好 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“什么的” ②“一～就…” ③可能補語(1) ④“只要～就…” ◆練習問題を完成・確認する。
13	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%+期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50%+ final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

張 玉萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。

②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。

③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 交朋友 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①数量補語 ②副詞“才” ③状態補語 ◆練習問題を完成・確認する。
2	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
3	第8課 聚餐 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①疑問詞の不定用法 ②“无…都…” ③“…都…” ④可能補語(2) ◆練習問題を完成・確認する。
4	◆総合練習2 会話練習、表現練習	◆総合練習2を完成・確認する。 質疑応答
5	第9課 问路 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“不是…就是…” ②反語文“不是…问路” ③“再也不…了” ④助動詞“会” ◆練習問題を完成・確認する。
6	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

7	第10課 打工 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“虽然…但是…” ②“不但…而且…” ③離合詞 ④“有”の兼語文 ◆練習問題を完成・確認する。
8	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
9	第11課 寒假 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“就要…了” ②副詞“就” ③副詞“都” ◆練習問題を完成・確認する。
10	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
11	第12課 留学 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①助動詞“要” ②“把”構文 ③“…来…” ④“有”の連動文 ◆練習問題を完成・確認する。
12	◆総合練習3 会話練習、表現練習	◆総合練習3を完成・確認する。 質疑応答
13	質疑応答、まとめ、 到達度チェック	スピーチ発表などにより判定
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によ って、授業の内容 や進度が多少変更と なる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%+期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese.

The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50%+ final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
木村 佳代子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 1/Fri.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語 1」「中国語 2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課（助動詞、主述述語文の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第1課（トレーニング1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第2課（”的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第2課（トレーニング2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第3課（連動文、”是～的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第3課（トレーニング3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第1課～第3課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第8回	第4課（”了”の3つの用法、副詞”就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第4課（トレーニング4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第5課（様態補語、推量の表現、「仮定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第5課（トレーニング5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第1課～第3課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第4課、第5課）	期末試験に向けた復習と練習。
第14回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

期末試験40％、授業への参加度60％を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

300番台総合科目、配当年次2年4年

中国語コミュニケーション中級A・B

中国語視聴覚中級A・B

中国語作文中級A・B

中国語講読中級A・B

中国語翻訳・通訳A・B

資格中国語上級A・B

200番台 LA科目 配当年次1年4年

中国語の世界LA・LB

200番台 LA科目 配当年次2年4年

中国の文化と社会LA・LB

中国の文化と社会LC・LD

300番台 総合科目 配当年次2年4年

教養ゼミⅠ・Ⅱ

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語1」「中国語2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課（結果補語（1）、副詞“有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第6課（トレーニング6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第7課（存現文、主述句の主語、二つの“了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第7課（トレーニング7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第8課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第8課（トレーニング8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第6課～第8課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第8回	第9課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第9課（トレーニング9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第10課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第10課（トレーニング10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第6課～第8課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第9課、第10課）	期末試験に向けた復習と練習。

第14回 試験・まとめと解説 朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度60%、期末試験40%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

300番台総合科目、配当年次2年4年

中国語コミュニケーション中級A・B

中国語視聴覚中級A・B

中国語作文中級A・B

中国語講読中級A・B

中国語翻訳・通訳A・B

資格中国語上級A・B

200番台 LA科目 配当年次1年4年

中国語の世界LA・LB

200番台 LA科目 配当年次2年4年

中国の文化と社会LA・LB

中国の文化と社会LC・LD

300番台 総合科目 配当年次2年4年

教養ゼミⅠ・Ⅱ

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 4/Fri.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で習った内容をしっかり定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国の文化・風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・小テスト② ・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

*教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子市著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么？

第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」
第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について
第9回	第十一課 北京欢迎你	・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食
第12回	第十三課 中国的民族	・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

*教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。

（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書と授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
木村 佳代子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：金 3/Fri.3
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語 1」「中国語 2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課（助動詞、主述述語文の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第1課（トレーニング1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第2課（”的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第2課（トレーニング2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第3課（連動文、”是～的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第3課（トレーニング3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第1課～第3課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第8回	第4課（”了”の3つの用法、副詞”就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第4課（トレーニング4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第5課（様態補語、推量の表現、「仮定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第5課（トレーニング5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第1課～第3課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第4課、第5課）	期末試験に向けた復習と練習。
第14回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

期末試験40％、授業への参加度60％を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

300番台総合科目、配当年次2年4年

中国語コミュニケーション中級A・B

中国語視聴覚中級A・B

中国語作文中級A・B

中国語講読中級A・B

中国語翻訳・通訳A・B

資格中国語上級A・B

200番台 LA科目 配当年次1年4年

中国語の世界LA・LB

200番台 LA科目 配当年次2年4年

中国の文化と社会LA・LB

中国の文化と社会LC・LD

300番台 総合科目 配当年次2年4年

教養ゼミⅠ・Ⅱ

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語1」「中国語2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課（結果補語（1）、副詞“有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第6課（トレーニング6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第7課（存現文、主述句の主語、二つの“了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第7課（トレーニング7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第8課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第8課（トレーニング8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第6課～第8課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第8回	第9課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第9課（トレーニング9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第10課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第10課（トレーニング10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第6課～第8課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第9課、第10課）	期末試験に向けた復習と練習。

第14回 試験・まとめと解説 朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度60%、期末試験40%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

300番台総合科目、配当年次2年4年

中国語コミュニケーション中級A・B

中国語視聴覚中級A・B

中国語作文中級A・B

中国語講読中級A・B

中国語翻訳・通訳A・B

資格中国語上級A・B

200番台 LA科目 配当年次1年4年

中国語の世界LA・LB

200番台 LA科目 配当年次2年4年

中国の文化と社会LA・LB

中国の文化と社会LC・LD

300番台 総合科目 配当年次2年4年

教養ゼミⅠ・Ⅱ

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木1/Thu.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で習った内容をしっかり定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国の文化・風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・小テスト② ・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

＊教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子市著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么？

第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」
第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について
第9回	第十一課 北京欢迎你	・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食
第12回	第十三課 中国的民族	・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

*教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。

（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書と授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語 3 I 2017年度以降入学者		
柴崎 公美子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木1/Thu.1		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。		
【到達目標】 一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定4級およびHSK3級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。 ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力 ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力 ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力 ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】 指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け2週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。 ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習 ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。 ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。 ・指示された課題は必ず取り組んでください。 ・課題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などを説明します。中国語リテラシーについてもお話します。
2	第12課 你是什么時候回来的？ Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第12課 你是什么時候回来的？ Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈
4	第13課 我正在写什么呢 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など
5	第13課 我正在写什么呢 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第14課 下雨了 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第14課 下雨了 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「不能～」・「除了～以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第15課 我怎么看 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	兼語文(1)、可能補語、禁止文など
9	第15課 我怎么看 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第16課 把以前的考 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	形容詞の重ね形、完了の「了」、処置文など
11	第16課 把以前的考 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「越～越……」、「不管～」、本文のリスニングと解釈
12	第17課 小心！后面来了一个 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	存現文、疑問詞の呼応など
13	第17課 小心！后面来了一个 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「差(一)点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験末試験
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。 【予習】 「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。 ・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。 【復習】 「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させたうえでテストに取り組む。これは課題となります。 【テキスト（教科書）】 『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）。		

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。
 一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%、課題の達成度+平常点（予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+平常点＝70%に変更し総合的に判断することとします）

配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に応じて評価レベルが下がります。

また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみなします。

提出課題についての注意：

オンラインドリル（Qizlet）以外に提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

- ①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。
- ②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い＝成績の低評価につながります。
- ③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。
- ④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。
- ⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【その他の重要事項】

受講において考慮すべきことがあれば遠慮なくご相談ください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, homework and in class contribution: 50%

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）		
中国語 3Ⅱ		2017年度以降入学者
柴崎 公美子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木 1/Thu.1		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。		
【到達目標】		
一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定4級およびHSK3級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。		
・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力		
・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力		
・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力		
・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け2週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。		
①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習		
・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。		
・練習問題は授業時間内に実施、解説します。		
・指示された課題は必ず取り組んでください。		
・課題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	第18課 他的自行☒ 被人撞坏了	受身文、意味上の受身文など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
2	第18課 他的自行☒ 被人撞坏了	「比」と様態補語、結果補語の「☒」「成」、本文のリスニングと Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
3	第19課 “☒☒”和“打工”的性☒不同	「算」、複合方向補語の派生義など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
4	第19課 “☒☒”和“打工”的性☒不同	「不但～而且……」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
5	第20課 有人告☒我 他生病了	兼語文(2)、「只有～才……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
6	第20課 有人告☒我 他生病了	「有的～有的……」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
7	第21課 “胡同”像迷☒一☒	さまざまな可能補語、「既然～就……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
8	第21課 “胡同”像迷☒一☒	「比」と動詞フレーズ、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
9	第22課 春☒的☒票 既不便宜又不好☒	「就是/即使～也……」、「既～又……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
10	第22課 春☒的☒票 既不便宜又不好☒	「并不」、「白」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
11	第23課 学分没有白修的	復習(その1)動詞述語文・形容詞述語文など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
12	第23課 学分没有白修的	復習(その2)疑問文・アスペクト、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
13	第24課 下次再会	復習(その3)補語・さまざまな文型など Step1の単語・文法学習 Step3の単語・文法学習
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験 末試験
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。		
【予習】「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。		
・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。		
【復習】「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させようとテストに取り組む。これは課題となります。		

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%、課題の達成度＋平常点（小テスト、予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題＋平常点＝70%に変更し総合的に判断することとします）

配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に依りて評価レベルが下がります。

また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみなします。

提出課題についての注意：

オンラインドリル（Quizlet）以外に、提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。

②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い＝成績の低評価につながります。

③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。

④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。

⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。

・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。

・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, homework and in class contribution: 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章で書かれた中国語を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的にレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を高める。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	諸事情の確認	シラバスの配布、注意事項の伝達、及び簡単な自己紹介
2	第1課 発音	ピンインの復習
3	日常用語	あいさつなどの日常用語を練習する
4	第2課 人称代名詞と指示代名詞	人称代名詞と指示代名詞を確認する
5	第3課 述語	動詞と形容詞
6	第4課 受け答え	「是」その他
7	第5課 場所と方位	在と有
8	第6課 数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語について勉強する
9	第7課 疑問文	ものの尋ね方
10	第8課 連用修飾語	副詞と時間詞
11	第9課 完了と変化	「了」の様々を知る
12	第10課 助動詞と前置詞構造	助動詞と前置詞構造
13	第11課 三量補語	数量、時量、動量補語
14	まとめ	第1～11課の筆記テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。
毎週1時間を目途に予習・復習をする。

【テキスト（教科書）】

教室にて配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験：60%

小テスト：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

日常会話も覚える。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語ⅢⅡ

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
 - 2、聞き取りの練習
 - 3、発音練習
- 課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第12課 持続態と進行形	持続態と進行形について勉強する
2	第13課 程度補語	程度補語（様態補語）
3	第14課 比較と連動	比較文と連動文
4	第15課 構文分析	構文と助動詞の補説
5	第16課 強調と重複	強調構文と重複表現
6	第17課 方向補語	方向補語の用法
7	第18課 複合方向補語	複合方向補語の派生的用法
8	第19課 結果補語	結果補語の説明
9	第20課 可能補語	可能補語の説明
10	第21課 使役と受身	使役と受身を確認し、比較する
11	第22課 処置と倒置	処置文と倒置文
12	第23課 複文一	複文について勉強する
13	第24課 複文二	接続詞を確認する
14	まとめ	第12～24課の筆記テスト・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。
毎週1時間を目途に予習・復習する。

【テキスト（教科書）】

教室にて教材を配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

小テスト：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

日常会話も覚える。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語 3 I		2017年度以降入学者
張 玉萍		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月 4/Mon.4		
単位数：1 単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題を確認作業を行なう。

②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。

③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、成績評価の基準、履修上の注意事項などについての説明。中国語レベルの確認
2	第1課 初次见面 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①名詞の前の“的” ②前置詞“在” ③“多”+動詞の重ね型 ◆練習問題を完成・確認する。
3	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
4	第2課 家庭 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①比較用法 ②“每～都…” ③動詞・形容詞の前の“地” ◆練習問題を完成・確認する。
5	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
6	第3課 互相见面 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“除了…以外…” ②疑問詞の呼応表現 ③“一点儿也不/没…” ◆練習問題を完成・確認する。

7	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
8	第4課 逛街 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①使役同士“让” ②助詞“着” ③複合方向補語 ◆練習問題を完成・確認する。
9	◆総合練習1 会話練習、表現練習	◆総合練習1を完成・確認する。 質疑応答
10	第5課 温泉旅行 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“是…的” ②“因…所以…” ③結果補語 ◆練習問題を完成・確認する。
11	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
12	第6課 我的爱好 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“什么的” ②“一～就…” ③可能補語(1) ④“只要～就…” ◆練習問題を完成・確認する。
13	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%+期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50%+ final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

張 玉萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行う。

②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。

③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 交朋友 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①数量補語 ②副詞“才” ③様態補語 ◆練習問題を完成・確認する。
2	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
3	第8課 聚餐 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①疑問詞の不定用法 ②“无…～都…” ③“…～都…” ④可能補語(2) ◆練習問題を完成・確認する。
4	◆総合練習2 会話練習、表現練習	◆総合練習2を完成・確認する。 質疑応答
5	第9課 …… 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“不是～就是…” ②反語文“不是～…” ③“再也～了” ④助動詞“会” ◆練習問題を完成・確認する。
6	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

7	第10課 打工 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“虽然～但是…” ②“不但～而且…” ③離合詞 ④“有”の兼語文 ◆練習問題を完成・確認する。
8	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	◆総合練習1 ①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
9	第11課 寒假 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“就要～了” ②副詞“就” ③副詞“都” ◆練習問題を完成・確認する。
10	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
11	第12課 留学 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①助動詞“要” ②“把”構文 ③“…～来…” ④“有”の連動文 ◆練習問題を完成・確認する。
12	◆総合練習3 会話練習、表現練習	◆総合練習3を完成・確認する。 質疑応答
13	質疑応答、まとめ、 到達度チェック	スピーチ発表などにより判定
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%+期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50%+ final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひととおりの基礎を学んだ上で一歩進んだ準中級の会話のテキストの読解・練習を通して、中国語の日常生活の基本語彙や基本文法を学習します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

【到達目標】

中国語の基本語彙と基本文法を確実に理解し、準中級から中級レベルの中国語の表現能力を身につけることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語と要点（「除了～以外…」など5項目）の説明
2	第1課	「 ☒ 好」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語と要点（「可不是嘛」など5項目）の説明
4	第2課	「季 ☒ 」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語と要点（「使役文- ☒ 」など5項目）の説明
6	第3課	「道歉」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語と要点（「会～的」など5項目）の説明
9	第4課	「 ☒ 客」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語と要点（「 ☒ ～都/也」など5項目）の説明
11	第5課	「 ☒ 物」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語と要点（「既～也(又)…」など5項目）の説明
13	第6課	「交友」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子『中国語口語コンプリート ——中級レベル——』、朝日出版社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30％、中間試験30％、期末試験40％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語Ⅲ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひととおりの基礎を学んだ上で一歩進んだ準中級の会話のテキストの読解・練習を通して、中国語の日常生活の基本語彙や基本文法を学習します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

【到達目標】

中国語の基本語彙と基本文法を確実に理解し、準中級から中級レベルの中国語の表現能力を身につけることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語と要点（「如果～就…」など5項目）の説明
2	第7課	「 ☐ ☐ ☐ 」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語と要点（「一点儿～都/也+否定形」など5項目）の説明
4	第8課	「看病」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語と要点（「差点儿～」など5項目）の説明
6	第9課	「看比 ☐ 」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語と要点（「有的～有的～」など5項目）の説明
9	第10課	「健身」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語と要点（「趁着～」など5項目）の説明
11	第11課	「交流」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語と要点（「非～不可」など5項目）の説明
13	第12課	「旅游 ☐ 划」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子『中国語口語コンプリート——中級レベル——』、朝日出版社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30％、中間試験30％、期末試験40％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、コミュニケーションに必要な語彙を増やし、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。

【到達目標】

基礎的な文法に関するスキルを身に付ける。

一般的な会話ができる。

簡単な文章の内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせてつづ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第1課	新出単語・ポイント 除了～以外、様態補語、 一～就…、否定～疑問詞、要是 ～(的話),(就)…
③	第1課	第1課の本文・練習問題
④	第2課	新出単語・ポイント 可不是嘛、不但～而且…、難到 ～嗎？ 比起～来、A是A～、不 過…
⑤	第2課	第2課の本文・練習問題
⑥	第3課	新出単語・ポイント 使役文—讓、是～的、省得～、 疑問詞+都/也、 該/應該
⑦	第3課	第3課の本文・練習問題
⑧	第4課	新出単語・ポイント 会～的、結果補語、根据～、以 ～為…、只要～(就)…
⑨	第4課	第4課の本文・練習問題
⑩	第5課	新出単語・ポイント 連～都/也、不是～嗎？ 不是～ 就是…、跟～不一樣、再～也…
⑪	第5課	第5課の本文・練習問題
⑫	第6課	新出単語・ポイント 既～也(又)…、不僅～而且…、 不管～都/也…、助動詞“得”、na 能～
⑬	第6課	第6課の本文・練習問題
⑭	復習、試験、まとめ	第1～6課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。

毎日最低20分ほどテキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子著 『中国語口語コンプリート』 朝日出版社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見やご要望が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Based on what you have learned in the first year, the purpose is to further solidify the basics and cultivate reading comprehension, expressiveness, etc. that will lead to level up.

Acquire basic grammar skills.

You can have a general conversation.

Can understand the contents of simple sentences.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study /review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の基礎を固めつつ、中国語のさらなるスキルアップを目標とする。

【到達目標】

日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。
読解力や表現力などの更なるスキルアップを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

発音および読解の練習を中心としつつ、徐々に習熟度を高めるよう授業を進めていく。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	春学期期末テストの解説と復習
②	第7課	新出単語・ポイント 如果～就…、寧可～也…、可能補語、雖然～但是…、按照～
③	第7課	第7課の本文・練習問題
④	第8課	新出単語・ポイント 一点儿～都/也+否定形、与其～(還)不如…、要不然～、要麼～要麼…、即使～也…
⑤	第8課	第8課の本文・練習問題！
⑥	第9課	新出単語・ポイント 差点儿～、之所以～是因為…、自从～以後、無論如何～(也/都)、据说～
⑦	第9課	第9課の本文・練習問題
⑧	第10課	新出単語・ポイント 有的～有的…、只有～才…、難怪～、無論～都/也…、併不/併没～
⑨	第10課	第10課の本文・練習問題
⑩	第11課	新出単語・ポイント 趁着～、至於～、疑問詞～疑問詞…、靠～、動詞+起来
⑪	第11課	第11課の本文・練習問題
⑫	第12課	新出単語・ポイント 非～不可、对～來說、一方面～另一方面…、除非～否則…、既然～(就)…、由～(来)
⑬	第12課	第12課の本文・練習問題
⑭	復習、試験、まとめ	第7～12課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低20分テキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子 『中国語口語コンプリート』 朝日出版社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と平常点（学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など）50％に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Aim to further improve Chinese skills while solidifying the basics of grammatical matters.

You can have daily conversation.

Can write simple sentences.

Aim to further improve reading comprehension and expressiveness.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study /review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（翻訳練習）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課・自己紹介 I ①	動作の目的と方式を表わす表現
第2回	第2課・自己紹介 I ②	好き嫌い・心配を表わす表現
第3回	第3課・自己紹介 I ③	動作程度・状態を表わす表現 (程度・様態補語)
第4回	第4課・自己紹介 I ④	可能・能力を表わす表現
第5回	復習とテスト	第1課～第4課・自己紹介 I ①～④の復習とテスト
第6回	第5課・自己紹介 I ⑤	動作の結果を表わす表現（結果補語）
第7回	第6課・自己紹介 I ⑥	動作の方向を表わす表現（方向補語）
第8回	第7課・自己紹介 I ⑦	動作の結果と方向を表わす表現（可能補語）
第9回	第8課・自己紹介 I ⑧	使役を表わす表現
10回	復習とテスト	第5課～第8課・自己紹介 I ⑤～⑧の復習とテスト
第11回	第9課・自己紹介 I ⑨	受身を表わす表現
第12回	第10課・自己紹介 I ⑩	“把”の構文
第13回	総合復習	第9課～第10課・自己紹介 I ⑨～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	試験（口頭試験：自己紹介・筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15％）と小テストの平常点（15％）、期末試験の成績（70％）などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.”

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、これまで学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（複文）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」「話せる」「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第11課・自己紹介Ⅱ①	存在と出現を表わす表現（存現文）
第2回	第12課・自己紹介Ⅱ②	動作の時間順・前後順を表わす表現
第3回	第12課・自己紹介Ⅱ③	動作の時間順・前後順を表わす表現
第4回	第13課・自己紹介Ⅱ④	因果関係を表わす表現
第5回	第13課・自己紹介Ⅱ⑤	因果関係を表わす表現
第6回	復習とテスト	第11課～第13課・自己紹介Ⅱ①～⑤の復習とテスト
第7回	第14課・自己紹介Ⅱ⑥	仮定関係を表わす表現
第8回	第14課・自己紹介Ⅱ⑦	仮定関係を表わす表現
第9回	第15課・自己紹介Ⅱ⑧	逆接関係を表わす表現
10回	第15課・自己紹介Ⅱ⑨	逆接関係を表わす表現
第11回	第16課・自己紹介Ⅱ⑩	累加関係を表わす表現
第12回	第16課・自己紹介Ⅱ⑩	累加関係を表わす表現
第13回	復習とテスト	第14課～第16課・自己紹介Ⅱ⑥～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	試験（口頭試験：自己紹介・筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15%）と小テストの平常点（15%）、期末試験の成績（70%）などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】

春学期終了時には、文法・ヒアリングにおいてHSK 3級、中国語検定4級程度の能力を確実に習得し運用できること、少し複雑な構文を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進めます。進行や課題は学習支援システムでも告知します。毎回の授業は担当者が講義スタイルで内容を解説したのち、中国語による表現をクラス全体で反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙の理解、トピックのことばの文化背景などについて、各自が中国語で表現する実践練習を行います。

【課題へのフィードバック】

文法に関しては数回に一度個別の回答を回収し授業時間に例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削した後、返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎で学習したことの復習①特に4文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第2回	基礎で学習したことの復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第3回	第1課(1)“中国的早餐”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①方向補語②連動文③変化を示す「了」④掃
第4回	第1課(2)“中国的早餐”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	食事にまつわる表現とヒアリング・練習問題を行う。
第5回	第2課(1)“坐出租车”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①結果補語②仮定の表現③助動詞まとめ④修飾語を構成する語
第6回	第2課(2)“坐出租车”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	新しく学習した文例を用い、実際の交通状況について簡単な作文を作成する。
第7回	第3課(1)“昂貴的咖啡”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①兼語文②越来越～③可能補語の特殊な否定形④対～來說

第8回	第3課(2)“昂貴的咖啡”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第1～第3課の補足と復習・ヒアリング問題
第9回	第1～3課までの習得度の確認。第4課(1)“AA制和AB制”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①受け身・使役表現のまとめ②語気助詞③禁止の表現④不但～還～
第10回	第4課(2)“AA制和AB制”短文の理解と表現練習、練習問題。第5課(1)“拉肚子”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	第4課、第5課の内容復習し、練習問題を行う。
第11回	第5課短文の理解と表現練習、練習問題。第6課(1)“网购”の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①不定の表現②不是～而是～③等～再～④把構文の練習
第12回	学習した中級構文についてのまとめ	第5課、第6課のヒアリングと作文を行う。
第13回	第4から第6課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第4課から第6課の造句部分の復習。
第14回	春学期の到達度の確認・文法事項全体の復習	春学期進行分の到達度の確認と復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道—浅きから遠きへ—』改訂新版 準中級編
内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧 KINSEIDO 2024年
¥2400 + 税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%（課題提出や暗誦、教科書準拠のネットでの練習20%・授業への参加度10%）を総合して評価する。また、春学期においてはHSK 3・4級、中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。点数や合格級数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

個別の発音チェックの時間が十分にとれなかった点が改善点です。去年とは教科書が違いますが、多くの会話の実践練習や造句の機会が得られるように授業を進行する予定でいます。中国語検定4級問題を復習を兼ねてできたことと春学期の段階からHSKを受験した学生がいたことは良かった点です。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材をダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でない場合、教科書準拠のネット上の教材が使用できません。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%). Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）	
中国語 3Ⅱ	2017年度以降入学者
三田村 圭子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また造句の練習を通じ、より難度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、**HSK**や中国語検定試験に対応する能力と上級に進む上で必要な基礎力を養成する。

【到達目標】

基礎に基づき聴く能力・話す能力および読解力を高め、正しい中国語の発音、日常生活の基本語彙と基本文法を確実に理解し、基礎的な表現能力を身につけることを目標とする。具体的には、身のまわりの様々な場面を表現した中級レベルの語彙・文法で書かれた会話と短文、例文の学習によって、中国語の語彙を増やすとともに文法のしくみを理解し、様々な場面に相応しい表現でできる能力を培う。また、テキストの内容を通し文化背景についても客観的な知識を持つことを目標とする。文法に関しては**HSK**3級から4級レベル、中国語検定3級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、複雑な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し添削し特に文法に関しては授業時間に回答で誤りが多かった問題から解説する。発音に関しては各回の授業開始時に頻度の高いフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期までの復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第2回	第7課(1)“剩男、剩女”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①オの表現②怎么のまとめ③持续と進行のまとめ④即便⑤☒/☒了の用法
第3回	第7課(2)“剩男、剩女”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第7課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第4回	第8課(1)“大学生應該少打工，多學習”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①一～就～②離合詞③有を使つた兼語文④後置される介詞①
第5回	第8課(2)“大学生應該少打工，多學習”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第1回から4回までの練習の確認と自分の生活についての簡単な作文を書く。

第6回	第9課(1)“表示感謝的習慣”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①「また」に関する表現のまとめ②二重目的語と把構文③只有～才～④時量・動量補語の整理
第7回	第9課(2)“表示感謝的習慣”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第9課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第8回	第7課から第9課までの全体的な復習と到達度の確認	検定試験問題や小テストを行う。
第9回	第10課(1)“年輕人的就職觀”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①考②存現文まとめ③数字の表現④却と接続詞の整理
第10回	第10課(2)“年輕人的就職觀”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第10課の内容を踏まえてのヒアリングと造句
第11回	第11課(1)“月光族”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説と学習	①補語表現②会の用法の整理③只要～就～④疑問詞の呼応表現
第12回	第11課まで学習した構文を使った表現練習。第12課会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①後置される介詞②介詞まとめ③フレーズが目的語になる表現④竟然
第13回	第12課(2)“海外的漢語奇遇”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第10～12課までの総合復習
第14回	秋学期の学習到達度の確認。応用表現の総合復習	期末テスト。 第7課から第12課までを中心に。日常よく使われる表現の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は各1時間半を標準とする。秋学期は内容も難しくなるので、音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵のDVDを観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習は各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた外部試験問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道—浅きから遠きへ—』改訂新版 準中級編
内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧著 KINSEIDO 2024年
¥2400 + 税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%・小テスト30%・平常点30%（課題や教科書準拠の練習問題20%・授業への参加度10%）を総合して評価する。また**HSK**3・4級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。中国語検定試験3級・**HSK**4級以上の合格者は期末試験を免除し評価をSとする。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は余裕のある学生には若干物足りない内容だったかと思えます。今年度は教科書も変更しました。進捗が順調な学生には問題を追加できるよう補充練習が付いている教科書です。昨年度は学習到達度も大変良好でしたので実践的な練習の機会を増やすべきであったと認識しています。

【学生が準備すべき機器他】

音声ダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でないネット上での教科書準拠の練習問題ができません。

【Outline (in English)】**【Course outline/Learning Objectives】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one and a half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木3/Thu.3
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で習った内容をしっかり定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国の文化・風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・小テスト② ・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

*教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子市著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么？

第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」
第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について
第9回	第十一課 北京欢迎你	・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食
第12回	第十三課 中国的民族	・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第14回	期末試験	・試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（ISBN978-4-255-45215-9C1087）

*教科書は必ず授業時に持参すること。

【参考書】

・相原茂・石田知子・戸沼子子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、2016年

・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年

・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年

・中国語辞書（電子辞書可）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上に達した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出のために学習支援システムが利用できるパソコンまたはタブレットが必要。

（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

必ず教科書と授業関連資料を持って授業に臨むこと。

何か不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（翻訳練習）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課・自己紹介 I ①	動作の目的と方式を表わす表現
第2回	第2課・自己紹介 I ②	好き嫌い・心配を表わす表現
第3回	第3課・自己紹介 I ③	動作程度・状態を表わす表現 (程度・様態補語)
第4回	第4課・自己紹介 I ④	可能・能力を表わす表現
第5回	復習とテスト	第1課～第4課・自己紹介 I ①～④の復習とテスト
第6回	第5課・自己紹介 I ⑤	動作の結果を表わす表現（結果補語）
第7回	第6課・自己紹介 I ⑥	動作の方向を表わす表現（方向補語）
第8回	第7課・自己紹介 I ⑦	動作の結果と方向を表わす表現（可能補語）
第9回	第8課・自己紹介 I ⑧	使役を表わす表現
10回	復習とテスト	第5課～第8課・自己紹介 I ⑤～⑧の復習とテスト
第11回	第9課・自己紹介 I ⑨	受身を表わす表現
第12回	第10課・自己紹介 I ⑩	“把”の構文
第13回	総合復習	第9課～第10課・自己紹介 I ⑨～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	試験（口頭試験：自己紹介・筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15%）と小テストの平常点（15%）、期末試験の成績（70%）などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、これまで学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（複文）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」「話せる」「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第11課・自己紹介Ⅱ①	存在と出現を表わす表現（存現文）
第2回	第12課・自己紹介Ⅱ②	動作の時間順・前後順を表わす表現
第3回	第12課・自己紹介Ⅱ③	動作の時間順・前後順を表わす表現
第4回	第13課・自己紹介Ⅱ④	因果関係を表わす表現
第5回	第13課・自己紹介Ⅱ⑤	因果関係を表わす表現
第6回	復習とテスト	第11課～第13課・自己紹介Ⅱ①～⑤の復習とテスト
第7回	第14課・自己紹介Ⅱ⑥	仮定関係を表わす表現
第8回	第14課・自己紹介Ⅱ⑦	仮定関係を表わす表現
第9回	第15課・自己紹介Ⅱ⑧	逆接関係を表わす表現
10回	第15課・自己紹介Ⅱ⑨	逆接関係を表わす表現
第11回	第16課・自己紹介Ⅱ⑩	累加関係を表わす表現
第12回	第16課・自己紹介Ⅱ⑩	累加関係を表わす表現
第13回	復習とテスト	第14課～第16課・自己紹介Ⅱ⑥～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	試験（口頭試験：自己紹介・筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15%）と小テストの平常点（15%）、期末試験の成績（70%）などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）

中国語 3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト【初級復習Ⅰ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一 日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト【初級復習Ⅱ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習Ⅲ・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。
復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同出版社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

*欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary /grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity /oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用する。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半] ・チェックテストを返却・FB
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならぬ」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業進捗やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

*欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末期の一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくることを。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary /grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity /oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明、併せて初級事項の定着度テストを行う。
2	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step1	強調構文・程度補語・疑問詞の不定詞用法など
3	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step2	リスニングと解釈
4	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step3	その他の疑問詞の不定詞用法など
5	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step4	本文の読解と解説
6	第12課 你是什么□ 候回来的？ 練習問題	第12課全体の練習問題「After Dig」の解説
7	第13課 我正在写□ 告呢 Step1	結果補語・動作の進行・連勝修飾語「地」など
8	第13課 我正在写□ 告呢 Step2	リスニングと解釈
9	第13課 我正在写□ 告呢 Step3	その他の結果補語など
10	第13課 我正在写□ 告呢 Step4	本文の読解と解説
11	第14課 下雨了 Step1	持続形「着」・複合方向補語など
12	第14課 下雨了 Step2	リスニングと解釈
13	第14課 下雨了 Step3	「不能不～」・「除了～以外……」など
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属CDを何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total. The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第14課 下雨了 Step4	本文の読解と解説
2	第15課 我☐☐来得 及看☐ Step1	使役文・可能補語など
3	第15課 我☐☐来得 及看☐ Step2	リスニングと解釈
4	第15課 我☐☐来得 及看☐ Step3・4	その他の可能補語・本文の読解と解説など
5	第16課 把以前的考 ☐做一做 Step1	形容詞の重ね型・「把」を用いた 処置文など
6	第16課 把以前的考 ☐做一做 Step2	リスニングと解釈
7	第16課 把以前的考 ☐做一做 Step3・4	「越～越……」・「不管～」・本文 の読解と解説など
8	第17課 小心！后 面来了☐☐ Step1	存現文・疑問詞の呼応など
9	第17課 小心！后 面来了☐☐ Step2	リスニングと解釈
10	第17課 小心！后 面来了☐☐ Step3・4	「差(一)点儿」・積極性を示す 「来」と「去」・本文の読解と解 説など
11	第18課 他的自行☐ 被人撞坏了 Step1・2	受身文・リスニングと解釈など
12	第18課 他的自行☐ 被人撞坏了 Step3・4	“比”と様態補語・本文の読解と 解説など

13 第19課 “☐☐”和
“打工”的性☐不同

Step1・2

14 授業の総まとめと期 授業の総まとめと筆記試験
末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属CDを何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total.

The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1、中国語 2 で学習した内容を基礎とし中国語 1、次のステップへ進む。

Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として1課を2回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テストと復習（約25分） 2) テキストの学習（約40分） 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など（約35分）。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明及び発音の復習
2	第一課 『北京に到着』	1 原因、結果の表現 2 動詞句主語
3	連動文 第一課 『北京に到着』	3 数字に関して 文法問題の演習
4	本文暗唱 第二課 『道を尋ねる』	1 動詞の完了表現 2 反復疑問文
	疑問文の使い方	

5	第二課 『道を尋ねる』 本文暗唱	文法問題の演習/会話
6	第三課 『買い物』 数量補語	形容詞と比較の表現に関して
7	第三課 『買い物』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課 『バスに乗る』 1 名詞の修飾語 2 副詞に関して	1 結果補語 2 人民元に関して
10	第四課 『バスに乗る』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
11	第五課 『新しい友達』 様態補語	1 完了の「了」に関して 2 変化の「了」に関して
12	第五課 『新しい友達』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
13	第六課 『外食』 1 経験に関する助詞 2 依頼に関する動詞	1 主述述語文 2 能願動詞
14	第六課 『外食』 本文暗唱	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『2年生のコミュニケーション中国語』

塚本慶一 劉穎 著

白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』 東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70％に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応をとること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語Ⅲ

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。
Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.
- ・You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・Foster interest in Chinese history and culture. 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として1課を2回の授業で進めていく。単語などの小テストを行う。新出単語・文法事項を確認しながら、本文の和訳、中訳、発音練習などを行う。毎回会話練習をする。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『約束』	「可～了」に関して
	伝聞に関する動詞	能願動詞：打算
3	第七課 『約束』	文法、表現、語彙に関する練習/
	本文の暗唱	会話
4	第八課 『友達に電話する』	使役文、兼語
	方向補語	
5	第八課 『友達に電話する』	文法、表現、語彙に関する練習/
	本文の暗唱	会話
6	第九課 『郵便局』	方向補語の「到」
	慣用句：	
	「如果～」	

7	第九課 『郵便局』	文法、表現、語彙に関する練習/
	本文の暗唱	会話
8	まとめ、復習	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課 『医者に行く』	1 能願動詞の「要」 2 一～就
	1 「有一点」に関して	
10	第十課 『医者に行く』	文法、表現、語彙に関する練習/
	本文の暗唱	会話
11	第十一課 『家庭訪問』	「就是」の使い方
	1 助動詞「用」	
	2 進行形	
12	第十一課 『家庭訪問』	文法、表現、語彙に関する練習/
	本文の暗唱	会話
13	第十二課 『謝恩会』	1 変化を表す「了」
	可能補語	2 「就要～了」
14	第十二課 『謝恩会』	第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認
	本文の暗唱	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・付属のCDを繰り返して聴く。
- ・単語の意味を必ず事前に調べる。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『二年生のコミュニケーション中国語』

塚本慶一 劉穎 著

白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70％に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応をとること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）

中国語 3 I

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、日常会話に必要な基礎を身に付けることを目標とする。
また、発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができ、文章が読めるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた自己紹介や会話練習などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは基本的には授業中に行うが、オンライン授業時などはメール、Hoppiiなども活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	一年時の復習	本授業の授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。
第2回	第一課	発音の総復習と、簡単に初級中国語文法を復習する。
第3回	第一課	ドリル、発音練習を中心に学習する。
第4回	第二課	助動詞“会”，動詞の重ね型、使役文について学習する。
第5回	第三課	近い未来、助動詞“应该”，“既～又…”について学習する。
第6回	第三課	ポイント（方位詞「上」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第7回	第四課	時間量補語，“一点儿”+“也／都”+否定形，“一～就…”について学習する。
第8回	第五課	状態補語、前置詞“为了”，連用修飾語を作る“地”について学習する。
第9回	第六課	助動詞“可以”，“只要～，就…”，結果補語について学習する。
第10回	第七課	進の“在”“正”“正在”“无…～是…”，都～，疑問詞の不定用法について学習する。
第11回	第八課	助動詞“要”，前置詞“离”，100以上の数，金額の言い方について学習する。

第12回	第九課	持続の“着”，単純方向補，複合方向補，方向補語の派生的用法について学習する。
第13回	第十課	受け身文，“一边（儿）～，一边（儿）…”，“先～，然後ろ…”，“由于～，所以…”について学習する。
第14回	前期の総まとめ・試験	総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用い、分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声を聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。各課の練習問題について、授業時間内に問題を解く時間をあまり取りませんので、基本的には予習してきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語』

著者：杉野元子・黄漢青

出版社：白帝社 2021年3月第3版

【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。授業中の私語、不要なスマートフォンの使用など受講にふさわしくない行動を繰り返す場合は平常点を減点します。（期末テスト70%、平常点（小テスト含む）30%）となります。また、各学期ごとに欠席が6回以上になった場合、期末テストを受けることができません。やむを得ない事情がある場合は、必ず申し出て下さい。オンライン授業となった場合は、毎回の課題の実施状況、小テストの成績によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

アンケートの結果では、学生の皆さんに授業内容をしっかり理解していただけているようでした。今年度も引き続き分かりやすい授業ができるよう心掛けていきたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on, we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語ⅢⅡ

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介の練習などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期の総復習。	前期の学習事項の総復習を行う。
第2回	第10課	会話文と異なる長文の読み方の復習、長文読解による文法事項の復習。
第3回	第11課	本文についての練習問題、聴き取り、夏休みの過ごし方を紹介する。
第4回	第12課	比較(1)、比較(2)、可能補語について学習する。
第5回	第13課	“A是A，就是～”，“有点儿”と“一点儿”，処置文について学習する。
第6回	第14課	“要么～，要么…”，助動詞“得”，“不管～，都…”について学習する。
第7回	第15課	副詞“又”，副詞“就”と“才”，“除了～以外”，“～什么的”について学習する。
第8回	第16課	疑問詞+“都／也”，“要是／如果～的话，就…”離合動詞について学習する。
第9回	第17課	本文についての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第10回	第18課	副詞“难怪”，存現文，存現文で表す自然現象について学習する。
第11回	第19課	疑問詞の呼応用法，反語の表現“哪能～”について学習し，補語について総復習する。

第12回 第20課

“对～来”，“连～都／也…”，“之所以～，是因为…”，“既然～，就…”，“不是～，而是…”について学習する。

第13回 第20課

会話文と異なる長文の読み方、長文読解による文法事項の復習を行う。

第14回 総復習

総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用い、分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声を聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。各課の練習問題について、授業時間内に問題を解く時間をあまり取りませんので、基本的には予習してきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語 20回』

著者名：杉野元子 黄漢青 著

出版社名：白帝社 2021年3月 第3版発行

【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。授業中の私語、不用なスマートフォンの使用など受講にふさわしくない行動を繰り返す場合は平常点を減点します。また、各学期ごとに欠席が6回以上になった場合、期末テストを受けることができません。やむを得ない事情がある場合は、必ず申し出て下さい。オンライン授業となった場合は、毎回の課題の実施状況、小テストの成績によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

アンケートの結果では、学生の皆さんに授業内容をしっかり理解していただけているようでした。今年度も引き続き分かりやすい授業ができるよう心掛けていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）

中国語 3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト【初級復習Ⅰ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一 日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト【初級復習Ⅱ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習Ⅲ・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。
復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

*欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary /grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity /oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用する。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半] ・チェックテストを返却・FB
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならぬ」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業進捗やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

*欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末期の一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくることを。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary /grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity /oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）

中国語 3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト【初級復習Ⅰ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一 日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト【初級復習Ⅱ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習Ⅲ・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。
復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同出版社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

*欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary /grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity /oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用する。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半] ・チェックテストを返却・FB
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならぬ」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業進捗やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

*小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

*欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末期の一括請求は対応しない。

*授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

*携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

*教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくることを。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary /grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity /oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期は中国語の基礎を集中的に復習し定着させる。中国語検定試験4級・HSK2/3級の余裕を持った合格程度に照準をあてて「話す」・「読解できる」・「聴き取れる」中国語の中級への基礎事項の習得を目指す。また難易度の高い補語表現を獲得する。

【到達目標】

春学期は中国語検定試験4級の合格（6月末）、同程度の中国語運用能力の習得を到達目標とする。終了時には簡単な中国語で基本的な文法を踏まえながら、中国と日本の文化の違いについて読解でき、自分の生活や習慣・文化などについて具体的に話せるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

学べき例文と文法の解説後、読解、発音練習を行う。毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえでその後、学習した文法を使いながら本文に関した表現を反復練習する。最後に中心となる文法を使用して簡潔な作文を作成する。【課題へのフィードバック】文法に関しては授業時間に回答を例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎と発音の復習	ピンインの復習と自己紹介。基礎文法事項の確認。
第2回	ホテルから車に乗る、交通に関して表現	「都」と「也」の用法。呼応関係で「都」「也」が使われる構文を学習する。
第3回	交通事情に関しての質疑応答と読解	交通手段を利用する移動の際につかう表現を口頭で練習する。
第4回	インターネットに関する表現	「都」と「才」、「就」と「才」の用法。「また～」を表現する言葉の区別と練習。
第5回	自分がどのようにインターネットを使用しているかについて	時制に関する表現の復習と併せて「就」「才」の練習を行う。
第6回	もてなしの表現	兼語文に関する復習と命令表現について学習する。
第7回	誕生日や一緒にお茶を飲む場面での表現	使役・受身表現を復習し、使い分け方を修得する。
第8回	小テスト 中国語検定4級問題の解説	呼応関係にある副詞のまとめと、兼語文に関する総合練習。
第9回	仕事場での表現	「不是」「哪儿」「怎么」「什么」「難道」などの様々な反語表現について学習する。
第10回	自分の専門や新技術用語を使って仕事に関することを説明	仕事に関する言葉を覚え、聴き取り応対できるための練習を行う。

第11回	自分が好きなことや物についての表現	存現文に特化した練習。 存在の「着」・出現の「完了」・消失の「了」との組み合わせについて学習する。
第12回	基礎的な補語表現についての復習	存現文の中でも、方向補語との組み合わせになる場合を練習する。
第13回	学習した部分までのヒアリングの補充練習	質問文を書き取り、それに対しての答えを書く、或いは口頭で返答する練習。
第14回	春学期の到達度の確認と総合復習	中級の前半に学習する構文のまとめと最終到達度の確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文は分担して翻訳してもらうので、担当分について調べてくること。各授業終了後、必要な課題を行うこと。各授業前に1時間程度の学習時間が必要である。ラジオ・テレビ講座なども利用して積極的に中国語に触れて欲しい。また、本文の内容を十分に理解するために辞典を利用することが望ましい。

【テキスト（教科書）】

『総合中級中国語教程 改訂版』上野恵司監修・李鍾強著 白帝社
2400円+税
ISBN978-4-86398-263-5 C3087

【参考書】

中日辞典を利用できることが望ましいが、授業開始時に詳しく紹介するので辞典に関しての対応は説明の後からで構わない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、課題・平常点30%を総合して評価する。中国語検定試験4級・HSK3・4級合格者は点数に鑑みて加点する。また、暗誦や各課にある練習問題の提出も総合評価に含む。中国語外部試験の点数によっては、期末試験を免除とする。

【学生の意見等からの気づき】

このクラスは基礎を習得した学生が履修するが、各学生の習得度はさまざまである。練習問題を増やすこととグループでの会話練習を通し、表現力を習得できるように進めたい。今年度は特に例文・会話・読解をバランス良く学習できる教科書にした。相互の会話練習を充実させることと、中国語での造句の時間を十分に取りたい。また、作文に時間が取られる傾向にあるので、数回に一度は宿題にするなどの効率よくできる方法を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を日常的にヒアリングできる機器を準備して欲しい。

【その他の重要事項】

第1回の開講時に春秋の履修者を決めることになるので、秋学期のみ履修希望であっても初回は必ず参加するように。履修者決定の後、教科書を購入するように。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅱ

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級文法の習得と応用練習を行う。中国語検定試験3級/HSK3～4級に照準をあてて春学期よりも長めの文章を読解し、そのテーマに関する会話を聴き取り、簡単な質疑応答ができる能力を養成する。また現代中国の文化や日常に関する比較的短い読解も並行して行う。

【到達目標】

秋学期終了時には中国語検定試験3級の合格（11月末）あるいはHSK4級の6割程度の文法を習得し、学習した句型を使い自分の考えを表現することができる。また、テーマに関するヒアリング問題を理解でき、より複雑な時制の表現や構文の習得を到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

始めに発音の練習をし学習した例文を確認する。その後、各課の文法を解説し会話文・読解・実践問題と進行する。併せて検定問題の一部などを使用しながら実践練習を行う。【課題へのフィードバック】造句や読解問題などは授業内で回収し、添削後返却する。文法は各自担当してもらった回答を一覧にし、授業時に解説を行う。発音に関しても音声ファイルの提出などでチェックした不明瞭な部分を授業時に確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習とまとめ	中検4級程度の文法の復習。
第2回	料理を注文する表現	疑問詞の連用。「拿～來說」「先～再～」「要是～就～」の表現練習。
第3回	中華料理の文化についての長めの文章の読解	仮定法の練習を行うのに併せて、冠婚葬祭のときに使う表現を修得する。
第4回	コンビニで	「如」と「不如」の練習。「不但～而且～」、「值得～」、接続詞「可見」の用法を学習する。
第5回	コンビニで買い物をするときの表現練習	自分自身の生活中で、どのようにコンビニや商店を利用しているかを表現する練習を行う。
第6回	寒暖晴雨について	「総之～」「有時～有時～」「反正～」「当～時～」などを使う表現練習を行う。
第7回	天候に関する表現	自分の好きな季節や中国と日本の気候の違いなどを簡潔に口頭で答える練習を行う。
第8回	小テストと暗誦 HSK・中国語検定のヒアリング	前半で学習した構文の確認と指定の文章の暗誦を行う。
第9回	色の象徴的な意味について	「把」構文と「在～方面」「在～下」の在を使った応用練習。

第10回	色が含まれる日常よく使われる語彙の確認	中国語での色彩の意味を比較的に難しい文章で読む。読後、質問に答える。
第11回	漢方医学に関して	接続詞「而」の用法。介詞「以」の用法の整理。「一方面～一方面～」「按照～」の練習。
第12回	西洋医学と東洋医学の違いについて	自分が病気になった場合、どのように医師につけるか、薬や治療に関する表現を修得する。
第13回	全体の復習	特に補語表現と時制に関するより複雑な表現を整理し練習する。
第14回	最終到達度の確認	秋学期に学習した文法事項と聴き取り。時間があれば部分的にHSKや中国検定の問題を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

基礎段階を終了しての応用練習なので、夏休みを利用して既習の内容を把握していることが望ましい。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。

【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自で日訳を作成すること。作文も担当者を決めることがあるので、その場合は回答を準備すること。【復習】練習で行った疑問・問題を確認すること。音声教材・またはHSK模擬試験を行う。

【課題】教科書の練習問題。

【テキスト（教科書）】

『総合中級中国語教程 改訂版』上野恵司監修・李鍾強著 白帝社 2400円+税
ISBN978-4-86398-263-5 C3087

【参考書】

開講後、解説を聞いてから参考書や辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%（課題提出20%・参加度10%）を総合して評価する。またHSK3級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をし、合格級数（中国語検定3級/HSK4級）が極めて良好な場合は期末試験を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は教科書の練習問題が多く最後の課まで終了できなかったで、今年度は教科書全体を終了することができる分量のものに変更した。十分な予習をしてきている学生が、回答待ちの時間が長くなる傾向があった。授業内で各自活発に発言することを望む。このクラスは様々な目的を持った学生が参加している。できるだけ予習をしてもらうことで聴く・話す・読むを最大限練習できる時間が確保できるよう努めたい。

【学生が準備すべき機器他】

毎年、HSKや中国語検定の外部試験を受験する学生がいるので、過去の履修生から好評だった参考書を授業内で紹介する。

【その他の重要事項】

秋学期のみの履修者も早い段階で教科書を購入しておくこと。各自が一番便利な方法で辞典を参照できるように。また、教科書の音声教材が一番便利に聴くことができる機器を準備すること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正（自己紹介と単語）・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解（翻訳練習）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

『ポイント学習中国語』対応の自作プリント「中国語4 I ①～⑤」を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	自己紹介 I ①・「中国語4 I ①」	「中国語4 I ①」：唐詩・単語20語・日常用語10語・翻訳練習15問
第2回	自己紹介 I ②・「中国語4 I ①」	「中国語4 I ①」：唐詩・単語20語・日常用語10語・翻訳練習15問
第3回	自己紹介 I ③・「中国語4 I ②」	「中国語4 I ②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問
第4回	自己紹介 I ④・「中国語4 I ②」	「中国語4 I ②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問
第5回	復習とテスト	「中国語4 I ①」と「中国語4 I ②」の復習とテスト
第6回	自己紹介 I ⑤・「中国語4 I ③」	「中国語4 I ③」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問
第7回	自己紹介 I ⑥・「中国語4 I ③」	「中国語4 I ③」：唐詩・単語20語・日常用語5語。翻訳練習20文。
第8回	自己紹介 I ⑦・「中国語4 I ④」	「中国語4 I ④」：唐詩・単語20語・日常用語5語。翻訳練習20文。
第9回	自己紹介 I ⑧・「中国語4 I ④」	「中国語4 I ④」：唐詩・単語20語・日常用語5語。翻訳練習20文。
第10回	復習とテスト	「中国語4 I ③」と「中国語4 I ④」の復習とテスト

第11回	自己紹介 I ⑨・「中国語4 I ⑤」	「中国語4 I ⑤」：唐詩・単語20語。日常用語5語。翻訳練習20文。
第12回	自己紹介 I ⑩・「中国語4 I ⑤」	「中国語4 I ⑤」：唐詩・単語20語。日常用語5語。翻訳練習20文。
第13回	総合復習	唐詩5首・日常用語30語・聞き取り50問・翻訳練習50問。
第14回	期末試験	試験（口頭試験：自己紹介・唐詩／筆記試験：聞き取り50問・翻訳25問）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15％）と小テストの平常点（15％）、期末試験の成績（70％）などを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 II

2017年度以降入学者

葉 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまで学んできた基本語彙や文法を繰り返し復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正（スピーチ）・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解（複文の翻訳）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、さらに自由自在に「聞ける」「話せる」「読める」中国語の習得を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

自作プリント「中国語4 II①～⑤」を使用します。毎回の授業では、複文中心の自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行ないます。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	自己紹介Ⅱ①・「中国語4 II①」	「中国語4 II①」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：累加関係・逆接関係
第2回	自己紹介Ⅱ②・「中国語4 II①」	「中国語4 II①」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解：累加関係・逆接関係
第3回	自己紹介Ⅱ③・「中国語4 II②」	「中国語4 II②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解：仮定関係
第4回	自己紹介Ⅱ④・「中国語4 II②」	「中国語4 II②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：仮定関係
第5回	復習とテスト	「中国語4 II①」と「中国語4 II②」の復習とテスト。
第6回	自己紹介Ⅱ⑤・「中国語4 II③」	「中国語4 II③」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：譲歩関係
第7回	自己紹介Ⅱ⑥・「中国語4 II③」	「中国語4 II③」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：譲歩関係
第8回	自己紹介Ⅱ⑦・「中国語4 II④」	「中国語4 II④」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解：因果関係

第9回	自己紹介Ⅱ⑧・「中国語4 II④」	「中国語4 II④」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解：因果関係
第10回	復習とテスト	「中国語4 II③」と「中国語4 II④」の復習とテスト。
第11回	自己紹介Ⅱ⑨・「中国語4 II⑤」	「中国語4 II⑤」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：色々の表現
第12回	自己紹介Ⅱ⑩・「中国語4 II⑤」	「中国語4 II⑤」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：色々の表現
第13回	総合復習	唐詩5首・日常用語25語・聞き取り50問・翻訳練習50問・複文表現20パターン
第14回	期末試験	試験（口頭試験：自己紹介・唐詩・俗語／筆記試験：聞き取り50問・翻訳25問）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

スピーチテスト（15％）と小テストの平常点（15％）、期末試験の成績（70％）などを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就～」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都～」など6項目）の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」+動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无…都/也～」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30％、中間試験30％、期末試験40％。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 ☐ 价 ☐ 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「送礼的 ☐ 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 ☐ …了」など6項目）の説明
6	第9課	「中国式 ☐ 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「双 ☐ 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「理想 ☐ 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30％、中間試験30％、期末試験40％。

※中検準4級・4級とHSK2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 4 I	2017年度以降入学者
余 瀾	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
定員制 (30)	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

【到達目標】

学生の到達目標は次の4点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第1課	会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方
2回	第2課	会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 ＜～の～＞
3回	第3課	会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方
4回	第4課	会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文
5回	第5課	会話を学習する 文法を学習する ＜是＞の文 電話番号の言い方

6回	第6課	会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞＜なに＞
7回	第7課	会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞＜～で＞
8回	第8課	会話を学習する 文法を学習する ＜～が好きだ＞ ＜この～＞の言い方
9回	第9課	会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞＜～に＞
10回	第10課	会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方
11回	第11課	会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来+数量＞の言い方
12回	第12課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文 第1課～12課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
13回	授業内期末筆記テスト	第1課～12課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14回	授業内期末口頭テスト	第1課～12課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とする。授業の前と後は必ずCDを繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト（教科書）】

『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社 2019年 2300円

【参考書】

参考書は授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

配分は、毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が30%、期末口頭テストが20%、筆記テストが50%です。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 II

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語 4 I」より少し難度の高い会話文を学ぶ。

授業の流れは「中国語 4 I」と同様で、基本的な文法、4行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

【到達目標】

【到達目標】

学生の到達目標は次の4点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第13課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞〈～したい〉 存在を現す〈有〉
2回	第14課	会話を学習する 文法を学習する 存在を現す〈在〉 〈有〉と〈在〉の区別
3回	第15課	会話を学習する 文法を学習する 所有を現す〈有〉 疑問詞〈どうですか〉
4回	第16課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞〈どうやって〉 〈好〉動詞

5回	第17課	会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方
6回	第18課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞〈なぜ〉 結果補語
7回	第19課	会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞〈～から〉
8回	第20課	会話を学習する 文法を学習する経験 を現す言い方 〈ちょっと〉の言い方
9回	第21課	会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方
10回	第22課	会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞〈できる〉
11回	第23課	会話を学習する 文法を学習する 様態補語
12回	第24課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞〈できる〉 時量補語 〈～するつもりだ〉
13回	授業内期末筆記テスト	第13課～24課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14回	授業内期末口頭テスト	試第13課～24課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とする。授業の前と後は必ずCDを繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト（教科書）】

『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

【参考書】

授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が30%、期末口頭テスト20%、筆記テストが50%。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

発音を固める。
読解力を培う。
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルを確認の上、内容への理解をチェッ
クしながら、効果的に授業を進めていく。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習	一年次に習った文法を復習する
第2回	第1課	名詞の前に置く“的”、動詞の前 に置く“地”、助動詞“要”、連動文
第3回	第1課	第1課のチャレンジ・スキット
第4回	第2課	動態助詞の“了”、語気助詞の“了” 、語気助詞の“吗”と“吧”
第5回	第2課	第2課のチャレンジ・スキット
第6回	第3課	経験・経過を表わす“过”、“怎么” の2つの用法、副詞“才”の用法
第7回	第3課	第3課のチャレンジ・スキット
第8回	第4課	動作の進行、動作・状態の持続 を表わす“着”、動作を行う時間 の長さ・動作の回数、“因为～所 以…”
第9回	第4課	第4課のチャレンジ・スキット
第10回	第5課	近い未来“要～了”・“快～了”、 反語の表現、副詞“就”の用法、“ 要是～就…”
第11回	第5課	第5課のチャレンジ・スキット
第12回	第6課	結果補語、感嘆文、副詞“还”の 用法、“虽然～但是…”
第13回	第6課	第6課のチャレンジ・スキット
第14回	復習、試験、まとめ	ここまで習った内容を復習、確 認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。

毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己
チェックをすること。

毎日最低20分テキストのCDを開きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2年めの中国語ポイント45』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの
提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映
されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The
aim of this course is to acquire the upper intermediate level
communication skills of Chinese. We will improve the skills
of listening, speaking, reading and writing through studying
pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study /review time for this class is 1
hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50%of the final test and
50%of normal points (learning attitude, learning motivation,
submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅱ

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

読解力や、表現力などのさらなるスキルアップを目指す。
日常の中国語のコミュニケーションが取れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら、授業を進める。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	解説と復習	春学期の学習内容の復習
第2回	第7課	様態補語、比較の表現、形容詞の重ね型、“不但～而且…”
第3回	第7課	第7課のチャレンジ・スキット
第4回	第8課	方向補語、複合方向補語、強調表現“连～也…”、“一～就…”
第5回	第8課	第8課のチャレンジ・スキット
第6回	第9課	“把”構文、受身の表現、副詞“再”と“又”、“只要～就…”
第7回	第9課	第9課のチャレンジ・スキット
第8回	第10課	可能補語、“是～的”の構文、“只有～才…”
第9回	第10課	第10課のチャレンジ・スキット
第10回	第11課	“～得了”/“～不了”の可能補語、兼語文、“不是～而是…”
第11回	第11課	第11課のチャレンジ・スキット
第12回	第12課	存現文、同じ疑問詞の呼応、“不管～都…”
第13回	第12課	第12課のチャレンジ・スキット
第14回	復習、まとめ、試験	第7～12課の復習と試験、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。

毎課の新出単語と文法をしっかりと記憶し、理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。

毎日最低20分テキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2年めの中国語ポイント45』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study /review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50%of the final test and 50%of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 I

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。
Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として、1課を2回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト(約25分) 2) テキストの学習(約40分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など(約35分)。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課 『換銭』	1 慣用句：挺+形容詞+的 2 助動詞：「要」 結果補語：「看到，吃到」 3 副詞：「点儿」 文法問題の演習/会話
3	第一課 『換銭』	1 「太+形容詞」 慣用句：2 「就是」 「除了 不用」 文法問題の演習

4	第二課 『小学校 门前』 存文： 所+出/存在	1 「什么的」 2 「等等」 文法問題の演習/会話
5	第二課 『小学校 门前』 家族の称呼に関して： 「奶奶」「姥姥」 「奶奶」「姥姥」	1 「着」：場所+動詞+着 2 「在」：在+動詞 文法問題の演習/会話
6	第三課 『早上的公 园』 感嘆文： 「多～啊」	健康についての諺を紹介、説明 文法問題の演習/会話
7	第三課 『早上的公 园』 1 「動詞+的」の名 詞化 2 「多+形容詞」	1 「数詞+多」 2 「怎么」 文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容 の復習、確認
9	第四課 『年人的就 是』 1 「了」：変化を表す 2 「又」：状況、動 作の累加	「是」/「得」： 人や事物に対する見方 文法問題の演習/会話
10	第四課 『年人的就 是』 仮定を表す表現： 「如果」	部分的な否定を表す慣用句 「不都是」
11	第五課 『相』 1 解釈、説明する語 彙：「就是」 2 体験を表す：「听」	1 能願動詞： 「能」 2 推測の表現： 「听」
12	第五課 『相』 慣用句： 「无是～是」	1 「就」の使い方 2 「很」の使い方 文法問題の演習/会話
13	第六課 『外甥的 婚房』 1 副詞： 「竟」 2 慣用句：「就要～ 了」	1 「的」の使い方 2 「本」の使い方 3 「支」の使い方 文法問題の演習/会話
14	第六課 『外甥的婚房』 復習	第一課～第六課勉強した内容の 復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかりと身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study/review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『日中いぶこみ12景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total.

【Grading Criteria】

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 II

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Based on what you learned in the spring, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語で自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に
応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として、1 課を 2 回の授
業で進めていく。毎回の授業を概ねに次のように進める。1) 小テ
スト (約 25 分) 2) テキストの学習 (約 40 分) 3) 文法に
関する問題演習、会話の練習など (約 35 分)。外国語を身につける
ためには、継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テスト
を設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を合わ
せて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間
またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview
lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons
depending on the situation. As a progress, one lesson is
advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as
follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40
minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation
practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning
is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up
at the beginning of each class. In addition, this lesson can be
developed by combining learning in the classroom and learning
at home. Feedback on assignments, etc. will be given through
class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『婆媳关系』	口語的な表現：『照』 不特定の表現：書面的な表現：『按照』 「哪儿～哪儿？」
3	第七課 『婆媳关系』	前置詞： 気持ちを表す語彙：1 「从」 1 「幸福」2 「到」 2 「愉快」 3 「心」

4	第八課 『川菜』	1 連詞：「就是」 慣用句：2 複合方向補語： 1 「既～又」「出来」と「去」 2 「是……啊」
5	第八課 『川菜』	語彙の説明： 量詞：「排出去」の使い方 「家」の使う場合
6	第九課 『中……医』	1 比較と選択の表現： 慣用句：「是……是」 「在～之中」2 否定の表現： 「没有」
7	第九課 『中……医』	解釈： 仮定の表現：1 「只是」 「～的」2 「……是」
8	文法のまとめ	第七課～第九課の復習、勉強し た内容の確認
9	第十課 『九九重 阳』	副詞： 1 「将」の使い方 1 前置詞「……」の使 い方2 慣用句「跟～一起」
10	第十課 『九九重 阳』	常用副詞のまとめ 1 「或者」2 「早就」 1 「三世同堂」の意味3 「尽快」 2 「孝」の語彙に に内在する意味
11	第十一課 『旅游』	仮定の表現： 1 副詞の「……」につ いて「如果……的」の使い方 2 慣用句の「……都」 について
12	第十一課 『旅游』	パソコン関係の語彙 1 動詞の重ね「看看」1 「……」 2 慣用句「是……的」2 「网址」 3 「短信」
13	第十二課 『除夕夜』	1 疑問詞の「怎么」 お祝いの言葉に関す る紹介、説明2 前置詞としての「……」
14	第十二課 『除夕夜』	「年夜……」に関する説明 1 副詞「才」第七課～第十二課の復習、勉強 2 慣用句としてのした内容の確認 「有的」 文法に関するまとめ、 演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作っ
たりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属
の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっか
り身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。
Since review is important for language learning, I would like
you to thoroughly review what you have already learned, such
as listening to audio and making vocabulary books after class.
Also, please make use of the attached teaching material CD
and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have
learned. The standard preparatory study / review time for this
class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class
hours or email.

【テキスト（教科書）】

『日中いぶこみ 1 2 景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語 301 句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就～」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都～」など6項目）の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」+動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无…都/也～」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30％、中間試験30％、期末試験40％。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 ☐ 价 ☐ 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「送礼的 ☐ 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 ☐ …了」など6項目）の説明
6	第9課	「中国式 ☐ 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「双 ☐ 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「理想 ☐ ☐ 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30％、中間試験30％、期末試験40％。

※中検準4級・4級とHSK2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・復習	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などの説明、一年次に学んだ発音・文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第2課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第1課～第5課のテスト
8	第6課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第7課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第8課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第9課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第10課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	第6課～第10課の復習	補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は必ず「補充ドリル」がついているテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期末試験の解説・第11課	新出語句・文法・本文・ドリル
2	第12課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
3	第13課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第14課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第15課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第11課～第15課の復習	会話・補充ドリル
7	中間まとめ	中間筆記試験
8	第16課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第17課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第18課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第19課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第20課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	第16課～第20課の復習	会話・補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業で指示

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表やドリル等課題及び授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は、必ず「補充ドリル」がついたテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・復習	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などの説明、一年次に学んだ発音・文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第2課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第1課～第5課のテスト
8	第6課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第7課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第8課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第9課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第10課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	第6課～第10課の復習	補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著 白帝社 2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は必ず「補充ドリル」がついているテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期末試験の解説・第11課	新出語句・文法・本文・ドリル
2	第12課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
3	第13課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第14課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第15課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第11課～第15課の復習	会話・補充ドリル
7	中間まとめ	中間筆記試験
8	第16課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第17課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第18課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第19課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第20課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	第16課～第20課の復習	会話・補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業で指示

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表やドリル等課題及び授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は、必ず「補充ドリル」がついたテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 7

2017年度以降入学者

張 勝蘭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1～6 で習得したことに基づき、中国語の読解力と聴解力をバランスよく向上させる。

【到達目標】

SA先の上海外国語大学での授業についていけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

SAでの授業を念頭に置き、素材の対話文、長文だけでなく、解説もすべて中国語の音声教材を用いる。教材の内容は中国の社会、歴史、民族、文化、風俗習慣、故事来歴など多岐にわたる。毎回の授業で中国語の音読練習、語句の使い方の説明と練習、日本語への翻訳を行う。授業の進め方の詳細について、初回の授業で具体的に説明する。課題等へのフィードバックは授業内、学習支援システム及びメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と準備学習の説明、WEB版教材を紹介する。
第2回	教材1 (1)	「上海的小吃」を用いる。3日前までに51行目まで聞き取りを行う。授業で字幕の音読と翻訳を練習する。
第3回	教材1 (2)	「上海的小吃」の52行目から101行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。
第4回	教材1 (3)	「上海的小吃」の102行目から157行目事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第5回	教材2 (1)	「高考」を用いる。この日までに59行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。
第6回	教材2 (2)	「高考」の60行目から117行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。
第7回	教材2 (3)	「高考」の118行目から163行目までの内容を事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第8回	教材3 (1)	「中秋的」を用いる。この日までに54行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。
第9回	教材3 (2)	「中秋的」の55行目から97行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。

第10回 教材3 (3)

「中秋的」の98行目から142行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。

第11回 教材4 (1)

「不怕慢，就怕站」を用いる。この日までに41行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。

第12回 教材4 (2)

「不怕慢，就怕站」の42行目から79行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。

第13回 期末テスト

読解力テスト（中文日訳）を実施する。範囲は既習の4つのテキストである。詳細は事前に伝える。

第14回 テストの解説

期末テストを返却し、解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2～3時間を標準とする。詳細は初回授業で説明する。

【テキスト（教科書）】

愛漢語播客2010年集（iMandarin Pod.com）からセレクトした音声教材

【参考書】

各自使い慣れている辞書と文法書。

【成績評価の方法と基準】

準備学習（20％）と期末に行う翻訳テスト（80％）によって評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。出席は成績評価の大前提である。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help participants improve both reading and listening skills in Chinese, based on what you learned in Chinese 1-6.

【Learning Objectives】

At the end of the course, participants should be able to enhance the development of Chinese skill in reading and listening.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, participants will be expected to make audio materials into text and translate it to Japanese. After each class meeting, participants will be expected to check the text created by myself based on the translation example presented by the teacher. Your study time will be two or three hours.

【Grading Criteria/Policy】

Final grade will be calculated according to the following process: Learning activities outside of classroom (20%) and reading comprehension test conducted at the end of the semester (80%) .

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 8

2017年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSKのリスニング問題のディクテーションと過去問の練習を通じて、4級合格に必要な1200語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につけていく。

また、過去問のシミュレーターによる模擬試験によって、HSKの問題形式に慣れ、確実な合格をめざす。

【到達目標】

HSK4級の合格に必要な1200語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、自宅でのe-Learningによる予習と教室での授業を組み合わせたブレンド型学習によって行う。具体的な授業の進め方は次のとおり。

【授業前の事前学習】

授業前にパソコンまたはスマートフォンを使い、HSKのリスニング問題のディクテーションを行う

【授業の進め方と方法】

- ①小テスト（前回の学習内容の復習テスト）
- ②リスニング問題と読解問題の解説
- ③過去問を使った模擬試験（期間中2回実施）

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加するLINEのグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の目標と学習方法の解説
第2回	HSK3級リスニング対策①	HSK3級リスニング問題の第一部分の解説と過去問の練習
第3回	HSK3級リスニング対策②	HSK3級リスニング問題の第二部分の解説と過去問の練習
第4回	HSK3級リスニング対策③	HSK3級リスニング問題の第三部分の解説と過去問の練習
第5回	HSK3級リスニング対策④	HSK3級リスニング問題の第四部分（前半）の解説と過去問の練習
第6回	HSK3級リスニング対策⑤	HSK3級リスニング問題の第四部分（後半）の解説と過去問の練習
第7回	HSK3級リスニング対策⑥	HSK3級模擬試験
第8回	HSK4級リスニング対策①	HSK4級リスニング問題の第一部分（前半）の解説と過去問の練習
第9回	HSK4級リスニング対策②	HSK4級リスニング問題の第一部分（後半）の解説と過去問の練習
第10回	HSK4級リスニング対策③	HSK4級リスニング問題の第二部分（前半）の解説と過去問の練習

第11回	HSK4級リスニング対策④	HSK4級リスニング問題の第二部分（後半）の解説と過去問の練習
第12回	HSK4級リスニング対策⑤	HSK4級リスニング問題の第三部分（前半）の解説と過去問の練習
第13回	HSK4級リスニング対策⑥	HSK4級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と過去問の練習
第14回	HSK4級リスニング対策⑦	HSK4級模擬テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前に下記の事前学習を行うこと。

パソコンまたはスマートフォンを使い、HSKリスニング問題のディクテーションを行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

文部科学省平成24年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発したe-Learning教材とHSK（漢語水平考試）の過去問データを使用する。

【参考書】

・劉月華ほか『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

①ディクテーション教材による宿題の実施状況（60％）

②3級および4級の模擬試験の成績（40％）

【学生の意見等からの気づき】

自宅にパソコンがない学生のため、スマートフォンでも利用できるよう教材を修正した。

HSKの必修単語を覚えるのが難しいという声が多く寄せられたため、単語とフレーズを記憶するためのe-Learningを新たに開発した。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 8 is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China in the next semester.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 1200 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening skills through the use of e-Learning and past exams.

〔Learning Objectives〕

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK4.

〔Learning activities outside of the classroom〕

Students will be expected to have completed the required assignments before each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

〔Grading Criteria /Policy〕

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 - I

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認→課文（音読・訳）→解説の手がかり（文法の確認）→練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにもなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方の説明。
	第一課 もはや山は高くなく、海は遠くない	テキスト・辞書の説明。 第一課(発音練習・訳)
第2回	第一課 もはや山は高くなく、海は遠くない	第一課(発音練習・訳)
第3回	第二課 旅のお目当ては博物館	第二課(発音練習・訳)
第4回	練習（第一課・第二課）	文法の確認・応用問題
第5回	第三課 私の青春は私のもの	第三課(発音練習・訳)
第6回	第四課 東北三省はお笑いの総本山	第四課(発音練習・訳)
第7回	練習（第三課・第四課）	文法の確認・応用問題
第8回	第五課 結婚式はシンプルが一番！	第五課(発音練習・訳)
第9回	第六課 スーパー、コンビニが農村にオープン	第六課(発音練習・訳)
第10回	練習（第五課・第六課）	文法の確認・応用問題
第11回	第七課 ネット新語との付き合い方	第七課(発音練習・訳)

第12回 第八課 中国人が日本で「爆買い」から「爆入学」へ

第13回 練習（第七課・第八課） 文法の確認・応用問題

第14回 授業の総まとめと期末試験 筆記・ヒアリング試験 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳してから授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、時間を合わせて4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『時事中国語の教科書 2025年度版』（三瀧正道・陳祖蓀・古屋順子著、朝日出版社、2100円＋税）。

※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト）30％
期末試験 70％

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを6～7月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認→課文（音読・訳）→解説の手がかり（文法の確認）→練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにとりもなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第九課 ローテク、ハイテクのどちらも大事	第九課(発音練習・訳)
第2回	第十課 中国の麺の都は山西か、陝西か？	第十課(発音練習・訳)
第3回	練習（第九課・第十課）	文法の確認・応用問題
第4回	第十一課 定年後のトレーニングに「年齢制限」？	第十一課(発音練習・訳)
第5回	第十二課 新技術が切り拓く新世界	第十二課(発音練習・訳)
第6回	練習（第十一課・第十二課）	文法の確認・応用問題
第7回	第十三課 消費財の買い換えを国が推進	第十三課(発音練習・訳)
第8回	第十四課 福建省と台湾、今昔往来物語	第十四課(発音練習・訳)
第9回	第十五課 東京の中国人書店	第十五課(発音練習・訳)
第10回	練習（第十三課・第十四課・第十五課）	文法の確認・応用問題
第11回	プリント教材①	中国の環境問題（水の汚染・水不足）
第12回	プリント教材②	中国の環境問題（大気汚染）
第13回	プリント教材③	中国の環境問題（砂漠化・森林消失）

第14回 授業の総まとめと期 筆記・ヒアリング試験 まと
末試験 めと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳して授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を読み返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『時事中国語の教科書 2025年度版』（三瀧正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、2100円＋税）
※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト）30％
期末試験 70％

【学生の意見等からの気づき】

暗誦テストを11～12月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 - I	2017年度以降入学者
大江 千晶	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語1と中国語2を一通り終えた学生を対象にする授業です。

中国のことわざを中心とした処世術やものの考え方を学びながら、中国語の技能を総合的に伸ばし、中国語でのコミュニケーションに必要な基礎力をつけます。教科書だけでなく、中国語の時事ニュース等を教材にしながら語彙力・表現力を伸ばします。

【到達目標】

発音に重点を置き、基礎的文法を使った会話練習を行います。毎回の授業でテキストの音読を行い、正しい発音を繰り返し練習し身につけます。ペアワーク・グループワークを通じて自分の意見を表現する力を養います。

Focus on pronunciation and practice speaking using basic grammar. To acquire correct pronunciation, students will repeatedly practice reading aloud the text in each class. Develop ability to express one's opinion through pair work and group work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業の進め方：

1. 中国語の時事ニュースを見ながら日本語訳をする初見翻訳練習
2. 教科書の会話を音読
3. 文法項目の確認・応用練習
4. 授業当日にテーマを決め、簡単な作文・発音練習

課題へのフィードバック：

- ・作文は授業時間内に個別に添削します。
- ・音声課題はHoppiiのコメント欄を通じて、または授業時間内に個別に指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション レベルチェック	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2回目	第1課	「五百年前是一家（五百年前は同じ先祖だ）」（会話、文法、閲読）
3回目	第2課	「不怕慢，就怕站（遅くても止まるよりはましだ）」（会話、文法、閲読）
4回目	第3課	「笑一笑，少一少（笑えばその分若くなる）」（会話、文法、閲読）
5回目	第4課	「君子□□不□手（君子たる者、論は戦わずが手は出さない）」（会話、文法、閲読）
6回目	第5課	「天生我材必有用（天が与えた我が才能は、必ず世の役に立つ）」（会話、文法、閲読）

7回目	第6課	「□□磨□，不快也光（戦いの直前に槍を磨けば、鋭くなくても光はする）」（会話、文法、閲読）
8回目	第7課	「在家靠父母，出门靠朋友（家にいる時は親を頼りにし、家を離れてからは友達を頼りにする）」（会話、文法、閲読）
9回目	第8課	「病从口入，□□从口出（病は口から入り、禍は口から出る）」（会話、文法、閲読）
10回目	第9課	「台上一分□，台下十年功（舞台上の1分間の演技でも、舞台裏では10年もの下積みが必要である）」（会話、文法、閲読）
11回目	第10課	「人有隔夜之智（一晩寝て、頭を冷やして考えてみる）」（会話、文法、閲読）
12回目	第11課	「旧的不去，新的不来（古いものが去らなければ、新しいものはやって来ない）」（会話、文法、閲読）
13回目	第12課	「好借好□，再借不□（借りたものを約束通りに返せば、また借りられる）」（会話、文法、閲読）
14回目	試験・まとめと解説	授業のまとめと授業内筆記・口述試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。

特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

【テキスト（教科書）】

『中国の智慧 ことわざで学ぶ初中級中国語』相原茂・蘇紅著 朝日出版社 2022年 2,200円+税10%

【参考書】

授業時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点60％、期末試験40％。

平常点には、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験の40％内訳は、口頭試験20％、筆記試験20％。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 60%and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 40%includes oral examinations 20%and paper examination 20%.

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォン、タブレット、パソコン等の通信機器

【その他の重要事項】

「中国語1」及び「中国語2」が履修済であること。

中国語母語話者は履修してはならない。

2/3以上出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. Comprehensively improve Chinese language skills and acquire the basic skills necessary for communication in Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 - II	2017年度以降入学者
大江 千晶	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水 5/Wed.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 3 I の続きです。
中国のことわざを中心とした処世術やものの考え方を学びながら、中国語の技能を総合的に伸ばし、中国語でのコミュニケーションに必要な基礎力をつけます。
教科書だけでなく、中国語の時事ニュース等を教材にしながら語彙力・表現力を伸ばします。

【到達目標】

発音に重点を置き、基礎的文法を使った会話練習を行います。毎回の授業でテキストの音読を行い、正しい発音を繰り返し練習し身につけます。ペアワーク・グループワークを通じて自分の意見を表現する力を養います。

Focus on pronunciation and practice speaking using basic grammar. To acquire correct pronunciation, students will repeatedly practice reading aloud the text in each class. Develop ability to express one's opinion through pair work and group work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業の進め方：

1. 中国語の時事ニュースを見ながら日本語訳をする初見翻訳練習
2. 教科書の会話を音読
3. 文法項目の確認・応用練習
4. 授業当日にテーマを決め、簡単な作文・発音練習

課題へのフィードバック：

- ・作文は授業時間内に個別に添削します。
- ・音声課題はHoppiiのコメント欄を通じて、または授業時間内に個別に指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション レベルチェック	秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。
2回目	第13課	「大☒不死，必有后福（大変な災難に遭っても生き延びたのだから、将来必ず幸せが待っている）」（会話、文法、閲読）
3回目	第14課	「☒ト白菜，各有所☒（蓼食う虫も好き好き）」（会話、文法、閲読）
4回目	第15課	「春捂秋☒（春には厚着に、秋には薄着に）」（会話、文法、閲読）
5回目	第16課	「年☒不☒人（年齢は人を許さない）」（会話、文法、閲読）
6回目	第17課	「一分☒，一分☒（値段相応）」（会話、文法、閲読）
7回目	第18課	「好花不常开，好景不常在（好調な時期は長く続くものではない）」（会話、文法、閲読）

8回目	第19課	「塞翁失☒，焉知非福？（人間万事塞翁が馬）」（会話、文法、閲読）
9回目	第20課	「☒划赶不上☒化（計画は変化に追いつけない）」（会話、文法、閲読）
10回目	第21課	「人怕出名猪怕壮（出る杭は打たれる）」（会話、文法、閲読）
11回目	第22課	「女大不由娘（娘は大きくなると母親の言うことを聞かなくなる）」（会話、文法、閲読）
12回目	第23課	「多一事不如少一事（触らぬ神にたたり無し）」（会話、文法、閲読）
13回目	第24課	「好死不如☒活着（死んで花実が咲くものか）」（会話、文法、閲読）
14回目	試験・まとめと解説	授業のまとめと授業内筆記・口述試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

【テキスト（教科書）】

『中国の智慧 ことわざで学ぶ初中級中国語』相原茂・蘇紅著 朝日出版社 2022年 2,200円+税10%

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。
平常点60％、期末試験40％。
平常点には、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。
期末試験40％の内訳は、口頭試験20％、筆記試験20％。
Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 60%and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 40%includes oral examinations 20%and paper examination 20%.

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォン、タブレット、パソコン等の通信機器

【その他の重要事項】

「中国語1」及び「中国語2」が履修済であること。
中国語母語話者は履修してはならない。
2/3以上出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-I

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】

春学期終了時には、文法・ヒアリングにおいてHSK3級、中国語検定4級程度の能力を確実に習得し運用できること、少し複雑な構文を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進めます。進行や課題は学習支援システムでも告知します。毎回の授業は担当者が講義スタイルで内容を解説したのち、中国語による表現をクラス全体で反復練習し、テキストの日本語訳と中国語の文法・語彙の理解、トピックのことばの文化背景などについて、各自が中国語で表現する実践練習を行います。

【課題へのフィードバック】

文法に関しては数回に一度個別の回答を回収し授業内で誤りの多かった問題に関して解説する。各自が自由に質問に回答する分については添削後、返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎で学習したこと の復習①特に4文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第2回	基礎で学習したこと の復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。 学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第3回	第1課(1)“中国的早餐”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①方向補語②連動文③変化を示す「了」④掃
第4回	第1課(2)“中国的早餐”短文の理解と表現練習、練習問題を通して理解	食事にまつわる表現とヒアリング・練習問題を行う。
第5回	第2課(1)“坐出租车”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①結果補語②仮定の表現③助動詞まとめ④修飾語を構成する語
第6回	第2課(2)“坐出租车”短文の理解と表現練習、練習問題を通して理解	新しく学習した文例を用い、実際の交通状況について簡単な作文を作成する。
第7回	第3課(1)“昂貴的咖啡”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①兼語文②越来越～③可能補語の特殊な否定形④対～來說

第8回	第3課(2)“昂貴的咖啡”短文の理解と表現練習、練習問題を通して理解	第1～第3課の補足と復習・ヒアリング問題
第9回	第1～3課までの習得度の確認。第4課(1)“AA制和AB制”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①受け身・使役表現のまとめ②語気助詞③禁止の表現④不但～還～
第10回	第4課(2)“AA制和AB制”短文の理解と表現練習、練習問題。第5課(1)“拉肚子”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	第4課、第5課の内容復習し、練習問題を行う。
第11回	第5課短文の理解と表現練習、練習問題。第6課(1)“网购”の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①不定の表現②不是～而是～③等～再～④把構文の練習
第12回	学習した中級構文についてのまとめ	第5課、第6課のヒアリングと作文を行う。
第13回	第4から第6課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第4課から第6課の造句部分の復習。
第14回	春学期の到達度の確認・文法事項全体の復習	春学期進行分の到達度の確認と復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道—浅きから遠きへ—』改訂新版 準中級編
内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧 KINSEIDO 2024年
¥2400+税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%（課題提出や暗誦、教科書準拠のネットでの練習20%・授業への参加度10%）を総合して評価する。また、春学期においてはHSK3・4級、中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。点数や合格級数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

外部の試験問題を少しでもできたのは良かった点である。しかし36名前後のクラスということもあり個別の発音チェックの時間が十分にとれなかったことが改善すべき点である。また小テストについての要望があったので出題形式・範囲を変更するなどして確認ができるようにしたいと考えている。今年度は教科書を変更したので多くの会話や造句の機会が得られるように授業を進行する予定でいる。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材をダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でない場合、教科書準拠のネット上での教材が使用できません。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%). Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また造句の練習を通じ、より難度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、**HSK**や中国語検定試験に対応する能力と上級に進む上で必要な基礎力を養成する。

【到達目標】

基礎に基づき聴く能力・話す能力および読解力を高め、正しい中国語の発音、日常生活の基本語彙と基本文法を確実に理解し、基礎的な表現能力を身につけることを目標とする。具体的には、身のまわりの様々な場面を表現した中級レベルの語彙・文法で書かれた会話と短文、例文の学習によって、中国語の語彙を増やすとともに文法のしくみを理解し、様々な場面に相応しい表現でできる能力を培う。また、テキストの内容を通し文化背景についても客観的な知識を持つことを目標とする。文法に関しては**HSK**3級から4級レベル、中国語検定3級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、複雑な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し特に文法に関しては授業時間に回答で誤りが多かった問題から解説する。発音に関しては各回の授業開始時に頻度の高いフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期までの復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第2回	第7課(1)“剩男、剩女”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①才の表現②怎么のまとめ③持続と進行のまとめ④即使⑤⑥/⑦了の用法
第3回	第7課(2)“剩男、剩女”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第7課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第4回	第8課(1)“大学生應該少打工，多學習”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①一～就～②離合詞③有を使うた兼語文④後置される介詞①
第5回	第8課(2)“大学生應該少打工，多學習”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第1回から4回までの練習の確認と自分の生活についての簡単な作文を書く。

第6回	第9課(1)“表示感謝的習慣”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①「また」に関する表現のまとめ②二重目的語と把構文③只有～才～④時量・動量補語の整理
第7回	第9課(2)“表示感謝的習慣”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第9課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第8回	第7課から第9課までの全体的な復習と到達度の確認	検定試験問題や小テストを行う。
第9回	第10課(1)“年輕人的就職觀”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①考②存現文まとめ③数字の表現④却と接続詞の整理
第10回	第10課(2)“年輕人的就職觀”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第10課の内容を踏まえてのヒアリングと造句
第11回	第11課(1)“月光族”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説と学習	①補語表現②会の用法の整理③只要～就～④疑問詞の呼応表現
第12回	第11課まで学習した構文を使った表現練習。第12課会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①後置される介詞②介詞まとめ③フレーズが目的語になる表現④竟然
第13回	第12課(2)“海外的漢語奇遇”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第10～12課までの総合復習
第14回	秋学期の学習到達度の確認。応用表現の総合復習	期末テスト。 第7課から第12課までを中心に。日常よく使われる表現の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

秋学期は内容も難しくなるので準備・復習時間は各1時間半を標準とする。音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵のDVDを観るなど、幅広く興味を持ってほしい。

【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習は各自でペンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。

【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた外部試験問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道—浅きから遠きへ—』改訂新版 準中級編
内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧著 KINSEIDO 2024年
¥2400 + 税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%・小テスト30%・平常点30%（課題や教科書準拠の練習問題20%・授業への参加度10%）を総合して評価する。また**HSK**3・4級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。中国語検定試験3級・**HSK**4級以上の合格者は期末試験を免除し評価をSとする。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は毎回、十分に予習復習できていた学生には若干物足りない内容だったので今年度は教科書を変更し、発展練習を追加で行えるようにした。40名近い学生が履修している場合、口頭の実践練習の時間に退屈してしまう学生が多いので練習問題を増やすなど、効率良く進行できるよう改善したいと考えている。良かった点としては夏休みに中国語圏へ出かけた学生が数名いて、最新情報を同学に紹介してくれたこと、外部試験に挑戦した学生がいたことが挙げられる。

【学生が準備すべき機器他】

音声ダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でないとネット上での教科書準拠の練習問題ができません。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one and a half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-I

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第一課	初級の復習 (1)
2回	第一課	初級の復習 (2)
3回	第二課	初級の復習 (1)
4回	第二課	初級の復習 (2)
5回	第三課	ある動作を行う目的や方法を説明する表現
6回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7回	復習	第一課～第四課の復習
8回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9回	第六課	能力と可能性の表現
10回	第七課	動作の結果を説明する表現
11回	第八課	動作の方向を説明する表現
12回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13回	第十課	使役の表現
14回	復習	I期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスビー出版部、PDF版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト10%）35%、最終課題65%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験4級合格者：I期終了時合格は15点プラス。

検定試験3級合格者：I期終了時合格は100点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria/Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 - II

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	総括	I 期期末試験の解説
2回	復習	春学期の復習
3回	第十一課	受身の表現
4回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7回	復習	第十一課～第十四課の復習
8回	第十五課	仮定の表現
9回	第十六課	因果関係を表す表現
10回	第十七課	逆接関係を表す表現
11回	第十八課	付け加えの表現
12回	第十九課	除外の表現
13回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14回	復習	II 期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスビー出版部、PDF版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト10%）35%、最終課題65%とする。
無断欠席・遅刻は回数分に依りて減点される。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40%for normal points and 60%for final assignments.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語コミュニケーション初級 I 2017年度以降入学者**周 重雷**

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

構文をしっかりと覚える。

発音を正確にする。

日常会話ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教材を使って文法の勉強をする。また履修者のレベルを確認した上、様々な会話パターンを作って練習していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	シラバスの配布と説明
第2回	発音	ピンインの復習
第3回	あいさつ	あいさつなどの日常用語の練習をする
第4回	人称代名詞と指示代名詞	文法を確認したのち、自己紹介の練習をする
	会話（1）	
第5回	述語	文法を確認したのち、自己紹介を発表する
	授業内発表（1）	
第6回	受け答え	「是」その他
第7回	場所と方位	在と有
第8回	数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語を学ぶ
第9回	疑問文	ものの尋ね方
	会話（2）	レストランでの会話を作成する
第10回	連用修飾語	副詞と時間詞を学ぶ
	授業内発表（2）	講師と一対一またはグループでレストランでの会話をする
第11回	完了と変化	「了」の様々を知る
	会話（3）	買い物する時の会話パターンを作成する
第12回	助動詞と前置詞構造	文法を確認したのち、講師と一対一またはグループで買い物のシミュレーションをする
	授業内発表（3）	
第13回	三量補語	三量補語と離合詞
第14回	まとめ及び期末テスト	文法をまとめ、会話の口頭テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や発表の準備など、毎回1時間ほどの予習・復習をする。

また、HSKや中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

発表：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

受講者それぞれのレベルの差に配慮をする。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should talk the Chinese language by accurate pronunciation,

and talk the Chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

Presentation:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語コミュニケーション初級Ⅱ 2017年度以降入学者**周 重雷**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

「読む、書く、聞く、話す」を全体的にスキルアップを図る。
日常の中国語のコミュニケーションが取れるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

履修者のレベルに合わせ、文法を復習しつつ、会話の練習を強化していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	持続態と進行形 作文	持続態と進行形を確認したのち、「私の夏休み」を作成する
第2回	程度補語 作文の添削	程度補語を確認したのち、作文の添削をする
第3回	比較と連動	比較文と連動文
第4回	構文分析	構文分析と助動詞の補説
第5回	強調と重複 会話（1）	強調文と重複表現 待ち合わせの会話を作る
第6回	方向補語 授業内発表（1）	方向補語の用法 待ち合わせの会話の発表
第7回	複合方向補語の用法	複合方向補語の派生的用法
第8回	結果補語	結果補語の説明
第9回	可能補語 会話（2）	可能補語の説明 道を尋ねる・教える会話の作成
第10回	使役と受身 授業内発表（2）	使役と受身の確認と比較 道を尋ねる・教える会話の発表
第11回	処置と倒置	処置文と倒置文
第12回	複文一	複文の様々を知る
第13回	複文二	複文の後半
第14回	まとめ	口頭による試験を行う まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週1時間を目途に予習・復習する。
単語を調べて、オリジナルの長文及び会話文を作る。
また、HSKや中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60 %

発表：40 %

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

受講者それぞれのレベルの差に配慮する。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should do the exercise of reading, writing, listening and talking.

We should talk the chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

presentation:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語視聴覚初級 I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (35)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。この授業は水曜日3限の中国語視聴覚中級A・Bと同じ教科書を使います。中国語視聴覚初級は1課～6課を勉強します、中国語視聴覚中級は6課～12課を勉強します。

【到達目標】

1年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容に関するガイダンス
2	第1課	文法理解と応用
3	第1課	会話と応用
4	第1課	読解文の理解と応用
5	第1課	課外練習と作文
6	第2課	文法理解と応用
7	第2課	会話と応用
8	第2課	読解文の理解と応用
9	第2課	課外練習と作文
10	第3課	文法理解と応用
11	第3課	会話と応用
12	第3課	読解文の理解と応用
13	第3課	課外練習と作文
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVDで学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、課題30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

This class uses the same textbook as Wednesday 3rd period Chinese Audiovisual Intermediate A/B. Beginner Chinese audiovisual students will study lessons 1 to 6, and intermediate Chinese audiovisual students will study lessons 6 to 12.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語視聴覚初級Ⅱ

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (35)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。中国語視聴覚初級は1課～6課を勉強します、中国語視聴覚中級は6課～12課を勉強します。

【到達目標】

1年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス復習	授業内容に関するガイダンスと復習
2	第4課	文法理解と応用
3	第4課	会話と応用
4	第4課	読解文の理解と応用
5	第4課	課外練習と作文
6	第5課	文法理解と応用
7	第5課	会話と応用
8	第5課	読解文の理解と応用
9	第5課	課外練習と作文
10	第6課	文法理解と応用
11	第6課	会話と応用
12	第6課	読解文の理解と応用
13	第6課	課外練習と作文
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVDで学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、課題30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

This class uses the same textbook as Wednesday 3rd period Chinese Audiovisual Intermediate A/B. Beginner Chinese audiovisual students will study lessons 1 to 6, and intermediate Chinese audiovisual students will study lessons 6 to 12.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

資格中国語初級 I

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK (□□水平考□) 1級～3級合格レベルの中国語を身につけることが、この授業の目的ですが、例年レベルが高い学生が多いため、春学期中に2～3級、秋学期中に3～4級に合格できるよう指導します。HSKのリスニングは難しいので、中国検定準4級程度からトレーニングを始めていきます。向上心のある学生の参加を歓迎します。単位のためだけの履修は向きません。中国語を1年以上履修した学生に限ります。中国語が好きな人が集まりますので、気軽に情報交換できる楽しいクラスを目指します。毎年全員が高得点で合格しています。

【到達目標】

春学期はHSK 2～3級に合格できるリスニング力と読解力を身につけてもらいます。秋学期はHSK 3～4級合格を目指します。昨年の3級合格者の平均点は247点で、内訳は、聴力78点、閲読86点、写作83点でした。日本人が苦手な聴力の得点も良好で、閲読では4人が100点（満点）でした。また4級には3人合格しました。履修者は2年生が多いですが、就活を終えた4年生もいます。1年生のとき使用した教科書ポイント学習を復習しながら、初級中国語の基礎文法のしくみを解説します。必ずレベルアップを感じていただきたいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

HSKの過去問プリントを使って学習します。必要な単語と文法を学び、実際の過去問を解いて実践力を養います。単語帳のテキストを使って、単語テストを行い、語彙力を高めます。ポイント学習の教科書を使って初級中国語の文法の構造を把握し理解します。フィードバックは授業内とメールで行います。メールは、qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	レベルチェックテスト	メンバーのレベルをチェックします。
2	HSK 1 級過去問①	HSK 1 過去問①を解き解説します。
3	HSK 1 過去問②	HSK 1 過去問②を解いて解説します。
4	HSK 2 過去問①	HSK 2 過去問①を解いて解説します。
5	HSK 2 過去問②	HSK 2 過去問②を解いて解説します。
6	HSK 2 級過去問③	HSK 2 級過去問③を解いて解説します。
7	HSK 2 級過去問④	HSK 2 級過去問④を解いて解説します。
8	HSK 3 級過去問①	HSK 3 級過去問①を解いて解説します。
9	HSK 3 級過去問②	HSK 3 級過去問②を解いて解説します。

10	HSK 3 級過去問③	HSK 3 級過去問③を解いて解説します。
11	HSK 3 級過去問④	HSK 3 級過去問④を解いて解説します。
12	HSK 3 級過去問⑤	HSK 3 級過去問⑤を解いて解説します。
13	HSK 3 級過去問⑥	HSK 3 級過去問⑥を解いて解説します。
14	春学期復習と学習のまとめ	復習テストと学習のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

良く復習すること。覚えた単語は忘れないようにすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

過去問はプリントを配布します。法政大学のHSK合格講座のサイトも活用します。次のテキストを使用します。履修を決めてから購入してください。HSK/中検対応『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室（編著）朝日出版社。ポイント学習中国語を毎回持参してください。

【参考書】

HSK過去問、HSK公式アプリ単語、法政大学HSK合格講座

【成績評価の方法と基準】

出席状況80%と期末テスト20%で評価します。HSK合格者は、S評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

単語帳テキストを使って、単語テストを実施し、語彙力を高めます。同時にリスニングのトレーニングを多く行います。文法がもっとわかるようになりたいという要望が多いので、ポイント学習中国語を使って解説します。文法の基礎や構造を理解していただけるように工夫します。プリント教材の質を向上させて、復習しやすいように心がけます。また欠席者が困らないように、授業内容は、hoppiにアップするようにします。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマホ

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st 2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

資格中国語初級Ⅱ

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK 3－4 級合格レベルの中国語を身につけることが目的です。この授業は春学期から継続しています。秋学期からの参加も歓迎しますが、春学期のシラバスを読んで、初回の授業に出てから履修を決めてください。中国語が好きで意欲的な学生の参加を歓迎します。

【到達目標】

HSK 3－4 級合格以上を目指します。昨年は4級は3人合格しました。詳細は春学期のシラバスをご覧ください。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を使って、HSK 3－4 級の単語と文法を学びます。リスニング練習を重視します。そのほか単語帳とポイント学習中国語の教科書で初級文法の構造を解説します。フィードバックは授業内とメールで行います。qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	HSK 3 級昨年度の過去問を使ったレベルチェックテスト	HSK 3 級昨年度の過去問を使って皆さんのレベルをチェックします。
2	HSK 3 級過去問①	HSK 3 級過去問①を解いて解説します。
3	HSK 4 級単語解説	HSK 4 級に出る単語を解説します。
4	HSK 4 級過去問リスニングチェックテスト①	HSK 4 級過去問リスニングを解いてリスニング力をチェックします。
5	HSK 4 級過去問リスニング②	HSK 4 級過去問リスニング②を解いて解説します。
6	HSK 4 級過去問リスニング③	HSK 4 級過去問リスニング③を解いて解説します。
7	HSK 4 級過去問リスニング④	HS 4 級過去問④を解いて解説します。
8	HS 4 級過去問閱讀①	HSK 4 級過去問閱讀①を解いて解説します。
9	HSK 4 級過去問閱讀②	HSK 4 級過去問閱讀②を解いて解説します。
10	HSK 4 級過去問閱讀③	HSK 4 級過去問③を解いて閱讀の解説します。
11	HSK 4 級過去問閱讀④	HSK 4 級過去問閱讀④を解いて、閱讀の解説をします。
12	HSK 4 級過去問作文①	HSK 4 級過去問の2作文練習をします。
13	HSK 4 級過去問	HSK 4 級過去問の作文②を学習します。
14	授業の総まとめ期末テスト実施	期末テスト実施、解説をしながら学習の総まとめをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学んだことを忘れないように、よく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を配布します。プリント以外に、次の単語帳テキストを使用します。

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室（編著）朝日出版社。またポイント学習中国語を持参することが望ましいです。

【参考書】

HSK－4 3 級過去問、単語集。法政大学 HSK 合格講座

【成績評価の方法と基準】

出席状況80%、期末テスト20%で評価します。HSK 3 級以上合格者はSランクで評価します。

【学生の意見等からの気づき】

欠席者が困らないように、授業内容はhoppiにアップするようにします。

【学生が準備すべき機器他】

スマホ、PC。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st 2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

ARSe200LA（地域研究（東アジア）/Area studies(East Asia) 200)

中国語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

高柳 浩平

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制（60）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ことばは一般的に「コミュニケーションのための手段」と見なされることが多いですが、ことばが使われる時、その背後には整然としたしくみが存在しています。本授業は、何かの手段としての中国語を学ぶのではなく、中国語を中国語たらしめているしくみがどのように形成されたのか、どのように運用されているのかを、言語学的見地から「文字」「語彙」「音韻」「文法」といった分野に分けて学んでいきます。つまり、ことばとして中国語そのものを深く理解することこそが本授業の目的です。

【到達目標】

中国語のしくみを分析・探求する学問を「中国語学」と呼びますが、本授業の到達目標は、中国語学の根幹をなす「文字」「語彙」「音韻」「文法」といった各分野における基礎知識を習得することと、いくつか取り上げる個別の事例について自力で分析が出来るようになることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が作成して配布した資料をもとに講義をおこない、各回の終わりにはリアクションペーパーを提出してもらいます。質疑応答、課題等へのフィードバックは授業時におこなうほか、随時大学の学修支援システムやメールも利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	授業に関する留意点の説明等
②	中国語の文字（1）	漢字の起源と変遷
③	中国語の文字（2）	漢字の簡略化及び文字改革と簡体字
④	中国語の音韻（1）	古代の音とその表記法
⑤	中国語の音韻（2）	古代の音から現代の音へ
⑥	中国語の音韻（3）	ピンインの成立とその表記法
⑦	中国語の語彙（1）	古代の語彙とその分類
⑧	中国語の語彙（2）	古代の語彙から現代の語彙へ
⑨	中国語の語彙（3）	日中語彙交流と外来語・新語・流行語
⑩	中国語の文法（1）	中国語の文構造と品詞分類
⑪	中国語の文法（2）	中国語文法研究の変遷
⑫	共通語と方言（1）	共通語の成立と広がり
⑬	共通語と方言（2）	共通語と諸方言の比較
⑭	まとめと試験	講義のまとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はありません。教員が作成した教材を印刷して授業時に配布します。

【参考書】

参考書は授業内にて適宜お知らせします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％）、期末試験（60％）とします。

※平常点には、毎回提出するリアクションペーパーや、数回実施する小レポート等が含まれます。

※期末試験は一切参照不可にて実施しますので、基本事項は早めに覚えておきましょう。

【学生の意見等からの気づき】

新任のため無し。

【学生が準備すべき機器他】

中日辞典を毎回持参することが望ましい。

【その他の重要事項】

授業計画は変更する可能性がありますので、参考程度に考えてください。

なお、本授業は中国語を全く学んだことのない方でも履修可能です。中国語や言語学に触れたことのない方にとっても、面白いと思ってもらえる授業を心がけます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This course deals with the Chinese Linguistics. The purpose of this course is to gain a deep understanding of the Chinese language itself.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic knowledge of Chinese Linguistics.

【Learning activities outside of classroom】

4 hours for preparation and review for each class.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination: 60%, Short reports and in class contribution: 40%

ARSe200LA（地域研究（東アジア） / Area studies(East Asia) 200）

中国語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

高柳 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制（60）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期に引き続き本授業では、何かの手段としての中国語を学ぶのではなく、中国語を中国語たらしめているしくみがどのように形成されたのか、どのように運用されているのかを、言語学的見地から学んでいきます。つまり、ことばとして中国語そのものを深く理解することこそが本授業の目的です。

【到達目標】

中国語のしくみを分析・探求する学問を「中国語学」と呼びますが、本授業の到達目標は、中国語学の根幹をなす「文字」「語彙」「音韻」「文法」といった各分野における基礎知識を習得することと、いくつか取り上げる個別の事例について自力で分析が出来るようになることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が作成して配布した資料をもとに講義をおこない、各回の終わりにはリアクションペーパーを提出してもらいます。質疑応答、課題等へのフィードバックは授業時におこなうほか、随時大学の学修支援システムやメールも利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	授業に関する留意点の説明等
②	類型論からみる中国語（１）	形態的類型論における中国語
③	類型論からみる中国語（２）	語順類型論における中国語
④	中国語文法の分析（１）	中国語と西洋文法の受容
⑤	中国語文法の分析（２）	中国語とアスペクト
⑥	中国語文法の分析（３）	中国語と補語
⑦	中国語文法の分析（４）	中国語と類像性
⑧	中国語史（０）	中国語史における時代区分
⑨	中国語史（１）	上古中国語の特徴
⑩	中国語史（２）	中古早期中国語の特徴
⑪	中国語史（３）	中古中国語の特徴
⑫	中国語史（４）	近代中国語の特徴
⑬	応用演習	中国語と能格性
⑭	まとめと試験	講義のまとめと筆記試験をおこないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はありません。教員が作成した教材を印刷して授業時に配布します。

【参考書】

参考書は授業内にて適宜お知らせします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％）、期末試験（60％）とします。

※平常点には、毎回提出するリアクションペーパーや、数回実施する小レポート等が含まれます。

※期末試験は一切参照不可にて実施しますので、基本事項は早めに覚えておきましょう。

【学生の意見等からの気づき】

新任のため無し。

【学生が準備すべき機器他】

中日辞典を毎回持参することが望ましい。

【その他の重要事項】

授業計画は変更する可能性がありますので、参考程度に考えてください。

なお、本授業は中国語を全く学んだことのない方でも履修可能です。中国語や言語学に触れたことのない方にとっても、面白いと思ってもらえる授業を心がけます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This course deals with the Chinese Linguistics. The purpose of this course is to gain a deep understanding of the Chinese language itself.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic knowledge of Chinese Linguistics .

【Learning activities outside of classroom】

4 hours for preparation and review for each class.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination: 60%, Short reports and in class contribution: 40%

ARSe200LA（地域研究（東アジア）/Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：台湾の文化と社会

山本 律

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制（60）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、台湾は日本人の旅行先として人気となっています。

日本と台湾は長い歴史の中で深いかわりを持っています。

本授業では映像資料を用いて日本と台湾の文化的関係についてみていきます。

【到達目標】

日本と台湾との文化的関係についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を行います。

毎回コメントペーパーを出してもらいます。

その次の回の授業でコメントペーパーの内容や質問についてフィードバックします。

最終回には教場レポートを提出してもらいます。

出席や遅刻など毎回の授業態度と教場レポートが主な成績判定となります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方について
第2回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第1回） 教員による解説・講義
第3回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第2回） 教員による解説・講義
第4回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第3回） 教員による解説・講義
第5回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』（第1回） 教員による解説・講義
第6回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』（第2回） 教員による解説・講義
第7回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』（第3回） 教員による解説・講義
第8回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』（第1回） 教員による解説・講義
第9回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』（第2回） 教員による解説・講義
第10回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』（第3回） 教員による解説・講義
第11回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』（第1回） 教員による解説・講義

第12回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』（第2回） 教員による解説・講義
第13回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』（第3回） 教員による解説・講義
第14回	授業の総まとめとレポート	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。映画は各自で観てください。

【テキスト（教科書）】

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席、授業態度、コメントペーパー）60％、レポート40％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese culture and society by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Report(40%), in-class contribution(60%).

ARSe200LA（地域研究（東アジア）/Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：香港の文化と社会

山本 律

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制（60）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の文化と社会について、中国映画や中国の映像資料を用い学んでいきます。

映画は、その国の文化と社会を映し出します。

今期では、2008年に公開されて以降、人気を博しシリーズ化されたカンフーアクション映画を軸として香港の社会と文化についてみていきます。

【到達目標】

中国香港の文化と社会についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で授業を行います。

毎回コメントペーパーを出してもらいます。

その次の回の授業でコメントペーパーの内容や質問についてフィードバックします。

最終回には教場レポートを提出してもらいます。

出席や遅刻など毎回の授業態度と教場レポートが主な成績判定となります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方について
第2回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』（第1回） 教員による解説・講義
第3回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』（第2回） 教員による解説・講義
第4回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』（第3回） 教員による解説・講義
第5回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』（第1回） 教員による解説・講義
第6回	レポート映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』（第2回） 教員による解説・講義
第7回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』（第3回） 教員による解説・講義
第8回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』（第1回） 教員による解説・講義
第9回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』（第2回） 教員による解説・講義

第10回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』（第3回） 教員による解説・講義
第11回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』（第1回） 教員による解説・講義
第12回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』（第2回） 教員による解説・講義
第13回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』（第3回） 教員による解説・講義
第14回	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。映画は各自で観てきてください。

【テキスト（教科書）】

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席、毎回のコメントペーパー）60％、レポート40％。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese society and culture by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

ARSe200LA（地域研究（東アジア）/Area studies(East Asia) 200）

中国の文化と社会 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制（60）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、中国の文化と社会に関する基礎知識を学ぶ。中国の食文化、民俗行事、芸術工芸及び文化遺産について概観し、現代中国社会における学校教育、ジェンダー構造、消費者意識、流行物などを紹介・解説する。中国文化の多様性及び現代中国社会の実態への理解を深め、異文化理解と異文化交流の力を養うことを目的とする。

【到達目標】

- ・中国の文化と社会に関する基礎知識を習得する。
- ・中国社会に関する知識や事柄を理解する。
- ・中国のマナー・文化風習・商習慣への理解を深める。
- ・現代中国社会の事柄と流行物を客観的・多角的に捉える。
- ・異文化理解と異文化交流の力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テーマごとに講義を行う。また、受講生が練習問題の解答や自分の考えを発表する機会も設ける。グループディスカッションがある。課題とリアクションペーパーへのフィードバックは授業内及び学習支援システムにて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムでその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	・シラバス、授業内容の説明 ・授業計画と進め方、成績評価の方法と基準を説明
第2回	行政区画・地理	・中国の東西南北と地理概念 ・地域の差
第3回	漢民族と少数民族	・漢民族 ・少数民族
第4回	中国語という言葉	・漢字の歴史 ・普通話と方言
第5回	食文化	・中華料理とは ・「南」と「北」の食文化 ・円卓文化 ・デリバリーの流行
第6回	コミュニケーション文化1	・茶文化 ・酒文化
第7回	コミュニケーション文化2	・ビジネスマナー ・「メンツ」について
第8回	祝祭日と民俗行事	・二十四節気と祝祭日 ・民俗行事
第9回	芸術：音楽、絵画と戯曲	・音楽：燕楽、琴楽、民謡 ・絵画：花鳥画、山水画 ・戯曲：昆劇、京劇、川劇

第10回	学校教育	・「科学」と「高考」 ・現代社会の教育制度 ・都市と農村での教育格差
第11回	「卷」と「躺平」	・「卷」とは何か ・「躺平」とは何か ・若者世代の現状
第12回	「二次元文化」と「国潮」	・急成長の二次元文化 ・新しいカルチャー：国潮
第13回	異文化コミュニケーション	・異文化コミュニケーション・ギャップ ・異文化コミュニケーション・スキル ・ディスカッション
第14回	授業内容のまとめ レポートの提出	・まとめと質疑応答 ・期末レポートの提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間（計4時間）を標準とする。
・授業前に学習支援システムにアップロードされた講義資料を読むしておくこと。
・授業後は関連知識の振り返り、疑問点や感想を整理してまとめること。
・授業内で示される課題・ディスカッションの内容を対応すること。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。
講義資料は事前に学習支援システムにアップロードする。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

中国研究所編『中国年鑑』（2024年版）明石書店、2024年
許倬雲『中国文化的精神』九州出版社、2024年
樓宇烈『中国文化十五講』東方出版中心、2024年
程愛民『中国概況（修訂版）』上海外語教育出版社、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための54章（第7版）』明石書店、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための52章（第6版）』明石書店、2018年
王力編『中国古代文化常識』北京聯合出版公司、2014年
毛里和子・園田茂人編『中国問題キーワードで読み解く』東京大学出版会、2012年
並木頼壽・杉山文彦編著『中国の歴史を知るための60章』明石書店、2011年
※その他の参考文献は授業中に必要に応じて適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題・リアクションペーパー・授業への参加度）を60％、期末レポートを40％として合計100点満点とする。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60％以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の理解度を高めるために、音声・映像などのコンテンツを活用する。
私語などを注意し、授業に集中しやすい環境づくりに心がけたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

学習支援システム上の本授業の連絡事項を確認すること。
不明な点がある場合、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまで連絡してください。

【Outline (in English)】

This course provides fundamental knowledge of Chinese culture and society. It offers an overview of Chinese food culture, folk traditions, arts and crafts, and cultural heritage. Additionally, the course introduces and explains aspects of contemporary Chinese society, including education, gender structures, consumer awareness, and popular trends.

【Learning Objectives】

- ・Acquire basic knowledge of Chinese culture and society.
- ・Understand key aspects and characteristics of Chinese society.
- ・Gain a deeper understanding of Chinese etiquette, cultural customs, and business practices.

- ・ Be able to analyze contemporary Chinese society and trends from an objective and multifaceted perspective.
- ・ Develop intercultural understanding and communication skills.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to spend approximately two hours each on preparation and review, totaling four hours per session.

[Grading Criteria /Policies]

Grading will be based on in-class contribution(60%) and term-end report(40%).Students who achieve 60%or more of the course objectives will pass.

ARSe200LA（地域研究（東アジア）/Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制（60）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、中国の文化と社会に関する基礎知識を学ぶ。中国の宗教、文学、美術工芸、世界遺産、冠婚葬祭について概観し、歴史的・文化的背景を理解する。次に、現代中国社会に焦点を当て、情報化とグローバル化に伴う価値観の変化、消費行動の変化、ジェンダー構造の変容について考察する。本授業を通じて中国の文化と社会の特徴を理解し、その変遷を多角的に捉える力を養うことを目指す。また、異文化理解と異文化交流の視点を深めるとともに、自らの考えを発展させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国の文化と社会に関する基礎知識を習得する。
- ・中国社会に関する知識や事柄を理解する。
- ・中国の冠婚葬祭のマナー・文化風習への理解を深める。
- ・現代中国社会の事柄と流行物を客観的・多角的に捉え、自分なりの考えを深める。
- ・異文化理解と異文化交流の力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テーマごとに講義を行う。また、受講生が練習問題の解答や自分の考えを発表する機会も設ける。グループディスカッションがある。課題とリアクションペーパーへのフィードバックは授業内及び学習支援システムにて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムでその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	宗教	・民間信仰と祖先崇拜 ・道教と仏教
第2回	文学	・古代文学 ・唐詩と宋詞 ・近現代文学
第3回	美術工芸	・ガラス工芸 ・陶器、磁器、景泰藍 ・刺繍
第4回	中国の世界遺産 1	・故宮 ・万里の長城 ・始皇帝陵と兵馬俑
第5回	中国の世界遺産 2	・パンダ保護区群 ・莫高窟、龍門石窟、雲崗石窟、大足石刻 ・九寨溝、黄龍、黄山、桂林
第6回	冠婚葬祭	・結婚式 ・葬儀

第7回	SNSとショート動画	・SNSと「自媒体」 ・ショート動画の急成長 ・娯楽性と実用性
第8回	消費行動の変化	・店頭購入とネットショッピング ・爆買いから理性消費へ ・モノ消費からコト消費へ
第9回	ジェンダー構造の変容とフェミニズム	・男尊女卑と男女平等 ・フェミニズム ・ジェンダー構造の変容
第10回	異文化コミュニケーション 1	・カルチャーショック ・異文化受容と異文化適応 ・自文化の変容
第11回	プレゼンテーション・ディスカッション 1	・カルチャーショック ・異文化理解・自文化理解 ・グループディスカッション
第12回	異文化コミュニケーション 2	・多文化社会とは ・多文化共生へ ・マイノリティへの理解
第13回	プレゼンテーション・ディスカッション 2	・プレゼンテーション ・グループディスカッション
第14回	授業内容のまとめ レポートの提出	・まとめと質疑応答 ・期末レポートの提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間（計4時間）を標準とする。
・授業前に学習支援システムにアップロードされた講義資料を読むしておくこと。
・授業後は関連知識の振り返り、疑問点や感想を整理してまとめること。
・授業内で示される課題・ディスカッションの内容を対応すること。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。
講義資料は事前に学習支援システムにアップロードする。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

中国研究所編『中国年鑑』（2024年版）明石書店、2024年
許倬雲『中国文化的精神』九州出版社、2024年
樓宇烈『中国文化十五講』東方出版中心、2024年
程愛民『中国概況（修訂版）』上海外語教育出版社、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための54章（第7版）』明石書店、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための52章（第6版）』明石書店、2018年
王力編『中国古代文化常識』北京聯合出版公司、2014年
毛里和子・園田茂人編『中国問題キーワードで読み解く』東京大学出版会、2012年
並木頼壽・杉山文彦編著『中国の歴史を知るための60章』明石書店、2011年
※その他の参考文献は授業中に必要に応じて適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題・リアクションペーパー・授業への参加度）を60％、期末レポートを40％として合計100点満点とする。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60％以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の理解度を高めるために、音声・映像などのコンテンツを活用する。
私語などを注意し、授業に集中しやすい環境づくりに心がけたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

学習支援システム上の本授業の連絡事項を確認すること。
不明な点がある場合、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This course provides fundamental knowledge of Chinese culture and society. It offers an overview of China's religion, literature, arts and crafts, world heritage, and traditional ceremonies. This course also explores contemporary Chinese society, analyzing shifts in values, consumer behavior, and gender dynamics.

【Learning Objectives】

- Acquire basic knowledge of Chinese culture and society.
- Understand key aspects and characteristics of Chinese society.
- Gain a deeper understanding of Chinese customs and traditions.
- Develop the ability to analyze contemporary Chinese society and trends from an objective, multifaceted perspective, while forming independent insights.
- Develop intercultural understanding and communication skills.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend approximately two hours each on preparation and review, totaling four hours per session.

【Grading Criteria /Policies】

Grading will be based on in-class contribution (60%) and term-end report (40%). Students who achieve 60% or more of the course objectives will pass.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在語幹母音 変化動詞 動詞 tener, ir, ver, hacer, poner, salir	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法現在語幹母音変化動詞の 活用、及び動詞 tener, ir, ver, hacer, poner, salir の活用と 用法復習 (テキスト: 第1課)
2	再帰動詞	再帰動詞の復習 (テキスト: 第1課)
3	動詞 oír, venir, saber, conocer 不定詞表現	動詞 oír, venir, saber, conocer の活用と用法、及び不 定詞表現の復習 (テキスト: 第2課)
4	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar をはじめとする gustar 型動詞の復習 (テキスト: 第2課)
5	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト: 第3課)
6	現在分詞	現在分詞の復習 (テキスト: 第3課)
7	所有形容詞（前置形 と後置形） 関係代名詞 que	所有形容詞、及び関係代名詞 que の用法復習 (テキスト: 第3課)
8	中間試験 直説法点過去規則動 詞	中間試験の実施 直説法点過去規則活用の復習 (テキスト: 第4課)

9	直説法点過去不規則 動詞 数（1～2000）	直説法点過去不規則活用、及び 2000 までの数の復習 (テキスト: 第4課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト: 第5課)
11	過去分詞	過去分詞の復習 (テキスト: 第6課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去 完了の復習 (テキスト: 第6課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで2 (Nuevo Español con ritmo 2)』（同学社）、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語ⅢⅡ

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法過去形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト：第7課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト：第7課)
3	接続法現在規則動詞	接続法の概念 接続法現在規則活用 (テキスト：第8課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト：第8課)
5	名詞節における接続法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト：第9課)
6	関係節における接続法	関係節（形容詞節）での接続法現在の使い方 (テキスト：第10課)
7	副詞節における接続法	副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト：第10課)
8	中間試験 独立文における接続法	中間試験の実施 独立文での接続法現在の使い方 (テキスト：第8課)
9	序数	序数の用法 (テキスト：第9課)
10	命令表現	命令文の作り方 (テキスト：第11課)
11	命令表現での代名詞の位置	命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト：第11課)

12	接続法現在完了	接続法現在完了の活用と用法 (テキスト：第12課)
13	接続法過去 秋学期の復習	接続法過去の活用と用法 (テキスト：第12課) 期末試験に備えた秋学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで2 (Nuevo Español con ritmo 2)』（同学社）、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	アルファベット、母音、子音、 発音、アクセント、名詞、定冠 詞・不定冠詞
2	動詞（規則活用）	主格人称代名詞、動詞（規則活 用）現在形
3	動詞（不規則活用）	動詞（不規則活用）、否定文
4	動詞 ser, estar, hay 現 在形	ser, estar, hay の使い方
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終 わる形容詞の語形変化、語尾が 脱落する形容詞の語形変化など
6	形容詞の応用	所有詞、指示詞
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	動詞（不規則活用2）	基本動詞に多い不規則活用動詞 と1人称単数が不規則な形
9	目的格人称代名詞	直接目的格および間接目的格人 称代名詞の使い方
10	動詞（不規則活用） 3、時刻表現	複合型不規則動詞と時刻の表現
11	過去分詞、現在完了	現在完了の作り方とその用法
12	gustar 構文、前置詞 格人称代名詞	gustar 型動詞の使い方とその種 類
13	再帰動詞	再帰動詞の基本的な考え方とそ の使い方
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、 今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA（スペイン語 / Spanish language education 200）

スペイン語ⅢⅡ

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
＜課題に対するフィードバックの方法＞
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う
本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	直説法点過去	直説法点過去の活用と用法
2	直説法線過去	直説法線過去 点過去と線過去の違いと使い方
3	不定語・否定語、現在分詞	現在分詞の形と使い方、分詞構文および、否定語・不定語を用いた文の構造
4	直説法未来形	直説法未来形の活用と使い方
5	関係詞	関係代名詞の種類と使い方
6	接続法現在形	接続法の考え方と動詞の活用、名詞節における使い方
7	接続法現在形2	接続法現在形のその他の種類、形容詞節と副詞節
8	命令形、感嘆文	命令形における接続法現在形の応用
9	直説法過去完了形	直説法過去完了形の活用と、その使い方
10	比較表現	比較形の作り方と使い方
11	関係詞2	関係形容詞、関係副詞の種類と使い方
12	直説法過去未来形	直説法過去未来形の活用とその使い方
13	接続法過去形	接続法過去形の活用とその使い方
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】
『西和中辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.
【Learning Objectives】
By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.
【Learning activities outside of classroom】
Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.
【Grading Criteria /Policy】
Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえそうな方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法にうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	17まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語Ⅲ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ て学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
対面/face to face	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
対面/face to face	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえそうな方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法にうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	17まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語ⅢⅡ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につい て学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
対面/face to face	文書読解（ニュース サイト）	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
対面/face to face	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。
6回	私の地区	過去の習慣について話す。
7回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
8回	休みの時	過去の習慣について話す。
9回	休みの過ごし方	過去に行った事柄について話す、質問する。
10回	前の旅行。	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
11回	昔の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
12回	食物	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。
13回	飲み物	旅行に関して人に何かを進める。
14回	復習と口頭試験	食習慣について話す。
		近い過去の経験や行為について質問する、話す。
		料理の材料について話すそして人に勧める。
		復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。

・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2 第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15%of normal points, 15%of class participation, assignments and 70%of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語Ⅲ

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7回	海外旅行	スペイン語圏から来たばかりの留学生のためのガイドブックを作る。
8回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12回	学年が終わる。	学期中に行ったところについて、質問する、話す。
13回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。

14回 復習と口頭試験 復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 - ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
 - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
 - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
 - ・努めて語彙を増やしていくこと。
 - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2 第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 % ・授業参加 15+課題と学期口頭末試験 70 % で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15%of normal points, 15%of class participation + assignments and 70%of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

文法をひととおり習得し、語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏諸国の地理・歴史・社会・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合はZoomによるリアルタイム双方向式で行う。

教員が文法事項を説明し、履修生はテキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループアクティビティを行う。アクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第1課	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	第1課	直説法現在、点過去1、命令1、世界のスペイン語
3	第2課	線過去1、動詞 ser, tener, llevar、友人
4	第2課	点過去2、関係詞1、家族
5	第3課	線過去2、点過去3、以前の生活と今の生活
6	第3課	命令2、関係詞2、私の町
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	第4課	時を表す表現1、点過去4、自由時間
9	第4課	現在分詞、勧誘、映画
10	第5課	点過去5、命令3
11	第5課	直接目的語と間接目的語、旅行
12	第6課	現在完了、ya と todavia、スペイン語圏フェア
13	第6課	過去完了、食習慣
14	期末試験、総括	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、例文が訳せるようにしておく。地名は地図で位置を確認し、その特徴なども調べる。

復習：新しく学んだ語彙・文法をノートにまとめて復習し、テキストの音声やビデオを視聴し発音練習を繰り返す。

宿題：練習問題

標準学習時間：計2時間

【テキスト（教科書）】

ファン・カルロス・モヤノ・ロベス／カルロス・ガルシア・ルイス・カステージョ／廣康好美『いいね！ スペイン語2 コンパクト版』朝日出版社、2023年

【参考書】

1年次のスペイン語1、2で使用していた教科書
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50％）、中間試験（25％）、期末試験（25％）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声とビデオが視聴できる機器（パソコン、スマートフォン等）とインターネット環境。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書を使って学習することをお勧めします。
西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のもの。
自動翻訳機や生成AIの使用厳禁。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and deepen your knowledge of Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA（スペイン語 / Spanish language education 200）

スペイン語 3 II

2017年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

文法をひととおり習得し、語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏諸国の地理・歴史・社会・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合はZoomによるリアルタイム双方向式で行う。

教員が文法事項を説明し、履修生はテキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループアクティビティを行う。アクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	夏休みの思い出
2	第7課	未来、条件節 si
3	第7課	接続法現在 1、仕事
4	第8課	過去未来、命令 4、忠告と希望
5	第8課	接続法現在 2, 3、誕生日会
6	第9課	接続法現在 4, 5、意見
7	第9課	命令 5、無人称表現、大学生活
8	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
9	第10課	接続法現在 6、大きな数字、派生語
10	第10課	関係詞 3、社会変化
11	第11課	スポーツ
12	第12課	一年間の思い出
13	復習	時制のまとめ
14	期末試験、総括	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、例文が訳せるようにしておく。地名は地図で位置を確認し、その特徴なども調べる。

復習：新しく学んだ語彙・文法をノートにまとめて復習し、テキストの音声やビデオを視聴し発音練習を繰り返す。

宿題：練習問題

標準学習時間：計2時間

【テキスト（教科書）】

フアン・カルロス・モヤノ・ロペス／カルロス・ガルシア・ルイス・カステージョ／廣康好美『いいね！スペイン語2 コンパクト版』朝日出版社、2023年

【参考書】

1年次のスペイン語1、2で使用していた教科書

小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会

西川喬『わかるスペイン語文法』同出版社

その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50％）、中間試験（25％）、期末試験（25％）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声とビデオが視聴できる機器（パソコン、スマートフォン等）とインターネット環境。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書を使って学習することをお勧めします。

西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のもの。

自動翻訳機や生成AIの使用厳禁。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and deepen your knowledge of Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在語幹母音 変化動詞 動詞 tener, ir, ver, hacer, poner, salir	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法現在語幹母音変化動詞の 活用、及び動詞 tener, ir, ver, hacer, poner, salir の活用と 用法復習 (テキスト: 第1課)
2	再帰動詞	再帰動詞の復習 (テキスト: 第1課)
3	動詞 oír, venir, saber, conocer 不定詞表現	動詞 oír, venir, saber, conocer の活用と用法、及び不 定詞表現の復習 (テキスト: 第2課)
4	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar をはじめとする gustar 型動詞の復習 (テキスト: 第2課)
5	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト: 第3課)
6	現在分詞	現在分詞の復習 (テキスト: 第3課)
7	所有形容詞（前置形 と後置形） 関係代名詞 que	所有形容詞、及び関係代名詞 que の用法復習 (テキスト: 第3課)
8	中間試験 直説法点過去規則動 詞	中間試験の実施 直説法点過去規則活用の復習 (テキスト: 第4課)

9	直説法点過去不規則 動詞 数（1～2000）	直説法点過去不規則活用、及び 2000 までの数の復習 (テキスト: 第4課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト: 第5課)
11	過去分詞	過去分詞の復習 (テキスト: 第6課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去 完了の復習 (テキスト: 第6課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで2 (Nuevo Español con ritmo 2)』（同学社）、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語ⅢⅡ

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法過去形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト：第7課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト：第7課)
3	接続法現在規則動詞	接続法の概念 接続法現在規則活用 (テキスト：第8課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト：第8課)
5	名詞節における接続法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト：第9課)
6	関係節における接続法	関係節（形容詞節）での接続法現在の使い方 (テキスト：第10課)
7	副詞節における接続法	副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト：第10課)
8	中間試験 独立文における接続法	中間試験の実施 独立文での接続法現在の使い方 (テキスト：第8課)
9	序数	序数の用法 (テキスト：第9課)
10	命令表現	命令文の作り方 (テキスト：第11課)
11	命令表現での代名詞の位置	命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト：第11課)

12	接続法現在完了	接続法現在完了の活用と用法 (テキスト：第12課)
13	接続法過去 秋学期の復習	接続法過去の活用と用法 (テキスト：第12課) 期末試験に備えた秋学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで2 (Nuevo Español con ritmo 2)』（同学社）、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえそうな方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法にうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	17まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語Ⅲ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につい て学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
対面/face to face	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
対面/face to face	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。
6回	私の地区	過去の習慣について話す。
7回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
8回	休みの時	過去の習慣について話す。
9回	休みの過ごし方	過去に行った事柄について話す、質問する。
10回	前の旅行。	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
11回	昔の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
12回	食物	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。
13回	飲み物	旅行に関して人に何かを進める。食習慣について話す。
14回	復習と口頭試験	近い過去の経験や行為について質問する、話す。
		料理の材料について話すそして人に勧める。
		復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。

・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2 第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15%of normal points, 15%of class participation, assignments and 70%of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語Ⅲ

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7回	海外旅行	スペイン語圏から来たばかりの留学生のためのガイドブックを作る。
8回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12回	学年が終わる。	学期中に行ったところについて、質問する、話す。
13回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。

14回 復習と口頭試験 復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 - ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
 - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
 - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
 - ・努めて語彙を増やしていくこと。
 - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2 第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 % ・授業参加 15+課題と学期口頭末試験 70 % で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15%of normal points, 15%of class participation + assignments and 70%of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語文法を一通り学習する。長文のテキストを読みこなす読解力を身につける。聴解力の養成にも取り組む。

【到達目標】

1年次の初級文法での未習の分野を学習し、直説法未来形、過去未来形、命令法、接続法を理解できる。DELE、A3レベルの文法・語彙の試験で70%以上得点できる実力を身につける。聴き取り能力の向上も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

前半の授業では、1年次の教科書を用いて未習分野を学習する。後半は、中級の教科書または独自教材で、講読、聴き取り練習を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。

本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本シラバスを用いた授業の説明。
2	12課(1)	線過去、100以上の数(教科書 pp.50-51)。
3	12課(2)	比較表現、練習問題(pp.52-53)。
4	13課(1)	未来形、感嘆文(pp.54-55)。
5	13課(2)	知覚/使役動詞、受身表現、練習問題(pp.56-57)。
6	14課(1)	過去未来形、関係代名詞 QUE(pp.58-59)。
7	理解度確認	中間試験。
8	14課(2)	過去完了、間接話法と時制の一致(pp.60-61)。
9	15課(1)	命令形規則動詞、練習問題(pp.62-63)。
10	15課(2)	命令形不規則動詞、練習問題(pp.64-65)。
11	講読1	スペインの文化・社会についてのテキスト。
12	講読2	スペインの政治・経済についてのテキスト。
13	講読3	スペインの歴史についてのテキスト。
14	理解度確認	期末試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学生は、教科書の文法的説明を熟読し、与えられたテキストを授業の前に辞書を使って読む努力をしなければならない。文の意味が理解できなくても、少なくとも分らない単語の意味を調べておくことが必要である。また音声ファイルがある場合は、その音源を聞いてスペイン語のリズムと発音になれることが必要である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

春学期前半では、1年次に使用した教科書(『君もやってみよう！スペイン語 改訂版』)を使用する。
後半でどのような教科書・教材を使用するかは、受講生の興味・関心や理解度を把握したうえで決定する。

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

中間試験30%、期末試験40%、授業への参加30%とし、総合的に評価する。大幅な遅刻は欠席と見なす。欠席回数が5回に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this course, students will develop reading comprehension skills to understand longer texts through supplementary grammar study. They will also work on improving their listening comprehension skills.

The goal of this course is to cover grammar topics not included in the first-year curriculum, focusing on the future indicative, conditional, imperative, and subjunctive moods. Students will also aim to score at least 70% on the DELE A3-level grammar and vocabulary exam. Additionally, they will work on enhancing their listening comprehension. Students are expected to carefully read the textbook's grammar explanations and make an effort to read assigned texts with a dictionary before class. If an audio file is provided, students should listen to it to become familiar with the rhythm and pronunciation of Spanish. The recommended total time for preparation and review is one hour per session.

The final grade will be based on the following components: midterm exam: 30%, final exam: 40%, class participation: 30%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 II

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語圏の政治、経済、社会、文化、歴史などのテーマについて書かれた長文のテキストを読みこなす読解力を身につける。このテキスト講読を通して、スペイン語圏に関するさまざまな知識を身につける。聴解力の養成にも取り組む。

【到達目標】

学習者用のテキストだけでなく、スペイン語圏の新聞、雑誌記事など、生のテキストも辞書を用いればその概要が理解できる。**DELE**、**B1**レベルの文法・語彙の試験で**70%**以上得点できる実力を身につける。聴き取り能力の向上も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中級の教科書または独自教材で、スペイン語の長文の読解に取り組む。講読の授業2回に、長めの動画(5分程度)を用いた聴き取り練習を1回行う。毎回、講読や聴解のまえに授業の導入として独自教材による簡単な文法の問題演習を行う(15-20分)。

また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。

本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本シラバスを用いた授業の説明。
2	講読1	スペイン語の歴史(1)。
3	講読2	スペイン語の歴史(2)。
4	聴解1	スペインの交通機関。
5	講読3	小説(1)。
6	講読4	小説(2)。
7	理解度確認	中間試験。
8	聴解2	スペインのバル。
9	講読5	スペイン語圏の移民問題(1)。
10	講読6	スペイン語圏の移民問題(2)。
11	聴解3	コルドバとグラナダ。
12	講読7	スペイン語圏と日本(1)。
13	講読8	スペイン語圏と日本(2)。
14	理解度確認	期末試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられたテキストを授業の前に辞書を使って読む努力をしなければならない。たとえ文の意味を理解することができなくても、少なくとも知らない単語を辞書で調べておくこと。また音声ファイルがある場合は、その音源を聞いてスペイン語のリズムと発音になれることが必要である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

独自教材を配布する。教科書を使う場合は、春学期に選定したものを継続利用する。

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

中間試験**30%**、期末試験**40%**、授業への参加**30%**とし、総合的に評価する。大幅な遅刻は欠席と見なす。欠席回数が**5回**に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, students will acquire the reading comprehension skills to read long texts after complementary learning of Spanish grammar. They will also work on developing their listening comprehension skills.

The goal of this course is to learn areas that were not covered in the first year of basic grammar and to be able to understand the indicative future tense, conditional tense, imperative mood, and subjunctive mood. Students will also acquire the ability to score more than 70% on the DELE, A3 level grammar and vocabulary exam. In addition, they will aim to improve their listening comprehension skills.

Students should carefully read the grammatical explanations in the textbook and make an effort to read the given textbook with a dictionary before class. If there is an audio file, it is necessary to listen to it and become familiar with the rhythm and pronunciation of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following component; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形 /現在分詞のその他の用法
4	人一生 /家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞I：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 /-menteで終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法 / 品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去 /旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞 / 直説法現在完了：活用 /余暇生活 / 勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 /過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来：活用 /直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版-

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可)/SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 /直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu /vosotros に対する肯定命令 /命令形の用法 命令形と目的人称代名詞 /再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現 /直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用 / 接続法の用法 I: 名詞節過去形 II：usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 / 願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III: 形容詞節 /
9	自然と人間	接続法現在完了：活用と用法
10	願望表現	接続法の用法 IV：独立文 /接続法過去：活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去/条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了:活用 /接続法過去完了の用法 / 直説法過去未来完了:活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版-

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可)/SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいきます。

【到達目標】

基礎スペイン語から一歩進んだ文法を習得し、話すだけでなく読むことも視野に入れた学習をしていく。また、受講生にはスペイン語文法だけでなく、スペイン語圏の文学・歴史についても興味を深めるようになってもらいたいと考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎文法を終えた受講生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進めていく。さらには、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 1年次の復習	動詞・現在形・現在完了・過去形について
2	比較級・最上級について	形容詞・副詞の比較級・最上級
3	動詞・未来形について①	未来形の規則活用形・その用法
4	動詞・未来形について②	未来形の不規則型・その用法
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化、語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	関係代名詞について	que, quien, el cualなどの用法
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	前置詞格人称代名詞について	英語には存在しない品詞・前置詞格人称代名詞の働きと用法
9	目的格人称代名詞の復習	直接目的格および間接目的格人称代名詞の使い方
10	再帰動詞について	再帰動詞の働きと用法
11	過去分詞と現在完了形の復習	現在完了の作り方とその用法
12	gustar構文、前置詞格人称代名詞	gustar型動詞の使い方とその種類
13	動詞・過去未来形について	過去未来形の働きと用法
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

1年次に使用したテキストを持参すること。

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得に努めること。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (30%) and the final exam (70%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語ⅢⅡ

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んだあと、簡単な読み物を読んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、文法事項などを説明したあと、簡単な読み物を読んでいく。
また、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	直説法の動詞のまとめ
2	感嘆文について	感嘆文の働きと用法
3	接続法現在形について	接続法現在の働きと用法
4	接続法現在形・規則形	接続法現在形・規則形を理解し、覚えていく
5	接続法現在形・不規則型	接続法現在形・不規則形を理解し、覚えていく
6	命令形	肯定命令形と否定命令形を理解し、覚えていく
7	簡単な読み物の訳読①	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
8	簡単な読み物の訳読②	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
9	簡単な読み物の訳読③	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
10	簡単な読み物の訳読④	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
11	簡単な読み物の訳読⑤	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
12	簡単な読み物の訳読⑥	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
13	簡単な読み物の訳読⑦	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず予習してくること。
そして、復習のときには、音読すること。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

1年次で使用したテキストを持参すること。その他、訳読用のプリントを配布する。

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

予習および授業時間内の課題：50%、学期末試験：50%。
期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria/Policy】

Students evaluations are based on class participation (50%) and the final exam (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語世界を理解するための中級文法と表現を習得しよう。

【到達目標】

スペイン語世界の社会や文化に関するやさしい長文テキストが理解できることを目的とします。そのために、1年次で学習したスペイン語文法と表現を復習しながら、さらに発展した文法を学び、より実践的な語彙力、読解力、表現力を習得できることを目標とします。

言語の学習だけでなく、スペイン語世界の社会や文化についての理解と興味を深めることもめざしていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、原則的に講義・演習方式で進めます。知識の定着のために、課題（宿題）や練習問題をこなしながら進めます。それらのフィードバックは授業終了前もしくは翌週の授業で理解度を確認しながら行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと1年次の文法復習	簡単な日常表現を使って1年次の復習を行う。
2	Lección1 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
3	Lección1 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
4	Lección2 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
5	Lección2 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
6	Lección3 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
7	Lección3 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
8	中間試験	知識の確認
9	Lección4 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
10	Lección4 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
11	Lección5 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
12	Lección5 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
13	Lección5 までのまとめ	文法復習・練習問題
14	期末試験	知識の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や課題、毎回の授業の予習は必須です。

授業の準備・復習時間は各回1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『愛でる！ スペイン語』福嶋教隆 著、朝日出版社、2022年、2750円（税込み）

【参考書】

西和辞書、1年次の文法テキスト

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や予習、授業への積極参加など）30％、

中間・期末試験、小テスト 70％

＊全授業の2/3以上の出席をもって成績評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

1年次で習得した知識をもとにより発展したスペイン語を学びますが、なるべく身近な話題を取り上げて、スペイン語やスペイン語世界により興味をもてるような授業をめざします。

【Outline (in English)】

Course outline : This course introduces the intermediate grammar and expressions to understand the Spanish World for students taking this course. It also enhances understanding and interest in the diverse cultures of the world.

Learning Objectives: The goals of this course are to become familiar with more vocabulary and sentences used in daily life by utilizing basic and intermediate grammar and also be able to understand longer sentences.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 70%, in class contribution: 30%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 II

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語世界を理解するための中級文法と表現を習得しよう。

【到達目標】

今学期も引き続きスペイン語世界の社会や文化に関する長文テキストが理解できることを目標とします。より実践的な長文読解のため、接続法などの発展的文法を学び、さらに語彙力、表現力を高めることをめざします。

言語の学習だけでなく、スペイン語世界の社会や文化についての理解と興味を深めていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は原則的に講義・演習方式で行います。知識の定着のために課題（宿題）や練習問題をこなしながら進めます。それらのフィードバックは授業終了前もしくは翌週の授業で理解度を確認しながら行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと文法復習	春学期の復習と確認
2	Lección7 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
3	Lección7 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
4	Lección10 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
5	Lección10 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
6	Lección11 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
7	Lección11 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
8	中間試験	知識の確認
9	Lección12 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
10	Lección12 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
11	Lección13 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
12	Lección13 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
13	Lección15 文法と長文読解	こ文法復習・練習問題 長文読解と表現
14	期末試験	知識の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や課題、毎回の授業の予習は必須です。

授業の準備・復習時間は各回1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『愛でる！ スペイン語』福嶋教隆 著、朝日出版社、2022年、2750円（税込み）

【参考書】

西和辞書、1年次の文法テキスト

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や予習、授業への積極参加など）30%、
中間・期末試験、小テスト 70%

*全授業の2/3以上の出席を持って評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

より発展したスペイン語を学びますが、なるべく身近な話題を取り上げて、スペイン語やスペイン語世界により興味をもてるような授業をめざします。

【Outline (in English)】

Course outline : This course introduces the intermediate grammar and expressions to understand the Spanish World for students taking this course. It also enhances understanding and interest in the diverse cultures of the world.

Learning Objectives: The goals of this course are to become familiar with more practical vocabulary and sentences by utilizing basic and intermediate grammar and also be able to understand longer sentences.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 70%, in class contribution: 30%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語4 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり/Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Planteamiento del curso	イントロダクション/授業の説明 /自己紹介 南米にスペイン語を話す国々
2	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	復習:直接法現在
3	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	規則動詞/不規則動詞
4	Diálogo: Presentarse	動詞 conocer, saber, poner, venir 不定詞表現 Las perífrasis
5	Diálogo: Hablar de sí mismo	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde
6	Diálogo: en una zapatería	目的格人称代名詞 動詞 gustar, otros verbos del grupo de gustar
7	Diálogo: En una farmacia	所有形容詞
8	Lectura: Mi vida en Madrid	比較級/最上級 直説法点過去
9	Lectura: Mi vida en Madrid	直説法点過去と直説法線過去
10	Diálogo: en una terraza	過去分詞/ 過去分詞の用法
11	Diálogo: en una terraza	直説法現在完了 直説法過去完了
12	Lectura: Nuestra vida en el futuro	直説法未来 直説法過去未来
13	Lectura: Nuestra vida en el futuro	命令表現（1）/命令表現での代名詞位置

14 試験・まとめと解説 期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Español en imágenes2, Eugenio del Prado, Hanako Saito y Shinji Nakamichi /

イメージ・スペイン語2

Editorial Asahi /朝日出版社

【参考書】

辞書(電子辞書可) /SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA（スペイン語 / Spanish language education 200）

スペイン語 4 II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	接続法現在：規則動詞/不規則動詞
2	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	名詞節における接続法
3	Diálogo: ¡ A los tiempos!	独立文における接続法 名詞節における接続法と直説法
4	Diálogo: ¡ A los tiempos!	不定語・否定語
5	Diálogo: Nuestros sueños	関係節における接続法
6	Diálogo: Nuestros sueños	副詞節における接続法
7	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法現在完了
8	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法過去
9	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現（2）
10	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現での代名詞の位置
11	Proyección de una película hispanoamericana	スペイン語圏の映画
12	Lectura: Visita al norte de España	現在の非現実的条件文（1）
13	Lectura: Visita al norte de España	直説法未来完了
14	試験・まとめと解説	期末試験実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Español en imágenes2, Eugenio del Prado, Hanako Saito y Shinji Nakamichi /

イメージ・スペイン語2

Editorial Asahi /朝日出版社

【参考書】

辞書(電子辞書可) /SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 I

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいきます。

【到達目標】

基礎スペイン語から一歩進んだ文法を習得し、話すだけでなく読むことも視野に入れた学習をしていく。また、受講生にはスペイン語文法だけでなく、スペイン語圏の文学・歴史についても興味を深めるようになってもらいたいと考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎文法を終えた受講生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進めていく。さらには、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 1年次の復習	動詞・現在形・現在完了・過去形について
2	比較級・最上級について	形容詞・副詞の比較級・最上級
3	動詞・未来形について①	未来形の規則活用形・その用法
4	動詞・未来形について②	未来形の不規則型・その用法
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化、語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	関係代名詞について	que, quien, el cualなどの用法
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	前置詞格人称代名詞について	英語には存在しない品詞・前置詞格人称代名詞の働きと用法
9	目的格人称代名詞の復習	直接目的格および間接目的格人称代名詞の使い方
10	再帰動詞について	再帰動詞の働きと用法
11	過去分詞と現在完了形の復習	現在完了の作り方とその用法
12	gustar構文、前置詞格人称代名詞	gustar型動詞の使い方とその種類
13	動詞・過去未来形について	過去未来形の働きと用法
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

1年次に使用したテキストを持参すること。

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得に努めること。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (30%) and the final exam (70%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 II

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んだあと、簡単な読み物を読んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、文法事項などを説明したあと、簡単な読み物を読んでいく。
また、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	直説法の動詞のまとめ
2	感嘆文について	感嘆文の働きと用法
3	接続法現在形について	接続法現在の働きと用法
4	接続法現在形・規則形	接続法現在形・規則形を理解し、覚えていく
5	接続法現在形・不規則型	接続法現在形・不規則形を理解し、覚えていく
6	命令形	肯定命令形と否定命令形を理解し、覚えていく
7	簡単な読み物の訳読①	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
8	簡単な読み物の訳読②	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
9	簡単な読み物の訳読③	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
10	簡単な読み物の訳読④	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
11	簡単な読み物の訳読⑤	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
12	簡単な読み物の訳読⑥	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
13	簡単な読み物の訳読⑦	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず予習してくること。
そして、復習のときには、音読すること。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

1年次で使用したテキストを持参すること。その他、訳読用のプリントを配布する。

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

予習および授業時間内の課題：50%、学期末試験：50%。
期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria/Policy】

Students evaluations are based on class participation (50%) and the final exam (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 I

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	2課	1年で学んだ文法の復習。定冠詞・不定冠詞、hayの使い方の説明と練習問題（1課はアルファベットの読み方なので割愛）
3	3課前半	長文翻訳、"Ciudades" 一年で培った文法を用いて長文を翻訳する。
4	3課後半	主格人称代名詞・形容詞動詞 ser/estarについての復習と練習問題。
5	4課前半	長文翻訳、"Barcelona"。直説法現在の動詞を用いた長文を翻訳。
6	4課後半	直説法現在の規則活用、所有形容詞、指示形容詞、指示代名詞および練習問題。
7	5課前半	長文翻訳、hacer, conocer,darなどの動詞を含んだ長文の翻訳。"Vacaciones de Verano"
8	5課後半	hacer,conocer,dar,saber,不規則動詞irの活用と練習問題。
9	6課前半	長文翻訳"Compras y Viajes"。Querer,poder,pedirなどの語幹母音変化を含む。
10	6課後半	直説法現在のなかの語幹母音変化動詞の活用の復習および練習問題。
11	7課前半	長文翻訳"Comidas"。tener,decir oirなどの動詞を用いた文章。

12	7課後半	直説法現在 tener,decir,oir, 従属節、時刻の表現の復習と練習問題。
13	前期復習	前期に復習した文法を中心に練習問題を全体で行い、期末試験の備えとする。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同学社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、必ず前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA（スペイン語 / Spanish language education 200）	
スペイン語 4 II	2017年度以降入学者
宮田 絵津子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水2/Wed.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	8課	目的格人称代名詞、不定語と否定語の文法説明と練習問題。
2	9課	疑問文で使われる疑問詞、曜日、月、日付の言い方、接続詞の文法説明と練習問題。
3	11課・13課	再帰動詞の文法説明と練習問題。（不規則動詞を含む）
4	12課	点過去、関係代名詞についての文法説明と練習問題。
5	14課	線過去についての文法説明と練習問題。
6	15.16課	現在完了・直説法過去完了および比較級についての文法説明と練習問題。
7	17課	直説法未来、直説法過去未来についての文法説明と練習問題。
8	18課前半	長文翻訳“Obras y autores”。接続法現在を含む長文理解。
9	18課後半	接続法現在の活用（語幹母音変化動詞、不規則変化動詞）についての文法説明と練習問題。
10	19課前半	接続法現在の用法（2）形容詞節・副詞節・疑惑と願望を表す独立文についての文法説明と練習問題。
11	20課前半	直説法未来完了、過去未来完了、接続法過去についての文法説明
12	20課後半	接続法現在完了、過去完了、非現実的条件文についての文法説明と練習問題。
13	復習	秋学期で学んだ文法および作文理解についての復習。特に接続法を中心に復習する。

14 期末試験 秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同学社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館
『クラウン西和辞典』 三省堂
『ブエルタ新スペイン語辞典』 研究社
紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回より必ずテキストを持参すること。

【Outline (in English)】

1.Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3) I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar動詞、er/ir動詞のそれぞれの 用法にうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握 する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法に ついて学ぶ
4	点過去・線過去の違 い	これまでやってきた点過去、線 過去について、比較をしながら 復習する
5	未来形	未来形(英語のwill, mayに近い もの)の文法の紹介、用法につ いて学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語のwould, mightに 近いもの)の文法の紹介、用法 について学ぶ
7	さまざまな時制の完了 形	現在完了／過去完了／未来完了 ／過去未来完了 などそれぞれの 文法を学ぶ
8	練習問題	17まとめを兼ねた練習問題を実 施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対して の命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い 方
13	テスト前確認・質疑 応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。

その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につい て学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
対面/face to face	文書読解（ニュース サイト）	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
対面/face to face	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】**【Course Outline】**

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3) I

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	2課	1年で学んだ文法の復習。定冠詞・不定冠詞、hayの使い方の説明と練習問題（1課はアルファベットの読み方なので割愛）
3	3課前半	長文翻訳、"Ciudades" 一年で培った文法を用いて長文を翻訳する。
4	3課後半	主格人称代名詞・形容詞動詞ser/estarについての復習と練習問題。
5	4課前半	長文翻訳、"Barcelona"。直説法現在の動詞を用いた長文を翻訳。
6	4課後半	直説法現在の規則活用、所有形容詞、指示形容詞、指示代名詞および練習問題。
7	5課前半	長文翻訳、hacer, conocer,darなどの動詞を含んだ長文の翻訳。"Vacaciones de Verano"
8	5課後半	hacer,conocer,dar,saber,不規則動詞irの活用と練習問題。
9	6課前半	長文翻訳"Compras y Viajes"。Querer,poder,pedirなどの語幹母音変化を含む。
10	6課後半	直説法現在のなかの語幹母音変化動詞の活用の復習および練習問題。
11	7課前半	長文翻訳"Comidas"。tener,decir oirなどの動詞を用いた文章。

12 7課後半

直説法現在tener,decir,oir,従属節、時刻の表現の復習と練習問題。

13 前期復習

前期に復習した文法を中心に練習問題を全体で行い、期末試験の備えとする。

14 期末試験

春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同学社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、必ず前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	8課	目的格人称代名詞、不定語と否定語の文法説明と練習問題。
2	9課	疑問文で使用される疑問詞、曜日、月、日付の言い方、接続詞の文法説明と練習問題。
3	11課・13課	再帰動詞の文法説明と練習問題。（不規則動詞を含む）
4	12課	点過去、関係代名詞についての文法説明と練習問題。
5	14課	線過去についての文法説明と練習問題。
6	15.16課	現在完了・直説法過去完了および比較級についての文法説明と練習問題。
7	17課	直説法未来、直説法過去未来についての文法説明と練習問題。
8	18課前半	長文翻訳“Obras y autores”。接続法現在を含む長文理解。
9	18課後半	接続法現在の活用（語幹母音変化動詞、不規則変化動詞）についての文法説明と練習問題。
10	19課前半	接続法現在の用法（2）形容詞節・副詞節・疑惑と願望を表す独立文についての文法説明と練習問題。
11	20課前半	直説法未来完了、過去未来完了、接続法過去についての文法説明
12	20課後半	接続法現在完了、過去完了、非現実的条件文についての文法説明と練習問題。
13	復習	秋学期で学んだ文法および作文理解についての復習。特に接続法を中心に復習する。
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同文社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館
『クラウン西和辞典』 三省堂
『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社
紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。

携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携

【Outline (in English)】

1. Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語Ⅰ

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、SA スペインに参加する2年次の国際文化学部生を対象とする授業である。1年次に引き続きスペイン語の基本文法を学び、さまざまなジャンルの文章の読解や作文の訓練を行う。

【到達目標】

スペイン語の基本文法、語彙、表現を修得して読解力と作文力を向上させ、SA スペインにおけるさまざまなシチュエーションに対応できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1年次の復習	1年次の学習事項を復習する。
2	未来形	未来形について学び、読解・作文練習を行う。
3	過去未来形	過去未来形について学び、読解・作文練習を行う。
4	命令文	命令文について学び、読解・作文練習を行う。
5	過去完了、未来完了、過去未来完了	スペイン語の動詞の過去完了、未来完了、過去未来完了について学び、読解・作文練習を行う。
6	直説法の復習	直説法について復習する。
7	接続法現在の活用	接続法現在の活用について学ぶ。
8	接続法現在の名詞節と形容詞節での用法	接続法現在の名詞節と形容詞節での用法について学び、読解・作文練習を行う。
9	接続法現在の副詞節での用法と独立用法	接続法現在の副詞節での用法と独立用法について学び、読解・作文練習を行う。
10	接続法過去	接続法過去について学び、読解・作文練習を行う。
11	接続法現在完了と接続法過去完了	接続法現在完了と接続法過去完了について学び、読解・作文練習を行う。
12	条件文	条件文について学び、読解・作文練習を行う。
13	接続法の復習	接続法について復習する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

1年次の「スペイン語Ⅰ」～「スペイン語Ⅵ」と同じく、以下のテキストを用いる。

- エンリケ・アルマラスほか『プラサ・マヨールⅠ 改訂版』朝日出版社、2018年、ISBN9784255550985、本体価格2,100円。
- 西村君代ほか『レベル別 スペイン語文法ドリル オレンジ版』朝日出版社、2023年、ISBN9784255551425、本体価格1,600円。

【参考書】

授業内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

辞書の使用を怠らないこと。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is intended for second-year students to participate in the SA-Program in Spain. It is designed to provide you with an understanding of basic Spanish grammar, and reading and writing skills.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish basic grammar and increase the awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, and will be able to enjoy reading and writing Spanish text of all kinds.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 8

2017年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA スペイン出発へ向けて、スペイン語基礎文法の基礎固めと応用力を身につける授業である。

1年次で学習したスペイン語の基礎文法を使って、スペインでの日常生活や留学先の授業に戸惑いなく参加するためのスペイン語力を養うことを目的とする。

【到達目標】

この授業では、1年次に学習したスペイン語基礎文法の復習をしながら、それらを実践的に活用する練習を行う。

身近な話題について過去・現在・未来時制を使いながら表現したり、理解することができるようになることを目指す。

ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）におけるA1-A2に対応した教科書を使用し、SA参加前にA2レベルに到達することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学生が積極的に発言する機会をもつ、演習型の授業である。教科書にそって、各回のテーマについて、グループワーク（ペアワーク）を基本としながら、スペイン語を実践的に使用し、必要に応じて教員が解説を行う。

また、授業期間内に一人1回はスペイン語でのプレゼンテーションをすることが必須となる。

課題へのフィードバックや質問は基本的に授業内で行うが、適宜授業支援システムも活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業方法についての説明と1年次の復習
2	自己紹介	ser, tener, llamarseの直説法現在
3	予定や頻度について話す	自分の情報や週間を伝える動詞
4	家族や人との関係性を話す	形容詞、動詞estar
5	電話の表現	不定冠詞、動詞ir, venir, llevar, traer
6	好みについて表現する	動詞gustar, querer, preferir
7	提案したり、提案を受け入れたり、拒否したりする	estar + 現在分詞 提案の表現
8	スーパーでの買い物	量や程度の表現
9	精神状態や体調の表現	肯定命令と否定命令
10	ニュースやストーリーを語る	点過去
11	過去の習慣	線過去

12	過去において進行中だった事柄について話す	現在完了
13	意見を述べるための動詞	未来形
14	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

つぎの回の授業にむけて、毎回宿題を課す。必ず、出された宿題を準備して授業に臨むこと。留学先で早くから充実した学びを得られるように、本授業での各回の授業について1時間の予習と1時間の復習を強く奨励する。

【テキスト（教科書）】

『エレラボA1-A2』ファン・フェリペ・ガルシア・サントス他
朝日出版社、2020年、2,700 + 税

【参考書】

『レベル別スペイン語文法ドリル』
(1年次から使用している問題集)

【成績評価の方法と基準】

授業内課題や授業への貢献度などの平常点50%と期末課題50%によって評価します。授業中1回はスペイン語によるプレゼンテーションが必須となる。

3回以上の欠席または5回以上の遅刻は評価「不可」とする。

【学生の意見等からの気づき】

視聴覚資料を積極的に用いる。

【Outline (in English)】

We will finish learning basic Spanish grammar. As preparations for participating in the SA program, practice reading and do discussion in Spanish.

< Learning Objectives >

By the end of the course, students should be able to do the followings:

Understand the Subjunctive Mood in Spanish.

Express your opinions about familiar topics in Spanish.

< Learning outside of classroom >

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least two hours for each class meeting.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	アルファベット、母音、子音、 発音、アクセント、名詞、定冠 詞・不定冠詞
2	動詞（規則活用）	主格人称代名詞、動詞（規則活 用）現在形
3	動詞（不規則活用）	動詞（不規則活用）、否定文
4	動詞 ser, estar, hay 現 在形	ser, estar, hay の使い方
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終 わる形容詞の語形変化、語尾が 脱落する形容詞の語形変化など
6	形容詞の応用	所有詞、指示詞
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	動詞（不規則活用2）	基本動詞に多い不規則活用動詞 と1人称単数が不規則な形
9	目的格人称代名詞	直接目的格および間接目的格人 称代名詞の使い方
10	動詞（不規則活用） 3、時刻表現	複合型不規則動詞と時刻の表現
11	過去分詞、現在完了	現在完了の作り方とその用法
12	gustar 構文、前置詞 格人称代名詞	gustar 型動詞の使い方とその種 類
13	再帰動詞	再帰動詞の基本的な考え方とそ の使い方
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、 今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-II

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法点過去	直説法点過去の活用と用法
2	直説法線過去	直説法線過去 点過去と線過去の違いと使い方
3	不定語・否定語、現在分詞	現在分詞の形と使い方、分詞構文および、否定語・不定語を用いた文の構造
4	直説法未来形	直説法未来形の活用と使い方
5	関係詞	関係代名詞の種類と使い方
6	接続法現在形	接続法の考え方と動詞の活用、名詞節における使い方
7	接続法現在形2	接続法現在形のその他の種類、形容詞節と副詞節
8	命令形、感嘆文	命令形における接続法現在形の応用
9	直説法過去完了形	直説法過去完了形の活用と、その使い方
10	比較表現	比較形の作り方と使い方
11	関係詞2	関係形容詞、関係副詞の種類と使い方
12	直説法過去未来形	直接法過去未来形の活用とその使い方
13	接続法過去形	接続法過去形の活用とその使い方
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria / Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-I

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	2課	1年で学んだ文法の復習。定冠詞・不定冠詞、hayの使い方の説明と練習問題（1課はアルファベットの読み方なので割愛）
3	3課前半	長文翻訳、"Ciudades" 一年で培った文法を用いて長文を翻訳する。
4	3課後半	主格人称代名詞・形容詞動詞ser/estarについての復習と練習問題。
5	4課前半	長文翻訳、"Barcelona"。直説法現在の動詞を用いた長文を翻訳。
6	4課後半	直説法現在の規則活用、所有形容詞、指示形容詞、指示代名詞および練習問題。
7	5課前半	長文翻訳、hacer, conocer,darなどの動詞を含んだ長文の翻訳。"Vacaciones de Verano"
8	5課後半	hacer,conocer,dar,saber,不規則動詞irの活用と練習問題。
9	6課前半	長文翻訳"Compras y Viajes"。Querer,poder,pedirなどの語幹母音変化を含む。
10	6課後半	直説法現在のなかの語幹母音変化動詞の活用の復習および練習問題。
11	7課前半	長文翻訳"Comidas"。tener,decir oirなどの動詞を用いた文章。

12	7課後半	直説法現在 tener,decir,oir, 従属節、時刻の表現の復習と練習問題。
13	前期復習	前期に復習した文法を中心に練習問題を全体で行い、期末試験の備えとする。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同学社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、必ず前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3-II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	8課	目的格人称代名詞、不定語と否定語の文法説明と練習問題。
2	9課	疑問文で使用される疑問詞、曜日、月、日付の言い方、接続詞の文法説明と練習問題。
3	11課・13課	再帰動詞の文法説明と練習問題。（不規則動詞を含む）
4	12課	点過去、関係代名詞についての文法説明と練習問題。
5	14課	線過去についての文法説明と練習問題。
6	15.16課	現在完了・直説法過去完了および比較級についての文法説明と練習問題。
7	17課	直説法未来、直説法過去未来についての文法説明と練習問題。
8	18課前半	長文翻訳“Obras y autores”。接続法現在を含む長文理解。
9	18課後半	接続法現在の活用（語幹母音変化動詞、不規則変化動詞）についての文法説明と練習問題。
10	19課前半	接続法現在の用法（2）形容詞節・副詞節・疑惑と願望を表す独立文についての文法説明と練習問題。
11	20課前半	直説法未来完了、過去未来完了、接続法過去についての文法説明
12	20課後半	接続法現在完了、過去完了、非現実的条件文についての文法説明と練習問題。
13	復習	秋学期で学んだ文法および作文理解についての復習。特に接続法を中心に復習する。
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同文社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館
『クラウン西和辞典』 三省堂
『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社
紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。

携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【Outline (in English)】

1. Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語コミュニケーションⅠ 2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、仲間と練習する。次に暗記した表現をベースにしてモデル文章を書き換えて発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Presentación personal	自己紹介の方法を学ぶ。
2	Nombres de personas e hipocorísticos del mundo hispano	スペイン語圏の人の名前。
3	Mi familia 1	自分の家族を説明する方法を学ぶ (1)
4	Mi familia 2	自分の家族を説明する方法を学ぶ (2)
5	Un día normal 1	自分の平均的な1日を説明する方法を学ぶ (1)
6	Un día normal 2	自分の平均的な1日を説明する方法を学ぶ (2)
7	Descripciones	人物の一般的な描写方法を学ぶ
8	Mi ciudad 1	自分の街を説明する方法を学ぶ (1)
9	Mi ciudad 2	自分の街を説明する方法を学ぶ (2)
10	Mi universidad 1	自分の大学を説明する方法を学ぶ (1)
11	Mi universidad 2	自分の大学を説明する方法を学ぶ (2)
12	La cultura de la ropa usada y la moda (1)	古着とファッション (1)
13	La cultura de la ropa usada y la moda (2)	古着とファッション (2)
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の週の復習から始まる。履修者はペアで練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した8程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

辞書(電子辞書可)

【成績評価の方法と基準】

-Exams (50%)

-The active class participation of students (50%)

【学生の意見等からの気づき】

教師が用意した教材を改善し、生徒間でより良いコミュニケーションを実現するために生徒間で信頼できる環境を作ります。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

In this course students will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examination.

Regular point evaluation: 50%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Midterm exam: 20%.

Final oral exam: 30%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pair, so they are expected to prepare well and actively participate in class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、仲間と練習する。次に暗記した表現をベースにしてモデル文章を書き換えて発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Presentación del curso.	授業の説明。
2	Las dudas más frecuentes del español	スペイン語の正しい使い方を学ぶ
3	Gestos hispánicos(I)	スペイン語ジェスチャーを学ぶ。(I)
4	Gestos hispánicos(II)	スペイン語ジェスチャーを学ぶ。(II)
5	Mi mejor viaje 1	自分の平均的な1日を説明する方法を学ぶ (1)
6	Mi mejor viaje (2)	自分の平均的な1日を説明する方法を学ぶ (2)
7	Mis gustos (1)	自分の趣味を説明する方法を学ぶ (1)
8	Mis gustos (2)	自分の街を説明する方法を学ぶ (2)
9	Mi mejor regalo (1)	お気に入りのプレゼントを説明する方法を学ぶ (1)
10	Mi mejor regalo 2	お気に入りのプレゼントを説明する方法を学ぶ (2)
11	Mi personaje preferido	尊敬している有名人について説明する方法を学ぶ。
12	La Navidad Intercambio de regalo	日本のクリスマスを説明する方法を学ぶ。 プレゼント交換。
13	Año Nuevo	新年
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の週の復習から始まる。履修者はペアで練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した8個程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

辞書(電子辞書可)

【成績評価の方法と基準】

-Exams (50%)

-The active class participation of students (50%)

【学生の意見等からの気づき】

教師が用意した教材を改善し、生徒間でより良いコミュニケーションを実現するために生徒間で信頼できる環境を作ります。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

In this course students will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examination.

Regular point evaluation: 50%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Midterm exam: 20%.

Final oral exam: 30%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pair, so they are expected to prepare well and actively participate in class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

現代のスペイン語Ⅰ

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2021年度までに「時事スペイン語Ⅰ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語の初級クラスを履修済みの学生を対象として、すでに身につけている文法知識を活かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を養う。同時に、現代のスペイン語圏の文化や社会といった諸相について、その歴史も踏まえながら学んでいく。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が各回のテーマに関する概説と文法事項に関する解説を行いながら、順番に指名された受講生が訳読を行う。課題等に対するフィードバックは授業内で言い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	初級文法の復習	過年度までにスペイン語初級の各クラスで学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法現在	直説法現在を使った文章を読解する。
4	gustar 型動詞	gustar 型動詞を使った文章を読解する。
5	現在分詞と直説法現在進行形	現在分詞と直説法現在進行形を使った文章を読解する。
6	現在分詞と直説法現在進行形	現在分詞と直説法現在進行形を使った文章を読解する。
7	過去分詞と直説法現在完了形	過去分詞と直説法現在完了形を使った文章を読解する。
8	直説法点過去	直説法点過去を使った文章を読解する。
9	直説法線過去	直説法線過去を使った文章を読解する。
10	直説法過去完了	直説法過去完了を使った文章を読解する。
11	再帰動詞	再帰動詞を使った文章を読解する。
12	受動表現	受動表現を使った文章を読解する。
13	無人称表現	無人称表現を使った文章を読解する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

高松朋子ほか『行ってきます!』朝日出版社、2007年、ISBN9784255550220、本体価格2,100円。

【参考書】

授業内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%、学期末試験：50%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

- 履修予定者は、初回授業の前々日までに「学習支援システム」で仮登録を行っておくこと。仮登録者数が定員を超過した場合は初回授業で選抜を行うこととし、その旨と選抜方法を前日のうちに同システムで通知する。

- この授業は秋学期の「現代のスペイン語Ⅱ」(授業コード：R8304、担当教員：久木正雄)との連続性を持つため、ⅠとⅡの両方を履修することが望ましい。

- 辞書の活用を怠らないこと。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries, by enjoying rather long Spanish texts through the use of your grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

《Learning Objectives》

Students will improve the reading ability in Spanish.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (50%), and term-end examination (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

現代のスペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2021年度までに「時事スペイン語Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語の初級クラスを履修済みの学生を対象として、すでに身につけている文法知識を活かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を養う。同時に、現代のスペイン語圏の文化や社会といった諸相について、その歴史も踏まえながら学んでいく。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が各回のテーマに関する概説と文法事項に関する解説を行いながら、順番に指名された受講生が訳読を行う。課題等に対するフィードバックは授業内でを行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	春学期の文法の復習	春学期で学んだ文法事項の復習を行う。
3	比較表現	比較表現を使った文章を読解する。
4	知覚・使役の表現	知覚・使役の表現を使った文章を読解する。
5	直説法未来と直説法過去未来	直説法未来と直説法過去未来を使った文章を読解する。
6	直説法未来完了と直説法過去未来完了	直説法未来完了と直説法過去未来完了を使った文章を読解する。
7	接続法現在 (名詞節)	接続法現在 (名詞節) を使った文章を読解する。
8	接続法現在 (形容詞節・副詞節)	接続法現在 (形容詞節・副詞節) を使った文章を読解する。
9	命令法	命令法を使った文章を読解する。
10	接続法過去と接続法過去完了	接続法過去と接続法過去完了を使った文章を読解する。
11	間接話法	間接話法を使った文章を読解する。
12	時制の復習	さまざまな時制を網羅的に使った文章を読解する。
13	法の復習	直説法と接続法を対比的に使った文章を読解する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

高松朋子ほか『行ってきます!』朝日出版社、2007年、ISBN9784255550220、本体価格2,100円。

【参考書】

授業内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%、学期末試験：50%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

- 履修予定者は、秋学期の初回授業の前々日までに「学習支援システム」で仮登録を行っておくこと。仮登録者数が定員を超過した場合は初回授業で選抜を行うこととし、その旨と選抜方法を前日のうちに同システムで通知する。

- この授業は春学期の「現代のスペイン語Ⅰ」(授業コード：R8303、担当教員：久木正雄)からの連続性を持つため、ⅠとⅡの両方を履修することが望ましい。

- 辞書の活用を怠らないこと。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries, by enjoying rather long Spanish texts through the use of your grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

《Learning Objectives》

Students will improve the reading ability in Spanish.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria/Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (50%), and term-end examination (50%).

ARSa200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200)

スペイン語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制（40）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語圏で製作された映画を通じて、スペイン語圏の文化や社会、歴史について学びます。映画の中にでてくるスペイン語の台詞解説によって、スペイン語学習者にとっては、スペイン語による表現のさらなる理解につながります。また、スペイン語を学んでいない方にとっては、スペイン語の発音や文法に触れる絶好の機会となり、いずれにしても本授業は異文化理解の糸口となります。

【到達目標】

*日本で公開されたスペイン語圏の代表的な映画について、それぞれの内容と社会・文化・歴史的背景を踏まえて理解できるようになる。
*映画の内容について、自国とスペイン語圏の比較も交えた意見交換や議論ができるようになる。

*スペイン語圏の映画について、その魅力を他者に伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『映画に学ぶスペイン語』をテキストを使用し、取りあげる映画についての講義授業の回と学生が演習・発表する授業の回を交互に行います。

各回で取りあげる映画はすべて、大学の視聴覚ライブラリーに所蔵しているため、受講生全員はあらかじめ各自で視聴する必要があります。映画を観たら、コメントシートに記入し、授業開始までに学習支援システムに提出します。

演習・発表の回では、フォーカスするシーンだけを見直し、提出されたコメントシートへのフィードバックを行いながら、受講生による発表やグループ（ペア）ワークを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説とオリエンテーション
2	ビクトル・エリセ監督作品（講義）	『ミツバチのささやき』『エル・スール』の中のスペイン語
3	ビクトル・エリセ監督作品（演習）	『ミツバチのささやき』とビクトル・エリセ監督について学生による発表
4	フェルナンド・トルエバ監督（講義）	『ベルエボック』のスペイン語
5	フェルナンド・トルエバ監督（演習）	『ベルエボック』とフェルナンド・トルエバ監督について学生による発表
6	カルロス・サウラ監督1（講義）	『カラスの飼育』『ゴヤ』のスペイン語
7	カルロス・サウラ監督2（演習）	『ゴヤ』とカルロス・サウラ監督について学生による発表

8	ベドロ・アルモドバル監督1（講義）	『マタドール』『神経衰弱ざりざりの女たち』のスペイン語
9	ベドロ・アルモドバル監督2（演習）	『神経衰弱ざりざりの女たち』とベドロ・アルモドバル監督について学生による発表
10	ギジェルモ・デル・トロ監督（講義）	『パンズ・ラビリンズ』のスペイン語
11	ギジェルモ・デル・トロ監督（演習）	『パンズ・ラビリンズ』とギジェルモ・デル・トロ監督について学生による発表
12	トマス・グティエレス監督（講義）	『低開発の記憶』『母とチョコレート』のスペイン語
13	トマス・グティエレス監督（演習）	『母とチョコレート』とトマス・グティエレス監督についての学生による発表
14	今学期の総括	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、計4時間を標準とします。授業参加前に必ず課題となっている映画を鑑賞し、コメントシートをあらかじめ提出することが毎回必要です。

【テキスト（教科書）】

柳原孝敦『映画に学ぶスペイン語』教育評論社、2021年、2,200円（税込）。

【参考書】

授業内で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

コメントシート・課題による平常点（60％）と発表は積極的な発言による授業貢献度（40％）をめやすに、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度、授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the culture, society, and history of Spanish-speaking countries through movies produced in them.

It also explains the Spanish lines that appear in the movies, which will help those who are learning Spanish to better understand Spanish expressions, and for those who have not learned Spanish, it will be a great opportunity to learn it.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Final grade will be calculated according to the following process reports (60%), and in-class contribution (40%).

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

スペイン語の世界 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐々木 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語圏で製作された映画を通じて、スペイン語圏の文化や社会、歴史について学びます。映画の中に出てくるスペイン語の台詞解説によって、スペイン語学習者にとっては、スペイン語による表現のさらなる理解につながります。また、スペイン語を学んでいない方にとっては、スペイン語の発音や文法に触れる絶好の機会となり、いずれにしても本授業は異文化理解の糸口となります。

【到達目標】

*日本で公開されたスペイン語圏の代表的な映画について、それぞれの内容と社会・文化・歴史的背景を踏まえて理解できるようになる。
*映画の内容について、自国とスペイン語圏の比較も交えた意見交換や議論ができるようになる。

*スペイン語圏の映画について、その魅力を他者に伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『映画に学ぶスペイン語』をテキストを使用し、取りあげる映画についての講義授業の回と学生が演習・発表する授業の回を交互に行います。

各回で取りあげる映画はすべて、大学の視聴覚ライブラリーに所蔵しているため、受講生全員はあらかじめ各自で視聴する必要があります。映画を観たら、コメントシートに記入し、授業開始までに学習支援システムに提出します。

演習・発表の回では、フォーカスするシーンだけを見直し、提出されたコメントシートへのフィードバックを行いながら、受講生による発表やグループ (ペア) ワークを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説とオリエンテーション
2	スペイン内戦1 (講義)	『蝶の舌』の中のスペイン語
3	スペイン内戦2 (演習)	『ペーパーバード』の中のスペイン語
4	スペイン内戦3 (演習)	『キャロルの初恋』のスペイン語と学生の発表
5	チェ・ゲバラ1 (講義)	『モーターサイクル・ダイアリーズ』の中のスペイン語
6	チェ・ゲバラ2 (講義)	『チェ 28歳の革命』のスペイン語
7	チェ・ゲバラ3 (演習)	『チェ 39歳別れの手紙』の中のスペイン語と学生による発表
8	ペドロ・アルモドバル監督1 (講義)	『オール・アバウト・マイ・マザー』『トーク・トゥー・ハー』のスペイン語

9	ペドロ・アルモドバル監督2 (演習)	ペドロ・アルモドバル監督作品について学生による発表
10	ベネロペ・クルス (講義)	『ボルベール』のスペイン語
11	ベネロペ・クルス (演習)	ベネロペ・クルスについて学生の発表
12	アレハンドロ・アメナーバル監督 (講義)	『オープン・ユア・アイズ』『海を飛ぶ夢』のスペイン語
13	アレハンドロ・アメナーバル監督 (演習)	アレハンドロ・アメナーバル監督についての学生の発表
14	今学期の総括	まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、計4時間を標準とします。授業参加前に必ず課題となっている映画を鑑賞し、コメントシートをあらかじめ提出することが毎回必要です。

【テキスト (教科書)】

柳原孝敦『映画に学ぶスペイン語』教育評論社、2021年、2,200円 (税込)。

【参考書】

授業内で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

コメントシート・課題による平常点 (60%) と発表は積極的な発言による授業貢献度 (40%) をめやすに、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度、授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the culture, society, and history of Spanish-speaking countries through movies produced in them.

It also explains the Spanish lines that appear in the movies, which will help those who are learning Spanish to better understand Spanish expressions, and for those who have not learned Spanish, it will be a great opportunity to learn it.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Final grade will be calculated according to the following process reports (60%), and in-class contribution (40%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3A I

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどこばの用法
2	第1課	ピウプ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その1
3	第2課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その2
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」

7 第4課

意思、推量をあらわすもう1つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その1、動詞のこそあどこば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8 第5課

用言の体言形・その1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入

9 第6課

「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったたりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどこばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その1

10 第7課

もう1つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす2つの形・その1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」

11 第7課

指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形、用言の体言形を用いた表現・その1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」

12 第8課

合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの?」、命令形「～しろ、～せよ」、平叙形「～する、～である」

13 第8課

間接話法（引用形）・その1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。が、進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3AⅡ

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行って来てもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」

9 第13課

漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」

11 第14課

婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～ただだ」、「～しなければならない」の短縮形
用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

12 第15課

13 第15課

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となります。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。
※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。
・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3A I

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第1課	ピウプ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その1
3	第2課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その2
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」

7 第4課

意思、推量をあらわすもう1つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8 第5課

用言の体言形・その1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつもの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入

9 第6課

「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その1

10 第7課

もう1つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす2つの形・その1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」

11 第7課

指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形、用言の体言形を用いた表現・その1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」

12 第8課

合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの?」、命令形「～しろ、～せよ」、平叙形「～する、～である」

13 第8課

間接話法（引用形）・その1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。が、進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3AⅡ

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行って来てもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関し」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
11	第14課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～ただだ」、「～しなければならない」の短縮形
12	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
13	第15課	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となります。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3A I

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどこばの用法
2	第1課	ピウプ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その1
3	第2課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その2
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」

7 第4課

意思、推量をあらわすもう1つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その1、動詞のこそあどこば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8 第5課

用言の体言形・その1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつもの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入

9 第6課

「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったたりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどこばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その1

10 第7課

もう1つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす2つの形・その1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」

11 第7課

指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形、用言の体言形を用いた表現・その1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」

12 第8課

合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの?」、命令形「～しろ、～せよ」、平叙形「～する、～である」

13 第8課

間接話法（引用形）・その1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。が、進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3AⅡ

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火2/Tue.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力(=言いたいことが言える力)をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行って来てもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし /No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法(引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関し」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
11	第14課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～ただだ」、「～しなければならない」の短縮形
12	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
13	第15課	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となります。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト(教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典(韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります(100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習や翻訳する練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課 文法の説明、練習問題	理由「～て、ので」、不可能「～できない」、決心「～することにする、決める」
2	第2課 文法の説明、練習問題	仮定・条件「～ば、～たら」、ティグッ不規則活用、動詞の連体形
3	第2課 読解、会話	形容詞の連体形、試み「～てみる」、発見・詠嘆「～ですね」
4	第3課 文法の説明、練習問題	意図「～しようと」、提案「～すればいい」、確認・同意「～ですよ、ね」
5	第3課 読解、会話	根拠「～のですよ、ますから」、 「～した後に」、約束「～しますよ、しますからね」
6	第4課 文法の説明、練習問題	1、2、3課の復習 練習問題と答え合わせ
7	第4課 読解、会話	1、2、3課の復習 韓国の主要新聞・放送局サイトの紹介
8	第5課 文法の説明、練習問題	ピウブ不規則活用、前置き・逆接「～が、けれど」
9	第5課 読解、会話	シオッ不規則活用、禁止「～しないでください」
10	第6課 文法の説明、練習問題	予定「～するつもりです」、動作の同時進行「～しながら」
11	第6課 読解、会話	可能・不可能「～することができ」「～することができない」、ル不規則活用

12	第7課 文法の説明、練習問題	推測、判断「～しているようだ、～したようだ、～しそうだ」、新事実、詠嘆「～だなあ、ですね」
13	第7課 読解、会話	状態の変化「～くなる」、話し手の意志「～ますよ」
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

李昌圭著『韓国語へ旅しよう-中級』朝日出版社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返し行うことで言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)	
朝鮮語 3 B II	2017年度以降入学者
荻野 優子	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：月 1/Mon.1
単位数：1 単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

春学期に使用したテキストの後半部分を進めていきます。学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課 文法の説明、練習問題	5、6、7課の復習 接続詞、不規則活用について
2	第8課 読解、会話	5、6、7課の復習 副詞、対義語について
3	第9課 文法の説明、練習問題	能力の有無「すべを知っている、できる、できない」、経験の有無「～したことがある、ない」
4	第9課 読解、会話	願望「～たいと思う」、意志・推測「～はずだから、だろうから」、行為や状態の中断「～する途中」
5	第10課 文法の説明、練習問題	当然・義務「～しなければならぬ」、禁止「～てはいけない」
6	第10課 読解、会話	理由「～ので、だから」、状態・結果の持続「～ている」、許可「～してもいい」
7	第11課 文法の説明	丁寧な疑問「～ですか」、ぞんざいな疑問「～の？ ～か？」
8	第11課 練習問題	例示「～のような、などの」、パ\nマル「～だ、だよ」
9	第11課 読解、会話	資格・立場を表す助詞「～として」、ヒウツ不規則活用
10	第12課 文法の説明	9、10、11課の復習 待遇表現について
11	第12課 練習問題	9、10、11課の復習 語尾について
12	第12課 読解、会話	9、10、11課の復習 慣用表現について
13	ハングル検定4級出題の類型問題	練習問題と答え合わせ
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

李昌圭著『韓国語へ旅しよう-中級』朝日出版社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20 %

課題、小テスト等：20 %

期末試験：60 %

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返し行うことで言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】

ハングル検定4級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

復習と作文。

読む練習と発音練習。

文法説明。

会話。

練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	授業の進め方について	授業の進め方についての説明
2回目	韓国語上手になりましたか？	読むと文型について。
3回目	韓国語上手になりましたか？	練習問題について。
4回目	今日の授業は何限までありますか？	読む、文型について。
5回目	今日の授業は何限までありますか？	練習問題について。
6回目	趣味は何ですか？	読む、文型について。
7回目	趣味は何ですか？	文型について。
8回目	趣味は何ですか？	練習問題について。
9回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	読む、文型について。
10回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	文型について。
11回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	練習問題について。
12回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	読む、文型について。
13回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	練習問題について。
14回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題。

韓国文化など韓国についての知識。

韓国ドラマやK-POPを活用する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室で説明します。

【参考書】

韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60点以上が合格点です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など30%、期末試験70%。） また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline> We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

< Learning Objectives>

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

< Learning activities outside of classroom>

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy>

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、朝鮮語1・2で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができます。

【到達目標】

できれば、希望者はハングル検定4級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単な会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

フィードバックなどは、学習支援システムなどを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2回目	電話について	本文を読んで説明
3回目	電話について	文法の詳しい説明
4回目	電話について	会話と練習問題
5回目	夏休みには日本へ帰りますか?	本文を読んで説明
6回目	夏休みには日本へ帰りますか?	文法の詳しい説明
7回目	夏休みには日本へ帰りますか?	会話と練習問題
8回目	語学研修に行こうかと思います	本文を読んで説明。
9回目	語学研修に行こうかと思います	文法の詳しい説明
10回目	語学研修に行こうかと思います	会話練習と練習問題
11回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室で説明します。「ハングル検定中級」

【参考書】

「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60点以上が合格点です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など30%、期末試験70%。） また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline > Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to speak everyday conversations naturally. In addition, it is to pass the Hangul Nouryoku Kentei test level 4.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
8	中間試験	中間試験
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課(1/2)	「～しようと思う」
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲載しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲載します。

・13回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、

予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」他
6	第7課	指定詞の第Ⅲ語基他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
9	第8課	間接話法・その1 他
10	第9課	ハンダ体他
11	第9課	態と受身形他
12	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・13回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって13回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
8	中間試験	中間試験
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課(1/2)	「～しようと思う」
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲載しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲載します。

・13回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、

予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。
教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」他
6	第7課	指定詞の第Ⅲ語基他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
9	第8課	間接話法・その1 他
10	第9課	ハンダ体他
11	第9課	態と受身形他
12	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。
初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。
1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %
中間試験 40 %
期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

- ・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。
- ・授業開始前にHoppiiに登録してください。
- ・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。
- ・13回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって13回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。
- ・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とTOPIK3, 4級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。
新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
	第1課 学生生活	逆説と並列
2	第1課 学生生活	～んです ～しようと
3	第2課 アルバイト	～ので／～くて ～のせいで
4	第2課 アルバイト	～することにする ～できない
5	1, 2課確認テスト	1, 2課確認テスト
	第3課 私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第3課 私の一日	～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第4課 プレゼント	～でしょ？ ～じゃないですか／～でしう？
8	第4課 プレゼント	パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4課確認テスト	3, 4課確認テスト
	第5課 風邪	～く／～くように ～する？／～しますか？
10	第5課 風邪	～しない／～するのをやめる ～だったらいいな
11	第6課 休日	～している／～していらっ しゃる
		～しますから
12	第6課 休日 体	～してみる ～しよう 体を学ぶ

13	5,6課確認テスト	～しなければ／～しよう
	第7課 夏休み	～しても
14	第7課 夏休み	～することができる
	第7課復習	～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてHoppiiで提出してください。

手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

提出は授業後、次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写することを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著、白水社、2018

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。

遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は50%で計算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

毎回、授業内容と課題をHoppiiで伝えます。欠席者も必ずチェックして課題を提出してください。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

また、座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task by hoppii every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60%of the confirmation test, 20%of the class attendance and participation, and 20%of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)	
朝鮮語 3 B II	2017年度以降入学者
吉良 佳奈江	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水4/Wed.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。
メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とTOPIK3、4級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を活かして実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。
1年で学んだことの実践として、自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。
新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。
・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
・本文の内容について、内容理解をチェックします。
・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	体復習 第8課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第8課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第9課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第9課 大学祭	～した後で ～していた（＋名詞）
5	8,9課確認テスト 第10課 仕事	8,9課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第10課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第11課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第11課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11課確認テスト 第12課 外国語の勉強	10, 11課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第12課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第13課 天気	～しないで／～せずに ～する前に
12	第13課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12,13課確認テスト 第14課 人生相談	～してから ～したほうがいい

14	第14課 人生相談	～だから／～ので
14課 復習		～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてHoppiiで提出してください。
手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。
提出は授業後、次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写することを勧めます。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』
金京子著、白水社、2018

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館
『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。
遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。
確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。
確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが、点数は50%で計算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

毎回、授業内容と課題をHoppiiで伝えます。欠席者も必ずチェックして課題を提出してください。
課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。
授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。
また、座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.
And read short sentences such as emails and social media.
You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.
Goal :
You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.
The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.
Work to be done outside of class :
Students should send the task by hoppii every week.
The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.
Grading criteria :
Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.
Based on 60%of the confirmation test, 20%of the class attendance and participation, and 20%of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
8	中間試験	中間試験
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課(1/2)	「～しようと思う」
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲載しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲載します。

・13回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、

予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。
教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」他
6	第7課	指定詞の第Ⅲ語基他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
9	第8課	間接話法・その1 他
10	第9課	ハンダ体他
11	第9課	態と受身形他
12	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。
初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。
1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

- ・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。
- ・授業開始前にHoppiiに登録してください。
- ・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。
- ・13回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって13回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。
- ・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】

ハングル検定4級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

復習と作文。

読む練習と発音練習。

文法説明。

会話。

練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	授業の進め方について	授業の進め方についての説明
2回目	韓国語上手になりましたか？	読むと文型について。
3回目	韓国語上手になりましたか？	練習問題について。
4回目	今日の授業は何限までありますか？	読む、文型について。
5回目	今日の授業は何限までありますか？	練習問題について。
6回目	趣味は何ですか？	読む、文型について。
7回目	趣味は何ですか？	文型について。
8回目	趣味は何ですか？	練習問題について。
9回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	読む、文型について。
10回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	文型について。
11回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	練習問題について。
12回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	読む、文型について。
13回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	練習問題について。
14回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題。

韓国文化など韓国についての知識。

韓国ドラマやK-POPを活用する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室で説明します。

【参考書】

韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60点以上が合格点です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など30%、期末試験70%。） また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline> We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

< Learning Objectives>

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

< Learning activities outside of classroom>

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy>

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、朝鮮語1・2で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができます。

【到達目標】

できれば、希望者はハングル検定4級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単な会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

フィードバックなどは、学習支援システムなどを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2回目	電話について	本文を読んで説明
3回目	電話について	文法の詳しい説明
4回目	電話について	会話と練習問題
5回目	夏休みには日本へ帰りますか?	本文を読んで説明
6回目	夏休みには日本へ帰りますか?	文法の詳しい説明
7回目	夏休みには日本へ帰りますか?	会話と練習問題
8回目	語学研修に行こうかと思います	本文を読んで説明。
9回目	語学研修に行こうかと思います	文法の詳しい説明
10回目	語学研修に行こうかと思います	会話練習と練習問題
11回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室で説明します。「ハングル検定中級」

【参考書】

「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60点以上が合格点です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など30%、期末試験70%。） また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline > Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to speak everyday conversations naturally. In addition, it is to pass the Hangul Nouryoku Kentei test level 4.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。毎回の授業で小テストを実施します。教科書の本文4文から5文を範囲とし、朝鮮語で書く形式です。パワーポイントで文法を説明し、例文・練習問題を通して構造を強化します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	初級の復習	『しくみで学ぶ初級朝鮮語』本文の読み合わせ、文法の要点の理解
2	第1課	希望表現、現在連体形、過去連体形、過去往時連体形の文法と例文・練習問題
3	第1課	未来連体形の練習問題と作文、希望表現と連体形の反映された本文の理解
4	第1課	連体形の深化学習、過去連体形と過去往時連体形の比較
5	第2課	書き言葉「だ・である体」平叙文・疑問文・勧誘文・命令文
6	第2課	書き言葉「だ・である体」品詞別の活用
7	第2課	話し言葉パンマル「～だよ・～しよう・しろ」文末の活用と本文
8	第3課	出会いのあいさつ、引用表現類型の理解
9	第3課	引用文 引用接続形
10	第3課	依頼表現
11	第4課	授受表現「あげる・やる・もらう・くれる」
12	第4課	敬語を用いた授受表現「下さる・いたす」、名詞・助詞の敬語
13	第4課	まとめと総括－連体形・下称体・引用文・授受表現の要点の確認
14	試験	試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。教科書の例文と本文を何度も読み、音声聴き、書くことで身に付けていきます。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばたけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を20点に換算して、期末試験を80点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。

【学生の意見等からの気づき】

授業を欠席しないように心がけてください。毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。分からないことを溜めないように少しずつでも着実な学習を積み上げていってください。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

Students will deepen their knowledge of the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's class, and improve their application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。毎回の授業で小テストを実施します。教科書の本文4文から5文を範囲とし、朝鮮語で書く形式です。パワーポイントで文法を説明し、例文・練習問題を通して構造を強化します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の例文・文法項目の確認、本文読み合わせ
2	第5課	許可表現
3	第5課	いろいろな接続形 動作の先行・並立
4	第6課	提案表現・受け身
5	第6課	当為表現・推量
6	第7課	後悔と反省表現・帰結
7	第7課	使役表現
8	第7課	印象描写の表現
9	第8課	書き言葉の文章読解
10	第8課	結果状態の継続
11	第9課	受け身2
12	第9課	自動詞と他動詞
13	まとめと総括	「だ・である体の読解文」
14	試験	試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばたけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を20点に換算して、期末試験を80点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。

【学生の意見等からの気づき】

授業を欠席しないように心がけてください。毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。分からないことを溜めないように少しずつでも着実な学習を積み上げていってください。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

Students will deepen their knowledge of the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's class, and improve their application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker (韓国人留学生) と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第1課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第1課	ましょうか・てください
	文型・会話練習	
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、歌
	文型・会話練習	
4	第2課	ウ不規則活用・できない
	文型・会話練習	
5	第2課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第3課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第3課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第3・4課	連体形
	文型・会話練習	
9	第4課	小試験
	文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第4課	でしょうか、ましょうか・んで
	文型・会話練習	すよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第4課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
13	第5課	ビウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、期末試験）、課題10%、平常点20%（参加度、積極性など）
期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第7課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第7・8課 読解 文型・会話練習	中間試験 仕方を知っている・したことが ある・ティグッ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから(意思)・ばいと思う
10	韓国人留学生との会 話	ネイティブと100分会話する
11	第8課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第9課 文型・会話練習	なければならない・てはいけな い
13	第9課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、とてもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくる。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は1時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、期末試験）、課題10%、平常点20%
期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、
留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners.
Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とTOPIK3, 4級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。
新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
	第1課 学生生活	逆説と並列
2	第1課 学生生活	～んです ～しようと
3	第2課 アルバイト	～ので／～くて ～のせいで
4	第2課 アルバイト	～することにする ～できない
5	1, 2課確認テスト	1, 2課確認テスト
	第3課 私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第3課 私の一日	～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第4課 プレゼント	～でしょ？ ～じゃないですか／～でしう？
8	第4課 プレゼント	パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4課確認テスト	3, 4課確認テスト
	第5課 風邪	～く／～くように ～する？／～しますか？
10	第5課 風邪	～しない／～するのをやめる ～だったらいいな
11	第6課 休日	～している／～していっ しゃる
		～しますから
12	第6課 休日 体	～してみる ～しよう 体を学ぶ

13	5,6課確認テスト	～しなければ／～しよう
	第7課 夏休み	～しても
14	第7課 夏休み	～することができる
	第7課復習	～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてHoppiiで提出してください。

手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

提出は授業後、次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写することを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著、白水社、2018

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。

遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は50%で計算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

毎回、授業内容と課題をHoppiiで伝えます。欠席者も必ずチェックして課題を提出してください。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

また、座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task by hoppii every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60%of the confirmation test, 20%of the class attendance and participation, and 20%of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)	
朝鮮語 3 B II	2017年度以降入学者
吉良 佳奈江	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。
メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とTOPIK3, 4級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を活かして実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。
1年で学んだことの実践として、自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。
新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。
・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
・本文の内容について、内容理解をチェックします。
・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	体復習 第8課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第8課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第9課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第9課 大学祭	～した後で ～していた（＋名詞）
5	8,9課確認テスト 第10課 仕事	8,9課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第10課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第11課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第11課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11課確認テスト 第12課 外国語の勉強	10, 11課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第12課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第13課 天気	～しないで／～せずに ～する前に
12	第13課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12,13課確認テスト 第14課 人生相談	～してから ～したほうがいい

14	第14課 人生相談	～だから／～ので
14課 復習		～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてHoppiiで提出してください。
手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。
提出は授業後、次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写することを勧めます。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』
金京子著、白水社、2018

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館
『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。
遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。
確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。
確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが、点数は50%で計算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

毎回、授業内容と課題をHoppiiで伝えます。欠席者も必ずチェックして課題を提出してください。
課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。
授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。
また、座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.
And read short sentences such as emails and social media.
You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.
Goal :
You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.
The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.
Work to be done outside of class :
Students should send the task by hoppii every week.
The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.
Grading criteria :
Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.
Based on 60%of the confirmation test, 20%of the class attendance and participation, and 20%of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語 4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木1/Thu.1					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形（大過去形）, 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
【授業の進め方と方法】			11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No			14	テスト	テスト
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法			
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙譲形, 「なる」の用法・その1			
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形（勧誘と命令の否定形）, 長い不可能形			
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2			
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か, ～（の）か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ			
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】					
・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。					
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。					
【テキスト（教科書）】					
・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社					
【参考書】					
・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。					

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 A II

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行って来てもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関し」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」

9 第13課

漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」

10 第14課

婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか

11 第14課

動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～ただだ」、「～しなければならない」の短縮形

12 第15課

用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

13 第15課

テスト

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずするようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となります。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語 4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったたりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形（大過去形）, 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
【授業の進め方と方法】			11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No			14	テスト	テスト
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法			
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙譲形, 「なる」の用法・その1			
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形（勧誘と命令の否定形）, 長い不可能形			
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2			
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か, ～（の）か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ			
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】					
・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。					
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。					
【テキスト（教科書）】					
・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社					
【参考書】					
・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。					

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 A II

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関し」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
11	第14課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～ただだ」、「～しなければならない」の短縮形
12	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
13	第15課	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずするようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となります。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語 4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金3/Fri.3					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形（大過去形）, 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
【授業の進め方と方法】			11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No			14	テスト	テスト
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法			
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙譲形, 「なる」の用法・その1			
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形（勧誘と命令の否定形）, 長い不可能形			
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2			
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か, ～（の）か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ			
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】					
・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。					
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。					
【テキスト（教科書）】					
・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社					
【参考書】					
・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。					

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 A II

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関し」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」

9 第13課

漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」

10 第14課

婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか

11 第14課

動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～ただだ」、「～しなければならない」の短縮形

12 第15課

用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

13 第15課

テスト

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずするようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となります。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語(3) I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
8	中間試験	中間試験
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課(1/2)	「～しようと思う」
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲示しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・13回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、

予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」他
6	第7課	指定詞の第Ⅲ語基他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
9	第8課	間接語法・その1 他
10	第9課	ハンダ体他
11	第9課	態と受身形他
12	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・13回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって13回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語7

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。
- ・2年次秋学期のS Aに備えます。

【到達目標】

- ・S Aに通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・「朝鮮語7」「朝鮮語8」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。それぞれの授業で必要に応じ独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」、態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基、特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2、漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

6 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

7 口頭練習

復習を兼ねた口頭練習を行ないます。

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」、漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通して」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか

10 口頭練習

復習を兼ねた口頭練習を行ないます。

11 第15課

動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形、用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

12 口頭練習

復習を兼ねた口頭練習を行ないます。

13 よみもの

既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・ボアソナードタワー20階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。
- ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

- ・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。昨年春学期に用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も参考書として活用してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！ 評価が90パーセントに満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか？」ということを考える習慣をつけましょう。
- ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。
- ・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hours to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination(100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 8

2017年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。
- ・2年次秋学期のS Aに備えます。

【到達目標】

- ・S Aに通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・「朝鮮語7」「朝鮮語8」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。それぞれの授業で必要に応じ独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」、態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基、特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2、漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

6 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

7 口頭練習

復習を兼ねた口頭練習を行ないます。

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」、漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか

10 口頭練習

復習を兼ねた口頭練習を行ないます。

11 第15課

動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形、用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

12 口頭練習

復習を兼ねた口頭練習を行ないます。

13 よみもの

既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・ボアソナードタワー20階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。
- ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社
- ・高柳が用意する「+ a テキスト」（プリント配付）

【参考書】

- ・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。昨年春学期に用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も参考書として活用してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！ 評価が90パーセントに満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか？」ということを考える習慣をつけましょう。
- ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。
- ・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hours to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination(100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3-I

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とTOPIK3, 4級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。
新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
	第1課 学生生活	逆説と並列
2	第1課 学生生活	～んです ～しようと
3	第2課 アルバイト	～ので／～くて ～のせいで
4	第2課 アルバイト	～することにする ～できない
5	1, 2課確認テスト	1, 2課確認テスト
	第3課 私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第3課 私の一日	～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第4課 プレゼント	～でしょ？ ～じゃないですか／～でしょう？
8	第4課 プレゼント	パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4課確認テスト	3, 4課確認テスト
	第5課 風邪	～く／～くように ～する？／～しますか？
10	第5課 風邪	～しない／～するのをやめる ～だったらいいな
11	第6課 休日	～している／～していっ しゃる ～しますから
12	第6課 休日 体	～してみる ～しよう 体を学ぶ

13	5,6課確認テスト	～しなければ／～しよう
	第7課 夏休み	～しても
14	第7課 夏休み	～することができる
	第7課復習	～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてHoppiiで提出してください。

手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

提出は授業後、次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写することを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著、白水社、2018

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。

遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は50%で計算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

毎回、授業内容と課題をHoppiiで伝えます。欠席者も必ずチェックして課題を提出してください。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

また、座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task by hoppii every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60%of the confirmation test, 20%of the class attendance and participation, and 20%of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)	
朝鮮語 3 - II	2017年度以降入学者
吉良 佳奈江	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水5/Wed.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。
メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とTOPIK3, 4級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を活かして実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。
1年で学んだことの実践として、自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。
新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと
感じる学生には予習を勧めます。
・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
・本文の内容について、内容理解をチェックします。
・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	体復習 第8課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第8課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第9課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第9課 大学祭	～した後で ～していた（＋名詞）
5	8,9課確認テスト 第10課 仕事	8.9課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第10課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第11課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第11課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11課確認テスト 第12課 外国語の勉強	10, 11課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第12課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第13課 天気	～しないで／～せずに ～する前に
12	第13課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12.13課確認テスト 第14課 人生相談	～してから ～したほうがいい

14	第14課 人生相談	～だから／～ので
14課 復習		～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてHoppiiで提出してください。
手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。
提出は授業後、次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写することを勧めます。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』
金京子著、白水社、2018

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館
『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。
遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。
確認テスト60％、授業の出席・参加度、課題提出40％を目安に総合的に評価します。
確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが、点数は50％で計算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

毎回、授業内容と課題をHoppiiで伝えます。欠席者も必ずチェックして課題を提出してください。
課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。
授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。
また、座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.
And read short sentences such as emails and social media.
You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.
Goal :
You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.
The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.
Work to be done outside of class :
Students should send the task by hoppii every week.
The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.
Grading criteria :
Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.
Based on 60%of the confirmation test, 20%of the class attendance and participation, and 20%of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3-I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker (韓国人留学生) と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第1課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第1課	ましょうか・ください
	文型・会話練習	
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、
	歌	てくて
4	第2課	ウ不規則活用・できない
	文型・会話練習	
5	第2課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第3課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第3課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第3・4課	連体形
	文型・会話練習	
9	第4課	小試験
	文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第4課	でしょうか、ましょうか・んで
	文型・会話練習	すよ
11	韓国人留学生との会	ネイティブと会話
	話	
12	第4課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
13	第5課	ピウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、期末試験）、課題10%、平常点20%（参加度、積極性など）
期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、
留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）	
朝鮮語 3-II	2017年度以降入学者
新谷 あゆり	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水5/Wed.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第7課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第7・8課 読解 文型・会話練習	中間試験 仕方を知っている・したことが ある・ティグッ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから(意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会 話	ネイティブと100分会話する
11	第8課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第9課 文型・会話練習	なければならない・てはいけな い
13	第9課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、とてもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、期末試験）、課題10%、平常点20%
期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、
留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners.
Students study grammar and vocabulary. The purpose of this
class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for
assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be
eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4B I (視聴覚)

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 語彙、文型を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
 あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
 なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 サランバンのお客さんとおモニ ①②	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとおモニ ③④ シークレットガーデン1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとおモニ ⑤⑥ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとおモニ ⑦⑧ シークレットガーデン2	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとおモニ ⑨⑩ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	サランバンのお客さんとおモニ ⑪⑫ シークレットガーデン3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとおモニ ⑬⑭ シークレットガーデン4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	サランバンのお客さんとおモニ ⑮⑯	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

9	中間試験 シークレットガーデン5	単語 暗誦 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとおモニ ⑰⑱ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さんとおモニ ⑲⑳ シークレットガーデン6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとおモニ 最終回 シークレットガーデン7	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、聞き取り・翻訳・暗記等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は各2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語1』学研
 シークレットガーデン DVD

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40%、テスト 60%
 単語テストが50点以下の場合単位が出ない。
 4回以上の欠席で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られればネイティブとの会話の時間を設けます。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法 (法律学科・政治学科) 文営」でパターンB (朝鮮語週2コマ) を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 B II (視聴覚) 2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通じ、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産 2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	スピーチなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	華麗なる遺産 4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	アナウンスなど	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産 5	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	中間試験	単語 暗唱小テスト

10	華麗なる遺産 6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	華麗なる遺産 7	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産 8	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

スクリプト翻訳・単語暗記・音読・暗唱等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は合計4時間を要する。

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、積極性、課題）40％、テスト60％
 単語テストが50点以下の場合は、単位が出ない。
 4回欠席の場合、単位が出ない。

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 A I (講読)

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・自己紹介など
2	「日韓の狭間での対馬の苦悩」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	「江戸時代の朝鮮通詞」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	「韓医学」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	「書芸」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	「ソウルという名称」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

9	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
10	小説・ベストセラー作品を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説・ベストセラー作品を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説・ベストセラー作品を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説・ベストセラー作品を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】**【授業の概要（Course outline）】**

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 A II (講読)

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・自己紹介など
2	新聞記事を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	新聞記事を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	新聞記事を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	詩を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	詩を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

9	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
10	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】**【授業の概要（Course outline）】**

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語5B I (表現法)

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話ができるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせ、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPTを作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』BTS、KPOP再燃するか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』韓国映画1000万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』「小1保護者10時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

11	『時事韓国語』「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』「高齢者10人に1人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80%.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 B II (表現法)

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつながっていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』 11「政府、原発新設 白紙化問題」	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』 12「はじめて呼ぶお父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、 協力と統合」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	『時事韓国語』 14「南北65年ぶり終 戦宣言」 15「気候変動とウミ ガメ」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 16「日本の公衆ト イレ」 17「米朝70年の対立 に終止符」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	18「監視カメラ」 19「5G先取り競争」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」 『時事韓国語』 24「変わる採用試験 現場」 25「不動産事情、ソ ウル、地方」	会話、リスニング、リーディング、内容理解 会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業 者の増加」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ 韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュース ロッテ5連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、 巨大な壁を打ち破っ た英雄」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソ ウル桂洞」 35「蚊を追ひ払う方 法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、干 しだらのカルグクス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80%.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 C I (コミュニケーション) 2017年度以降入学者**乾 浩**

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2022年度までに「朝鮮語 3 C I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は、朝鮮語1・2で修得した文法知識を基に、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指すことです。会話力と聴解力の向上を図り、自分の考えや経験を朝鮮語で効果的に表現できる力を養います。また朝鮮漢字音から日本漢字音への変換規則を学びます。

【到達目標】

1. 教材の会話文の文法構造を理解し、説明できる。
2. 学習した会話表現を正確な発音で話すことができる。
3. 学習した表現を応用して、自分の考えや経験を朝鮮語で表現できる。
4. 日常的な場面での基本的な会話を聞いて理解することができる。
5. 朝鮮漢字音から日本漢字音への変換規則を習得することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 前回の授業内容についての小テストを行う。
2. 課題の答え合わせと解説を行う。
3. 各課の重要事項を理解した後、練習問題を行う。
4. 学生同士で会話練習をする。
5. 今回学習した内容の確認テストを行う。

授業の始めに、前回の小テストのフィードバックを行う。
授業計画は、授業の展開によって、若干の変更があり得る。
連絡事項や課題等は「Google Classroom」を通して行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 学番の言い方 (1課-前半)	授業の進め方・評価方法の説明 해요体の作り方
2	相手の学番を聞く練習 (1課-後半)	합니다体の使い方 終声「로」の対応
3	漢字音変換規則-終声1 意志や推測の言い方 (2課-前半)	-ㄹ 거예요 (意志・推量)、-고 (並列) 終声「ㄹㄱ」の対応
4	漢字音変換規則-終声2 目標を言う練習 (2課-後半)	-지요/죠? (確認) 終声「ㅇ」の対応
5	漢字音変換規則-終声3 逆接の言い方 (3課-前半)	-지만 (逆接)、-ㄴ (形容詞の現在連体形)
6	漢字音変換規則-初声1 依頼表現の練習 (3課-後半)	初声「로ㅂㅍ」 -아/어 주다 (依頼) 初声「ㅂㅍㅌㅊ」
7	漢字音変換規則-初声2 中間試験	試験・まとめと解説
8	条件・仮定の言い方 (4課-前半)	-면 (条件・仮定)、-는 (動詞の現在連体形)
9	漢字音変換規則-初声3 条件を言う練習 (4課-後半)	初声「ㄴㄹㄱ」の対応 -지 않다 (否定) 初声「ㅎㅅㅇ」の対応
10	漢字音変換規則-初声4 感嘆の言い方 (5課-前半)	-ㄴ (動詞の過去連体形)、-네요 (感嘆)
11	漢字音変換規則-中声1 最近の出来事を話す練習 (5課-後半)	中声「ㅌㅊ」の対応 ㅈ変則活用 中声「ㅈㅊ」の対応
12	漢字音変換規則-中声2 謝罪の言い方 (6課-前半)	-시 (尊敬)、-아서/어서 (理由)
13	漢字音変換規則-中声3 理由を言う練習 (6課-後半)	中声「ㅅㅇ」の対応 -ㄹ (動詞の未来連体形)、-지 못하다 (不可能)
	漢字音変換規則-中声4	中声「ㅌㅊ」の対応

14 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

須賀井義教他(2025)『三訂版・韓国語の世界へ 初中級編』朝日出版社
※初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

内山政春(2022)『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社
須賀井義教(2023)『確認しながらおぼえる韓国語基本単語帳』朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

1. 欠席回数が学期の三分の一を超えたときは、単位を認めない。
2. 3回の遅刻で1回欠席としてカウントする。
3. 平常点(20%)、課題・小テスト(20%)、定期試験(60%)をもとにして、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業の連絡や課題の提出は「Google Classroom」を利用する。

【その他の重要事項】

履修上の注意：

この科目は「法(法律学科・政治学科) 文営」でパターンB(朝鮮語週2コマ)を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定する。初回の授業にかならず出席のこと。該当者が初回4Bに出席し、そこで抽選で外れた場合は、2回目からでも受け入れることにする。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The aim of this course is to develop practical communication skills in Korean, building on the grammatical foundation acquired in Korean 1 and 2. This course deals with conversational and listening comprehension abilities. It also enhances students' skill in expressing their thoughts and experiences effectively in Korean.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the following:

- Engage in daily conversations using appropriate expressions in Korean
- Comprehend spoken Korean in various everyday situations
- Express their own thoughts and experiences effectively in Korean

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to spend two hours on preparation and review before and after each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation: 20%, Assignments and quizzes: 20%, Final examination: 60%

- Students must achieve at least 60% of the course objectives to pass this course.
- Students who miss more than one-third of the total classes will not receive credit for the course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 C II (コミュニケーション) 2017年度以降入学者**乾 浩**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2022年度までに「朝鮮語 3 C II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、朝鮮語1・2で修得した文法知識を基に、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指すことがこの授業の目的です。会話力と聴解力の向上を図り、自分の考えや経験を朝鮮語で効果的に表現できる力を養います。さらに、ニュース等のメディアコンテンツを聞き取り、内容を理解する力を養っていきます。

【到達目標】

1. 教材の会話文の文法構造を理解し、説明できる。
2. 学習した会話表現を正確な発音で話すことができる。
3. 学習した表現を応用して、自分の考えや経験を朝鮮語で表現できる。
4. 日常的な場面での基本的な会話を聞いて理解することができる。
5. ニュース等のメディアコンテンツを聞き取り、内容を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 前回の授業内容についての小テストを行う。
2. 課題の答え合わせと解説を行う。
3. 各課の重要事項を理解した後、練習問題を行う。
4. 学生同士で会話練習をする。
5. 今回学習した内容の確認テストを行う。

授業の始めに、前回の小テストのフィードバックを行う。

授業計画は、授業の展開によって、若干の変更があり得る。

連絡事項や課題等は「Google Classroom」を通して行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 経験の言い方 (7課-前半)	授業の進め方・評価方法の説明 -ㄴ 적이 있다/없다(経験)、-고 있다(進行)
2	経験を言う練習 (7課-後半)	ㄹ 변則活用の用言 ニュース原稿の読解
3	視聴覚教材-1-1 理由を説明する言い方 (8課-前半)	-아/어 있다 (状態の継続)、-니까 (理由)
4	視聴覚教材-1-2 決定や約束を言う練習 (8課-後半)	뉴스의聴解と要約 -ㄹ게요 (聞き手への約束) ニュース原稿の読解
5	視聴覚教材-2-1 許可と禁止の言い方 (9課-前半)	-ㄴ데 (婉曲)、-아도/어도 되다 (許可) ニュースの聴解と要約
6	視聴覚教材-2-2 許可を求める練習 (9課-後半)	ㄹ 변則活用の用言
7	中間試験	試験・まとめと解説
8	意見を述べる言い方 (10課-前半)	-ㄹ것 (意志・推量)、-거든요 (根拠) ニュース原稿の読解
9	視聴覚教材-3-1 義務や必要性を伝える練習 (10課-後半)	-아야/어야 되다 (義務) ニュースの聴解と要約
10	視聴覚教材-3-2 相手の意向を聞く言い方 (11課-前半)	-ㄹ까요? (問い合わせ)、-아/어 보다 (試み) ニュース原稿の読解
11	視聴覚教材-4-1 試みを言う練習 (11課-後半)	-ㄹ 수 있다/없다(可能・不可能) ニュースの聴解と要約
12	視聴覚教材-4-2 推測や意図を述べる言い方 (12課-前半)	-ㄹ것 같다 (推測)、-려고 하다 (意図) ニュース原稿の読解
	視聴覚教材-5-1	

13	将来の計画を言う練習 (12課-後半)	-지 말다 (禁止) ニュースの聴解と要約
14	視聴覚教材-5-2 期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

須賀井義教他(2025)『三訂版・韓国語の世界へ 初中級編』朝日出版社

※初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

内山政春(2022)『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社

須賀井義教(2023)『確認しながらおぼえる韓国語基本単語帳』朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

1. 欠席回数が学期の三分の一を超えたときは、単位を認めない。
2. 3回の遅刻で1回欠席としてカウントする。
3. 平常点(20%)、課題・小テスト(20%)、定期試験(60%)をもとにして、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業の連絡や課題の提出は「Google Classroom」を利用する。

【その他の重要事項】

履修上の注意：

この科目は「法(法律学科・政治学科) 文営」でパターンB(朝鮮語週2コマ)を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定する。初回の授業にかならず出席のこと。該当者で初回4Bに出席し、そこで抽選で外れた場合は、2回目からでも受け入れることにする。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The aim of this course is to develop practical communication skills in Korean, building on the grammatical foundation acquired in Korean 1 and 2. This course deals with conversational and listening comprehension abilities. It also enhances students' skill in expressing their thoughts and experiences effectively in Korean.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the following:

- Engage in daily conversations using appropriate expressions in Korean
- Comprehend spoken Korean in various everyday situations
- Express their own thoughts and experiences effectively in Korean

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to spend two hours on preparation and review before and after each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation: 20%, Assignments and quizzes: 20%, Final examination: 60%

- Students must achieve at least 60%of the course objectives to pass this course.

- Students who miss more than one-third of the total classes will not receive credit for the course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。毎回の授業で小テストを実施します。教科書の本文4文から5文を範囲とし、朝鮮語で書く形式です。パワーポイントで文法を説明し、例文・練習問題を通して構造を強化します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	初級の復習	『しくみで学ぶ初級朝鮮語』本文の読み合わせ、文法の要点の理解
2	第1課	希望表現、現在連体形、過去連体形、過去往時連体形の文法と例文・練習問題
3	第1課	未来連体形の練習問題と作文、希望表現と連体形の反映された本文の理解
4	第1課	連体形の深化学習、過去連体形と過去往時連体形の比較
5	第2課	書き言葉「だ・である体」平叙文・疑問文・勧誘文・命令文
6	第2課	書き言葉「だ・である体」品詞別の活用
7	第2課	話し言葉パンマル「～だよ・～しよう・しろ」文末の活用と本文
8	第3課	出会いのあいさつ、引用表現類型の理解
9	第3課	引用文 引用接続形
10	第3課	引用文 平叙文・疑問文・勧誘文・命令文の省略形
11	第4課	依頼表現
12	第4課	授受表現「あげる・やる・もらう・くれる」
13	第4課	まとめと総括－連体形・下称体・引用文・授受行減の要点の確認
14	試験	試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。教科書の例文と本文を何度も読み、音声聴き、書くことで身につけていきます。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばたけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を20点に換算して、期末試験を80点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。

【学生の意見等からの気づき】

授業を欠席しないように心がけてください。毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。分からないことを溜めないように少しずつでも着実な学習を積み上げていってください。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

Students will deepen their knowledge of the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's class, and improve their application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。毎回の授業で小テストを実施します。教科書の本文4文から5文を範囲とし、朝鮮語で書く形式です。パワーポイントで文法を説明し、例文・練習問題を通して構造を強化します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の例文・文法項目の確認、本文読み合わせ
2	第5課	許可表現
3	第5課	いろいろな接続形 動作の先行・並立
4	第6課	提案表現・受け身
5	第6課	当為表現・推量
6	第7課	後悔と反省表現・帰結
7	第7課	使役表現
8	第7課	印象描写の表現
9	第8課	書き言葉の文章読解
10	第8課	結果状態の継続
11	第9課	結果状態の継続
12	第9課	自動詞と他動詞
13	まとめと総括	「だ・である体の読解文」
14	試験	試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばたけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を20点に換算して、期末試験を80点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。

【学生の意見等からの気づき】

授業を欠席しないように心がけてください。毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。分からないことを溜めないように少しずつでも着実な学習を積み上げていってください。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

Students will deepen their knowledge of the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's class, and improve their application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker (韓国人留学生) と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第1課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第1課	ましょうか・てください
	文型・会話練習	
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、歌
	文型・会話練習	
4	第2課	ウ不規則活用・できない
	文型・会話練習	
5	第2課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第3課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第3課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第3・4課	連体形
	文型・会話練習	
9	第4課	小試験
	文型・会話練習	
10	第4課	ようと・ばいい
	文型・会話練習	
11	第4課	でしょうか、ましょうか・んで
	文型・会話練習	
12	第4課	すよ
	文型・会話練習	
13	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
	文型・会話練習	
14	第4課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
15	第5課	ビウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
16	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』 李昌圭 朝日出版社

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、期末試験）、課題10%、平常点20%（参加度、積極性など）
期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオツ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第7課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第7・8課 読解 文型・会話練習	中間試験 仕方を知っている・したことが ある・ティグッ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから（意思）・ばいと思う
10	韓国人留学生との会 話	ネイティブと 100 分会話する
11	第8課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第9課 文型・会話練習	なければならない・てはいけな い
13	第9課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、とてもいい、ですが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は1時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験、期末試験）、課題 10%、平常点 20%

期末試験が 50 点以下の場合は単位が出ない。

欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation 20%, Assignments 10%, Exam 70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
8	中間試験	中間試験
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課(1/2)	「～しようと思う」
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲載しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲載します。

・13回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、

予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。
教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」他
6	第7課	指定詞の第Ⅲ語基他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
9	第8課	間接話法・その1 他
10	第9課	ハンダ体他
11	第9課	態と受身形他
12	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
13	作文練習	作文練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。
初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。
1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20 %
中間試験 40 %
期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

- ・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。
- ・授業開始前にHoppiiに登録してください。
- ・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。
- ・13回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって13回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。
- ・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

